シビルエンジニアリング部
建築・デザイン室　　登録番号92-329

索引カード目録

撮影年月日　4. 5. 7

工事番号　EL-2526

工事名称　香南清掃組合 ごみ焼却施設建設工事

整理番号	図面番号	寸法	改正	図面名称	枚数	原図の種類	記事
1	A 1	A1		特記仕様書 (1)	1	TX	
2	A 2	A1		〃 (2)	1	TX	
3	A 3	A1		〃 (3)	1	TX	
4	A 4	A1		〃 (4)	1	TX	
5	A 5	A1		〃 (5)	1	TX	
6	A 6	A1		外部仕上表，設計概要表	1	TX	
7	A 7	A1		案内図	1	TX	
8	A 8	A1		全体配置図	1	TX	
9	A 9	A1		面積表 (1)	1	TX	
10	A10	A1		〃 (2)	1	TX	
11	A11	A1		内部仕上表 (1)	1	TX	
12	A12	A1		〃 (2)	1	TX	
13	A13	A1		B2階・B1階 平面図	1	TX	
14	A14	A1		1階 〃	1	TX	
15	A15	A1		2階 〃	1	TX	
16	A16	A1		3階・B1階 〃	1	TX	
17	A17	A1		4階 〃	1	TX	
18	A18	A1		5階 〃	1	TX	
19	A19	A1		CG階 〃	1	TX	
20	A20	A1		屋根伏図	1	TX	
21	A21	A1		立面図 (1)	1	TX	
22	A22	A1		〃 (2)	1	TX	
23	A23	A1		断面図 (1)	1	TX	
24	A24	A1		〃 (2)	1	TX	
25	A25	A1		〃 (3)	1	TX	
26	A26	A1		矩形図 (1)	1	TX	
27	A27	A1		〃 (2)	1	TX	
28	A28	A1		AB階段 断面詳細図	1	TX	
29	A29	A1		雑階段 〃	1	TX	
30	A30	A1		B1階 〃	1	TX	
31	A31	A1		1階 管理棟平面詳細図 展開図	1	TX	
32	A32	A1		〃 電気室 〃 〃	1	TX	
33	A33	A1		2階 管理棟 〃	1	TX	
34	A34	A1		〃 中央制御室 平面詳細図	1	TX	
35	A35	A1		建具配置図 (1)	1	TX	
36	A36	A1		〃 (2)	1	TX	
37	A37	A1		建具表 (1)	1	TX	
38	A38	A1		〃 (2)	1	TX	
39	A39	A1		〃 (3)	1	TX	
40	A40	A1		天井伏図	1	TX	
41	A41	A1		軒先廻り断面詳細図	1	TX	
42	A42	A1		外構図	1	TX	
43	A43	A1		植栽図	1	TX	
44	A44	A1		灯油ポンプ室仕上表 ・面積表・求積表・求積図・断面図・立面図	1	TX	
45	A45	A1		トラックスケール仕上表・〃・〃・断面図・立面図	1	TX	
46	A46	A1		燃料貯留槽及び移送ポンプ詳細図	1	TX	
47	A47	A1		オートドア図 (1)	1	TX	
48	A48	A1		〃 (2)	1	TX	
49	A49	A1		〃 (3)	1	TX	
50	A50	A1		〃 (4)	1	TX	

シビルエンジニアリング部
建築・デザイン室　　登録番号92-329

索引カード目録

撮影年月日　4. 5. 7

工事番号　EL-2526

工事名称　香南清掃組合 ごみ焼却施設建設工事

整理番号	図面番号	寸法	改正	図面名称	枚数	原図の種類	記事
51	A51	A1		ベンチレーター詳細図	1	TX	
52	AA 1	A1		防災計画図 (1) (参考図)	1	TX	
53	AA 2	A1		〃 (2) (〃)	1	TX	
54	AA 3	A1		〃 (3) (〃)	1	TX	
55	AA 4	A1		〃 (4) (〃)	1	TX	
56	AA 5	A1		〃 (5) (〃)	1	TX	
57	AA 6	A1		〃 (6) (〃)	1	TX	
58	AA 7	A1		〃 (7) (〃)	1	TX	
59	AA 8	A1		〃 (8) (〃)	1	TX	
60	S- 1	A1		構造仕様書	1	TX	
61	S- 2	A1		鉄筋コンクリート構造躯準配筋図 (1)	1	TX	
62	S- 3	A1		〃 〃 (2)	1	TX	
63	S- 4	A1		B2・B1・1・M2階 梁伏図	1	TX	
64	S- 5	A1		2階・3階 〃	1	TX	
65	S- 6	A1		4階・5階 〃	1	TX	
66	S- 7	A1		CG階・R階 〃	1	TX	
67	S- 8	A1		軸組図 (1) A・B 通り	1	TX	
68	S- 9	A1		〃 (2) C・D 〃	1	TX	
69	S-10	A1		〃 (3) E・F 〃	1	TX	
70	S-11	A1		〃 (4) G・H 〃	1	TX	
71	S-12	A1		〃 (5) 1・2・3・4 〃	1	TX	
72	S-13	A1		〃 (6) 5・6・7・8 〃	1	TX	
73	S-14	A1		〃 (7) 9・10・11 〃	1	TX	
74	S-15	A1		芯線図	1	TX	
75	S-16	A1		基礎リスト	1	TX	
76	S-17	A1		地中梁断面リスト	1	TX	
77	S-18	A1		柱断面リスト (1)	1	TX	
78	S-19	A1		〃 (2)	1	TX	
79	S-21	A1		大梁断面リスト (1)	1	TX	
80	S-22	A1		〃 (2)	1	TX	
81	S-23	A1		〃 (3)	1	TX	
82	S-24	A1		〃 (4)	1	TX	
83	S-25	A1		〃 (5)	1	TX	
84	S-26	A1		小梁断面リスト	1	TX	
85	S-27	A1		スラブ配筋リスト	1	TX	
86	S-28	A1		壁断面リスト・土圧受梁断面リスト	1	TX	
87	S-29	A1		部材リスト・根巻きリスト	1	TX	
88	S-30	A1		D通りラーメン配筋図	1	TX	
89	S-31	A1		ごみピット廻り配筋図 灰ピット廻り配筋図	1	TX	
90	S-32	A1		雑詳細図 (1)	1	TX	
91	S-33	A1		〃 (2)	1	TX	
92	S-34	A1		鉄骨標準詳細図	1	TX	
93	S-35	A1		溶接標準図	1	TX	
94	S-36	A1		JOINT LIST	1	TX	
95	S-37	A1		ANCHOR PLAN	1	TX	
96	S-38	A1		ごみピット上部 鉄骨詳細図	1	TX	
97	S-39	A1		プラットホーム上部 〃	1	TX	
98	S-40	A1		8-F通り 〃	1	TX	
99	S-41	A1		屋根面 〃	1	TX	
100	S-42	A1		B 通り 〃	1	TX	

シビルエンジニアリング部
建築・デザイン室　登録番号92−329

索引カード目録

撮影年月日　4. 5. 7

工事番号　EL−2526

工事名称　香南清掃組合 ごみ焼却施設建設工事

整理番号	図面番号	寸法	改正	図面名称	枚数	原図の種類	記事
101	S−43	A1		クレーンガーダー詳細図	1	TX	
102	S−44	A1		トラックスケール構造図	1	TX	
103	S−45	A1		重油ストレージタンク基礎詳細図	1	TX	
104	S−46	A1		機器基礎配筋要領図	1	TX	
105	S−47	A1		オーニング構造図	1	TX	
106	C− 1	A1		案内図	1	TX	
107	C− 2	A1		全体配置図	1	TX	
108	C− 3	A1		煙突平面図・断面図	1	TX	
109	C− 4	A1		煙突立面図 (1)	1	TX	
110	C− 5	A1		〃 (2)	1	TX	
111	C− 6	A1		煙突構造仕様書	1	TX	
112	C− 7	A1		構造一般図	1	TX	
113	C− 8	A1		基礎詳細図	1	TX	
114	C− 9	A1		外筒配筋詳細図	1	TX	
115	C−10	A1		開口部補強要領	1	TX	
116	C−11	A1		雑詳細図	1	TX	
117	C−12	A1		溶接標準図	1	TX	
118	C−13	A1		内筒詳細図・頂部・脚部詳細図	1	TX	
119	C−14	A1		内筒詳細図	1	TX	
120	C−15	A1		頂部ステージ・支持点詳細図	1	TX	
121	C−16	A1		らせん階段詳細図　タラップ詳細図	1	TX	
122	E−01	A1		電気設備・特記仕様書 (1)	1	TX	
123	E−02	A1		〃 〃 (2)	1	TX	
124	E−03	A1		〃 分電盤結線図 (1)	1	TX	
125	E−04	A1		〃 〃 (2)	1	TX	
126	E−05	A1		〃 幹線系統図	1	TX	
127	E−06	A1		〃 制御線系統図	1	TX	
128	E−07	A1		〃 自動火災報知設備系統図　連動装置設備系統図	1	TX	
129	E−08	A1		〃 電話設備系統図，放送設備系統図	1	TX	
130	E−09	A1		〃 テレビ共聴設備系統図　防犯設備系統図	1	TX	
131	E−10	A1		〃 インターホン設備系統図	1	TX	
132	E−11	A1		〃 1階幹線動力設備 (1)	1	TX	
133	E−12	A1		〃 〃 (2)	1	TX	
134	E−13	A1		〃 〃 (3)	1	TX	
135	E−14	A1		〃 〃 (4)	1	TX	
136	E−15	A1		〃 〃 (5)	1	TX	
137	E−16	A1		電気設備・2階幹線動力設備 (1)	1	TX	
138	E−17	A1		〃 〃 〃 (2)	1	TX	
139	E−18	A1		〃 〃 〃 (3)	1	TX	
140	E−19	A1		〃 3階 〃 (1)	1	TX	
141	E−20	A1		〃 〃 〃 (2)	1	TX	
142	E−21	A1		〃 4階 〃	1	TX	
143	E−22	A1		〃 5階 〃	1	TX	
144	E−23	A1		〃 CG階 〃	1	TX	
145	E−24	A1		〃 1階コンセント設備 (1)	1	TX	
146	E−25	A1		〃 〃 (2)	1	TX	
147	E−26	A1		〃 〃 (3)	1	TX	
148	E−27	A1		〃 B1階電灯コンセント弱電設備	1	TX	
149	E−28	A1		〃 1階電灯弱電設備 (1)	1	TX	
150	E−29	A1		〃 〃 (2)	1	TX	

シビルエンジニアリング部
建築・デザイン室　登録番号92−329

索引カード目録

撮影年月日　4. 5. 7

工事番号　EL−2526

工事名称　香南清掃組合 ごみ焼却施設建設工事

整理番号	図面番号	寸法	改正	図面名称	枚数	原図の種類	記事
151	E−30	A1		電気設備 1階電灯弱電設備 (3)	1	TX	
152	E−31	A1		〃 2階電灯コンセント弱電設備 (1)	1	TX	
153	E−32	A1		〃 〃 〃 (2)	1	TX	
154	E−33	A1		〃 3階 〃 (1)	1	TX	
155	E−34	A1		〃 〃 〃 (2)	1	TX	
156	E−35	A1		〃 4階 〃	1	TX	
157	E−36	A1		〃 5階 〃	1	TX	
158	E−37	A1		〃 CG階 〃	1	TX	
159	E−38	A1		〃 煙突電灯コンセント設備	1	TX	
160	E−39	A1		〃 避雷針設備	1	TX	
161	P−01	A1		空調衛生設備 特記仕様書 1	1	TX	
162	P−02	A1		〃 〃 2	1	TX	
163	P−03	A1		〃 〃 3	1	TX	
164	P−04	A1		衛生設備 機器表	1	TX	
165	P−05	A1		〃 器具表	1	TX	
166	P−06	A1		〃 系統図	1	TX	
167	P−07	A1		〃 B2 B1F 平面図	1	TX	
168	P−08	A1		〃 凡例・配置図	1	TX	
169	P−09	A1		〃 屋外平面図	1	TX	
170	P−10	A1		〃 1F①−④ 平面図（土間）	1	TX	
171	P−11	A1		〃 〃 ④−⑦ 〃 （ 〃 ）	1	TX	
172	P−12	A1		〃 〃 ⑦−⑪ 〃 （ 〃 ）	1	TX	
173	P−13	A1		〃 〃 便所詳細図	1	TX	
174	P−14	A1		〃 〃 ①−④ 平面図（天井）	1	TX	
175	P−15	A1		〃 〃 ③−⑦ 〃 （ 〃 ）	1	TX	
176	P−16	A1		〃 〃 ⑦−⑪ 〃 （ 〃 ）	1	TX	
177	P−17	A1		〃 2F①−④ 〃	1	TX	
178	P−18	A1		〃 〃 ④−⑦ 〃	1	TX	
179	P−19	A1		〃 〃 ⑦−⑪ 〃	1	TX	
180	P−20	A1		〃 〃 便所・湯沸室詳細図	1	TX	
181	P−21	A1		〃 3F 平面図	1	TX	
182	P−22	A1		〃 4F 配置図	1	TX	
183	P−23	A1		〃 〃 平面図	1	TX	
184	P−24	A1		〃 5F 〃	1	TX	
185	P−25	A1		〃 CGF 〃	1	TX	
186	P−26	A1		〃 RF 〃	1	TX	
187	P−27	A1		〃 トラックスケール詳細図	1	TX	
188	P−28	A1		〃 浄化槽図	1	TX	
189	P−29	A1		空調設備 機器表 1	1	TX	
190	P−30	A1		〃 系統図（配管）	1	TX	
191	P−31	A1		〃 （配管）B1・B2F 平面図	1	TX	
192	P−32	A1		〃 （ 〃 ）1F 〃	1	TX	
193	P−33	A1		〃 （ 〃 ）2F①−③ 〃	1	TX	
194	P−34	A1		〃 （ 〃 ）2F屋根裏 〃	1	TX	
195	P−35	A1		〃 （ 〃 ）2F③−⑦ 〃	1	TX	
196	P−36	A1		〃 （ 〃 ）3F⑤−⑪ 〃	1	TX	
197	P−37	A1		〃 （ 〃 ）3F炉室温水発生器廻り詳細図	1	TX	
198	P−38	A1		〃 （ 〃 ）4F 平面図	1	TX	
199	P−39	A1		〃 （ 〃 ）5F 〃	1	TX	
200	P−40	A1		〃 （ 〃 ）CGF 〃	1	TX	

シビルエンジニアリング部
建築・デザイン室

登録番号92-329

索引カード目録

撮影年月日　4. 5. 7

工事番号　EL-2526

工事名称　香南清掃組合 ごみ焼却施設建設工事

整理番号	図面番号	寸法	改正	図面名称	枚数	原図の種類	記事
201	P－41	A1		衛生設備・空調設備(配管)3F余熱利用設備室配置図	1	TX	
202	P－42	A1		〃 (〃) 〃 平面図	1	TX	
203	P－43	A1		空調設備 機器表 2	1	TX	
204	P－44	A1		〃 〃 3	1	TX	
205	P－45	A1		〃 系統図(ダクト)	1	TX	
206	P－46	A1		〃 (ダクト)B1・BF 平面図	1	TX	
207	P－47	A1		〃 (〃)1F①－④ 〃	1	TX	
208	P－48	A1		〃 (〃) 〃 ④－⑦ 〃	1	TX	
209	P－49	A1		〃 (〃) 〃 ⑦－⑪中2F平面図	1	TX	
210	P－50	A1		〃 (〃)2F③－⑦平面図	1	TX	
211	P－51	A1		〃 (〃) 〃 ⑧－⑪ 〃	1	TX	
212	P－52	A1		〃 (〃)3F③－⑦ 〃	1	TX	
213	P－53	A1		〃 (〃) 〃 ⑧－⑪ 〃	1	TX	
214	P－54	A1		〃 (〃)4F③－⑦ 〃	1	TX	
215	P－55	A1		〃 (〃) 〃 ⑧－⑪ 〃	1	TX	
216	P－56	A1		〃 (〃)5F 〃	1	TX	
217	P－57	A1		〃 (〃)CGF 〃	1	TX	
218	P－58	A1		〃 (〃)炉室 1FL+5000平面図	1	TX	
219	P－59	A1		〃 (〃) 〃 〃 +7500 〃	1	TX	
220	P－60	A1		〃 (〃) 〃 〃 +10000 〃	1	TX	
221	P－61	A1		〃 (〃) 〃 〃 +13050 〃	1	TX	
222	P－62	A1		〃 (〃) 〃 〃 +17000 〃	1	TX	
223	P－63	A1		〃 (〃) 〃 〃 +19700 〃	1	TX	
		B5		構造計算書(工場棟)	1	TX	92-59456
		B4		〃	47	TX	〃
		B4		準備計算	170	TX	92-59457
		B4		断面算定	149	TX	92-59458
		B5		構造計算書(煙突)	1	TX	〃
		B4		〃	44	TX	〃

建築工事特記仕様書

建築工事仕様

1. 設計図書の適用の優先順位は、設計指示書、特記仕様書（構造仕様書、設備工事特記仕様書を含む）、設計図、共通仕様書の順とする。設計図書に疑義が生じた場合は、係員と協議し、その指示に従う。

2. 特記仕様書及び設計図に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁営繕部建築工事共通仕様書（平成元年度版）による。ただし、共通仕様書中に監督員とあるものは、すべて係員と読み替える。係員とは、建築確認申請書中に記載の工事監理者、または、その代理人をいう。

3. 特記仕様書の適用
   1）章及び項目は，番号に○印のついたものを適用する。
   2）特記事項は，◎印のついたものを適用する。
   3）◎印のない場合は，※印のあるものを適用する。
   ◎と◎印のある場合は，共に適用する。
   3）特記事項に記載の（　）内表示番号は，建築工事共通仕様書の当該項目，当該図または当該表を示す。

4. 構造仕様，設備仕様は，各々の特記仕様書による。

章	項目	特記事項
1. 一般共通事項	1. 適用基準等	・建築工事標準詳細図　建設大臣官房官庁営繕部監修（平成元年度版） ・敷地調査工事共通仕様書　建設大臣官房官庁営繕監修（平成元年度版） ・ ・
	2. 別契約の関係工事	※別契約の関係工事との取合いは工事区分表による。 ・別契約の関係工事に必要な事項のうち，下記の項目は本工事に含む。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	3. 設備工事との取合い	※建築工事と設備工事との取合いは，工事区分表による。
	4. 工事費外の費用	・工事費外の費用のうち，下記のものは請負者の負担とする。 ・ ・ ・
	5. 支給材料	・支給材料の種類，数量及び支給方法は下記による。 ・ ・ ・
	6. 発生材の処理	・引渡しを要する発生材の種類，引渡し先及び引渡し場所は下記による。

発生材の種類	引渡し先の名称	引渡し場所

章	項目	特記事項
	⑦ 見本品の作成，施工図の作成等	※見本品，施工図等を係員に提出する箇所等は，係員の指示による。
	⑧ 建築材料など	※建築材料の製造所，製品及び施工業者などの特記がある場合は，特記されたものまたはそれと同等以上とする。ただし，同等以上とする場合は，係員の承諾を受ける。
	⑨ 特別な材料の工法	※建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は，当該製品の指定工法とする。
	⑩ 施工の試験，記録など	※係員の検査，試験の立合いを受ける箇所，または報告書を提出する箇所などは，係員の指示による。
	⑪ 月間工事報告書	・月間工事報告書を係員に提出する。
	⑫ 竣工図，竣工写真 竣工図書	・工事完成時に，下記のものを係員に提出する。 ・その他の提出書類は，係員の指示により，作成，提出する。

区分	内容	形態・規格	部数	備考
※竣工図	◎意匠図　◎外構図	◎　第2原図（　版）	1部	
	◎構造図　・施工図	・	部	
	◎設備図　・	・	部	

区分	分類・規格		撮影箇所数	部数	備考
※竣工写真	※カラー	・サービス版	ケ所	1部	※文字入アルバム製本
	・モノクローム	※キャビネ版	ケ所		
		・八つ切	ケ所		
		・	ケ所		
		・半切　・全紙	ケ所	部	・パネル
	・カラースライド		ケ所	部	

章	項目	特記事項
2. 仮設工事	1. 敷地測量及び調査	・工事に先立ち，下記のものを係員に提出する。 ※敷地境界測量図　※敷地及び周辺の高低測量図 ・地下埋設施設調査書　・関地構築物調査書，写真
	② なわ張り，やりかた その他	・工事に先立ち，下記の確認を行う。 ※境界確認　（立会い者：※建築主　・係員　・　） ※なわ張り　（立会い者：※建築主　・係員　・　） ※ベンチマーク　（立会い者：・建築主　※係員　・　） ※やりかた　（立会い者：・建築主　・係員　・　）
	3. 工事用水	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　・利用できない
	4. 工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　・利用できない
	5. その他の仮設	
3. 土工事		※構造仕様書による。
4. 地業工事		※構造仕様書による。
5. 鉄筋工事		※構造仕様書による。
6. コンクリート工事	① 床コンクリートコテ仕上げの種類	※構造仕様書による。ただし床コンクリートコテ仕上げ，防水押さえ，打放し仕上げ，及びこれに準ずるコンクリートの表面仕上げは，営繕部建築工事共通仕様書6章12節，13節による。 ※下記以外は6.12.1表による　（6.12.1表）

種別	木ごて	金ごて	施工箇所
◎ A 種	1	2	室内床
◎ B 種	1	1	防水下地屋根

章	項目	特記事項
	2. 打放し仕上げの種別	※合板を用いる場合　（6.13.2表）

種別	施工箇所
・A 種	
◎ B 種	内外壁
◎ C 種	床版

・特殊化粧型わくの製造所

章	項目	特記事項
7. 鉄骨工事		※構造仕様書による。

工事番号		
承認	小林	・・
照査	勝原	・・
照査	御厨	・・
設計	岩崎	・・
製図	田島	・・
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	特記仕様書（1）
尺度	第　角法
標準図番号	
図面番号	A 1
出図年月日	
発行番号	

記号	記事	署名	年月日
△			

章	項目	特記事項
⑤ ブロック・特殊躯体工事	1. 鉄筋及びコンクリート等	※構造仕様書及び設計図による。
	2. 補強コンクリートブロック積み用空胴コンクリートブロックの種別	※普通ブロックの種類は下記以外は 8.2.1 表により、厚さは設計図による。（8.2.2） 種別 / 適用箇所 ・化粧コンクリートブロック（JIS A 5407） 使用箇所 寸法 強度 化粧の種類 製造所
	3. 目地モルタルの種類	※防水ブロック使用箇所は、ﾐｷﾓﾙﾀﾙとする。（8.1.1 表）（8.1.4）
	4. レンガ等	・普通レンガ　※1種　・2種　・3種（8.3.2） ・耐火レンガ
	5. プレキャストコンクリートカーテンウォール	※鉄筋、セメント、骨材、取付ｷﾞ、接合部材は構造特記仕様書及び設計図による。 製造所（8.5.2）
	⑥ ALCパネルの種類	箇所 / 種別 JIS A 5416 / 厚さ(cm) / 耐火時間 床用 / ・S_1（屋根用 100 kg/m²用）・S_2（床 240 kg/m²用）・S_3（床 360 kg/m²用） / ・100・ 壁用 / ・W_0（間仕切用）・W_1（外壁 120 kg/m²用）・W_2（外壁 200 kg/m²） / ⊙100・ 製造所：小野田 ALC・旭化成同等品
	⑦ ALCパネル工法及び開口補強	※設計図及び製造所指定の工法とする。（8.5.7）～（8.5.10）（8.5.2 表）（8.5.3表）
	⑧ ALCパネル用シーリング材料	※ 9.4.1 表の B種
9. 防水工事・シーリング工事	① アスファルト防水，合成高分子ルーフィング防水，塗膜防水	（9.1.1 表）～（9.1.6 表）（9.1.1）～（9.3.4） 施工箇所 / 種別・仕様記号など / 仕様制定者又は製造所 便所 / アスファルト（F-Z） 屋根 / アスファルトルーフィング，アスファルト防水 共通仕様書に記載されていない仕様とする場合は，その仕様記号並びに仕様制定者名又は製造所名を記入する。 ⊙伸縮目地材　（※成形目地材　・アスファルト　・　） ⊙入りすみの下地　※巾 70 mm程度のモルタル内面
	2. モルタル防水剤，浸透性防水剤，躯体防水剤和剤，ステンレス防水材等の防水	施工箇所 / 防水工法 / 製造所 / 防水層仕様
	③ 不定形シーリング材	（9.4.1）～（9.4.7）（9.4.1表） 種別 / 材種 / 施工箇所 ・A 種 / / ⊙B 種 / ポリサルファイドシーリング（2成分形） / 成長目地，金物～RC 等金部 ・C 種 / / ⊙D 種 / ウレタンシーリング材 / コンクリート目地 ⊙E 種 / エマルジョンアクリルシーリング / ALC 目地 ・F 種 / /
	4. 定形シーリング材	施工箇所 / ガスケット，Oリング / 材質 / 製造所
	⑤ エポキシ注入材，止水板等	施工箇所 / エポキシ注入材，止水板等 水槽ピット・打継部 / 小清水輸出品 ⑩ 0.19 同等品 ｼﾘﾝﾀｰﾙ 同等品
10 石工事	1. 花こう岩類の区分	（10.2.2）（10.2.1表）（10.2.2表） 施工箇所 / 品質 / 産地，名称 / 厚さ / 仕上げの種類 ※1等品・2等品・3等品
	2. 大理石張り	製造所（10.3.2）（10.3.1表） 施工箇所 / 品質 / 産地，名称 / 厚さ / 仕上げの種類 ※1等品・2等品・3等品 / ※水みがき
	③ テラゾブロック張り	製造所 種石の種類，大きさ　・大理石の場（12 mm以下）　・花こう岩類（6 mm以下）（10.4.2）
	4. テラゾタイル張り	製造所 種類　・大理石　・花こう岩類（10.6.1） 形状，寸法　・300 × 300　・400 × 400
	5. その他の人造石，自然石等	種類 製造所
	6. コンクリート斫り仕上げ	仕上げの種類（10.2.1表） ・のみ切り　・びしゃん　・小たたき
11 タイル工事	① 陶磁器質タイル張り	（1.1.1）（1.1.3）（1.1.4表） 施工箇所 / 形状，寸法 / き じ / うわぐすり / 役物 / その他 便所・床 / 25° / 素焼質 / ・ ・壁 / 100° / 半磁器質 玄関 床 / 100° / 磁器質 タイルの製造所 伸縮目地用シーリング材の種別　※ 9.4.1 表の C種（11.1.1） 外壁タイル張りの工法　※ 11.1.4 表による。（11.1.3）（11.1.4表）
	2. 陶磁器質タイル型わく先付け	（11.2.1） 施工箇所 / 形状，寸法 / き じ / うわぐすり / 役物 / その他 タイルの製造所 タイル型わく先付けの種類（11.2.2） 伸縮目地用シーリング材の種別　※ 9.4.1 表の C種（11.2.5）
12 木工事	① 木材の含水率	※A種　・B種（12.1.1 表）
	② 木材の材質	※規格品　・同等品（12.1.2 表）
	③ 造作材の等級	※A種　・B種（12.1.2 表）
	4. 樹種	（12.1.2）（12.1.3）（12.2.1）（12.3.1）（12.4.1）（12.5.1）（12.6.1）（12.7.1） ・構造材及び下地材の樹種　※共通仕様書 12 章各節の規定による。 ・造作材の等級　下記以外は設計図による。
	5. 代用樹種の使用箇所	下記の箇所には，指定以外の代用樹種を使用してはならない。（12.1.3 表） 施工箇所 / 樹種 / 使用できる代用樹種
	⑥ 表面仕上げ	・A種　※B種　・C種（12.1.4 表）（12.1.6）（12.1.7）
	7. 構成材	種類 / 施工箇所 / 等級 / 化粧単板又は単材の樹種 / 厚さ / 表面仕上げ 化粧ばり造作用 / — / ※1等 ・ / / / ※A種 ・ 造作用 / — / ※1等 ・ / / / ※A種 ・ ※1等 ・
	8. 防ぎ処理	次の箇所に，防ぎ処理を行う。（12.1.13） 防ぎ材または防ぎ処理の種類
13 屋根・とい工事	1. 瓦尺並始めっき鋼板ぶき	（13.1.1）（13.1.2） 屋根ふき形式 / 材料 / 板厚 / 谷部板厚 / 備考 ・かわら棟ぶき（心木なし） ・かわら棟ぶき（心木あり） ・平ぶき ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 JIS G3312屋根用成格品 / ※0.4 / ※0.4 / ・アスファルトルーフィング 22 kg/21 m² ・溶融亜鉛めっき鋼板 JIS G3302屋根用成格品 ・ポリ塩化ビニル（塩化ビニル樹脂）金属被覆板 JIS K 6744の SG のA種成格品
	② 折板ぶき	施工箇所 / 山高 / 山ピッチ / 厚さ / 葺替方法 / 材料 / 断熱材 ﾒﾀﾙﾌｧｽﾅｰﾙ屋根 / 87 / / 0.8 / ⊙重ね方式 ・はぜ方式 / ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板・JIS G3312屋根用成格品 / ※ちち。 製造所 けらば納め材料の厚さ及び幅　※設計図による
	3. 波形石綿スレートぶき（外壁を含む）	波形石綿スレートの種類　・小波　・中波　・大波　・リブ波（13.3.1）（13.3.2） 施工地域　・一般地域　・多雪地域　・強風地域 製造所
	④ アスファルトシングルぶき	アスファルトシングルの工法は下記による。 ⊙接着工法 ・釘打工法 ・アスファルト熱工法 ・アスファルト防水シート冷工法 製造所　田島ルーフィング 同等品
	⑤ 軒とい	材質　・硬質塩化ビニル　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板　⊙溶融亜鉛めっき鋼板（13.4.1）～（13.4.8）
	⑥ 谷とい	材質　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板　⊙溶融亜鉛めっき鋼板 ・表面特殊加工鋼板（　）

工事番号	
承認	小林
照査	柳原
監査	御厨
設計	岩崎
製図	田島
設計部署	

NKK 日本鋼管株式会社

前注文先：香南清掃組合殿

工事名称：ごみ焼却施設建設工事

図面名称：特記仕様書（2）

尺度 / 第角法 / 標準図番号

図面番号：A 2

出図年月日 / 管理番号

章	項目	特記事項
14 金属工事	⑦ たてどい	材質 ・配管用鋼管 ◎硬質塩化ビニル管（要生管 ・あり ◎なし） 防錆処理は，13.4.4表によるほか下記の部分に行う。 ※
	⑧ ルーフドレイン	掃除口 ◎あり ・なし 製造所
	1. 手すり及びタラップ	（14.6.1）（14.6.2）

種類	材種	表面処理などの種別
手すり	スチール	OP.
タラップ	◎鋼	※亜鉛めっき 14.2.2表A種，14.2.3表B種
	・ステンレス鋼	※ヘアーライン

（14.7.1）（14.2.1表）

2. 金属成形板張り	材種	・アルミニウム	
	製法	・押出し ・プレス ・ロール	
	寸法（mm）	板幅 板厚	板幅 板厚
	表面処理など		
	製造所		
3. アルミルーバー	表面処理 製造所		（14.2.1表）
4. 金属笠木	材種 表面処理 製造所		（14.2.1表）
15 左官工事	① モルタル塗り	（15.3.2）
	塗り厚 床	※15.3.2表による。 ・20（施工箇所 ）
	内壁	※15.3.2表による。 ・15（施工箇所 ）
	ラスの種類	・ラスシート ・リブラス ・メタルラス ・ワイヤーラス
	施工箇所	
	2. モルタル吹付け	工法 ※吹付け材製造所の仕様による。
	3. プラスター塗り	（15.4.1）

施工箇所	プラスターの種類	製造所
	・石こうプラスター ・ドロマイトプラスター ・ALC用プラスター・A種※B種 ・セルフレベリング床下地材	

4. 特殊仕上	施工箇所 製造所

章	項目	特記事項
	⑤ 仕上塗材仕上げ	（15.6.1）～（15.6.4）（15.6.1表）

規格名称及び規格番号	種類（呼び名）	仕上	工法	その他の特殊仕上	施工箇所
・厚付け仕上塗材（JIS. A6909）	・外装厚塗材C ・内装厚塗材C		・吹付け 〃		
	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・ローラー 〃		
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジェラグ	・吹付け ・ローラー		
	・内装薄塗材S1	〃	・吹付け ・ローラー		
・厚付け仕上塗材（JIS. A6915）	・外装厚塗材C	・掃振吹き ・凸部処理	・吹付け ・こて		
	・外装厚塗材E	・掃振吹き ・凸部処理	・吹付け 〃		
◎複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌 ・凸部処理凹凸模様	・吹付け ・ローラー		
	◎複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材RE ・複層塗材S1	・ゆず肌 ◎凸部処理凹凸模様 〃	◎吹付け ・ローラー 〃		

6. 軽量骨材吹付け	種類 ※吹付用軽量骨材仕上塗材 ・とて塗用軽量骨材仕上塗材			（15.7.1）	
	施工箇所	軽量骨材の種類	吹付け厚さ（mm）	製造所	
		・パーライト	※5 〃		
		・バーミキュライト	※5 〃		
		・珪種	※5 〃		
		〃			
		〃			
7. ロックウール吹付け				（15.7.2）	

種類	色彩	工法	厚さ（mm）
・一般用	・着色 ・原色	※乾式 ・湿式	・10 ・15 ・20 〃
・耐火被覆	・着色 ・原色	※乾式 ・湿式	※設計図による

耐火被覆又は防火材料として使用する場合は，建築基準法に基づく認定を受けたものとする。

16 建具工事	① アルミニウム製建具	外部に面する建具		（16.1.1）～（16.1.3）（16.2.1表）～（16.2.4表）（16.2.2）（14.2.1表）	
		種別	・A 類（特注品）	※B 類（既製品）	
		強さ（kg/cm²）		㊀280以下 ・360	
		気密性による種別	・8 ・4 〃	㊀8 ・2 〃	
		水密性による種別	・25 ・35 ・50 〃	・25 ㊀35 ・50	
		JISによる遮音性能による等級	〃	◎指定なし ・25 ・30	
		わく見込厚（mm）	※設計図による 〃	※設計図による	
		表面処理（14.2.1表）	無着色 ※B－1種 〃 電解着色 ※B－2種 〃	無着色 ※B－1種 電解着色 ※B－2種（まぐのみ）	
		内部建具の表面処理	無着色 ※C－1種 〃 電解着色 ※C－2種 〃	（14.2.1表）	
	② 扉の網	材種 ・合成樹脂 ◎ステンレス ・ガラス複層入り合成樹脂製（16.2.5）			
		メッシュ寸法 ※16			
	③ 網製建具	防火戸の性能 ※防火戸に。		（16.3.1）	
		網製建具の材質 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・電気亜鉛めっき鋼板		（16.3.2）	
	4. 網製軽量建具	召合せ，段小口包み板などの材種 ※鋼板 ・ステンレス 〃		（16.4.2）	
		錆付け塗装 ・行う ※行わない			
		製造所			
	5. ステンレス製建具	曲げ加工 ※普通曲げ ・かど出し曲げ		（16.5.2）	
		製造所			
	⑥ 自動とびら	駆動力 ・電気式 ・油圧式 ・空気式		（16.6.2）	
		検出装置 ・超音波 ・マットスイッチ ・光線 ・ループコイル			
		製造所 ナブコ同等品※			

章	項目	特記事項
	⑦ 直径シャッター	防火，防煙などの機能 ※設計図による 〃 （16.7.1） シャッターケース（防火，防煙以外の場合） ※設計図による 開閉機能による種類 ※設計図による （16.7.1表）
		製造所
	8. 軽量シャッター	開閉機能による種類 ※設計図による （16.8.1表）
		製造所
	⑨ 木製建具	建具材の種別 ・A種 ※B種 ・C種 （16.9.1表） フラッシュ戸の表面材の厚さ ・A種 ※B種 （16.9.3表） フラッシュ戸の表面材の種類 ※設計図による
	10. 特殊建具	施工箇所 製造所
	11. 金属カーテンウォール	製造所
	⑫ 建具金物	金物の種類 ※設計図による 〃 （16.10.1～16.10.4）（16.10.1表～16.10.7表）
		マスターキー ◎製作する（グループ，各グループ 個） ・製作しない
		製造所
	⑬ ガラス	（16.11.1） ガラスの種類 ※設計図による 〃 ガラスの製造所 強化ガラスの製造所 ガラスブロックの製造所 熱線透取，飛散防止フィルムの製造所
	⑭ ガラス留め材	（16.11.1）（16.11.1表）

建具の種類	種別
アルミニウム製	※シーリング材C種又はガスケット
鋼製	※シーリング材C種 ・パテ（※1種 ・2種） 〃
ステンレス製	※シーリング材C種 ・パテ（※1種 ・2種） 〃

章	項目	特記事項
17 塗装工事	1. 防火材料	※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは，防火材料とする。 （17.1.1） ・次の箇所を除き防火材料とする。
	② 一般塗料	ＪＩＳ規格品とする。 （17.2.2表）
	③ 鉄面の素地ごしらえ	工法の種別 ・A種 ・B種 ※C種 構造仕様書中の鉄部素地ごしらえ1種及び2種，3種，4種は，各々A種，B種，C種，と読み替える。 （17.2.4表）
	④ コンクリート，モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ	工法の種別 ・A種 ※B種
	5. マスチック塗材塗り	（17.15.2）（17.15.1表）

種別	凸面処理	仕上材塗り
・A種（外部用）	・行う ・行わない	
・B種（内部用）		
・C種（内，外部用）	・行う ・行わない	・アクリル樹脂エナメル塗料2回塗り ・有光沢合成樹脂エマルションペイント2回塗り

	施工業者 ・マスチック塗材技術協会の会員で同協会が実施する検定試験に合格した者を有する業者
⑥ 防腐塗料	施工箇所 看示室等 製造所 ラピドリス塗装（株式会社）
7. 防カビ剤	施工箇所 製造所
⑧ 防錆塗料	（17.3.1）（17.3.1表）（17.3.2表）
	※構造部材は構造仕様書による 製造所 ・17.3.2表による その他，一般金物，下地材等 ・A種 ※B種

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	篠原
原案	御厨
設計	岩崎
製図	田島
設計部署	
発注文先	石川播磨組合設
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	特記仕様書（3）
尺度	第角法
図面番号	A 3
標準図番号	
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

章	項目	特記事項
18 内装工事	① 床シート	(18.1.1)

材種	種類	厚さ(mm)	製造所
ビニル床シート	※一般用 ・住宅用	※仕上表による。 ・	塩リ別容品。

② ビニル床タイル ゴム床タイル (18.2.1)

材種	JIS A 5705による種類	厚さ(mm)
ビニル床タイル	※半硬質ビニルノンアスベスト床タイル	※2 ・
	・硬質ビニルノンアスベスト床タイル	※2 ・
	・ホモジニアスビニル床タイル	※2 ・
ゴム床タイル		・

③ 合成樹脂塗り床材 (18.3.2)(18.3.3)(18.3.1表~18.3.7表)

材種	仕上げの種類	厚さ(mm)	製造所
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	※2 ・	
⊙エポキシ樹脂塗り床材	※防滑仕上げ ・高級流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・厚級流し展べ仕上げ ・		

④ 既製間仕切

組立て形式	耐火、防火性能	製造所
・パネル式	・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・遮音	
⊙スタッド式	⊙不燃 ・準不燃 ・難燃	コフヨ(株)同等品。

章	項目	特記事項
	⑤ せっこうボード及びその他ボード張り	(18.4.1)(18.4.1表)

材種	種別		工法
⊙せっこうボード	壁 ・	・9 (準不燃) ※12 (不燃)	⊙継目処理工法 ・目透し・貼り
	天井	㊟9 (準不燃) ・12 (不燃)	・

※ボード類の厚さは、仕上表による。

6. 天然木化粧合板張り (18.4.1)

施工箇所	化粧単板の樹種	基材厚さ(mm)など
		・5.5 ・
		・5.5 ・

7. フローリング張り (18.5.2)

樹種 (18.5.2表)(18.5.3表)(18.5.4表)

板厚 (18.6.1)

⑧ 壁紙張り

施工箇所	材料名	防火性能の級別
相対面に依る	ビニルクロス	⊙1級 ⊙2級 ・4級 ・5級
		・1級 ・2級 ・4級 ・5級
		・1級 ・2級 ・4級 ・5級
		・

製造所 リリカラー A・B・ラニコルAA程度

⑨ 壁 (18.7.1)(18.7.2)(18.7.1表)

種類	種別又は壁表の等級	製造所
※壁(18.7.1表)、(JIS A 5902)	・A種 ※B種 ・C種	
・ポリスチレンフォーム サンドウィッチ壁 (JIS A 5911)	・1等 ※2等 ・	
・インシュレーションファイバーボード サンドウィッチ壁 (JIS A 5912)	・1等 ※2等 ・	

章	項目	特記事項
	10. じゅうたん	(18.8.2)~(18.8.4)(18.8.1表)~(18.8.3表)

施工箇所	種類	計質	種別、パイル長など	敷込み工法
	・ウイルトンカーペット	・羊毛	・A種 ・B種 ※C種 ・	※グリッパー ・
	・ウイルトンカーペット	・化繊 ・混紡	・7mm ・9mm ・	・グリッパー ・全面接着 (下敷きなし)
	・タフテッドカーペット	・羊毛	・7mm ・9mm ・	・グリッパー ・全面接着 (下敷きなし)
	・タフテッドカーペット	・化繊 ・混紡	・7mm ・9mm ・	・グリッパー ・全面接着 (下敷きなし)

下敷き材 製造所 ※黄麻フェルト2回刺し(厚8mm) (18.8.3)

11. ニードルパンチカーペット

種類 製造所 ・ラバーなし ・ラバー付き(厚さ mm)

⑫ 吸音材 遮音材

材種	規格	厚さ(mm)	密度(Kg/m³)	製造所
・ロックウール吸音材	ロックウールベルト 1号	・25 ・		JISA6303の規格品
⊙グラスウール吸音材	グラスウール 2号 32K	・25 ⊙50	32	JISA6306の規格品
・				

⑬ 断熱材

材種	厚さ(mm)	施工箇所	製造所
⊙ポリスチレンフォーム ・硬質ウレタンフォーム ・	25	外壁ヘー部	

⑭ 防温材 防温シート(ポリエチレンフィルム ⊕ 0.15)

工事番号		前注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	脇原片		
照査	御厨	図面名称	特記仕様書(4)
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	第 角法	標準図番号
図面番号	A 4	△
出図年月日	登録番号	

章	項目	特記事項
19～21 外構工事（舗装・排水・植栽工事）	1. しゃ断層及び凍上抑制層材料	しゃ断層　※川砂又は海砂　・　（19.2.1） 凍上抑制層　・ 盛土材料　・
	② 路盤材料	※クラシャランC－40又はクラッシャランスラグCS－40　（19.3.1）（19.3.1表）
	3. コンクリート舗装	溶接金網　・150×150　φ6mm　（19.5.1） 早強セメント　・使用する　・使用しない
	④ アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物　（19.4.2表）

地域別	種類
・一般地域	⊙密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
・積雪地域	・細粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）

章	項目	特記事項
	⑤ 植込み用土	※現場発生の良質土　・客土　（21.1.1）
	6. 支柱丸太及び添木丸太	※防腐剤塗り　・焼き丸太　・　（21.1.2）
	7. 植栽の補償期間	※1年　・　・　（但し引渡後通常管理を行った時のみ適用する）
	⑧ 芝	種別　※こうらい芝　・野芝　・　（21.2.1） 客土　・行う　・行わない　（21.2.1）
	⑨ 支路橋梁	
	⑩ ガードレール	
	⑪ 門扉	鋼製
	⑫ 門柱	
	⑬ フェンス	ネットフェンス　H=1.200

章	項目	特記事項
22 維工事	① コーナービード	（22.1.1）

施工箇所	材種	高さ
	・ステンレス製 ⊙硬質塩ビ製	・1.8m まで ⊙天井まで ※コーナー部 各面に出さない

章	項目	特記事項
	② 階段滑り止め	材種　※ステンレス製（SUS 304）ゴムタイヤ入り　・　（22.1.2） 幅（mm）　※約35　・ 製造所
	3. 黒板，白板	種別　・鋼製黒板　・木製黒板　・ほうろう黒板　（22.1.4） わく　※アルミニウム　・ 色彩　・緑　・黒　・白 製造所
	4. カーテン	（22.3.1）

施工箇所	名称，品質など	ひだの種別	型式
		・A種　・B種　・C種	・片引き　・引分け
		・A種　・B種　・C種	・片引き　・引分け
		・A種　・B種　・C種	・片引き　・引分け

章	項目	特記事項
		製造所
	⑤ カーテンレール	材種　※ステンレス　・アルミニウム合金 製造所

章	項目	特記事項
	⑥ ブラインド	（22.4.1）

形式	※横形ブラインド	・縦形ブラインド
材種	※アルミニウム合金　・	・アルミニウム合金　・クロス（防災）
開閉方式	※手動式　・電動式	
スラットの形状	※C形　・S形	
スラットの成形幅（mm）	※34（厚0.15）　・	・100　・

章	項目	特記事項
		製造所
	⑦ カーテンボックス，ブラインドボックス	材種　・アルミニウム（・電解着色　・無着色）　⊙スチール　・木製 製造所
	⑧ 点検口	天井　材種　※アルミニウム枠　・ 製造所 床　材種　※アルミニウム枠　・ 製造所
	9. 屋上点検口	製造所
	10. 敷地境界石標	種別　・A種　※B種　（22.7.1表）
	⑪ 室名表示など	・室名札　・ピクトグラフ　・とびら番号　・ 製造所
	12. 階数表示	材種　・アクリル樹脂　・
	⑬ 防煙垂壁	材種　形式　スモークフェンス（不燃ボス）
	14. 避難器具	形式　製造所
	⑮ 旗ざお	材種　※アルミニウム合金　・ 形式 製造所
	16. 旗ざお受金物	材種　・ステンレス鋼（SUS 304）　・ 製造所
	17. 屋上丸環	材種　・ステンレス鋼（SUS 304）　・
	⑱ トップライト	形式　製造所　コンクリート問答品（日品ガラス）
	19. 二重床	形式
	⑳ くつふきマット	材種　・塩化ビニル又はゴム（受わく　ステンレス鋼（SUS304）） ・硬質アルミニウム合金（受わく　硬質アルミニウム合金） ・ステンレス鋼（SUS304）（受わく　ステンレス鋼（SUS304））
	㉑ ステンレス流し台	※優良住宅部品（公共住宅用）ステンレストラップ付き　・
	22. システムキッチン	製造所
	23. ユニットバス	材種　製造所
	24. 動便受	形式　・
	㉕ かぎ箱（引渡し用）	形式　・30本　・60本　・120本　・ 製造所
	㉖ 銘名板	アロンズ
	㉗ 定礎	御影石
	㉘ ベンチレーター	トップライト付ベンチレーター（坂本商会 VCL-210型同等品）

工事番号		所注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原		
照査	御厨	図面名称	特記仕様書（5）
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	新角法	標準図番号
図面番号	A 5	
出図年月日		整理番号

概要部分

項目	増築部分 工場棟	増築部分 灯油ポンプ室	増築部分 トラックスケール	増築部分 小計 M²	既存部分 ①退室棟	既存部分 ②工場棟	既存部分 ③説明員棟 搬室のみ改修	既存部分 ④管理棟	既存部分 ⑤計量室棟	既存部分 ⑥洗車処理棟	既存部分 小計M²	TOTAL M²
建築面積	2 044.17	5.67	20.69	2 070.53	40.86	1 001.58	154.94	388.20	7.78	35.91	1 629.27	3 699.80
延床面積	4132.85	5.67	20.69	4 159.21	38.70	1 466.25	154.94	383.52	7.78	35.91	2 089.10	6 248.31
主体構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	CB 組積造	鉄骨造	——	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	鉄筋コンクリート造	CB 組積造	鉄骨造	——	——
階数	地下1階 地上7階	1 階	1 階	——	1 階	地下1階 地上3階	1 階	1 階	1 階	1 階	——	——
最高高さ	28.30	3 117	4 730	——	3 250						——	——
軒高	26 000	2 950	4 500	——	3 000						——	——

概別面積表

	増築部分 工場棟	増築部分 灯油ポンプ室	増築部分 トラックスケール	増築部分 小計 M²	既存部分 ①退室棟	既存部分 ②工場棟	既存部分 ③説明員棟 搬室のみ改修	既存部分 ④管理棟	既存部分 ⑤計量室棟	既存部分 ⑥洗車処理棟	既存部分 小計M²	TOTAL M²
地階	246.10	——	——	246.10								
1 階	1 793.14	5.67	20.69	1819.50								
中2 階	51.43	——	——	51.43								
2 階	990.23	——	——	990.23								
3 階	307.71	——	——	307.71								
4 階	158.96	——	——	158.96								
5 階	442.35	——	——	442.35								
6(CG)階	140.93	——	——	140.93								
延床面積	4 132.85	5.67	20.69	4 159.21	38 70	1468.25	154.94	383.52	7 78	35.91	2 089.10	6 248.31

概別外部仕上表

	増築部分 工場棟	増築部分 灯油ポンプ室	増築部分 トラックスケール
屋根	・アスファルシングル葺 (ロフェリーボード下地のとアスファルトルーフング) ・コンクリート直押えの上 塗膜防水 (断熱材用) 一部 アスファルト防水の上押えコンクリート	折版 ®0.8 (カラー鉄板)	折版 ®0.8 (カラー鉄板)
外壁	コンクリート打放物件, ALC 版 ®100 の上吹付タイル	CB化粧積 (一部コンクリート打放) の上 吹付タイル	——
腰	——	——	・ピット底:コンクリート金ゴテ ・ピット壁:コンクリート打放し
外巾木	コンクリート打放物物の上吹付タイル H=200	コンクリート打放物物の上 吹付タイル	——
出入口床	コンクリート金ゴテ	コンクリート金ゴテ	——
建具	窓,ガラリ:アルミ製 扉:スチール製 シャッター:スチール製 (M1扉金物はステンレス製)	ガラリ:アルミ製 扉:スチール製	——
雨フドレイン	鋼板製	——	——
駐輪	硬質塩ビ管 100φ	硬質塩ビ管 カラ#	硬質塩ビ管 カラ#
軒樋	カラー鉄板®0.8加工	塩ビ既成品	塩ビ既成品
玄関庇	コンクリート直押えの上アスファルト防水5mm仕上 幕板:アルミ®1.0 斜天:アルミスパンドレル	コンクリート金ゴテ 吹付タイル	——
備考	トップライト (網入ガラス ®6.8)		

設計概要表

工事名称	香南清掃組合ごみ焼却施設建設工事
建築主	香南清掃組合
建築場所	高知県 南国市 廿枝上川原 1455
用途	廃棄焼却場
工事種別	増築工事
用途地域	指定なし (市街化調整区域)
防火地域	指定なし
敷地面積 (M²)	19 590.91
建ぺい率 (%)	18.89
容積率 (%)	31.89
建築面積 (M²)	3 699.80
延床面積 (M²)	6 248.31

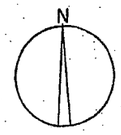
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

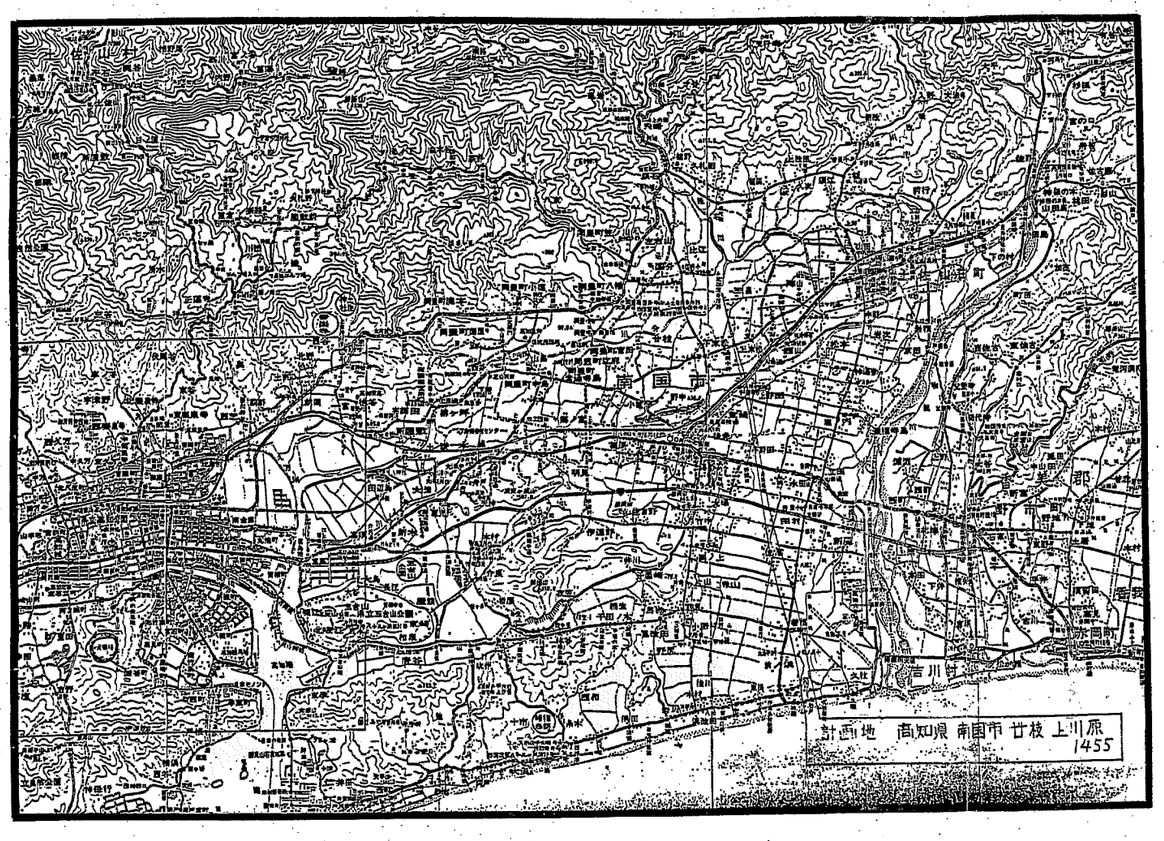
工事番号	
承認	小林
照査	篠原
照査	御厨
設計	岩浦
製図	田島
設計部署	
注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	外部仕上表, 設計概要表
尺度	
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A-6
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

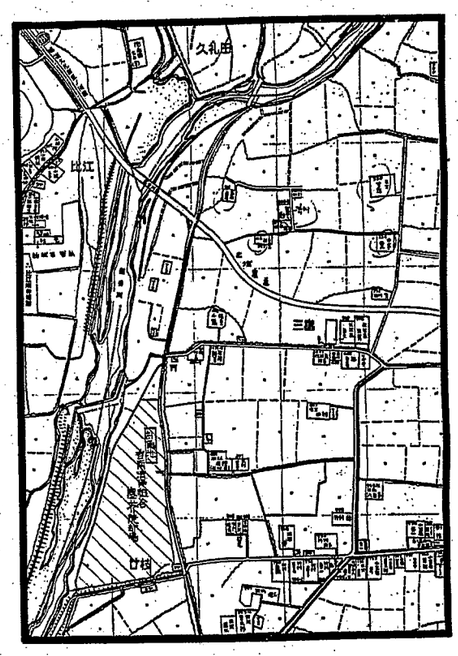
日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2508号
1級建築士第 41811 号 小林 滋 倫
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045) 505-7725

記号	記事	署名	年月日
△			





S：1/50,000



S：1/3000

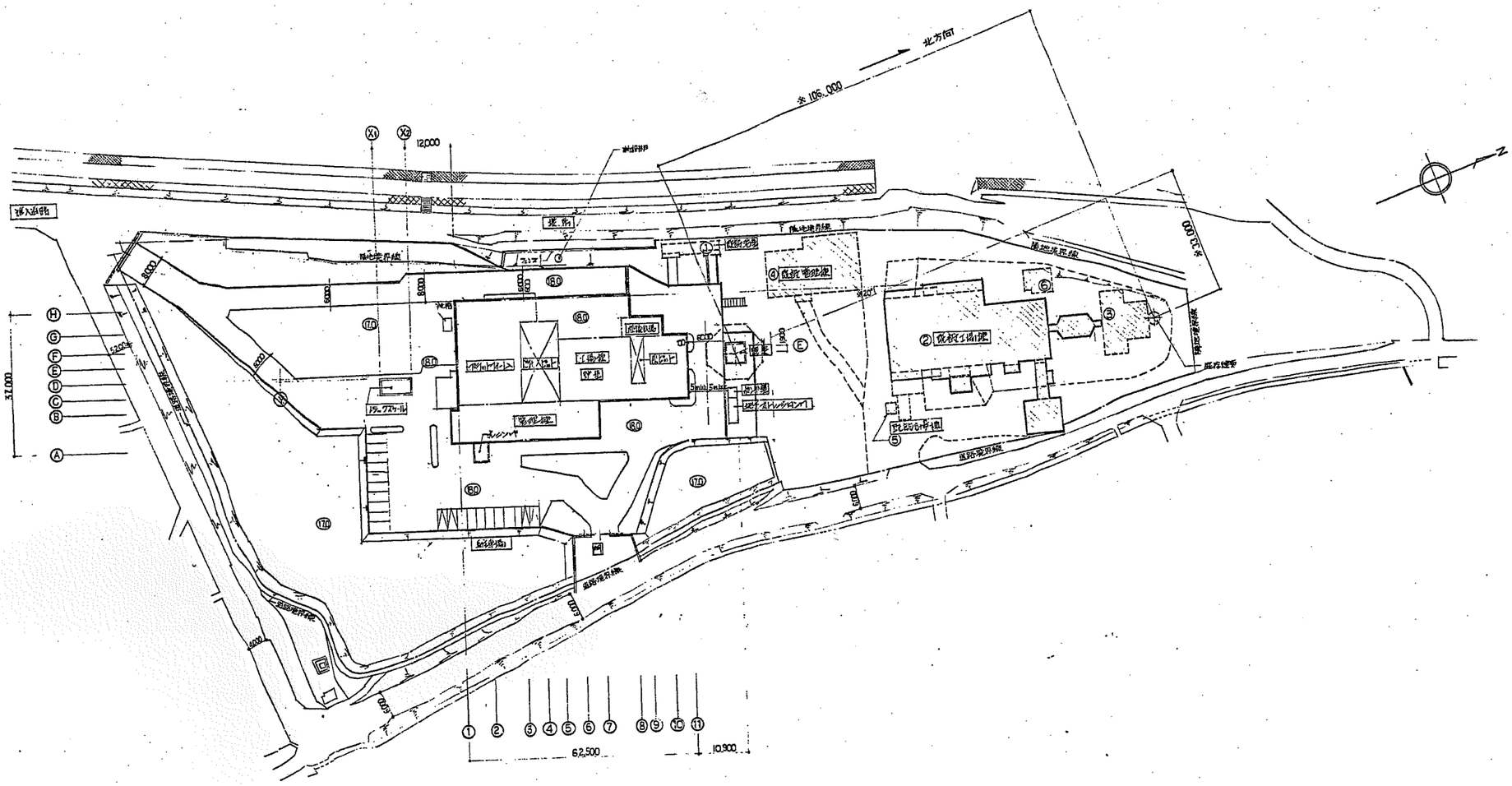
工事番号		
承認	小林	
照査	藤原 片	
照査	御厨	
設計	岩崎	
製図	川島	
設計部署		

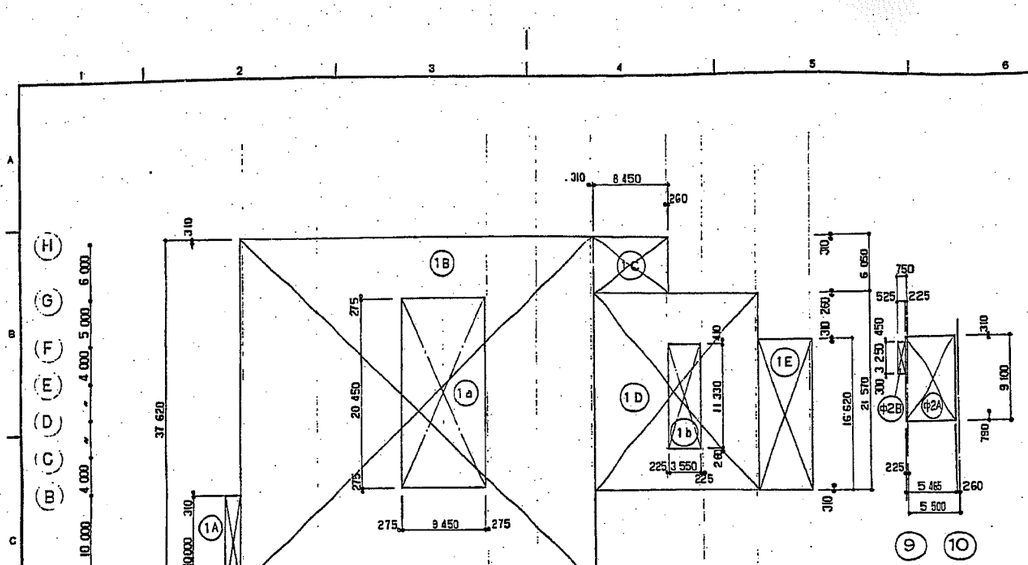
御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	案内図
尺度	1/3000 1/30000
新 角法	
標準図番号	
図面番号	A 7
出図年月日	
整理番号	

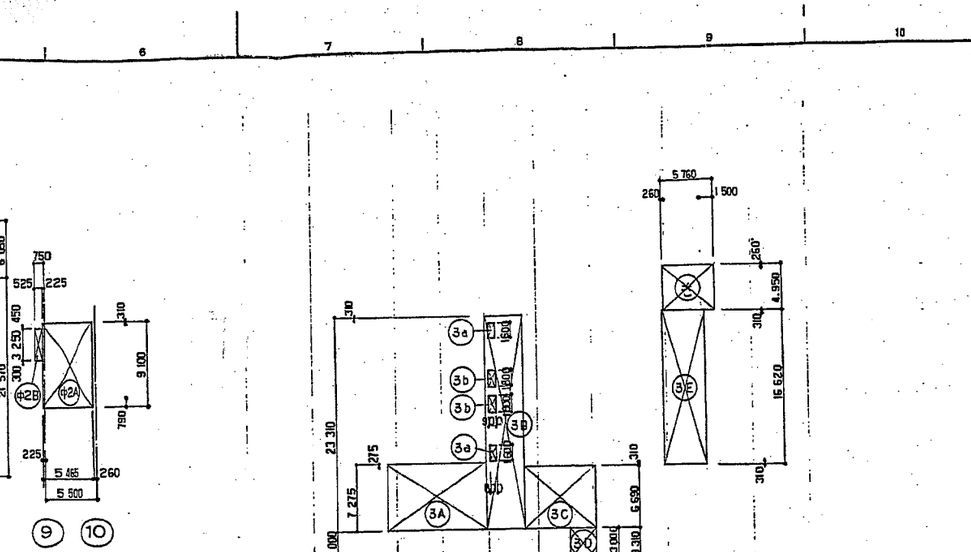
NKK
日本鋼管株式会社

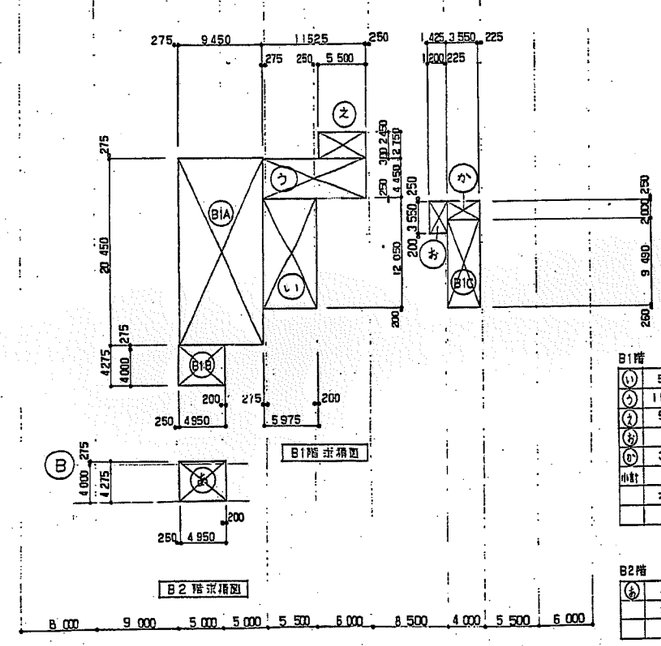
日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林雄也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

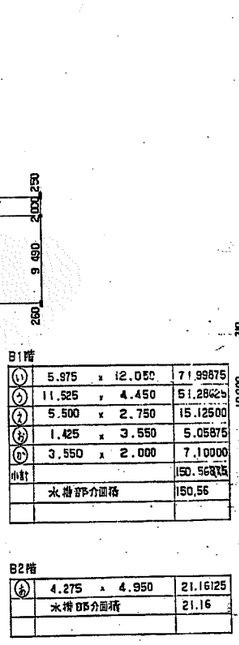
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

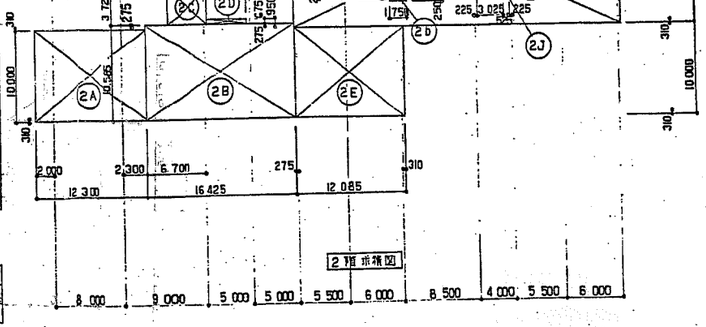

北方向
N
約105,000
約33,000
12,000
X1
X2
敷地境界線
搬入出経路
既存
既存建物
既存煙突
既存管理棟
既存計量棟
既存車庫
既存洗車場
既存駐車場
既存体育館
既存プール
既存テニスコート
既存ゲートボール場
既存ゲートボール
既存倉庫
既存ポンプ室
既存ポンプ
既存ポンプ棟
既存ポンプ室
既存ポンプ
既存ポンプ棟
既存ポンプ室
既存ポンプ
既存ポンプ棟











図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

記号	計算式			計(m²)
B1A	9.450	×	20.450	193.2525
B1B	4.950	×	4.275	21.16125
B1C	3.550	×	9.490	33.6895
小計				248.10325
	B1階床面積			248.10
1A	1.690	×	10.000	16.900
1B	39.120	×	37.620	1471.6944
1C	8.450	×	6.050	51.1225
1D	17.950	×	21.570	387.1815
1E	6.000	×	16.620	99.720
小計				2026.6184
1a	9.450	×	20.450	193.2525
1b	3.550	×	11.330	40.2215
小計	(控除部分)			233.474
	2026.6184	−	233.474	1793.1444
	1階床面積			1793.14
⊕2A	5.465	×	9.100	49.7315
⊕2B	525	×	3.250	1.70625
小計				51.43375
	中2階床面積			51.43
2A	12.300	×	10.000	123.000
2B	16.425	×	10.585	173.858625
2C	4.275	×	3.725	15.924375
2D	4.375	×	675	2.953125
2E	12.085	×	10.000	120.850
2F	36.035	×	16.620	598.9017
2G	3.975	×	4.950	19.67625
2H	1.690	×	1.740	2.9406
2I	5.760	×	4.950	28.512
2J	525	×	1.510	0.79275
小計				1087.409425
2d	9.177	×	2.300 × 2	42.2142
2b	1.750	×	250 × 2	0.875
2c	1.600	×	1.200 × 4	7.68
2d	3.025	×	12.050	36.45125
2e	2.560	×	3.890	9.9584
小計	(控除部分)			97.17885
	1087.409425	−	97.17885	990.2366
	2階床面積			990.23
3A	10.885	×	7.275	79.186375
3B	3.975	×	23.310	92.65725
3C	8.110	×	6.690	54.2559
3D	2.810	×	3.310	9.3011
3E	4.700	×	16.620	78.114
小計				313.516625
3d	800	×	1.600 × 2	2.560
3b	900	×	1.800 × 2	3.240
小計	(控除部分)			5.800
	313.51662	−	5.800	307.71662
	3階床面積			307.71

㋑	5.975 × 12.050	71.99875	
㋒	11.525 × 4.450	51.28625	
㋓	5.500 × 2.750	15.12500	
㋔	1.425 × 3.550	5.05875	
㋕	3.550 × 2.000	7.10000	
小計		150.56875	
	※増部分面積	150.56	

B1階

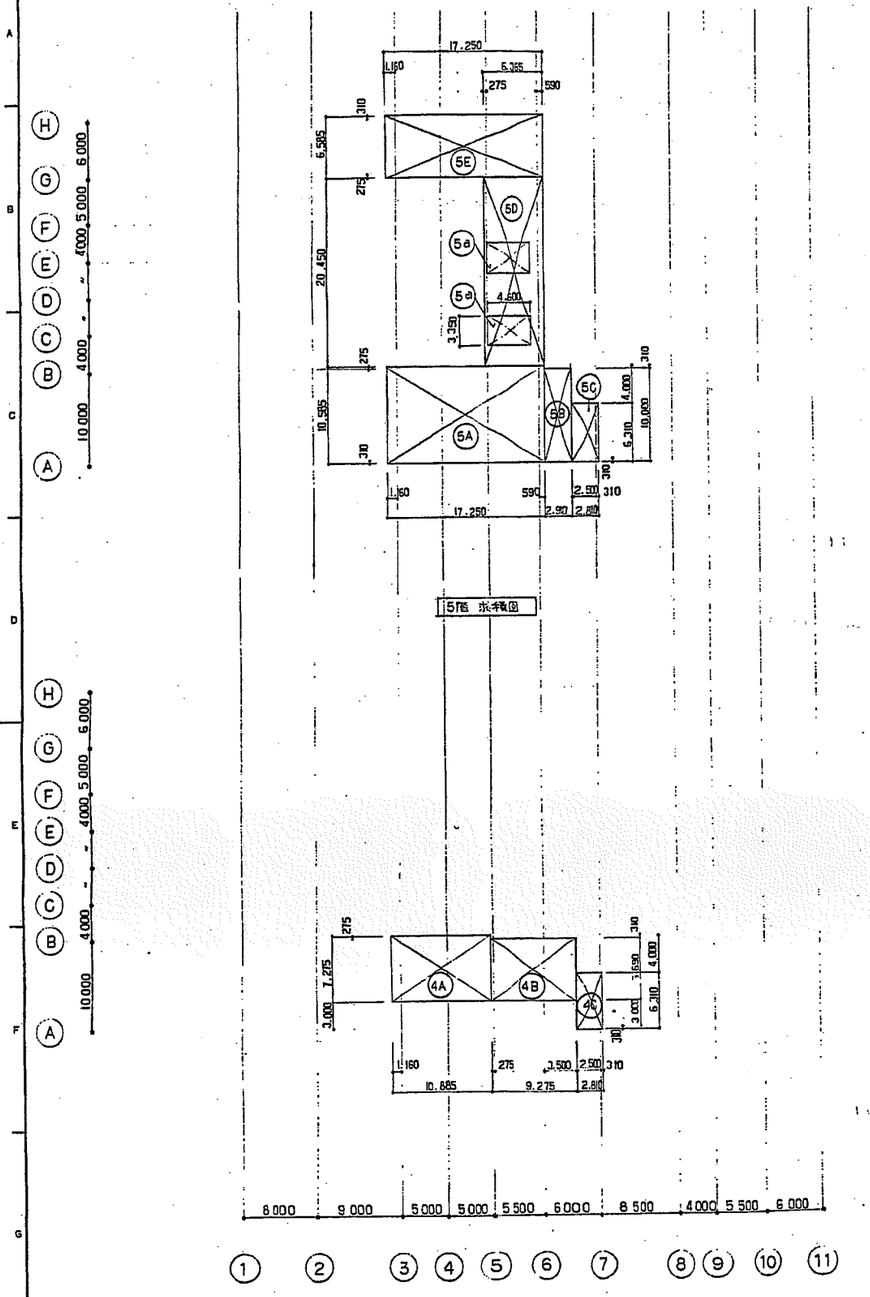
㋖	4.275 × 4.950	21.16125	
	※増部分面積	21.16	

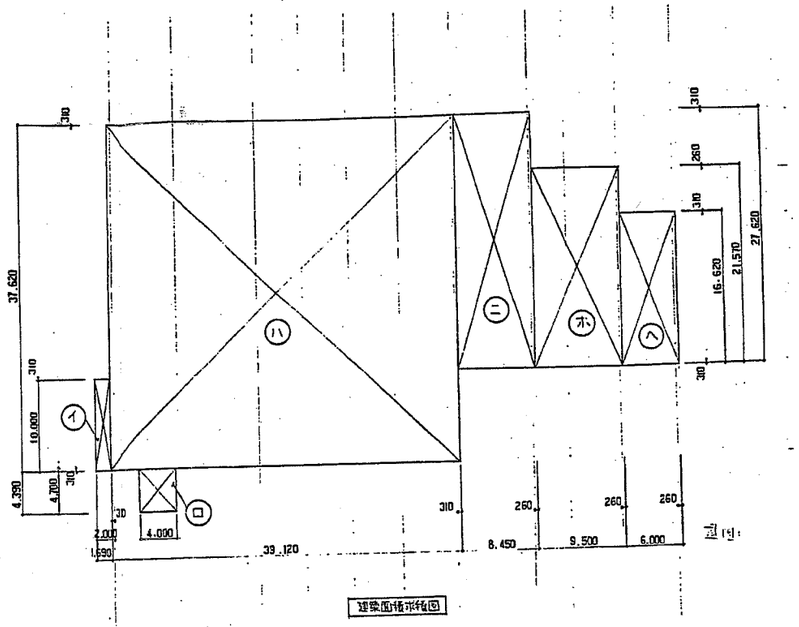
B2階

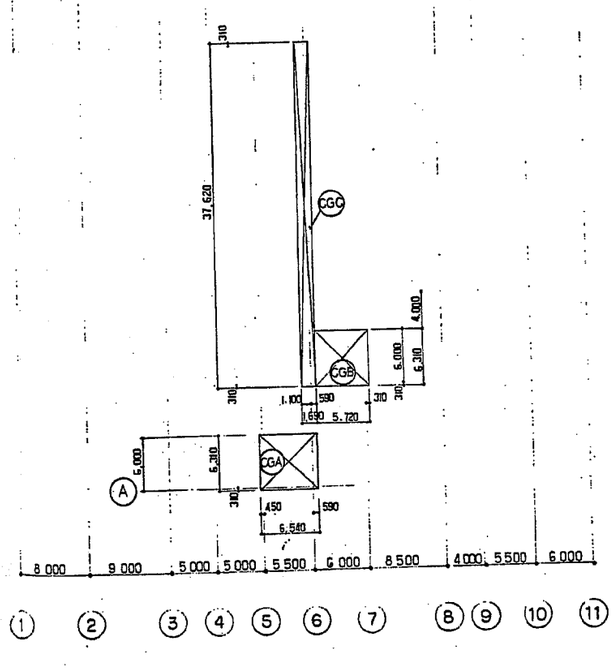
㋐	5.760 × 4.950	28.512	
	冷却塔基礎面積	28.51	

工事番号		関注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	服部	図面名称	面積表 (1)
照査	御所		
設計	星崎		
製図	内島		
設計部署		尺度	1/300
		第 角法	
		図面番号	A 9
		出図年月日	
		整理番号	

日本調管株式会社 1級建築士事務所 東京都知事登録第20387号
1級建築士第61611号 小林 誠 他
横浜市緑見区中区打3−1 電話 (045)505−7725







記号	計算式	計 (m²)
4A	10.885 × 7.275	79.188375
4B	9.275 × 6.690	62.04975
4C	2.810 × 6.310	17.7311
小計		158.96922
	4階床面積	158.96
5A	17.250 × 10.585	182.59125
5B	2.910 × 10.000	29.100
5C	2.810 × 6.310	17.7311
5D	6.365 × 20.450	130.16425
5E	17.250 × 6.585	113.59125
小計		473.17785
5a	4.600 × 3.350 × 2	30.820
小計	(螺旋部分)	30.82
	473.17785 − 30.82	442.35785
	5階床面積	442.35
CGA	6.540 × 6.310	41.2674
CGB	5.720 × 6.310	36.0932
CGC	1.690 × 37.620	63.5778
小計		140.9384
	CG階床面積	140.93
イ	1.690 × 10.000	16.900
ロ	4.000 × 4.390	17.560
ハ	39.120 × 37.620	1,471.6944
ニ	8.450 × 27.620	233.389
ホ	9.500 × 21.570	204.915
ヘ	6.000 × 16.620	99.720
小計		2,044.1784
	建築面積	2,044.17

求積表 (m²)	
B1階床面積	248.10
1階床面積	1,793.14
中2階床面積	51.43
2階床面積	990.23
3階床面積	307.71
4階床面積	158.96
5階床面積	442.35
CG階床面積	140.93
延床面積	4,132.85
建築面積	2,044.17

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所	藤原	図面名称	面積表 (2)
所	御厨		
設計	若崎		
製図	日島		
設計部署		尺度	1/300
		第 角法	横浜図番号
		図面番号	A 10
		出図年月日	整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社横浜事務所 東京都知事登録第2900号
1級建築士第61611号 小林建築
横浜市鶴見区東広町2-1 電話 (045)505-7725

記号	記事	署名	年月日
△			

階	室名	内装制限 要求性能 下地	内装制限 要求性能 仕上	天井高	床 1 コンクリート舗装	床 2 コンクリート直押さえ	床 3 非開架階等張	床 4 防じん塗装	床 5 ビニルタイル	床 6 ビニルシート(2.0)	床 7 磁器タイル(18)	床 8 モルタルこて押え	床 9 タタミ敷	床 10 アクリルポリマーセメント樹脂ライニング	床 11 浸透性塗布防水	床 12 均しコンクリート
B1F	ごみピット					○										
	ごみ投入ホール等					○										
	男子用便所														○	
	女子用便所														○	
	脱臭機室														○	
	機器冷却水槽室														○	
	汚水槽室														○	
	給水槽室														○	
	排水槽室														○	
	排気機械室														○	
	階段室					○										
1F	ごみピット				○									○		
	前室(男女)					○								○		
	前室(ごみ投入ホール等)					○								○		
	便所			2,300				○								
	計量機操作室			2,500					○							
	脱臭機室			2,300					○							
	休憩室			2,500					○							
	高圧			2,500 3,600						○						
	ごみ投入ホール等					○								○		
	湯沸室(男女)			2,500							○					
	便所			2,300				○								
	EVホール									○						
	倉庫					○								○		
	消防士詰所兼仮眠室					○								○		
	消防服装着装室					○								○		
	ポンプ室					○								○		
	排水槽設備室					○								○		
	電気室工作室						○							○		
	集塵区域				○									○		
	集気機械															
	集じん操作盤室 (2F)	㊦	㊦	2,300								○				
	ゴミピット					○								○		
	通気用管装置室 (2F)					○								○		
	集じんヘヤ室					○								○		
	空気圧縮機室					○								○		
	有圧換気扇室					○								○		
	発気室						○							○		
	ホール							○								
	休憩用便所兼洗面室								○							

階	室名	巾木 1 VP巾(H=100)	巾木 2 モルタルこて押え(H=100)	巾木 3 タタミ寄せ	巾木 4 モルタルこて押え(H=100)	巾木 5 タタミ寄せ	壁 1 アクリル系リシン吹付	壁 2 コンクリート打放し	壁 3 コンクリート打放し(50金鏝押え)	壁 4 ALC版素地	壁 5 アクリルエマルション樹脂ライニング	壁 6 磁器タイル(18)	壁 7 ビニルクロス(PB t9下地)	壁 8 磁器タイル(18)	壁 9 珪酸カルシウム板(t8.0下地)	壁 10 浸透性塗布防水
B1F	ごみピット							○								
	ごみ投入ホール等							○								
	男子用便所														○	○
	女子用便所														○	○
	脱臭機室														○	○
	機器冷却水槽室														○	○
	汚水槽室														○	○
	給水槽室														○	○
	排水槽室														○	○
	排気機械室														○	○
	階段室															
1F	ごみピット	○						○								
	前室(男女)	○						○							○	○
	前室(ごみ投入ホール等)	○						○							○	○
	便所												○			
	計量機操作室		○													
	脱臭機室		○													
	休憩室		○													
	EVホール															
	倉庫							○							○	○
	消防士詰所兼仮眠室							○							○	○
	消防服装着装室							○							○	○
	ポンプ室							○							○	○
	排水槽設備室							○							○	○
	電気室工作室							○							○	○
	集塵区域							○							○	○
	集気機械															
	集じん操作盤室 (2F)		○													
	ゴミピット							○							○	○
	通気用管装置室 (2F)							○							○	○
	集じんヘヤ室							○							○	○
	空気圧縮機室							○							○	○
	有圧換気扇室							○							○	○
	発気室															
	ホール							○								
	休憩用便所兼洗面室								○							

階	室名	天井 1 アクリル系リシン吹付	天井 2 繊維板張(ケナード)(PB t9下地)	天井 3 コンクリート打放し	天井 4 ALC版素地	天井 5 ケイカル板t6 VP塗	天井 6 岩綿吸音板張(PB t9下地)	天井 7 化粧PB t9	天井 8 ケラスウールボード t25 赤刷し	天井 9 岩綿吸音板張(ケナード)	天井 10 化粧PB t9(ボカシ)
B1F	ごみピット										
	ごみ投入ホール等										
	男子用便所				○						
	女子用便所				○						
	脱臭機室				○						
	機器冷却水槽室				○						
	汚水槽室				○						
	給水槽室				○						
	排水槽室				○						
	排気機械室				○						
	階段室										
1F	ごみピット								○		
	前室(男女)				○						
	前室(ごみ投入ホール等)				○						
	便所					○					
	計量機操作室						○				
	脱臭機室							○			
	休憩室					○					
	EVホール										○
	倉庫				○						
	消防士詰所兼仮眠室				○						
	消防服装着装室				○						
	ポンプ室				○						
	排水槽設備室				○						
	電気室工作室				○						
	集塵区域				○						
	集気機械										
	集じん操作盤室 (2F)						○				
	ゴミピット				○						
	通気用管装置室 (2F)				○						
	集じんヘヤ室				○						
	空気圧縮機室				○						
	有圧換気扇室				○						
	発気室										
	ホール								○		
	休憩用便所兼洗面室				○						

備考

機器図凡例

- (A) 流し台
- (B) 吊戸棚
- (C) 洗面化粧台
- (D) 室名札
- (E) ユニットバス
- (F) トイレブース
- (G) 鏡
- (H) a カーテンボックス
- (H) b ブラインドボックス

ステンレス(SUS) ヘアーライン(SUS)

ステンレス(SUS 304)、幕板…

全上

全上

全上

全上

全上

全上

全上

ステンレス(SUS 304)、笠木

トップコート グレーチング蓋付排水溝

掃除口、点検口、踏み

◇ 凡例
- h 高巾
- w 幅
- t 仕上厚・材厚
- FHL 仕上面の基準階レベル
- LOS 機器設置
- SUS ステンレス
- HL ヘアライン仕上
- MR 鏡面仕上
- OW グラスウール

◇ 下地記号
- C コンクリート下地
- B コンクリートブロック下地
- S 鋼製壁下地
- W 木造下地
- A ALC下地
- P PC下地

◇ 吹付タイル記号
- C セメント系複層模様吹付材
- E 合成樹脂エマルジョン系 薄層模様吹付材
- RS 反応硬化形合成樹脂溶剤系 厚層模様吹付材
- RE 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系厚層模様吹付材

◇ 内装制限記号
- C── 不燃材
- Q── 不燃・準不燃材
- 台 準不燃・準不燃・難燃材
- X 充填 不燃・準不燃材
- 室 不燃・準不燃・難燃材

◇ 塗料記号
- OP 油性系ペイント
- SOP 合成樹脂調和ペイント
- FE フタル酸エナメル
- OS オイルステイン
- CL クリアラッカ
- LE ラッカーエナメル
- VE 塩化ビニールエナメル
- AE アクリルエナメル
- EP 合成樹脂エマルジョンペイント
- NP 多彩模様塗装
- XE エポキシ系エナメル塗料

◇ 防火性能認定番号
不燃材料認例時認定

石綿スレート	1001号	石膏ボード(JIS A)	2015号
化粧石綿スレート	1002号	化粧石膏ボード(JIS S)	2016号
石膏ボード(JIS A2)	1003号	繊維混入ケイ酸カルシウム板(JIS S)	2018号
化粧石膏ボード	1004号	繊維補強セメント板	2032号
石膏ボード	1007号	木毛セメント板	2033号
ロックウール吸音板	1021号	化粧石膏ケイ酸カルシウム板	
吹付ロックウール	1023号	化粧石綿スレート	2071号
化粧ケイ酸カルシウム板	1001号		
化粧石綿ケイ酸カルシウム板			
化粧石綿スレート	1001号		

鉄鋼板	(不・準不)	0001号	
鋼板張板	(不・準不・難)	0002号	
ビニル張板	(準不・難)	0003号	
化粧鋼板張板	(準不)	0004号	
鋼鋼張板	(不・準不)	0005号	

※屋外の外部に面する壁は スタイロホーム@25 打込みとする。

※ 地下部 コンクリートは 水密性コンクリートとする。

※ 仕上表 下地欄 不燃の場合のみ、個材情報試験の番号。

日本国管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第3901号
1級建築士第61611号 小林 治彦
横浜市鶴見区末広町1-1 電話 (045) 505-7723

工事番号		
承認	小林	
照査	岡屋	
照査	御厨	
設計	岩崎	
製図	白鳥	
設計部長		

NKK 日本鋼管株式会社

発注先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	内部仕上表 (1)
尺度	原寸
図面番号	A 11
標準図番号	
出図年月日	
管理番号	

記号	記事	署名	年月日
△			

階	室名	内装制限 要求仕様 下地	内装制限 要求仕様 仕上	天井高	床 1	床 2	床 3	床 4	床 5	床 6	床 7	床 8	巾木 1	巾木 2	壁 1	壁 2	壁 3	壁 4	壁 5	壁 6	壁 7	壁 8	備考
	部位				床								巾木		壁								備考
	仕上				荒床防塵塗装	コンクリート直押え	リシャンコンクロア 02.0	ビニルシート 02.0	モザイクタイル 10角	チェッカープレートSOP塗	抗レコンクリート	防ジン塗装	VP塗(ニ回)	ビニル巾木(H=80)	ALC版素地	コンクリート打放し	ビニルクロス(PB下地)	吹付タイル	半磁器タイル 8角	グラスウールの50金網押え	ALC版素地	コンクリート打放し	岩綿吸音板 9(PBの下地)	彩綿吸音板(ボンド) 12(PBの下地)	化粧PB 9	ケイカル板 6 VP塗	グラスウールの50金網押え	グラスウールボード 025	
	耐火性能認定番号																						
1F	玄関風除室兼靴脱場				○						階段		○				○				○		
	階段		(塗)	2,500				○						○				○				○	
	廊下			2,500				○						○				○				○	
2F	ホール			2,400				○						○				○			○		
	保育室			2,700			○							○			○					○	
	便所			2,300					○ (マス目)										○				
	給湯室		(木)	2,300				○						○				○			○		
	ごみ収集室	(木)	(木)	3,000				○				防水立上		○				○					
	中庭側倉庫	(木)	(木)	3,000				○				防水立上		○				○					
	休憩室	(木)	(木)	3,000				○						○				○					
	前室			2,500			○						○				○				○		
	机・椅子収納室	(木)	(木)	2,500				○				防水立上		○				○					
	見学者ホール			2,500				○						○									
	給食準備室					○							○				○				○		
	調乳室兼授乳室					○							○				○				○		
	職員休憩室					○							○				○						
	印刷室				○								○									○	
	教材準備室				○								○									○	
3F	ごみ収集室					○					防水					○							
	保健指導用視聴室					○	(マス目)				防水					○							
	幼児休憩室					○										○							
4F	機械搬入口					○	(マス目)				防水					○							
	屋外設備室					○																	
5F	バルコニー					○	(マス目)									○							
	機械パラペット					○										○							
	屋上水槽置場					○					防水					○							
	前室			2,500		○										○							
CGF	前室			2,500		○																	
	発電・予備室 (ルーバー付)					○							○			○							
	屋上歩廊									○													

◇ 凡例

h	高さ
w	幅
t	仕上厚・材厚
FHL	仕上面の基準階レベル
LGS	軽量鉄骨
SUS	ステンレス
HL	ヘアライン仕上
MR	鏡面仕上
GW	グラスウール

◇ 下地記号

C	コンクリート下地
B	コンクリートブロック下地
S	鉄骨鉄骨下地
W	木造下地
A	ALC下地
P	PC下地

◇ 吹付タイル記号

C	セメント系複層 模様吹付材
E	合成樹脂エマルジョン系 複層模様吹付材
RS	反応硬化形合成樹脂系 複層模様吹付材
RE	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層模様吹付材

◇ 内装制限記号

○	不燃材
○	不燃・準不燃材
△	不燃・準不燃・難燃材
×	天井 不燃・準不燃材
	壁 不燃・準不燃・難燃材

◇ 塗料記号

OP	油性調合ペイント
NOP	合成樹脂調合ペイント
FE	フタル酸エナメル
OS	オイルステイン
CL	クリアラッカ
LE	ラッカーエナメル
VE	塩化ビニールエナメル
AE	アクリルエナメル
EP	合成樹脂エマルジョンペイント
NP	多彩模様塗料
XE	エポキシ系エナメル塗料

◇ 耐火性能認定番号

不燃材認定番号

石膏スレート	1011号
化粧石膏スレート	1012号
石膏ボード (GB-R)	1013号
化粧石膏板	1014号
化粧石膏ボード	1015号
ロックウール吸音板	1016号
吹付ロックウール	1023号
化粧タイル貼カルシウム板	1018号
化粧石膏タイル貼カルシウム板	
化粧石膏スレート	1019号

準不燃材認定番号

石膏ボード (GS-12)	2015号
化粧石膏ボード (GS-9)	2016号
吸音用孔あき石膏ボード (GS-9)	2019号
硬質木片セメント板	2012号
木毛セメント板	2021号
化粧石膏スレート	2021号

難燃材料

紙壁紙	(不・準不)	0001号
織物壁紙	(不・準不・難)	0002号
ビニル壁紙	(不・準不・難)	0003号
化学繊維壁紙	(準不)	0004号
繊維質壁紙	(不・準不)	0005号

備考

建具記号凡例

(S)	鋼製
(AS)	耐候鋼
(SUS)	鋼製化粧仕上
(AL)	アルミ製
(W)	木製
(UB)	ユニットバス
(T)	トイレブース
(FIX)	FIX
(CB)	カーテンボックス
(BB)	ブラインドボックス

トップライト架モニター

エアコン階段

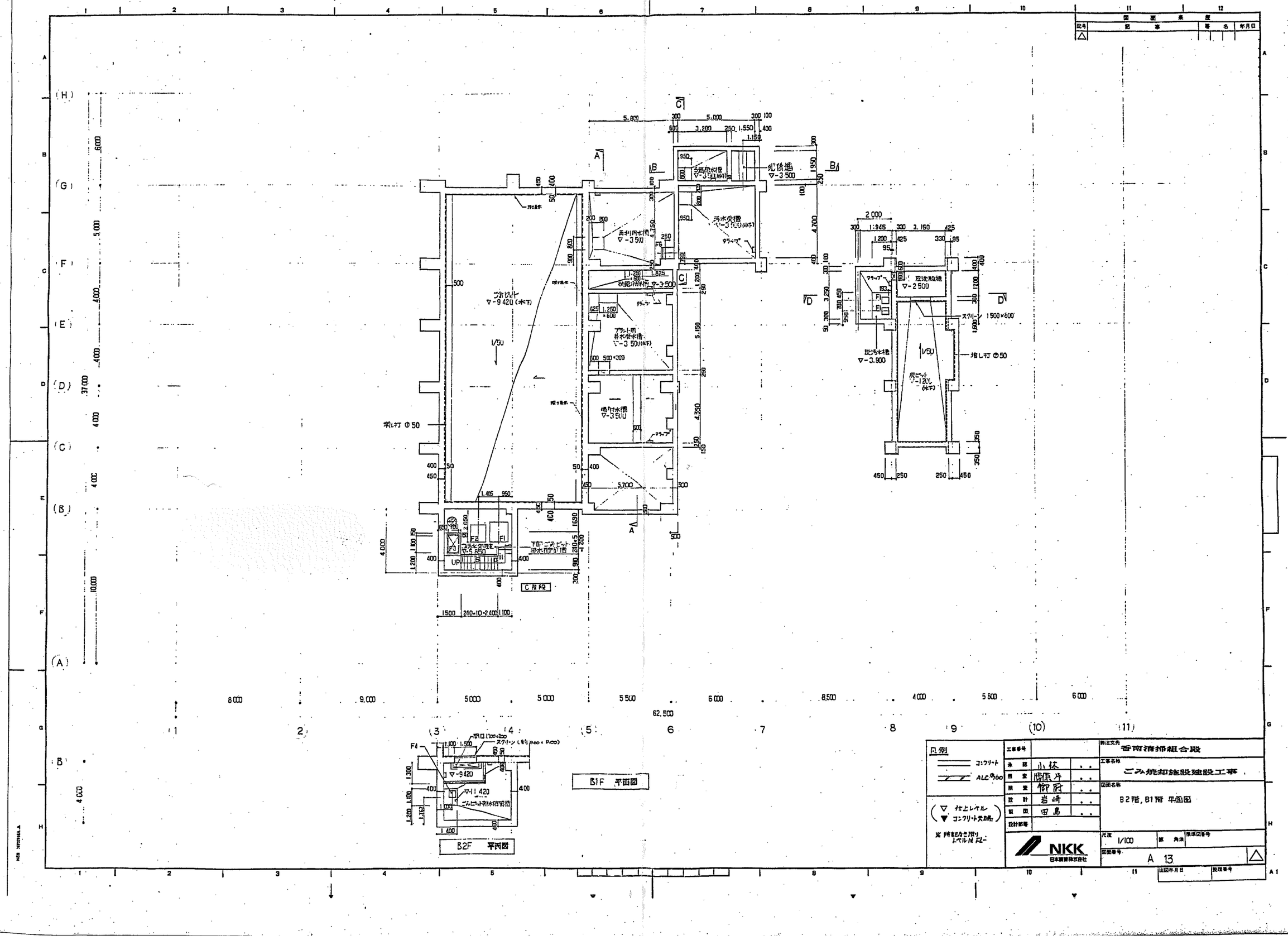
エアコン室外機.

工事番号	
承認	小林
照査	岡原
担当	御厨
設計	米崎
製図	田島
設計部長	

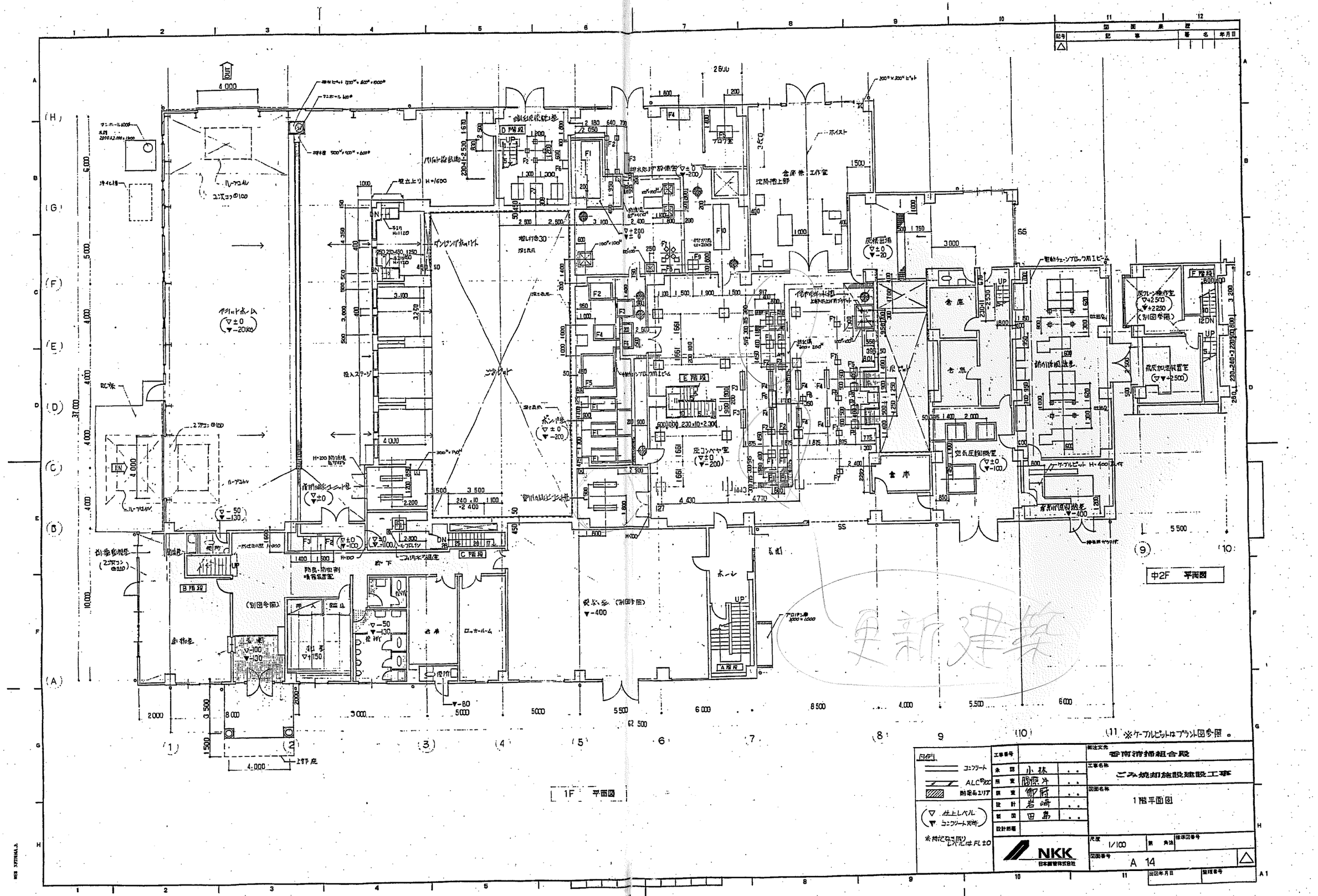
関連文書	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	内部仕上表 (2)
尺度	縮尺 1/100
図面番号	A 12
出図年月日	
管理番号	

日本国管株式会社 設計監理本部 東京都港区芝浦3丁目1番1号 小林 隆 電話 (045) 505-7725

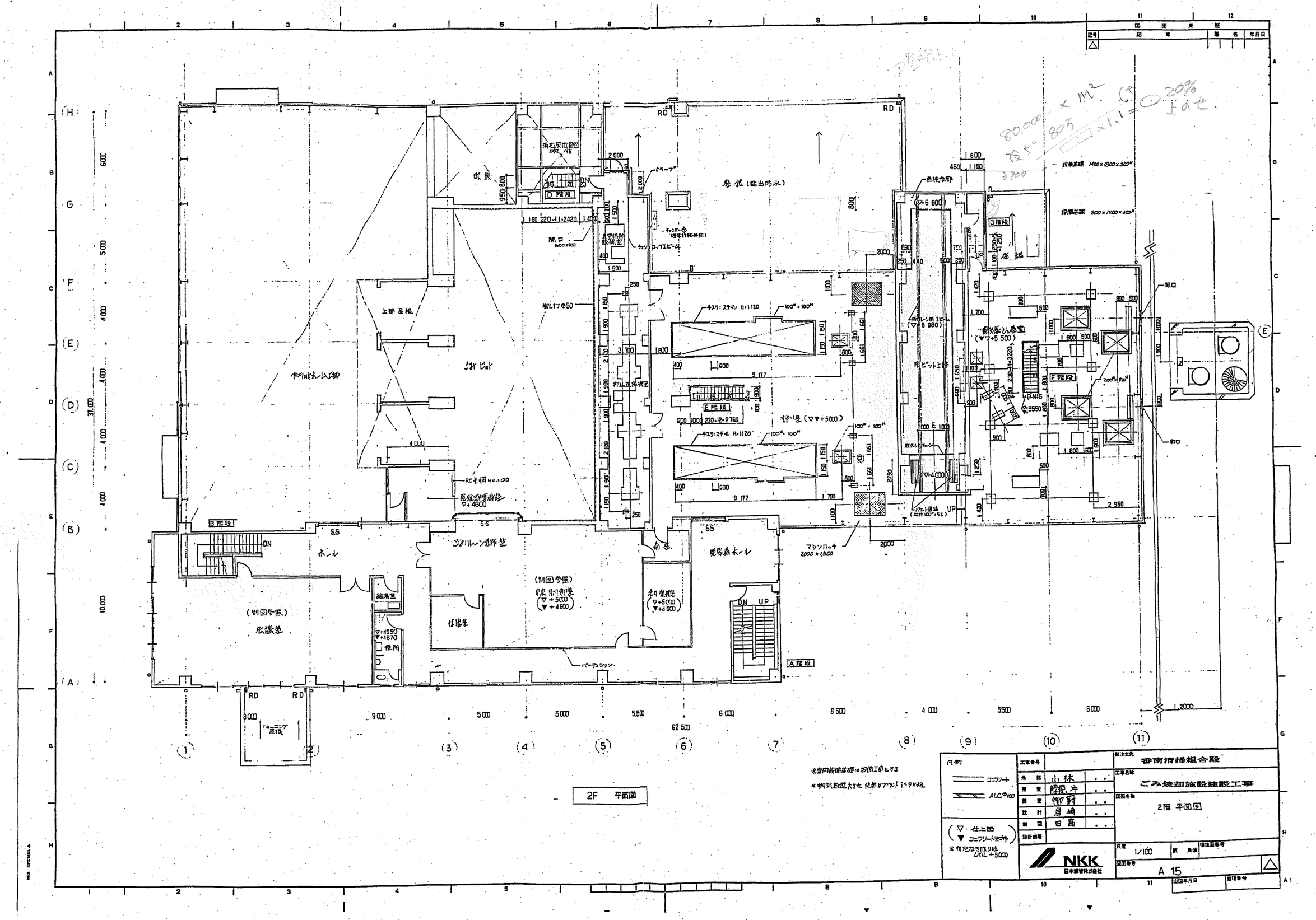
NKK 日本国管株式会社



B1F 平面図
B2F 平面図
C 階段
凡例
コンクリート
ALC@160
仕上レベル
コンクリート天端
※ 特記なき限り
レベルは FL-
工事番号
承認 小林
照査 塩原 斉
照査 御厨
設計 岩崎
製図 田島
設計部署
NKK
日本鋼管株式会社
所注文先 香南清掃組合殿
工事名称 ごみ焼却施設建設工事
図面名称 B2階, B1階 平面図
尺度 1/100
図面番号 A 13
出図年月日



中2F 平面図
1F 平面図
ゴミ焼却施設建設工事
香南清掃組合殿
1階平面図
NKK
日本鋼管株式会社
1/100
A 14



図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

※空内設備基礎は設備工事とする

※柱筋基礎大きさ 位置はプラントデータ通

凡例		
コンクリート		
ALC@100		
(▽・仕上面 / ▼ コンクリート天端)		
※特記なき限りは LVL +5,000		

工事番号		
承認	小林	
照査	膳原	
照査	御厨	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	2階 平面図
尺度	1/100
新角法	
標準図番号	
図面番号	A 15
出図年月日	
整理番号	

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

3F 平面図

※ケーブルピットはプラント図参照

凡例	工事番号		発注文化 香南清掃組合殿
コンクリート	承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
ALC@100	照査	篠原	
	照査	御厨	図面名称 3階 平面図
(▽ 仕上面 ▼ コンクリート天端)	設計	岩崎	
	製図	田島	
	設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	A 16		△
出図年月日		整理番号	

記号	記事	署名	年月日
△			

吹抜

吹抜

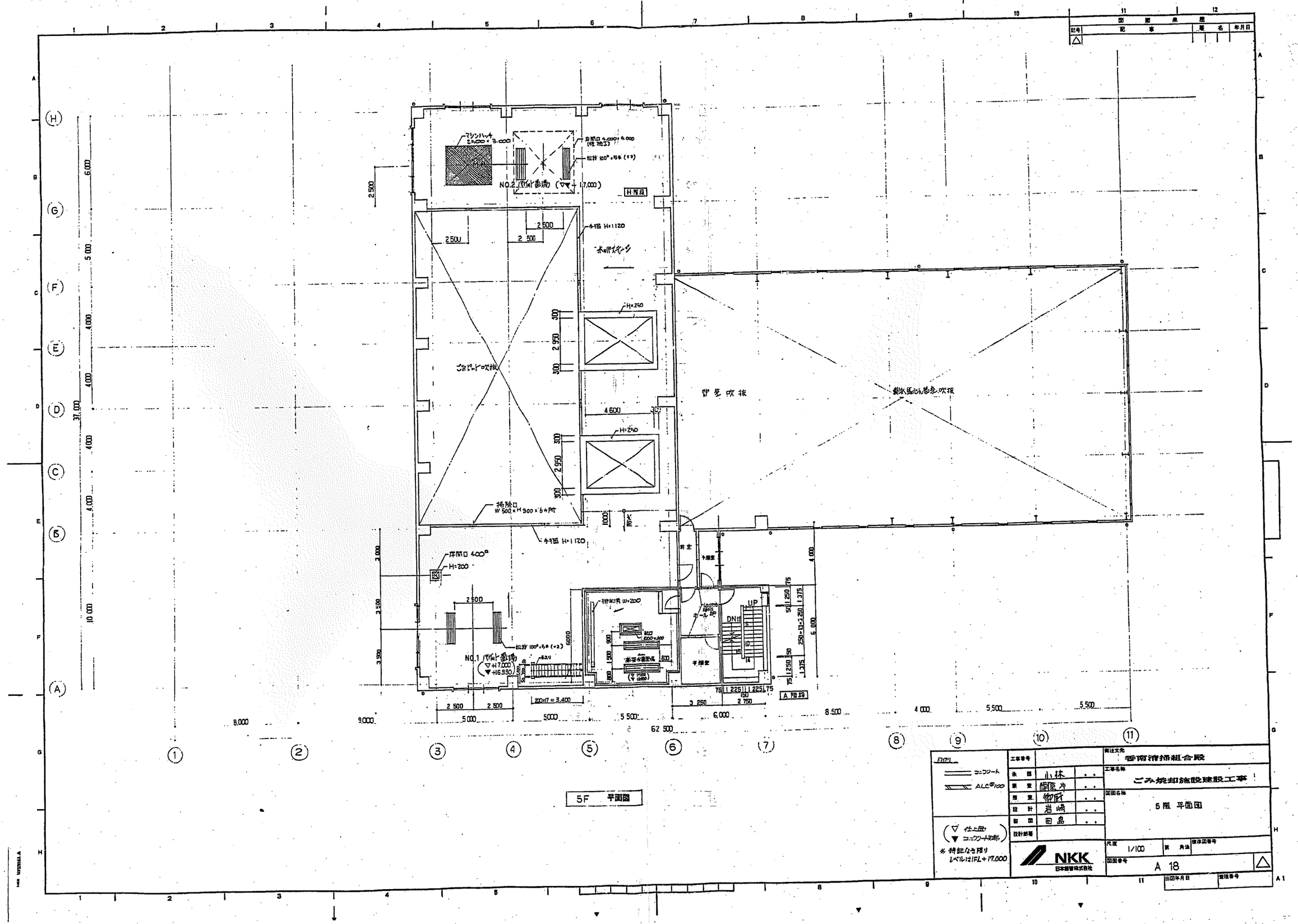
吹抜

吹抜

屋根
(アスファルト防水
(上押えコンクリート)

屋根
(アスファルト防水
(上押えコンクリート)

屋根
(アスファルト防水
(上押えコンクリート)



図面表示	記号	記事	署名	年月日
	△			

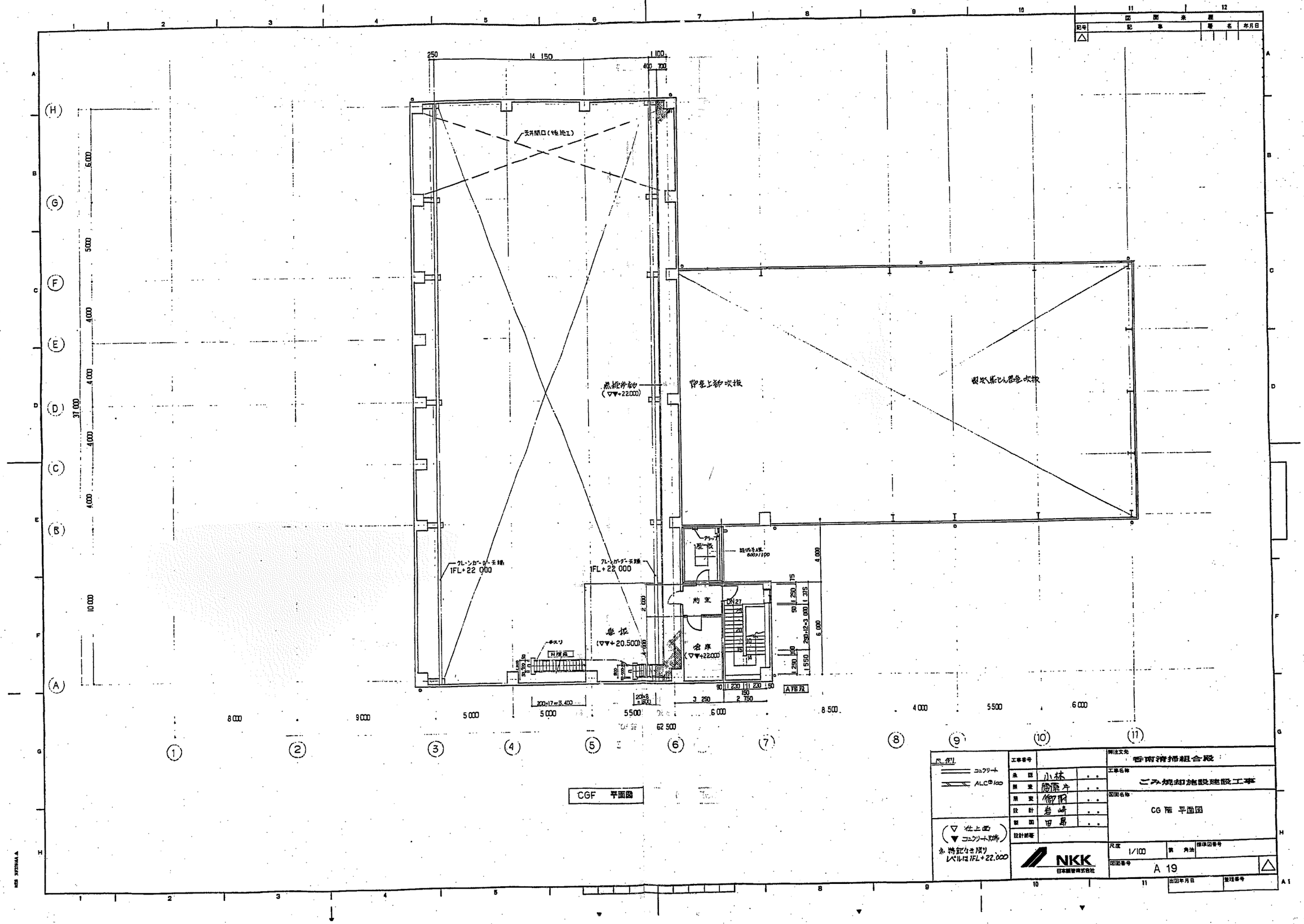
工事番号		
承認	小林	
監査	関東片	
監査	御厨	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部署		

FIGURE
コンクリート
ALC@100

(▽ 仕上面 ▼ コンクリート天端)
※ 特記なき限り レベルはIFL+17,000

NKK 日本鋼管株式会社

関連文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	5階 平面図
尺度	1/100
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 18
出図年月日	
整理番号	



図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

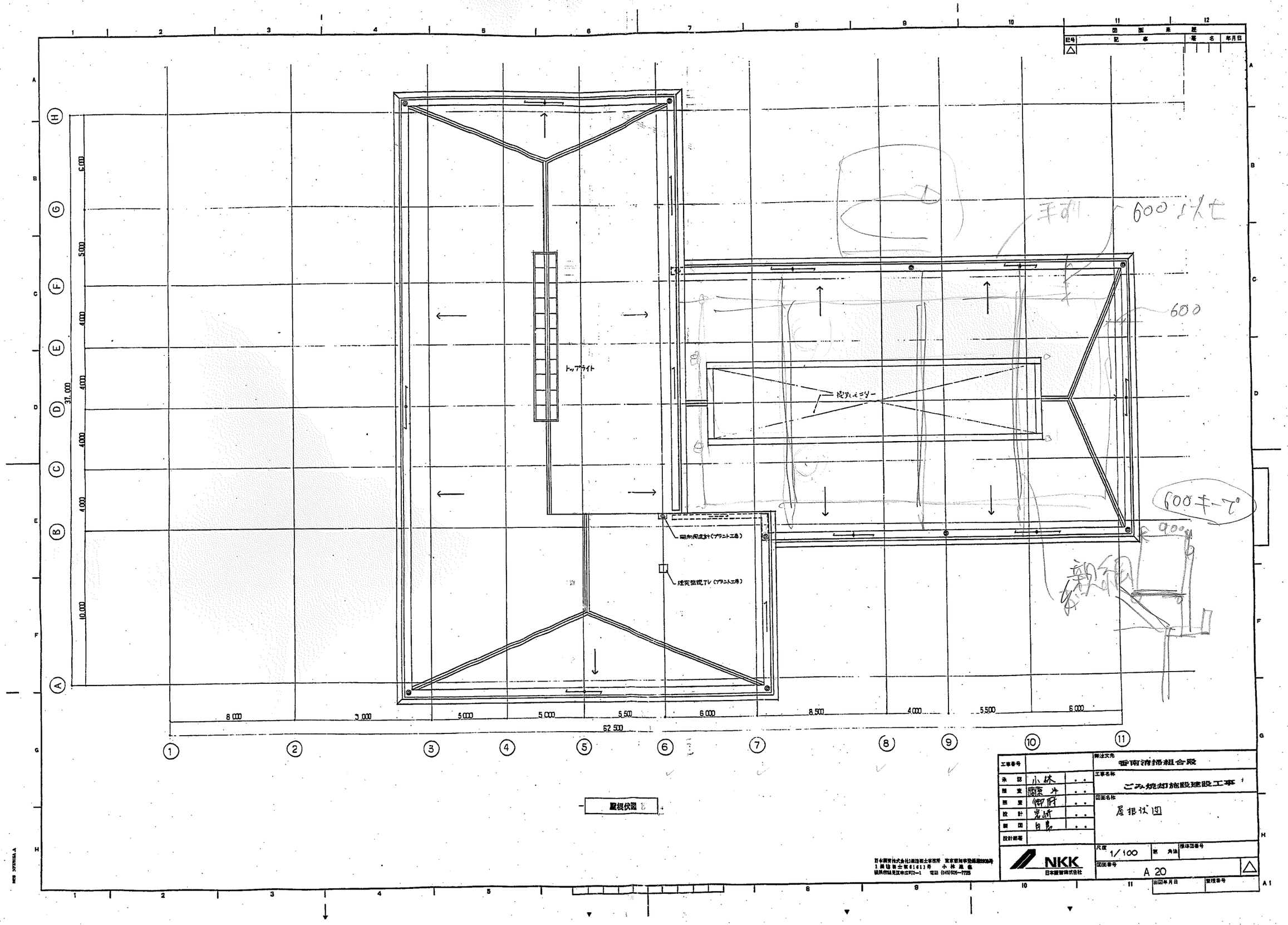
凡例
コンクリート
ALC@100

(▽ 仕上面
▼ コンクリート天端)
※ 特記なき限り
レベルは1FL+22.000

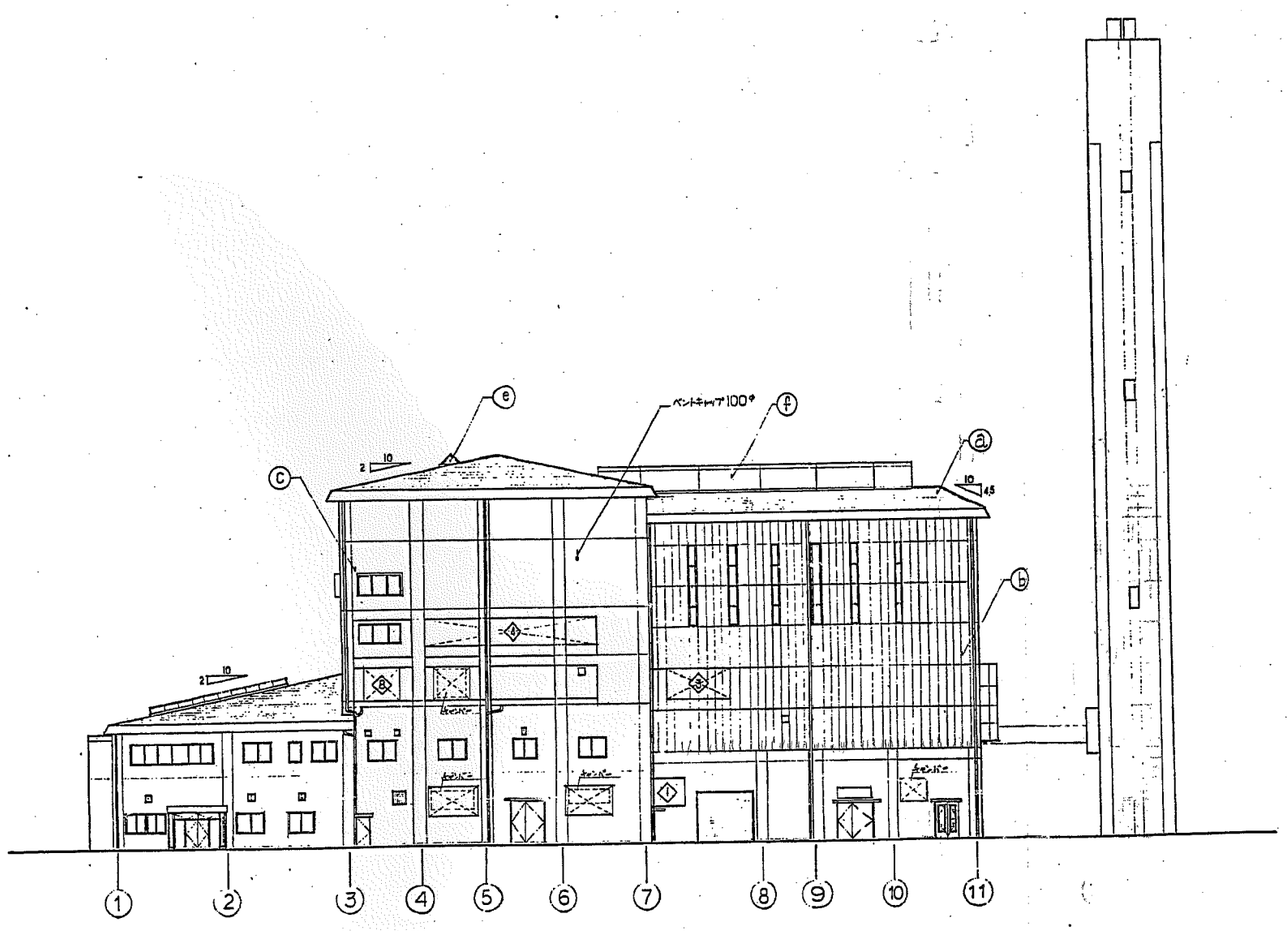
工事番号		
承認	小林	
所要	藤原片	
所要	御厨	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

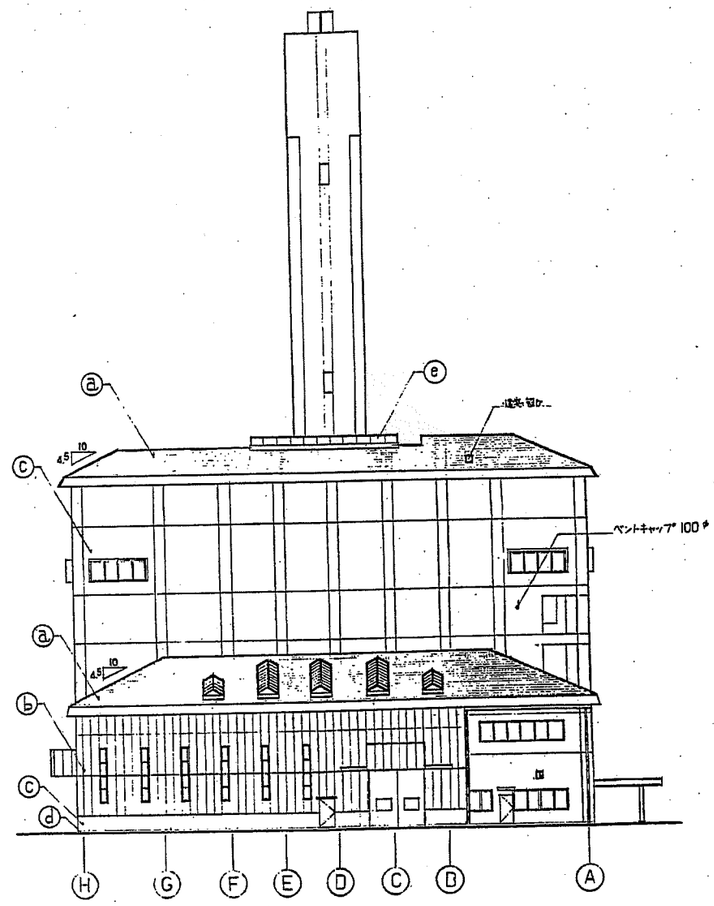
御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	CG 階 平面図
尺度	1/100
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 19
出図年月日	
整理番号	



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原		
照査	御厨	図面名称	屋根伏図
設計	岩崎		
製図	白島		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/100
		図面番号	A 20



東側立面図



南側立面図

ⓐ	アスファルトルーフィング葺き
ⓑ	ALC版@100の上アクリル系吹付タイル
ⓒ	コンクリート打放しの上アクリル系吹付タイル
ⓓ	コンクリート打放し
ⓔ	トップライト
ⓕ	トップライト付モニター

※◇チャンバーは機械図参照

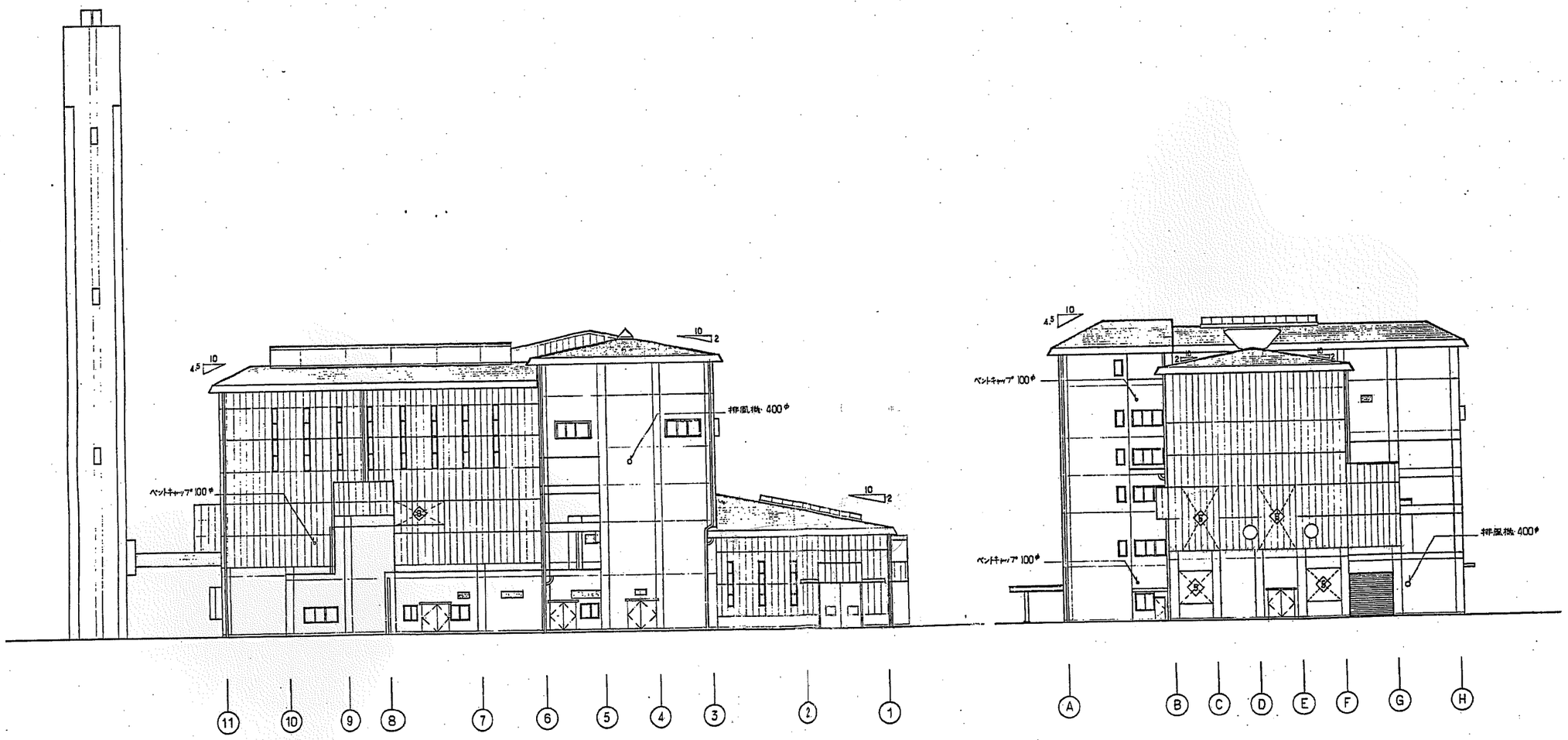
工事番号		
承認	小林	
監査	藤原	
監査	御厨	
設計	岩崎	
製図	日島	
設計部番		

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	立面図(1)
尺度	1/200
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 21
出図年月日	
整理番号	

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2308号
1級建築士第61611号 小林 進 電
横浜市鶴見区末広町2-1 〒232 (045)505-7725

記号	記事	署名	年月日
△			



西側立面図

北側立面図

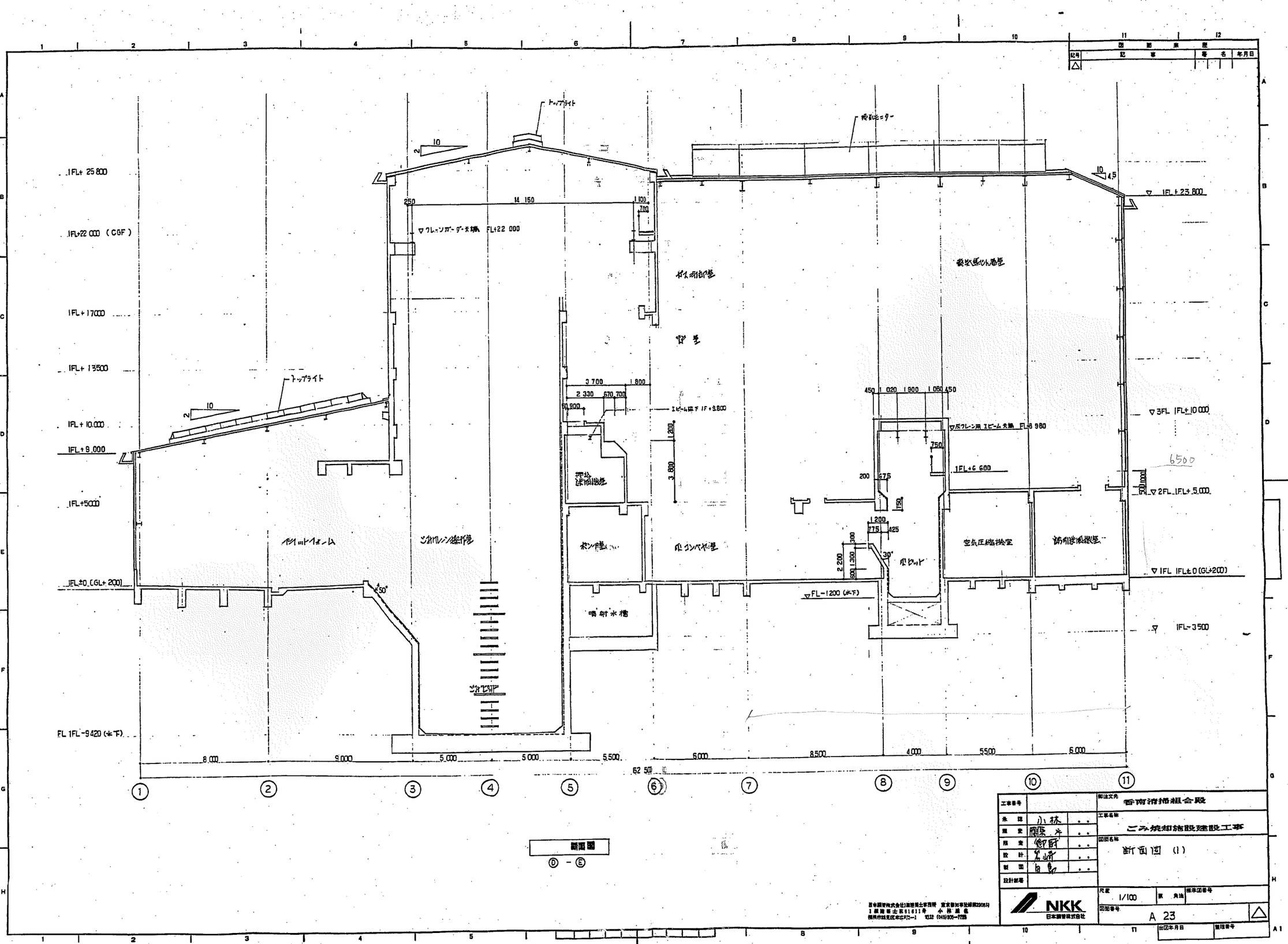
※◇チャンバーは標準詳細図参照

工事番号		
承認	小林	
照査	藤原	
照査	御厨	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部番		

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	立面図 (2)
尺度	1/200
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 22
出図年月日	
受理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第41811号 小林通信
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7728



断面図
Ⓓ - Ⓔ

工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鷹原	図面名称	断面図 (1)
照査	鄭		
設計	名嶋		
製図	白島		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

尺度 1/100 | 第 角法 | 標準図番号

図面番号 A 23

出図年月日 | 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

▽ 1FL+25.800
▽ 1FL+22.000
▽ 1FL+17.000
▽ 1FL+13.500
▽ 1FL+10.000
▽ 1FL+5.000
▽ 1FL±0 (GL±200)
△ GL±0
▽ 1FL-9.420

NO.1 ﾊﾟｯﾄ置場
NO.2 ﾊﾟｯﾄ置場
探傷制御室
除水機室
灰処理制御盤室
ｺﾝﾄﾛｰﾙ室
ｺﾝﾄﾛｰﾙ室
ｸﾚｰﾝ制御室
電気室
便所
ｸﾚｰﾝ操作室
ごみピット
ごみ投入ホッパ
ごみピット排水ポンプ槽
灰ピット
灰出し車搬入口
灰ピット
灰出し車搬入口
通路
ﾊﾟｯﾄ置場
一般外ﾚﾍﾞﾙﾁｪｰﾝ
通路
各室
灰ピット
灰出し車搬入口
灰搬出場
灰出し車搬入口

1.0
▽ 1FL+14.500 (パラペット天端)
▽ 3FL 1FL+10.000
▽ 2FL 1FL+5.000
▽ 1FL 1FL±0(GL+200)

1600, 300, 1700, 400
2,200
1,100
2,500
2700
2,300
2,500
3000
400

10.000
4 000
4 000
4 000
4 000
5 000
6000
37 000
4 000
4 000
4 000
4 000
5 000
21 000

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ Ⓗ

断面図
③-④

断面図
⑧-⑨

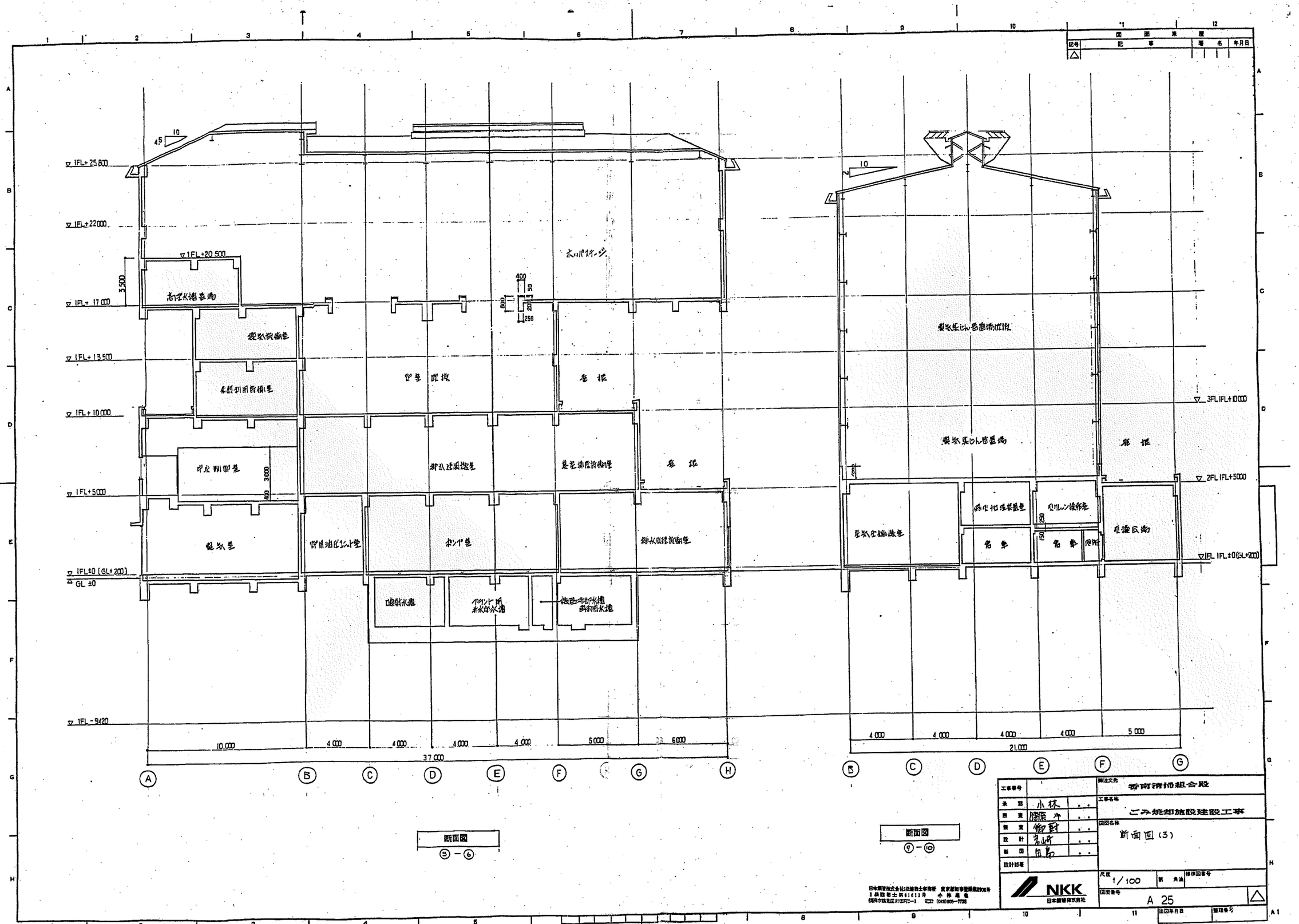
日本設計株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第3008号
1級建築士第61611号 小林 雄亀
横浜市西区花咲町2-1 電話 (045)505-7725

工事番号	
承認	小林
照査	勝原
照査	御所
設計	名波
製図	田島
設計組等	

NKK 日本鋼管株式会社

発注官庁	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	断面図 (2)
尺度	1/100
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 24 △
出図年月日	
整理番号	

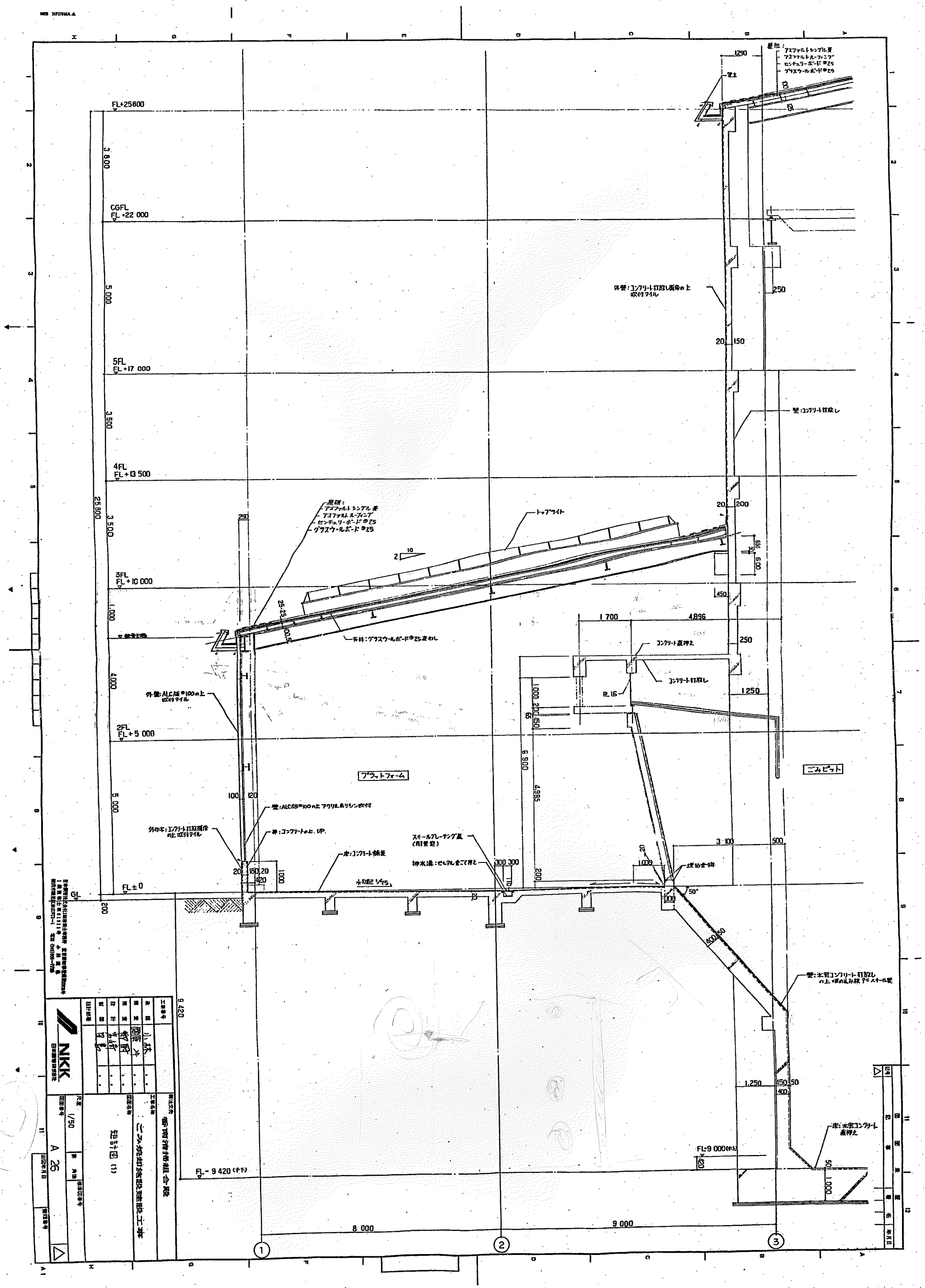
A1



工事番号		
承認	小林	
照査	鴻巣	
製査	御野	
設計	名崎	
製図	自島	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	断面図(3)
尺度	1/100
図面番号	A 25
出図年月日	



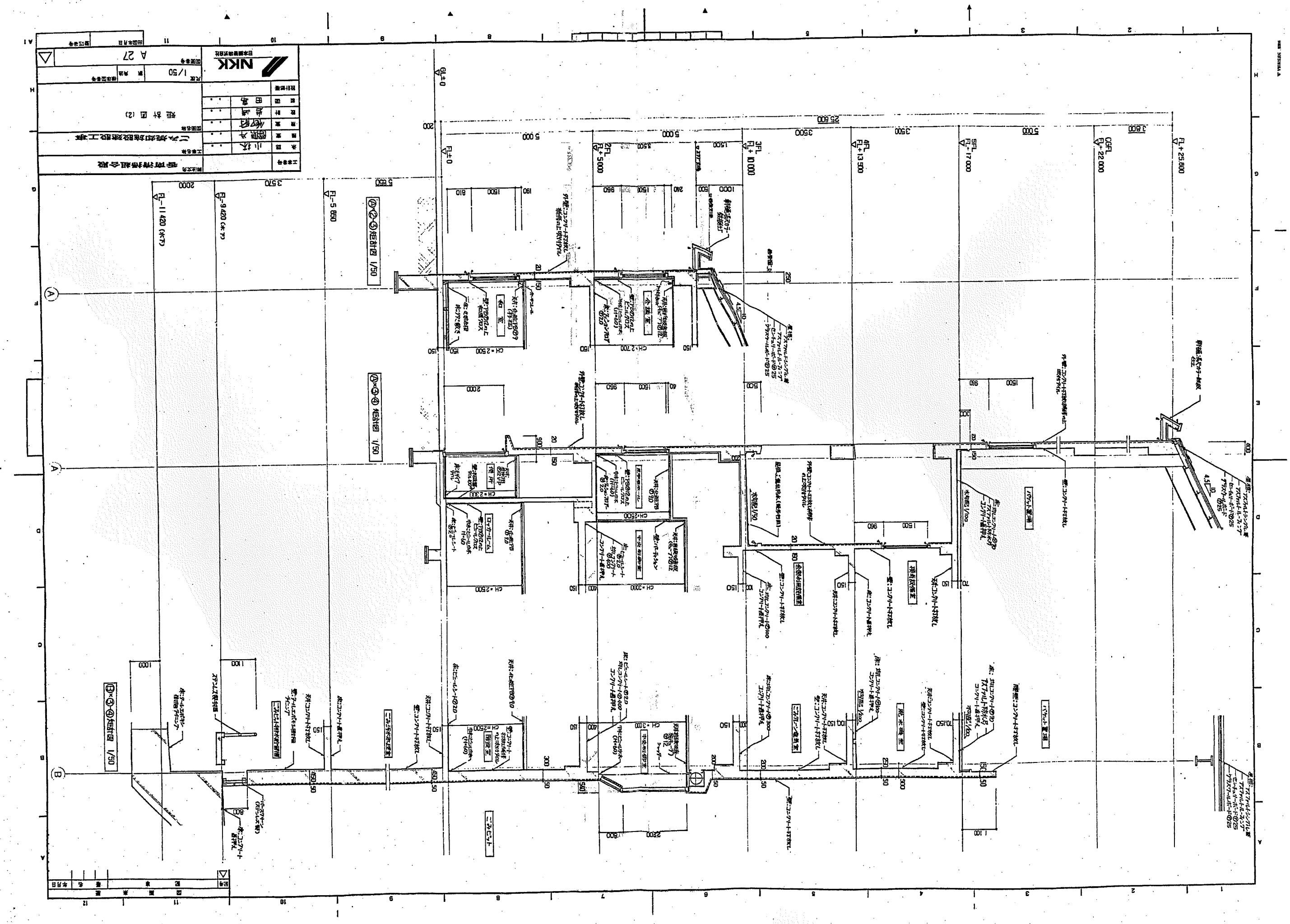
工事番号	
承認	小林
照査	藤原 斉
照査	柳原
設計	弟子
製図	冨
設計部署	

NKK 日本鋼管株式会社

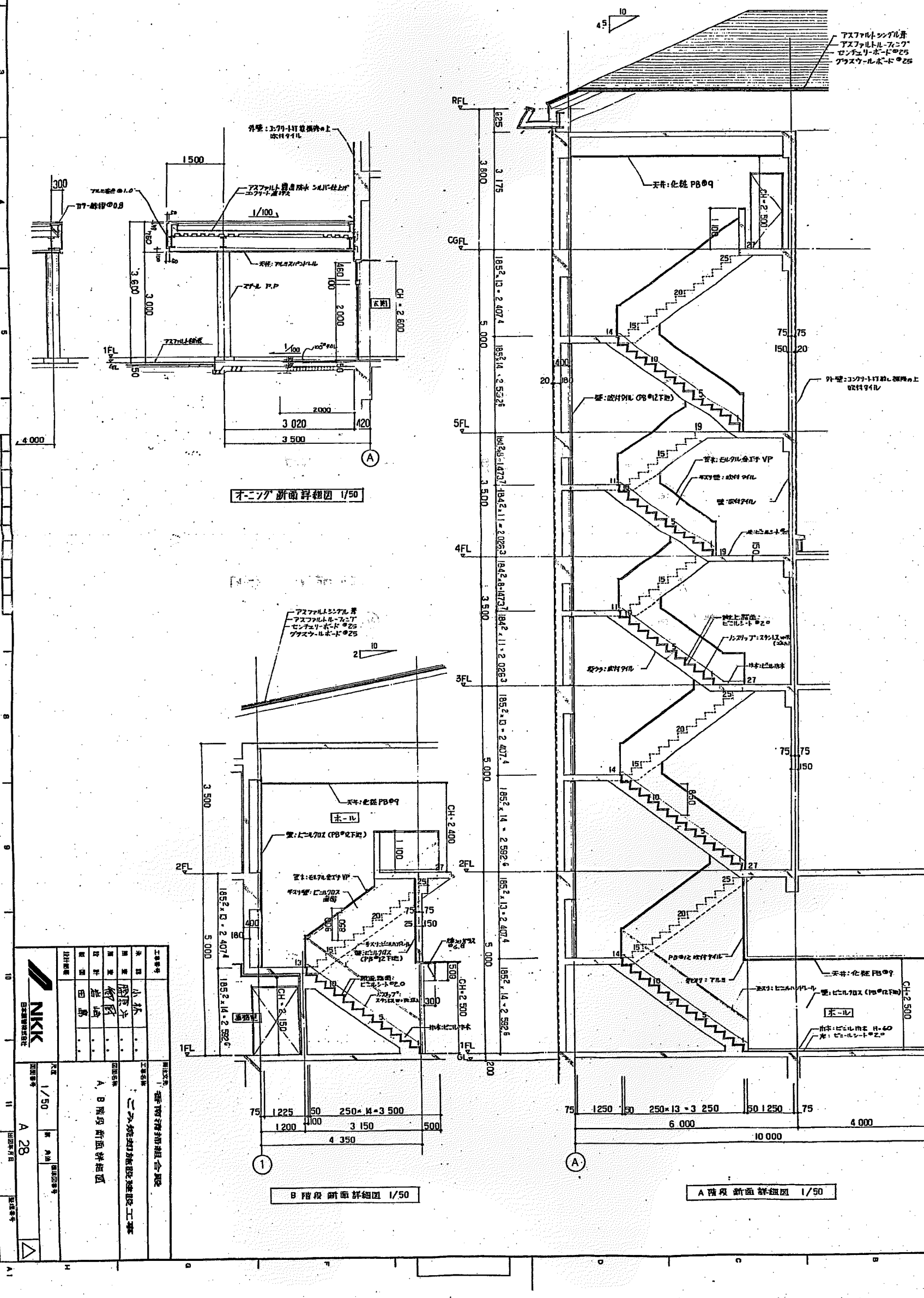
尺度	1/50
図面番号	A 26
新 角法	
標準図番号	
出図年月日	
整理番号	

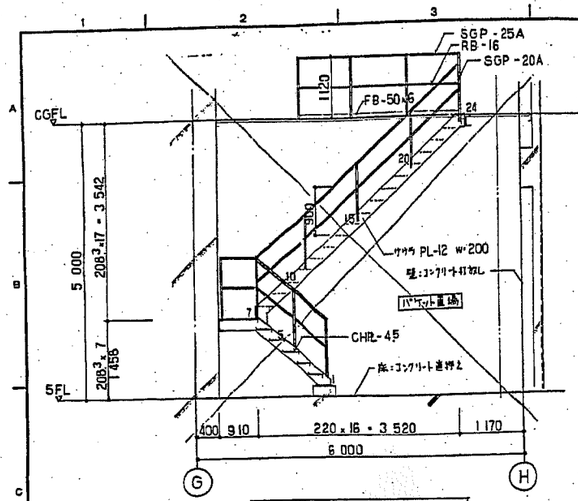
工事名称	雨水排水組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	矩計図 (1)

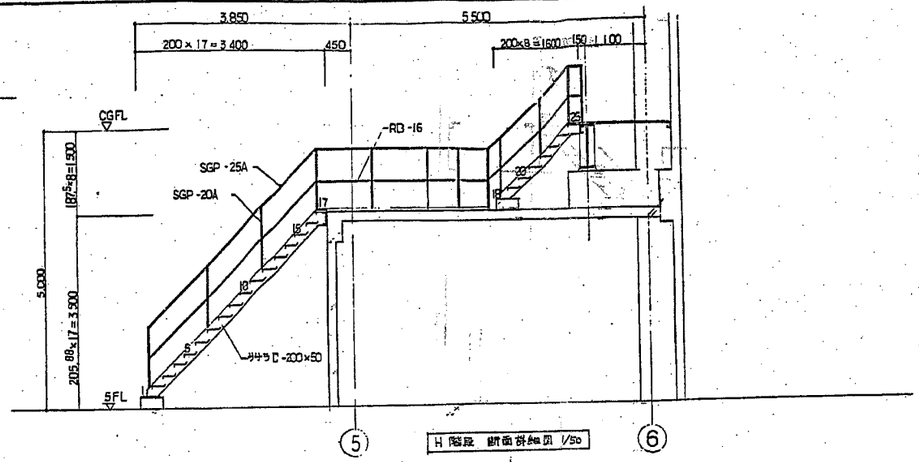
図面	年月日
記事	
図面	来歴
記号	



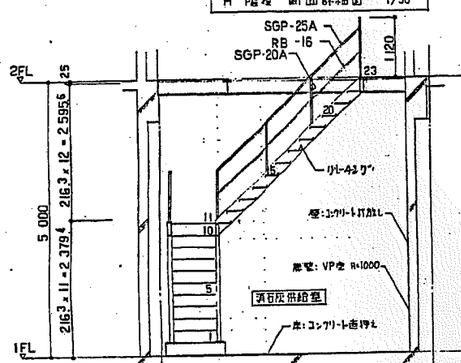
NKK
日本国際株式会社
A 27
1/50


オーニング断面詳細図 1/50
B 階段 断面詳細図 1/50
A 階段 断面詳細図 1/50
アスファルトシングル葺
アスファルトルーフィング
センチュリーボード ®25
グラスウールボード ®25
外壁：コンクリート打放し補修の上 吹付タイル
天井：化粧 PB®9
壁：ビニルクロス (PB®12下地)
ホール
CH=2 600
CH=2 500
CH=2 400
CH=2 150
1FL
2FL
3FL
4FL
5FL
CGFL
RFL
GL
A 4 000
3 500
3 020
2 000
420
1 500
300
3 600
3 000
2 000
460
100
150
50
1/100
3 800
3 175
5 000
3 500
2 407.4
2 592.6
2 025.3
1 473.7
1 841.1
1 841.3
1 841.5
1 841.7
1 841.9
1 842.1
1 842.3
1 842.5
1 842.7
1 842.9
1 843.1
1 843.3
1 843.5
1 843.7
1 843.9
1 844.1
1 844.3
1 844.5
1 844.7
1 844.9
1

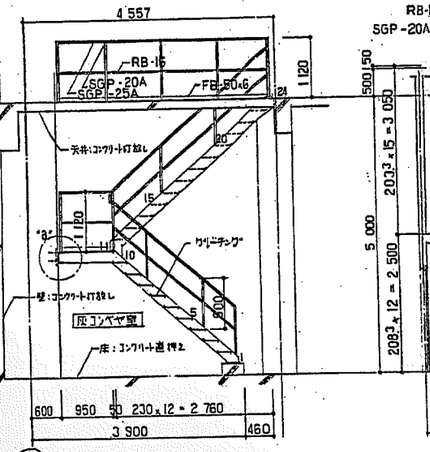




H 階段 断面詳細図 1/50



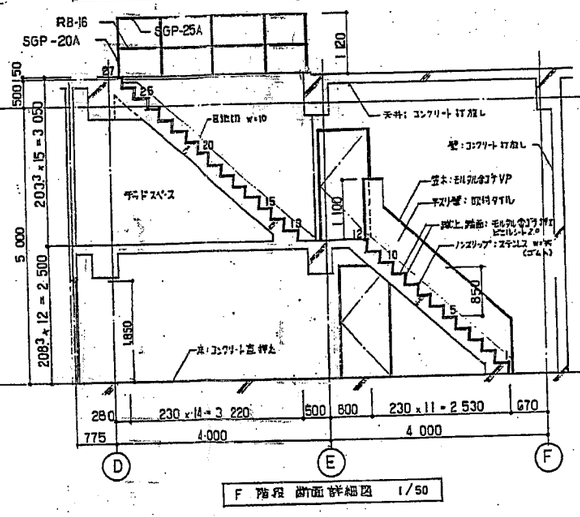
D 階段 断面詳細図 1/50



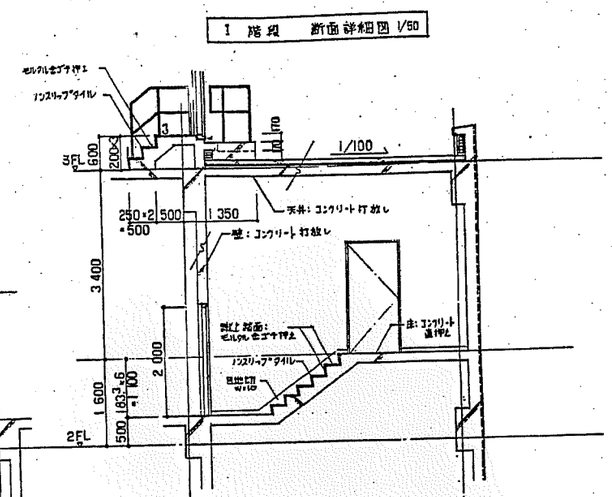
E 階段 断面詳細図 1/50

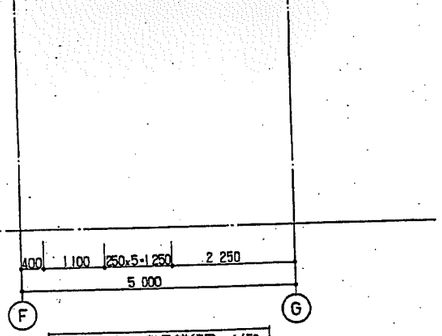
(※D,E階段はコーンセントと仕様を合わせる事)

H 階段 断面詳細図 1/50

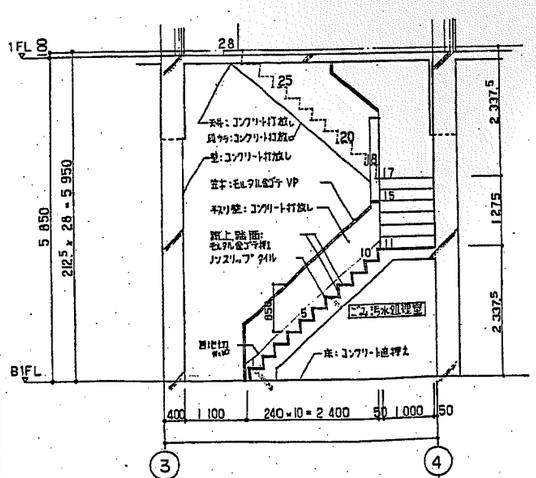


F 階段 断面詳細図 1/50

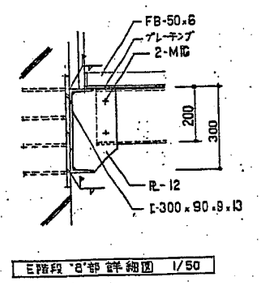




G 階段 断面詳細図 1/50



C 階段 断面詳細図 1/50

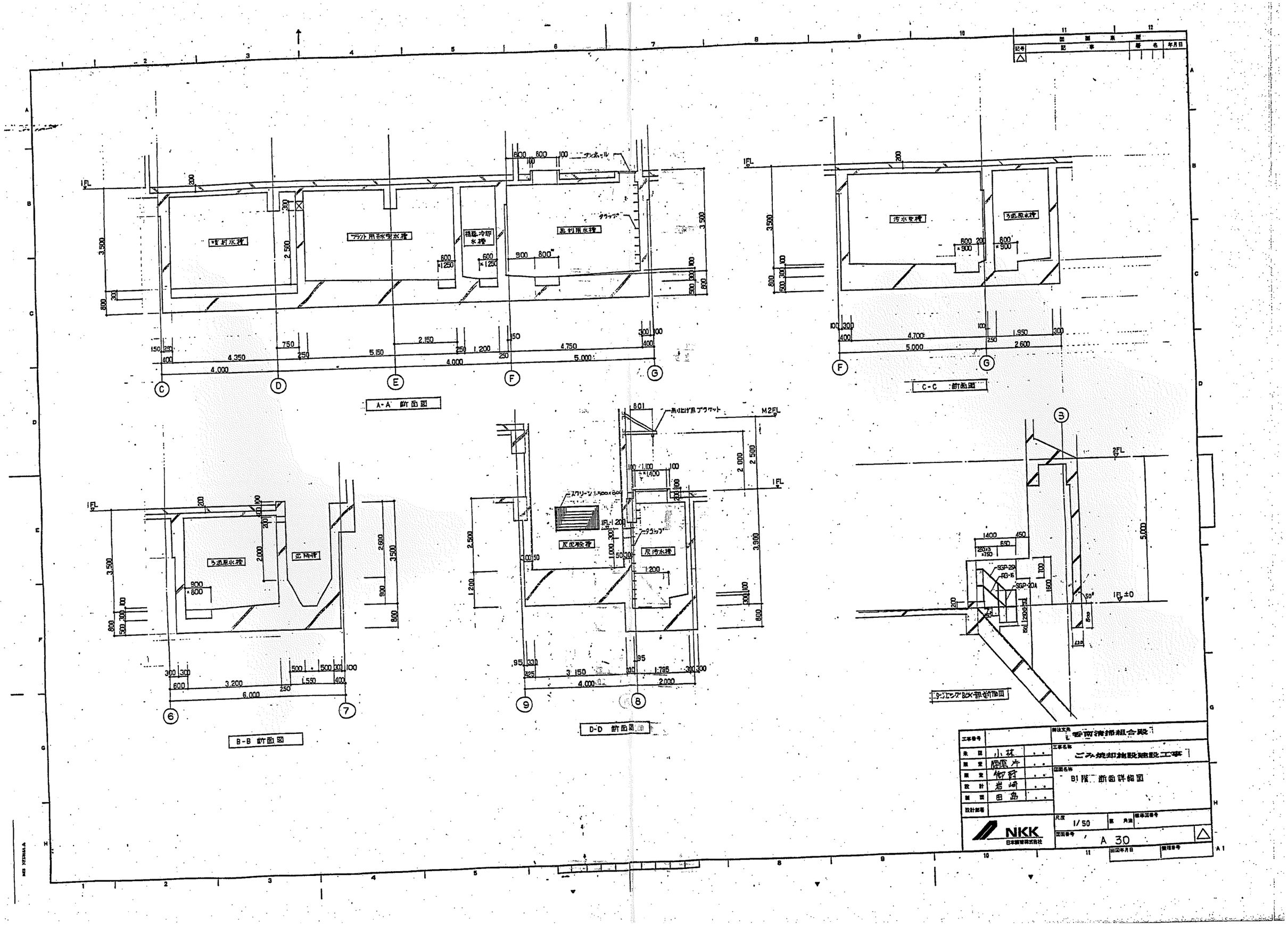


E階段 "G"部 詳細図 1/50

※ 階段鉄筋は、SOPとする

工事番号		発注文名	吉岡清掃組合殿
所長	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
副室	幅原		
課室	御所	図面名称	雑階段 断面詳細図
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署		尺度	1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	A 29

記号	図面来歴 記事	署名	年月日
△			



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鹿原片	図面名称	B1階 断面詳細図
照査	御厨		
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署		尺度	1/50
		図面番号	A 30

NKK 日本鋼管株式会社

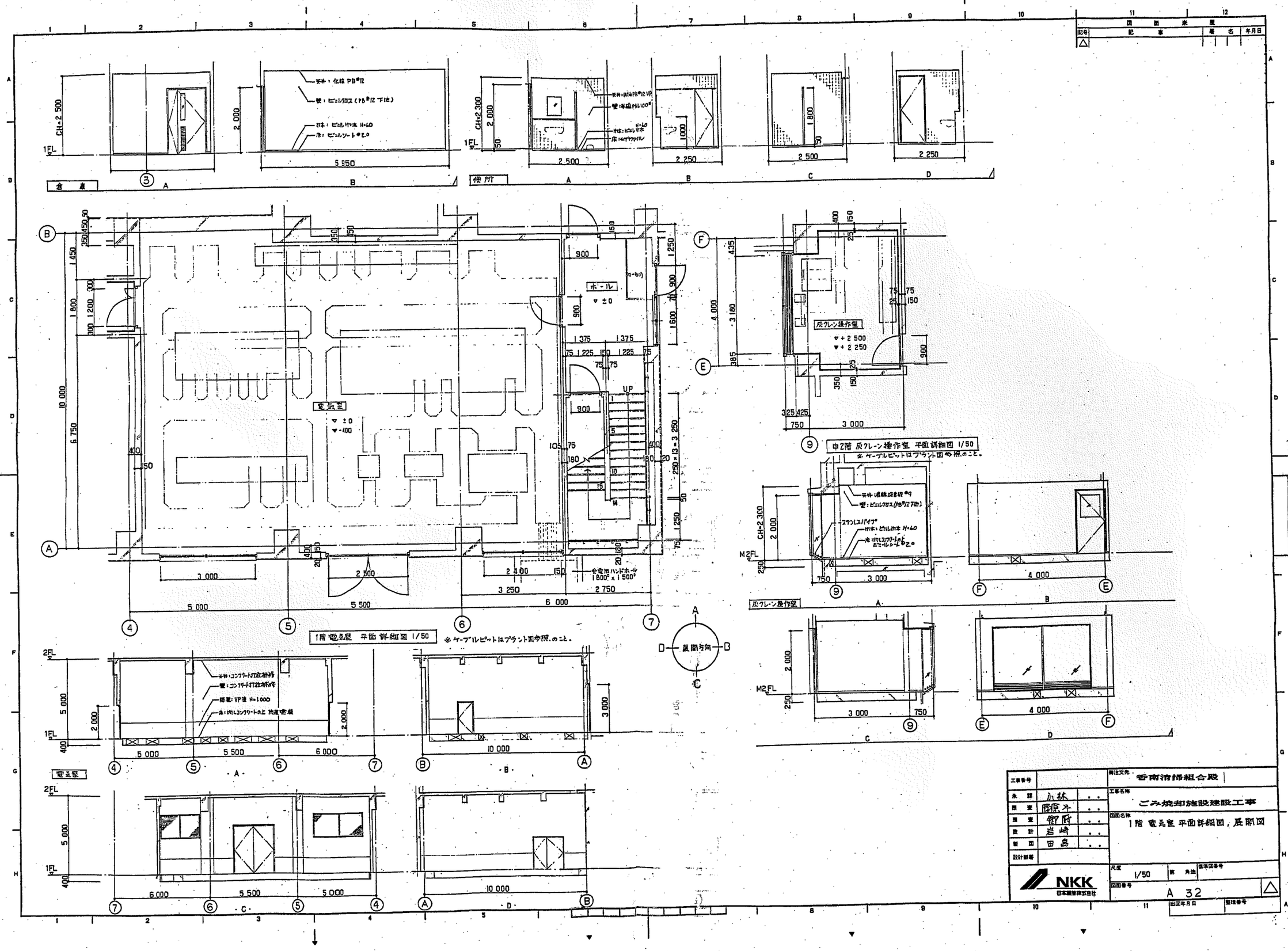
1階 管理棟 平面詳細図 1/50

▽は特記なき限り FL±0

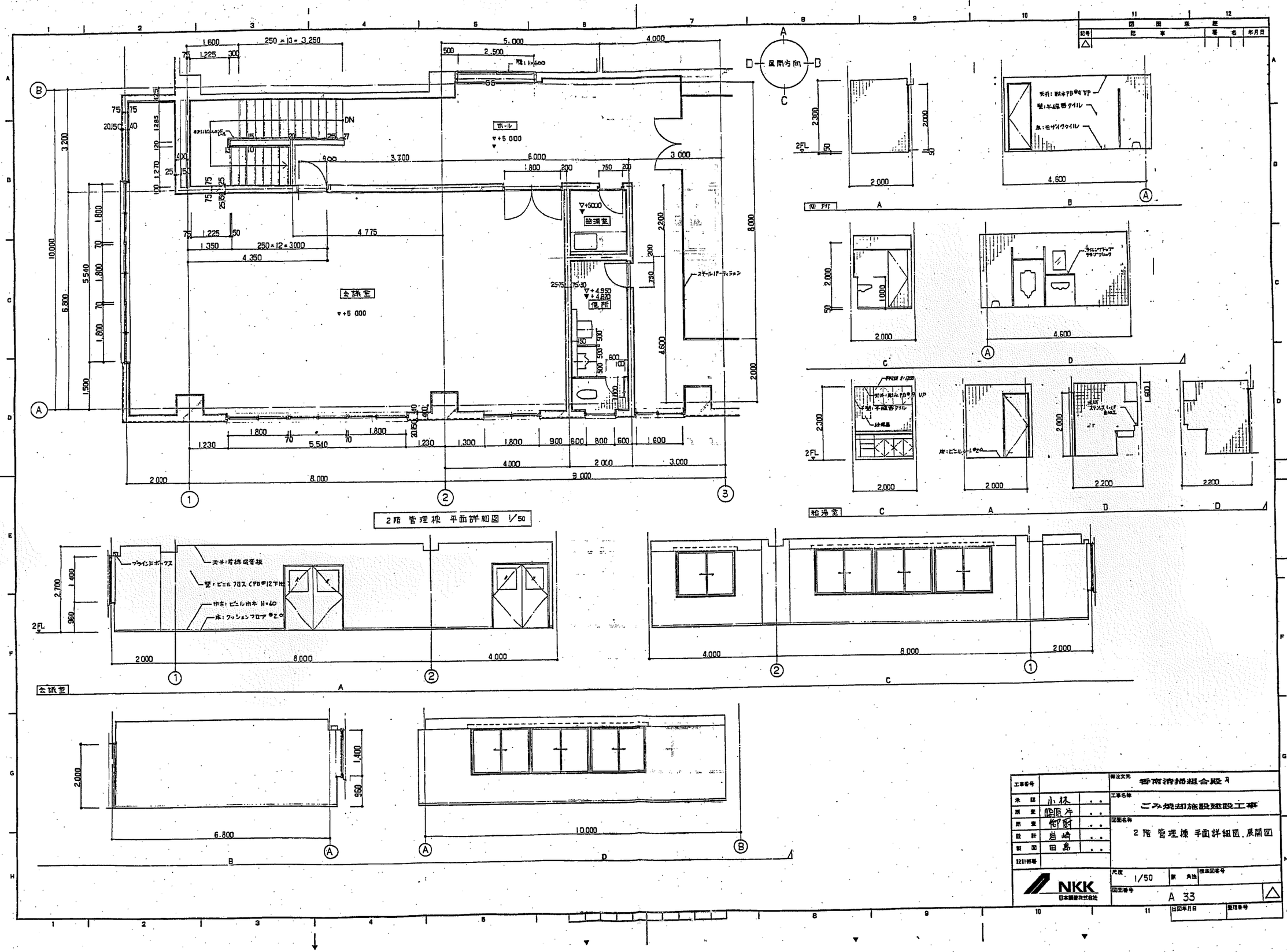
図面来歴			
記号	記事	事名	年月日
△			

工事番号	
発注元	香南清掃組合殿
承認	小林
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	関屋片
照査	御厨
設計	岩崎
製図	田島
図面名称	1階 管理棟 平面詳細図,展開図
設計部署	
尺度	1/50
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 31
出図年月日	
整理番号	

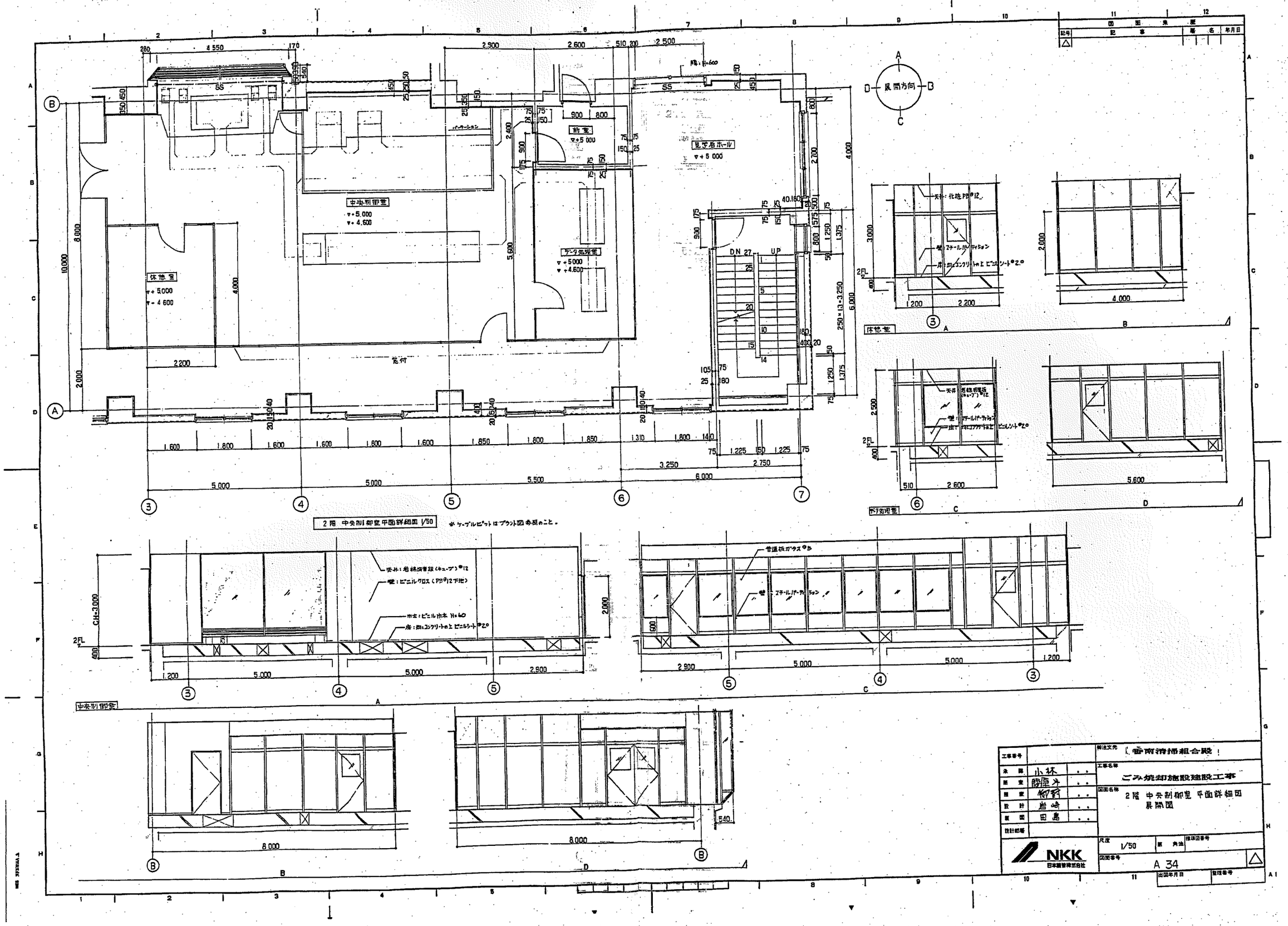
NKK 日本鋼管株式会社



工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	原井		
照査	御厨	図面名称	1階 電気室 平面詳細図，展開図
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/50
		図面番号	A 32



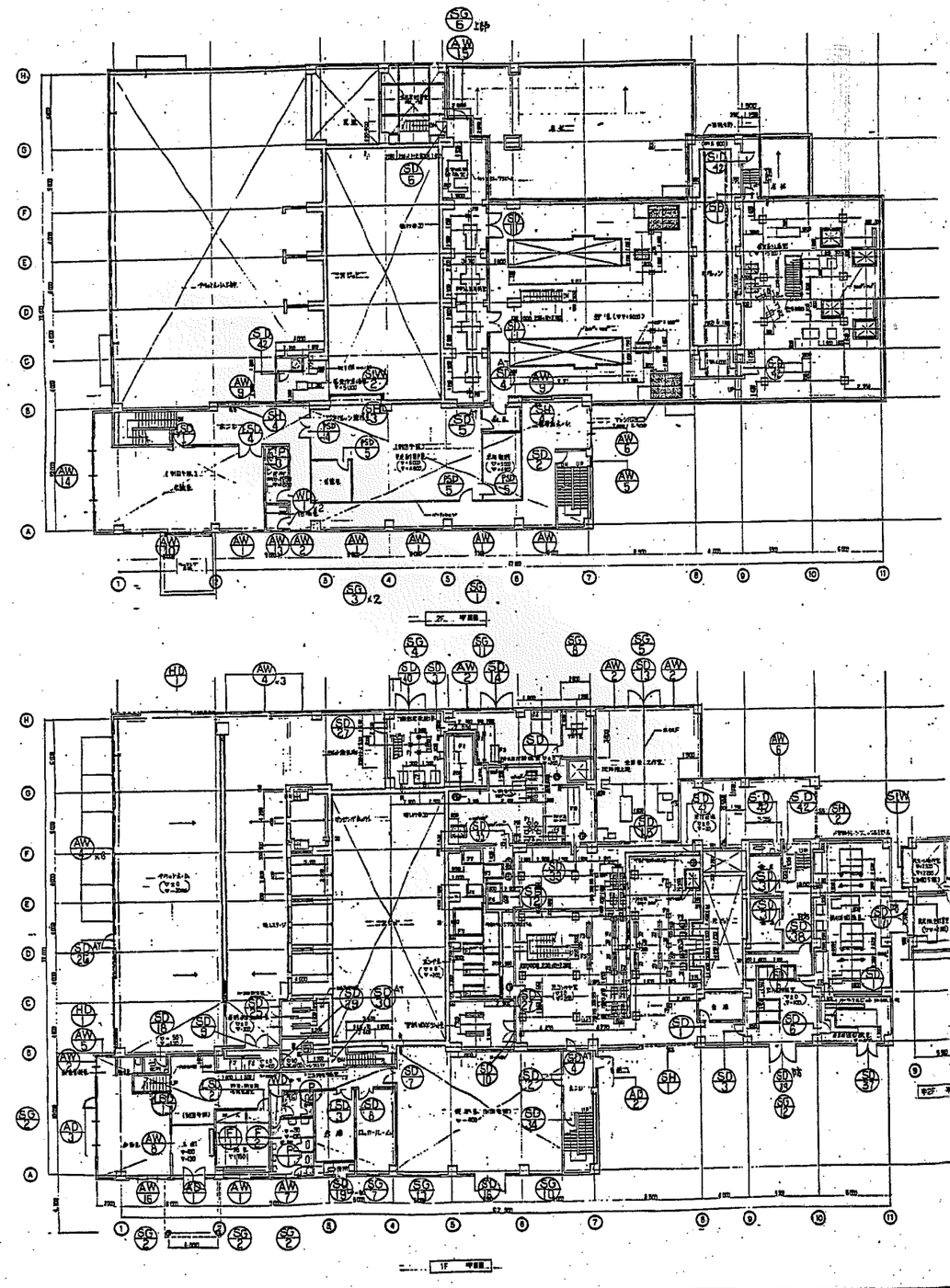
工事番号		構造文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
原案	脇原片		
原案	御厨	図面名称	2階 管理棟 平面詳細図,展開図
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	新角法 / 標準図番号
		図面番号	A 33
		出図年月日	整理番号

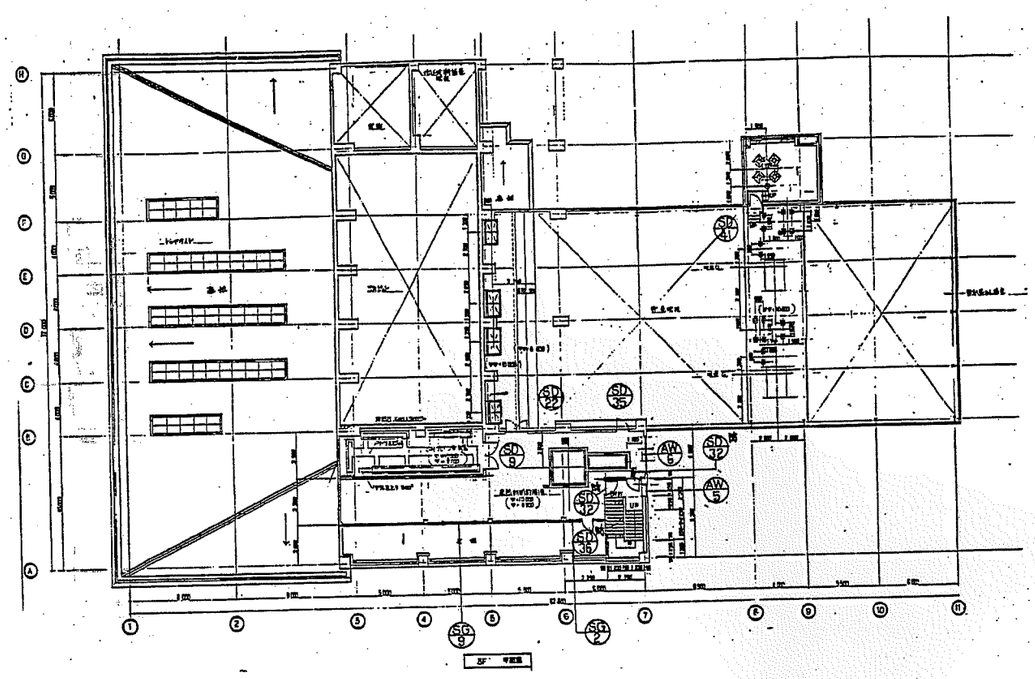


工事番号		
承認	小林	
照査	勝原	
照査	御野	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	2階 中央制御室 平面詳細図 展開図
尺度	1/50
原 角法	
標準図番号	
図面番号	A 34
出図年月日	
整理番号	



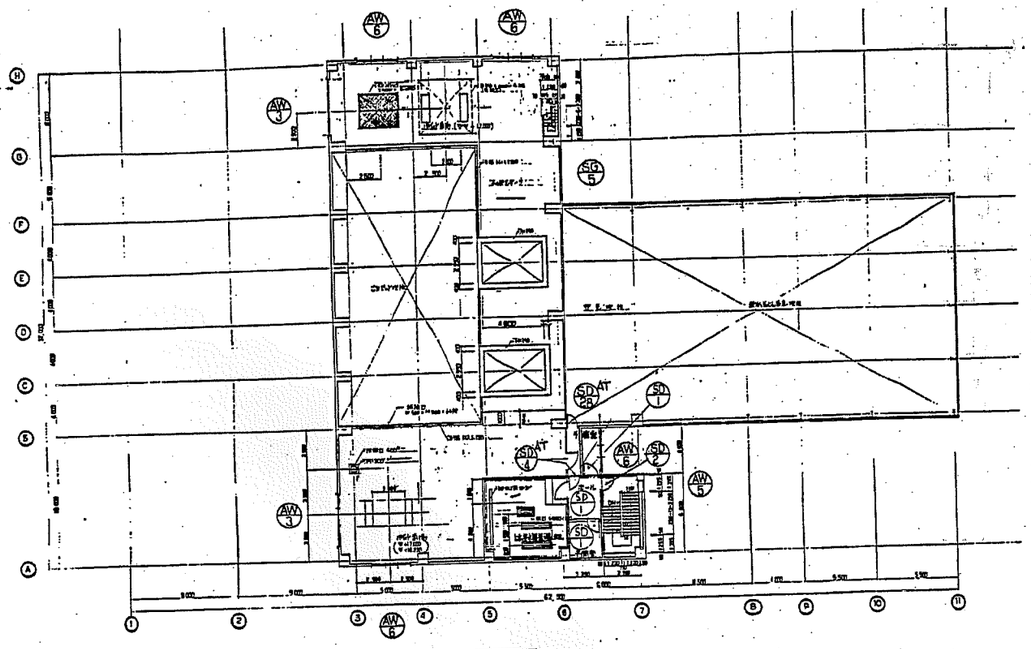


工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鍋原 片	図面名称	建具配置図（1）
審査	御厨		
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署			

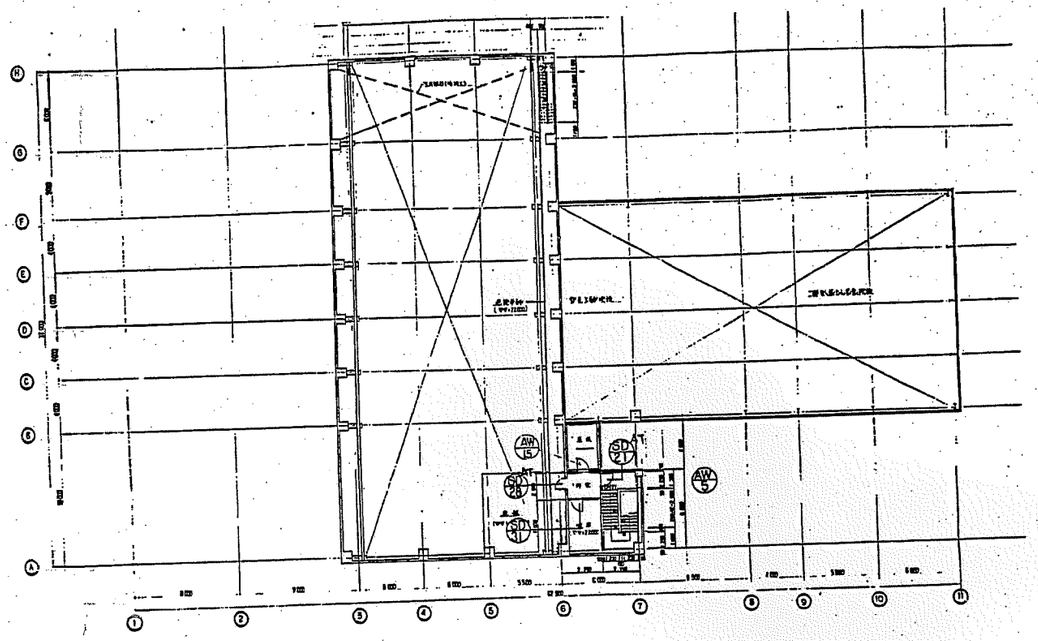
NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/200	第 角法	標準図番号
図面番号	A 35		
出図年月日		整理番号	

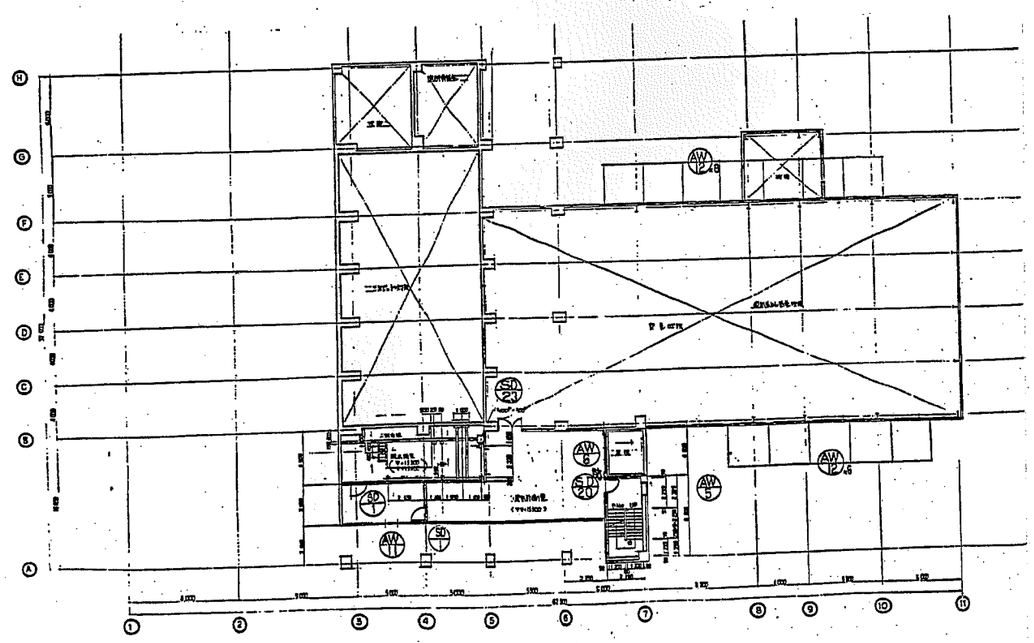
図番	記事	署名	年月日
△			



5F 平面図



CGF. 平面図



6F 平面図

工事番号		関連文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	岡屋	図面名称	建具配置図 (2)
照査	御厨		
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署		尺度	1/200
		図面番号	A 36
		出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

図面来歴

記号	記事	署名	年月日
△			

建具記号 A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 C1 C2 C3 C4 C5 C6 D1 E1 F1 M1 M2 M3 M4 M5 M6 M7 M8 M9 M10 N1 S1 S2 特記

一般事項（特記のほか下記による）

1. 扉は指定の無い限り両面フラッシュとする。
2. プレス戸・アングル戸・鋼製建具戸（SD）及び枠のみは特記に指示する。
3. マスターキー 要・不要 グランドマスターキー 要・不要
4. ゆき戸ガラリの材質・仕上は指定の無い場合扉と同一とする。
5. ドアクローザーは指定の無い場合原則パラレルとする。
6. 併用ブース扉及びパトリーセンシロミライトリークラッチ、戸当り埋子錠位置など。
7. 防煙たれ壁の記号・明細の場所は特記に指示する。
8. シャッターの座屈及び巻上げ方式は特記に記入する。
9. 軽量シャッター、リンググリルシャッターは特記事項のほかとする。
10. 室の別扉金物一式は、下記のものとする。

室名	対象金物一式
引違い・片引戸	戸当、レール、召合、
片開き	丁番、錠ケース、とって、ドアチェック、
自動扉	ピボットヒンジ、召合、とって、ドアチェック、
吊戸扉	ピボットヒンジ、召合、とって、ストッパー、
マサ目扉	ピボットヒンジ、召合、とって、マサ目扉レール
突出し、内倒し、外倒し	丁番、召合、とって、ストッパー、

記号のない建具の扉を指示し、建具符号を明記する。

符号	建具記号	設置場所 階	室名	施錠	寸法 W	H	D	個数	建具 種類	仕上	枠(ガイド枠) 形状	材質	塗装	ガラス 種類	寸法(mm)	形状	くつ摺 形状	材質	吸音率	錠前関連金物	建具金物類	操作金物	その他	備考
SD 1	A1	1 2 2F	倉庫、エアー圧縮機室、ボイラー室、ポンプ室、ブロワー室、ディーゼル発電機室		900	2 000	40 100	10	片開き SOP		B SOP						C St	H3	○	○	○	○	○	
SD 2	A1	1, 2, 2F	階段室	甲	900	2 000	40 100	3	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 3	A1	1	空気圧縮機室、排水処理機室		900	2 000	40 100	2	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 4 AT	A1	1 2 5	排水処理脱臭機室、ホール、倉庫、前室	甲	900	2 000	40 100	3	片開き SOP 防音扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	AT
SD 5 AT	A1	2 5	倉庫、前室	甲	900	2 000	40 100	2	片開き SOP 防臭扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	AT
SD 6	A1	1 2	排水処理脱臭機室、非常用発電機室、押込送風機室		900	2 000	40 100	3	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 7	C1	1	廊下		1 200	2 000	40 100	1	親子開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 8	C1	1	倉庫		1 200	2 000	40 100	1	親子開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 9	B1	1 2	給気、排気制御機械室、ディーゼル発電室		1 800	2 500	40 100	2	両開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 10	B1	1	灯油油圧ユニット室		1 800	2 500	40 100	1	両開き SOP 防音扉		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 11	B1	2	押込送風機室 $*_2$		1 800	2 000	40 100	2	両開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 12	B1	1	ポンプ室		1 800	2 500	40 100	1	両開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 13	B1	1	倉庫・工作室		2 500	2 500	40 100	1	両開き SOP		E SOP						E St	H	○	○	○	○	○	
SD 14	B1	1	排水処理脱臭機室		2 500	2 500	40 100	1	両開き SOP		B SOP						E St	H	○	○	○	○	○	
SD 15	B1	1	倉庫・工作室	甲	2 500	2 500	40 100	1	両開き SOP		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	ロックウール充填
SD 16	B1	1	電気室		2 500	3 000	50 100	1	両開き SOP		B SOP						E St	H	○	○	○	○	○	
SD 17	B1	1	誘引送風機室		2 500	2 500	50 150	1	両開き SOP 防音扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	ロックウール充填
SD 18	A2	1	便所	甲	750	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP	FWG 6.8					G St	H	○	○	○	○	○	
SD 19	A4	1	便所		900	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP	FG 4	A, S				E St	H	○	○	○	○	○	
SD 20	A1	4	階段室	甲	900	2 000	150 150	1	片開き SOP 防音扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	ロックウール充填

符号	建具記号	設置場所 階	室名	施錠	寸法 W	H	D	個数	建具 種類	仕上	枠(ガイド枠) 形状	材質	塗装	ガラス 種類	寸法(mm)	形状	くつ摺 形状	材質	吸音率	錠前関連金物	建具金物類	操作金物	その他	備考
SD 21	A1	CG 1F	前室	甲	900	2 000	40 100	1	片開き SOP 防臭扉		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 22	B1	3	余熱利用設備室	甲	1800	2 500	40 100	1	両開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 23	B1	4	機械設備室	甲	1 800	2 500	40 100	1	両開き SOP 防音扉		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 24	A2	H2	炉ルーム操作室		900	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 25	B1	1	灰処理エリア室		1 800	2 000	40 100	1	両開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 26	A1	1	プラットホーム		900	2 000	40 100	1	片開き SOP 防臭扉		B SOP						E St	H	○	○	○	○	○	
SD 27	A1	1 1	薬品供給室 ポンプ室		900	2 000	40 100	2	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 28	A1	5 CGF	ホール 前室	甲	900	2 000	40 100	2	片開き SOP 防臭扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	AT
SD 29	A1	1	ごみ投入通室		900	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 30	A1	1	ごみ投入通室		900	2 000	40 100	1	片開き SOP 誘導扉		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	AT
SD 31	A1	1 CGF	倉庫 $*_2$ 倉庫		900	2 000	40 100	3	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 32	A1	3	階段室 $*_2$	甲	900	2 000	50 150	2	片開き SOP 防音扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	ロックウール充填
SD 33	A1	1	排水処理脱臭機室	甲	900	2 000	40 100	2	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 34	A1	1	ホール	甲	900	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 35	A1	3	余熱利用設備室	甲	900	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP						C St	H	○	○	○	○	○	
SD 36	A1	3	余熱利用設備室		900	2 000	50 150	1	片開き SOP 防音扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	ロックウール充填
SD 37	B3	1	非常用発電機室		1800	2 500	40 100	1	両開き SOP		B SOP				700×1500	B S	E St	H	○	○	○	○	○	
SD 38	A1	1	空気圧縮機室		900	1 850	50 150	1	片開き SOP 防音扉		B SOP						D St	H	○	○	○	○	○	ロックウール充填
SD 39	B1	1	倉庫		2500	2 500	50 150	1	両開き SOP 防音扉		B SOP						E St	H	○	○	○	○	○	倉庫
SD 40	B1	1	消防機械室		1900	2 500	40 100	1	両開き SOP		B SOP						E St	H	○	○	○	○	○	
SD 41	A1	3	消防機械		900	2 000	40 100	1	片開き SOP		B SOP						E St	H	○	○	○	○	○	

「符号」欄の記号

SD 鋼製扉 / SUS ステンレス製扉 / AD アルミ製扉 / WD 木製扉 / TD 強化ガラス扉 / SW 鋼製窓 / SUW ステンレス製窓 / AW アルミ製窓 / WW 木製窓 / SG 鋼製ガラリ / SUG ステンレス製ガラリ / AG アルミ製ガラリ / WG 木製ガラリ / SH シャッター（可動間仕切り壁）/ T 水栓 / S 便器 / F パーティション（固定間仕切り壁）

「施錠」欄の記号

甲 甲種防火戸 / 乙 乙種防火戸 / 準防 準防火設備（防煙区画） / 防煙 防煙構造 / ヒューズ 温度ヒューズ連動 / 自 自動閉鎖装置 / 自 自動閉鎖装置 / 電 電気錠入口 / シャ錠 シャ錠仕様

「付属」の概要

W,H 外周寸法 / W' 建具、スクリーン部を含む / H' 建具、ランマ部を含む / D1 扉見込寸法 / D2 枠見込寸法 / 額縁を含む場合 / a 額縁の幅 1,000 / 枠長、額縁は 1,100

枠の形状材質

A B C D E F

*枠の材質
クワフ
ステンレス
鉄 板
鉄上小窓
錆上小窓
無 枠

ガラスの略号

SG 透明ガラス / FLG フロートガラス / FG 型板ガラス / PWG 網入型板ガラス / PWG 網入型板ガラス / TG 強化ガラス / HG 熱線吸収ガラス / PG ペアーガラス

ガラリの形状

A B C D ルーバーカット

◎ダンパー付は形状欄に付記する。

くつずりの形状

A B C D E F G H

建具関連金物略号

H・T8 / PH ピボットヒンジ / FH フロアーヒンジ / AH オートヒンジ / LH ラバトリーヒンジ / SH スプリングヒンジ / T 戸当・レール

ドアクローザーストップなし / ドアクローザーストップ付 / ドアクローザーヒューズ付 / 建具関連電気錠含む

その他
チェーンロック ドアスコープ
レリーズ マグネット

固定金物類

*「記号」欄の記号
SD 鋼製扉
SUS ステンレス製扉
AD アルミ製扉
WD 木製扉
SW 鋼製窓
SUW ステンレス製窓
AW アルミ製窓
WW 木製窓
SG 鋼製ガラリ
SUG ステンレス製ガラリ
AG アルミ製ガラリ
WG 木製ガラリ
SH シャッター（可動間仕切り壁）

操作金物類

●ナースパンダル・押込釦等（1階手術室に設置する。）
●共用部関連はオペレーター方式を記入する。

その他

●扉 戸
●扉 戸
●ガラリ用防音網
●リーニング用フック
●扉 錠
●ぜん板
●吊扉フード

備考欄

●天井仕様（AT, SAT）
●扉ガラス種類記号
●X線防護仕様
●マットドアー（マット種類及びマットドア寸法は別記する。）
●窓枠
●可動ガラリ

共通略号

S 鋼	W 木	SDP 油性調合ペイント	OS オイルステイン
SS ステンレス	TB テラゾーブロック	合成樹脂ペイント	ML ペアライン
AL アルミ		塩化ビニルペイント	
G ガラス（透明）		EP エマルジョンペイント	3
P プラスチック		CL クリヤラッカー	

工事名称		所在地	香南清掃組合殿		
所長	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事		
副所長	岡屋片				
副所長	御厨	図面名称	建築表 (1)		
設計	岩崎				
製図	田島				
設計部長		図面番号	A 37		

NKK 日本鋼管株式会社

建具表（2）

工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所在地	香南清掃組合殿
担当	小林
作図	御厨
検図	御厨
設計	岩崎
製図	田島
設計部署	
図面名称	建具表（2）
図面番号	A 38
尺度	Nico

NKK 日本鋼管株式会社

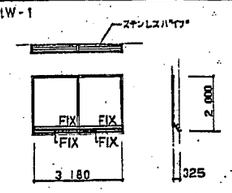
一般事項（特記なき限り下記による）

1. 扉は特定のない限り既製フラッシュとする。
2. プレス戸・アングル戸・鋳物建具はJIS 3万物のみ地枠に指示する。
3. マスターキー 要・不要 グランドマスターキー 要・不要
4. ※印ドアガラスの仕様・仕上は特定のない場合Aと同一とする。
5. ドアクローザーは特定の無い場合開放形・ヒューズなしとする。
6. 非常ブース用ラバトリーヒンジには ラバトリーラッチ、戸当り磁子錠仕合せ。
7. 防煙ラベルの設定・可動壁の種別は特記にて指示する。
8. シャッターの動線及び開上げ方式は特記にて記入する。
9. 防犯シャッター、リンググリルシャッターは特記なき限り設置なきとする。
10. 錠の対質は一般とし、下記のものとする。

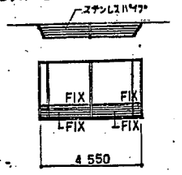
区	対質を同一とする
引違戸・片引戸	戸先、レール、召し。
片開き	下吉、召し、とって、あおり止め。
自動扉	ピボットヒンジ、召し、とって、あおり止め。
便所扉	ピボットヒンジ、召し、とって、ストッパー。
アオリ戸	ピボットヒンジ、召し、とって、アオリ戸ロック
可動壁	吊元、召し、とって、ストッパー。

型式記号のない建具の扉を含む、建具符号を明記する。

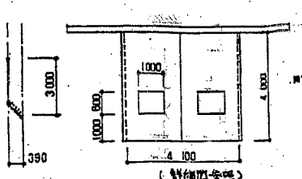
StW-1



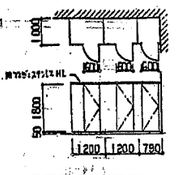
StW-2



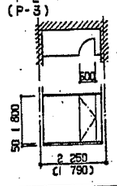
HD-1



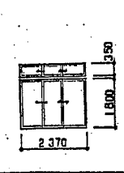
P-1



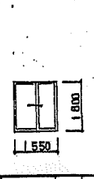
P-2 (P-3)



F-1



F-2



符号	型式記号	建具番号	建具名称	施設部	寸法 W	寸法 H	寸法 D	個数	建具仕上	錠	ガラス	ガラリ	くもり	耐火等級	開閉装置金物	固定金物類	建具金物	その他	備考
SD 42	A1	1 2	床排出場		900	2 000	40		片開キ HL	B			C	H					ルーフセイル式 空圧ゴムドア
			防水上部				100			S1			St						
SD 43	A2	1	便所		900	2 000	40	1	片開キHL	B	FG		C	H					
							100			S1	4		St						
SW 1	図示	M2	双ルーフ操作窓		図示のとおり		100	1	はめ殺しHL		挿入レーヨン 6.8								
SW 2	図示	2	ゴムルーフ操作窓		図示のとおり		100	1	はめ殺しHL		挿入レーヨン 6.8								
SH 1	S1	1	双開ドア窓		4 000	3 500	85	1	重量シャッター スチールSOP（電動）	St									
										HL									
SH 2	S1	1	双積出場		4 000	3 500	85	1	重量シャッター スチールHL（〃）	St									
										HL									
SH 3	S1	2	ゴムルーフ操作窓	甲種防	4 080	3 000	85	1	重量シャッター スチールSOP（電動）	St									
										HL									
SH 4	S1	2	足場ホール ホール	甲種防	2 500	1 500	85	2	重量シャッター スチールSOP（〃）	St									
										HL									
LSD 1	A2	1 2	事務室 倉庫		900	2 000	36	2	片開キ SOP	B	FG		C						
							100			St	4		St						
LSD 2	A5	1	物置搬込		900	2 000	36	1	片開キ SOP	B	FG		C						
							100			St	4	A.S	St						
LSD 3	C5	1	ロッカールーム		1 200	2 000	36	1	親子開キSOP	B	FG		C						
							100			St	4	A.S	St						
LSD 4	B2	1	倉庫室		1 800	2 000	36	1	両開キ SOP	B	FG		C						
							100			St	4		St						

符号	型式記号	建具番号	建具名称	寸法 W	寸法 H	寸法 D	個数	建具仕上	錠	ガラス	ガラリ	くもり	耐火等級	開閉装置金物	固定金物類	建具金物	その他	備考
HD 1	図示	1	プラットホーム	4 100	4 000		2	ハリガードア ステール SOP	St	FLG			T					
									HL	5								
P 1	図示	1	便所（男）	図示のとおり		40	1	トイレブース ポリエステル化粧合板					LH					
P 2	図示	1	便所（女）	図示のとおり		40	1	仝上										
P 3	図示	2	便所	図示のとおり		40	1	仝上										
F 1	図示	1	和室			24	1	引違イ 襖										
F 2	図示	1	和室			24	1	引違イ 襖										
WD 1	A4	1	便所ｎ2	750	2 000	40	4	片開キ 木製 SOP	B	FG		C	H					
		2	便所，給湯室						SOP	4	C.W	St						

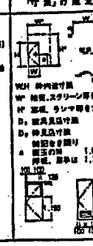
「符号」欄の略号

SD	鋼製扉
SUS	ステンレス製扉
AD	アルミ製扉
WD	木製扉
TD	強化ガラス扉
SW	鋼製窓
SUW	ステンレス製窓
AW	アルミ製窓
WW	木製窓
SG	鋼製ガラリ
SUG	ステンレス製ガラリ
AG	アルミ製ガラリ
WG	木製ガラリ
SH	シャッター 電動防煙カーテン製
フ	ふすま
レ	障子
P	パーティション 固定間仕切り壁

「建具種」欄の略号

甲	甲種防火戸
乙	乙種防火戸
甲防	甲種防（網入型板ガラス）
常閉	常時閉鎖式
ヒューズ	温度ヒューズ取り
自	熱感知器連動
煙	煙感知器連動
通	常時通行口
シャ管	シャ用性能

「寸法」の記入


W
H
H'
D
W1
W2
H1
H2
H3
D1
D2
W1 枠内法寸法
W 建具スクリーン厚を含む。
H' 面材、カラン等を含む。
D1 建具見込寸法
D2 枠見込寸法
袖記を含む
a 扉三方枠 枠は、召合は
1 000
1 100
100
120
100
120
100
120

記号	記事	年	名	年月日
△				

符号	種別	取付場所 階	室名	施錠	寸法 W	H	D_1	枚	建具 種類 仕上	枠(ガイド枠) 形状	納まり	ガラス 記号	寸法(mm) 形状	納まり	くもり	支持金物	開閉調整金物	固定金物	操作金物	その他	備考
AW 1	M1	1 2	出納 会議室 ホール		1 800	1 500	70	6	引違イ窓 アルミサッシ			FLG 5								0	防虫網戸付 5t
AW 2	M1	1 2	事務室 休憩室 相談室 ホール		1 500	1 500	70	5	引違イ窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t
AW 3	図示	5	バケット置場		3 670	1 500	70	2	引違イ 2連窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t
AW 4	図示	1	プラットホーム		500	3 600	70	9	はめ殺し窓 〃			FLG 5								0	
AW 5	M3	1 2	事務室	電気錠	800	1 500	70	6	はめ殺し窓 〃			FLG 5								0	
AW 6	図示	1 2 3	電気室 ホール 会議室	電気錠	2 700	1 500	70	8	引違イ窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t 取込ユニット
AW 7	M1	1	便所(男)		1 800	700	70	1	引違イ窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t
AW 8	図示	1	事務室		1 000	1 200	70	1	引違イ窓 網戸付引違窓			FLG 4								0	
AW 9	図示	2	ホール 見学者ホール		2 500	1 500	70	2	はめ殺し窓 〃			FLG 5								0	
AW 10	図示	2	会議室		5 540	1 500	70	1	引違イ 3連窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t
AW 11	図示	4	機械制御室		2 700	1 500	70	1	引違イ 2連窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t 取込ユニット
AW 12	図示	4	炉室上部		500	6 000	70	14	はめ殺し窓 〃			FLG 5								0	
AW 13	M3	2	給湯室		800	1 300	70	1	はめ殺し窓 〃			FLG 5								0	
AW 14	図示	2	会議室		5 540	1 400	70	1	引違イ 3連窓 〃			FLG 5								0	防虫網戸付 5t
AW 15	M4	1 CGF	真空排煙設備機械室 前室		900	1 200	70	2	片開き窓 〃			FLG 5								0	
AD 1	図示	1	玄関		図示のとおり		70	1	両開き・外開き はめ殺し 袖額入窓			FLG 5			FH	○	○	○			
AD 2	図示	1	ホール		図示のとおり		70	1	片開き 引違 はめ殺し アルミサッシ			FLG 5			H	○	○			0	防虫網戸付 5t
AD 3	図示	1	事務室		図示のとおり		70	1	片開き 引違イ はめ殺し 〃			FLG 5			H	○	○			0	防虫網戸付 5t
PSD 4	B2	2	中央制御室		1 800	2 000		1	スチールドア CP (パネルヒーター用)			FLG 4			H	○	○	○			
PSD 5	A2	2	中央制御室		900	2 000		3	スチールドア CP (パネルヒーター用)			FLG 4			H	○	○				

符号	種別	取付場所 階	室名	施錠	寸法 W	H	D_2	枚	建具 種類 仕上	枠(ガイド枠) 形状	納まり	ガラス 記号	寸法(mm) 形状	納まり	くもり	支持金物	開閉調整金物	固定金物	操作金物	その他	備考
SG 1	N1	2	ホール 給湯室		400	500	100	1	がラリ											0	防虫網戸付 5t
SG 2	N1	1 3	多目的室2 相談(静穏) 会計利用調整室		500	500	100	5	がラリ											0	防虫網戸付 5t
SG 3	N1	2	ホール		800	800	100	2	がラリ											0	防虫網戸付 5t
SG 4	N1	1	高圧受水槽室		1 000	500	100	1	がラリ											0	
SG 5	N1	1 5	倉庫・工作室 ホッパーステージ		1 000	600	100	2	がラリ											0	
SG 6	N1	2	特別相談室		1 000	800	100	1	がラリ											0	防虫網戸付 5t 取込ユニット
SG 7	N1	1	空調機械室		1 000	900	100	1	がラリ											0	防虫網戸付 5t
SG 8	N1	1	ブロワ室		2 000	600	100	1	がラリ											0	
SG 9	N1	3	受変電室		2 000	2 000	100	1	がラリ											0	
SG 10	N1	1	電気室		2 400	1 400	100	1	がラリ											0	
SG 11	N1	1	排水処理機械室		2 500	700	100	1	がラリ											0	防虫網戸付 5t 取込ユニット
SG 12	N1	1	空気圧縮機室		2 500	750	100	1	がラリ											0	
SG 13	N1	1	電気室		3 000	1 400	100	1	がラリ											0	
AW 16	図示	1	事務室		3 070	1 500	70	1	滑出引違い窓 アルミサッシ			FLG 5								0	防虫網戸付 5t

AW-3
AW-16 ( )寸法

AW-4
(AW-12)

AW-6
AW-11

AW-9

AW-10 (AW-14)

AW-8

AD-1

AD-2

AD-3

「符号」欄の略号	
SD	鋼製扉
SUS	ステンレス製扉
AD	アルミ製扉
WD	木製扉
TD	強化ガラス扉
SW	鋼製窓
SUW	ステンレス製窓
AW	アルミ製窓
WW	木製窓
SG	鋼製ガラリ
SUS	ステンレス製ガラリ
AG	アルミ製ガラリ
WG	木製ガラリ
SH	シャッター 可動間仕切り壁
F	ふすま
S	障子
P	パーティション 固定間仕切り壁

「種別」欄の略号	
甲	甲種防火戸
乙	乙種防火戸
不燃	不燃扉(特定防火設備)
遮煙	遮煙扉
ヒューズ	温度ヒューズ連動
自	自動扉
半	半自動扉
用	非常用進入口
盗	防犯用進入口
シャ	シャ断性能

「寸法」の記入

W 有効開口寸法
W' 袖壁、エプロン等をふくむ開口寸法
D_1 外見上の寸法
D_2 有効開口寸法
e 框芯の値
例記 D_1 70 D_2 100
例記 e 25 50 75 100

枠の形状材質

A D B E C

*枠材の材質
アルミ
スプルース
鉄 鋼
鉄上小窓
鉄上小窓
自 作

ガラスの記号

SG	透明ガラス	TG	強化ガラス
FLG	フロートガラス	HG	熱線吸収ガラス
FS	型板ガラス	RG	熱線反射ガラス
PWG	網入型ガラス	PB	ペアーガラス
FWG	網入型板ガラス		

ガラリの形状

A B C D

○ダンパー付は別記号とする。

くつずりの形状

A B C D E

支持金物の記号

H	丁番
PH	ピボットヒンジ
FH	フロアーヒンジ
AH	オートヒンジ
LH	ラバトリーヒンジ
SH	スプリングヒンジ
T	戸当・レール

開閉調整金物種

○ ドアクローザストップなし
○S ドアクローザストップ付
○F ドアクローザヒューズ付
○P 開閉調整機+召合せ

その他

○ケースハンドル・鍵記号 *錠取手種は指示する。
*押釦開錠はオペレーター方式を記入する。

*その他特殊記号

両開	両開扉
H	ホテルロック
UP	ユニバーサル フッシュボタン
点検	点検口設
水	水抜付可能型
換	換気窓
コイン	コイン室
プレモン	プレモン室

固定金物種

*「記」欄の符号

○	ナシ
○	カギ
○	ナシ
○	カギ
○	サムターン又は フッシュボタン
○	カギ
○	カギなし
○	サムターン又は フッシュボタン
○	カギなし

○	戸
○	戸
○	ガラリ用網金網
○	ワーニング用 フック
○	錠
○	ドム錠
○	外額フード

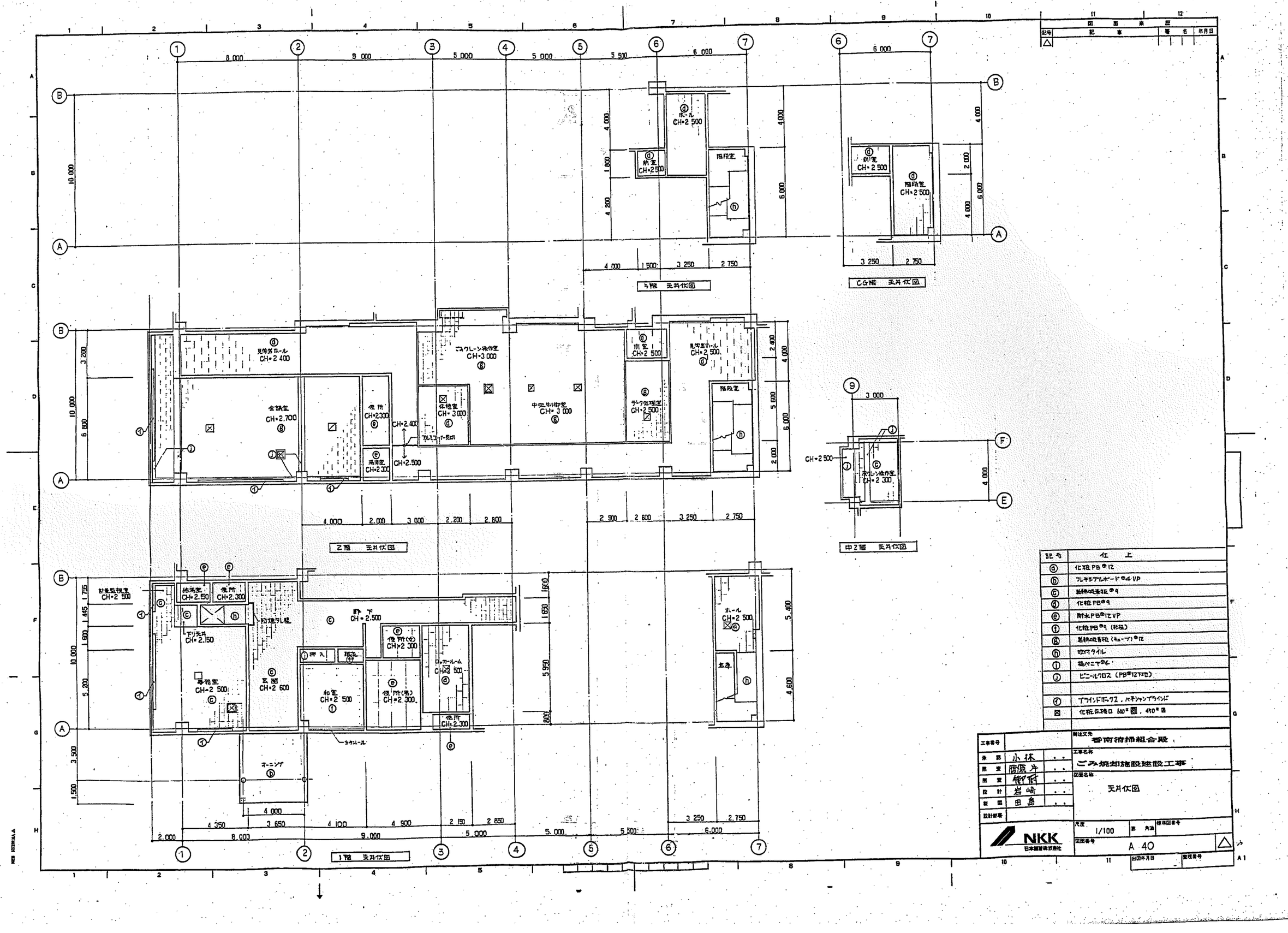
「備考」欄

○	気密性能 (AT, SA)
○	遮音・断熱性能
○	火災時ブザー
○	オートドアー (ヒット・引抜式・ドップ式等 使用状況を明記する)
○	電気錠
○	可動ガラリ

色記号			
S	鋼	W	木
SI	ステンレス	TB	テラゾーブロック
AL	アルミ	OP	油性調合ペイント
BR	真鍮 (黄銅)		合成樹脂ペイント
P	プラスチック		水性ビニールペイント
		EP	エマルジョンペイント
		CL	クリヤラッカー
		OS	オイルステイン
		NL	ヘアライン

工事番号	
発注先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	建具表 (3)
本部	小林
所室	関原
担当	柳原
設計	岩崎
製図	田島
設計部署	
尺度	1/100
図面番号	A 39
出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

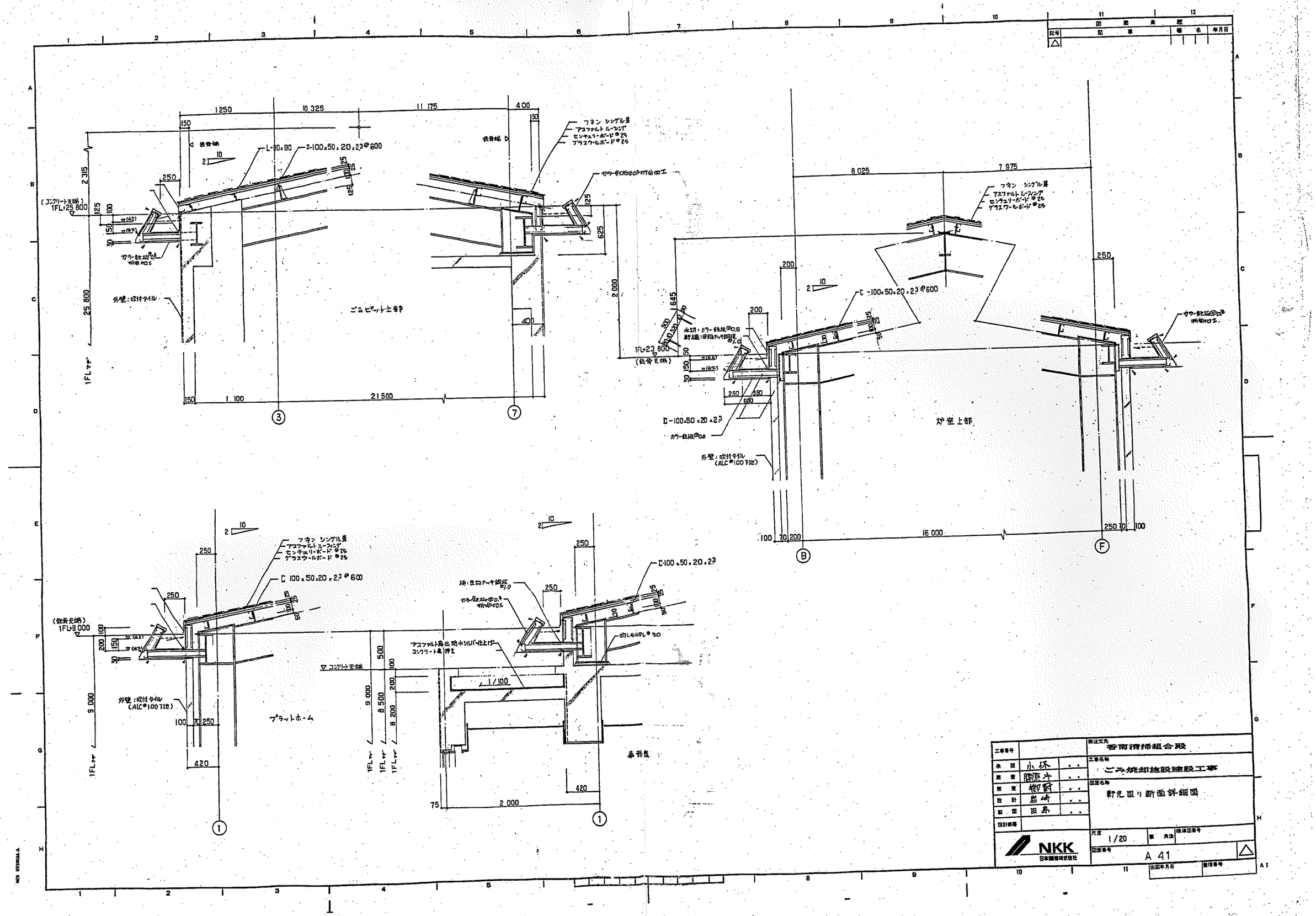


記号	仕上
ⓐ	化粧PB®12
ⓑ	フレキシブルボード®4 VP
ⓒ	岩綿吸音板®9
ⓓ	化粧PB®9
ⓔ	耐水PB®12 VP
ⓕ	化粧PB®9 (形状)
ⓖ	岩綿吸音板(キューブ)®12
ⓗ	吹付タイル
ⓘ	塩ベニヤ®4
ⓙ	ビニールクロス (PB®12下地)
㋑	ブラインドボックス, ベネシャンブラインド
⊠	化粧点検口 600°図, 450°図

工事番号		
承認	小林	
照査	鷹岸	
照査	御府	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

関連文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	天井伏図
尺度	1/100
第 角法	
標準図番号	
図面番号	A 40
出図年月日	
整理番号	

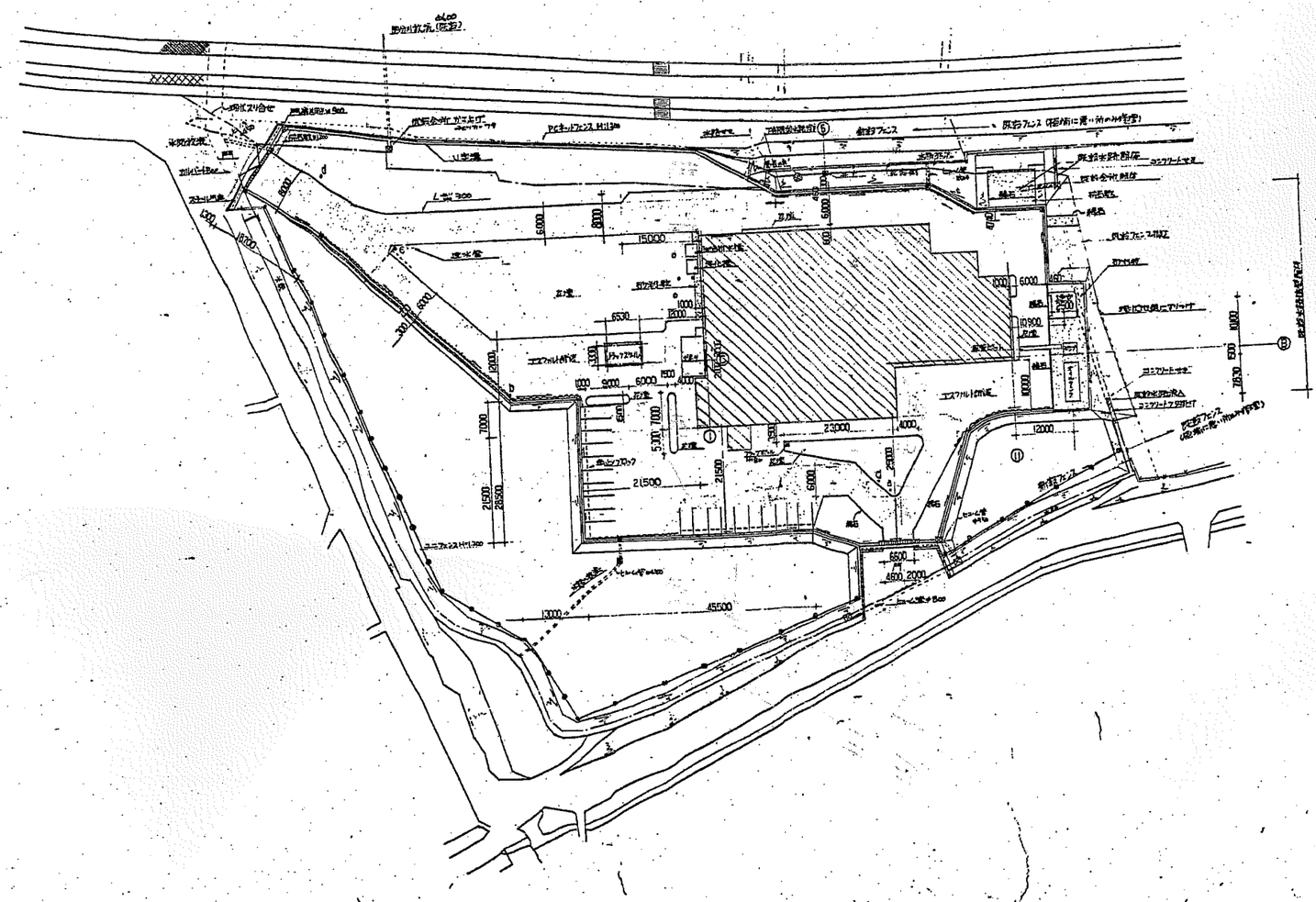


工事番号		
承認	小林	
照査	勝原	
照査	御野	
設計	岩崎	
製図	田島	
設計部署		

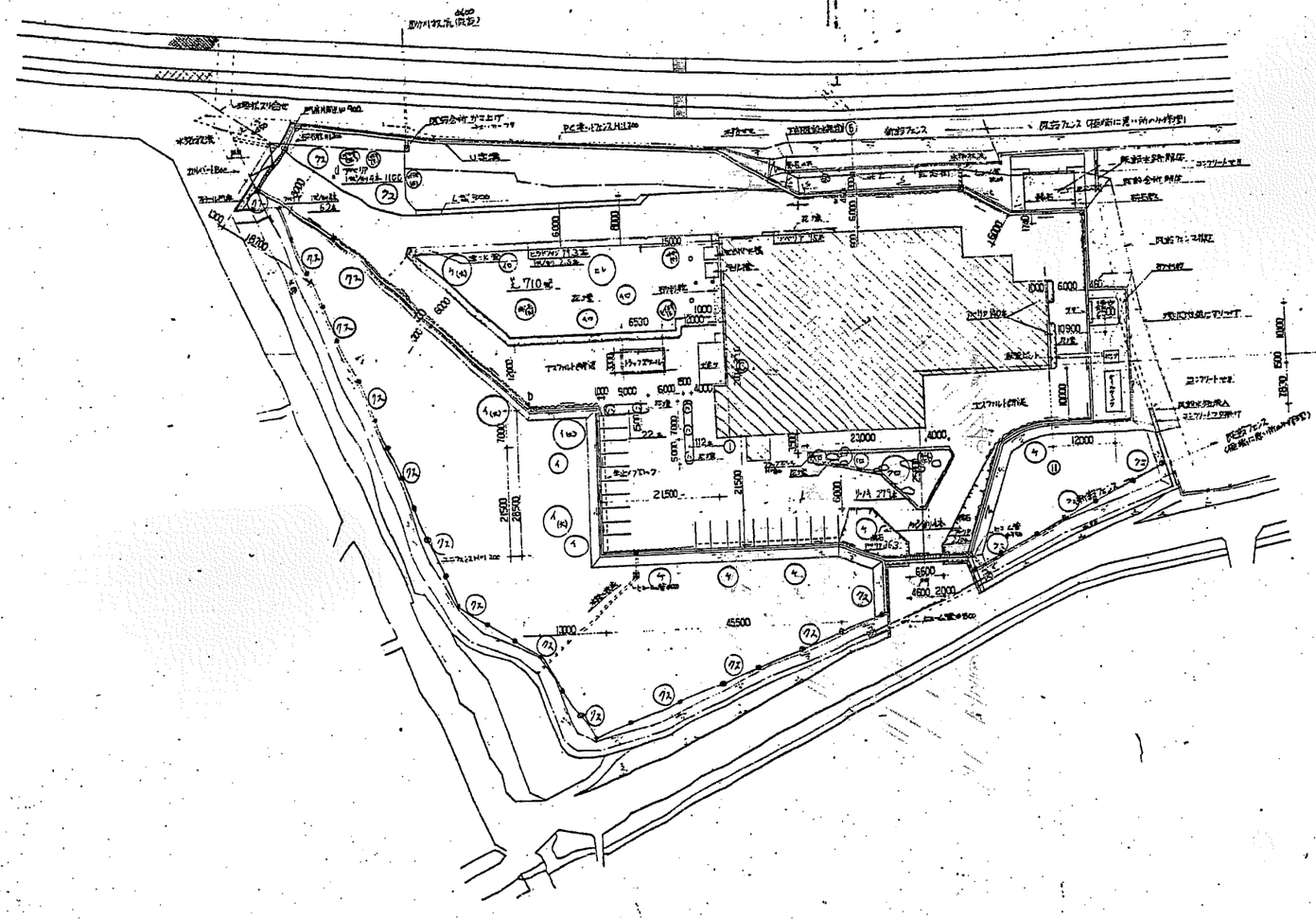
発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	軒先回り断面詳細図
尺度	1/20
図面番号	A 41
出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

関	係	者		
記号	記事		署名	年月日
△				


既設会所ガスおび
PCネットフェンス H=1.8m
既設水飲み場
既設フェンス（移設前に撤去）
既設水飲み場
既設フェンス撤去
既設門柱撤去
既設門柱撤去
既設フェンス撤去
既設門柱撤去
既設フェンス撤去
既設門柱撤去
既設フェンス

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			


既存ネットフェンス H=1.8m
既存フェンス (既存石積に見上げネット付き)
既存合併 ガードレール
既存ネットフェンス H=1.8m
既存フェンス
U字溝
既存ネットフェンス H=1.8m
既存合併 解体
既存合併 解体
既存合併 解体

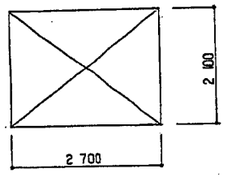
外部仕上表

屋　根	折版 ㎜0.8 厚 (カラー鉄板)
外　壁	CB㎜150(C種) 化粧積み (一部コンクリート打放し) の上 吹付タイル
底	表面: 床孔: コンクリート金ゴテの上 吹付タイル　裏: コンクリート打放し
腰(外部)	コンクリート打放し H=400
竪　樋	硬質塩ビ管 75A VP
軒　樋	塩ビ既成品
建　具	扉: スチールドア OP　ガラリ: アルミガラリ
出入口敷居	コンクリート金ゴテ

内部仕上表

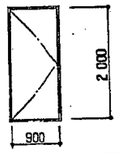
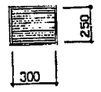
室　名	床	巾　木	壁	天　井	備　考
灯油ポンプ室	コンクリート金ゴテ	コンクリート打放し	CB㎜150 化粧積 腰壁: コンクリート打放し	折版表わし	ピット 300×300×200 通気管 SGP 100A VP (ベンチレーター付)

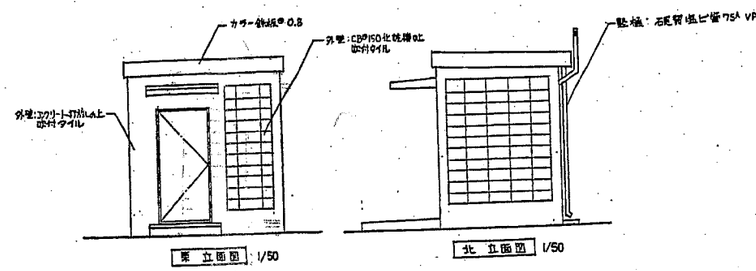
求積図・面積表

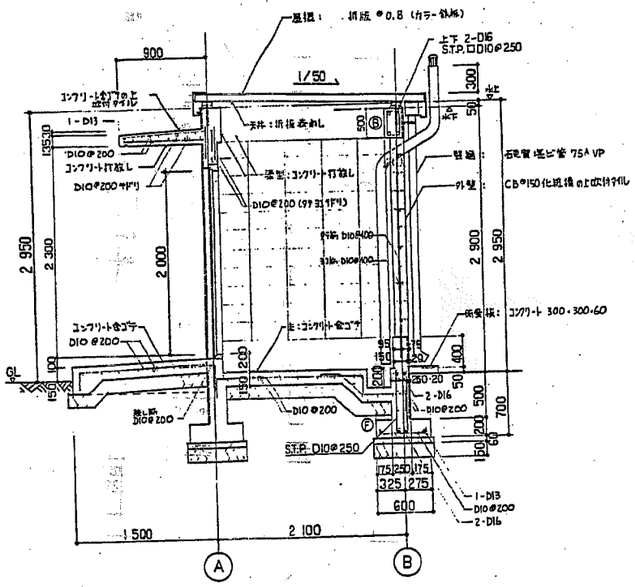


延床面積　2 100×2 700 = 5.67 ㎡
述築面積　2 100×2 700 = 5.67 ㎡

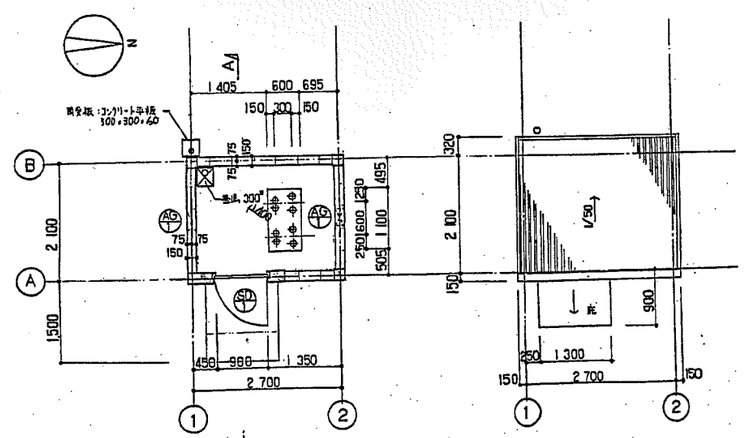
建具表

形式・数量	スチール片開 フラッシュ戸 1	アルミ固定ガラリ 2
姿　図		
位　置	灯油ポンプ室	灯油ポンプ室
見込寸法・仕上	枠:70　扉:40　OP	70　アルマイト 2回塗
材　質	スチール	アルミ
ガラス	—	—
附属金物	丁番 シリンダー錠(共和 空錠) レバーハンドル(ストッパー付)	引火防止網付
備　考	—	—



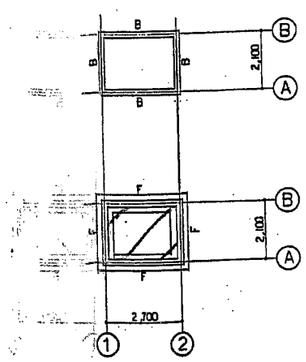


A-A 断面図 1/30



平面図 1/50

屋根水図 V50



梁,基礎伏図 1/100

自由設計株式会社 建築設計事務所　東京都知事登録第2006号
1級建築士第81011号　小林建雄
神奈川県足柄上郡松田町2-1　電話 (0465)85-7725

工事番号	
承認	小林
課室	課長
課室	係長
設計	主任
製図	角島
設計部署	

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	灯油ポンプ室　仕上表, 面積表, 求積図 建具表, 断面図, 立面図
尺度	1/50, 1/30
図面番号	A 44
出図年月日	

図面履歴				
記号	記事	署名	年月日
△			

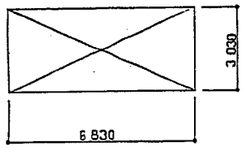
外部仕上表

屋根	折版 ⊕0.8 葺 (カラー鉄板)
外壁	柱: 200×200 OP
底	
腰 (外巾木)	
竪樋	硬質塩ビ管 75A VP
軒樋	塩ビ鋼板 ⊕0.8 加工
建具	
ピット	床: コンクリート金ゴテ　壁: コンクリート打放し
排水槽	コンクリート打放し　蓋: チェッカープレート ⊕4.5

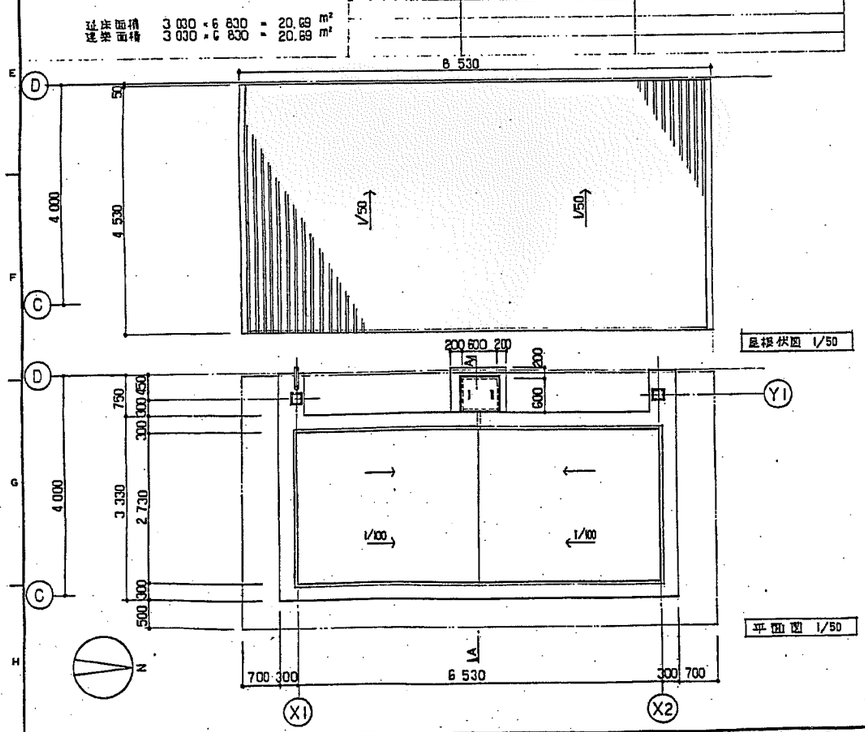
内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	備考

求積図・面積表

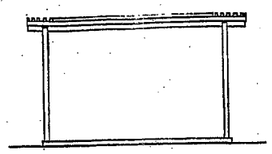


延床面積　3 030 × 6 830 = 20.69 m²
建築面積　3 030 × 6 830 = 20.69 m²

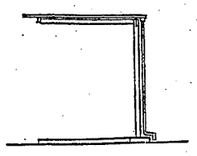


屋根伏図 1/50

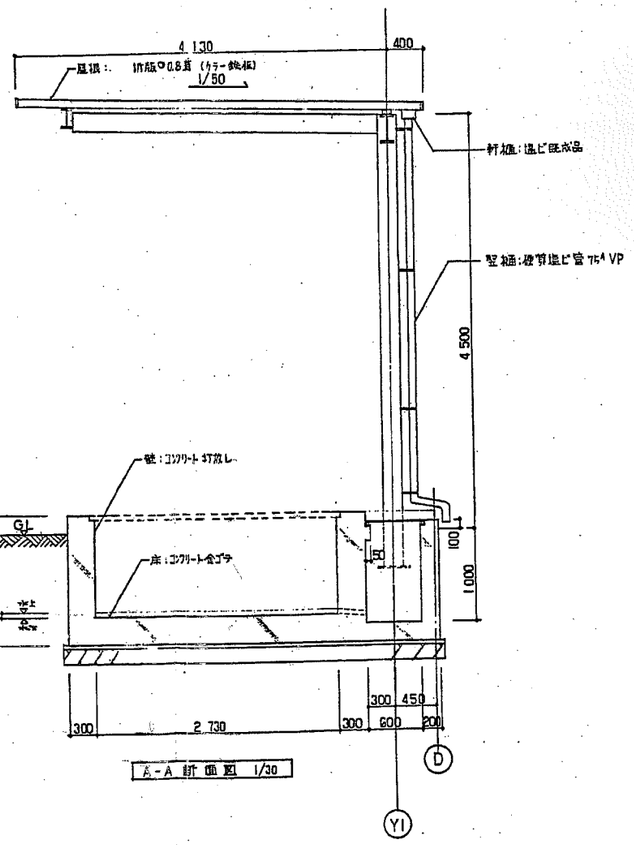
平面図 1/50



東立面図 1/100



北立面図 1/100



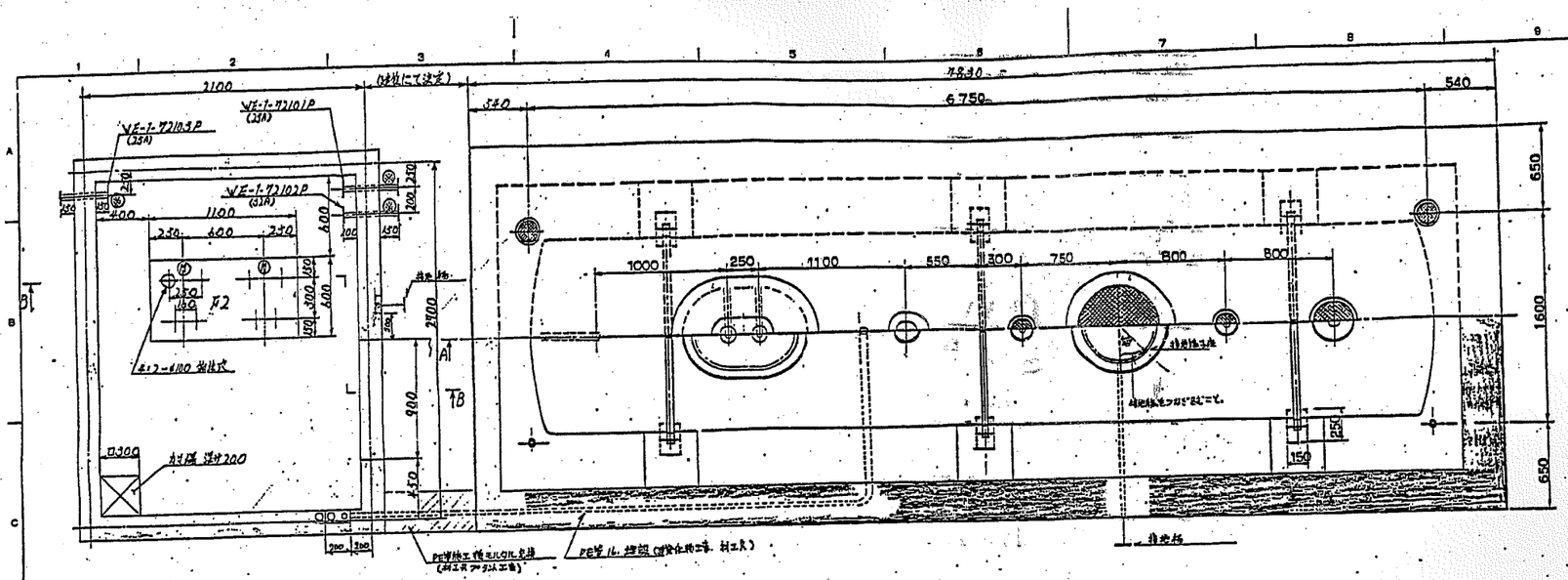
A-A 断面図 1/30

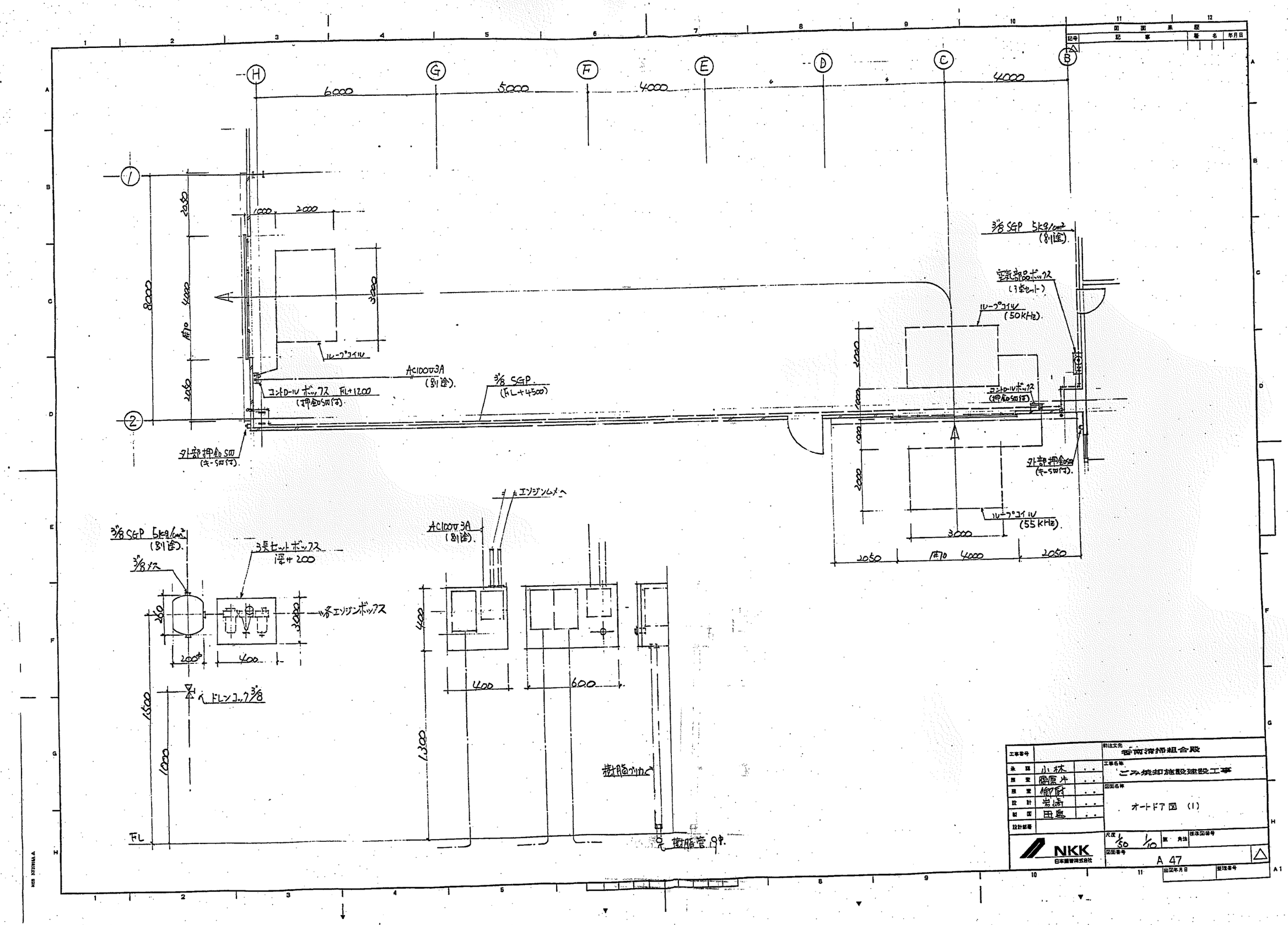
工事番号		
承認	小林	
照査	臨原	
照査	柳樹	
設計	岩崎	
製図	角島	
設計部署		

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	トラックスケール 仕上表, 面積表, 求積図, 断面図, 立面図
尺度	1/30 1/100 1/50
新 角治	
標準図番号	
図面番号	A 45
出図年月日	
整理番号	

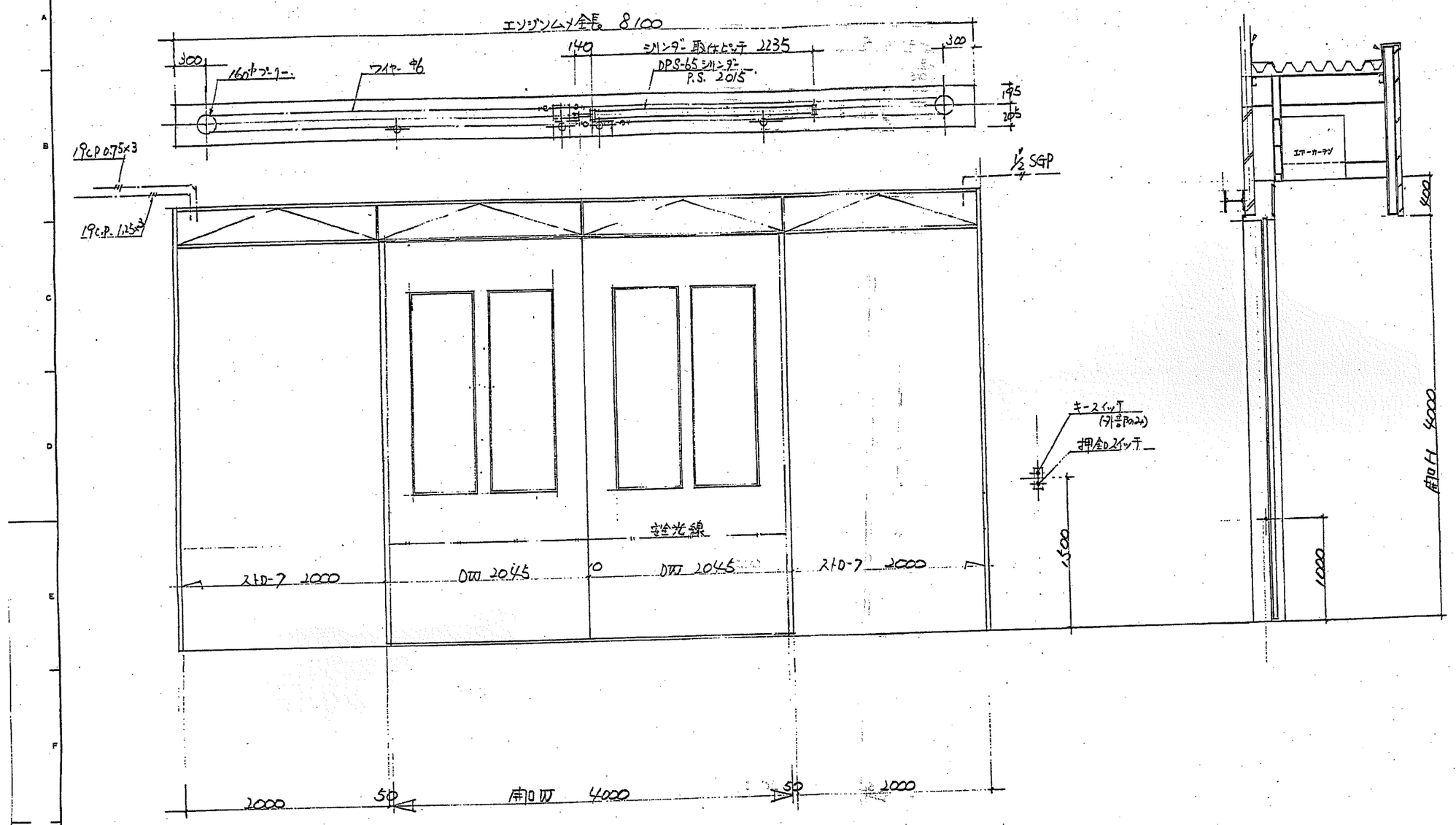
NKK 日本鋼管株式会社

日本調査株式会社1級建築士事務所　東京都知事登録第2908号
1級建築士第41611号　小林建築
横浜市鶴見区東広町2-1　電話 (045)505-7725


2100
(現地にて決定)
6750
540
650
1600
650
1000
250
1100
550
300
750
800
800
VE-1-72103P (25A)
VE-1-72101P (25A)
VE-1-72102P (25A)
1100
600
230
230
600
900
450
2100
300
200
200
150
150
150
300
400
F2
架台-4100 別仕式
□300
材質 深さ200
PE管ポンプ接続フランジ付ベルマウス (材質アルミ合金)
PE管 ベル、挿口 (管仕様による、材質共)
指定板
指定板
指定板
指定板
工場棟
燃料移送ポンプ室
燃料貯留槽
KEY PLAN (Scale 1/200)
※印は現地にて決定下さい。
基礎荷重表 (荷重は1基当りの重量を示す)
符号 基礎名称 N値 地耐力 (t/m²) 基礎荷重 (t) 基礎底 基礎高 (m)
長期 短期 長期 短期 水平
F1 灯油タンク 3300 ≥700 1000 — — 3 0.7
F2 灯油移送ポンプ 200 — — 300 — 1 0.2
備考
1 灯油ポンプ室は別途に見積し設計のこと。
2 配管貫通金物(◎印)の位置及び径は参考とし、詳細は基礎資料図にて決定する。
VE-1-72103P
GL+2300
灯油ポンプ室
VE-1-72101P_02
GL+300
GL
2100
断面 B-B
地盤より充分取り込むこと
乾燥砂 (建築所管)
防湿:遮断性能良好品
NO.1 WL
NO.2 WL
NO.3 WL
NO.4 WL
NO.5 WL
WL
R2160
R1440
2070
1150
1050
350
20
650
650
F1
400
244
300
6742
300
1565
2350
2350
1565
断面 A-A
ガス検知管 4ヶ所
VE32-7U10" (材質別仕様による)
GL+0
1220
420
800
1590
2300
300
300
6-M16×450ℓ (JIS B 1178)
基礎ボルト・ナット
注:1. ( ) 内寸法は、参照寸法に変換にてお願いすること。
2. ロールばりプロ仕様は、別途工事とする。
工事番号
発注文先
香南清掃組合殿
工事名称
ごみ焼却施設建設工事
図面名称
燃料貯留槽及び移送ポンプ詳細図
木原 小林
原室 岡田
原室 御所
設計 岩崎
製図 田島
設計部等
NKK 日本鋼管株式会社
尺度 1/20
図面番号 A 46
標準図番号
出図年月日
整理番号
A1

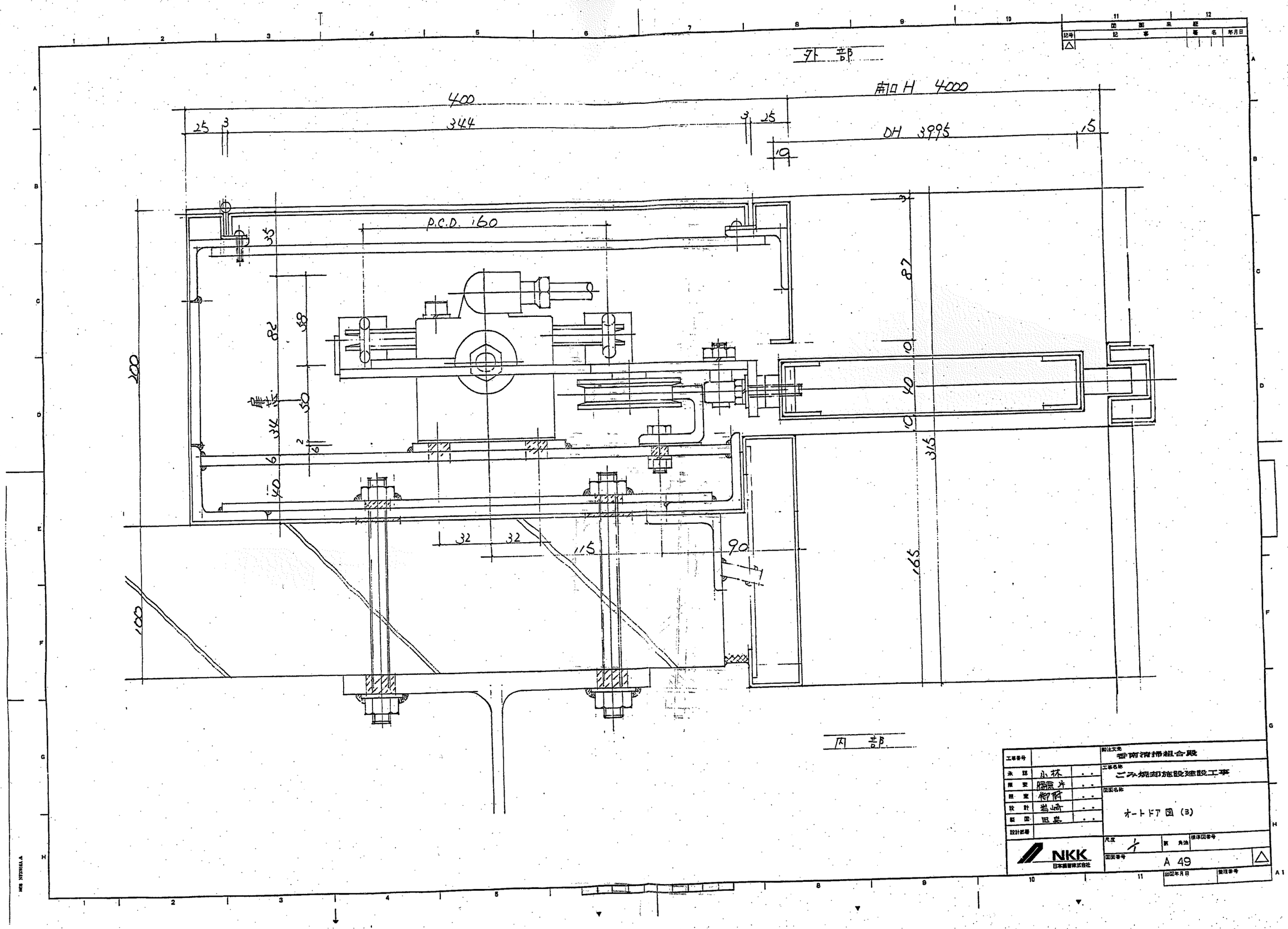


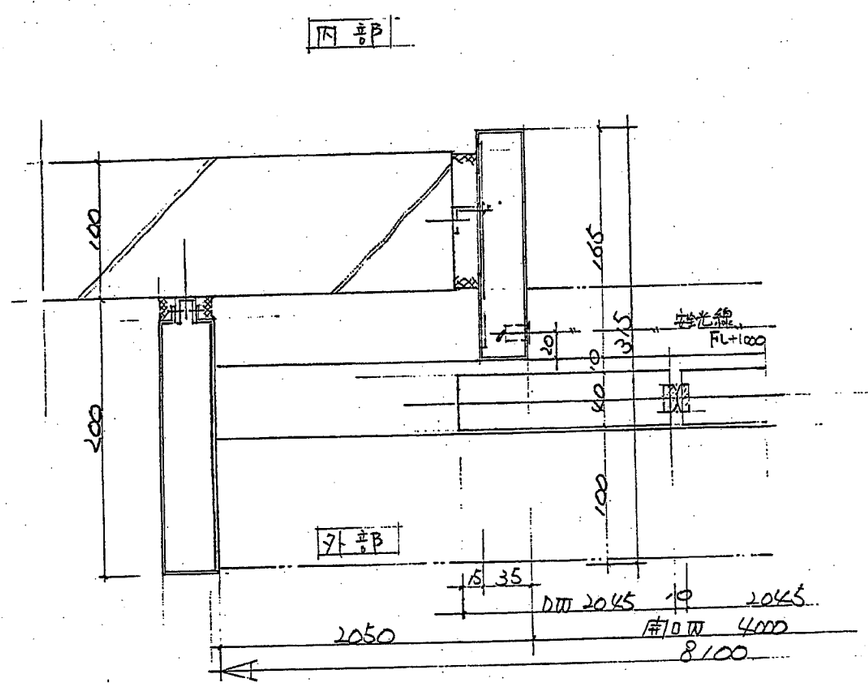
工事番号		創注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原片		
照査	御厨	図面名称	オートドア図 (1)
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部番			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50 1/10	第 角法
		図面番号	A 47
		出図年月日	整理番号

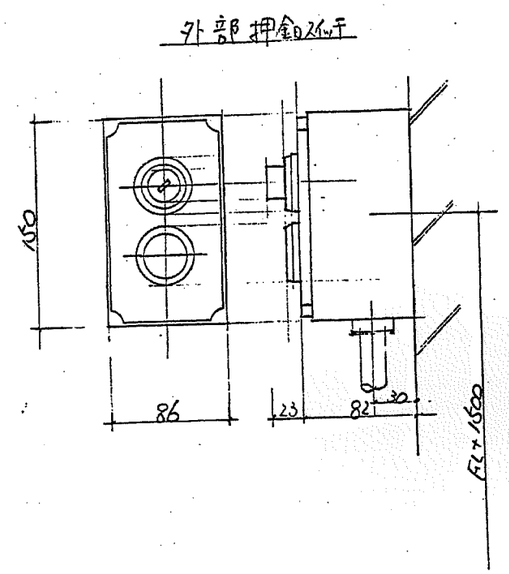


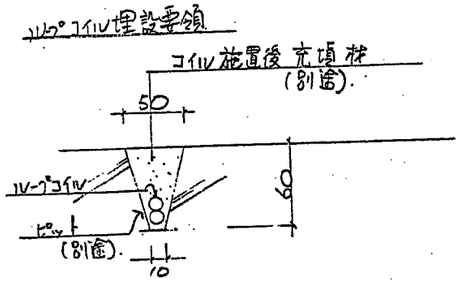
空気消費量 ≒ 6.64 l / 1開(閉)動作
(但し自由空気量)

工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	臨原		
照査	御厨	図面名称	オートドア図 (2)
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/20	標準図番号
		図面番号	A 48
		出図年月日	整理番号

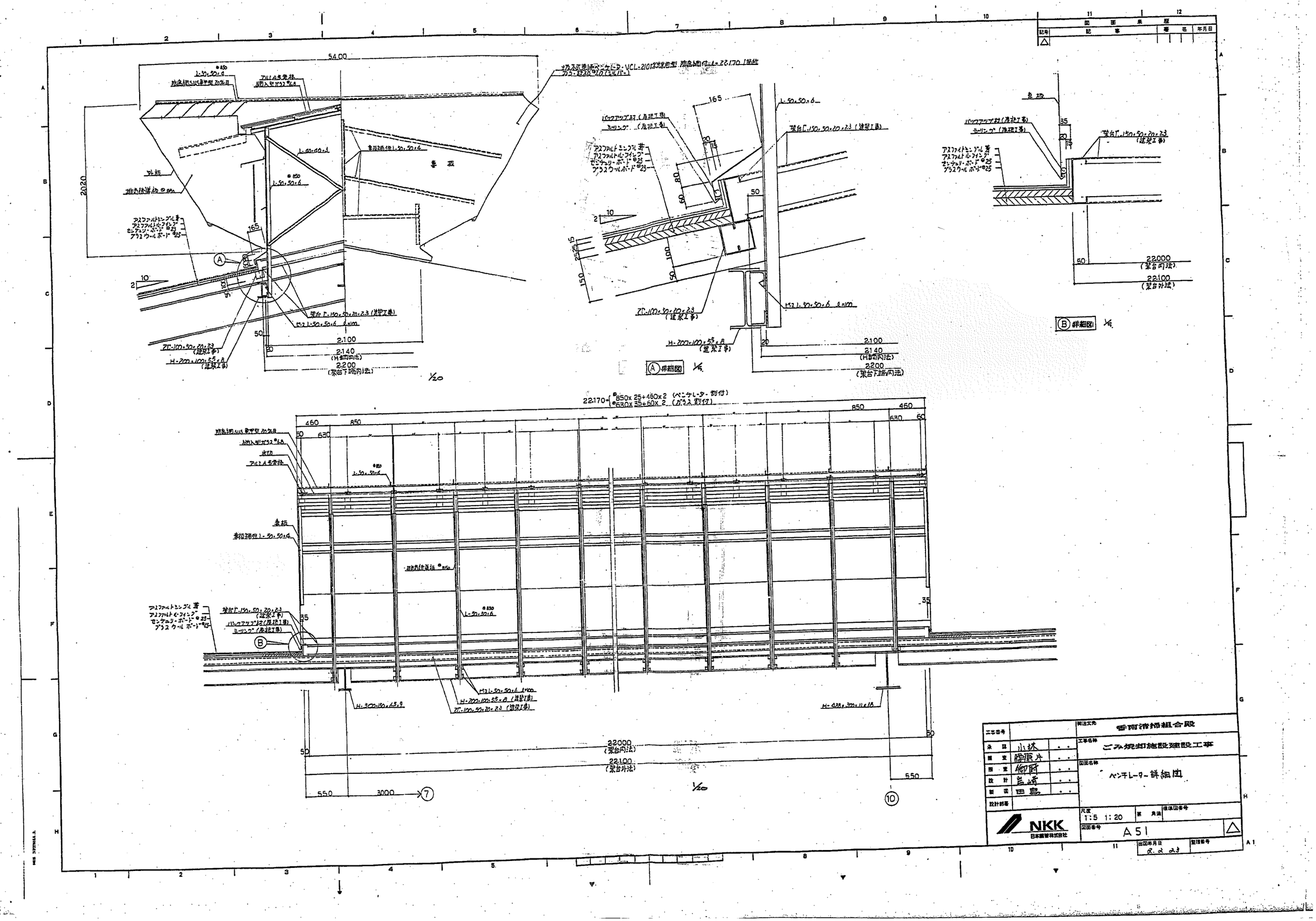

外部
内部
400
344
25
3
3
25
10
15
開口H 4000
DH 3995
P.C.D. 160
35
82
58
50
34
6
40
200
100
87
10
40
10
315
165
32
32
115
90
工事番号
承認 小林
照査 [illegible]
照査 御所
設計 岩崎
製図 田島
設計部署
御注文先 香南清掃組合殿
工事名称 ごみ焼却施設建設工事
図面名称 オートドア図 (3)
尺度 1/1
図面番号 A 49
NKK 日本鋼管株式会社





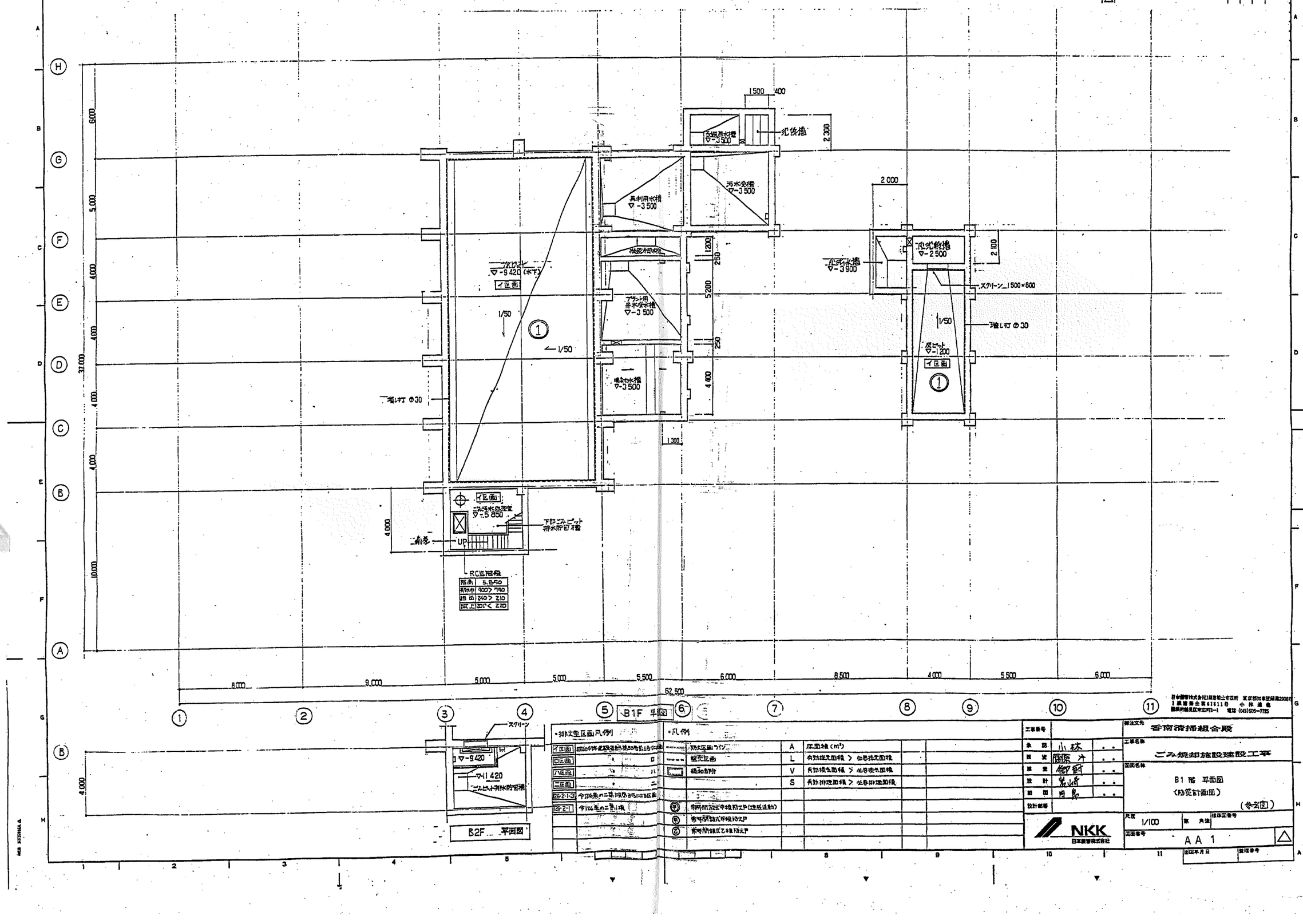


工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	勝原片		
照査	御府	図面名称	オートドア図 (4)
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署		尺度	1/2
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	A 50
		出図年月日	



54.00
2020
2.100
2.140
(H鋼内法)
2.200
(架台下端内法)
1/20
A 詳細図 1/5
B 詳細図 1/5
22.170
22.000
(架台内法)
22.100
(架台外法)
550
3000
7
10
香南清掃組合殿
ごみ焼却施設建設工事
ベンチレーター詳細図
小林
臨原片
御厨
岩崎
田島
NKK
日本鋼管株式会社
1:5 1:20
A51

図面履歴				
記号	記事	検	名	年月日
△				



凡例			
	防火区画ライン	A	区画種 (m²)
	竪穴区画	L	有効採光面積 > 必要採光面積
	線状の防煙	V	有効換気面積 > 必要換気面積
		S	有効排煙面積 > 必要排煙面積
Ⓟ	常時開放式特種防火戸(煙感連動)		
Ⓐ	常時開放式甲種防火戸		
Ⓒ	常時開放式乙種防火戸		

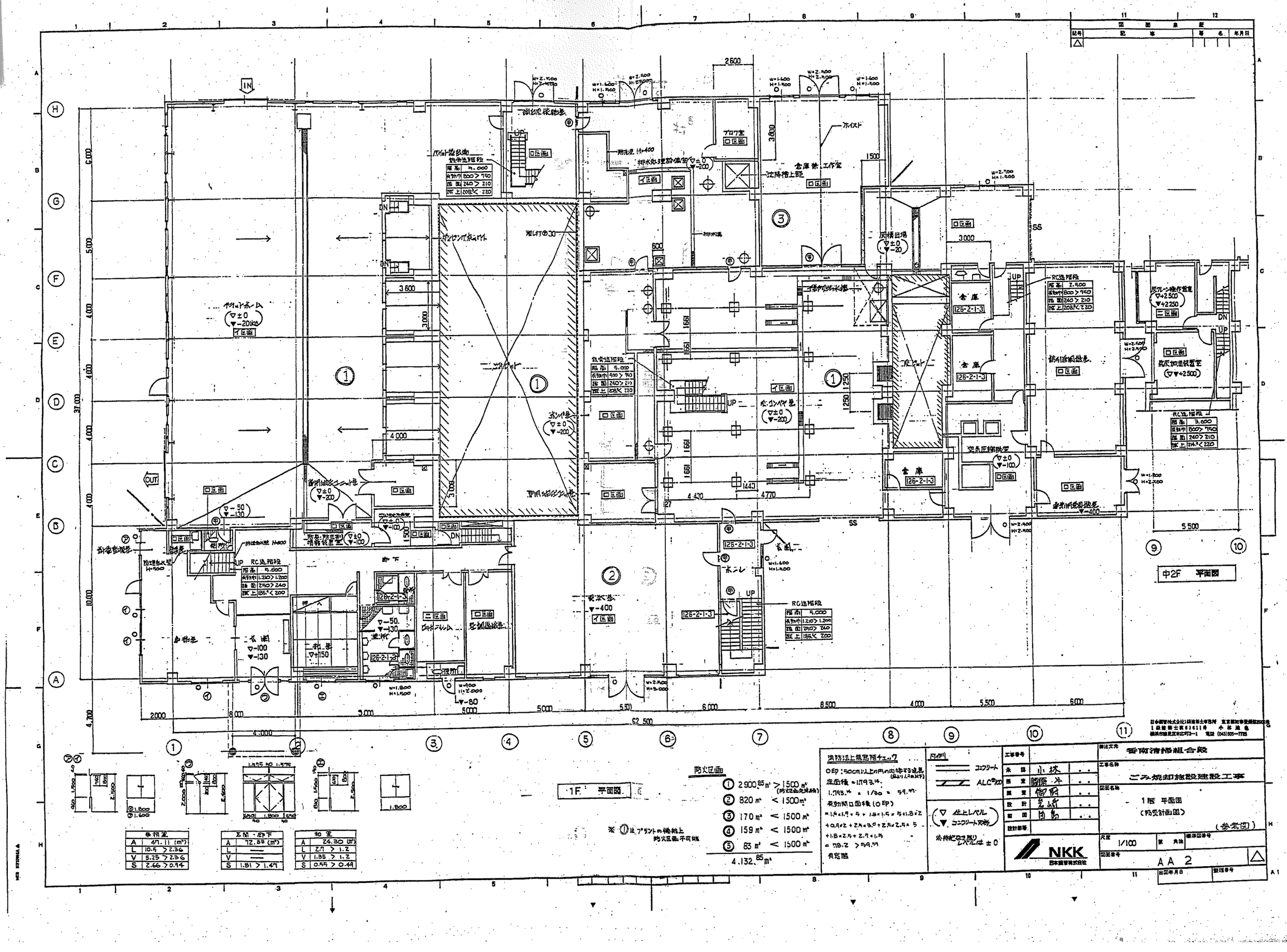
排煙区画凡例		
イ区画	面積の算定基準は建築基準法施行令第126条の2第1項第五号による	
ロ区画		ロ
ハ区画		ハ
ニ区画		ニ
126-2-1-3	令126条の二第1項第三号による区画	
126-2-1	令126条の二第1項	

工事番号			
承認	小林		
技室	櫛原 外		
構室	御野		
設計	荒崎		
製図	内島		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

発注先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	B1階 平面図 (防災計画図) (参考図)
尺度	1/100
製図番号	AA 1
出図年月日	
管理番号	

日本鋼管株式会社技術本部土木部 東京都台東区蔵前2-8-7
1級建築士第 41611 号 小林 道也
横浜市磯子区東町8-1 電話 (045) 505-7725



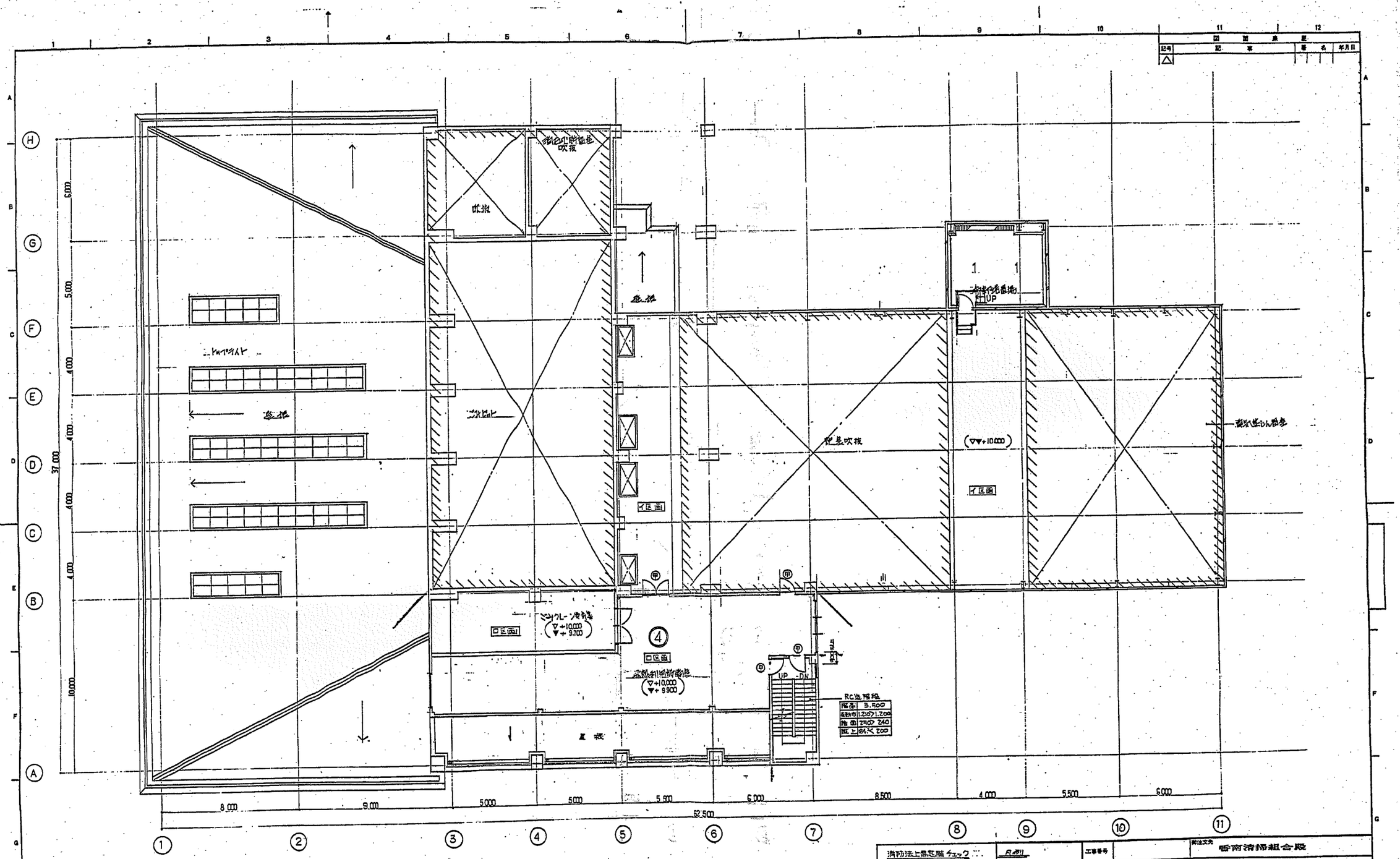
事務室	
A	47.11 (m²)
L	10.5 > 2.36
V	5.25 > 2.36
S	2.66 > 0.94

工場・印下	
A	72.83 (m²)
L	—
V	—
S	1.81 > 1.47

和室	
A	24.30 (m²)
L	2.7 > 1.2
V	1.35 > 1.2
S	0.55 > 0.49

図面系歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

見学者ホール
ごみピット
ごみクレーン操作室
プラットホーム
ごみ投入扉
ごみ投入ホッパ
ごみクレーン
ごみ投入ホッパ
ごみ投入扉



消防法上無窓階チェック
無窓階

凡例
コンクリート
ALC@100
(▽ 仕上面 ▼ コンクリート天端)

工事番号	
承認	小林
照査	藤原
照査	御厨
設計	岩崎
製図	田島
設計部番	

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	3階 平面図 (防災計画図) (参考図)
尺度	1/100
図面番号	AA 4
出図年月日	
登録番号	

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第1308号
1級建築士第61611号 小林建也
横浜市鶴見区東江町2-1 電話 (045)505-7725

図面履歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

消防法上無窓階チェック		工事番号	
無窓階		承認	小林
		監理	勝原
		担当	柳澤
		設計	若山崎
		製図	白鳥
		設計部長	

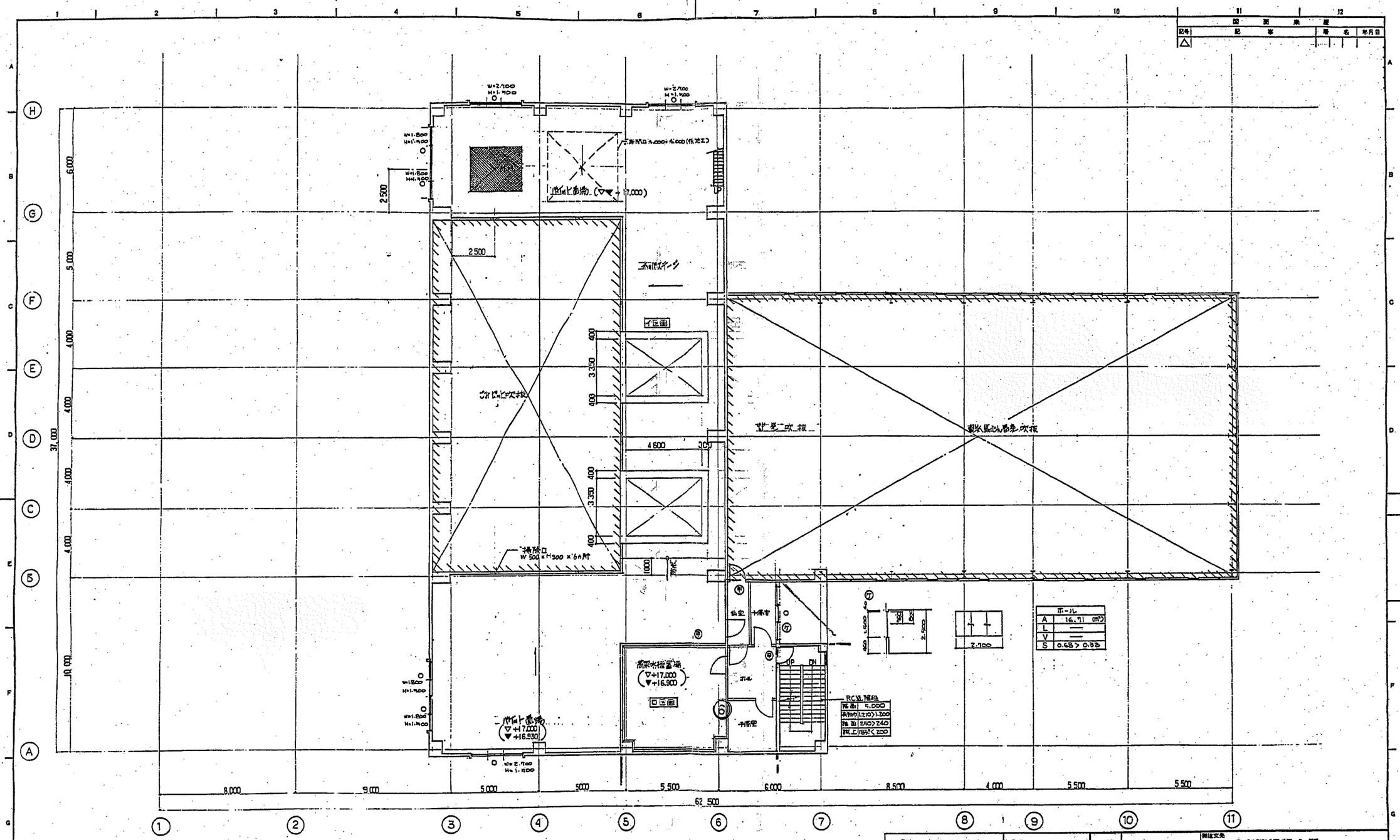
凡例
- コンクリート
- ALC(t=100)
- (▽ 仕上面 ▼ コンクリート天端)

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	4階 平面図 (防災計画図) (参考図)
尺度	1/100
図面番号	AA 5
出図年月日	—

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社建設設計本部四国支店 東京都知事登録第2308号
一級建築士第81611号 小林延也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7735

4F 平面図



5F 平面図

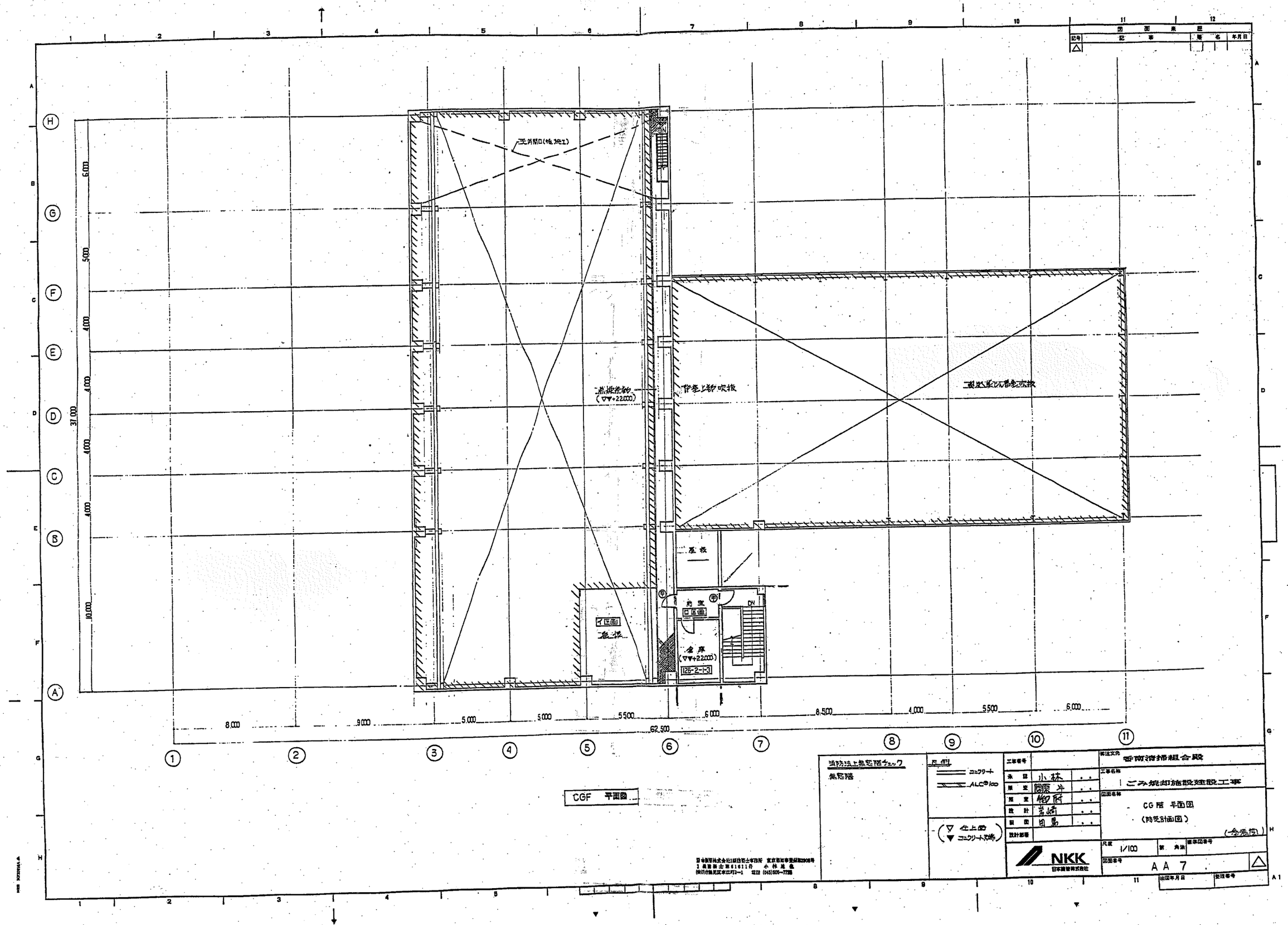
消防法上無窓階チェック
○印：50cm以上の円の内接可能具
(長さ1.2m以下)
床面積：442.35
442.35 × 1/30 = 14.75
有効開口面積（○印）
= 2.7 × 1.5 × 4 + 1.8 × 1.5 × 4
= 27 > 14.75
有窓階

日本国管株式会社 国際設計事務所 東京都知事登録第3006号
1級建築士第41611号 小林雄也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

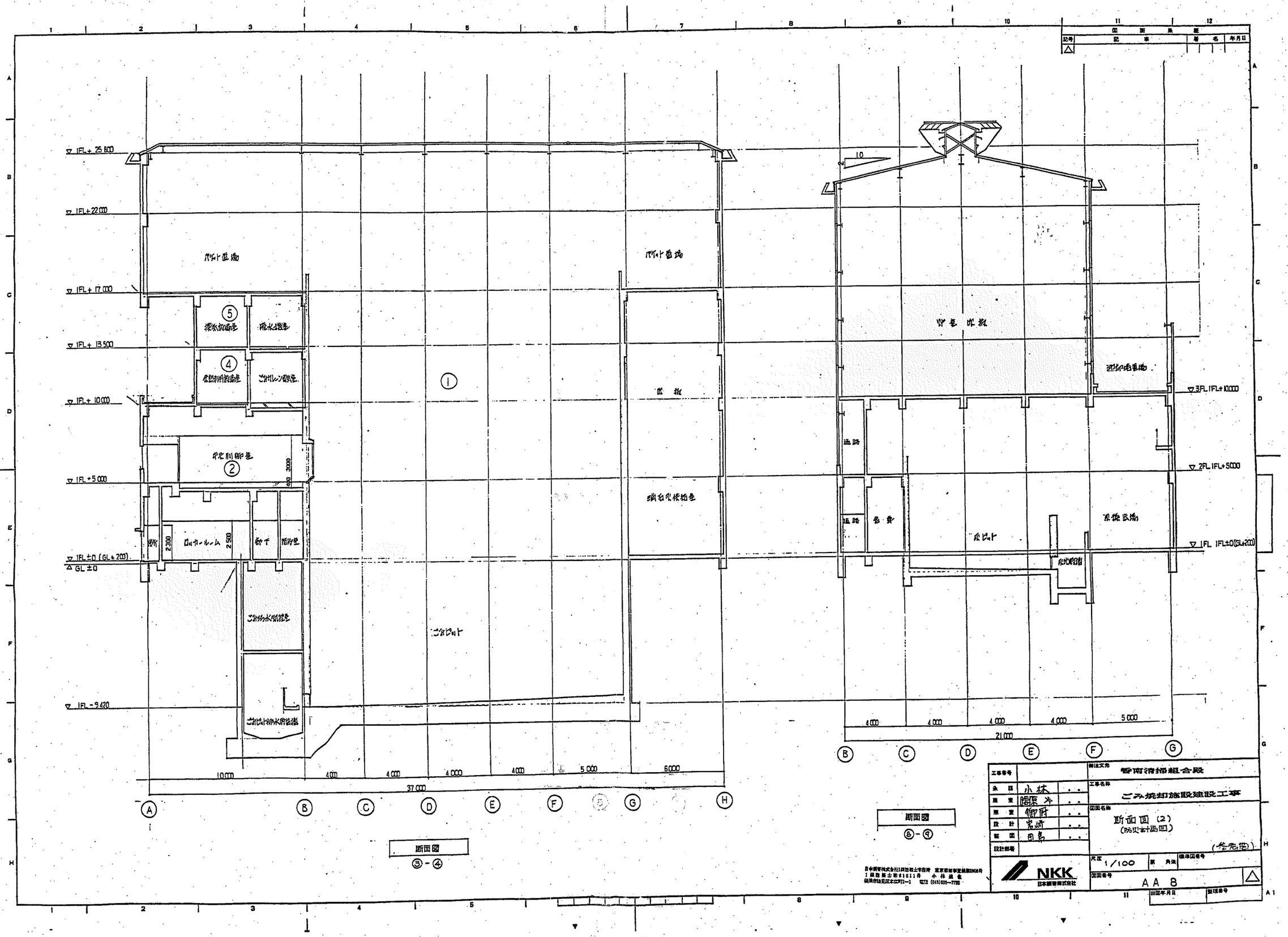
工事番号	
承認	小林
担当	鶴原
担当	御厨
設計	岩崎
製図	日島
設計部署	

NKK 日本国管株式会社

開発文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	5階 平面図 (防災計画図) (会告図)
尺度	1/100
第 角法	
標準図番号	
図面番号	AA6
出図年月日	
整理番号	



天井開口(他施工)
二点検出部
(▽▼+22,000)
部室上部吹抜
二製氷集じん器室吹抜
屋根
前室
口区画
イ区画
二段
倉庫
(▽▼+22,000)
126-2-1-3
DN
37,000
6,000
5,000
4,000
4,000
4,000
4,000
10,000
8,000
9,000
5,000
5,000
5,500
6,000
8,500
4,000
5,500
6,000
62,500
CGF 平面図
消防法上無窓階チェック
無窓階
凡例
コンクリート
ALC®100
▽ 仕上面
▼ コンクリート天端
工事番号
承認 小林
原室 隅原 片
原室 鯉 尉
設計 岩崎
製図 田島
設計部番
NKK
日本建築株式会社
株式会社 香南清掃組合殿
工事名称 ごみ焼却施設建設工事
図面名称 CG階 平面図
(防災計画図)
(参考図)
尺度 1/100
図面番号 AA 7
出図年月日
整理番号



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原	図面名称	断面図 (2) (防災計画図)
照査	御府		(参考図)
設計	岩崎		
製図	田島		
設計部署		尺度	1/100
		図面番号	AA 8

NKK 日本鋼管株式会社

構造設計概要

【建物概要】

工事名称	香南清掃組合　ごみ焼却施設建設工事［工場棟］						
建設場所	高知県 香南市 野根川原 地先						
建物用途	ごみ焼却場		工事種別	新築 □増築 □改築			
規模	階数	地上 6 階・地下		1 階・塔屋	— 階		
	軒高	28.3 m	最高高さ			26.0 m	
地盤予定	□有	無					
構造種別	RC造，S造						

適用範囲

本仕様書は特記事項のみ記載し、当該工事及び附帯工事に適用する。特記なき事項は、官房官庁営繕部監修『建築工事共通仕様書』（平成元年版）による。

【土工事・地業工事】

1．土工事

		地分方法及び材料	備考
⑧	掘土地分	構内地分	
⑧		構外搬出地分	
⑧	埋戻し土	掘削土の中の良質土	
		砂質土	
⑧	盛り土	掘削土の中の良質土	
⑧		砂質土	

2．砂利地業工事

A.材料

1.砂利は切込み砂利または砕石とし硬質なものとする。

3．捨てコンクリート地業工事

コンクリートの種類	気乾単位容積質量 (t/m³)	設計基準強度 (kg/cm²)	スランプ (cm)	水セメント比 (%)	空気量 (%)
⑧ 普通コンクリート	2.3	150	18以下	65以下	4

4．布基礎スラブ工事

A. 地耐力及び支持地盤

長期設計地耐力度	20.0 t/m² (但し、ごみピット部分 fk. 30.0 t/m²)		
支持地盤深さ	GL− 3.5 m	支持地盤土質名	（ 砂レキ ）

注記　支持地盤深さは現地の状況により変更することがある。

~~### 5．既製コンクリート杭・鋼杭地業工事~~

~~A．材料及び耐力~~

~~1．杭種及び耐力表~~

杭種別	杭径 (mm)	本数	長期設計耐力 (t/本)	備考

~~2．支持地盤深さ及び土質名~~

支持地盤深さ	GL− m	支持地盤土質名	（ ）

~~注記　1．杭は JIS 規格品とする。~~
~~2．現地の状況により、杭長さ及び杭耐力を変更することがある。~~

~~B．工法~~

工法	備考

~~C．継手~~

~~1．継手は溶接継手とする。~~
~~2．溶接工は JIS Z 3801 及び JIS Z 3841 の溶接技術検定に合格した有資格者とする。~~

~~注記　上記以外の場合は係員と協議し、承認を受ける。~~

~~D．杭の水平方向のずれ~~

~~杭打設後水平方向のずれが生じた場合は係員の指示を受ける。~~

【鉄筋コンクリート工事】

1．鉄筋工事

A．材料

	材種	呼び名	使用箇所	備考
⑧	SD30A	D10 ~D16	全般	JIS G 3112 規格品
⑧	SD35	D19 ~D25	全般	
	SD40			
	溶接金網			JIS G 3551 規格品

B．継手

	継手の種別	呼び名	使用箇所	備考
⑧	重ね継手	D10 ~D16	全般	
⑧	ガス圧接継手	D19 ~D25	全般	壁筋，柱主筋については特記による

注記　ガス圧接工は JIS Z 3881 の有資格者とする。

C．バーサポート・スペーサー

1．バーサポート・スペーサーの種類は下記のものを使用する。

i) コンクリート製　ii) 鋼製
iii) プラスチック製　iv) ステンレス製

注記　プラスチック製は柱、梁、基礎梁、壁及び地下外壁のスペーサーに限る。

2．コンクリート工事

A．コンクリートはレディーミクストコンクリートとし JIS 表示許可工場で製造したものとする。

B．コンクリートの種類・設計基準強度

コンクリートの種類	気乾単位容積質量 (t/m³)	設計基準強度 (kg/cm²)	使用箇所
⑧ 普通コンクリート	2.3	210	
⑧ 水密性コンクリート	2.3	210	地下部ピット，水槽
⑧ 普通コンクリート	2.3	150	捨てコンクリート
軽量コンクリート種			
⑧ 普通コンクリート	2.3	180	土間コンクリート

C．材料

1．セメント

i) セメントは JIS R 5210 に規定するポルトランドセメントとする。

2．骨材

i) 普通コンクリート骨材の最大寸法は砂利 25mm、砕石を用いる場合は 20mm とし、JIS A 5005 の規格品とする。

~~ii) 人工軽量骨材の最大寸法は　mm とし JIS A 5002 の規格品とし、かつ建設省通達（住指発第 769 号）の認定を受けたものとする。~~

3．練り混ぜ水

i) 水は油、酸、塩類、有機物、その他、コンクリート及び鋼材に影響を及ぼす物質を有害量含んでいてはならない。また塩化物は塩素イオンとして 200ppm 以下とする。

ii) 回収水を使用する場合は係員の承認を受ける。

4．混和材料

i) 化学混和剤は、AE剤、減水剤、AE減水剤の中より適切なものを選定する。

ii) 上記 i) 以外の混和剤（　　）

D．調合

1．スランプ・水セメント比・単位水量・単位セメント量・空気量

種別	スランプ (cm)	水セメント比 (%)	単位水量 (kg/m³)	単位セメント量 (kg/m³)	空気量 (%)
⑧ 普通コンクリート	18 以下	60 以下	185 以下	270 以上	4
軽量コンクリート	21 以下	60 以下	185 以下	300 以上	5
⑧ 水密性コンクリート	15 以下	55 以下	185 以下	300 以上	4
⑧ 土間コンクリート	18 以下	60 以下	185 以下	270 以上	4

2．コンクリートに含まれる塩化物量は塩素イオン量として 0.30kg/m³ 以下とする。

【鉄骨工事】

1．製作工場及び溶接工

A．鉄骨製作工場は建設大臣認定工場とする。

B．溶接工は JIS Z 3801 及び JIS Z 3841 の溶接技術検定試験に合格した有資格者とする。

2．鉄骨工事

A．材料

1．鋼材

	材種	使用箇所	備考
⑧	SS41	副資材 他	JIS G 3101 規格品
⑧	SM50A	主要構	JIS G 3106 規格品
	STK41		JIS G 3444 規格品
	STKR41		JIS G 3466 規格品
⑧	SSC41	母屋	JIS G 3350 規格品
	SDP		JIS G 3352 規格品

2．ファスナ・スタッド及びその他

⑧	高力ボルト	JIS B 1186 規格品（2種、ボルト F10T、ナット F10、座金 F35）
⑧	特殊高力ボルト	＊JSS II 09 規格品（ボルト S10T 、ナット F10、座金 F35）
	ボルト・ナット座金	JIS B 1180、JIS B 1181 、JIS B 1256 規格品
⑧	スタッド	JIS B 1198 規格品
⑧	ターンバックル	JIS B 5540 、JIS B 5541、JIS B 5542 規格品
⑧	アンカーボルト	SS41

注記　1．＊日本鋼構造協会規格。

3．溶接材料

	被覆アーク溶接棒・ワイヤ		使用箇所	備考
⑧	軟鋼用被覆アーク溶接棒	D4301	全般	JIS Z 3211 E4316
⑧	高張力鋼用被覆アーク溶接棒	D5016	全般	JIS Z 3212 E5016
⑧	低温靭性高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ	YGW11	全般	JIS Z 3312 YGW11

3．防せい処理

1．さび止め塗装

	塗装箇所	素地調整	ペイントの種類	塗り回数
⑧	工場塗装 鉄骨外面	C 種	JIS K 5516 Type 1	3
⑧	工事現場塗装 接合部	C 種	JIS K 5621	2

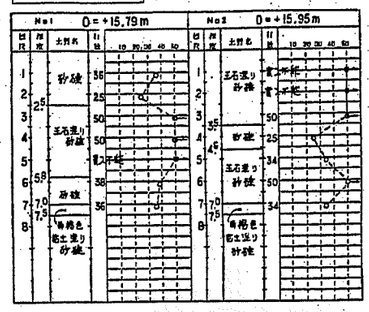
【地盤調査】

1．地盤調査結果

A．調査期間　平成元年　3月　25日　～平成元年　3月　26日

B．ボーリング柱状図及び各種土質試験結果の詳細は地盤調査報告書による。

ボーリング柱状図



記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	岡原		
原案	御厨	図面名称	構造仕様書
設計	原		
製図	大川		
設計部等		尺度	—
		製角法	
		標準図番号	
		図面番号	S-1 △
		出図年月日	
		管理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社鉄構技術センター内
1 級建築士第 61611 号　小林 治信
神奈川県横浜市鶴見区末広町2−1　電話 (045)505−7723

配 筋 基 準 図

◎1 適 用 範 囲

1－1　構造図等に記載のない事項は、この基準図による。この基準図に記載のない事項は施設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」（平成元年版）による。
（この基準図に記載の（　）内番号は、建築工事共通仕様書の該当項目、図又は表を示す）

1－2　この基準図は次のコンクリートおよび鉄筋を使用する一般ラーメン構造に適用する。

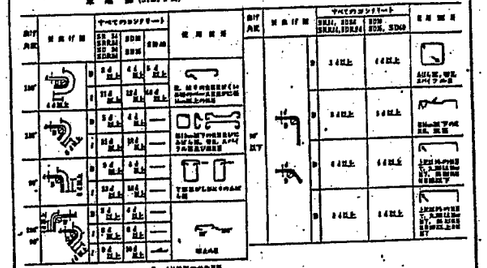
(1) 普通コンクリート　Fc＝180kg/cm²以上270kg/cm²以下
(2) 軽量コンクリート　Fc＝180kg/cm²以上240kg/cm²以下の1種、2種
(3) 鉄　　筋　SR24（SRR24）、SD30、SD35、SD40（SD35、SD40の場合はFc＝210kg/cm²以上を使用する。）

◎2 鉄筋加工共通事項

2－1　折り曲げ基準および余長

鉄筋の折曲げは5.2.1表および5.2.2表による。

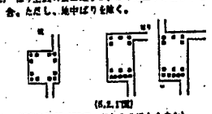
末 端 部（5.2.1図）　　中 間 部（5.2.2図）



2－2　フックの必要な箇所

2－2－1　異形鉄筋では、下記の場合の末端部

(1) 柱のすみにある主筋（5.2.1図の●印）で、重ね継手及び定着の柱頭にある場合。
(2) はり主筋の重ね継手、はりの出すみ及び下端の絞廃（5.2.1図の●印）にある場合。ただし、地中ばりを除く。



(5.2.1図)

(3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）。
(4) くい基礎のベース筋。
(5) 帯筋、あばら筋及び補止め筋。

2－2－2　丸鋼ではすべての末端部

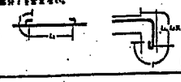
2－3　鉄筋の継手および定着長さ

重ね継手及び定着の長さは、下記による。
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
(1) コンクリートの設計基準強度（Fc）が210kg/cm²以上の場合は、5.2.3表による。
(2) コンクリートの設計基準強度（Fc）が180kg/cm²の場合、L_a及びL_{a1}は、5.2.3表の値に5dを加えたもの、L_{a2}は5.2.3表の値とする。

(5.2.3表)

鉄筋の種別	設計基準強度 Fc(kg/cm²)	フックなし L_a	フックなし L_{a1}	フックなし L_{a2} 小はり	フックなし L_{a2} 床版	フックあり L_a	フックあり L_{a1}	フックあり L_{a2} 小はり	フックあり L_{a2} 床版
SR 24 SRR24	210以上	—	—	—	—	35d	25d	25d	150mm
SD 24 SDR24	210以上	30d	25d	25d	10d（15cm）	20d	15d	15d	—
SD 30 SD 35	210以上	40d	35d	25d	10d（15cm）	30d	25d	15d	—
SD 40	210以上	45d	40d	25d	10d（15cm）	35d	30d	15d	—

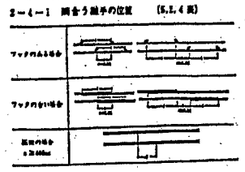
(注) 1. L_a：延長及び下記、及び2.以外の定着長さ。
2. L_{a1}：長形鉄筋で、RC壁横の型内のない箇所の定着長さ。
3. L_{a2}：小はり及び床版の下端筋の定着長さ。ただし、基礎梁底、これを受ける小はりとは除く。
4. フックのある場合のL_a及びL_{a1}には、5.2.3図に示すようにフック部分1を含まない。



(5.2.2図)

2－4　隣り合う継手の位置及び鉄筋の間隔

2－4－1　隣合う継手の位置　（5.2.4図）



2－4－2　鉄筋の間隔

(1) 鉄筋相互のあきは、下記の値のうち最大のもの以上とする。
　(i) 鉄筋径の最大寸法の1.25倍
　(ii) 2cm
　(iii) 丸鋼では径の1.5倍、異形鉄筋では径の1.7倍
(2) 主筋と補方向鉄筋とのあきは、2cm以上とする。

2－5　鉄筋（溶接金網を含む）の最小かぶり厚さ（cm）

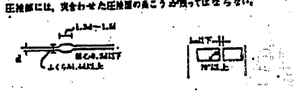
（5.2.5表）

構造部分の種別				下ばのコンクリート
土に接しない部分	耐力壁、耐力壁以外の壁		仕上げあり	2.0
			仕上げなし	3.0
	柱、はり、耐力壁	屋内	仕上げあり	3.0
			仕上げなし	3.0
		屋外	仕上げあり	4.0
			仕上げなし	4.0
	擁壁			4.0[3]
土に接する部分	柱、はり、耐壁、梁			6.0[4]
	基礎、底版、耐圧版底			5.0
屋根など直接土に接しない部分				3.0

(注) 1. 水等のかかる部分は鉄筋コンクリートに準じ、低強コンクリートの場合は特記による。
2. 仕上げありとは、モルタル塗りその他仕上げのあるものとし、吹付け並びにその鉄筋の耐火上有効でない仕上げのものを除く。
3. 擁壁、はり、耐壁及び耐圧版に接する部分のかぶり厚さには、普通コンクリートの型枠をとらない。
4. くい基礎のかぶり5.0cmは、くい天端からとる。

2－6　ガス 圧 接

圧接部は下記によるほか、有害な欠陥のないものとする。
(1) 規格又は形状の著しく異なる場合及び径の差が5mmを超える場合は、圧接してはならない。
(2) 突合わせた圧接面は、なるべく平面とし、面直のすき間は3mm以下とする。
(3) 圧接部のふくらみの径は、最小部分で鉄材鉄筋径の1.4倍以上とする。
(4) 軸心のくい違いは、鉄筋径の1/5以下とする。
(5) 圧接部には、突合わせた圧接面のあこうが残ってはならない。

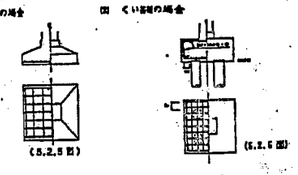


◎3 基　　礎

3－1　基礎の配筋

基礎の配筋は特記による。はかま筋については特記がなければ（5.2.6図）による。

(1) 直接基礎の場合　　(2) くい基礎の場合



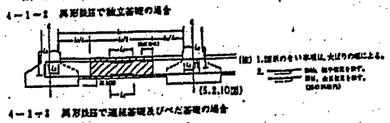
(5.2.5図)　　(5.2.6図)

◎4 地 中 ば り

4－1　地中ばり筋の継手及び定着

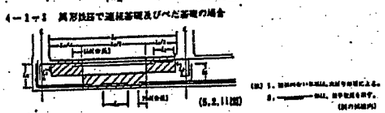
4－1－1　一般事項
(1) 独立基礎で地中ばりに緊結がつく場合は、大ばりの項による。
(2) 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。
(3) あばら筋のかけ始め巾は大ばりの項による。

4－1－2　異形鉄筋で独立基礎の場合



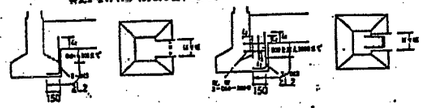
(5.2.10図)

4－1－3　異形鉄筋で連続基礎及びべた基礎の場合



(5.2.11図)

4－1－4　基礎はかま部の補強
特記がなければ（5.2.8図）による。

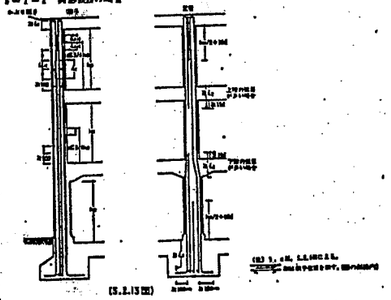


◎5 柱

5－1　柱筋の継手及び定着

5－1－1　一般事項
(1) 継手及び圧接の中心位置は、はり上端から500以上かつL/6a（haは柱の内のり高さ）以下とする。
(2) 継手長をはじとし、定着長さ及び余長は（5.2.13図）による。

5－1－2　異形鉄筋の場合

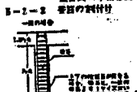


(5.2.13図)

5－2　帯筋

5－2－1　帯筋
(1) フック及び継手の位置は、交互とする。
(2) 帯筋補立ての際は、5.2.14図とし、低強は片側(イ)又は(ロ)とする。
　監督員の承認を受けて他の形とすることができる。

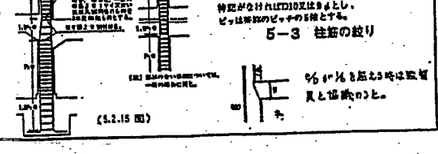
5－2－2　帯筋の割付け



(5.2.14図)

5－2－3　副帯筋
副帯筋の径、かぎ及びピッチは特記による。ただし、特記がなければD10又は$\frac{3}{8}$φとし、ピッチは帯筋のピッチの$\frac{1}{2}$倍とする。

5－3　柱筋の絞り



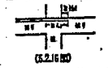
(5.2.15図)

5/6以上を超える時は監督員と協議のこと。

◎6 大 ば り

6－1　大ばり筋の継手及び定着

6－1－1　一般事項
(1) 継手及び圧接中心位置は、下記による。
　上端筋 － 中央a/2以内
　下端筋 － 両端a/4以内
(2) 継手長をはじとし、定着長さ及び余長は、下記5.1.2及び6.1.3による。
(3) はり筋で、柱をまたいで引通すことのできない場合は、柱内に定着する。
　なお、はり内に定着する場合は、5.2.16図による。
　（最上階等で上に柱のない場合のはり上端筋は柱内に定着する。



(5.2.16図)

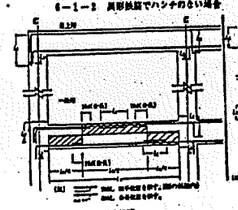
(4) はり筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を超えてから折り下ろす。
(5) はりにハンチをつける場合、その寸法は特記による。ただし、特記がなければ1：1とする。
(6) 段違いばりは、監督員の承認を受けて、下記によることができる。
　(i) D≦100の場合は、5.2.17図による。
　(ii) D＞100の場合は鉄筋を柱内に定着する。



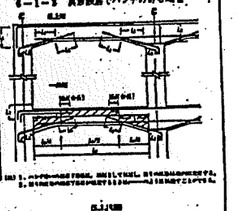
(5.2.17図)

(7) あばら筋は柱面より 制付け5cm

6－1－2　異形鉄筋でハンチのない場合

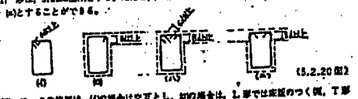


6－1－3　異形鉄筋でハンチのある場合



6－2　あばら筋、腹筋及び補止め筋

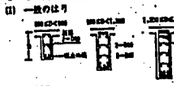
6－2－1　あばら筋
あばら筋補立ての際及びフックの位置
(1) 原は、5.2.20図(i)とする。ただし、L形ばりの場合は(ii)又は(iii)、T形ばりの場合は(i)～(iv)とすることができる。



(5.2.20図)

(2) フックの位置は、(i)の場合は交互とし、(ii)の場合は、L形では左図のつく例、T形では交互とする。

6－2－2　腹筋、補止め筋及び補強筋
(1) 一般のはり



(5.2.22図)

(2) 梁ばり



(3) 補止め筋及び受け用補止め筋は、(D10又は$\frac{3}{8}$φ) －1000@程度とする。
(4) 段主筋が2段配筋の場合は、コ又はSの形のつり筋（D10、$\frac{3}{8}$φ又は$\frac{5}{8}$φ）－@1000程度によりつり下げる。



図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

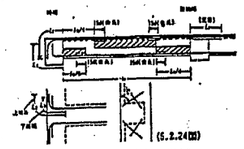
工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	關戸	図面名称	鉄筋コンクリート構造標準配筋図（1）
検査	御所		
設計	原		
製図	大川		
設計部署		尺度	——
		図面番号	S-2
		出図年月日	
		管理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社関西総合技術所　東京都知事登録第2000号
1級建築士第61611号　小林 進 他
横浜市鶴見区末広町2-1　電話（045）505－7720

◎7 小ばり及び片持ちばり

7－1 小ばり

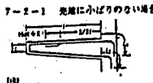


(5.2.24図)

(注) 1．図示のない部位は，大ばりの場による。
2．主筋にする4隅の位ずれの許容は，はりの中心線を越えて大ばり内に収り
　　に定着する。
3．＝＝＝＝ 印は，最小定着長を示す。（図の斜線内）
　　――――― 印は，余長を示す。
4．端part位置は特記以下図(a)，一般は下図(b)とし，上端は1/2とする。

7－2 片持ちばり

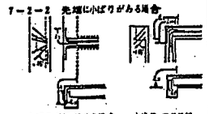
7－2－1　先端に小ばりのない場合



(注) 1．図示のない部位は，大ばりによる。
2．＝＝＝＝ 印は，余長を示す。
3．先端の折曲げの長さは，はり成よりかぶり厚さを除
　　た長とする。
4．はり主筋を引抜き止め金具，定着板等にて定着する。
　　ただし，径が13㎜を1本増加する場合でも，上
　　端筋は，2本以上を1組に定着する。

(5.2.25図)

7－2－2　先端に小ばりがある場合



小ばりが直交する場合　　小ばりの片側部

(注) 1．図示のない部位は，先端に小ばりのない場合に
　　よる。
2．上端筋は，小ばり内に同じに定着する。

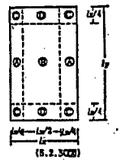
(5.2.26図)

◎8 床　版

8－1 床版の基本配筋

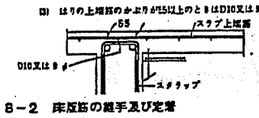
8－1－1　一般事項

(1) A，B形基本配筋の折曲げ位置は，周辺よりほぼ$l_n/4$の位置（5.2.30図の点線位
　　置）とし，その位置に1－D13を配筋する。
(2) C形基本配筋には周辺よりほぼ$l_n/4$の位置（5.2.30図の点線位置）に1－D13を
　　配筋する。



(5.2.30図)

(3) はりの上端筋のかぶりが15以上のとき13D10又は9φを除筋とする。



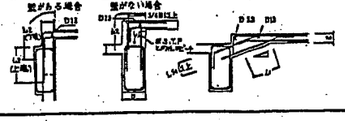
8－2 床版筋の継手及び定着

(1) 鉄筋の継手長さは，l_0とする。
(2) 定着長さ及び受け筋
　　定着長さ及び受け筋の記号は，5.2.31図による。ただし，E形及びF形記号の場
　　合は，5.2.36図及び5.2.37図による。



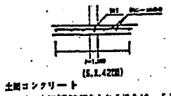
一般床版　(5.2.31図)　　斜任床版

(3) はりよりスラブが上る場合は下図による。



(4) E形及びF形スラブ（片持スラブ）は下図による。

E形基本配筋図



(注) 先端の折曲げ長さは，定着部がl_0よりかぶり厚さを除いた長さとする。

(5.2.36図)

F形基本配筋図



(注) 先端の折曲げ長さは，定着部がl_0よりかぶり厚さを除いた長さとする。

(5.2.37図)

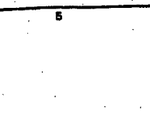
(5) 出すみ部
① 補強の記号は，特記による。特記のない場合は D10－100ピッチとする。
　　記号は，図 5.2.38 (1)による。
② 起こし筋形状（5.2.39図のハイチ形状）の記号は，特記による。



5.2.38 (1)　　5.2.39 (1)

8－3 床版開口部の補強

床版開口の最大径が600㎜以下の場合は，5.2.40図により開口によって切られる鉄
筋と同量の鉄筋で周囲を補強し，さう角部は斜め方向に1－D13（l＝2.5l）を，上下
筋の内部に配筋する。

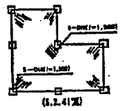


(5.2.40図)

(注) 床開口の最大径が両方向の記号図以下で，設計上特に支障のないことにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。

8－4 その他の補強

8－4－1　屋根床版
　　屋根床版の出すみ及び入すみ部分には，5.2.41図により，補強筋を上端筋の下側に配
　　配筋する。

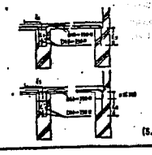


(5.2.41図)

8－4－2　陸つき床版
　　床版に上端筋がなく，壁がついている場合には，5.2.42図の補強筋を入れる。（上
　　端筋）

(5.2.42図)

8－4－3　土間コンクリート
　　土間コンクリートに補強筋を入れる場合は，5.2.43図による。

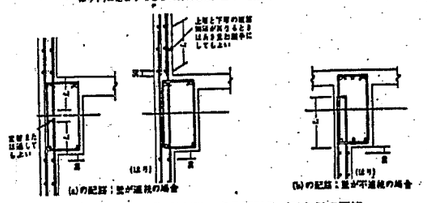


(5.2.43図)

◎9 壁

9－1 壁筋の継手及び定着

9－1－1　一般事項
(1) 壁配筋の継手及び定着の長さは，l_0とする。
(2) 土圧などを受ける壁及び耐震壁として特記されたものは，継手長さをl_0，定着長
　　さをl_2とする。
(3) 片持床版形状を受ける壁の端部は補筋の外側に配筋する。
(4) 縦止め筋は縦・横共（D10又は9φ）－1,000ピッチ程度とする。
(5) はりと同一面に壁があるときの定着は下図による。
　　はり内に定着するときの外側筋は，はりの配筋等に従来する。



(a)の記号：壁が連続の場合　　(b)の記号：壁が不連続の場合

9－2 パラペット並びに外部に面する腰壁及び垂れ壁の記筋

パラペット及び外部に面する腰壁，垂れ壁の記筋は特記による。ただし特記がな
ければ（5.2.8表）による。

(5.2.8表)

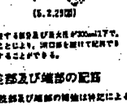
施工箇所	コンクリート厚さ (mm)	方向	配筋	先端補強筋
パラペット	特記による	縦	D10－150@ ダブル	
		横	D10－200@ ダブル	
外部に面する腰壁及び垂れ壁	120	縦	D10－200@ シングル	
		横	D10－100@ シングル	
	150	縦	D10－150@ シングル	
		横	D10－100@ シングル	

(注) 縦止め筋は縦，横とも（D10又は9φ）－1,000ピッチ程度とする。

9－3 壁開口部の補強

壁開口部の補強は，特記による。ただし特記がなければ耐震壁以外はA形（5.2.9図）
による。

壁開口部補強の定着長さ



(5.2.29図)

(5.2.9図 A 形)

壁の種別	補強筋	
	縦，横	斜め
W_0，W_B	1－D13	1－D13
W_A，W_B	2－D13	2－D13

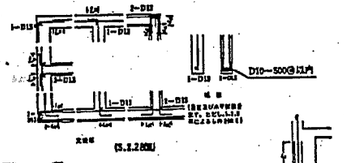
(5.2.10表 B 形)

壁の種別	補強筋	
	縦，横	斜め
W_0，W_A，W_B	2－D13	1－D13
W_A，W_B	4－D13	2－D13

(注) 開口部が壁，はりに接する部分及び最大径が300㎜以下で，
　　筋を避けることにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。

9－4 交差部及び端部の記筋

交差部及び端部の補強は特記による。ただし特記がなければ（5.2.28図）による。



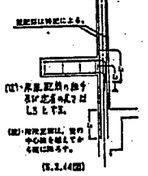
(5.2.28図)

◎10 階　段

階段の記筋は，特記による。

10－1 片持ち床版形

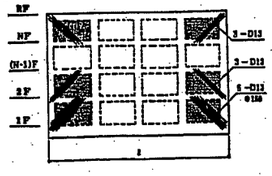
(1) 片持ち床版形，階段主筋の定着長さは，
　　（5.2.44図）による。



(注1・長辺記筋の除り及び定着はL_2とする。
(注2・階段正筋は，筋の中心線を越えて余長は設ける。

(5.2.44図)

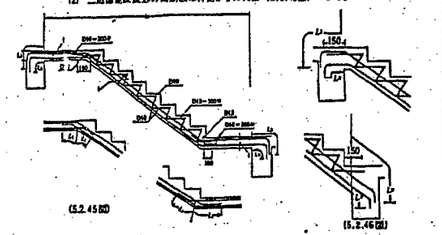
無開口外壁の補強



注記
・4スパン以上かつH=20m以上の場合補強する。
・位置は妻・棟内にL_2とする。

10－2 二辺固定床版形

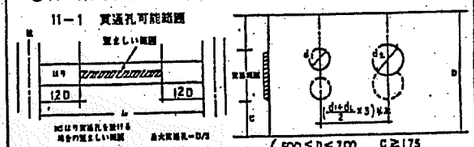
(1) 二辺固定床版筋の定着長さは（5.2.45図）又は（5.2.46図）による。
(2) 二辺固定床版筋の補助筋は特記がなければ（5.2.45図）による。



(5.2.45図)　　(5.2.46図)

◎11 梁・貫通孔に対する補強

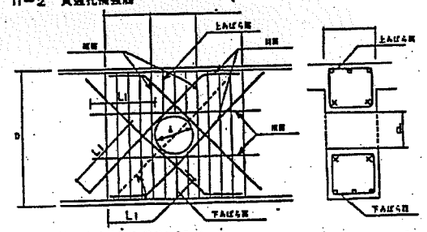
11－1 貫通孔可能範囲



(注) 1．孔の位置は円形とする。
　　2．円形でない場合には，これら以外円とする。

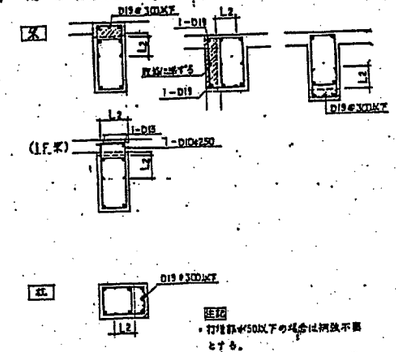
500≦D＜700	C≧175
700≦D＜900	C≧200
900≦D	C≧250

11－2 貫通孔補強筋



(注) ・鉄筋材料，特記による。
　　・孔径(d)が D/10 以下 かつ 150㎜以下の場合は，補強なし。

◎12 梁・壁 打継ぐコンクリート補強



注記
・打継面が500以下の場合は補強不要とする。
・打継部S.S.T.P及びワープは，一般のそれと同様間隔とする。

工事番号		郵注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鵜原		
照査	御厨	図面名称	鉄筋コンクリート構造標準配筋図（2）
設計	原		
製図	大川	尺度	―
設計部署		図面番号	S-3

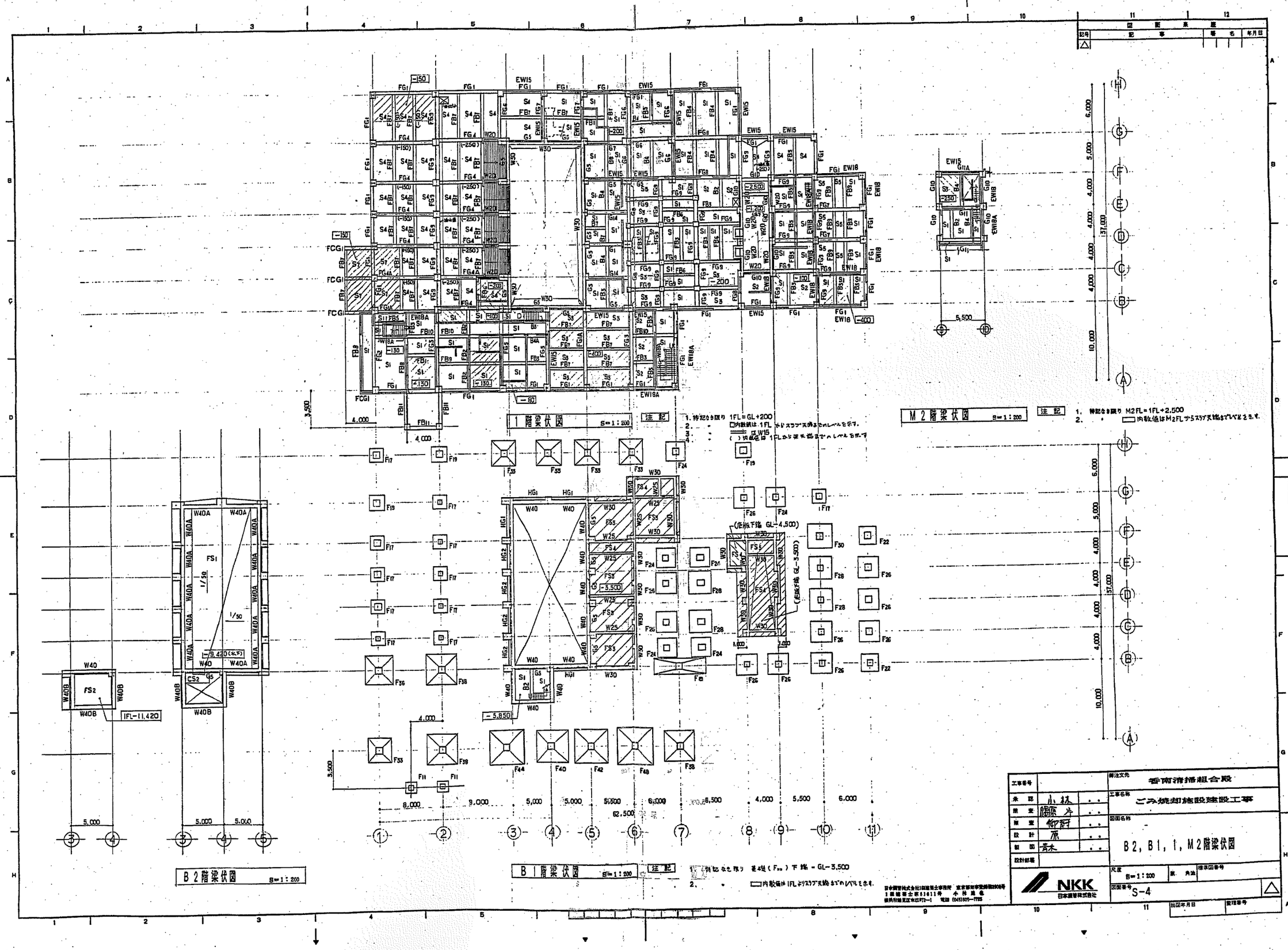
NKK 日本鋼管神鉄商社

日本鋼管神鉄商社株式会社 横浜支店 営業部 横浜営業第2課
〒220-8611 横浜市西区北幸2-8-29 横浜センタービル
電話 (045) 315-7711

図面履歴

記号	記事	署名	年月日
△			

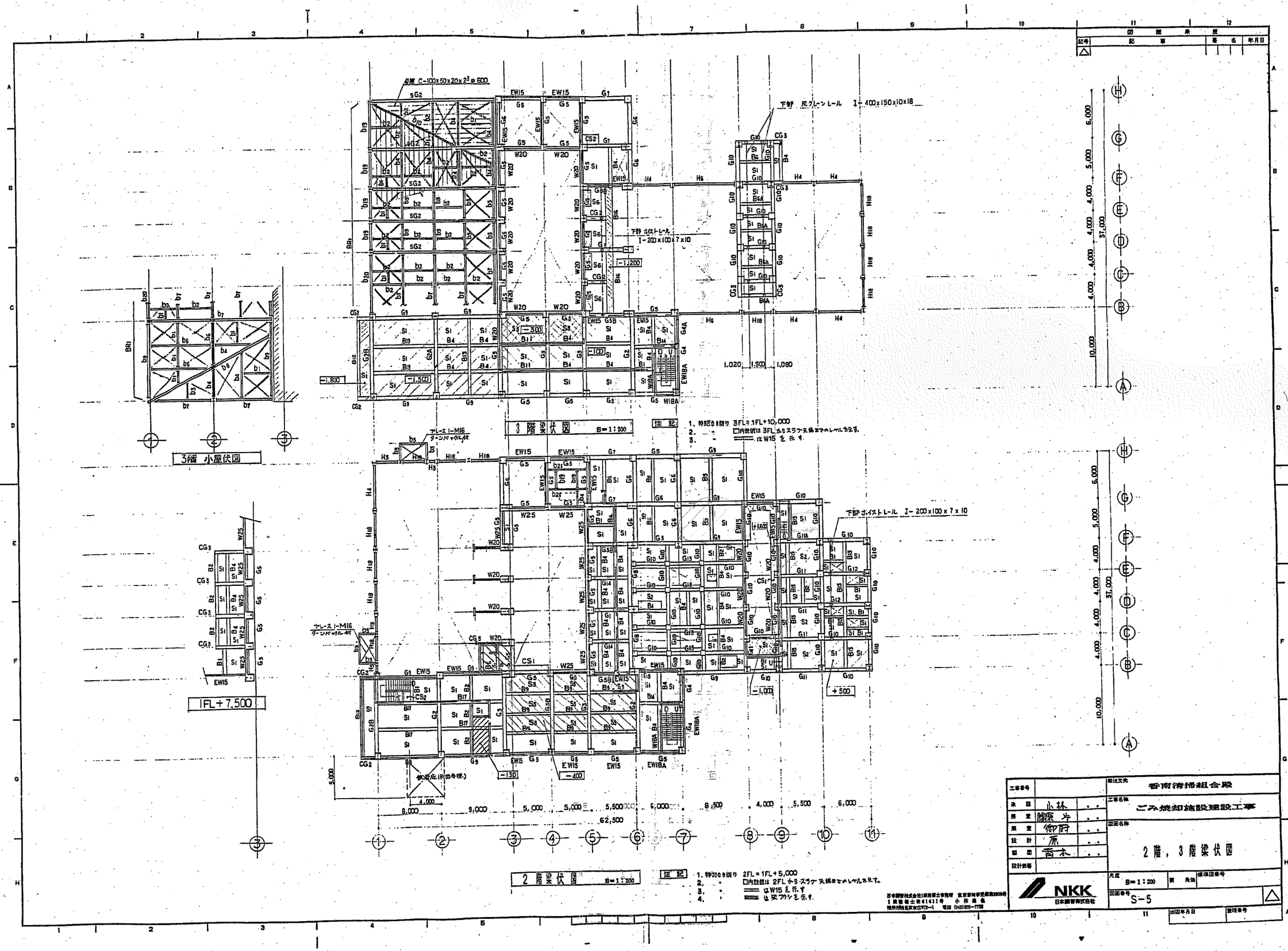
出図年月日　　整理番号



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
担当	橋原 片	図面名称	B2, B1, 1, M2階梁伏図
担当	御厨		
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:200
		図面番号	S-4

NKK 日本鋼管株式会社

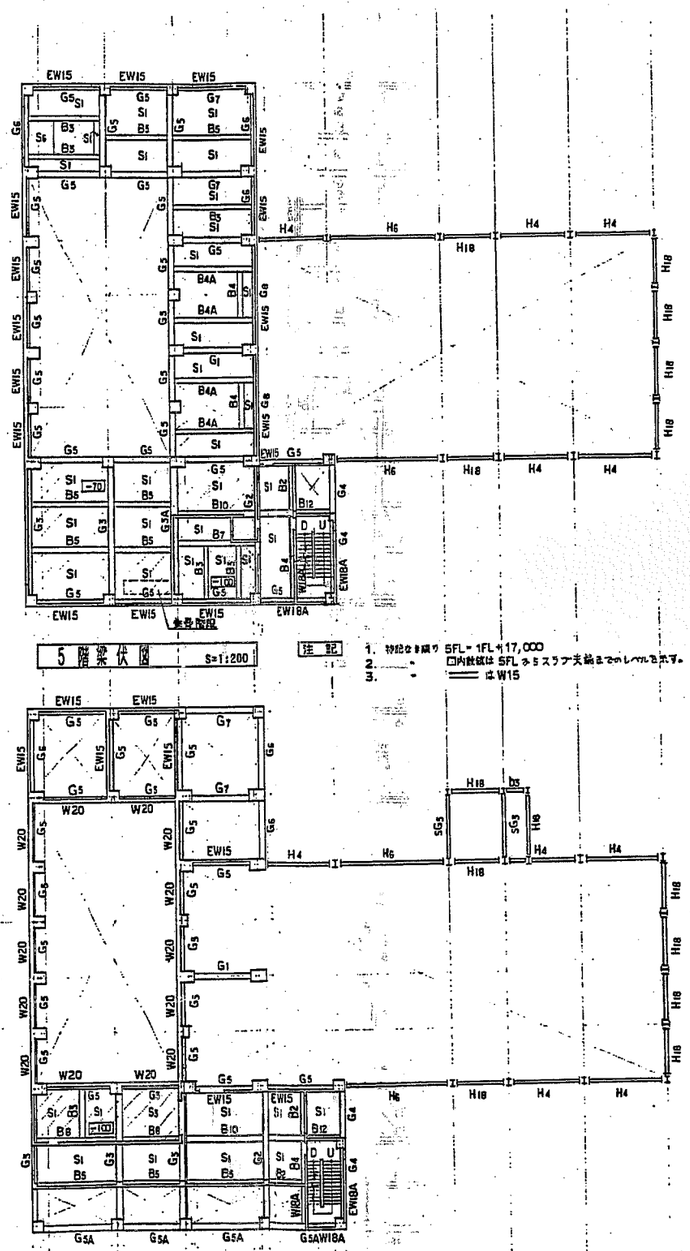
日本鋼管株式会社 鋼建築士事務所 東京都知事登録第2906号 1級建築士第51611号 小林進也 横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鶴原		
照査	御厨	図面名称	2階，3階梁伏図
設計	原		
製図	高木		
設計部署		尺度	S=1:200
		図面番号	S-5

NKK 日本調査株式会社

日本調査株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林達也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7728

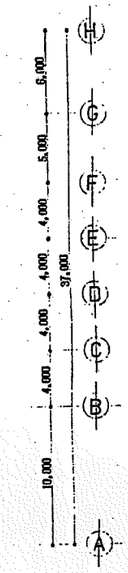


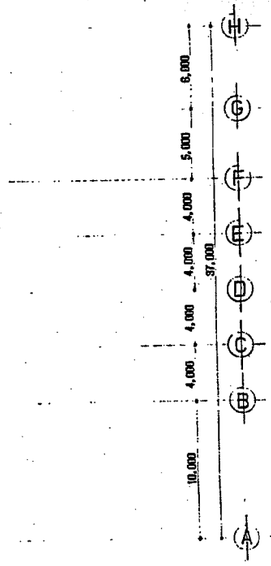
5階梁伏図 S=1:200

4階梁伏図 S=1:200

注記
1. 特記なき限り 5FL=1FL+17,000
2. 〃 □内数値は 5FL からスラブ天端までのレベルを示す。
3. 〃 ═ は W15

注記
1. 特記なき限り 4FL=1FL+13,500
2. 〃 □内数値は 4FL からスラブ天端までのレベルを示す。
3. 〃 ═ は W15





図面変更			
記号	記事	署名	年月日
△			

日本管理株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第20098号
1級建築士登録41611号 小林 誠
横浜市緑見区東山町12-1 電話 (045)505-7735

工事番号		
承認	小林	・・
照査	勝原 卓	・・
照査	御野	・・
設計	原	・・
製図	青木	・・
設計部署		

発注文先: 香南清掃組合殿

工事名称: ごみ焼却施設建設工事

図面名称: 4階，5階梁伏図

NKK 日本管理株式会社

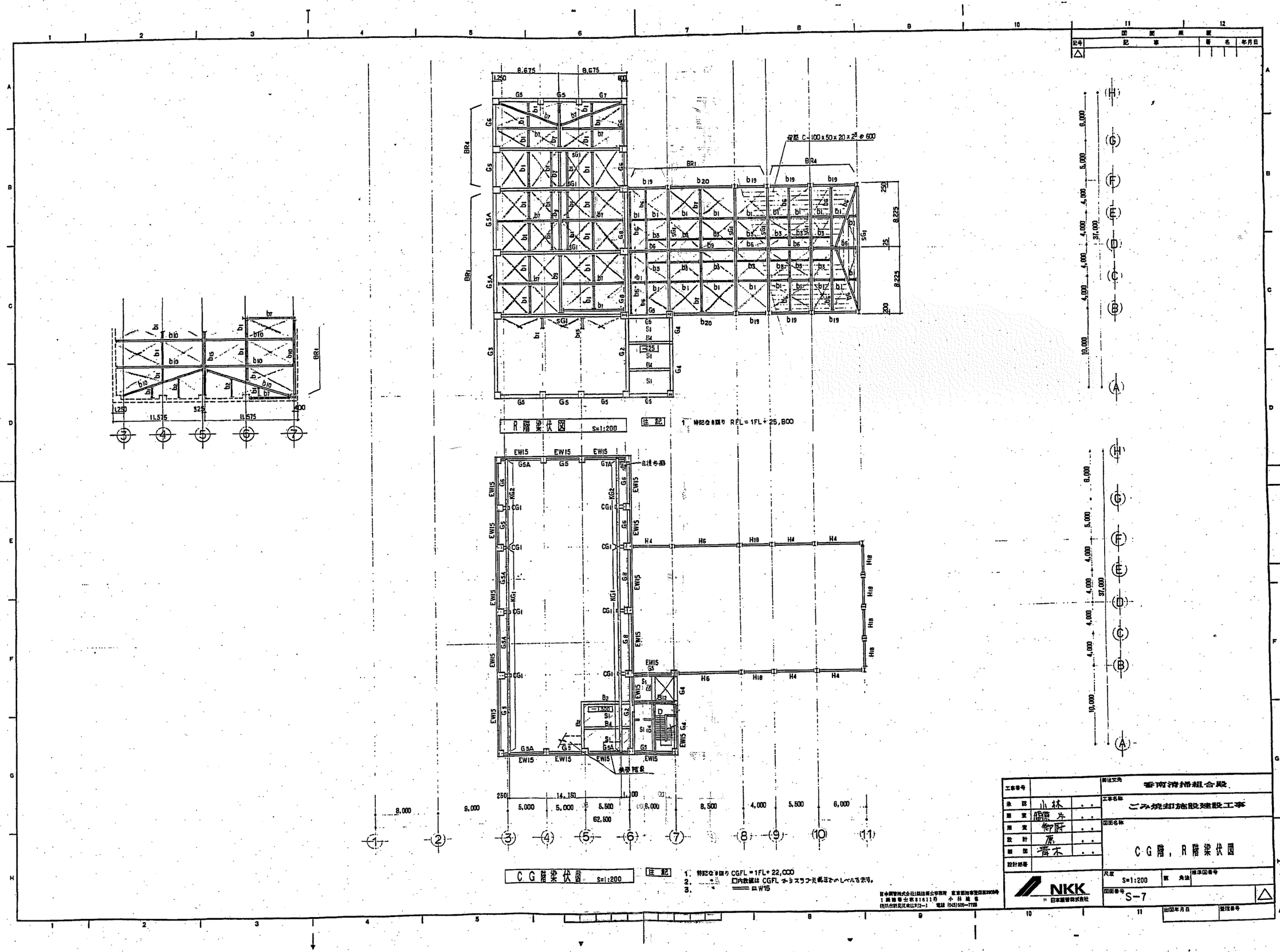
尺度 S=1:200 原寸 角治

図面番号 S-6

出図年月日

整理番号

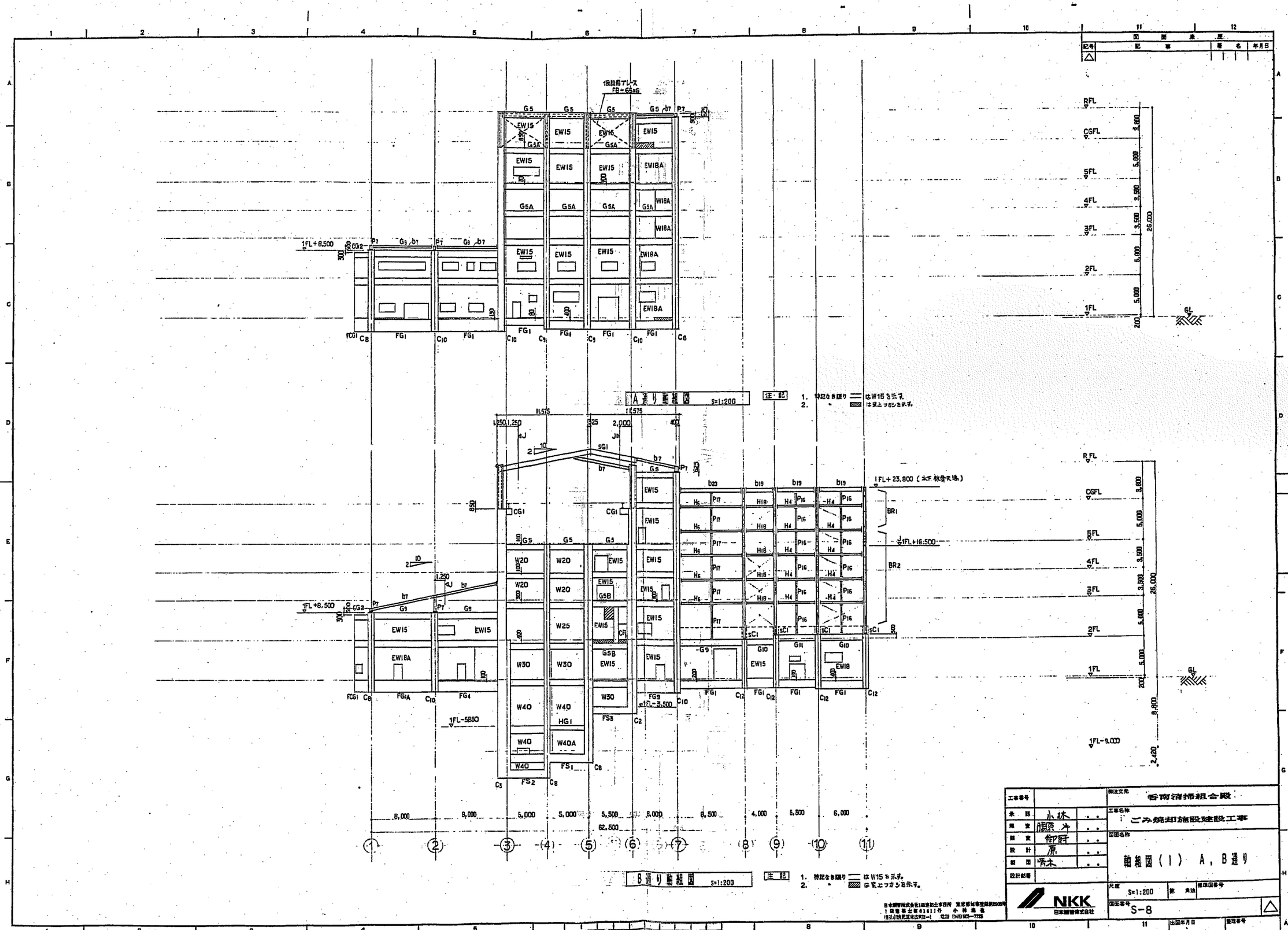
A1



工事番号		御住文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所管	鶴原	図面名称	CG階，R階梁伏図
所管	御厨		
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:200
		図面番号	S-7

NKK 日本鋼管株式会社

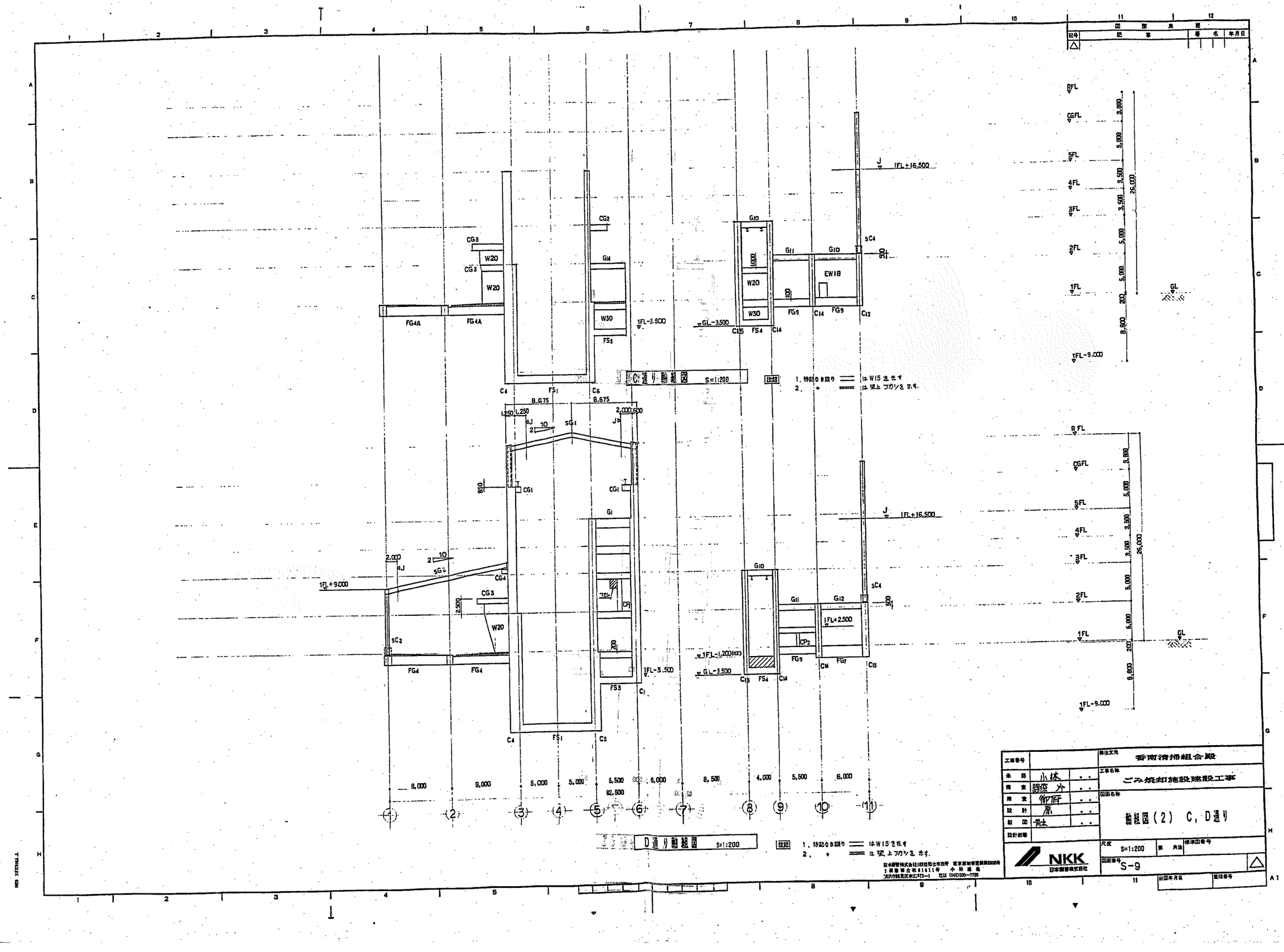
日本鋼管株式会社 鉄鋼建築士事務所 東京都知事登録第3908号
1級建築士第81611号 小林建築
横浜市鶴見区東山町2-1 電話 (045)505-7725



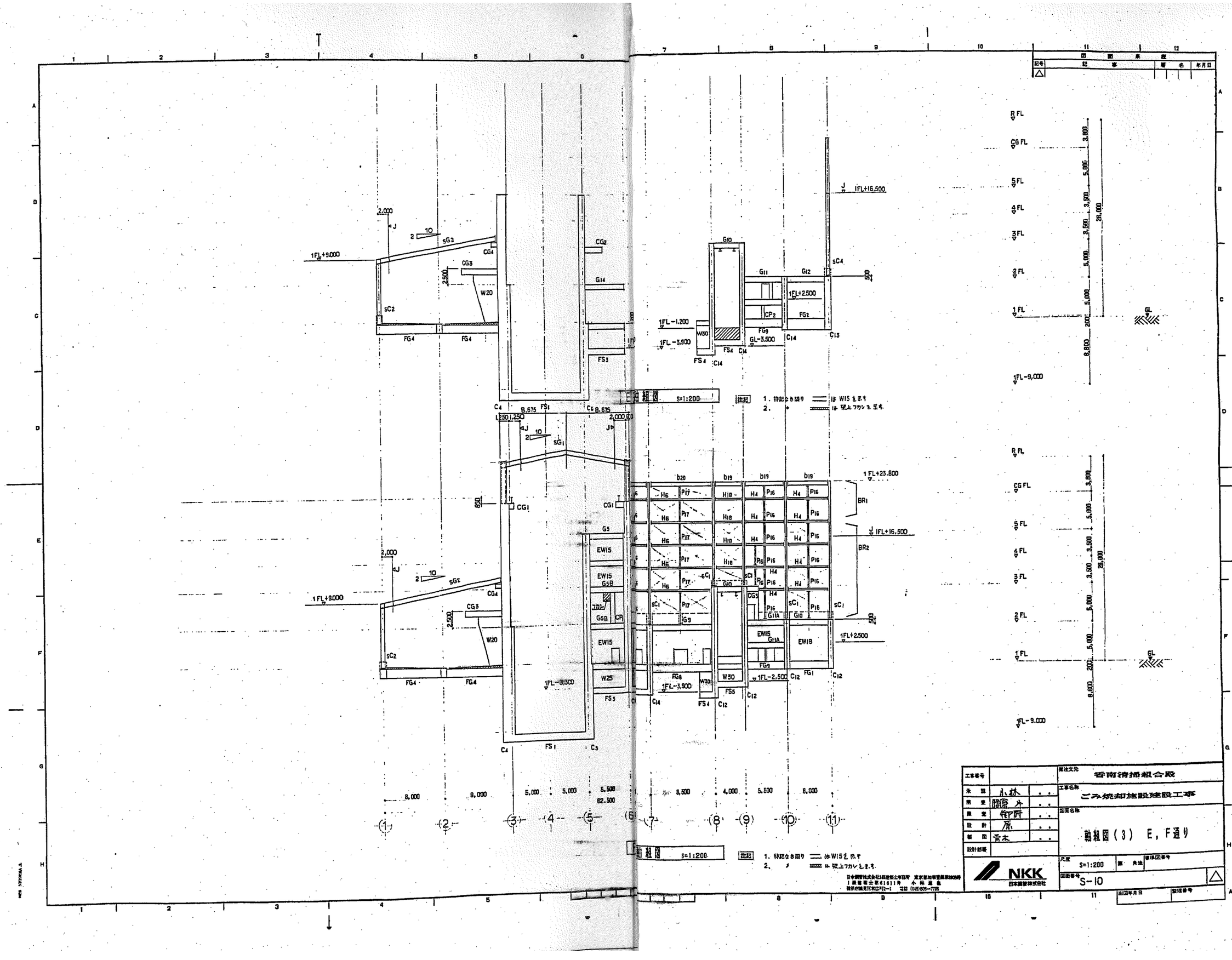
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	臨原		
照査	御野	図面名称	軸組図（1） A，B通り
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:200
		図面番号	S-8

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林進也
横浜市鶴見区東寺尾2-1 電話 (045)505-7725



工事番号		発注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原	図面名称 軸組図(2) C, D通り
照査	御厨	
設計	原	
製図	青木	
設計部署		尺度 S=1:200
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号 S-9

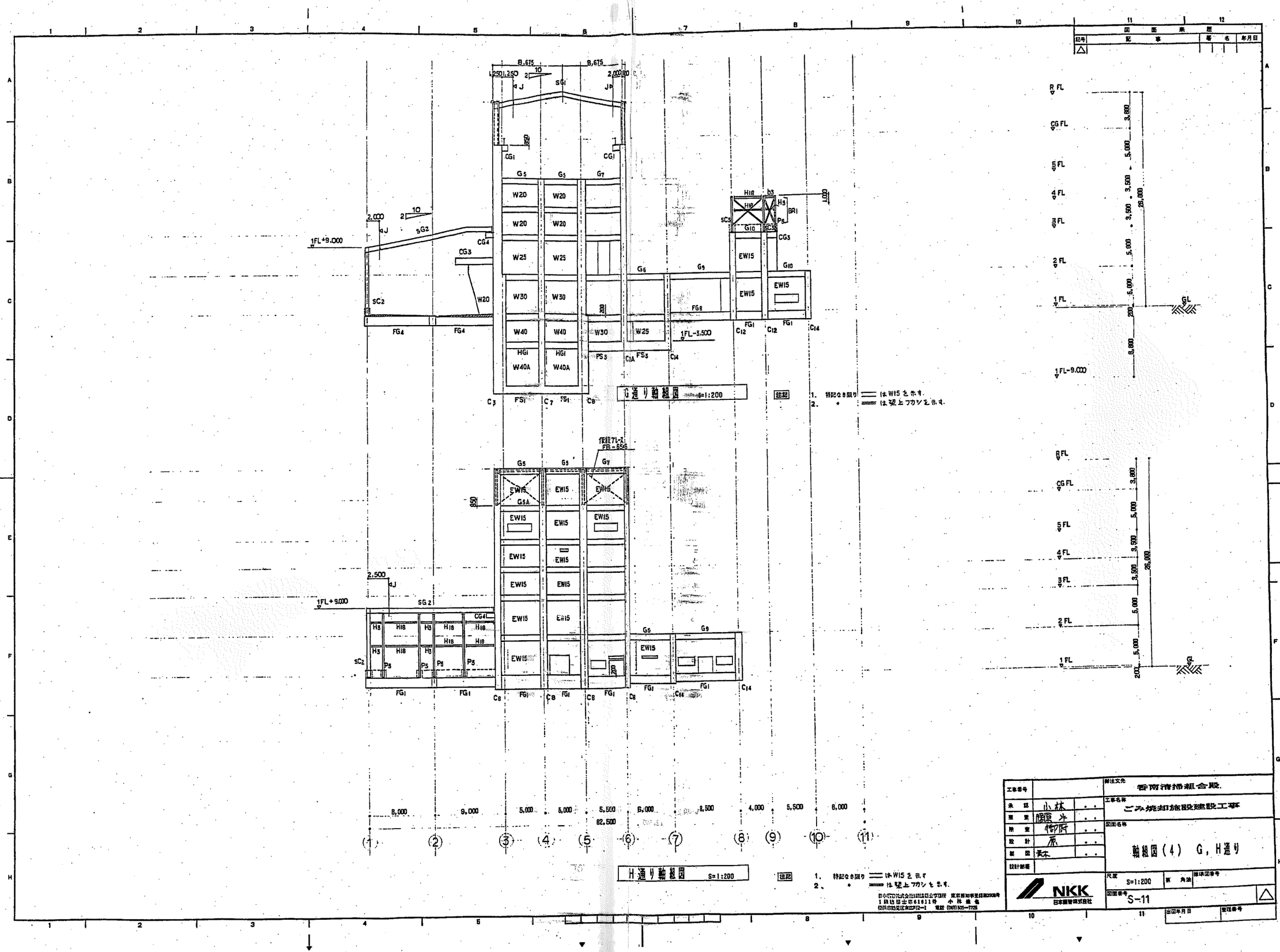


工事番号		
承認	小林	
照査	関原 片	
照査	御所	
設計	原	
製図	青木	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	軸組図（3） E，F通り
尺度	S=1:200
図面番号	S-10
出図年月日	
整理番号	

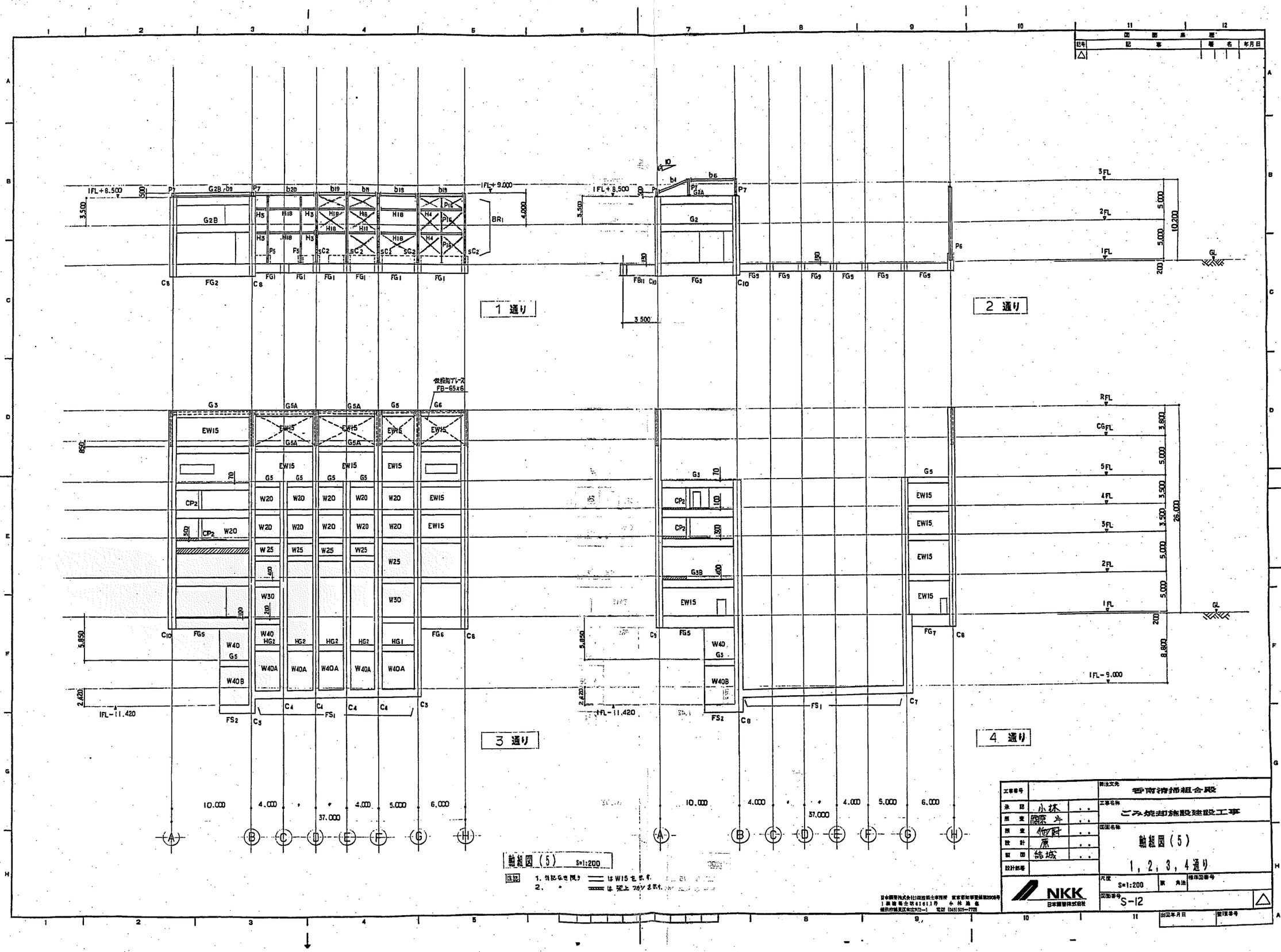
日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林建築
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

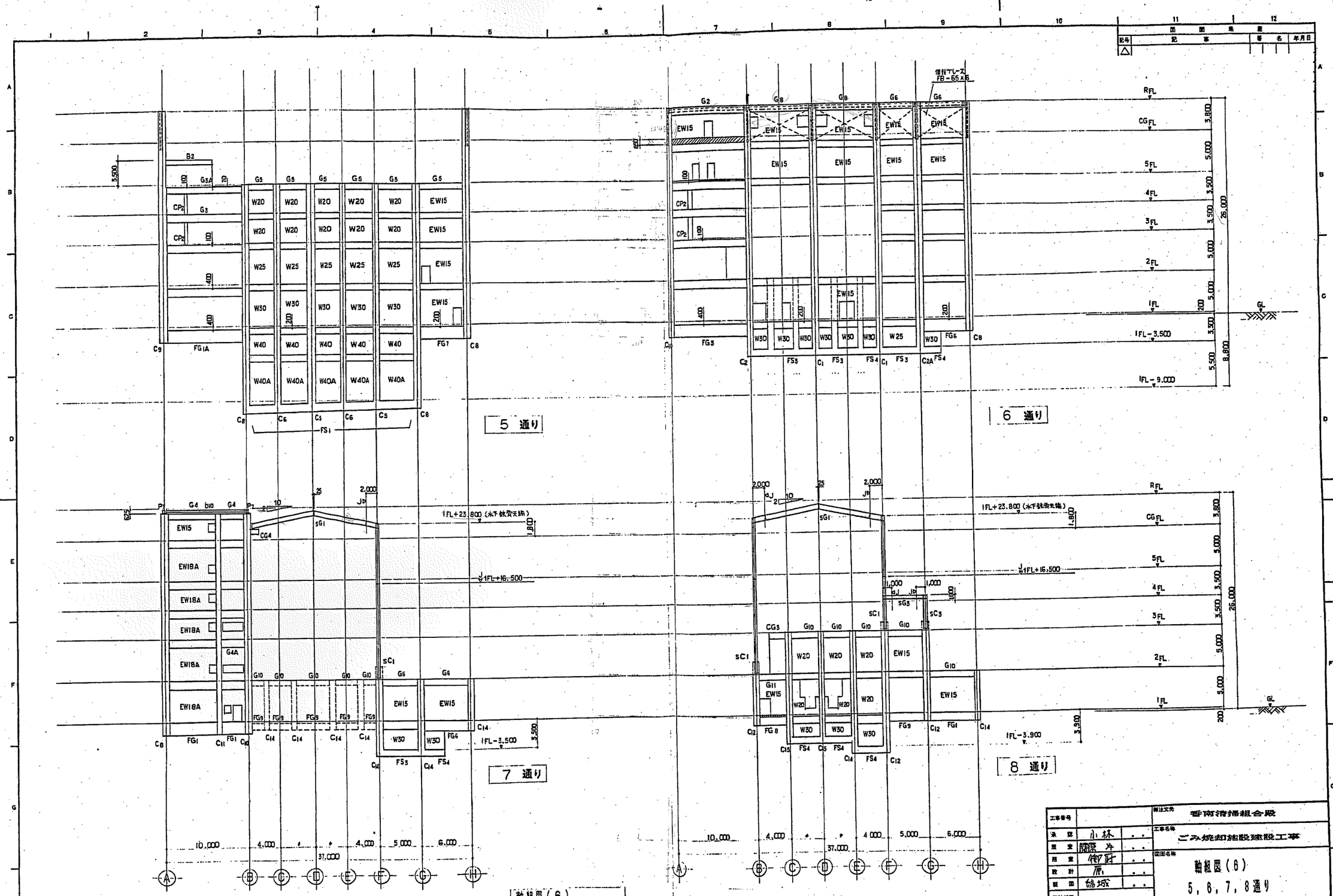


工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
審査	鵬原 片		
検査	御所	図面名称	軸組図(4) G,H通り
設計	原		
製図	長木		
設計部署		尺度	S=1:200
		図面番号	S-11

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 国際協力事業部 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林 雄也
〒210-0012 電話 (043)505-7725


1 通り
2 通り
3 通り
4 通り
軸組図（5） S=1:200
注記 1. 特記なき限り ═══ は W15 を示す。
2. 〃 ═══ は 梁上 フカシ を示す。
工事番号
承認 小林
照査 隠原 斗
照査 御厨
設計 原
製図 結城
設計部番
開注文先 香南清掃組合殿
工事名称 ごみ焼却施設建設工事
図面名称 軸組図（5） 1，2，3，4通り
尺度 S=1:200
図面番号 S-12
NKK 日本鋼管株式会社



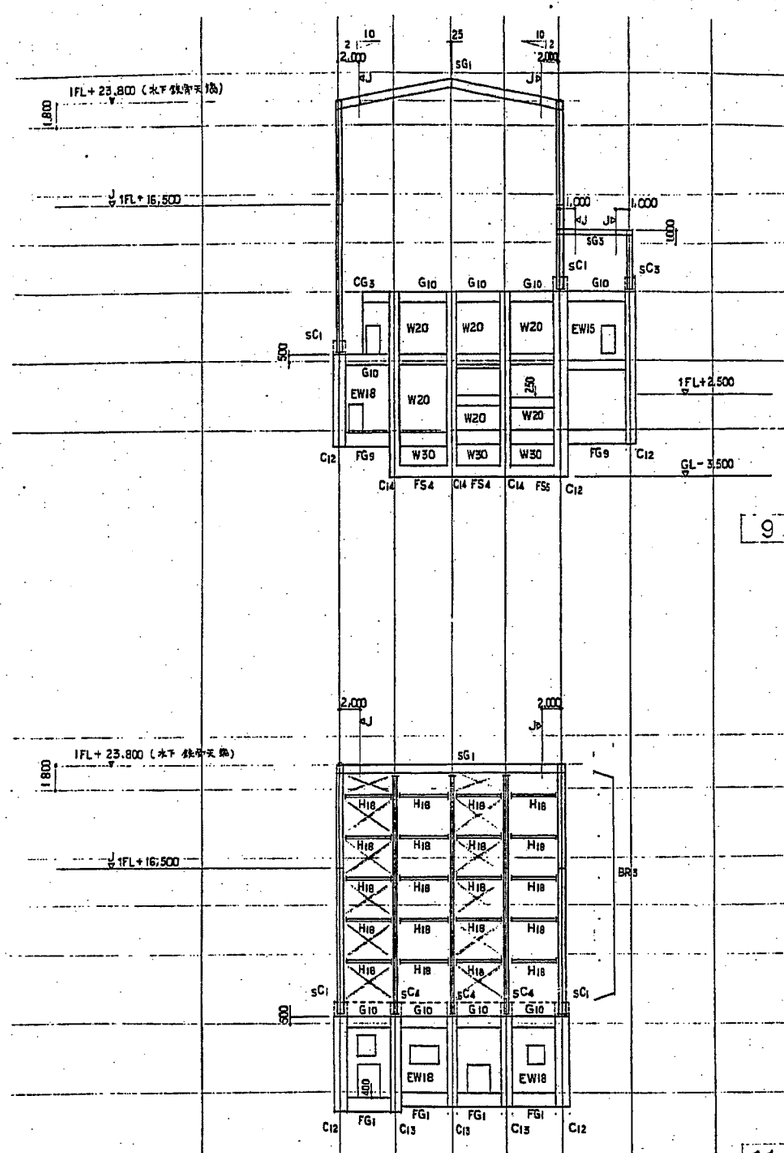
軸組図(6) S=1:200

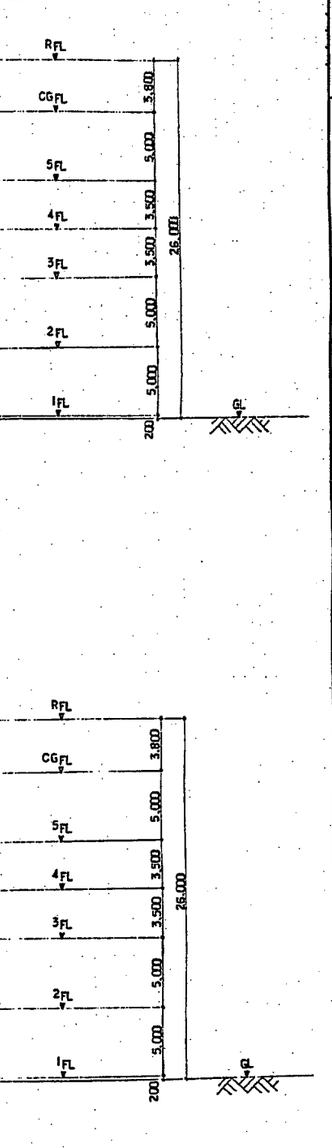
注記 1. 特記なき限り ═ は W15 を示す
2. 〃 ▒ は 梁上あがりを示す

工事番号		製造文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
照査	関原	図面名称 軸組図(6) 5, 6, 7, 8通り
照査	御厨	
設計	原	
製図	結城	
設計部署		尺度 S=1:200
		図面番号 S-13

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2909号
1級建築士第61611号 小林通也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725





軸組図(7) S=1:200

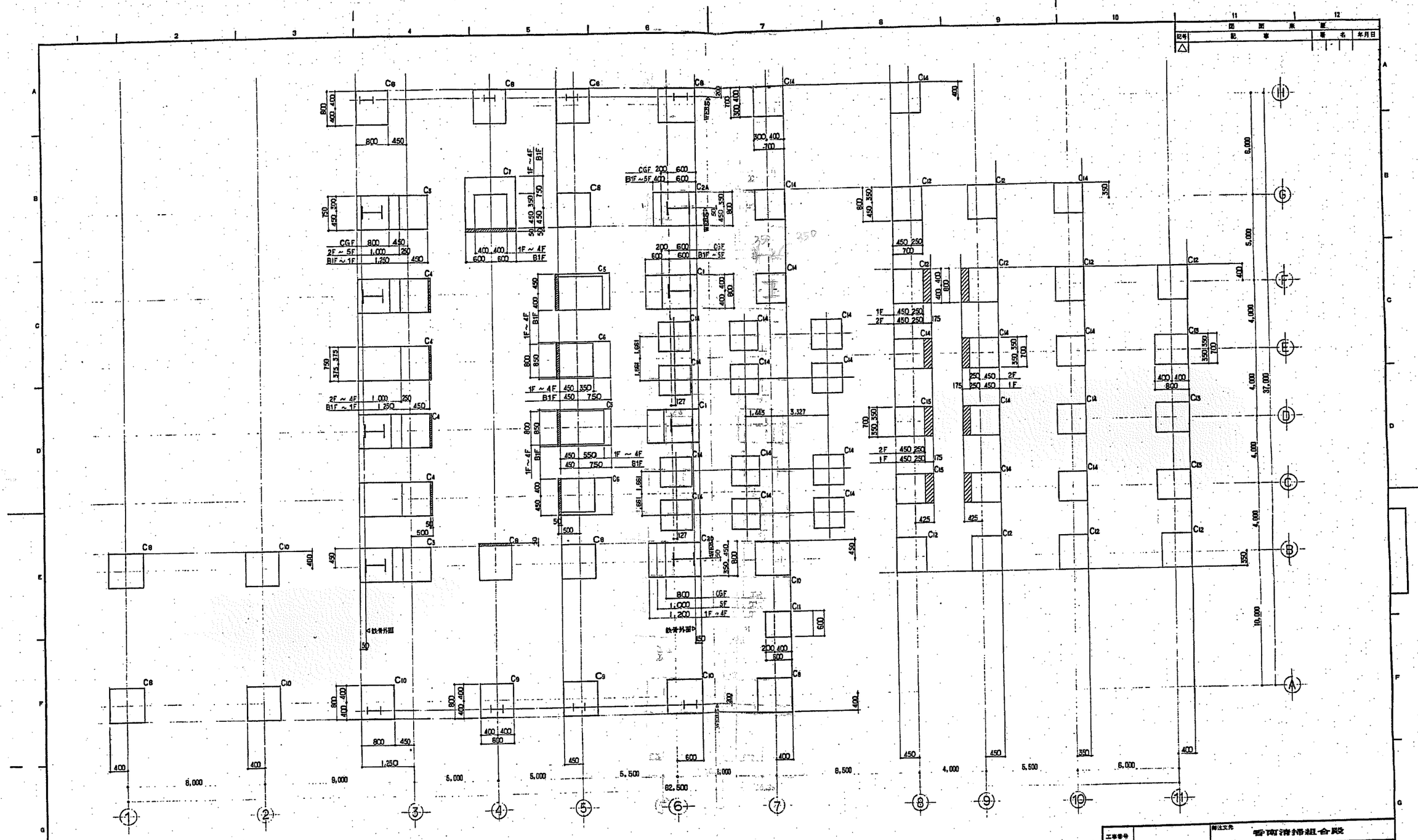
注記
1. 特記なき柱フランジは W15 とする
2. ＋ は 超音波探傷試験を示す

工事番号	
承認	小林
照査	関原
照査	伊藤
設計	原
製図	能城
設計部署	

発注官庁: 香南清掃組合殿
工事名称: ごみ焼却施設建設工事
図面名称: 軸組図(7) 9, 10, 11通り
尺度: S=1:200
図面番号: S-14
標準図番号:
出図年月日:
整理番号:

日本鋼管株式会社 技術士事務所 東京都知事登録第00000号
1級建築士第61611号 小林 誠 他
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

NKK 日本鋼管株式会社



芯線図 S=1:40

注記

1. 特記なき限り 通り芯＝柱芯＝WEB芯
2. ▨ は フカシ部分を示す。

工事番号		御注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
照査	鴨原	
照査	御厨	図面名称 芯線図
設計	原	
製図	青木	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

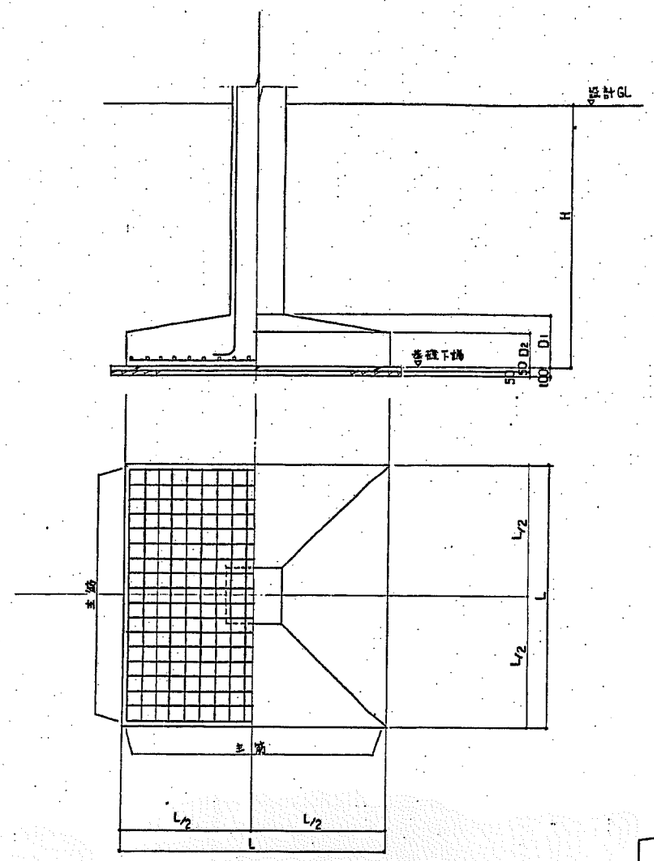
尺度 S=1:40 | 第 角法 | 標準図番号

図面番号 S-15

出図年月日 | 整理番号

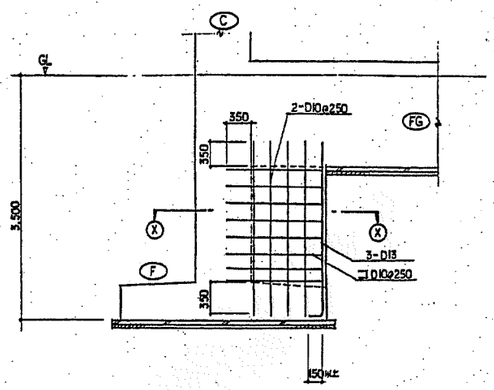
日本鋼管株式会社(株)建設技術部 東京都知事登録第3908号
1級建築士第61611号 小林通也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

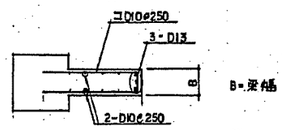
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



基礎リスト

符号	H	D1	D2	L	主筋	個数
F17(A)	3,500	500	500	1,700	8-D16	10
F19(A)	3,500	500	500	1,900	9-D16	4
F22	3,500	500	500	2,200	11-D16	2
F24	3,500	500	500	2,400	12-D16	6
F26	3,500	500	500	2,600	11-D19	10
F28	3,500	500	500	2,800	13-D19	4
F30	3,500	550	500	3,000	15-D19	1
F33	3,500	600	500	3,300	16-D22	5
F36	3,500	700	500	3,600	16-D22	1
F38	3,500	750	500	3,800	18-D22	3
F40	3,500	800	500	4,000	19-D22	2
F42	3,500	850	500	4,200	22-D22	1
F44	3,500	900	500	4,400	24-D22	1
F48	3,500	1,000	600	4,800	26-D22	1
F54	3,500	1,150	700	5,400	36-D22	1
F18	3,500	1,300	1,000	2,000 6,000	17-D22 30-D16	1
F11	1,000	250	250	1,100	54-D13	2

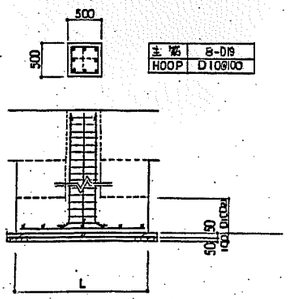




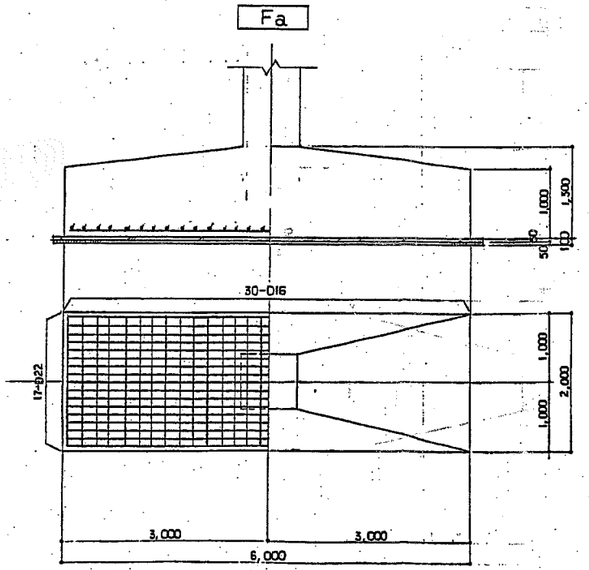
B=梁幅

X-X SECTION

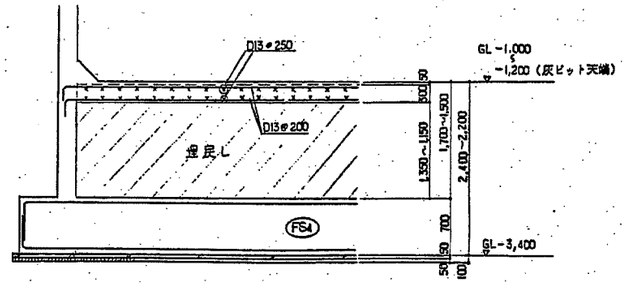
基礎接合部の補強要領 S=1:40



F17A F19A部立上り配筋図 S=1:40



基礎詳細図 S=1:40



灰ピット部配筋図 S=1:40

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林		
照査	篠原	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	御野		
設計	原	図面名称	基礎リスト
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:40
		第 角法	
		標準図番号	
		図面番号	S-16
		出図年月日	
		整理番号	

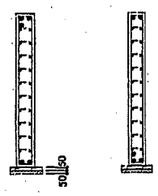
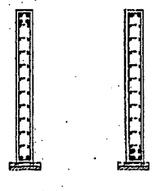
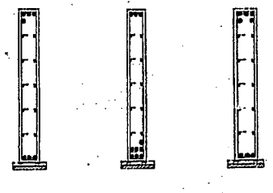
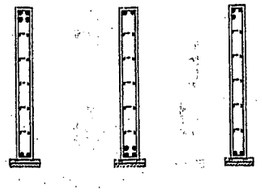
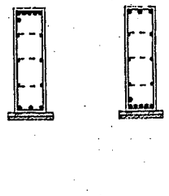
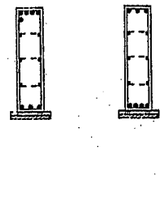
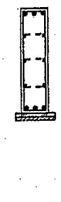
NKK 日本鋼管株式会社

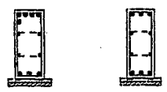
日本鋼管株式会社四国設計事務所 東京都知事登録第2005号
1級建築士第61811号 小林 康信
〒794-0065 今治市旭町2丁目3番1号 TEL (0898)55-7725

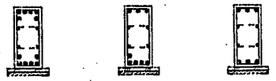
記号	記事	署名	年月日
△			

地中梁断面リスト　S=1:40

注記　特記なき限り，幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号	FG1 (FG1A)		FG2 (FG2A)		FG3			FG4 (FG4A)			FG5		FG6 (FG6A)		FG7
位置	端部	中央	端部	中央	A通り端	中央	B通り端	2通り端	中央	他端	端部	中央	端部	中央	全断面
断面															
B×D	250×2200		250×2200		300×2200			250×2200			450×1500		(500)400×1500		400×1500
上端筋	3-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D25	3-D25	5-D25	(5)4-D25	2-D25	(4)3-D25	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25
下端筋	2-D25	3-D25	2-D25	4-D25	3-D25	7-D25	3-D25	2-D25	4-D25	2-D25	3-D25	6-D25	3-D25	4-D25	3-D25
S.T.P	□D13@250 (□D10@250)		□D13@250 (□D10 250)		□D10@250			□D10@250			□D10@150		□D10@150		□D10@150
底筋	20-D13 (6-D13)		20-D13 (6-D13)		10-D13			10-D13			6-D10		6-D10		6-D10

符号	FG8		FG9							FB1	FB2	FB3		FB4	
位置	端部	中央	全断面							全断面	全断面	端部	中央	端部	中央
断面															
B×D	400×1000		400×1000							250×500	250×550	300×600		300×600	
上端筋	5-D25	3-D25	3-D25							2-D19	2-D19	3-D19	2-D19	4-D19	2-D19
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25							2-D19	2-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19
S.T.P	□D10@150		□D10@150							□D10@250	□D10@250	□D10@200		□D10@200	
底筋	4-D10		4-D10									2-D10		2-D10	

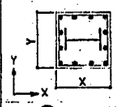
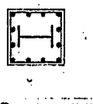
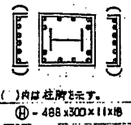
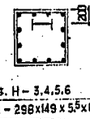
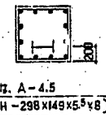
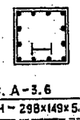
符号	FB5		FB6		FB7		FB8		FB9		FB10			FB11		FCG1
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	2通り端	中央	他端	全断面		
断面																
B×D	300×600		300×650		300×650		350×700		350×900		400×900			300×700		250×2200
上端筋	3-D19	2-D19	3-D19	3-D19	5-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D25	3-D25	3-D25	3-D19		2-D25
下端筋	2-D19	4-D19	3-D19	5-D19	3-D19	4-D19	3-D22	5-D22	3-D22	6-D22	6-D25	5-D25	3-D25	3-D19		2-D25
S.T.P	□D10@200		□D10@200		□D10@200		□D10@200		□D10@200		□D10@100			□D10@200		□D10@250
底筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		4-D10			2-D10		6-D15

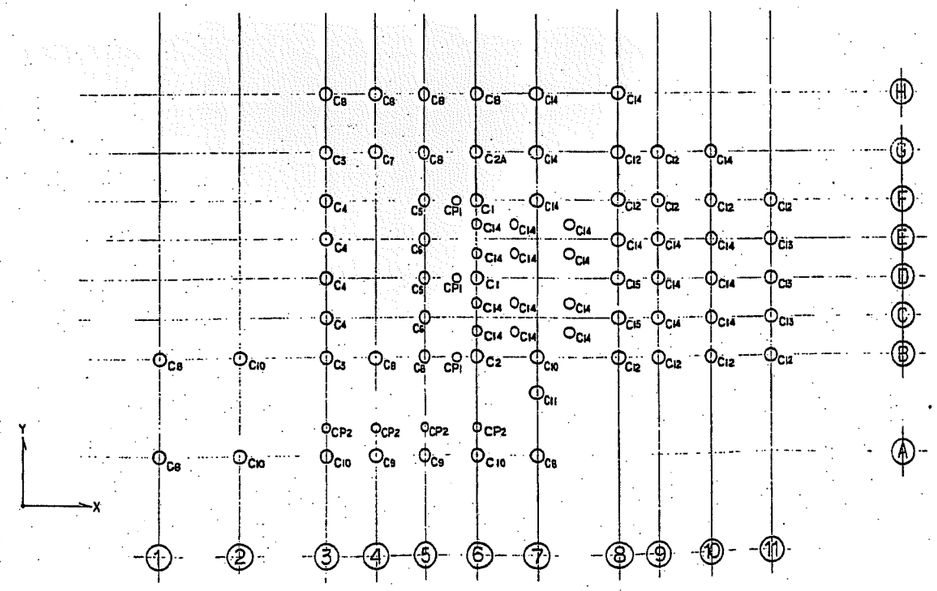
工事番号		御住文先　香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称　ごみ焼却施設建設工事
照査	鹿原片	
照査	御野	図面名称　地中梁断面リスト
設計	原	
製図	青木	
設計部署		
	NKK 日本鋼管株式会社	尺度　S=1:40　第　角法　標準図番号
		図面番号　S-17
		出図年月日　整理番号

日本鋼管株式会社1級建築士事務所　東京都知事登録第2300号
1級建築士第61611号　小林達也
横浜市鶴見区末広町2-1　電話 (045)505-7725

柱断面リスト (1)　S=1:40

注記　特記なき限り，SUB HOOPはD13 @500とする．

符号	C1	C2 (C2A)	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11
CGF											
鉄骨	Ⓗ-488×300×11×18	Ⓗ-488×300×11×18	Ⓗ-488×300×11×18	Ⓗ-488×300×11×18				( )内は. H-346 (H-298×149×5.5×8)	( )内は. A-4.5 (H-298×149×5.5×8)	( )内は. A-3.6 (H-298×149×5.5×8)	
X X Y	800 × 800	800 × 800	800 × 750	800 × 750				800 × 800	800 × 800	800 × 800	600 × 600
主筋	12-D25	12-D25	12-D25	12-D25 (16-D25)				12-D25	12-D25	12-D25	8-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100				□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100
5F											
X X Y	1200 × 800	1000 × 800	1000 × 750	1000 × 750				800 × 800	800 × 800	800 × 800	600 × 600
主筋	20-D25	14-D25	16-D25	14-D25				12-D25	12-D25	12-D25	8-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100				□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100
4F											
X X Y	1200 × 800	(1000)1200 × 800	1000 × 750	1000 × 750	1000 × 800	800 × 800	800 × 800	800 × 800	800 × 800	800 × 800	600 × 600
主筋	16-D25	(14)16-D25	14-D25	14-D25	16-D25	12-D25	12-D25	12-D25	24-D25	12-D25	8-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100



KEY PLAN

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

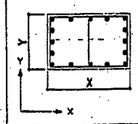
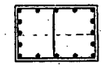
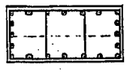
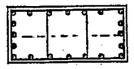
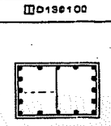
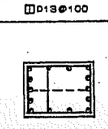
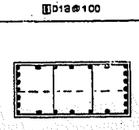
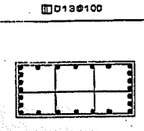
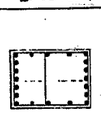
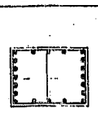
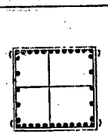
工事番号	
未部	小林
担当	服片
担当	御厨
設計	原
製図	青木
設計部署	

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	柱断面リスト (1) C1～C11 (CGF～4F)
尺度	S=1:40
第角法	
標準図番号	
図面番号	S-18
出図年月日	
整理番号	
A1	

柱断面リスト (2)　S=1:40

注記　特記なき限り、SUB HOOPはD13 @500とする。

符号	C_1	C_2 (C_{2A})	C_3	C_4	C_5	C_6	C_7	C_8	C_9	C_{10}	C_{11}
3F											
X X Y	1200 X 800	(1000)1200 X 800	1000 X 750	1000 X 750	1000 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800
主筋	16-D25	(14)16-D25	14-D25	14-D25	14-D25	12-D25	12-D25	12-D25	14-D25	14-D25	8-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100
2F											
X X Y	1200 X 800	(1000) 1200 X 800	1000 X 750	1000 X 750	1000 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800
主筋	16-D25	(14) 16-D25	14-D25	14-D25	14-D25	12-D25	12-D25	12-D25	14-D25	16-D25	8-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100
1F											
X X Y	1200 X 800	(1000)1200 X 800	1700 X 750	1700 X 750	1000 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800	800 X 800
主筋	16-D25	(14) 16-D25	20-D25	20-D25	14-D25	12-D25	12-D25	12-D25	14-D25	22-D25	8-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100
B 1F											
X X Y	1200 X 800	(1000 X 800)	1700 X 750	1700 X 750	1200 X 850	1200 X 850	1200 X 1200	800 X 800			
主筋	16-D25	(14-D25)	24-D25	24-D25	20-D25	20-D25	34-D25	12-D25			
HOOP	□D13@100	(□D13@100)	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100			

C2A のみ

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	關原 片
照査	物部
設計	原
製図	吉木
設計部署	

発注官先　香南清掃組合殿

工事名称　ごみ焼却施設建設工事

図面名称　柱断面リスト (2)
C1~C11 (3F~BF)

尺度 S=1:40　縮尺　規格図番号

図面番号 S-19

出図年月日　管理番号

日本鋼管株式会社 技術本部 東京建築事務所 東京都知事登録第3008号
1級建築士第51011号　小林 進 他
〒210-0862 川崎市川崎区松ヶ島町5番1号　TEL 044(322)6750

大梁断面リスト(1)　S=1:40

注記　特記なき限り，補止め筋はD10@1000以下とする．

符号 / 位置	G_1	G_2 (G_{2A})[G_{2B}]	G_3 (G_{3A})[G_{3B}]	G_4 (G_{4A})	G_5 (G_{5A})[G_{5B}]
RF					( )内は，A面1-4筋，H面1-5筋，B断1-4筋
鉄骨		H-298×149×5.5×8	H-346×174×6×9		([H-248×124×5×8]) (H-298×149×5.5×8)
B×D		400×850	400×850	850×750	([400]) 850×700 (400×800)
上端筋		3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
下端筋		3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
S.T.P		□D10@150	□D10@150	□D10@200	□D10@200 (150)([150])
腹筋		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
CGF					( )内は，A面1-6筋，H面1-5筋
B×D		400×900	400×900	950×800	([450]) 950×700 (400×800)
上端筋		3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
下端筋		3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
S.T.P		□D10@150	□D10@150	□D10@200	□D10@200 (150)([150])
腹筋		4-D10	4-D10	2-D10	2-D10
5F		( )内はG_{3A}を示す			
B×D	600×1200	450×950	450×950	350×800	400×700
上端筋	5-D25 | 5-D25 | 6-D25	6-D25 | 4-D25 | 6-D25	(7) 4-D25 | (5) 3-D25 | (9) 4-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
下端筋	4-D25 | 4-D25 | 7-D25	4-D25 | 6-D25 | 8-D25	(7) 3-D25 | (6) 4-D25 | (9) 3-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
S.T.P	□D13@100	□D13@200	□D13@250 (□D13@150)	□D10@200	□D10@150
腹筋	6-D10	4-D10	4-D10	2-D10	2-D10
4F					( )内はG_{3A}を示す
B×D	500×1000	500×950	500×950	400×850	400×700
上端筋	5-D25 | 3-D25 | 5-D25	6-D25 | 3-D25 | 6-D25	6-D25 | 3-D25 | 6-D25	3-D25 | 3-D25	(4) 3-D25 | 3-D25
下端筋	5-D25 | 4-D25 | 5-D25	4-D25 | 5-D25 | 5-D25	5-D25 | 4-D25 | 5-D25	3-D25 | 3-D25	3-D25 | 3-D25
S.T.P	□D13@200	□D13@200	□D13@250	□D13@200	□D10@150
腹筋	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10	2-D10
3F		( )内はG_{3B}を示す ( )内はG_{2A}を示す		( )内はG_{4A}を示す	( )内はG_{5B}を示す
B×D	500×800	500×1000 [(450×1000)]	500×1000	400×1000 (450×1000)	400×750[500×750]
上端筋	5-D25 | 3-D25 | 5-D25	[(5)] 8-D25 | [(3)] 5-D25 | [(5)] 9-D25	6-D25 | 4-D25 | 6-D25	(7) 3-D25 | (4) 3-D25	3-D25 | 3-D25
下端筋	4-D25 | 4-D25 | 4-D25	[(3)] 6-D25 | [(5)] 7-D25 | [(3)] 8-D25	6-D25 | 5-D25 | 6-D25	(6) 3-D25 | (3) 3-D25	3-D25 | 3-D25
S.T.P	□D13@150	□D13@100 [(□D13@250)]	□D13@100	□D13@250 (□D13@90)	□D10@150 [□D10@100]
腹筋	2-D10	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10

記号	記事	署名	年月日
△			

日本調管株式会社 紹注新士事務所　東京都知事登録第3300号
1級管理士第61611号　小林通雄
横浜市鶴見区市場1-1　電話 (045)506-7725

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤牛		
照査	御前	図面名称	大梁断面リスト (1)
設計	原		G1～G5 (RF～3F)
製図	青木	尺度	S=1:40
設計部署		第	角法
NKK 日本調管株式会社		図面番号	S-21 △
		出図年月日	整理番号

大梁断面リスト(2)　S=1:40

注記　特記なき限り、幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号	G1			G2 [G2B]			G3 [G3B]			G4		G5 [G5B]	
位置	6通り端	中央	6通り端	A通り端	中央	B通り端	A通り端	中央	B通り端	端部	中央	端部	中央
2F													
				[ ]内はG2Bを示す			[ ]内はG3Bを示す					[ ]内はG5Bを示す	
B×D	500×1100			450×1100			450×1100			400×1100		400×750 [500×750]	
上端筋	8-D25	5-D25	8-D25	[5] 9-D25	[3] 5-D25	[6] 9-D25	[4] 7-D25	[4] 4-D25	[4] 8-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
下端筋	7-D25	5-D25	7-D25	[3] 7-D25	[6] 10-D25	[3] 8-D25	[4] 4-D25	[4] 5-D25	[4] 7-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
S.T.P	□D13@100			□D13@100[□D13@250]			□D13@150[□D13@250]			□D13@250		□D10@150[□D10@100]	
腹筋	4-D10			4-D10			4-D10			4-D10		2-D10	
M2F													
B×D													
上端筋													
下端筋													
S.T.P													
腹筋													
1F													
B×D	500×800											400×800	
上端筋	6-D25	3-D25	6-D25									3-D25	3-D25
下端筋	6-D25	3-D25	6-D25									3-D25	3-D25
S.T.P	□D13@100											□D10@150	
腹筋	2-D10											2-D10	
B1F													
B×D												400×800	
上端筋												2-D25	2-D25
下端筋												2-D25	2-D25
S.T.P												□D10@150	
腹筋												2-D10	
B2F													
B×D												400×1200	
上端筋												2-D25	2-D25
下端筋												2-D25	2-D25
S.T.P												D10@150	
腹筋												6-D10	

工事番号		郵注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鷹岸	図面名称	大梁断面リスト(2) G1~G5 (2F~B2F)
照査	御厨		
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度 S=1:40	新角法 / 標準図番号
		図面番号	S-22

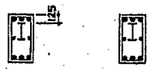
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社(旧)基本事務所　東京都知事登録第2908号
1級建築士第41611号　小林康彦
横浜市鶴見区東広町2-1　電話 (045)505-7725

出図年月日　整理番号

大梁断面リスト(3)　S=1:40

注記　特記なき限り，帯筋止め筋はD10@1000以下とする。

符号	G6		G7		G8		G9		G10	G11		G12	
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全長	端部	中央	端部	中央
RF													
鉄骨	H-248×124×5×8		H-248×124×5×8		H-298×149×5.5×8								
B × D	400 × 700		400 × 700		400 × 800								
上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25							
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25							
S.T.P	□D10@150		□D10@150		□D10@150								
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10								
CGF													
B × D	350 × 700		450 × 700		350 × 800								
上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25							
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25							
S.T.P	□D10@200		□D10@150		□D10@200								
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10								
5F													
B × D	400 × 700		400 × 700		400 × 800								
上端筋	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25							
下端筋	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25							
S.T.P	□D10@150		□D13@100		□D10@150								
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10								
4F													
B × D	400 × 700		400 × 700										
上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25									
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25									
S.T.P	□D10@150		□D10@150										
腹筋	2-D10		2-D10										
3F													
B × D	400 × 750		400 × 750				450 × 800		400 × 750				
上端筋	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25			4-D25	3-D25	3-D25				
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25			3-D25	4-D25	3-D25				
S.T.P	□D10@150		□D10@100				□D10@150		□D10@150				
腹筋	2-D10		2-D10				2-D10		2-D10				

図面集歴				
記号	記事		署名	年月日
△				

工事番号		発注文男	香南清掃組合殿
承認	小林		
照査	鍋原	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	御厨	図面名称	大梁断面リスト(3) G6~G12(RF~3F)
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:40
		新 角法	標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	S-23 △
		出図年月日	整理番号

日本鋼管株式会社技術研究所　東京都渋谷区渋谷2-21-1
1級建築士第61611号　小林通泰
TEL (043)305-7725

大梁断面リスト(4)　S=1:40

注記　特記なき限り、幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号	G6				G7				G8				G9				G10	G11 (G11A)				G12			
位置	端部		中央		端部		中央		端部		中央		端部		中央		上部筋	端部		中央		端部		中央	
2F																		( )内はG11Aを示す。							
B × D	400 × 750				400 × 750				500 × 850				450 × 800				400 × 750	400 × 750				400 × 750			
上端筋	4-D25		8-D25		7-D25		4-D25		7-D25		8-D25		6-D25		8-D25		8-D25	(3)5-D25		8-D25		6-D25		8-D25	
下端筋	4-D25		4-D25		6-D25		4-D25		4-D25		4-D25		4-D25		4-D25		8-D25	8-D25		8-D25		6-D25		7-D25	
S.T.P	□D10@150				□D13@100				□D13@150				□D10@100				□D10@150	□D13@100				□D13@150			
腹筋	2-D10				2-D10				2-D10				2-D10				2-D10	2-D10				2-D10			
M2F																		( )内はG11Aを示す。							
B × D																	300 × 750	400 × 500							
上端筋																	8-D25	(3)5-D25		(3)4-D25					
下端筋																	8-D25	(3)4-D25		(3)4-D25					
S.T.P																	□D10@200	□D13@100 (□D10@150)							
腹筋																	2-D10								
1F																									
B × D	400 × 800				400 × 800				500 × 800								400 × 800								
上端筋	8-D25		8-D25		8-D25		8-D25		8-D25		8-D25						8-D25								
下端筋	8-D25		8-D25		8-D25		8-D25		8-D25		8-D25						8-D25								
S.T.P	□D10@150				□D10@150				□D10@100								□D10@150								
腹筋	2-D10				2-D10				2-D10								2-D10								
B1F																									
B × D																									
上端筋																									
下端筋																									
S.T.P																									
腹筋																									

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	篠原
照査	伊野
設計	原
製図	青木
設計部署	

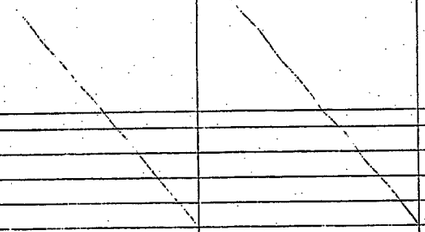
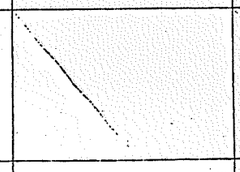
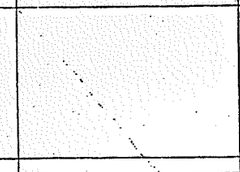
日本鋼管株式会社 1級建築士第61611号　小林 迪也
〒210-8550 川崎市川崎区本町12-1　TEL (044) 333-7725

NKK 日本鋼管株式会社

発注先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	大梁断面リスト(4) G6~G12 (2F~1F)
尺度	S=1:40
製角法	
標準図番号	
図面番号	S-24 △
出図年月日	
整理番号	

大梁断面リスト(5)　S=1:40

注記　特記なき限り、幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号 / 位置	G13 端部	G13 中央	G14 端部	G14 中央
2F				
B × D	400 × 750		400 × 750	
上端筋	5-D25	3-D25	4-D25	3-D25
下端筋	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25
S.T.P	□D13@150		□D10@150	
腰筋	2-D10		2-D10	
M2F				
B × D				
上端筋				
下端筋				
S.T.P				
腰筋				
1F				
B × D		400 × 800		
上端筋		4-D25	3-D25	
下端筋		3-D25	3-D25	
S.T.P		□D10@150		
腰筋		2-D10		
B1F				
B × D				
上端筋				
下端筋				
S.T.P				
腰筋				

記号	図面来歴 記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	関原
照査	御所
設計	原
製図	吉木
設計組織	

発注先　香南清掃組合殿

工事名称　ごみ焼却施設建設工事

図面名称　大梁断面リスト(5)　G13～G14

尺度　S=1:40　　縮尺　　標準図番号

図面番号　S-25

出図年月日　　管理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社札幌支社設計部　東京都知事登録第9008号
1級建築士第01611号　小林 清彦
札幌市南区真駒内上町3-1　電話 (043)585-7725

小梁断面リスト　S=1:40

注記　特記なき限り，補止め筋はD10@1000以下とする．

符号	B_1	B_2	B_3		B_4(B_{4A})		B_5		B_6(B_{5A})		B_7		B_8		B_9		B_{10}	
位置	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	G通り端	他端・中足
断面																		
B x D	250 x 500	250 x 550	250 x 550		( )内はB_{4A}を示す (400)300 x 600		300 x 600		( )内はB_{5A}を示す 300 x 600		300 x 650		300 x 650		300 x 650		350 x 700	
上端筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	3-D19	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	3-D19	4-D19	3-D19	5-D19	3-D19	4-D22	3-D22
下端筋	2-D19	2-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	4-D19	3-D19	5-D19	3-D19	4-D19	5-D19	4-D19	3-D22	3-D22
S.T.P	□D10@250	□D10@250	□D10@250		□D10@200		□D10@200		□D10@200 (□D10@150)		□D10@200		□D10@200		□D10@200		□D10@200	
肋筋					2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	

符号	B_{11}		B_{12}		B_{13}		B_{14}		B_{15}		B_{16}		B_{17}			
位置	G通り端	他端・中足	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	D通り端	他端・中足	2通り端	中央	端部	
断面																
B x D	350 x 700		350 x 700		350 x 700		350 x 800		400 x 800		500 x 800		400 x 900			
上端筋	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	7-D22	5-D22	6-D25	3-D25	3-D25	
下端筋	5-D22	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	6-D22	3-D22	6-D22	4-D22	7-D22	5-D22	5-D22	6-D25	5-D25	3-D25	
S.T.P	□D10@200		□D10@200		□D10@100		□D10@200		□D10@150		□D13@150		□D10@100			
肋筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		4-D10			

符号	CG1	CG2	CG3	CG4
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
B x D	500 x 900	400 x 800	300 x 600	400 x 600
上端筋	4-D25	5-D25	3-D19	3-D19
下端筋	3-D25	3-D25	3-D19	3-D19
S.T.P	□D13@125	□D10@150	□D10@200	□D10@150
肋筋	4-D13	2-D10	2-D10	2-D10

記号	記事	署名	年月日
△			

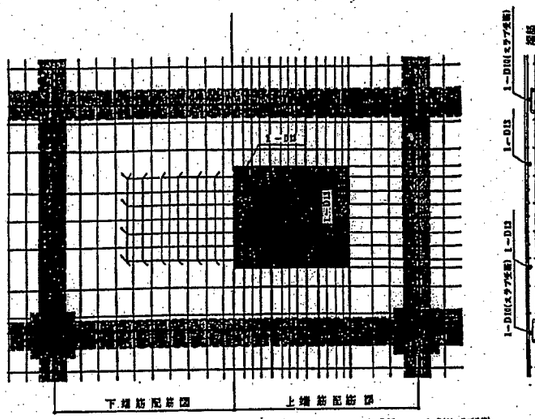
工事番号	
承認	小林
監査	陽原
照査	柳野
設計	原
製図	富永
設計部署	

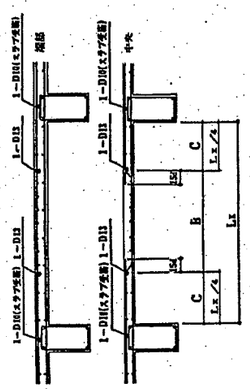
日本国土開発株式会社 広島支店 東京都知事登録第3906号
1級建築士 第61611号 小林 延春
広島市中区東白島町3-1 TEL (082)506-1722

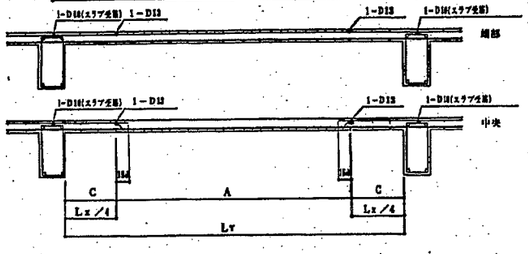
NKK 日本鋳管株式会社

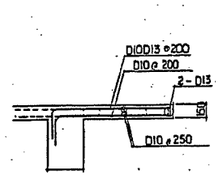
発注官庁: 香南清掃組合殿
工事名称: ごみ焼却施設建設工事
図面名称: 小梁断面リスト
尺度: S=1:40　製図: 角池
標準図番号:
図面番号: S-26
出図年月日:
整理番号:

スラブ配筋図

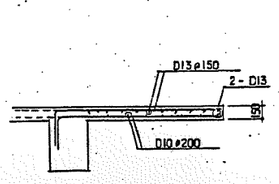








CS1



CS2

スラブ配筋リスト

符号	スラブ厚	位置	短辺方向(主筋)A 端部	短辺方向(主筋)A 中央	長辺方向(配力筋)B 端部	長辺方向(配力筋)B 中央	C	備考
S1	150	上端筋	D10・D13@200	——	D10 @200	——		モチアミ
		下端筋	D10・D13@200	——	D10 @200	——		
S2	150	上端筋	D10・D13@200	——	D10・D13@200	——		モチアミ
		下端筋	D10・D13@200	——	D10・D13@200	——		
S3	150	上端筋	D13@200	——	D10・D13@200	——		モチアミ
		下端筋	D13@200	——	D10・D13@200	——		
S4	180	上端筋	D13@200	——	D10・D13@200	——		モチアミ
		下端筋	D13@200	——	D10・D13@200	——		
S5	500	上端筋	D13 @200	——	D13 @200	——		モチアミ
		下端筋	D13 @200	——	D13 @200	——		
S6	150	上端筋	D13 @200	——	D13 @200	——		モチアミ
		下端筋	D13 @200	——	D13 @200	——		
S7	180	上端筋	D13 @200	——	D13 @200	——		モチアミ
		下立筋	D13 @200	——	D13 @200	——		
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
FS1	1,250	上端筋	D22 @200	D22 @100	D19 @200	D19 @100		
		下端筋	D25 @100	D25 @200	D19 @100	D19 @200		
FS2	1,000	上端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		モチアミ
		下端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		
FS3	800	上端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		モチアミ
		下端筋	D19 @200	——	D19 @200	——		
FS4	700	上端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		モチアミ
		下端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		
FS5	1,200	上端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		モチアミ
		下端筋	D16 @200	——	D16 @200	——		
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下立筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						
S		上端筋						
		下端筋						

記号	記事	図面承認 署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	鵜飼牛
担当	御厨
設計	原
製図	能坂
設計部署	

発注先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 スラブ配筋リスト

尺度 —— 第 角法

図面番号 S-27

出図年月日 整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

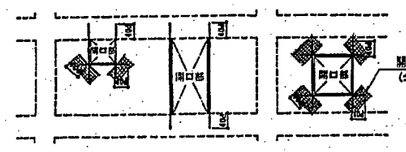
日本鋼管株式会社都市土木設計部 東京都千代田区丸の内2-6-1 古河ビル
1級建築士 第61811号 小林 晃 印
横浜市鶴見区末広町1-1 電話 (045)505-7788

一般壁断面リスト

注記 1. 巾止め筋はD10@1,000以下とする。 2. 外壁は、外側に20mm増し打ちとする。ごみピット、灰ピットは、ピット側に50mm増し打ちとする。

符号	W10	W15	W18	W18A	W20	W25	W30		CB10	CB15
断面	100	150	180	180	200	250	300		100	150
縦筋	D10@250	D10@250(ダドリD)	D10@200(D)	D13@200(D)	D10@150(D)	D13@200(D)	D13@200(D)		D10@800	D10@400
横筋	D10@250	D10@250(ダドリD)	D10@200(D)	D13@200(D)	D10@150(D)	D13@200(D)	D13@200(D)		D10@600	D10@400
開口部補強筋 縦筋 H≦1,000	1−D13	1−D13	2−D13	2−D13	2−D16	2−D19	2−D19			
開口部補強筋 縦筋 H>1,000	1−D13	2−D13	2−D16	2−D16	3−D19	3−D19	3−D19			
開口部補強筋 横筋 L≦1,000	1−D13	1−D13	2−D13	2−D13	2−D16	2−D19	2−D19			
開口部補強筋 横筋 L>1,000	1−D13	2−D13	2−D16	2−D16	3−D19	3−D19	3−D19			
開口部補強筋 斜筋 LH≦1,000	1−D13	1−D13	2−D13	2−D13	2−D13	2−D13	2−D13			
開口部補強筋 斜筋 その他	1−D13	2−D13	2−D16	2−D16	2−D16	2−D16	2−D16			

開口部補強要領



開口部ひび割れ防止筋 (外壁) ワイヤーメッシュ 50×50×3.2 300×600

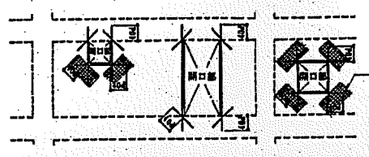
*開口部補強筋はなるべく近くの梁、柱にアンカーする。

耐震壁断面リスト

注記 巾止め筋はD10@1,000以下とする。

符号	EW12	EW15	EW18	EW18A			
断面	120	150	180	180			
縦筋	D10@200	D10@200(ダドリD)	D10@200(D)	D13@200(D)			
横筋	D10@200	D10@200(ダドリD)	D10@200(D)	D10@200(D)			
開口部補強筋 縦筋 H≦1,000		2−D16	2−D16	2−D16			
開口部補強筋 縦筋 H>1,000		3−D19	3−D19	3−D19			
開口部補強筋 横筋 L≦1,000		2−D16	2−D16	2−D16			
開口部補強筋 横筋 L>1,000		3−D19	3−D19	3−D19			
開口部補強筋 斜筋 LH≦1,000		2−D13	2−D13	2−D13			
開口部補強筋 斜筋 その他		2−D13	2−D16	2−D16			

開口部補強要領

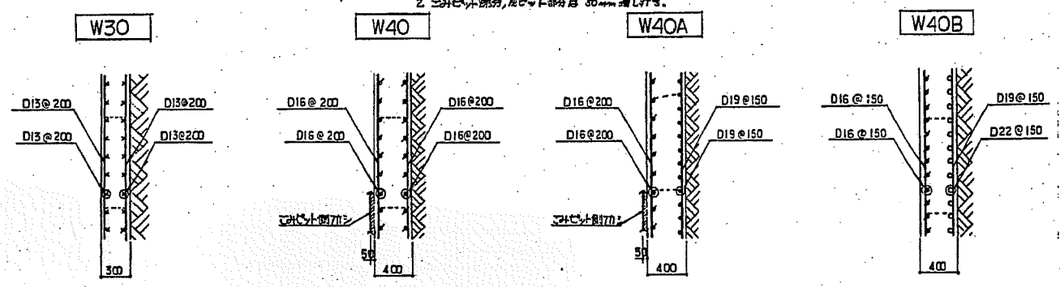


開口部ひび割れ防止筋 (外壁) ワイヤーメッシュ 50×50×3.2 300×600

*開口部補強筋はなるべく近くの梁、柱にアンカーする。

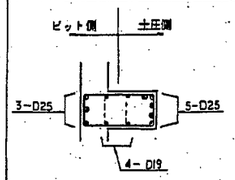
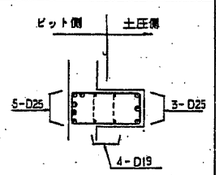
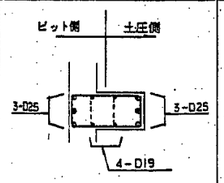
地下壁断面リスト S=1:30

注記 1. 特記なき限り 幅止め筋 は D10 @1,000 とする
2. ごみピット部分、灰ピット部分は 50mm増し打ち。



土圧受梁断面リスト S=1:30

注記 特記なき限り 幅止め筋 は D10@1,000 とする

符号	HG1		HG2	
位置	端部	中央	全断面	
断面				
B×D	800 × 400		800 × 400	
HOOP	□D13@200		□D13@200	

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
原案	鳴原 片		
原案	御厨	図面名称	壁断面リスト 土圧受梁断面リスト
設計	原		
製図	能城		
設計部番			

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林進也
横浜市鶴見区末広町2−1 電話 (045)505−7725

NKK 日本鋼管株式会社

尺度 ―― 原 角法 標準図番号

図面番号 S-28

出図年月日 整理番号

記号	記事	署名	年月日
△			

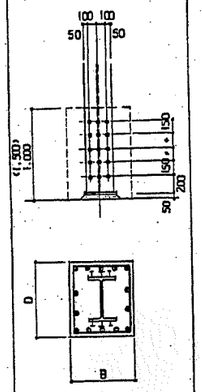
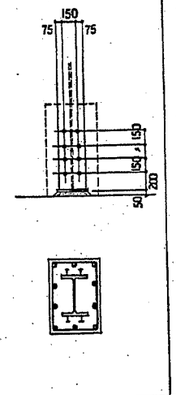
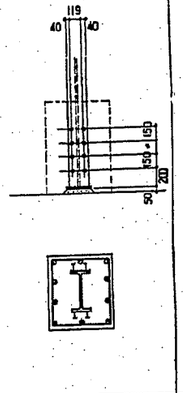
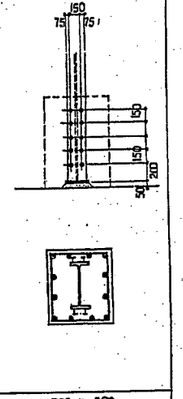
部材リスト

注記 1. 特記なき限り 材質はSS41、○印はSM50Aとする。

符号	部材	備考
SC1	Ⓗ-488×300×11×18	
SC2	Ⓗ-482×300×11×15	
SC3	Ⓗ-446×199×8×12	
SC4	Ⓗ-482×300×11×15	
SG1	Ⓗ-488×300×11×18	
SG2	Ⓗ-482×300×11×15	
SG3	Ⓗ-446×199×8×12	
b,H,P 1	H-150×75×5×7	
b,H,P 2	H-175×90×5×8	
b,H,P 3	H-200×100×5.5×8	
b,H,P 4	H-248×124×5×8	
b,H,P 5	H-250×125×6×9	
b,H,P 6	H-298×149×5.5×8	
b,H,P 7	H-300×150×6.5×9	
b,H,P 8	H-346×174×6×9	
b,H,P 9	H-350×175×7×11	
b,H,P 10	H-396×199×7×11	
b,H,P 11	H-400×200×8×13	
b,H,P 12	H-446×199×8×12	
b,H,P 13	H-450×200×9×14	
b,H,P 14	H-496×199×9×14	
b,H,P 15	H-500×200×10×16	
b,H,P 16	H-100×100×6×8	
b,H,P 17	H-125×125×6.5×9	
b,H,P 18	H-194×150×6×9	
b,H,P 19	H-244×175×7×11	
b,H,P 20	H-294×200×8×12	
b,H,P 21	H-340×250×9×14	

符号	部材	備考
BR 1	L-75×75×6	
BR 2	L-90×90×10	
BR 3	2L-75×75×9	
BR 4	L-90×90×7	
V	□-100×100×2.3	
母屋	C-100×50×20×2.3 @600	
KG1	ⓐ BH-800×300×12×19	
	ⓑ C-200×70×7×10	
	ⓒ L-75×75×6 (θ=60°)	
	ⓓ L-75×75×6	◎部材交点(詳細図参照)
KG2	ⓐ BH-800×300×9×16	
	ⓑ C-200×70×7×10	
	ⓒ L-75×75×6 (θ=60°)	
	ⓓ L-75×75×6	◎部材交点(詳細図参照)
反クレーンレール	I-400×150×10×18	
ホイストレール	I-200×100×7×10	定格荷重 1ton

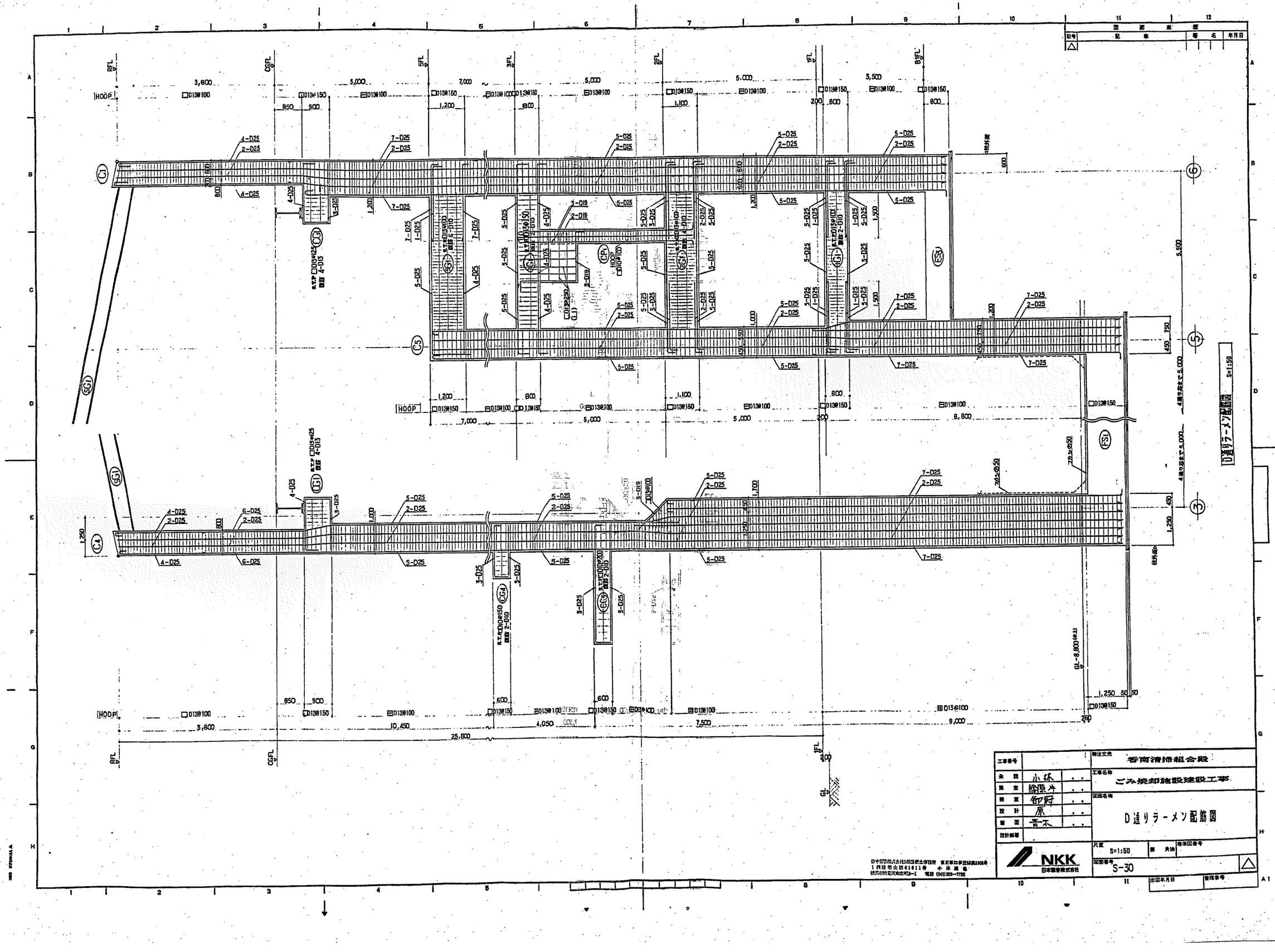
根巻きリスト

柱符号	SC1	SC2	SC3	SC4
断面				
B×D	700×800	550×800	700×800	700×800
主筋	14-D25	10-D25	10-D25	12-D25
HOOP	□D13@100	□D13@100	□D13@100	□D13@100
スタッドボルト	片側 15-19φ (h=80)	片側 8-19φ (h=80)	片側 8-16φ (h=80)	片側 10-19φ (h=80)

工事番号		発注先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	横原	図面名称	部材リスト 根巻きリスト
担当	御厨		
設計	原		
製図	徳増		
設計部署		尺度	―
		図面番号	S-29
		出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

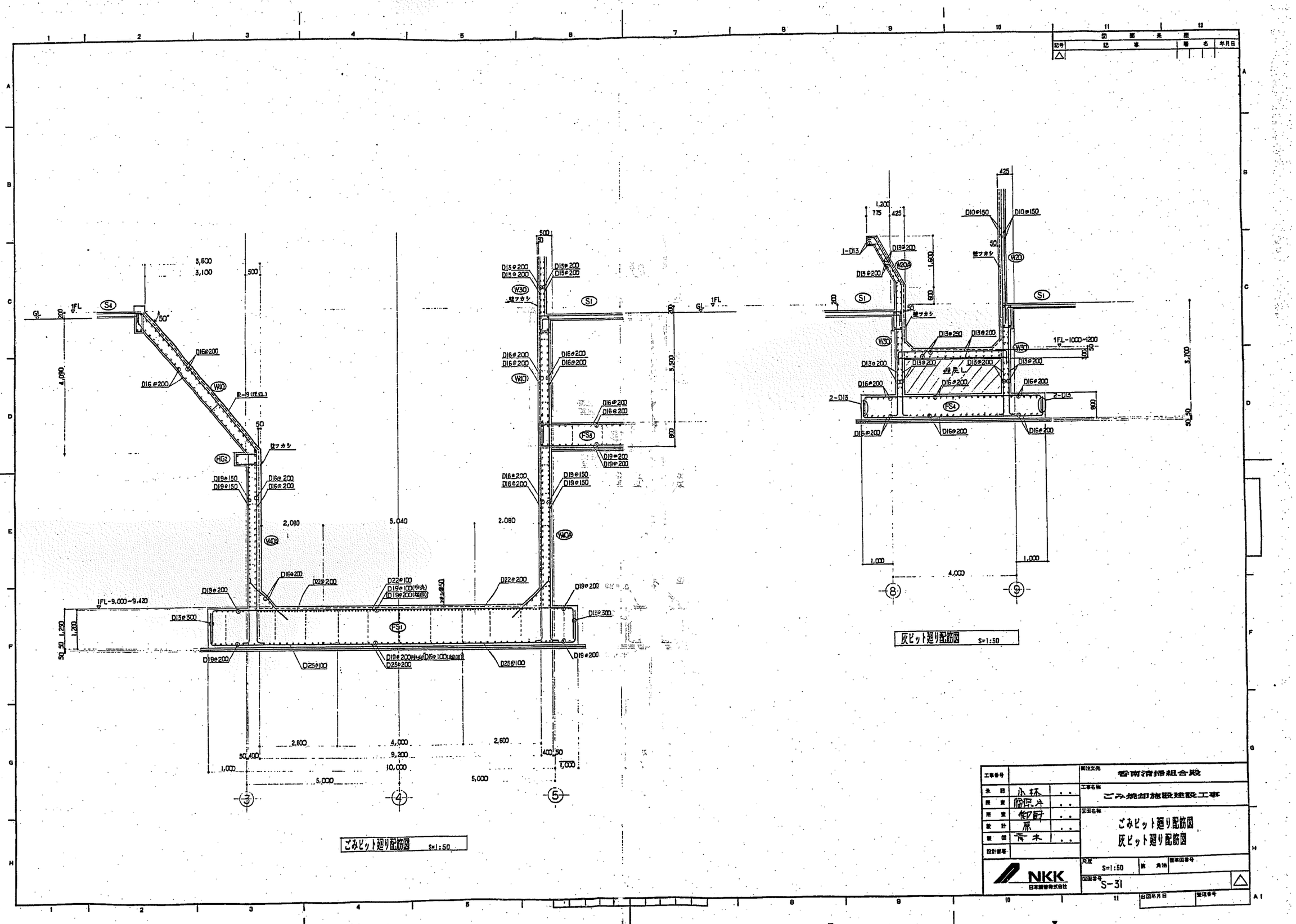
日本鋼管株式会社 国際技術センター 東京都知事登録第3908号
1級建築士登録41611号 小林 基信
(神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725)



工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鶴原	図面名称	D通りラーメン配筋図
照査	御野		
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:50
		図面番号	S-30

NKK 日本鋼管株式会社

日本国際株式会社 関西事務所 東京都知事登録第1906号
1 西鋼 第 出 第 61611 号 小林 進 他
横浜市鶴見区末広町3-1 電話 (045)505-7725



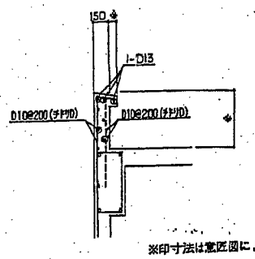
工事番号		開注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所室	熊原		
所室	御厨	図面名称	ごみピット廻り配筋図 灰ピット廻り配筋図
設計	原		
製図	青木		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	新角法	標準図番号
S=1:50		

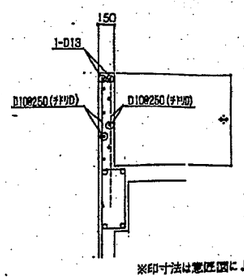
図面番号 S-31

出図年月日 | 整理番号



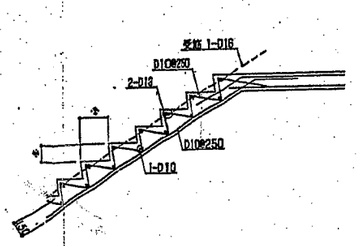
※印寸法は意匠図による

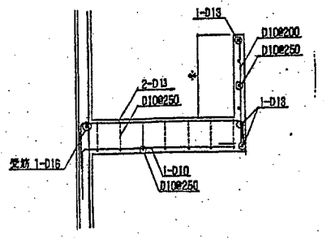
パラペット配筋図 S=1:30



※印寸法は意匠図による

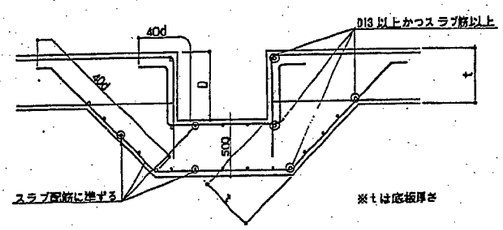
腰壁配筋図 S=1:30





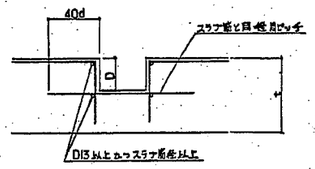
※印寸法は意匠図による

片持ち床版形階段配筋図 S=1:30



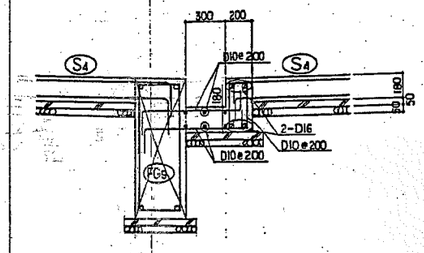
※tは底板厚さ

D>400 の場合



D≦400 かつ t≧800 の場合

釜場配筋図 S=1:30



排水溝配筋図 S=1:20

工事番号		
承認	小林	. .
照査	鹿原	. .
照査	御厨	. .
設計	原	. .
製図	毛木	. .
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先 香南清掃組合殿

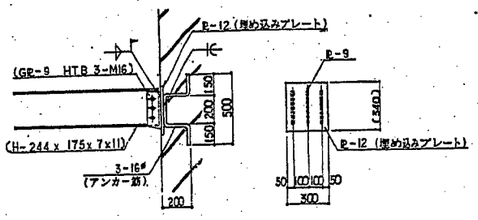
工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 雑詳細図 (1)

尺度 S=1:30 S=1:20 第 角法 標準図番号

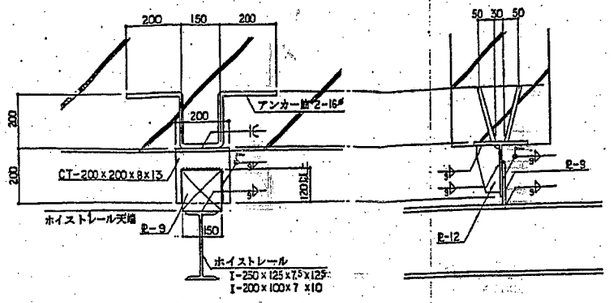
図面番号 S-32

出図年月日 整理番号

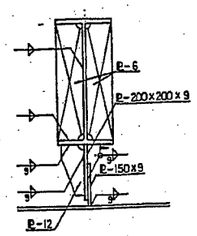


※その他の部材も上図に準ずる

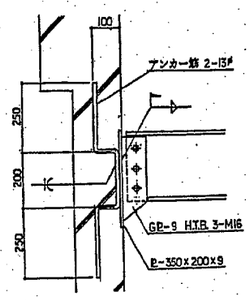
鉄骨部材取付要領（ＲＣ取合部） S=1:20



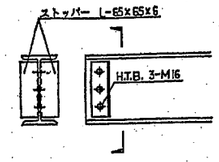
ＲＣ梁下



Ｓ梁下

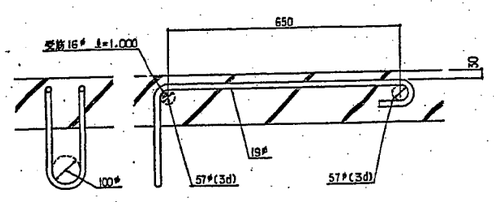


ＲＣ壁



ストッパー詳細

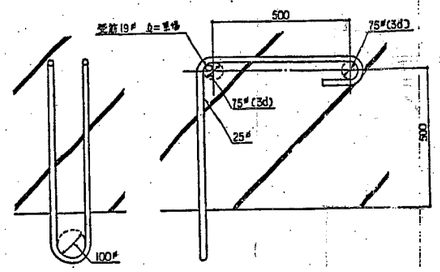
ホイストレール取付詳細図(1) S=1:10



スラブに取り付く場合

吊荷重・・・1t以下
吊荷重が1tを超える場合、鉄にアンカーすること

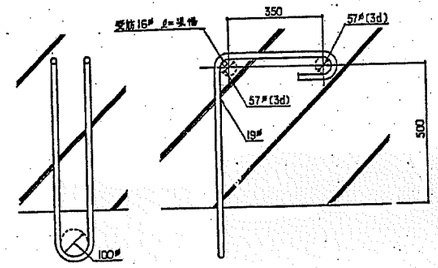
吊りフック取付詳細図（1） S=1:10



ＲＣ梁に取り付く場合

吊荷重・・・5t

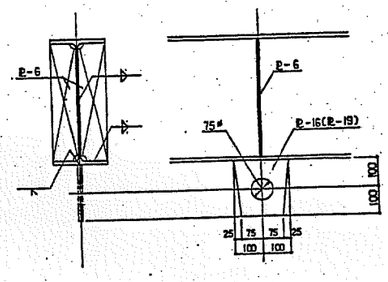
吊りフック取付詳細図（2） S=1:10



ＲＣ梁に取り付く場合

吊荷重・・・3t以下

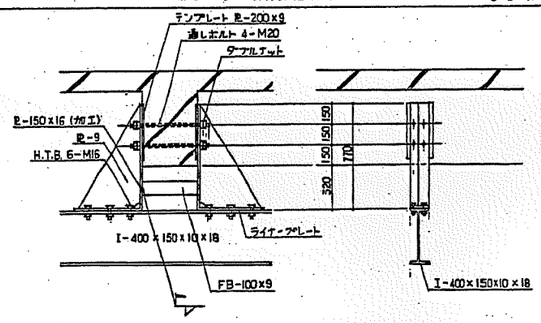
吊りフック取付詳細図（3） S=1:10



Ｓ梁に取り付く場合

吊荷重・・・3t以下
5tの場合は( )内とする。

吊りフック取付詳細図（4） S=1:10



ホイストレール取付詳細図（2） （反クレーン部） S=1:20

工事番号			
承認	小林		
照査	篠原		
照査	御厨		
設計	原		
製図	富木		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

日本技術士法第24条の3に基づく表示
日本技術士会登録第10611号 小林 進 登録
東京都千代田区神田猿楽町2-1 電話 (543)505-7725

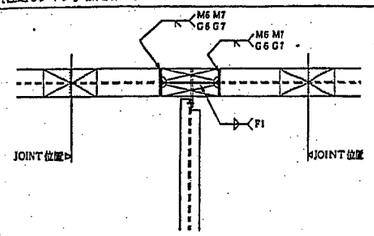
御法文先
香南清掃組合殿

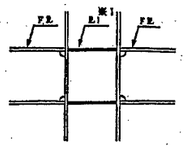
工事名称
ごみ焼却施設建設工事

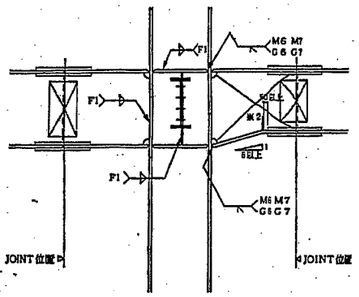
図面名称
雑詳細図(2)

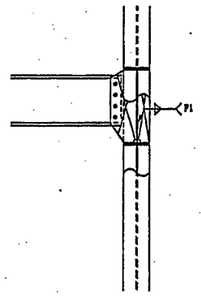
尺度 S=1:10 S=1:20
製図 良造
図面番号 S-33
出図年月日
整理番号

H形柱［柱通しタイプ］（突き梁H）　P−H・G−C−3・1





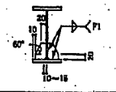




注記

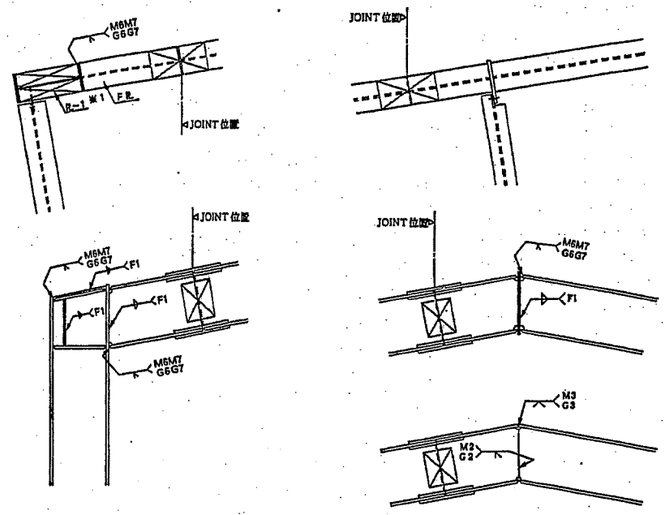
※1　t1の材質、材種はF2と同等以上、板厚はF2と同厚以上を原則とする。

※2　リブプレート



フランジ厚 (t)	リブプレート厚
t ≦ 19	t 6
22 ≦ t	t 9

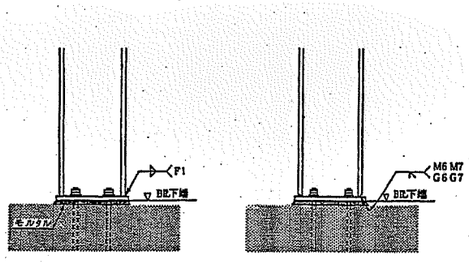
H形柱［柱通しタイプ］（杆部）　P−H・C−C−4

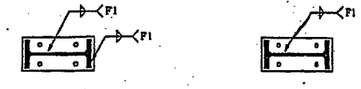


注記

※1　t1の材質、材種はF2と同等以上、板厚はF2と同厚以上を原則とする。

H形柱［柱脚部］　B−H'・C−／−1





フランジ厚T≦9の場合　　フランジ厚T>9の場合

注記

記号	記事	承認	名	年月日
△				

工事番号		発注先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
照査	勝原	
照査	御厨	図面名称 鉄骨標準詳細図
設計	原	
製図	青木	
設計部署		尺度 — 原寸 角抽 標準図番号
		図面番号 S-34 △
		出図年月日 管理番号

日本鉄骨技式会社1級建築士事務所　東京都知事登録第30068号
1級建築士登録第16115号　小林 清彦
TEL03 5802−7729

NKK 日本管管株式会社

A1

溶接標準図

1.適用範囲

1.本標準図は、日本建築学会「鉄骨工事技術指針・同解説」に従い、橋全部の工場溶接を行なう場合に適用する。ただし、溶接方法について特に設計図において指示する場合はこの限りでない。

2.使用鋼材、板厚に関して、上記学会基準の適用範囲を越える場合の溶接方法は設計者の指示による。

2.注記

1.開先加工の許容差、部材精度は、下記によるほか日本建築学会「鉄骨工事技術指針・同解説」による。

(1)ルート間隔　表はつりの場合0～G≦6　裏あての場合G $^{+2mm}_{0}$

(2)ルート面　T≦3mmの場合±1mm　T>3mmの場合±2mm

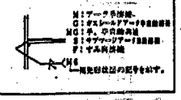
(3)開先角度　$\theta^{+5°}_{0}$

2.ノンガスシールドアーク半自動溶接の溶接形状はアーク手溶接に準ずる。

3.上記のほか、下記特記事項1～7に従う。

3.本図の見方

一枚の鉄骨詳細図に溶接記号のみで表わしていない場合は、本図の溶接記号による。



特記事項

1.余盛

T≦4	3mm
4<T≦12	3
12<T≦20	5
20<T	6

すみ肉脚長

$S=(0.15\sim0.1)2T$

2.補強すみ肉溶接

$S=T/4\sim T/3mm以下$

3.裏あて金、裏あて材

T≦16　t=6
T>16　t=9
材質：母材と同一
寸法：1:X25

4.エンドタブ

1.Sが下記1：溶接部の場合は8mm以上とする。
2.溶接終了後、完全して仕上げる事を原則とする。

5.スカラップ

r=35

特記なき限り、上記による

6.不等厚部材の継手

T₁-T₂≦4の場合

T₁-T₂>4の場合

7.取付部補強プレート(G.P)

B	b	W	t	S	b	S	t
125	75						
150	100						
175	125						
200	150						
250	150						
300	200						

(mm)

開先形状図

突合せ溶接（突合せ継手・T継手・角継手）

アーク手溶接

記号	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9
板厚	T≦6	6<T≦20	16<T	6<T≦12	12<T	6<T≦12	12<T	6<T≦20	12<T

ガスシールドアーク半自動溶接　（ ）内は溶接姿勢V：立向、O：上向の場合を示す。

記号	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9
板厚	T≦6	6<T≦20	16<T	6<T≦16	16<T	6≦T≦20	16<T	20<T	16<T

突合せ溶接（突合せ継手・T継手・角継手）

サブマージアーク自動溶接

記号	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
板厚	T≦12	12<T≦25	T≦50	T≦12	12<T≦25	25<T≦50	T≦12	12<T≦25	T≦50

手，半自動共通

記号	MG1	MG2
板厚	6<T	θ<60°

すみ肉溶接

手，半自動、自動共通

記号	F1	F2	F3	F4	F5	F6
板厚	T≦12	T≦12	6≦T	6≦T	12<T	フレア溶接

T	≦6	≦9	≦12
D_1	5	6	7
D_2	5	6	7

工事番号		発注先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
検査	關、片	図面名称	溶接標準図
照査	御厨		
設計	原		
製図	結城		
設計部署		尺度	原寸
		図面番号	S-35
		出図年月日	
		整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 EIE営業所　東京都港区芝浦3丁目1番1号
1級建築士第61611号　小林基泰
横浜市鶴見区末広町1-1　電話 (045)505-7725

記号	記事	署名	年月日
△			

図面変歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

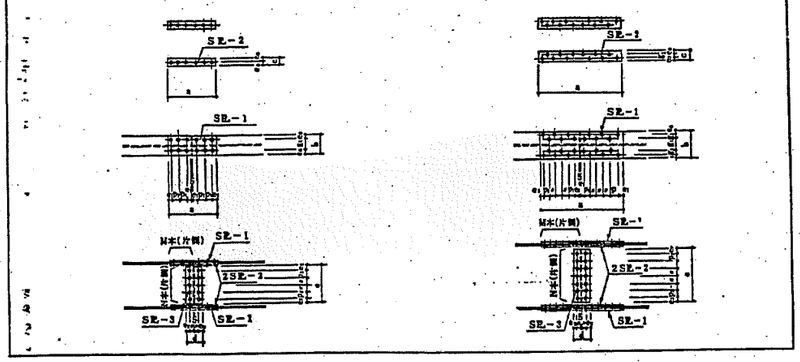
鉄骨標準図

注記 1.本標準図は、鋼材・アンカーボルトSS41, H.T.B F10Tを使用する場合に適用する。
2. ○印はSM50Aその他はSS41とする。

大梁JOINT LIST

(柱)

部位	記号	H形鋼サイズ	フランジ接合部 H.T.B本数	g1	g2	p1	e1	e2	SE-1(a×b×t1)	2SE-2(a×c×t1)	ウェブ接合部 H.T.B本数	p2	e2	2E-3(d×e×t2)
梁	J_1	H−248×124×5×8 H−250×125×6×9	6−M16	75		60	35	25	E− 385×125×12		3−M16	60	35	E−145×190×6
	J_2	H−298×149×5.5×8 H−300×150×6.5×9	6−M20	90		70	40	30	E− 445×150×9	E− 445×70×9	3−M20	70	40	E−165×220×6
	J_3	H−346×174×6×9 H−350×175×7×11	6−M20	105		70	40	35	E− 445×175×9	E− 445×70×9	4−M20	70	40	E−165×290×6
	J_4	H−396×199×7×11 H−400×200×8×13	6−M20	120		70	40	40	E− 445×200×12	E− 445×75×12	4−M20	70	40	E−165×290×9
	J_5	H−446×199×8×12 H−450×200×9×14	6−M20	120		70	40	40	E− 445×200×12	E− 445×75×12	5−M20	70	40	E−165×360×9
	J_6	H−496×199×9×14 H−500×200×10×16	6−M22	120		80	45	40	E− 505×200×16	E− 505×75×16	5−M22	80	45	E−185×410×9
	J_7	H−596×199×10×15 H−600×200×11×17	6−M22	120		80	45	40	E− 505×200×16	E− 505×75×16	6−M22	80	45	E−185×490×9
	J_8	H−606×201×12×20	6−M22	120		80	45	40	E− 505×200×19	E− 505×75×19	6−M22	80	45	E−185×490×9
	J_9	H−582×300×12×17 H−588×300×12×20	10−M22	150	40	70	45	35	E− 745×300×16	E− 745×110×16	6−M22	80	45	E−185×490×9
	J_{10}	H−692×300×13×20	10−M22	150	40	70	45	35	E− 745×300×19	E− 745×110×19	7−M22	80	45	E−185×570×12
	J_{11}	H−700×300×13×24	12−M22	150	40	70	45	35	E− 885×300×19	E− 885×110×19	7−M22	80	45	E−185×570×12
	J_{12}	H−890×300×14×26	12−M22	150	40	70	45	35	E− 885×300×22	E− 885×110×22	8−M22	80	45	E−185×650×12
	J_{13}	H−900×300×16×28	14−M22	150	40	70	45	35	E−1,035×300×25	E−1,035×110×25	9−M22	80	45	E−185×730×12
	sG3	H−446×199×8×12	6-M20	120		70	70	70	E- 735×200×12	E- 735×75×12	5-M20	70	90	E-165×360×12
	sG2 sG1	H−482×300×11×15 H−488×300×11×18	10-M22	150	70	70	95	35	E- 735×300×14	E- 735×110×14	5-M22	80	90	E-185×410×14
柱	sC2 sC1	H- 482×300×11×15 H- 488×300×11×18	12-M22	150	70	70	95	35	E- 885×300×14	E- 885×110×14	10-M22 (2列)	70	95	E-225×320×12



小梁JOINT LIST

H形鋼サイズ	TYPE	ボルト本数	E-1 (t_1)	TYPE	ボルト本数	E-2 (t_1)	E-3 (t_1)
H−100×50×5×7	1	2−M16	6				
H−125×60×6×8	1	2−M16	6				
H−150×75×5×7	2	2−M16	6				
H−175×90×5×8	2	2−M16	6				
H−200×100×5.5×8	2	2−M16	6				
H−248×124×5×8 H−250×125×6×9	2	3−M16	6	3	2−M16	6	6
H−298×149×5.5×8 H−300×150×6.5×9	2	3−M20	6 9	3	3−M16	6 9	6 6
H−346×174×6×9 H−350×175×7×11	2	4−M20	6 9	3	4−M16	6 9	6 6
H−396×199×7×11 H−400×200×8×13	2	4−M20	9	3	4−M20	9 9	6 9
H−446×199×8×12 H−450×200×9×14	2	5−M20	9	3	5−M20	9 9	6 9
H−496×199×9×14 H−500×200×10×16	2	5−M22	9 12	3	5−M22	9 12	9 9
H−596×199×10×15 H−600×200×11×17	2	6−M22	12	3	6−M22	12	9
H−606×201×12×20	2	6−M22	12	3	6−M22	12	9
H−582×300×11×17 H−588×300×11×20	2	6−M22	12	3	6−M22	12	9
H-100×100×6×8	1	2-M16	6				
H-125×125×6.5×9	1	2-M16	9				
H-194×150×6×9	2	2-M16	6				
H-294×198×8×11	2	3-M16	9				
H-294×200×8×12	2	3-M20	9				
H-390×250×9×14	2	5-M20	9				

TYPE-1

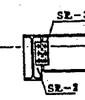


(耐風梁 H600の場合は記-1の2倍)

TYPE-2

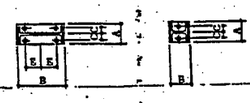


TYPE-3



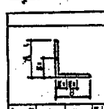
ベースプレート標準寸法

H形鋼サイズ	ベースPL (A×B×t1)	C	E	アンカーボルト	t
H−100×50×5×7	PL−140×130×9	35		2−M16	
H−125×60×6×8	PL−140×160×9	35		2−M16	
H−150×75×5×7	PL−140×180×9	35		2−M16	
H−175×90×5×8	PL−140×210×9	35		2−M16	
H−200×100×5.5×8	PL−140×230×9	35		2−M16	
H−248×124×5×8 H−250×125×6×9	PL−170×280×12	40	50	4−M20	600
H−298×149×5.5×8 H−300×150×6.5×9	PL−170×330×12	40	75	4−M20	600
H−346×174×6×9 H−350×175×7×11	PL−220×388×12	55	100	4−M20	
H−396×199×7×11 H−400×200×8×13	PL−220×438×16	55	125	4−M20	
H−446×199×8×12 H−450×200×9×14	PL−220×488×16	55	150	4−M20	
H−496×199×9×14 H−500×200×10×16	PL−230×550×19	55	175	4−M20	
H−596×199×10×15 H−600×200×11×17	PL−230×650×19	55	225	4−M20	
H−606×201×12×20	PL−230×655×22	55	225	4−M20	
H−100×100×6×8	PL−130×130×9	40		2−M16	600
H−125×125×6.5×9	PL−150×150×12	40		2−M16	600
H−150×150×7×10	PL−180×180×12	45		3−M16	
H−175×175×7×11	PL−205×205×16	55		2−M20	
H−200×200×8×12	PL−230×230×16	55		2−M20	
H−250×250×9×14	PL−290×290×19	70	55	4−M20	
H−300×300×10×15	PL−340×340×19	85	80	4−M20	
H−350×350×12×19	PL−390×390×22	100	105	4−M20	
H−400×400×13×21	PL−440×440×22	115	130	4−M20	
H- 496×199×8×12	PL-220×480×16	55	125	4-M20	600
H- 582×300×11×15 H- 588×300×11×18	PL-370×540×19	85	160	4-M20	600

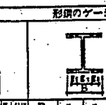


高力ボルト，ボルトのピッチ，ゲージその他標準

形鋼のゲージ

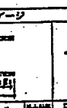


AorB	g1	g2	最大径
50	30		16
60	35		16
65	35		20
70	40		20
75	40		22
80	45		22
90	50		22
100	55		24
125	50	35	24
130	50	40	24
150	55	55	24
175	60	70	24
200	60	90	24



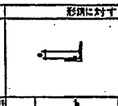
B	g1	g2	最大径
100	60		12
125	75		16
150	90		22
175	105		22
200	120		24
250	150		24
※300	150	40	24
350	140	70	24
400	140	90	24

※ B=300は千鳥打ちとする。



B	g1	g2	最大径
65	35		20
70	40		20
75	40		22
80	45		22
90	50		24
100	55		24

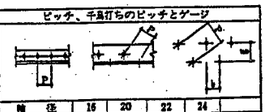
形鋼に対する千鳥打ち



a	b 軸径 16	20	22
21	25	30	36	32
22	26	32	35	33
23	24	29	35	34
24	23	28	34	35
25	22	27	33	36
26	20	26	32	37
27	19	25	32	38
28	17	24	31	39
29	16	23	30	40
30	14	22	29	41
31	11	20	28	43

a	b 軸径 16	20	22
8	19	25
	17	25
	15	24
	12	22
	9	21
		19
		17
		14
		11
		8

ピッチ、千鳥打ちのピッチとゲージ



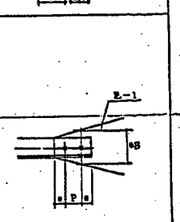
軸径		16	20	22	24
ピッチP	標準	60	70	80	90
	最小	40	50	55	60

g	b 軸径 16	20	22
	P=48	P=50	P=66
35	33	49	56
40	27	45	53
45	17	40	48
50		33	43
55		25	37
60			26
65			12

ブレースJOINT LIST

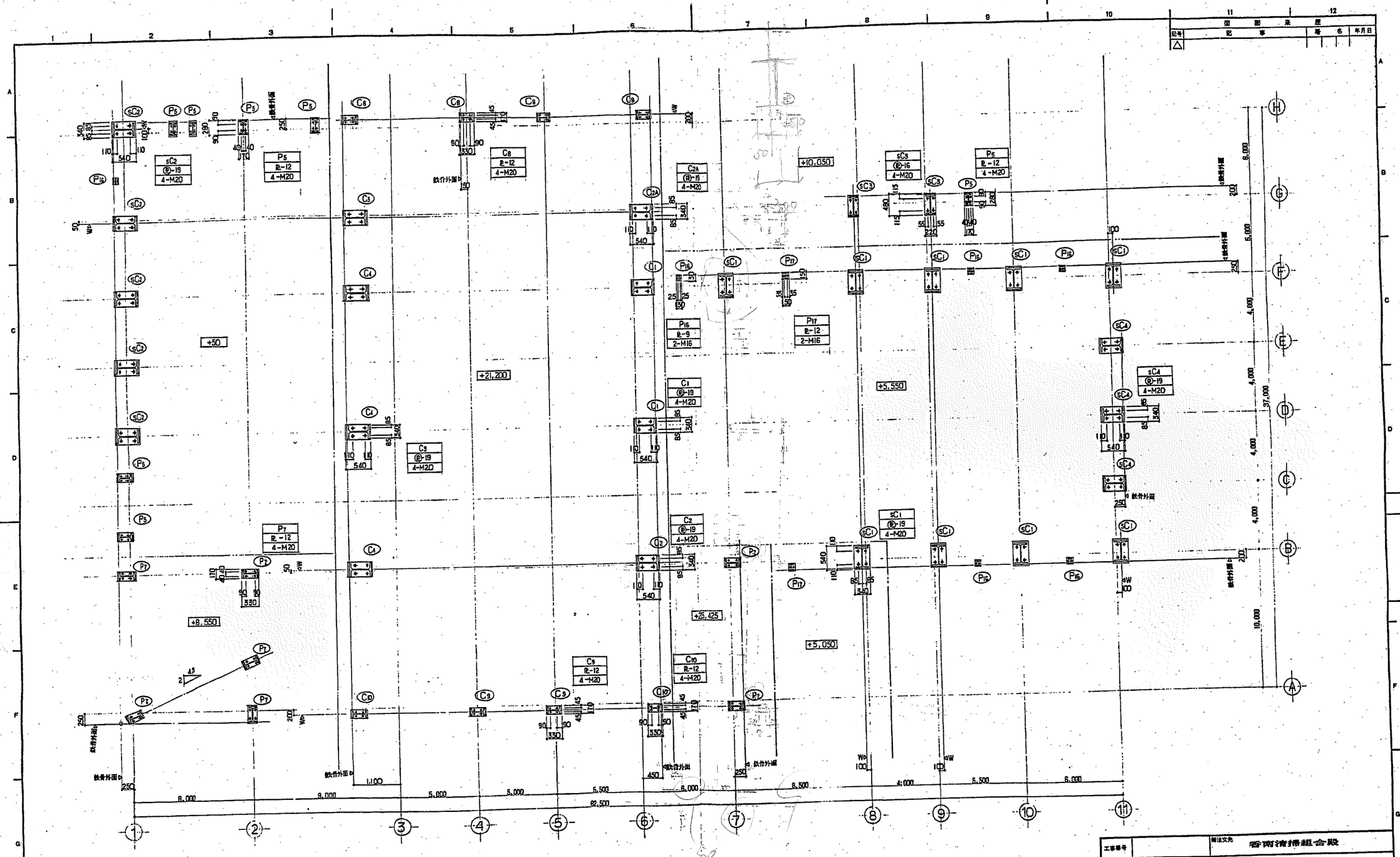
注記 *Bは必要最小寸法とする

	使用材	ボルト本数	E-1	*B	E-2	l	p	e
丸鋼	13φ	1−M16	6	70	50×6	45		40
	16φ	1−M16	6	70	50×6	45		40
	19φ	1−M20	9	80	60×9	50		50
	22φ	1−M22	9	90	60×9	60		50
山形鋼	L−50×50×6	2−M16	9	70			60	40
	L−65×65×6	3−M16	9	110			60	40
	L−75×75×6	4−M16	9	210			60	40
	L−75×75×9	4−M20	9	160			70	40
	L−90×90×7	4−M16	9	210			60	40
	L−90×90×10	5−M20	12	330			70	50
	L−100×100×10	4−M22	12	190			80	45
平鋼	2L−75×75×9	4−M20	12	250			70	50
	FB−65×6	2−M16	12	70			70	40
	FB−65×9	2−M20	12	80			70	40
	FB−65×12	2−M20	12	80			70	40
	FB−75×12	3−M20	12	100			70	40
	FB−90×12	3−M20	12	100			70	40



日本鋼管技術株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第26039号
1級建築士第61611号 小林 誠 他
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505−7725

工事番号		発注先	君南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
監督	関屋		
監督	御厨	図面名称	JOINT LIST
設計	原		
製図	鈴城		
設計部署		尺度	—
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	標準図番号
		図面番号	S-36 △
		出図年月日	整理番号



ANCHOR PLAN S=1:40

注記 1. ◁Wはウェブ面を示す。
2. □内数値は、――で囲まれたベースプレートの1FLからベースプレート下端までのレベルを示す。

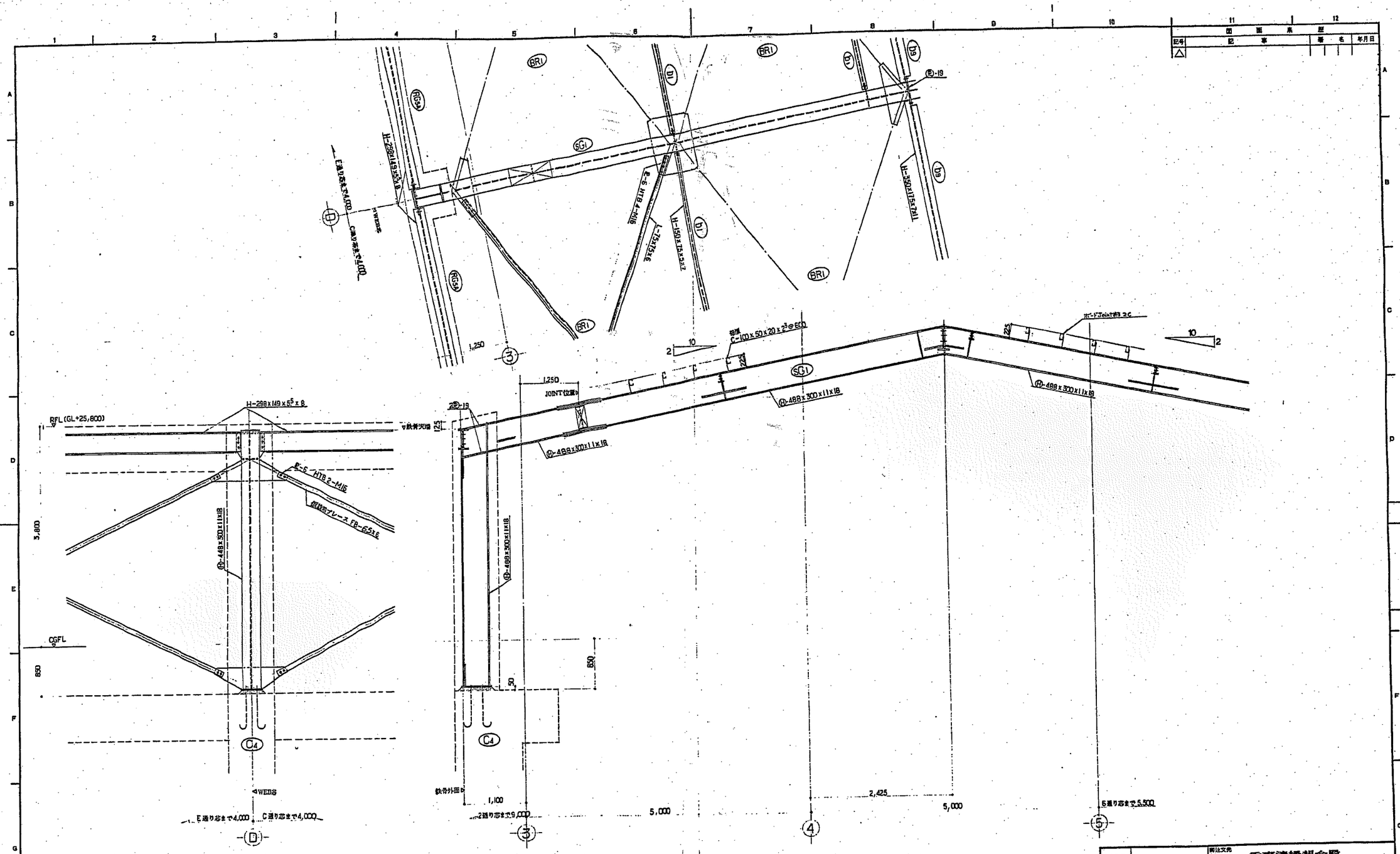
凡例

符号
BASE ℞
A. BOLT

工事番号		
承認	小林	
照査	勝原	
照査	御厨	
設計	原	
製図	香木	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	ANCHOR PLAN
尺度	S=1:40
図面番号	S-37



工事番号		
承認	小林	
照査	綿原	
照査	御厨	
設計	原	
製図	青木	
設計部署		

開発文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	ごみピット上部鉄骨詳細図
尺度	S=1:30
第 角法	
標準図番号	
図面番号	S-38
出図年月日	
整理番号	

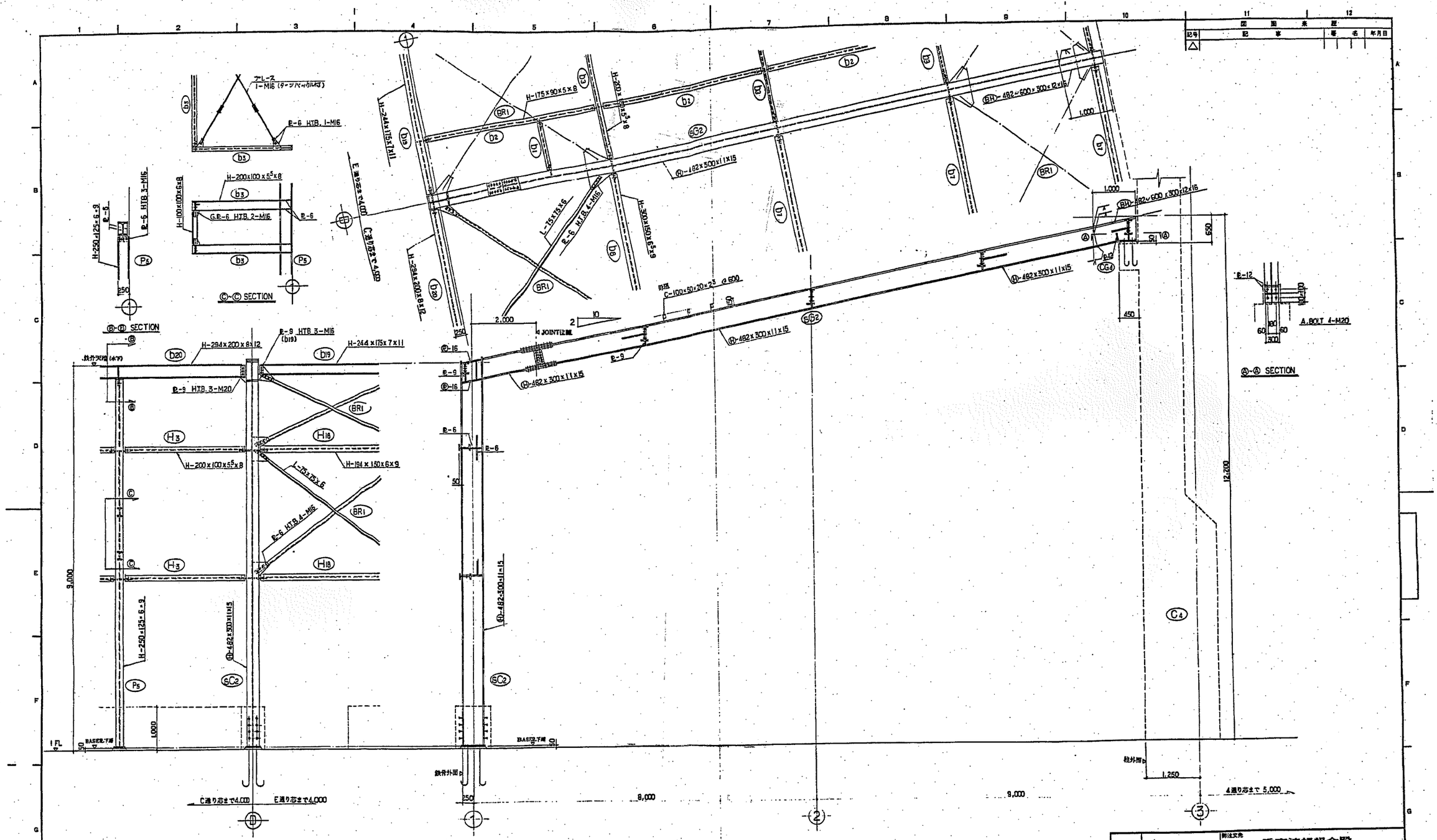
NKK 日本鋼管株式会社

日本国際技術公司(株)鉄道都市事務所 東京都知事登録第2908号
1種建築士第61611号 小林 迪也
建設省(株)東京都町2-1 電話 (045)505-7725

記号	記事	署名	年月日
△			

A1

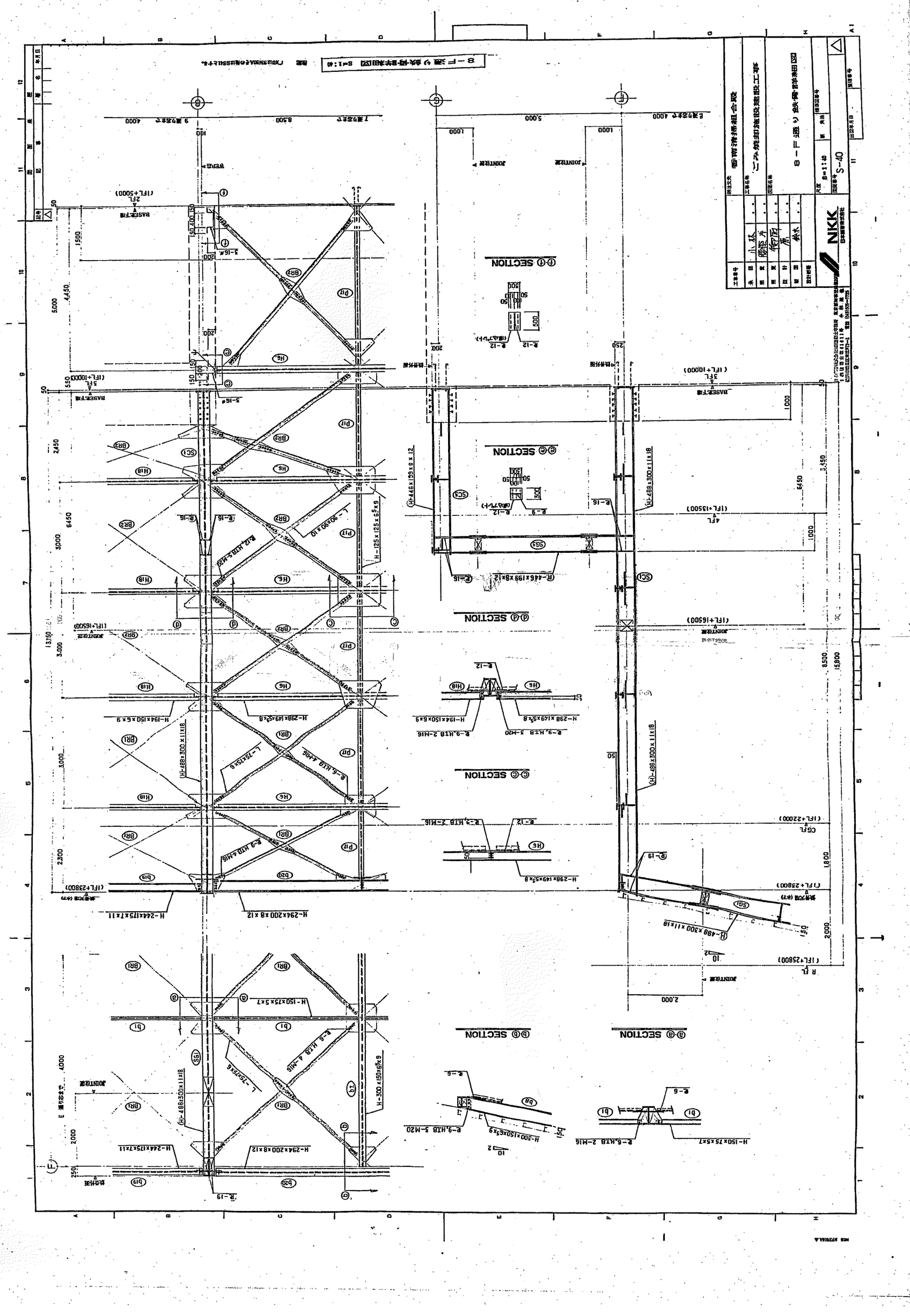
NKS NIKKEN A

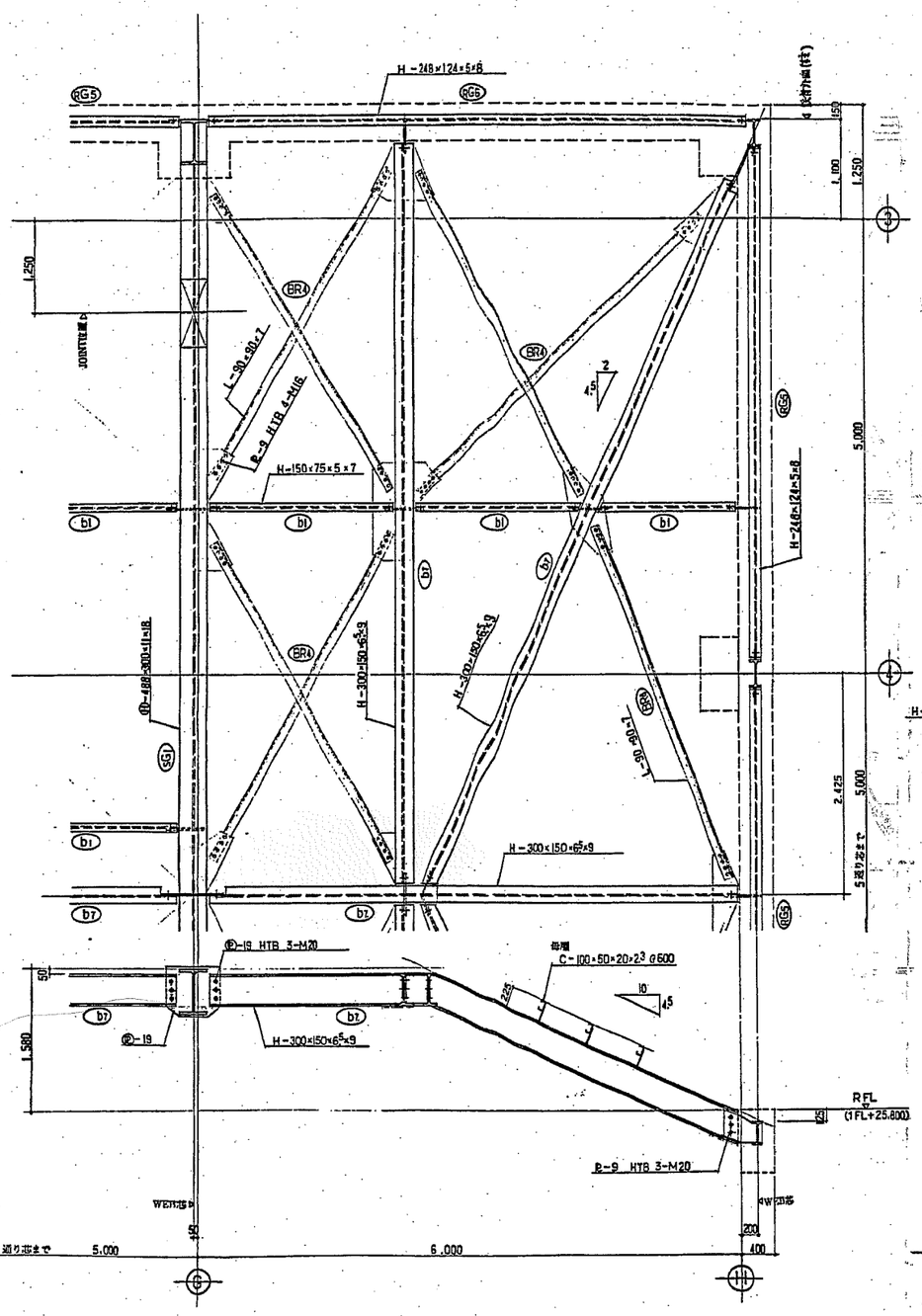


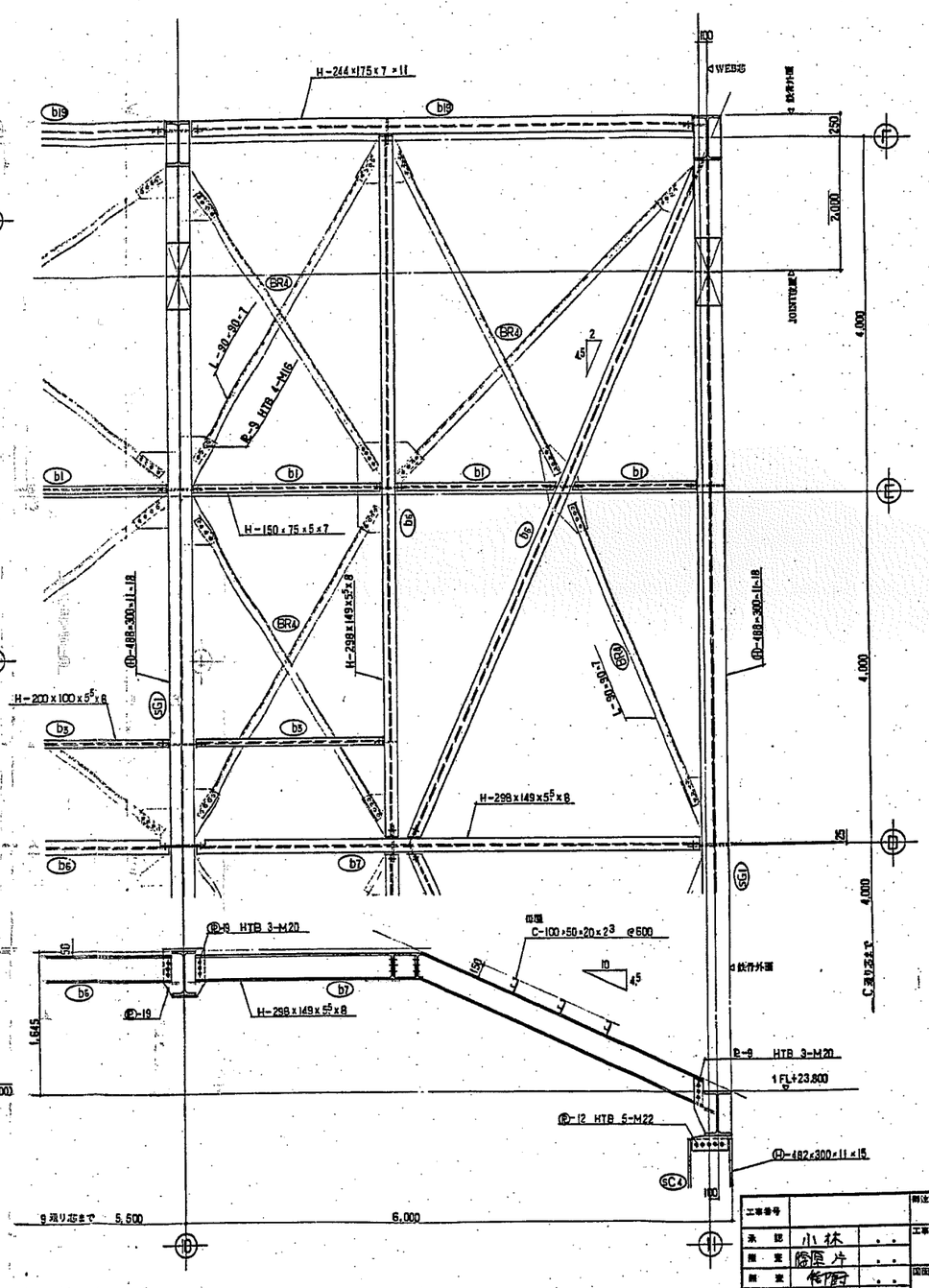
プラットホーム上部鉄骨詳細図 S=1:40

○印はSM50Aその他はSS41とする。

工事番号		別注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
課室	勝原 片	
所室	御厨	図面名称 プラットホーム上部鉄骨詳細図
設計	原	
製図	青木	
設計部番		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 S=1:40 / 図面番号 S-39


8－F通り 鉄骨伏図 S=1:40
雪荷清掃組合殿
ビア統括施設建設工事
8－F通り 鉄骨伏図
S-40
NIKK
SECTION
SECTION
SECTION





屋根面鉄骨詳細図 S=1:30

○印はSM50Aその他はSS41とする。

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	篠原
照査	佐野
設計	原
製図	大川
設計部等	

発注先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 屋根面鉄骨詳細図

尺度 S=1:30

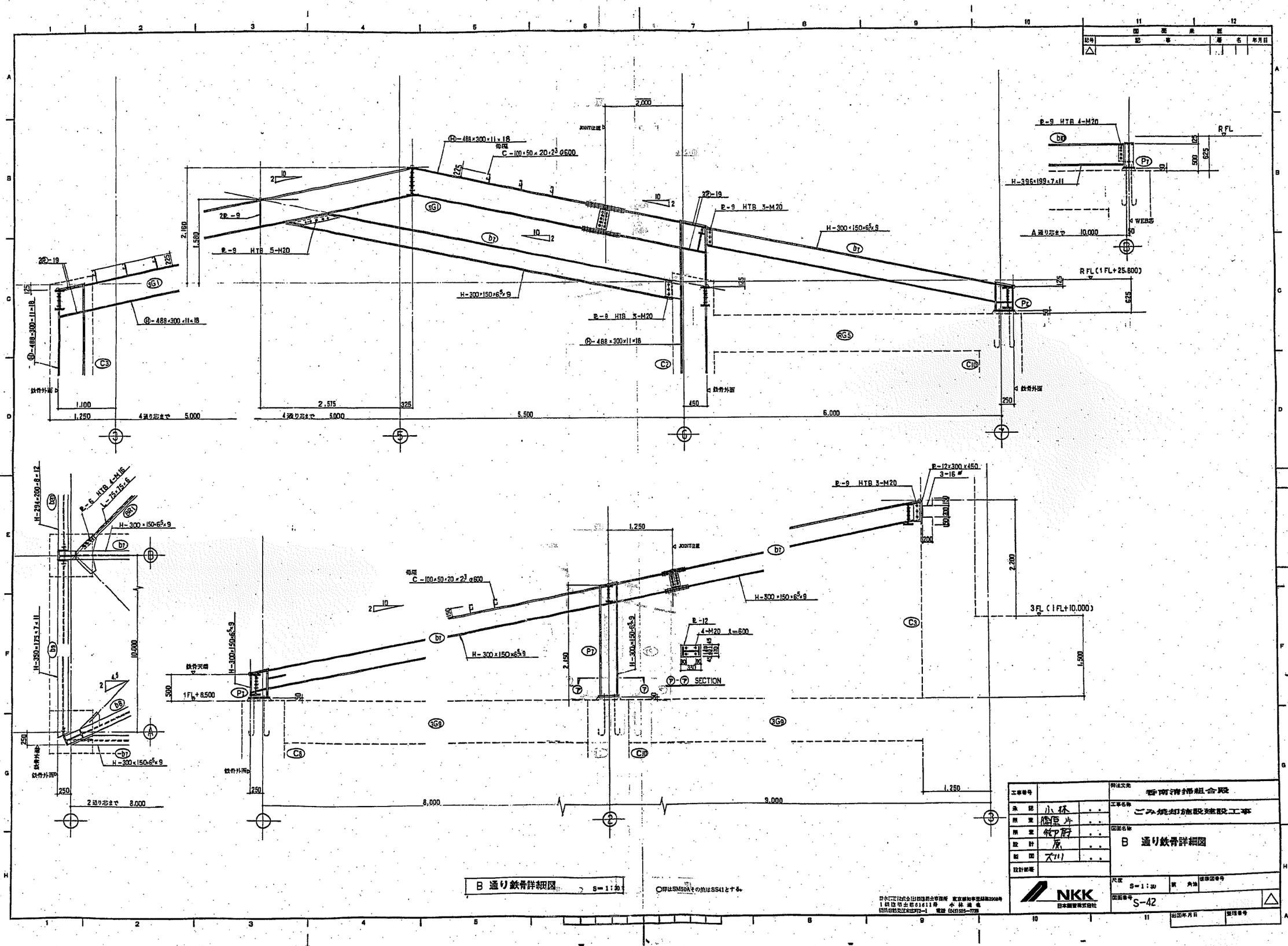
図面番号 S-41

出図年月日

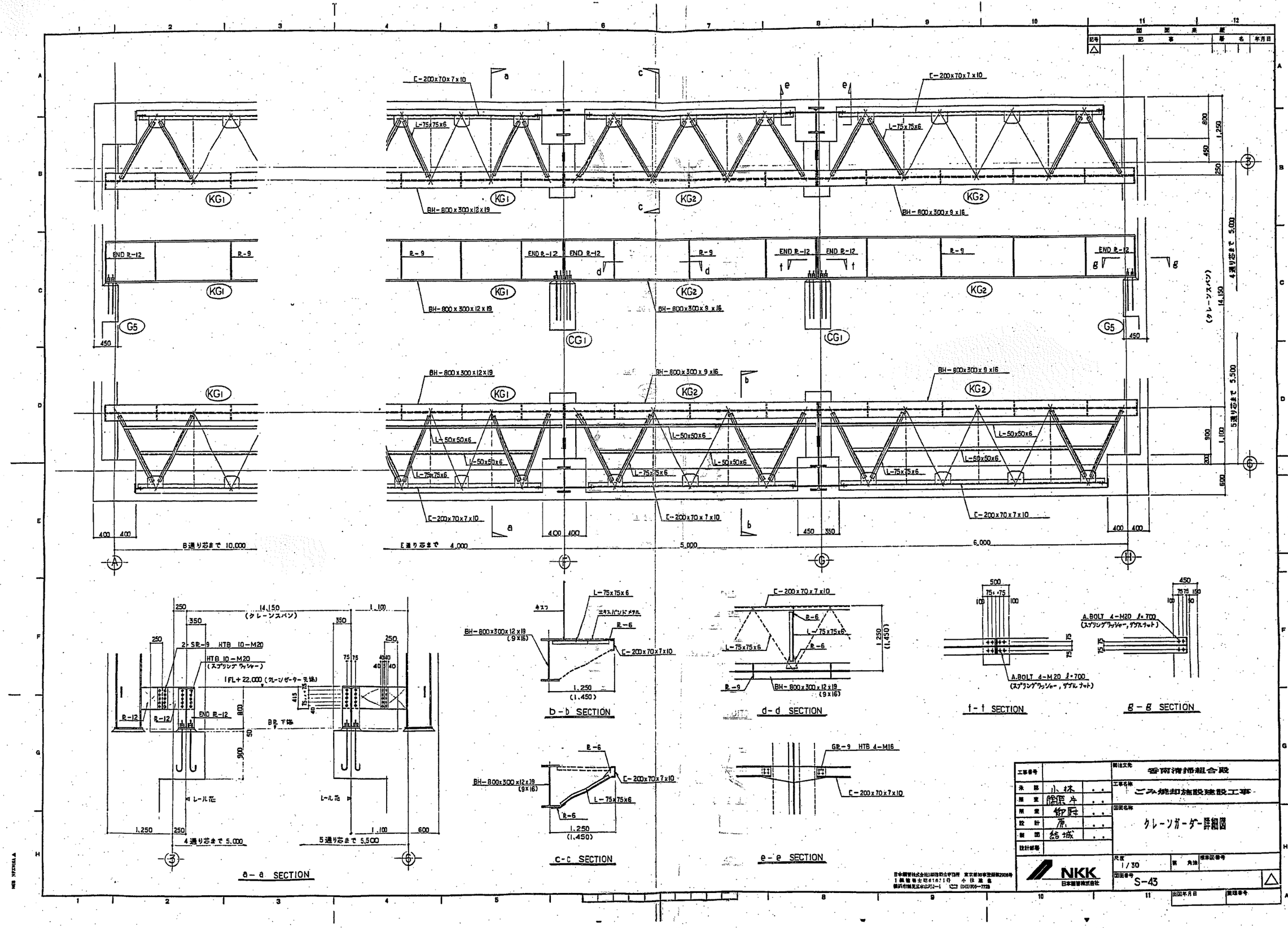
整理番号

日本設計にて各出図時担当事務所・東京都知事登録第2309号
1級建築士第81611号 小林 進 他
横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1 電話 (045)505-7725

NKK 日本鋼管株式会社



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鶴原片		
照査	鈴野	図面名称	B 通り鉄骨詳細図
設計	原		
製図	大川		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 S=1:30	図面番号 S-42

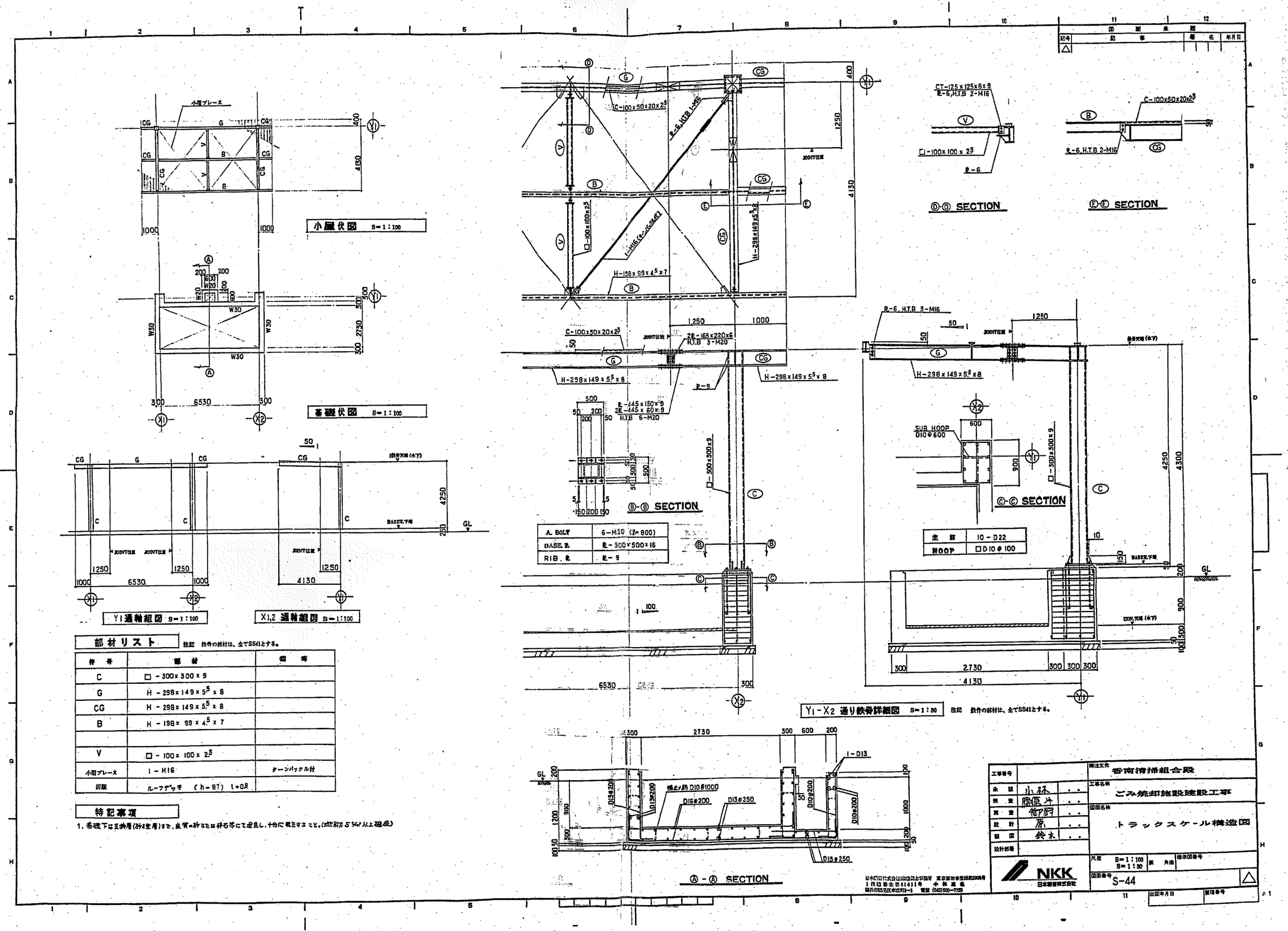


工事番号		
承認	小林	
照査	鶴原	
照査	御厨	
設計	原	
製図	結城	
設計部署		

郵注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	クレーンガーダー詳細図
尺度	1/30
図面番号	S-43
出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 東京都知事登録第2906号
1級建築士 第61671号 小林 建 集
横浜市鶴見区末広町2-1 (045)505-7728



部材リスト

注記 鉄骨の部材は、全てSS41とする。

符号	部材	備考
C	□-300×300×9	
G	H-298×149×5.5×8	
CG	H-298×149×5.5×8	
B	H-198×99×4.5×7	
V	□-100×100×2.3	
小屋ブレース	1-M16	ターンバックル付
折版	ルーフデッキ (h=87) t=0.8	

特記事項

1. 基礎下は支持層(砂る密層)まで、良質の砂または砕石等にて埋戻し、十分に転圧すること。(地耐力5t/m²以上確保)

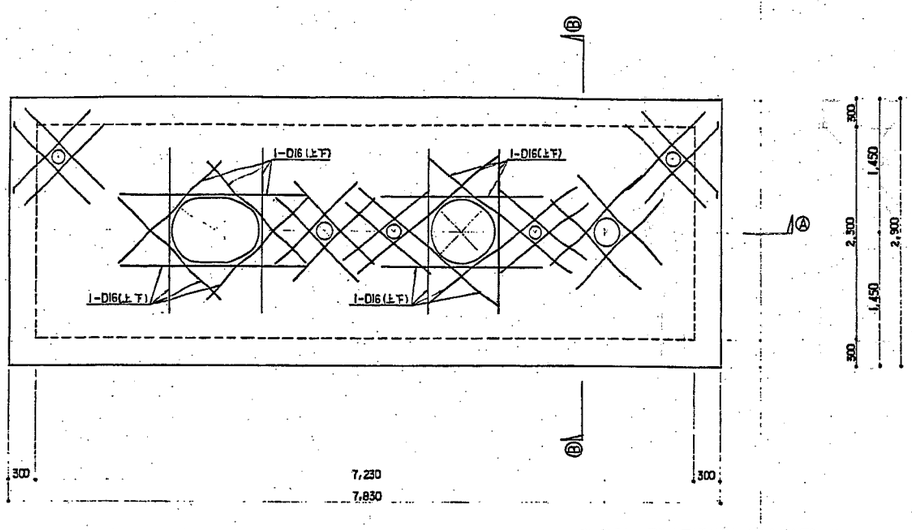
工事番号	
承認	小林
照査	藤原井
照査	御厨
設計	原
製図	鈴木
設計部署	

開発文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	トラックスケール構造図
尺度	S=1:100 S=1:30
図面番号	S-44

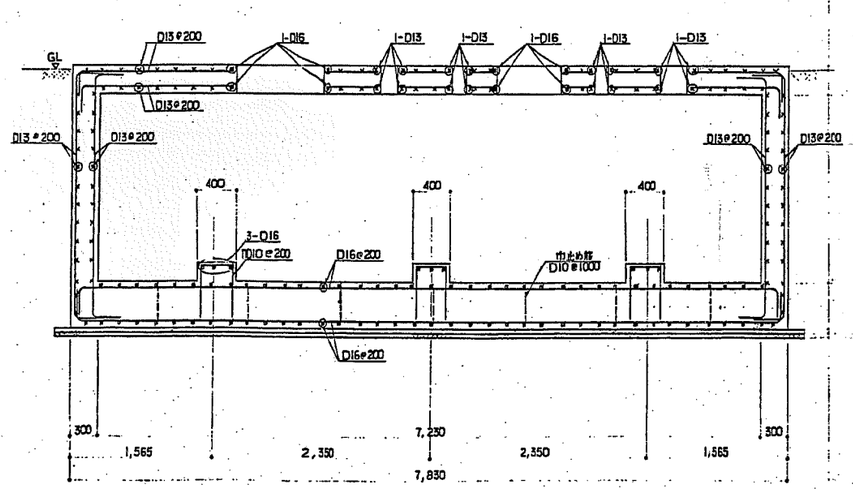
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 国際事業部 東京都千代田区大手町2-1 電話 (045)505-7725

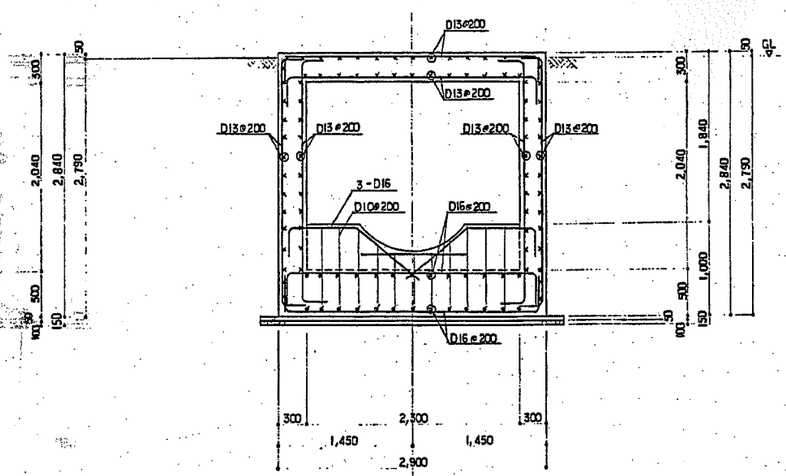
図面履歴				
記号	記事	署名		年月日
△				



※ 特記なき限り開口補強筋は、1-D13（上下）



Ⓐ~Ⓐ SECTION



Ⓑ~Ⓑ SECTION

重油ストレージタンク基礎詳細図 S=1:30

・基礎下日まで（砂利層）まで、土質の良好な岩石質にて埋戻し十分に転圧すること。

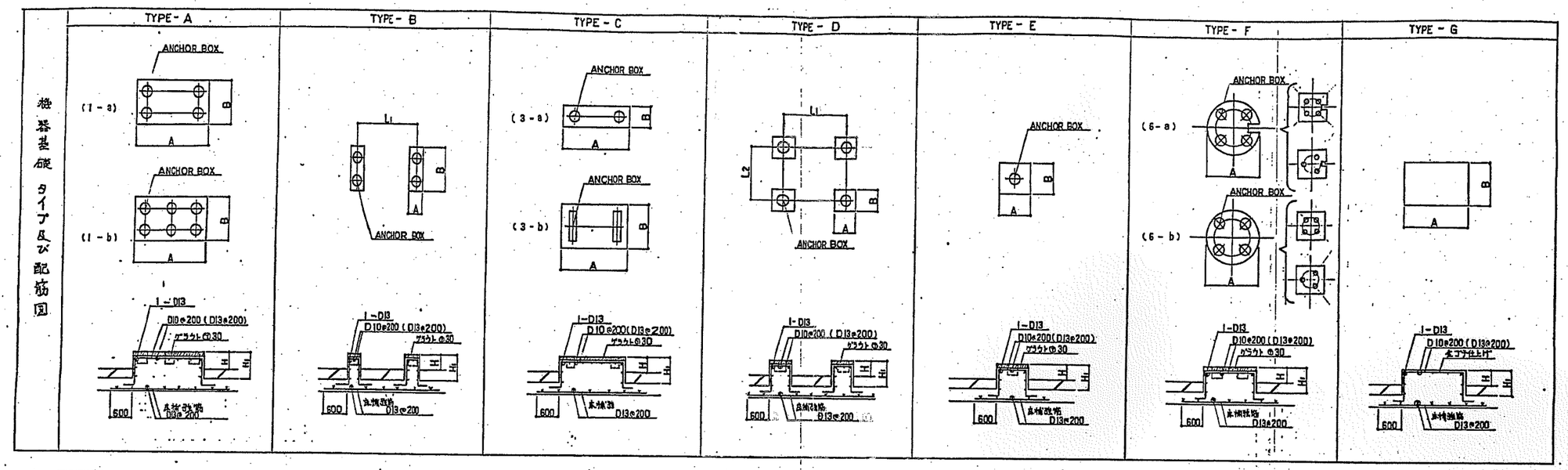
工事番号		
承認	小林	・・
原室	篠原	・・
原室	御厨	・・
設計	原	・・
製図	青木	・・
設計部署		

日本鋼管株式会社 技術総合研究所 東京都渋谷区桜丘町20番1号 〒150-8505
エンジニアリング事業部 小林基泰
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

NKK 日本鋼管株式会社

発注先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	重油ストレージタンク基礎詳細図
尺度	S=1:30
原寸	A1
検査図番号	
図面番号	S-45 △
出図年月日	
整理番号	

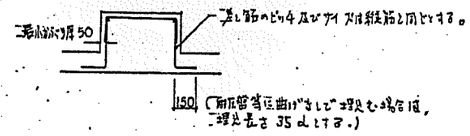
記号	記事	署名	年月日
△			



共通事項

1. ( ) 内は、$H_1 > 600$ の場合を示す。
2. 下部に小梁または大梁のある場合は、その梁にアンカーする。
   その場合には、床補強筋は不要とする。
3. 本図は箱板基礎及び往復ブラウン用基礎に適用する。

4. 施工要領（共通）



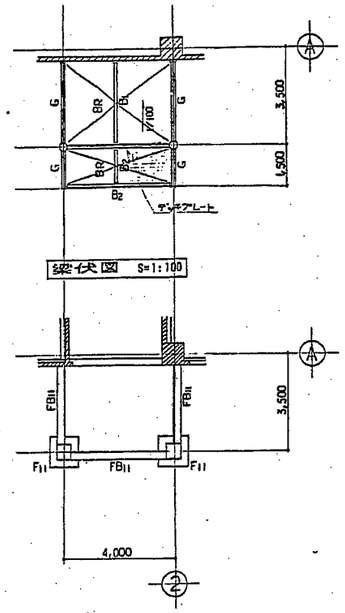
差し筋のピッチ及びサイズは縦筋と同じとする。

（配管等に曲げなしで埋込む場合は、埋込長さ 35 d とする。）

工事番号		
承認	小林	
所室	勝原片	
所室	御厨	
設計	原	
製図	音木	
設計部署		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	機器基礎配筋要領図
尺度	――
図面番号	S-46
出図年月日	
電線番号	

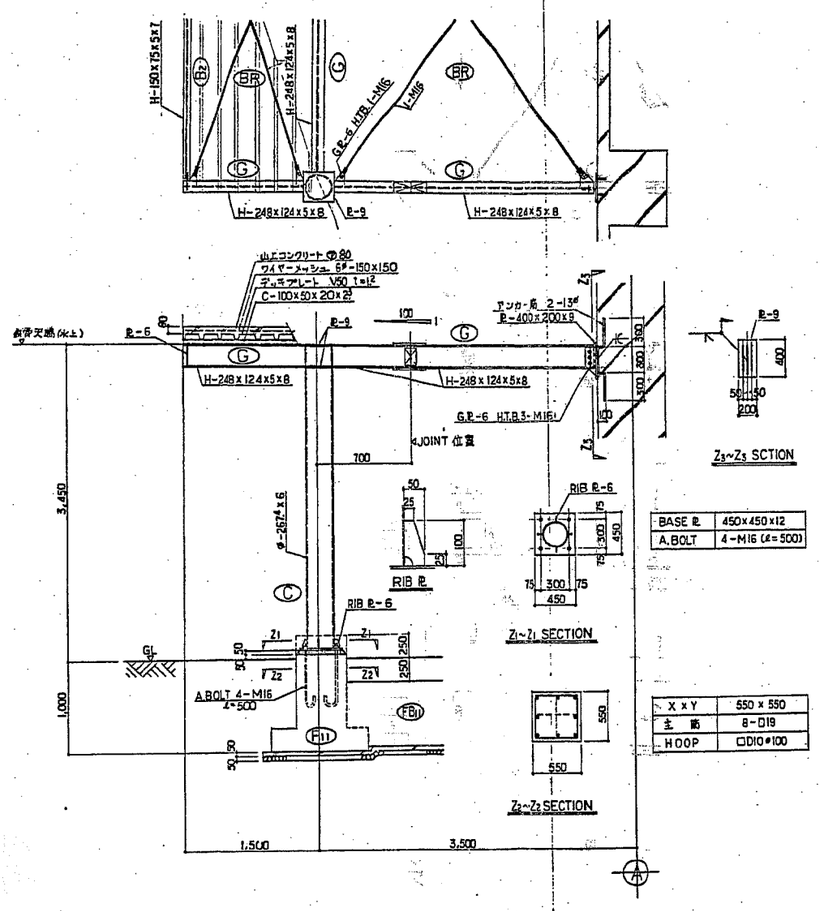


展伏図 S=1:100

基礎伏図 S=1:100

屋由架組図 S=1:100

注記
1. 4Jは JOINT 位置を示す。



BASE PL	450×450×12
A.BOLT	4-M16 (L=500)

X x Y	550 x 550
主 筋	8-D19
HOOP	□D10@100

2通り鉄骨詳細図 S=1:30

※基礎下は、玉石層(砂礫層)まで、良質の砂 または 砕石等に置換し、十分に転圧すること。

部材リスト

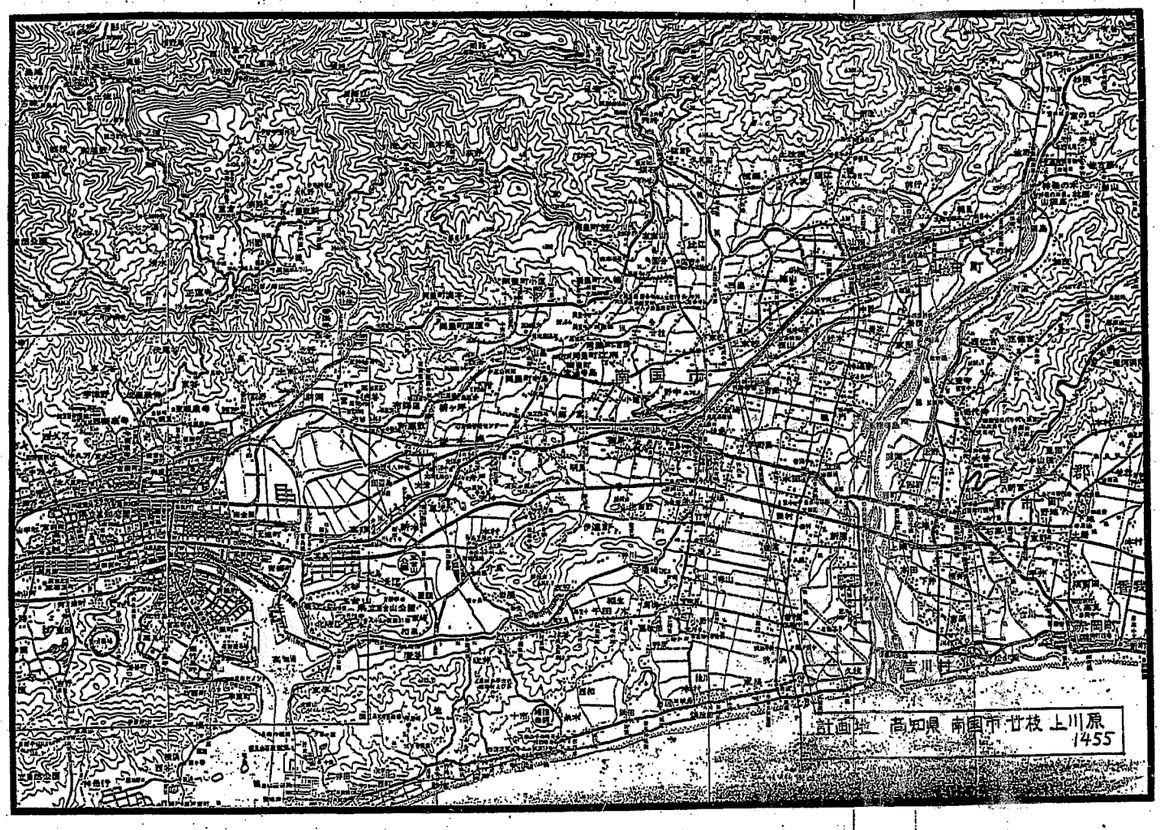
符号	寸 法	備 考
C	Φ-267.4 x 6	
G	H-248x124x5x8	
B1	H-200x100x5.5x8	
B2	H-150x 75x5 x7	
BR	I-M16	ターンバックル付
デッキプレート	V-50 t=1.2	山土コンクリートΦ80

記号	図面来歴 記事	署名	年月日
△			

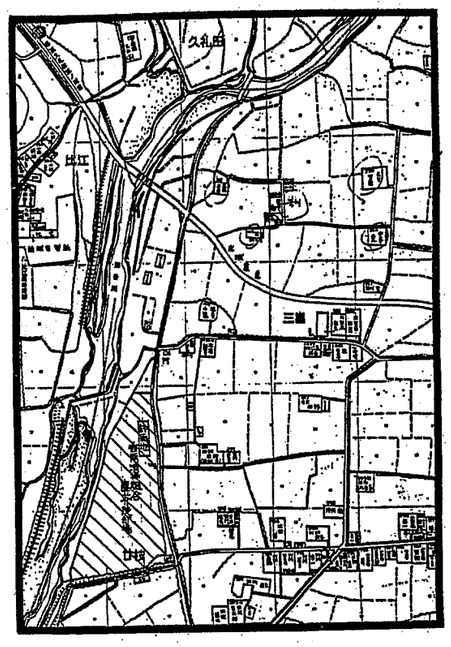
工事番号		発注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
照査	勝森	
照査	御厨	図面名称 オーニング構造図
設計	原	
製図	吉太	
設計部署		尺度 S=1:100 S=1:30 原寸 角地
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号 S-47
		出図年月日 管理番号

A1

記号	記事	署名	年月日
△			



S：1/50,000



S：1/3000

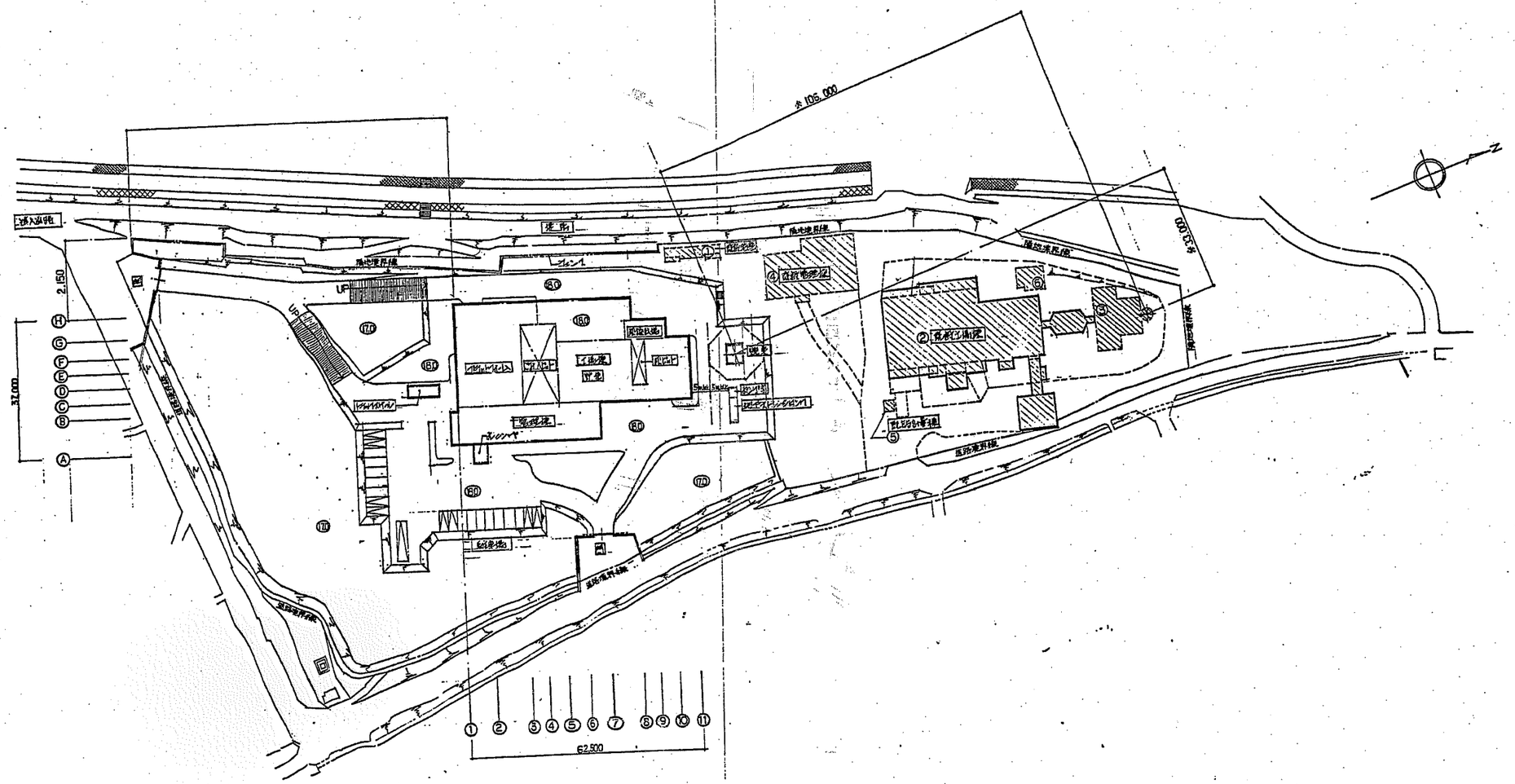
工事番号		
承認	小林	
監査	勝原	
監査	川邨	
設計	岩崎	
製図	日島	
設計部署		

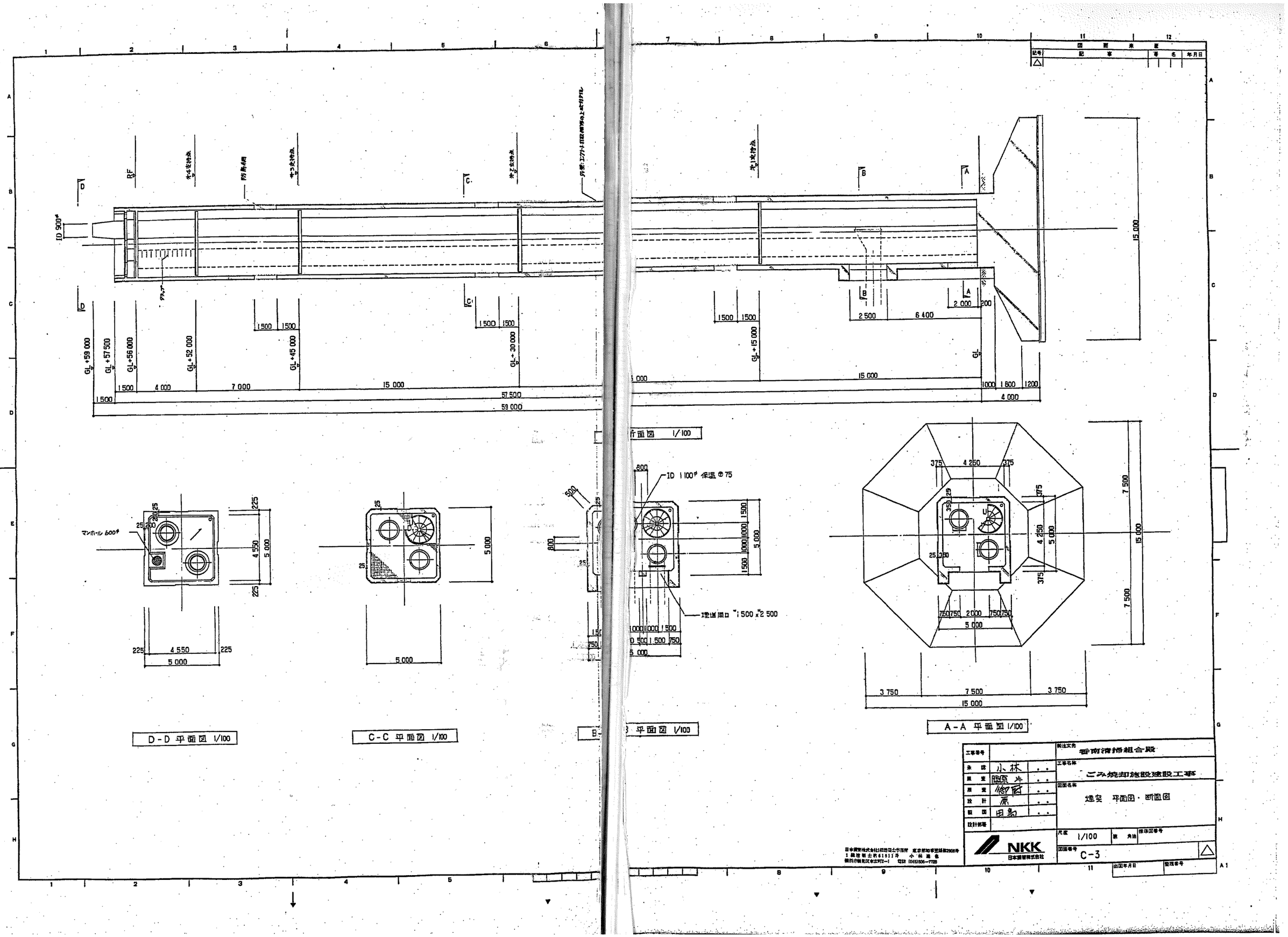
御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	案内図
尺度	1/3000 1/50,000
図面番号	C-1
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第3908号
1級建築士第61611号 小林 進 名
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

記号	記事	署名	年月日
△			

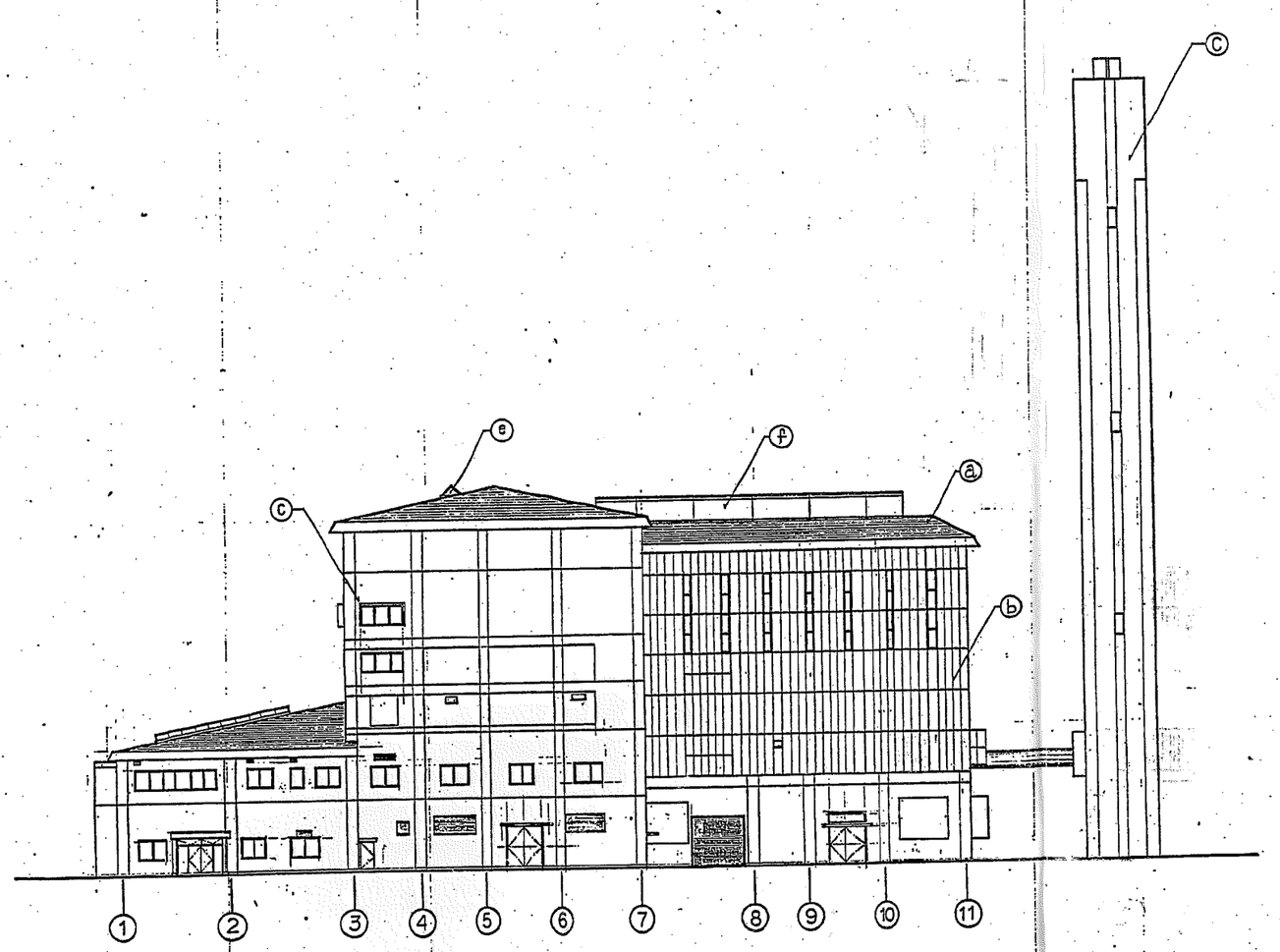

N
#105,000
#33,000
搬入道路
建物
プレハブ1
隣地境界線
道路境界線
UP
DN
2,150
37,000
H
G
F
E
D
C
B
A
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
62,500
計量棟
駐車場
工場棟
煙突
灰ピット
ごみピット
ごみクレーン
ホッパステージ
ターボジェネレータ
ボイラ
集じん器
誘引通風機
脱気器
脱塩装置
薬品貯槽
ブロワ
ポンプ
受電設備
変圧器
ガス冷却塔
排ガス処理棟
管理棟
洗車場
計量機
駐車場
屋外灯
屋外消火栓
ごみ投入扉
灰出し扉
灰クレーン
灰ピット
灰搬出車
ごみ投入ホッパ
ごみクレーン
ごみピット
ごみ投入扉
ごみ投入ホッパ
ごみクレーン
ごみピット



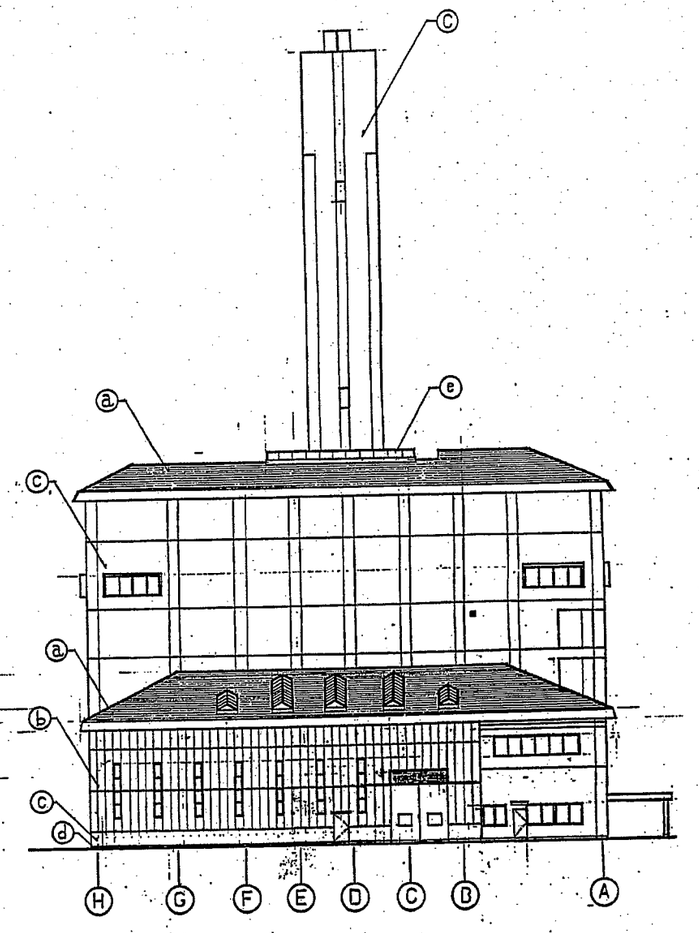
工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	臨原		
照査	御園	図面名称	煙突 平面図・断面図
設計	原		
製図	田島		
設計部署		尺度	1/100
		図面番号	C-3

NKK 日本鋼管株式会社

記号	記事	署名	年月日
△			



東側立面図



南側立面図

注記 ・本図は煙突の立面を示し、建築本体は参考とする。

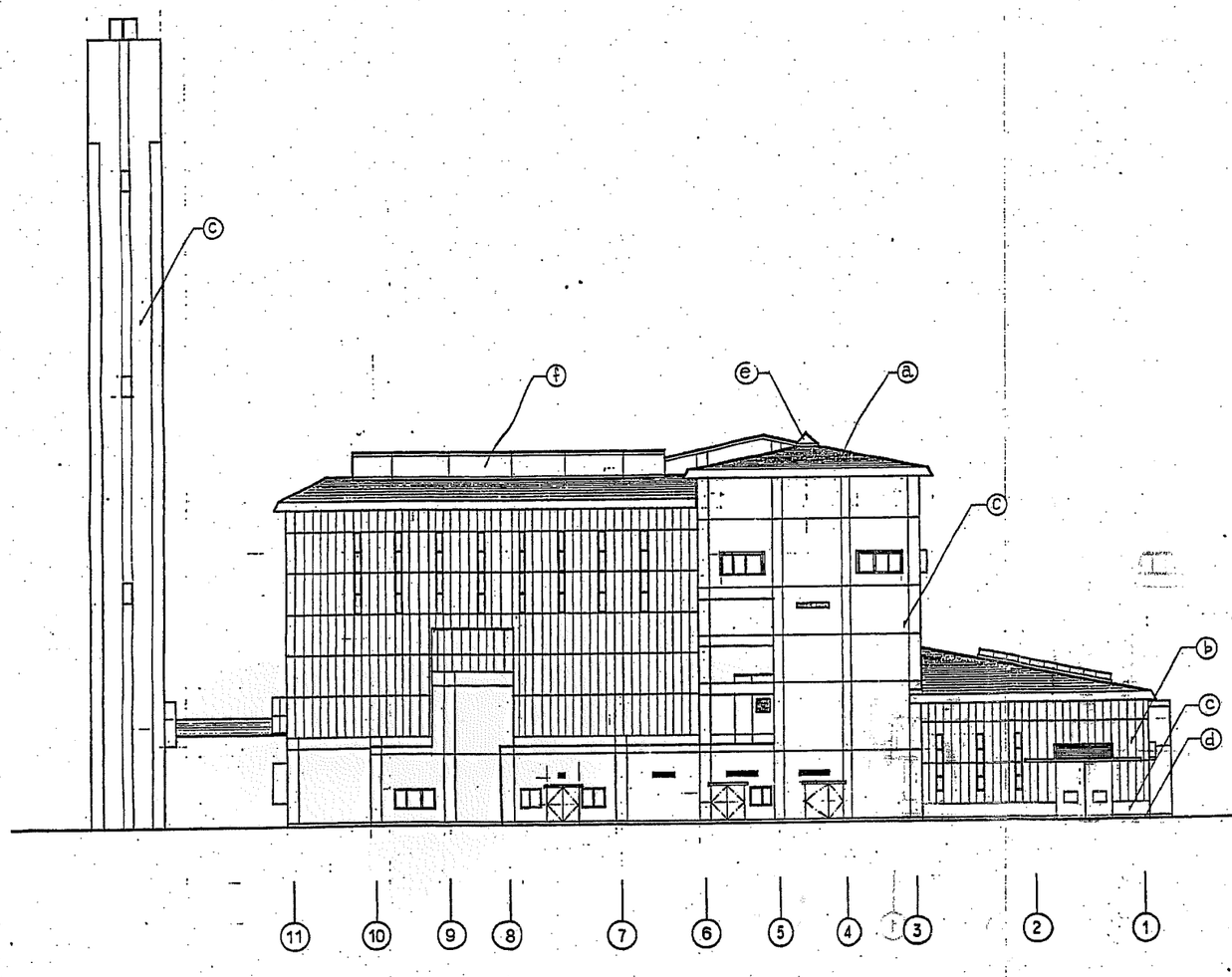
ⓐ	アスファルトルーフィング葺き
ⓑ	ALC版@100の上アクリル系吹付タイル
ⓒ	コンクリート打放しの上アクリル系吹付タイル
ⓓ	コンクリート打放し
ⓔ	トップライト
ⓕ	トップライト付モニター

工事番号		
承認	小林	
照査	藤原	
用意	御厨	
設計	原	
製図	田島	
設計部番		

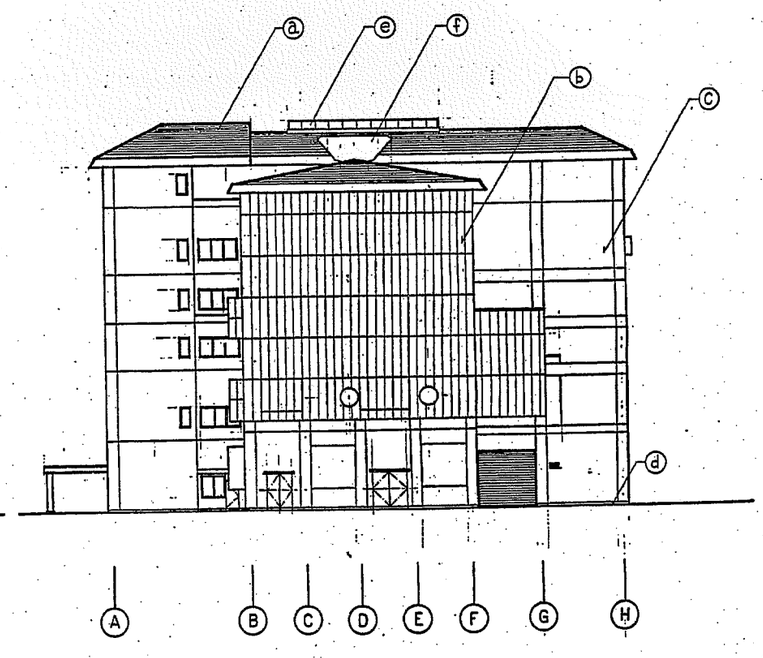
NKK 日本鋼管株式会社

所注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	煙突 立面図 (1)
尺度	1/200
新角法	
標準図番号	
図面番号	C-4
出図年月日	
整理番号	

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林進也
(株)日本鋼管東京東広町2-1 電話 (045)505-7725



西側立面図



北側立面図

注記 ・本図は煙突の立面を示し 建築本体は参考とする。

ⓐ	アスファルトルーフィング葺キ
ⓑ	ALC版®100 ノ上アクリル系吹付タイル
ⓒ	コンクリート打放シノ上アクリル系吹付タイル
ⓓ	コンクリート打放シ
ⓔ	トップライト
ⓕ	トップライト付モニター

工事番号		
承認	小林	
照査	關原	
照査	御厨	
設計	赤	
製図	田島	
設計部番号		

NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	煙突 立面図 (2)
尺度	1/200
図面番号	C-5
出図年月日	

記号	記事	署名	年月日
△			

構造設計概要

【建物概要】

工事名称	香南清掃組合 ごみ焼却施設建設工事 煙突工事				
建築場所	高知県南国市廿枝、上川原 1455				
建物用途		工事種別	新築 □増築 □改築		
規模	面積	建築面積	㎡	延床面積	㎡
	階数	地上	階・地下	階・塔屋	階
	高さ	最高高さ	m	最高軒高	m
増築予定	□有 ■無				
構造種別	鋼製内筒外集合連装 H=59.0m、RC外筒 H=57.5m				

適用範囲

本仕様書は特記事項のみ記載し、当該工事及び附帯工事に適用する。特記なき事項は、官房官庁営繕部監修『建築工事共通仕様書』（平成元年版）による。

【土工事・地業工事】

1. 土工事

		処分方法及び材料	備考
◎	現土処分	構内処分	
◎		構外搬出処分	
◎	埋戻し土	現切土の中の良質土	
◎		砂質土	
◎	盛り土	現切土の中の良質土	
◎		砂質土	

2. 砂利地業工事

A. 材料

1. 砂利は切込み砂利または砕石とし硬質なものとする。

3. 捨てコンクリート地業工事

コンクリートの種類	気乾単位容積重量 (t/㎥)	設計基準強度 (kg/cm²)	スランプ (cm)	水セメント比 (%)	空気量 (%)
◎ 普通コンクリート	2.3	150	18以下	65以下	4

4. 基礎スラブ工事

A. 地耐力及び支持地盤

長期設計地耐力度	20t/㎡		
支持地盤深さ	GL- 4.0 m	支持地盤土質名	（石砂 礫）

注記 支持地盤深さは現地の状況により変更することがある。

【鉄筋コンクリート工事】

1. 鉄筋工事

A. 材料

材種	呼び名	使用箇所	備考
◎ SD30A	D10～D16	全般	JIS G 3112 規格品
◎ SD35	D19～D25	全般	
SD40			
溶接金網			JIS G 3551 規格品

B. 継手

継手の種別	呼び名	使用箇所	備考
◎ 重ね継手	D10～D25	全般	40 dフックなし
ガス圧接継手			

ただし、主筋最頂部のみフックをつける。

注記 ガス圧接工はJIS Z 3881の有資格者とする。

C. バーサポート・スペーサー

1. バーサポート・スペーサーの種類は下記のものを使用する。

i) コンクリート製　ii) 鋼製
iii) プラスチック製　iv) ステンレス製

注記 プラスチック製は柱、梁、基礎梁、壁及び地下外壁のスペーサーに限る。

2. コンクリート工事

A. コンクリートはレデーミクストコンクリートとしJIS表示許可工場で製造したものとする。

B. コンクリートの種類・設計基準強度

コンクリートの種類		気乾単位容積重量 (t/㎥)	設計基準強度 (kg/cm²)	使用箇所
◎ 普通コンクリート		2.3	210	全般
特殊コンクリート種				

C. 材料

1. セメント

i) セメントはJIS R 5210に規定するポルトランドセメントとする。

2. 骨材

i) 普通コンクリート用骨材の最大寸法は砂利25mm、砕石を用いる場合は20mmとし、JIS A 5005の規格品とする。

ii) 人工軽量骨材の最大寸法は　mmとしJIS A 5002の規定に適合し、かつ建設省通達（住指発第769号）の認定を受けたものとする。

3. 練り混ぜ水

i) 水は油、酸、塩類、有機物、その他、コンクリート及び鋼材に影響を及ぼす物質を有害量含んでいてはならない。また塩化物は塩素イオンとして200ppm以下とする。

ii) 回収水を使用する場合は係員の承認を受ける。

4. 混和材料

i) 化学混和剤は、AE剤、減水剤、AE減水剤の中より適切なものを選定する。

ii) 上記 i) 以外の混和剤（　　）

D. 調合

1. スランプ・水セメント比・単位水量・単位セメント量・空気量

種類	スランプ (cm)	水セメント比 (%)	単位水量 (kg/㎥)	単位セメント量 (kg/㎥)	空気量 (%)
◎ 普通コンクリート	15以下	60以下	185以下	270以上	4
特殊コンクリート	31以下	60以下	185以下	300以上	5
土間コンクリート					

2. コンクリートに含まれる塩化物量は塩素イオン量として0.30kg/㎥以下とする。

【鉄骨工事】

1. 製作工場及び溶接工

A. 鉄骨製作工場は建設大臣認定工場とする。

B. 溶接工はJIS Z 3801及びJIS Z 3041の溶接技術検定試験に合格した有資格者とする。

2. 鉄骨工事

A. 材料

1. 鋼材

材種	使用箇所	備考
◎ SS41	全般	JIS G 3101 規格品
STK41		JIS G 3444 規格品
STKR41		JIS G 3466 規格品
◎ SSC41	デッキプレート受他	JIS G 3350 規格品
◎ SDP1T	頂部ステージ床	JIS G 3352 規格品
◎ SUS316L	内筒頂部他	
◎ SUS304		

2. ファスナ・スタッド及びその他

◎ 高力ボルト	JIS B 1186 規格品 (2種、ボルトF10T、ナットF10、座金F35)	
◎ 特殊高力ボルト	*JSS II 09 規格品 (ボルト S10T、ナットF10、座金 F35)	
ボルト・ナット座金	JIS B 1180、JIS B 1181、JIS B 1256 規格品	
スタッド	JIS B 1198 規格品	
ターンバックル	JIS B 5540、JIS B 5541、JIS B 5542 規格品	
◎ アンカーボルト	SS41	

注記 1. *日本鋼構造協会規格。

3. 溶接材料

溶接アーク溶接棒・ワイヤ		使用箇所	備考
◎ 被覆アーク溶接棒	D4301	全般	JIS Z 3211 規格品
高張力鋼用被覆アーク溶接棒	D5016		JIS Z 3212 規格品
◎ 被覆及び高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ	YGW11	全般	JIS Z 3312 規格品

B. 防せい処理

1. さび止め塗装 （内筒除く）

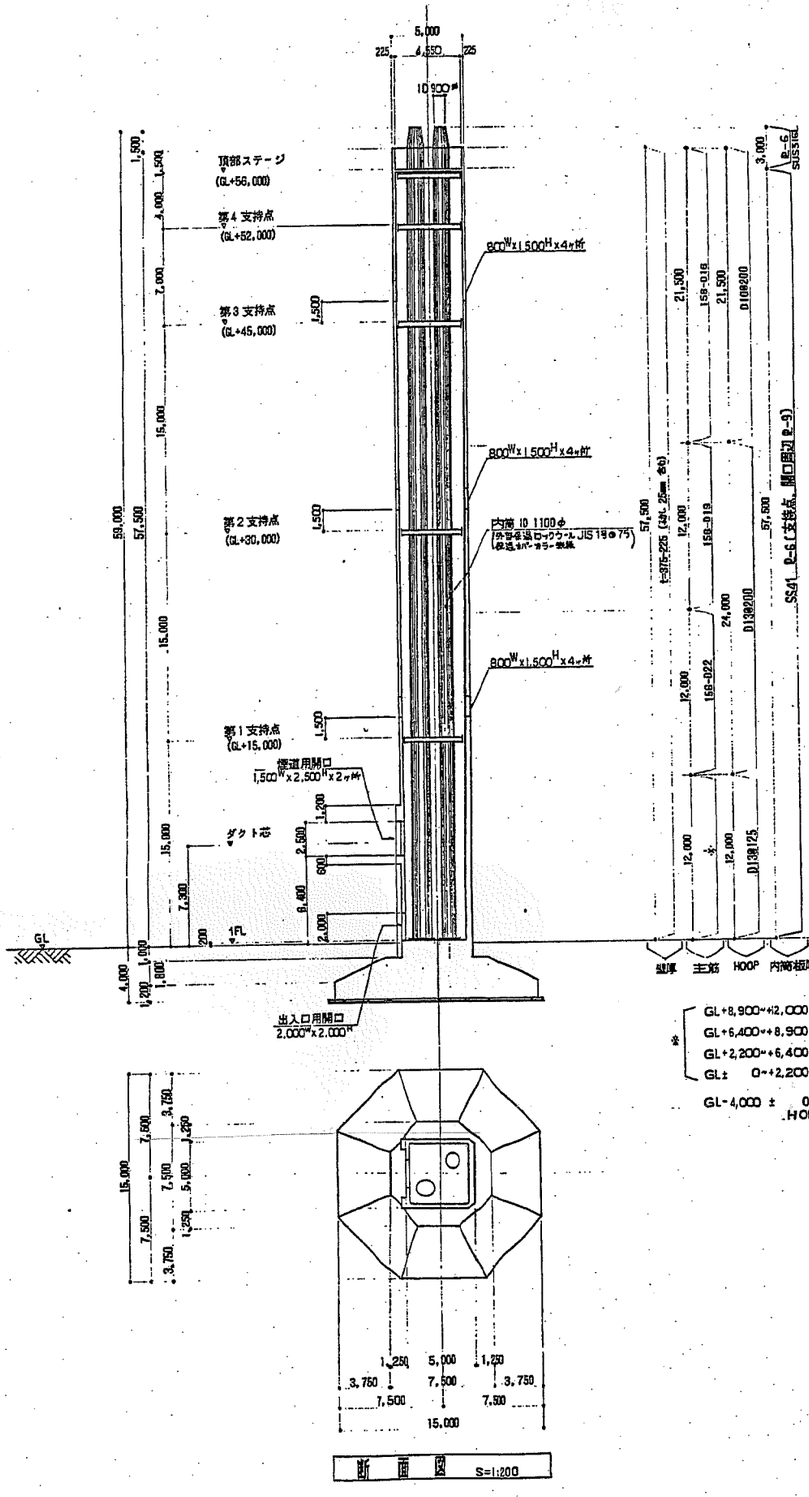
	塗装箇所	素地調整	ペイントの種類	塗り回数
◎ 工場塗装	全般	C H	JIS K5622	2
◎ 工事現場塗装	継手部	C H	JIS K5622	2

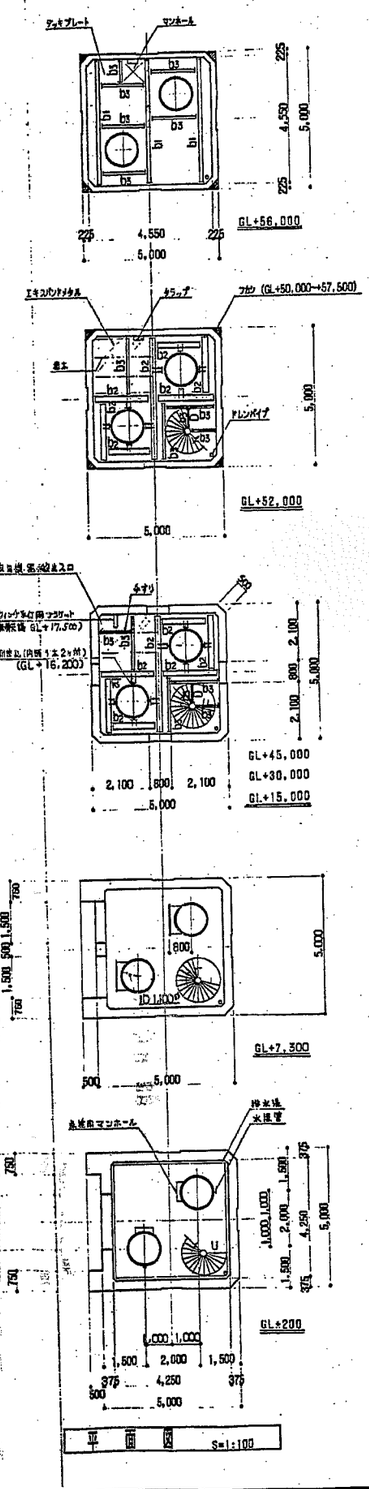
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	鹿原		
照査	御厨	図面名称	煙突 構造仕様書
設計	原		
製図	渡辺		
設計部署		尺度	—
		縮尺	角地
		図面番号	C-6
		出図年月日	
		整理番号	

日本鋼管株式会社 鋼造部土木事務所 東京都知事登録第2908号
1 株式会社 第51611号 小林建也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

NKK 日本鋼管株式会社

記号	記事	署名	年月日
12号 △			





部材リスト

符号	部材	備考
b1	H-248×124×5×8	G.L.-6 H.T.B. 3-M16
b2	H-194×150×6×9	G.L.-6 H.T.B. 2-M20
b3	H-150×75×5×7	G.L.-6 H.T.B. 2-M16
デッキプレート	V-50@1.6	頂部ステージ
エキスパンドメタル	XG-22	各支持点
根太	L-65×85×6@600	各支持点床受
頂部ステージ床	防水押えコンクリート 50-150 シート防水 ワイヤーメッシュ 6φ@150 スポット溶接 φ角210 デッキプレート V-50@1.6	

工事番号			
承認	小林		
照査	勝原		
照査	御厨		
設計	原		
製図	青木		
設計部署			

発注文先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 煙突 構造一般図

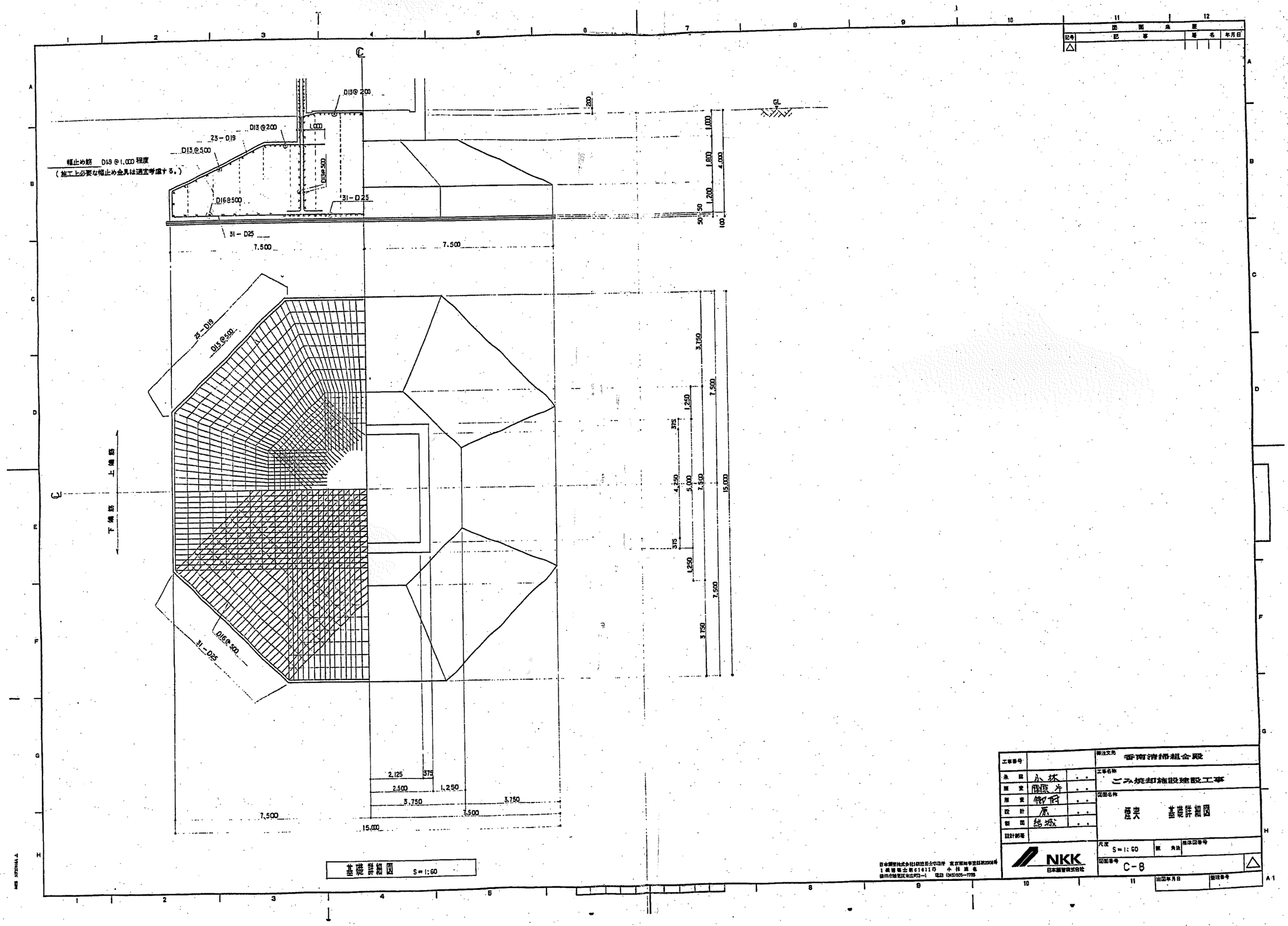
尺度 | 製 | 角法 | 標準図番号

図面番号 C-7

出図年月日 | 受注番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 技1部技術企画室 東京都知事登録第2506号
1 鉄鋼事業本部 技1部1グループ 小林 浩 幸
横浜市鶴見区末広町2-1 TEL (045)505-7725

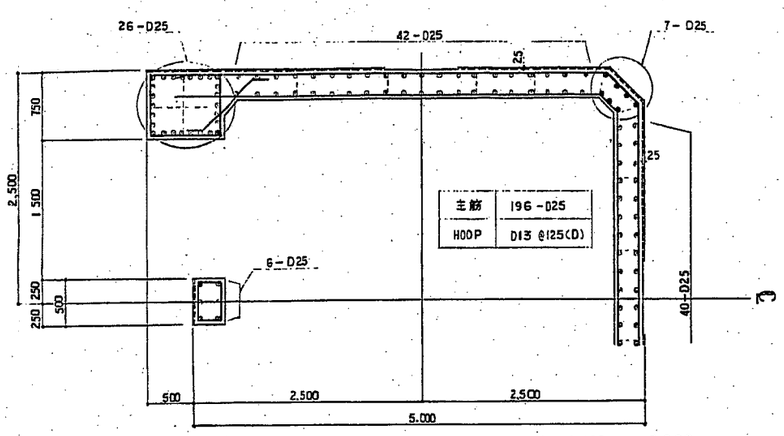


工事番号		
承認	小林	
原案	鷹原片	
原案	御府	
設計	原	
製図	結城	
設計部署		

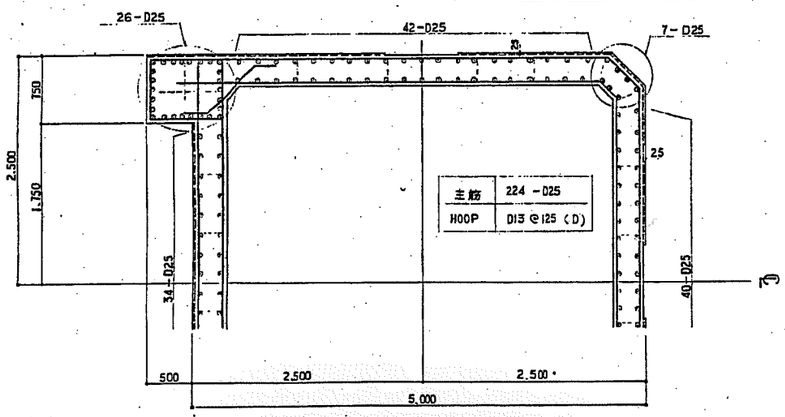
開注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	煙突 基礎詳細図
尺度	S＝1:60
図面番号	C－8
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

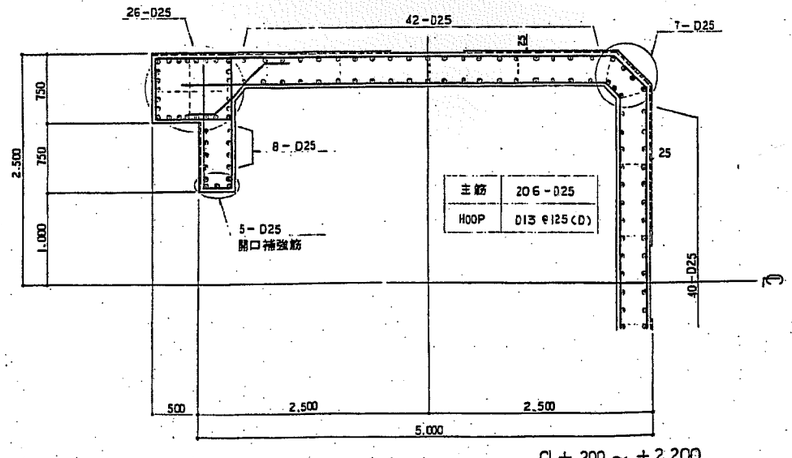
日本鋼管株式会社 鋼造図士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林通也
横浜市鶴見区末広町2－1 電話 (045)505－7725



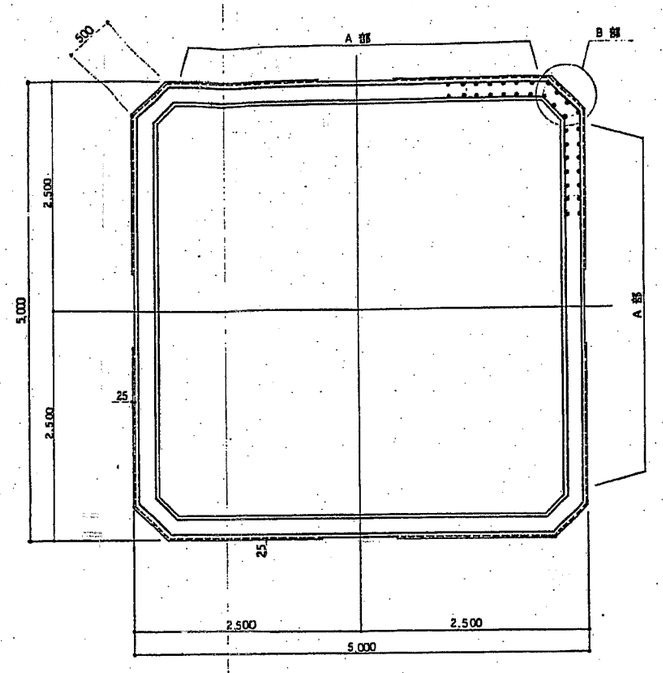
GL+6.400 ~ +8.900

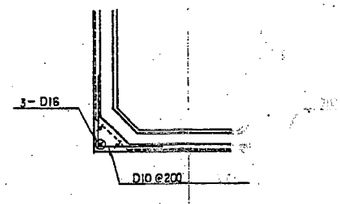


GL+2.200 ~ +6.400



GL+ 200 ~ +2.200





フカシ部分配筋要領
(GL+50.000 ~)+57.500)

レベル	主筋			HOOP
	A 部	B 部	合 計	
GL+36.000 ~ +57.500	32-D16	7-D16	156-D16	D10 @200 (D)
GL+24.000 ~ +36.000	32-D19	7-D19	156-D19	D13 @200 (D)
GL+12.000 ~ +24.000	32-D22	7-D22	156-D22	D13 @200 (D)
GL+ 8.900 ~ +12.000	40-D25	7-D25	188-D25	D13 @125 (D)

一般部

平面配筋詳細図 S=1:50

図面来歴			
記号	記事	承認	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
担当	服部
担当	御厨
設計	原
製図	結城
設計部等	

発注文先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 煙突 外筒配筋詳細図

尺度 S=1:30 製角法

図面番号 C-9

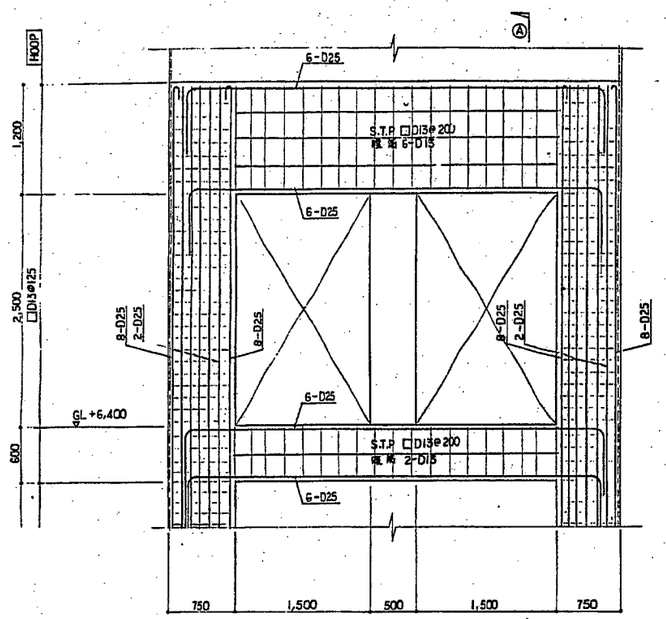
標準図番号

出図年月日

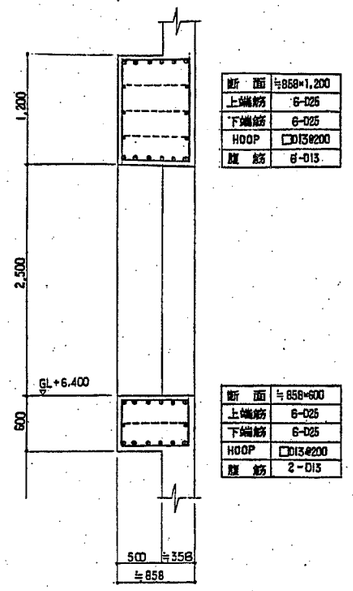
整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社設計本部 東京都加東郡加東3306号
1 鉄道管 古賀 41611号 小林 進 電話 (0478)55-7725
(特許情報処理対応PTO-1)



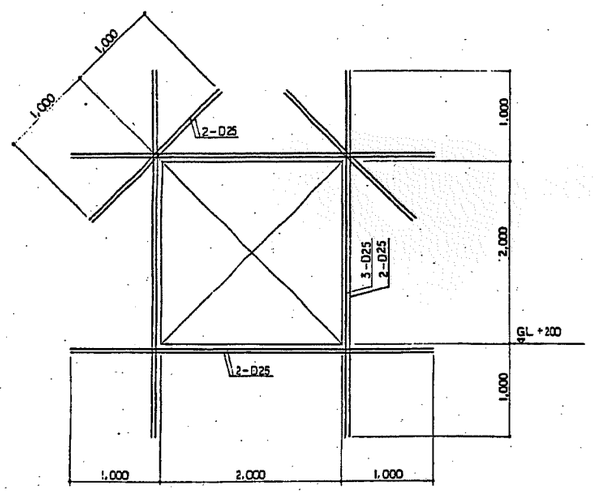
断面開口部補強要領 S=1:30



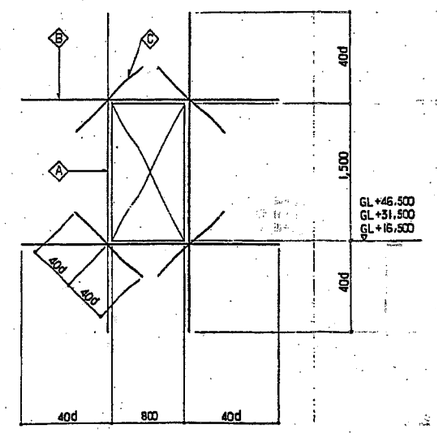
断面	≒858×1,200
上端筋	6-D25
下端筋	6-D25
HOOP	□D13@200
腹筋	6-D13

断面	≒858×600
上端筋	6-D25
下端筋	6-D25
HOOP	□D13@200
腹筋	2-D13

Ⓐ~Ⓐ SECTION



出入口開口部補強要領 S=1:30



位置	縦筋A	横筋B	斜筋C
GL+46,500	2-D16	2-D16	2-D16
GL+31,500	2-D19	2-D19	2-D19
GL+16,500	2-D22	2-D22	2-D22

換気開口部補強要領 S=1:30

図面集要			
記号	記事	確認	年月日
△			

工事番号	
本部	小林
施工	關原
施工	御厨
設計	原
製図	吾木
設計部署	

発注文先: 香南清掃組合殿

工事名称: ごみ焼却施設建設工事

図面名称: 煙突 開口部補強要領

尺度: S=1:30 | 第 角法 | 標準図番号

図面番号: C-10 △

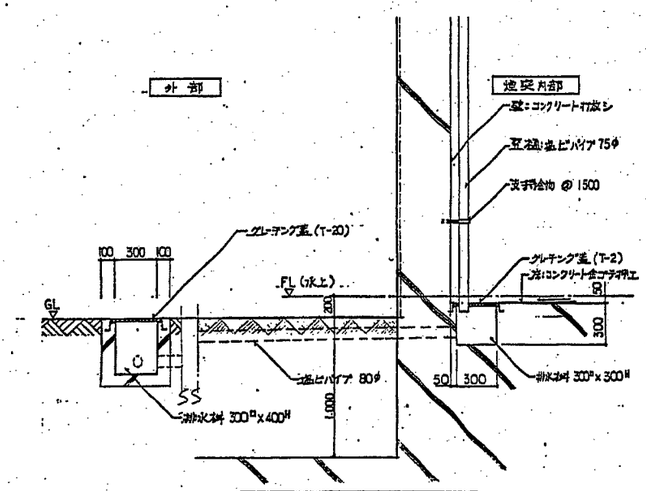
出図年月日 | 整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社技術研究所上席研究員 東京都立大学非常勤講師 工学博士
小林 繁夫
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045) 505-7725

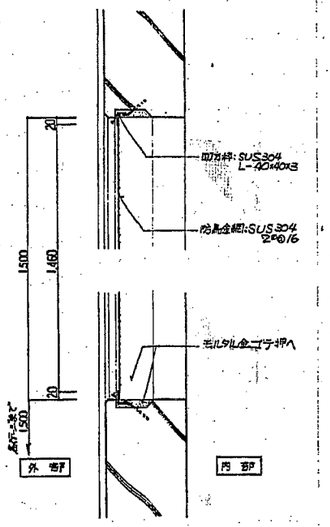
記号	記事	承	名	年月日
1				

ED - 101　排水桝部 断面詳細図

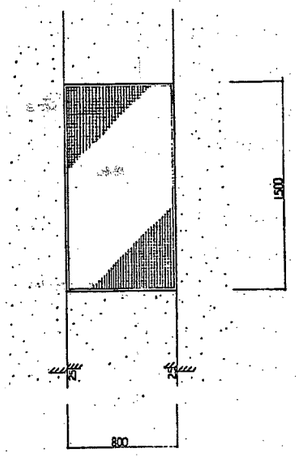


排水桝部 断面詳細図　1:20

ED - 102　地災 開口部　防鳥金網部 詳細図

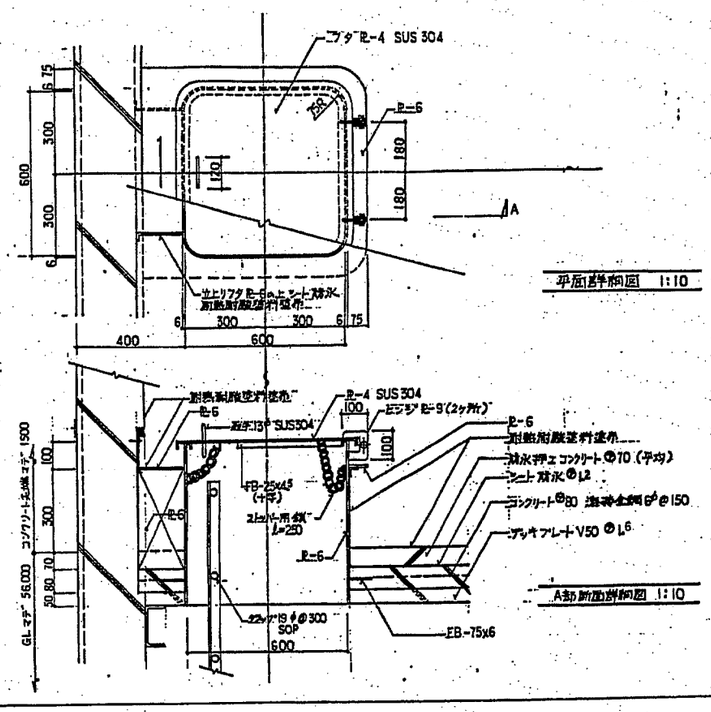


断面詳細図　1/10

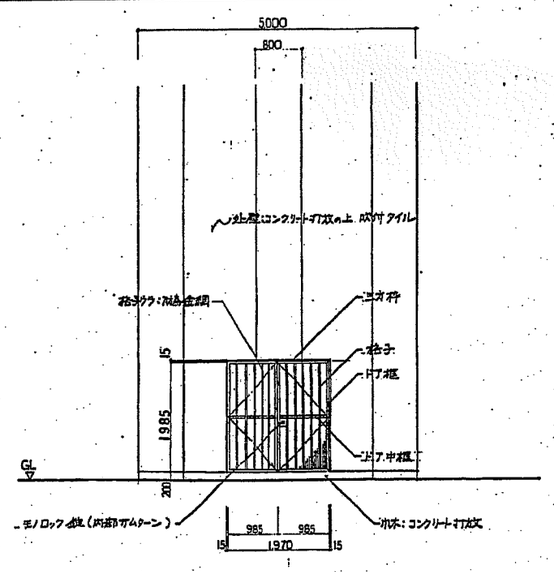


立面図　1/20

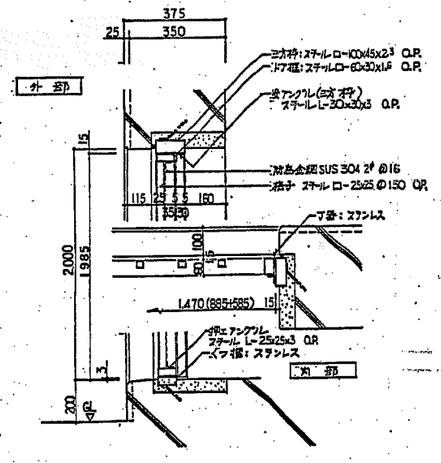
ED - 103　頂部踊場マンホール詳細図



ED - 104　足具詳細図 (G.L甲分)

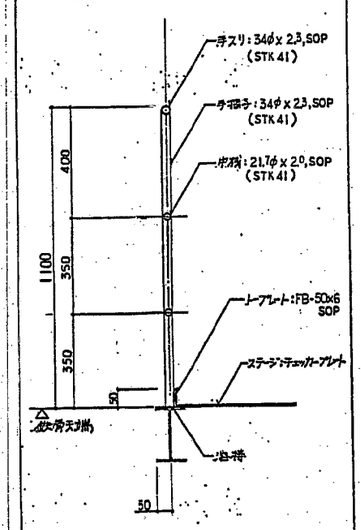


平面　1:50



断面詳細図　1:10

ED - 105　ナスリ詳細図



断面詳細図　1:10

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	勝原	図面名称	足具、雑詳細図
検査	御厨		
設計	原		
製図	香本		
設計業者		尺度	1/10. 1/20. 1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	C-11
		出図年月日	

日本鋼管エンジニアリング株式会社 東京都港区芝浦四丁目12番1号 電話 (03)5476-7725

記号	記事	署名	年月日
△			

溶接標準図

1.適用範囲

1.本標準図は、日本建築学会「鉄骨工事技術指針・同解説」に従い、接合部の工場溶接を行なう場合に適用する。ただし、溶接方法について特に設計図において指示する場合はこの限りでない。

2.使用鋼種、板厚に関して、上記学会規準の適用範囲を越える場合の溶接方法は設計者の指示による。

2.注 記

1.開先加工の許容差、溶接精度は、下記によるほか日本建築学会「鉄骨工事精度標準・同解説」による。

(1)ルート間隔　裏はつりの場合0～G±0　裏あて金の場合G^{+3mm}_{-0}

(2)ルート面　R≦3mmの場合±1mm　R>3mmの場合±2mm

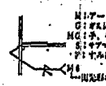
(3)開先角度　$\alpha^{+5°}_{-0°}$

2.ノンガスシールドアーク半自動溶接の溶接形状はアーク手溶接に準ずる。

3.上記のほか、下記特記事項1～7に従う。

3.本図の見方

一般の鉄骨詳細図に溶接記号の入っていない場合は、本図の溶接記号による。



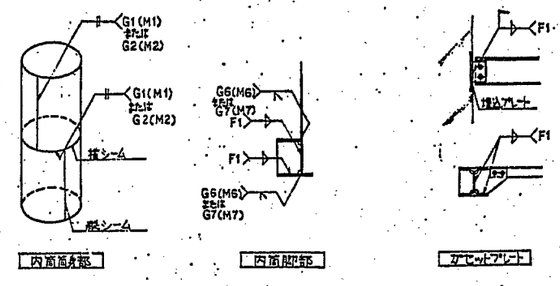
M1:アーク手溶接
G1:ガスシールドアーク半自動溶接
MG1:手、半自動共通
S1:サブマージアーク自動溶接
F1:すみ肉溶接
M6:開先形状図の記号を示す。

特記事項

1 余盛	2 補強すみ肉溶接	3 裏あて金、裏あて材	4 エンドタブ	5 スカラップ	6 不等厚部材の継手	7 端端部補強プレート(C.R.)
突合せ溶接	T継手・角継手				$T_1-T_2\leqq4$の場合	
板厚	f(mm)				$T_1-T_2>4$の場合	
T≦4	1mm					
4<T≦12	2					
12<T≦20	3					
20<T	4					
すみ肉溶接						
f=(0.1S+1)以下	S=T/4かつ10mm以下	T≦16　t=6 T>16　t=9 材質：母材と同一 寸法：t×25	1.面倒寸法：自動溶接の場合は50以上とする。 2.溶接終了後、除去して仕上げる事を原則とする。	特記なき限り、上記による		

B	b	T	t	d	R	b	T	t	d
125	75								
150	100								
175	100								
200	100								
250	150								
300	200								

接合部標準図



注記

1.面身部の縦シーム部の溶接にきっては、始終端に同一板厚、開先のエンドタブを設ける。裏には50mm以上とし、溶接後切断する。

2.突合せ溶接は、裏はつりを原則とするが、困難な部分については、裏あて金を使用する。

開先形状図

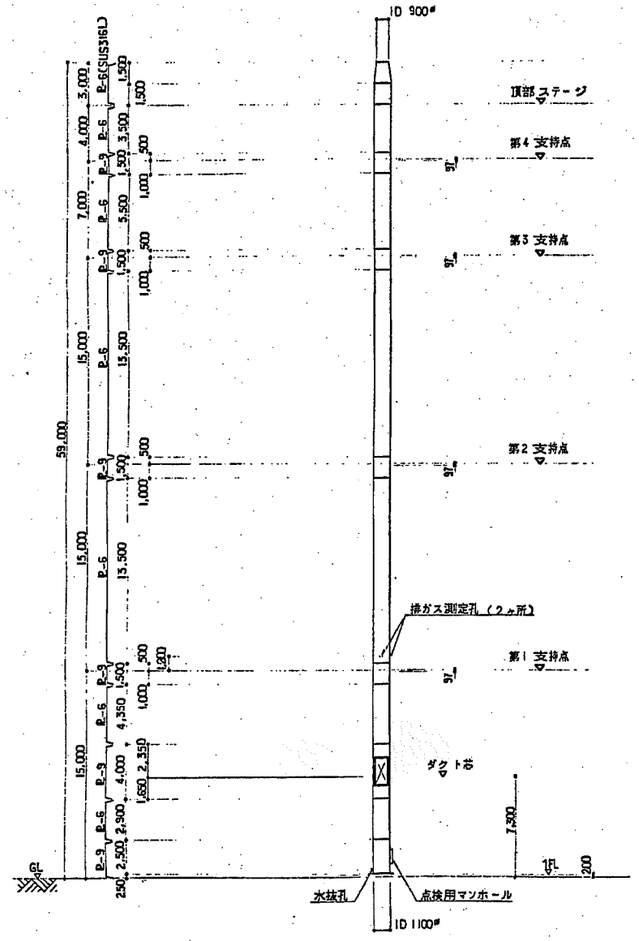
突合せ溶接（突合せ継手・T継手・角継手）

	アーク手溶接				ガスシールドアーク半自動溶接　（ ）内は溶接姿勢V：立向、O：上向の場合を示す。			
記号	M1				G1			
板厚	T≦6				T≦6			
形状	$G=\frac{T+3}{2}-0$ 裏はつり				$G=\frac{T+3}{2}-0$ 裏はつり			
記号	M2	M4	M6	M8	G2	G4	G6	G8
板厚	6<T≦20	6<T≦12	6≦T≦20	6≦T≦20	6<T≦20	6<T≦16	6≦T≦20	6≦T≦20
形状	45° 0～2 裏はつり	45° 6	45° 0～2 裏はつり	45° 0～2 裏はつり	55°(45°) 0～2 裏はつり	45° 6	55°(45°) 0～2 裏はつり	55°(45°) 0～2 裏はつり
記号	M2	M4	M6	M8	G2	G4	G6	G8
板厚	20<T	12<T	20<T	20<T	20<T	16<T	20<T	20<T
形状	$D_1=\frac{1}{2}(T-2)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-2)$ 45° 0～2 裏はつり	35° 9	$D_1=\frac{1}{2}(T-2)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-2)$ 45° 0～2 裏はつり	$D_1=\frac{1}{2}(T-2)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-2)$ 45° 0～2 裏はつり	$D_1=\frac{1}{2}(T-R)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-R)$ 55°(45°) R=3(2) 0～2 裏はつり	35° 9	$D_1=\frac{1}{2}(T-R)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-R)$ 55°(45°) R=3(2) 0～2 裏はつり	R=3(2) $D_1=\frac{1}{2}(T-R)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-R)$ 55°(45°) 0～2 裏はつり
記号	M3	M5	M7	M9	G3	G5	G7	G9
板厚	6<T≦16	6<T≦12	6≦T≦12	6≦T≦12	6<T≦16	6<T≦16	6≦T≦16	6≦T≦16
形状	60° 0～2 裏はつり	45° 6	45° 6	45° 6	60° 0～2 裏はつり	45° 6	45° 6	45° 6
記号	M3	M5	M7	M9	G3	G5	G7	G9
板厚	16<T	12<T	12<T	12<T	16<T	16<T	16<T	16<T
形状	$D_1=\frac{1}{2}(T-2)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-2)$ 60° 0～2 裏はつり	35° 9	35° 9	35° 9	$D_1=\frac{1}{2}(T-R)$ $D_2=\frac{1}{2}(T-R)$ 60° R=3(2) 0～2 裏はつり	35° 9	35° 9	35° 9

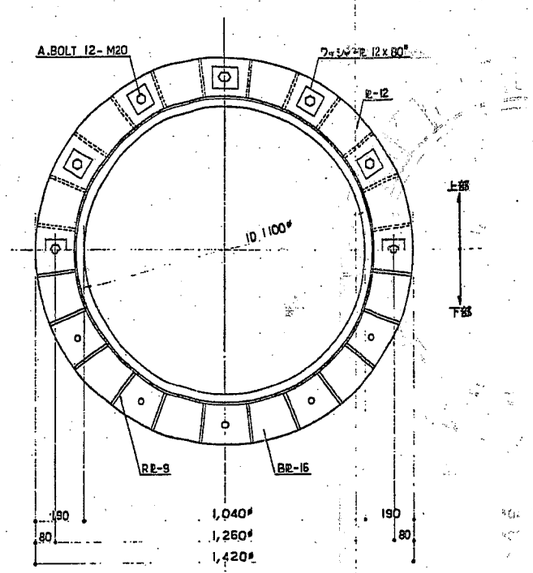
すみ肉溶接

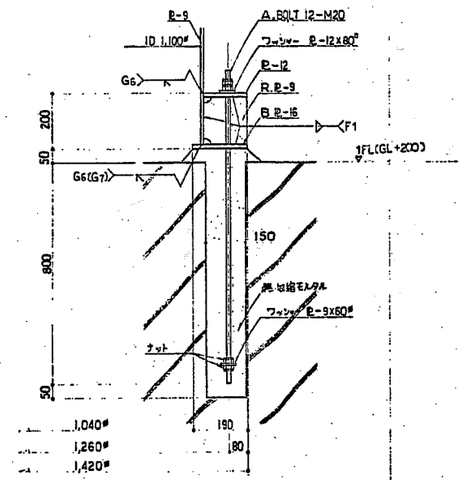
	手、半自動、自動共通		
F1	F1	F3	
	T≦12	6≦T	
	T_1 <6 ≦9 ≦12 S 4 6 9	$T_1\leqq T_2$ $S\geqq0.75T_1$	
F1	F1	F4	
	12<T	6≦T	
	T_1 ≦16 ≦22 ≦25 S_1 6 7 8 S_2 6 7 8	$T_1\leqq T_2$ 45°以上 $S=T_1$	
F1	F1	F5	
	12<T	フレア溶接	
	T_1 S_1 S_2		
F2	F2	F6	
	T≦12	フレア溶接	
	$T_1\leqq T_2$ サイズSはF1に準ずる	$S=0.4D$	

工事番号		関連文先　香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称　ごみ焼却施設建設工事
調査	鹿井	
調査	御厨	図面名称　煙突　溶接標準図
設計	原	
製図	青木	
設計部署		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 ―― 新角法　標準図番号
		図面番号 C-12 △
		出図年月日　整理番号

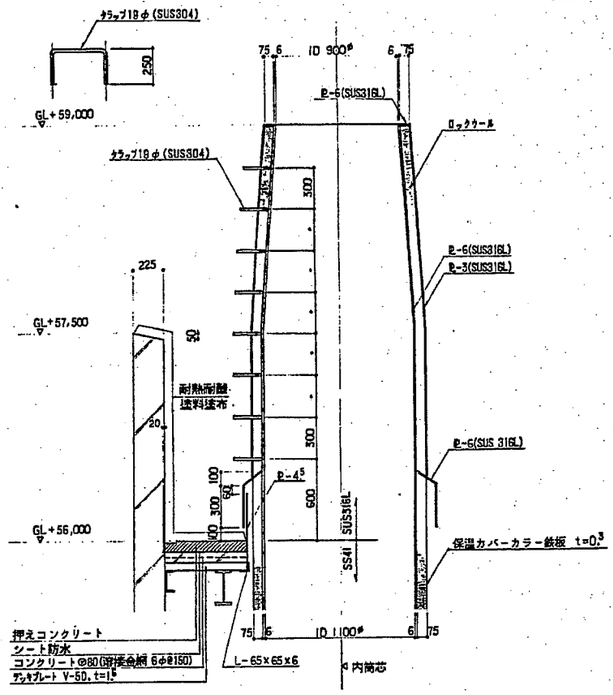


内筒一般図 S=1:200

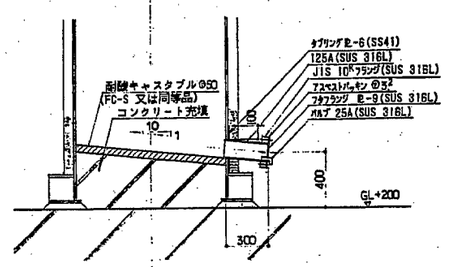




内筒脚部詳細図 S=1:10



頂部まわり詳細図 S=1:20



水抜孔詳細図 S=1:20

工事番号		
承認	小林	・・
監査	脇屋	・・
照査	御厨	・・
設計	原	・・
製図	青木	・・
設計部署		

発注文先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 歴史
内筒一般図，頂部・脚部詳細図

尺度 S=1:10 B=1:20 製図 角法

標準図番号

図面番号 C-13

出図年月日

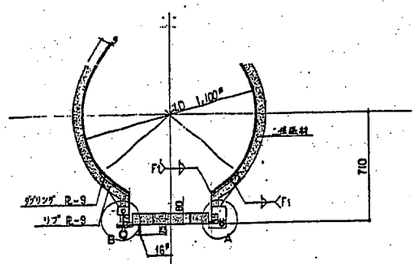
整理番号

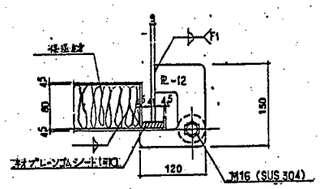
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 鉄構技術センター 東京都港区芝浦1-2-1 〒108 (03)505-7777

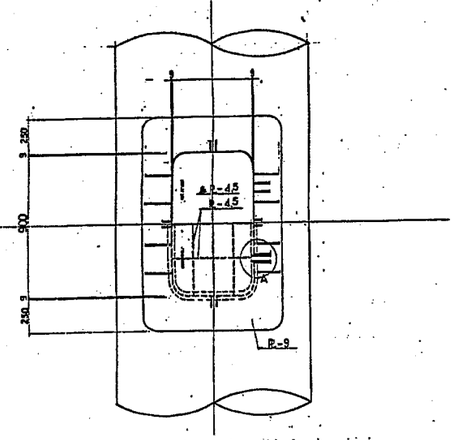
記号	記事	署名	年月日
△			

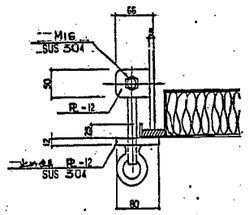
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



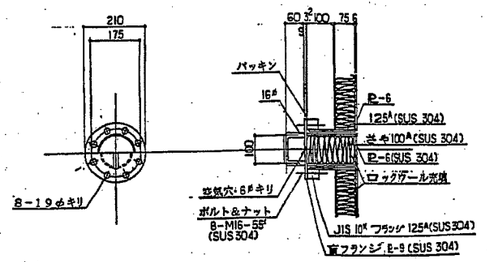


A 部 詳細図 S=1:5





B 部 詳細図 S=1:5

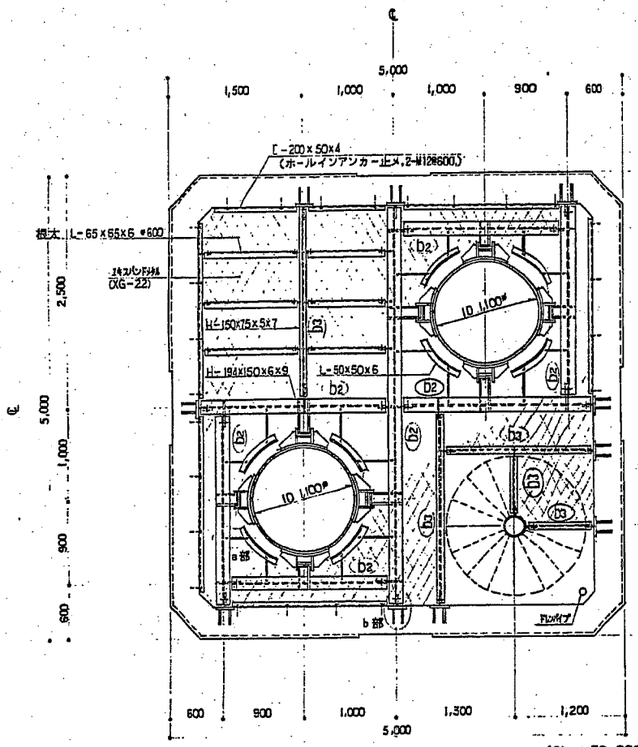


排ガス測定孔詳細図

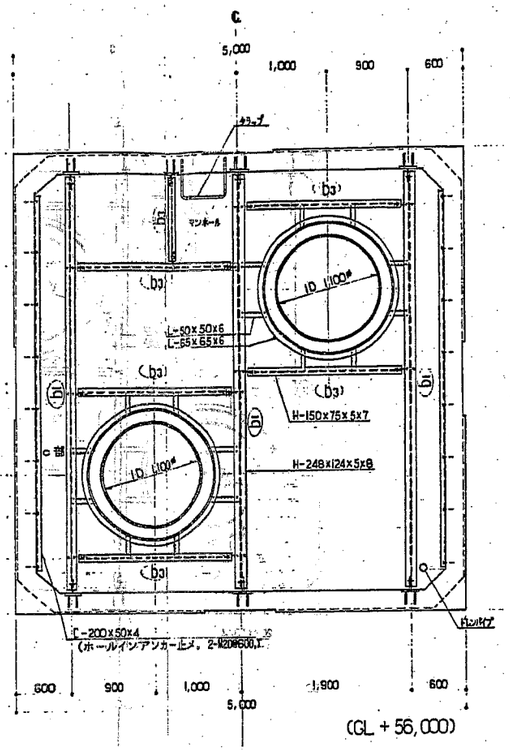
工事番号		関連文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
審査	関原	図面名称	煙突 内筒詳細図
原室	御厨		
設計	原		
製図	青木		
設計部署		尺度	S=1:5, S=1:10 S=1:20
		図面番号	C-14
		標準図番号	
		出図年月日	
		管理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

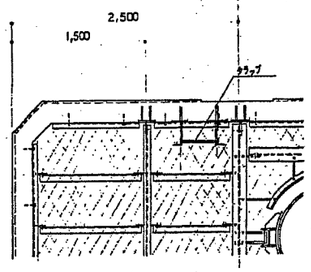
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



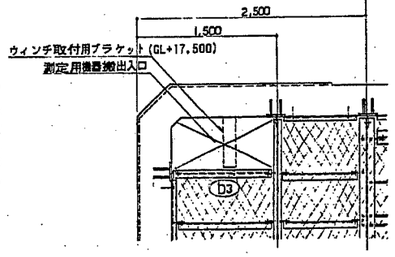
(GL+30,000, 45,000)



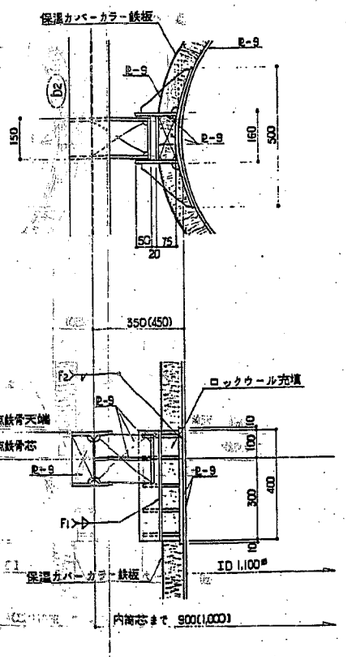
(GL+56,000)



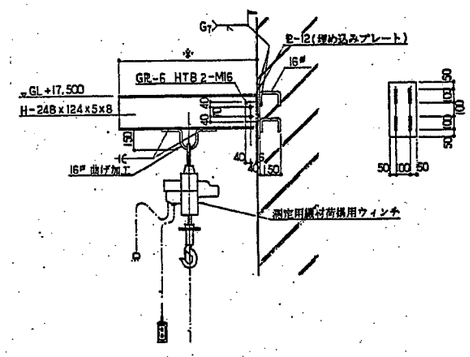
(GL+52,000)



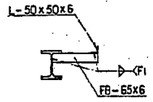
(GL+15,000)



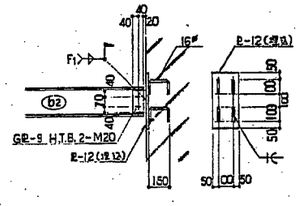
支持点ボツバ詳細図 S=1:10



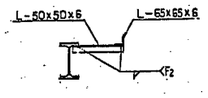
ウインチ取付用ブラケット詳細図 S=1:20



a部詳細図 S=1:20



b部詳細図 S=1:20



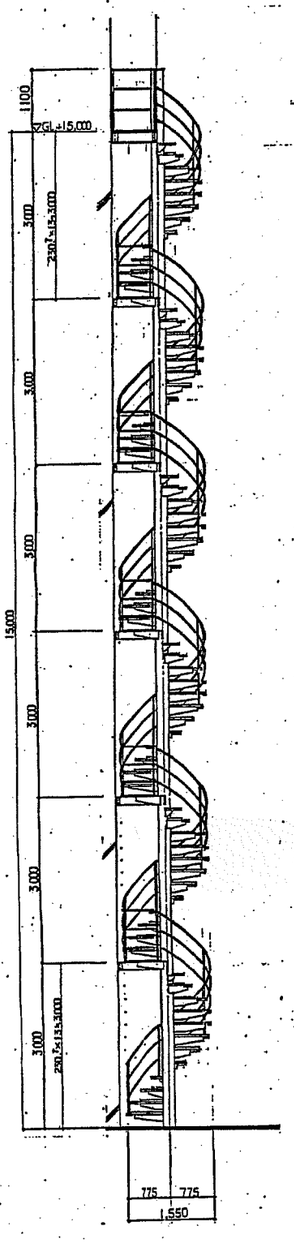
c部詳細図 S=1:20

工事番号		
承認	小林	・・
照査	櫻井	・・
照査	御厨	・・
設計	原	・・
製図	青木	・・
設計部署		

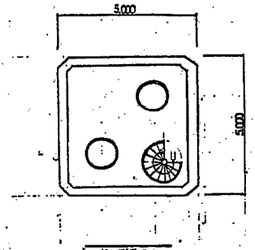
NKK 日本鋼管株式会社

発注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	煙突 頂部ステージ・支持点詳細図
尺度	S=1:10 S=1:20 S=1:30
第 角法	
図面番号	C-15
標準図番号	
出図年月日	
整理番号	

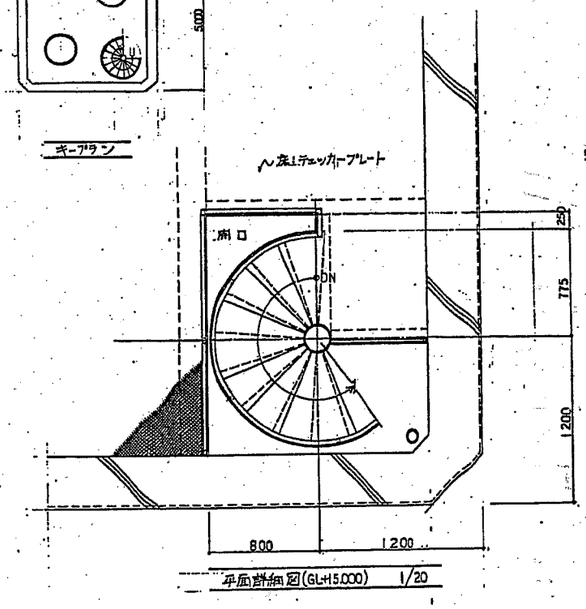
記号	記事	署名	年月日
△			



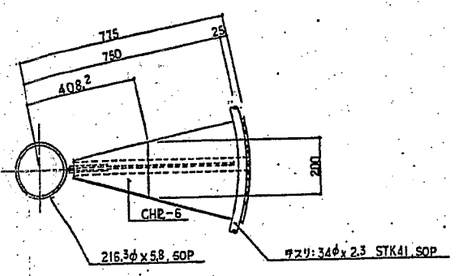
姿図 1/50



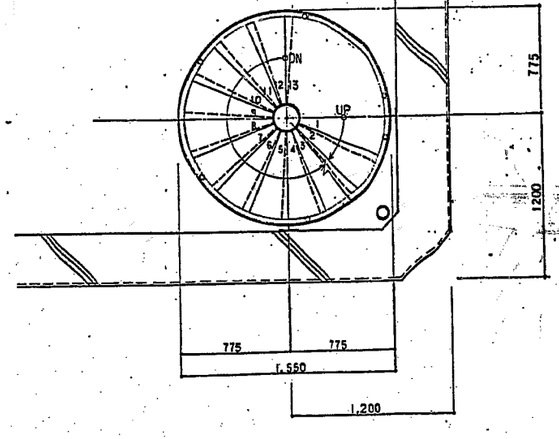
ギープラン



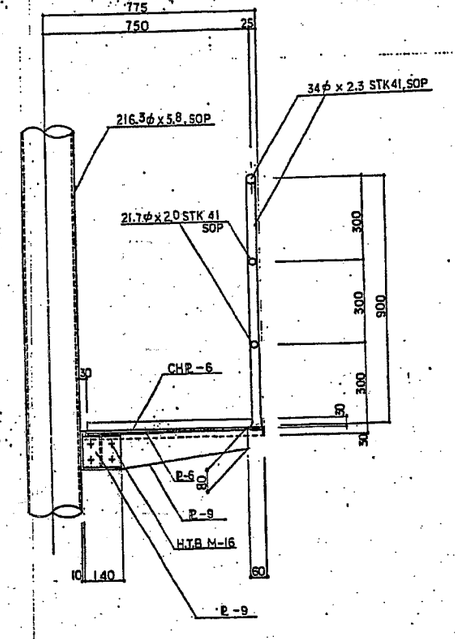
平面詳細図(GL+5,000) 1/20



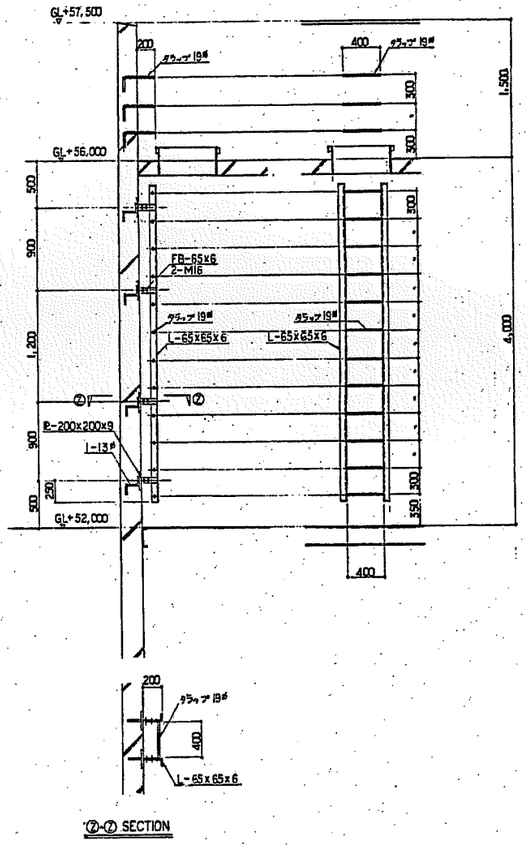
踏板詳細図 1/10



平面詳細図(一般部分) 1/20



断面詳細図 1/10



②-② SECTION

タラップ詳細図 1/30

工事番号		発注先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	脇屋	図面名称	煙突 螺旋階段詳細図 タラップ詳細図
担当	御前		
設計	原		
製図	高木		
設計部署		尺度	1/10, 1/20, 1/30, 1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	C-16
		出図年月日	

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

①. 工事名称 香南清掃組合ごみ焼却施設建設工事

② 工事場所 高知県南国市岩村、下末松

③. 建物概要 (● 印を付けたものを適用する。)

1. 建物用途 ごみ焼却場
2. 構 造 ●RC・○SRC・○その他
3. 階 数 ○地下[ ]階・●地上[6]階・○塔屋[ ]階
4. 面 積 ●延床面積[3929] m^2
5. 法的区分 ●消防法[15]項-[ ]
6. 工 期 ○自 平成[ ]年[ ]月～至 平成[ ]年[ ]月
7. 備 考

④ 工事種目 ([ ]内に数字を付したもの及び●印を付したものを適用する。)

[ ] 電気設備工事

[ ]	高圧引込	設備工事
[ ]	受変電	設備工事
[ ]	発電機	設備工事
[ ]	蓄電池	設備工事
[●]	幹線動力	設備工事
[●]	電灯コンセント	設備工事
[●]	電話配管	設備工事
[●]	電話	設備工事
[●]	放送	設備工事
[●]	インターホン	設備工事
[ ]	ナースコール	設備工事
[●]	テレビ共聴	設備工事
[ ]	電気時計	設備工事
[ ]	出退表示	設備工事
[●]	警備保障	設備工事
[ ]	車路管制	設備工事
[●]	自動火災報知	設備工事
[ ]	非常警報	設備工事
[●]	防火戸自閉	設備工事
[●]	避雷針	設備工事
[ ]	集中検針	設備工事
[ ]		設備工事
[ ]		設備工事
[ ]		設備工事
[ ]		設備工事
[ ]		設備工事
[ ]	引込負担金	(3)以に対する電力会社等の負担金)
[ ]	電波障害対策工事	

2. 共通仕様

①. 共通仕様 (●印を付したものを適用する。)

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書(最新版)」による。(以下、「共通仕様書」とよぶ。)ただし、機器はメーカー標準品とする。

2. 本仕様中、監督員は監理技師または代理者をいう。

3. 本工事は特記仕様書、設計図に従い、電気設備技術基準、内線規定、高圧受電設備指針(日本電気協会編)、建築基準法、消防法その他関係官公庁の規程を遵守して施工すること。また必要な届出、手続等は請負者がこれを代行する。これに要する費用はすべて請負者の負担とする。

4. 設計図書の記載内容に相違ある場合、または疑義を生じた場合は監督員と協議のうえこれを決する。また現場のおもむき、取合等の関係で機器および材料の取付位置、または取付工法を多少変える等の軽微な変更は監督員の指示による。この場合請負金額は増減しない。

5. 機器および材料は指定メーカーリストに記載のある中より決定する。
品質形状について日本工業規格、その他の規格に定めがあるときは、これらの規格による。

6. 現場代理人は着工に先立ち建築関係者および他の工事関係者と充分打合せのうえ、工程表および施工計画書を作成し監督員に提出し承認を受ける。

7. 工事施工上必要な製作図、現場取付図、その他施工図等はあらかじめ監督員の承認を受ける。機器および材料のうち、特に必要と認めたものは製作工場等において検査および試験を行い、その試験成績表を提出する。

8. 工事の進捗、作業者の就業、機器および材料の搬入、天候などの状況を示す報告書を監督員に提出する。

9. 工事が完了した時は、仮設物を取払い残材料の除片付をし、清掃を行う。

10. 工事完了後、各設備の機能その他の試験を行い、その試験成績表を提出する。またこの工事は、関係官公庁ならびに電力会社の行う検査および試験に合格することとする。

11. 工事施工引渡しの際は次のものを監督員の指示に基づき取り揃え提出する。

○	竣工図	原図 1 部	
		青図(複写紙) 3 部	(指定製本)
		マイクロフィルム	○不要 ○要
○	工事に関する許認可関係書類	[3]	部
○	予備品、付属品および明細書	[3]	部
○	主要機器製作図、取扱説明書	[3]	部
○	各種試験成績表	[3]	部
○	工程写真および完成写真	[2]	部
○	機器保証書	[1]	部

②. 共通事項 (○印を付したものを適用する。)

1. 技術士の適用 ●電気工事士 ○ 電気工事技術者
2. 仮設事務所の支給 ●する ○ しない
3. 工事用電力、用水の支給 ●する ○ しない
4. 残土処分 ○構内敷ならし ○構内指定場所に小運搬 ○構外搬出運切処理
5. 埋戻し土、盛土 ○根切り土の中の良質土 ●山砂
6. 発生材の処理 [3]引き渡しを要するもの ●なし ○あり[ ]
7. 製作図、施工図 主要機材の製作図または施工図は監督員の指示する時期に提出する。
8. 工事写真 監督員の指示による。
9. 保守指導 竣工時に取扱説明書を作成し保守点検に関しての説明会を実施する。
10. 総合試運転およびその費用 ●本工事 ○別途
11. 測定表 下記の測定表を提出する[測定箇所等は監督員の指示による]

●絶縁抵抗結果[ ]
○耐圧試験結果[ ]
●照度測定結果[ ]
○
○

12. 耐震 次に掲げる事項以外は、全て建築設備耐震設計指針(建設省住宅局建築指導課監修最新版)による。

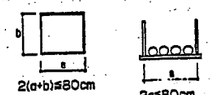
① 設計用水平地震力
[地域係数] ○1.0 ○0.9
[設計用標準震度] ○最上階、屋上、塔屋 ●1.0 ○1.5
○ 同上 防振機器 ●2.0
○ 2階床以上 ●0.6 ○1.0
○ 同上 防振機器 ●1.3
○ 地階、及び1階 ●0.4 ○0.6

② 設計用鉛直地震力 [設計用水平地震力]×1/2

③ 横引配管等(電気配線)の耐震支持

● 最上階、屋上、塔屋 電気配線支持間隔約2mごとに1箇所 (● B種 ○ A種)を設ける
● 2階以上 建築の施工法による。
● 地階、及び1階 建築の施工法による。

但し、下記の場合は上記の適用を除外する。
1) 82m以下の単独電線管
2) 周長80cm以下の金属ダクト及び集合電気配線(下図)



3) 定格電流 600A以下のバスダクト
4) 吊材長さが平均30cm以下の電気配線

13. はつり
鉄筋コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。但し監督員の指示を受ける事。

14. 他工事との取り合い
スリーブ、箱入れその他他工事との取り合いは、別表によるものとし、施工に支障を来たさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せる。

15. 打込み配管
原則として、床上スラブ及び外壁コンクリート内の打込み配管は行わない。

16. その他

3. 工事区分表

○ 躯体関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. RC造の梁・壁・床貫通スリーブ及び箱入れ	○	●	○	○	
2. S造・SRC造の鉄骨貫通スリーブ入れ	●	●	○	○	
3. 床上、孔うめ・補修(防火区画貫通部含む)	○	●	○	○	
4. 地中部の人孔・連運管・通気管スリーブ入れ	●	○	○	○	
5. 構造躯体図による貫通補強	●	○	○	○	
6. 屋上PS立上り部分の架設	○	○	○	○	

○ 電気機器基礎関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. キュービクル(コンクリート基礎)	○	○	○	○	
2. 発電機(コンクリート基礎)	○	○	○	○	
3. 盤類(コンクリート基礎)	○	●	○	○	
4. 機械室・電気室の躯体コンクリート床仕上	○	○	○	○	
5. 機械室・電気室の床排水溝・溝蓋	○	○	○	○	
6. 重量機器スラブ下補強	○	○	●	○	
7. 防振基礎	○	○	○	○	

○ 建具関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 外壁取付ガラリ	●	○	○	○	
2. 自動扉	●	○	○	○	
3. 電動シャッター	●	○	○	○	
4. 2,3の1次側配線/電流/2次側配線/スイッチボックス取付	○	○	○	○	
5. 可動防煙垂れ壁	●	○	○	○	
6. 煙感知器連動防火戸/防煙シャッター	○	●	○	○	
7. 煙感知器連動の機械出口	●	○	○	○	
8. 個別壁・制御盤・2次側配線・配管	○	○	○	○	
9. 5,6,7の1次側配線配管・防災盤接続電源	○	●	○	○	
	○	○	○	○	

○ 仕上関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 石・タイル・金属・ガラス・プラスチックの孔明け補修	●	○	○	○	
2. 天井切込・下地補強	●	●	○	○	
3. 天井付器具の取付用材料	○	●	○	○	
4. 点検口 (床・壁・天井)	●	○	○	○	
5. 電気室の吸音・遮音・断熱	○	○	○	○	
6. 化粧マンホール	○	●	○	○	
	○	○	○	○	

○ 電気設備関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 電気室床配線用トレンチ・ピット及び蓋	○	○	○	○	
2. 監視盤事用の配線ピット・蓋	○	○	○	○	
3. 発電機用冷却水槽の発電室外の給排水設備	○	○	○	○	
4. 発電機用冷却水槽の仕上・防得	○	○	○	○	
5. 発電機用・排気管工事	○	○	○	○	
6. 発電機用・給油管工事	○	○	○	○	
7. 発電室天井吊フック	○	○	○	○	
8. 機器防振工事	○	○	○	○	
9. 受変電設備保護フェンス	○	○	○	○	
	○	○	○	○	

○ 空調設備関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 機器類の遠方操作用電気工事	○	○	●		
2. 機器類の試運転調整	○	●	○		
3. 計装盤1次側電源工事	○	●	○		
4. 自動制御用検出器、及び計器類の取付	○	○	●		
5. 屋上の配管・配線工事	○	○	●		
6. 計装用制御盤(缶体)	○	○	○		
7. 屋上内制御用機器の取付	○	○	●		
	○	○	○		

○ 衛生設備関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. フロートスイッチ電極棒・レベルスイッチの取付	○	●		○	
2. 給排水用動力(1次側配管配線)	○	●		○	
3. 同 上 (2次側配管配線)	○	●		○	
4. 機器類の取揚架構	○	●		○	
5. 消火栓起動用押ボタン取付	○	●		○	
	○	○		○	
	○	○		○	

○ エレベーター設備関係	建築	電気	昇降機	備考
1. 機械室内開閉器盤	○	○	○	
2. 制御盤1次側電源工事	○	○	○	
3. 点検ピット内コンセント	○	○	○	
4. インターホン配管	○	○	○	
5. インターホン配線	○	○	○	
6. かご内のスピーカ取付	○	○	○	
	○	○	○	

記号	記事	署名	年月日
△			

メーカーリスト

原則として、下記の中から選定する。下記以外の場合は、同等以上とし、係員の承認を得ること。

NO	製品名	商号		
1	● 電線管類	丸一鋼管		
2	● 電線・ケーブル類	日立電線、		
3	● 盤 類	竹addr:special_text>竹addr:special_text>竹addr:special_text>

3. 工事概要

[ ] 電気設備工事 (●印をつけたものを適用する。)

[ ] 高圧引込設備工事

1. 工事範囲・・・・・敷地境界までの管路、又は受電点までを範囲とする。但し図面の記載を優先する。
2. 記　　線・・・・○架空線　○管路式地中　○直埋地中
3. 埋設表示・・・・○埋設標柱 [　　本]　○埋設表示シート
4. ハンドホール・・・放蓋の刻印は下記とする。
   ○電力　○その他 [　　]

[ ] 受変電設備工事

1. 工事範囲・・・・・高圧引込より低圧配置盤の2次側端子まで、接地工事を含む。
2. 形　　態・・・・・○屋外キュービクル　○屋内キュービクル　○屋内開放
3. 変圧器・・・・・○油入自冷　○H種絶縁乾式　○モールド型
4. 機器類・・・・・製作図を作成し、係員の承認後に製作する。

[ ] 発電機設備工事

1. 工事範囲・・・・機器類（付属機器を含む。）の搬入、据付、及び試運転、調整。
2. 用　　途・・・・・○法令に基づく防災用　○保安用　○その他 [　　]
3. 型　　式・・・・・○屋外キュービクル型
   ○屋内据付型（○ケーシング有り　○ケーシング無し）
4. 騒音対策・・・・・○低騒音型 [　　ホン]　○指定無し

[ ] 蓄電池設備工事

1. 工事範囲・・・・・機器類（充電器及び付属装置を含む）の搬入、据付及び試験調整。
2. 用　　途・・・・・○法令に基づく防災用　○制御操作　○その他 [　　]
3. 型　　式・・・・・○キュービクル式　○架台組立式

[1] 幹線動力設備工事

1. 工事範囲・・・・低圧配電盤2次側端子又は低圧引込口より、動力制御盤及び電灯分電盤までの配管配線、盤の搬入、据付。
   動力制御盤の2次側端子から動力負荷までの配管配線、機器への結線及び試験調整、試運転の立合い。
2. 盤・・・・・・●鍵あり　○鍵なし
   耐火分電盤は関係法令の基準に適合したものを使用する。
3. 行先表示・・・・●幹線は端子部分、プルボックスにおいて電線、ケーブルに必要に応じて行先表示をすること。
4. 接　　地・・・・機器の接地は確実に行なう。

[2] 電灯コンセント設備工事

1. 工事範囲・・・・電灯分電盤2次側より照明器具、配線器具への配管、配線及び照明器具、配線器具の取付。
2. 配線器具・・・・○運用型　●大角型　○ [　　]
   ●新金属プレート [　　]　○ステンレスプレート [　　]
   ○プラスチックプレート [　　]
3. 照明器具・・・・20W以上の蛍光灯具、及び重量1.5Kg以上の器具は、ボルト及びインサートにより吊下げ、天井面に重量をかけないようにする。
   蛍光灯は下記を原則とする。但し非常用照明器具、誘導灯、サークラインは除く。
   ● 40未満はグロースタート低力率型
   ● 40以上はラピットスタート高力率型

[3] 電話配管設備工事

1. 工事範囲・・・・・電話引込口以降、保安器箱、端子盤の取付及び電話引出口までの配管。
2. 呼　　線・・・・・・配管には必ずビニル被覆鉄線を挿入する。
3. 配　　管・・・・・屋内配管は耳長20m以内にボックスを設けること。又、NTT、[電話配管の手引き]に準じて施工する。
4. ボックス・・・・・・ボタン電話用は大型深形アウトレットボックス以上を使用すること。

[4] 電話設備工事

1. 工事範囲・・・・・構内電話機、電話機及び付属機器の据付、配線及び試験調整。
2. 方　式　等・・・・・設計図による。

[5] 放送設備工事

1. 工事範囲・・・・・主装置及びスピーカ等の機器取付、配管配線及び試験調整。
2. 用　　途・・・・・○非常防災用　●業務用　○非常防災・業務兼用
3. 主装置・・・・・●卓上型　○壁掛型　○自立ロッカー型　○デスク型

[6] インターホン設備工事

1. 工事範囲・・・・配管配線及び機器の取付、試験調整。
2. 機　　器・・・・・○親子式　●相互式　○複合式
3. 通話方式・・・・●同時通話型　○交互通話型
4. 型　　式・・・・・○卓上型　●壁掛型

[7] テレビ共聴設備工事

1. 工事範囲・・・・共聴用アンテナの取付及び配管配線、テレビ受口に至るまでの機器取付、試験調整。
2. アンテナ・・・・・●一般仕様　○耐塩仕様　○ステンレス製
3. マスト・・・・・・●亜鉛メッキ　○耐塩塗装　○ステンレス製　[取付ボルト共]
4. 機器能力・・・・○衛星通信対応可能　○左記以外
5. レベル測定・・・●竣工後測定し、報告書作成 [　3　] 部

[ ] 電気時計設備工事

1. 工事範囲・・・・・親時計装置、子時計及び付属機器取付、配管配線及び、試験調整。
2. 精度（常温）・・・・○遅差±0.7秒以内　○遅差±1.5秒以内
   ○遅差±3.0秒以内
3. 運　　計・・・・・・○30秒　○1秒　○デジタル
4. 停電補償装置・・○有り　○無し

[ ] 出退表示設備工事

1. 工事範囲・・・・主装置、表示器、操作部及び付属機器の取付、配管配線、試験調整。
2. 表示器・・・・○卓上型　○壁掛型
3. 操作部・・・・○集中操作　○分散操作　○卓上型　○壁掛型

[ ] 車路管制設備工事

1. 工事範囲・・・・制御用機器の取付、配管配線及び試験調整
2. 機　　器・・・・・機器の取付はねじ、金具等により、ボックス又は壁に堅固に取付ける。

[8] 警備保障設備工事

1. 工事範囲・・・・●配管　●配線　●機器取付、調整
2. 機　　器・・・・・○リース　○買取り

[9] 自動火災報知・非常警報・煙感連動防火扉自閉設備工事

1. 工事範囲・・・・・受信機又は制御盤から、感知器、防火ダンパー、レリーズ等までの配管配線及び機器の取付、試験調整を行う。関係官庁の届出、試験立合を含む。
2. 機　　器・・・・関係法令に適合し、認定を受けたものを使用する。
3. 施　　工・・・・・関係法令に準拠したものとする。設計図書及び仕様書に疑問を生じた時は、係員の指示を受けること。

[10] 避雷針設備工事

1. 工事範囲・・・・・建築物等に設ける避雷針、避雷導線の取付け及び接地極の埋設を図面、特記により行う。
2. 接地極・・・・・原則として厚さ±1.5mm以上、900mm角以上の鋼板、又はこれと同等以上の接地効果のあるものとする。接地抵抗値は法令基準以下とする。
   ●常水面以下で地表下750mm以上。
   ○ [　　] m以上、地表下に埋設。
3. 接地極埋設標識・・○要（黄銅製プレート）　○不要
4. 接続端子函・・・●硬質ビニール製　○黄銅製　○ステンレス製

凡例

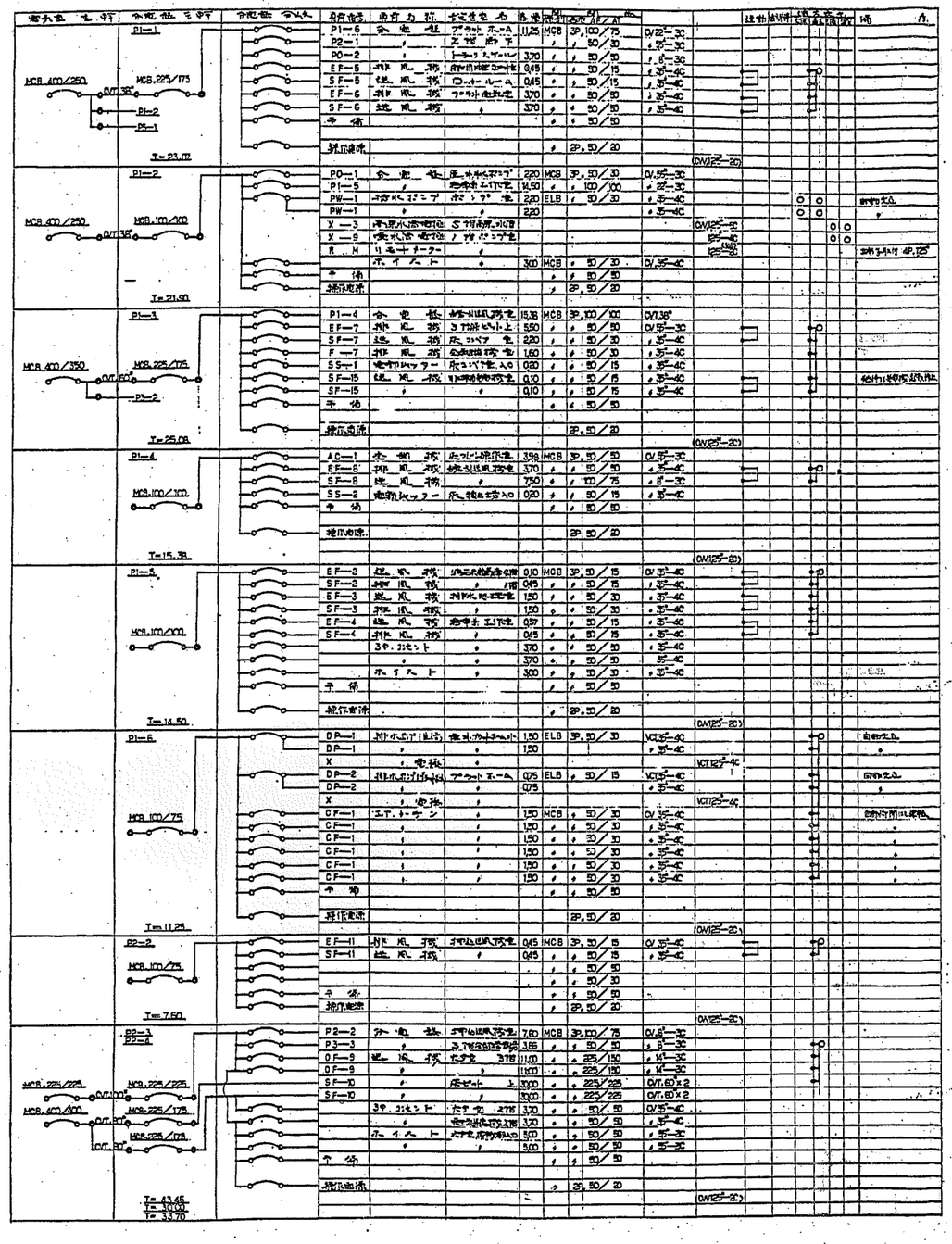
（JIS C 0303-84に準拠）

記号	名称	備考	記号	名称	備考
	天井隠ぺい配線		NC	ナースコール用受信盤	
	床隠ぺい配線			表示器（盤）	
	露出配線			表示スイッチ	
	立上り			表示灯	
	引下げ			子時計	
	素通し			時報子時計	
	プルボックス			親時計	
	VVF用ジョイントボックス			スピーカ	
	接地端子			フッテネータ	
	接地極			電話機形インターホン	（親機）
	バスダクト			〃	（子機）
	白熱灯			スピーカ形インターホン	（親機）
	〃（壁付）			〃	（子機）
	屋外灯		AMP	増幅器	
	蛍光灯			遠隔操作盤	
	〃（壁付）			テレビジョンアンテナ	
	非常用照明（白熱灯）			混合・分波器	
	〃（蛍光灯）			4分岐器	
	階段通路誘導灯			4分配器	
	誘導灯（白熱灯）			直列ユニット二端子形	
	〃（蛍光灯）			差動式スポット形感知器	
	コンセント（床取付）			定温式スポット形感知器	
	〃（壁付）		S	煙感知器	
	非常コンセント			感知線	
	点滅器			空気管	
	調光器			差動式分布形感知器の検出部	
	リモコンスイッチ			P形発信機	
	セレクタスイッチ			警報ベル	
	開閉器			受信機	
	配線用遮断器			副受信機（表示機）	
	遮電遮断器			標識板	
	フロートスイッチ			終端抵抗器	
	電極			防火ダンパ（煙感知器）	
	分電盤			自動閉鎖装置	
	制御盤			連動制御器	
	電力量計			検知器	
	内線電話機			突針部	
	加入電話機			接地抵抗測定用端子	
	保安器			受電点	
	端子盤			電動機	
	本配線盤			換気扇	
	電話用アウトレット（壁付）				
	〃（床付）				
	押しボタン				
	ベル				
	ブザー				
	チャイム				
	警報受信盤				

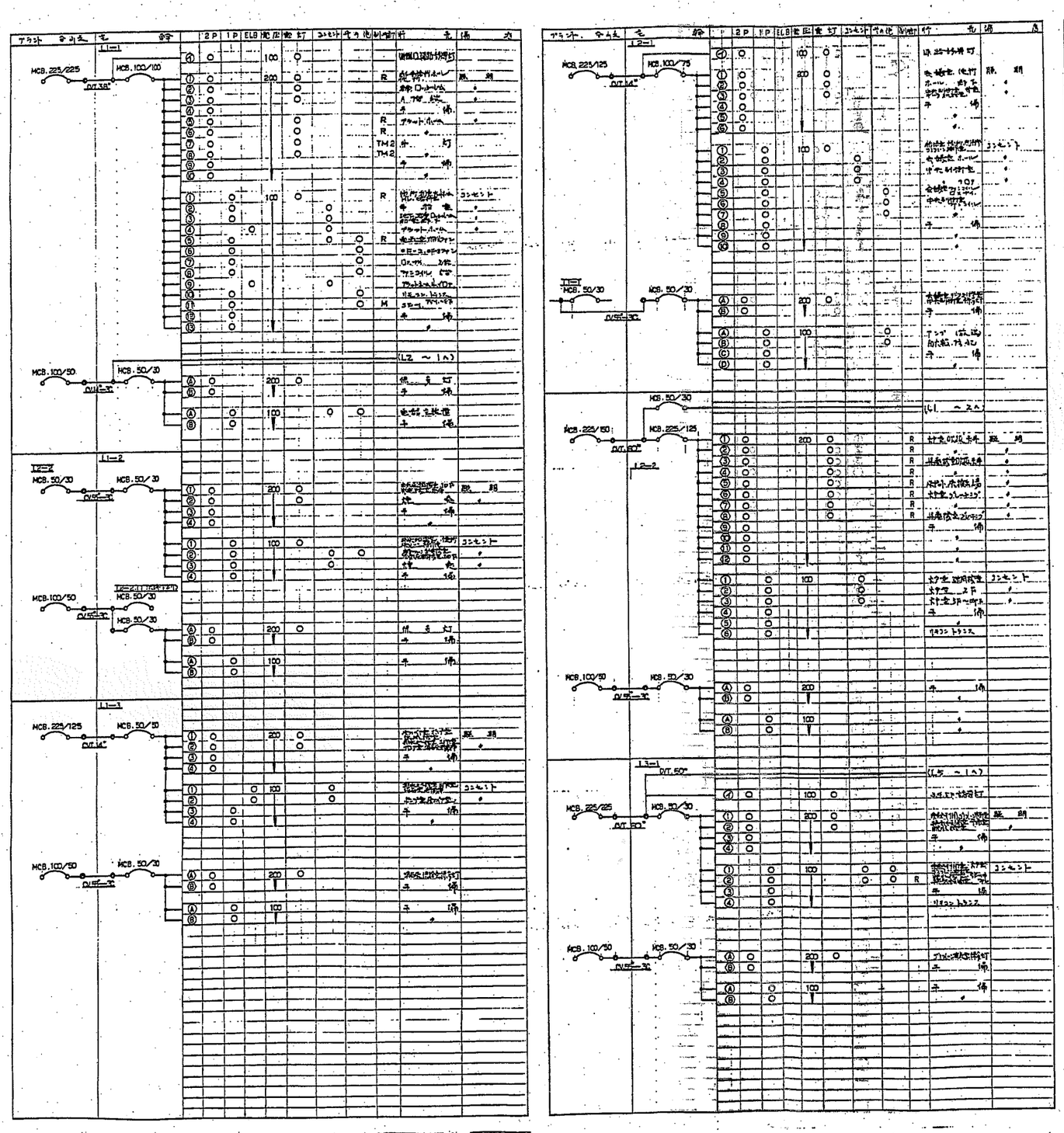
工事番号		
承認	小林	
原案	臨原本	
照案	御厨	
設計	浜	
製図	三浦	
設計部署		

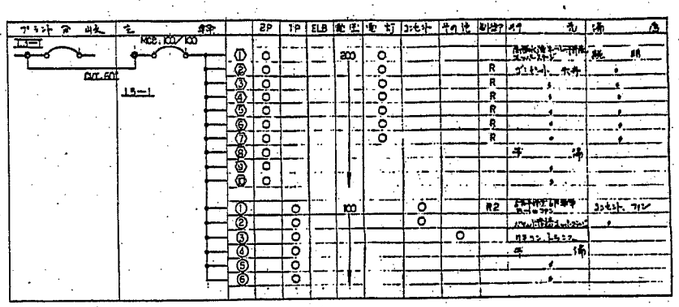
NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	電気設備 特記仕様書（2）
尺度	第　角法　標準図番号
図面番号	E-02
出図年月日	整理番号


P1—1
MCB 400/250
OVT 35°
MCB 225/175
P1—2
P5—1
L=23.17
P1—2
MCB 400/250
OVT 35°
MCB 100/100
L=21.50
P1—3
MCB 400/350
OVT 60°
MCB 225/175
P3—2
L=25.08
P1—4
MCB 100/100
L=15.38
P1—5
MCB 100/100
L=16.50
P1—6
MCB 100/75
L=11.25
P2—2
MCB 100/75
L=7.50
P2—3
P2—4
MCB 225/225
OVT 60°
MCB 225/225
MCB 400/400
OVT 60°
MCB 225/175
OVT 60°
MCB 225/175
L=43.45
L=41.00
L=33.70
P1—1
MCB 50/30
MCB 50/30
L=8.20
P2—1
MCB 400/250
OVT 60°
MCB 225/150
P2—2
MCB 400/350
OVT 60°
MCB 225/150
L=28.60
P3—1
MCB 50/30
L=3.86
P4—1
MCB 400/350
OVT 60°
MCB 400/350
L=63.70
P5—1
MCB 400/250
OVT 60°
MCB 100/100
L=15.07
P0—1
MCB 50/30
L=2.80
P0—2
MCB 50/30
L=3.70
P1—2
P1—3
P1—4
P2—4
MCB 225/150
OVT 22°
OVT 22°
OVT 22°
L=60.00

| | | |



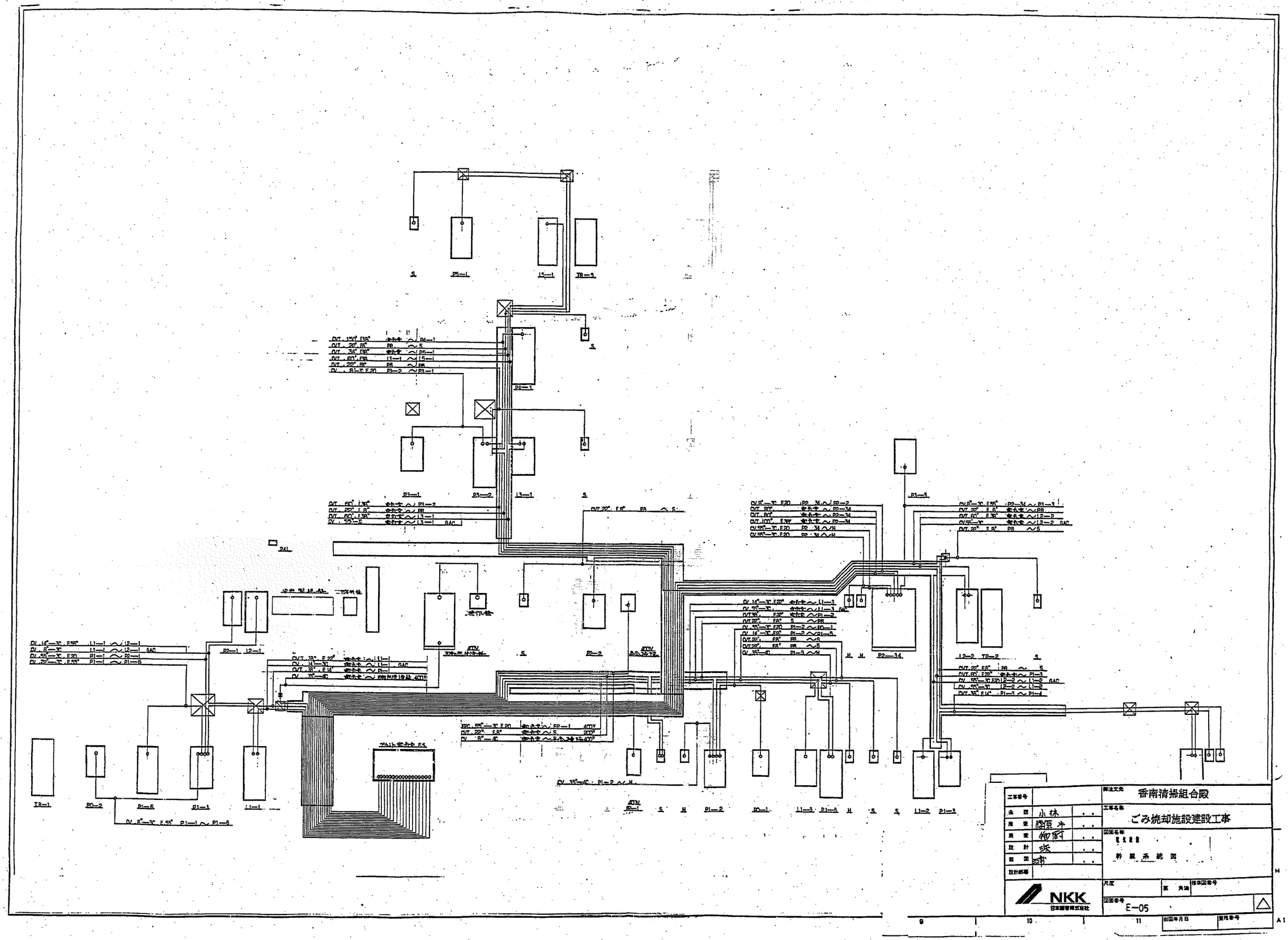


工事番号	
承認	小林
照査	藤原
照査	御厨
設計	浜
製図	津
設計部署	

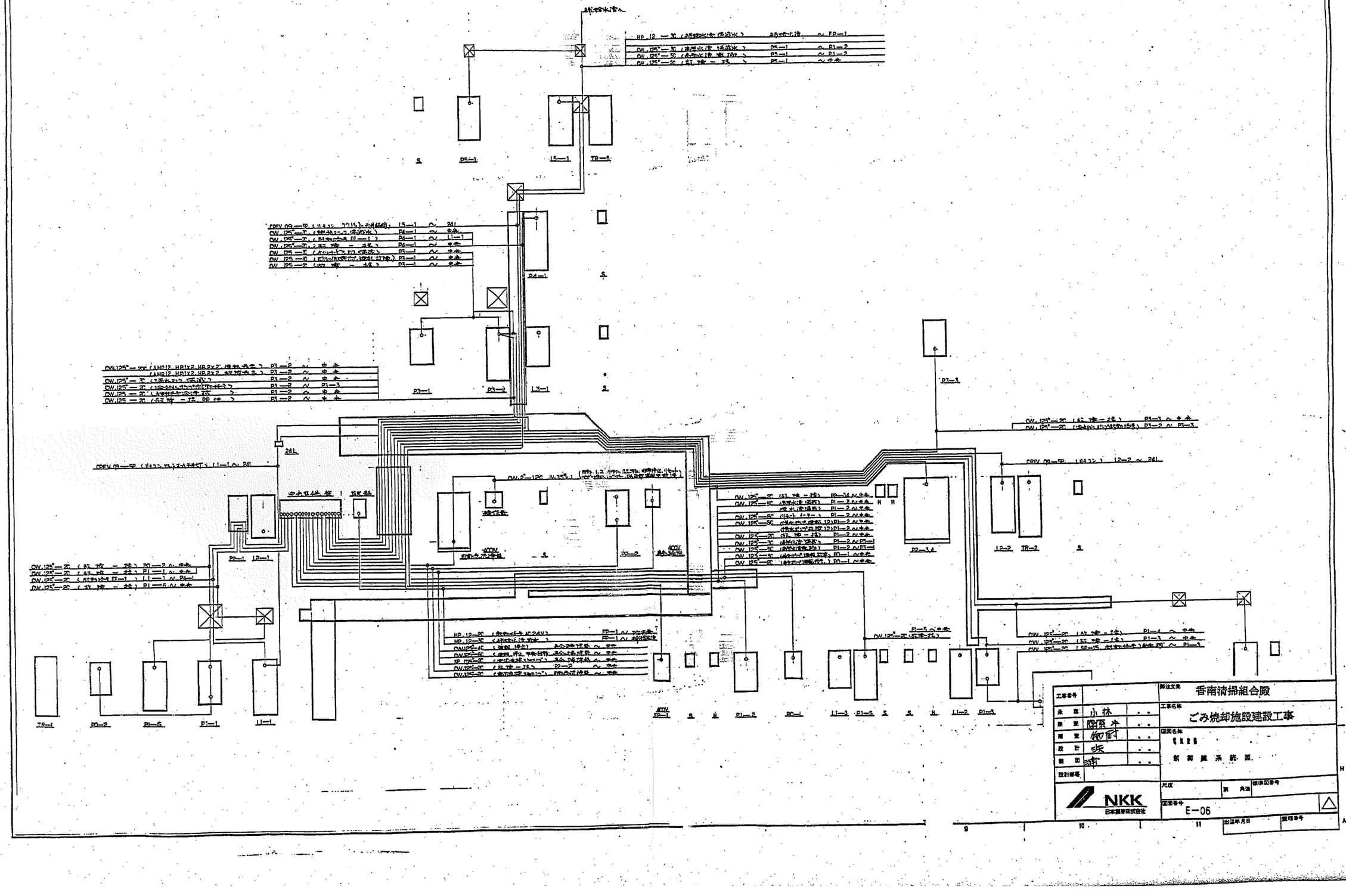
関連文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	電気設備 分電盤結線図(2)
尺度	
原 角法	
標準図番号	
図面番号	E-04
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

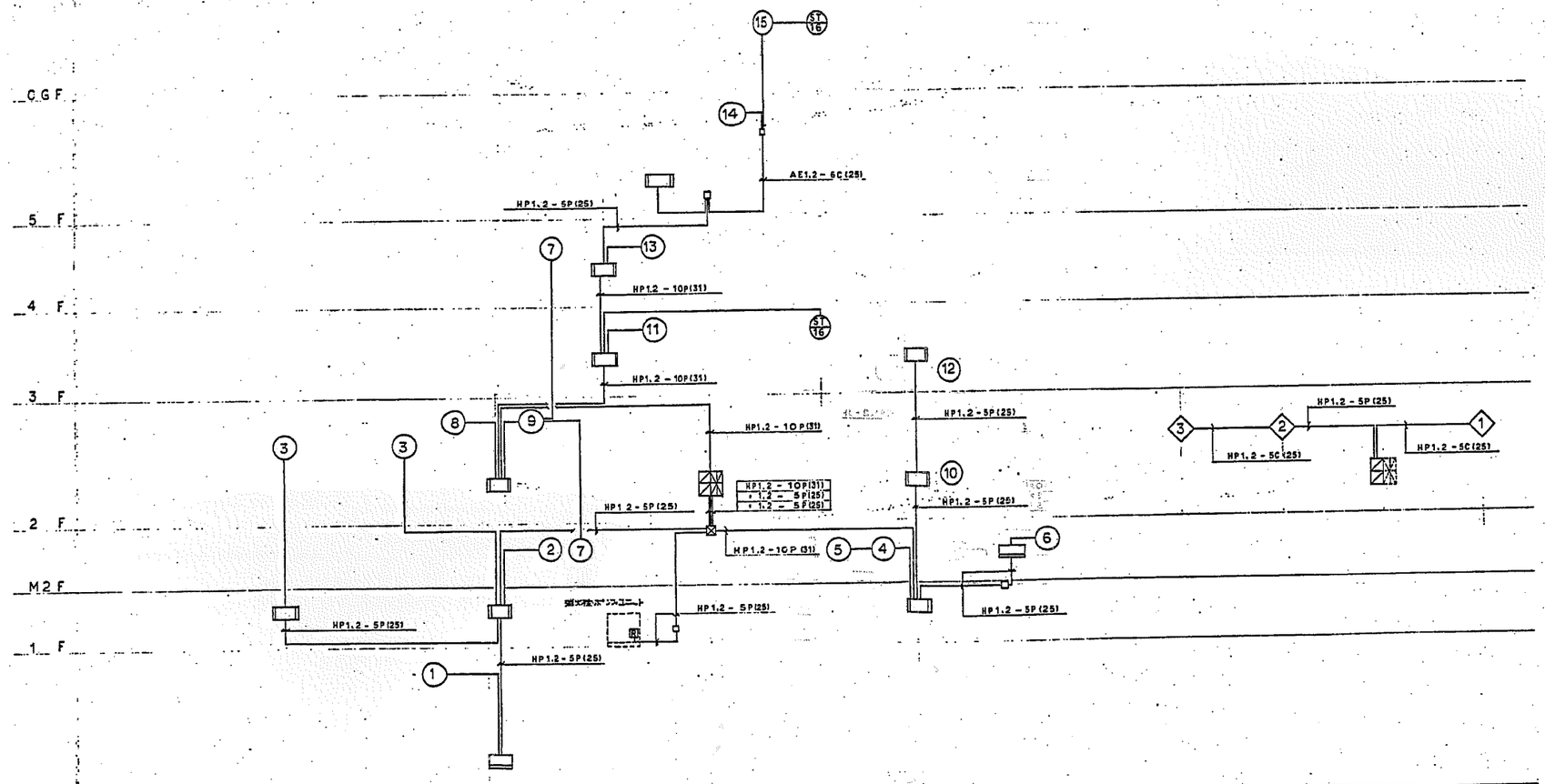
A1



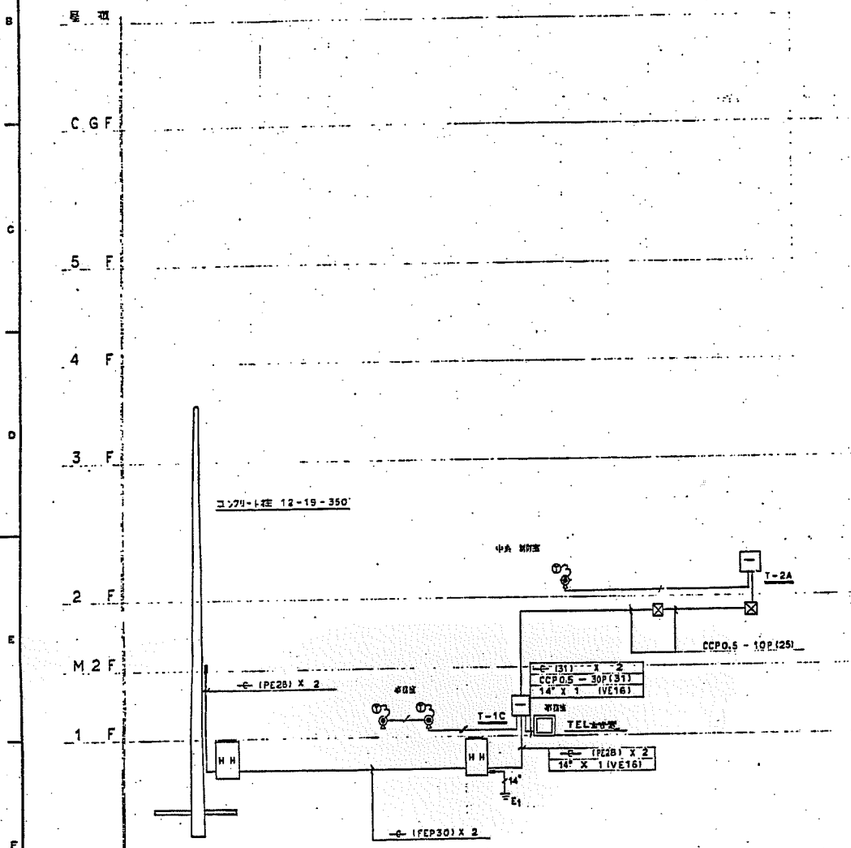
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
用室	隅原 牛	図面名称	幹線系統図
業室	御厨		
設計	浜		
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	寄角法 / 標準図番号
		図面番号	E-05
		出図年月日	整理番号


P5—1
I5—1
TR—1
P4—1
P3—1
P3—2
I3—1
P2—1
I2—1
P2—2
P2—3,4
I2—2
TR—2
P1—3
TR—1
P0—2
P1—5
P1—1
I1—1
P0—1
I1—3
P1—5
I1—2
P1—3
P1—4
P1—6
P1—2
P1—1
P1—5
P1—4
P1—3
P1—2
P1—3
241
241
241

図面履歴			
記号	記事	署名	年月日
△			


CGF
5 F
4 F
3 F
2 F
M2 F
1 F
B1 F
HP1.2 - 5P(25)
AE1.2 - 5C(25)
HP1.2 - 10P(31)
HP1.2 - 10P(31)
HP1.2 - 10P(31)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 10P(31)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5C(25)
HP1.2 - 5C(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 10P(31)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 10P(31)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25)
HP1.2 - 5P(25

記号	図面・表題 記事	年号	年月日
△			

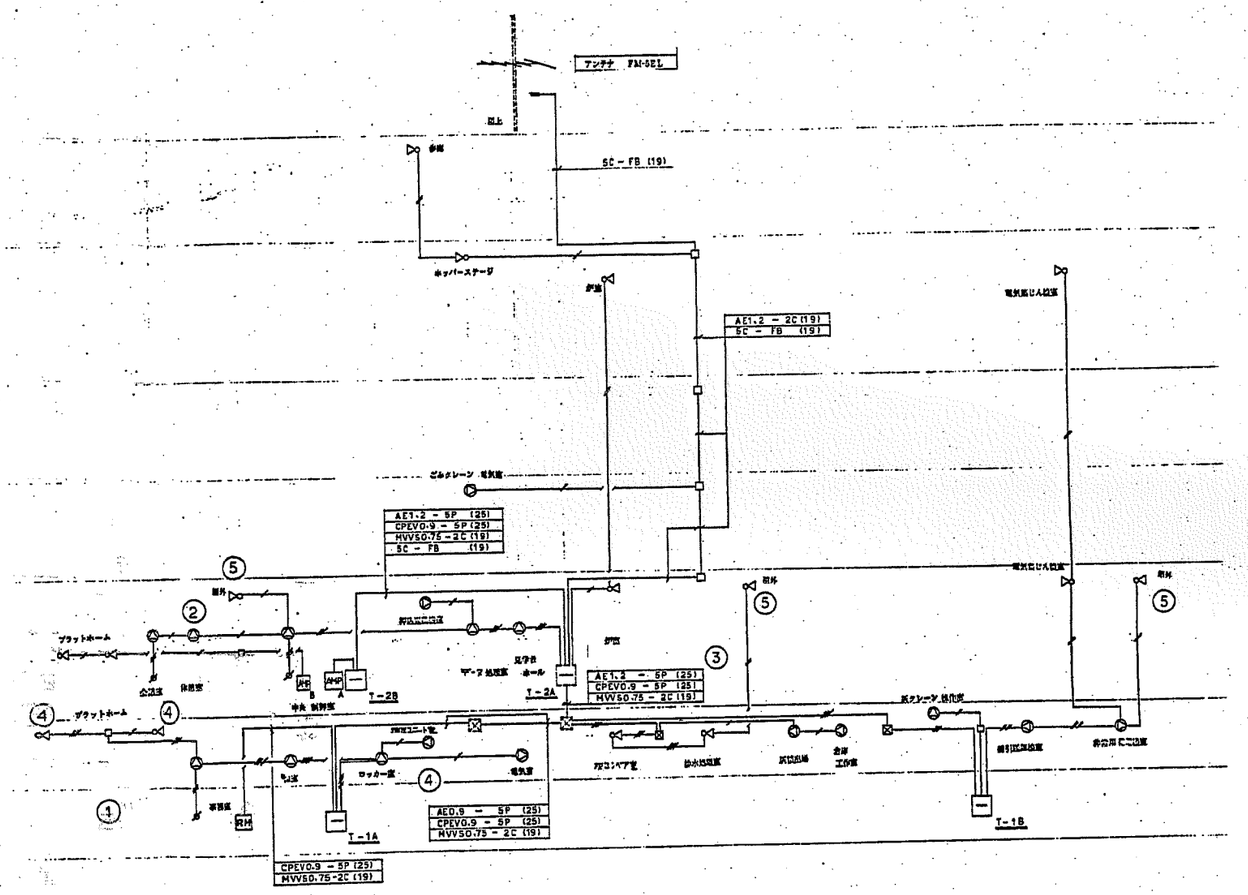


電話設備系統図

特記なき配管記号は下記による

EBT0.5 - 2P (19)	
ø 0.5 - 2P X 2 (19)	
ø 0.5 - 2P X 3 (19)	

管内入線ケーブルはポリエチレン絶縁ビニルシース
市内対向ケーブルとし、コネクタ付
ケーブルは CD で納入する。



放送設備系統図

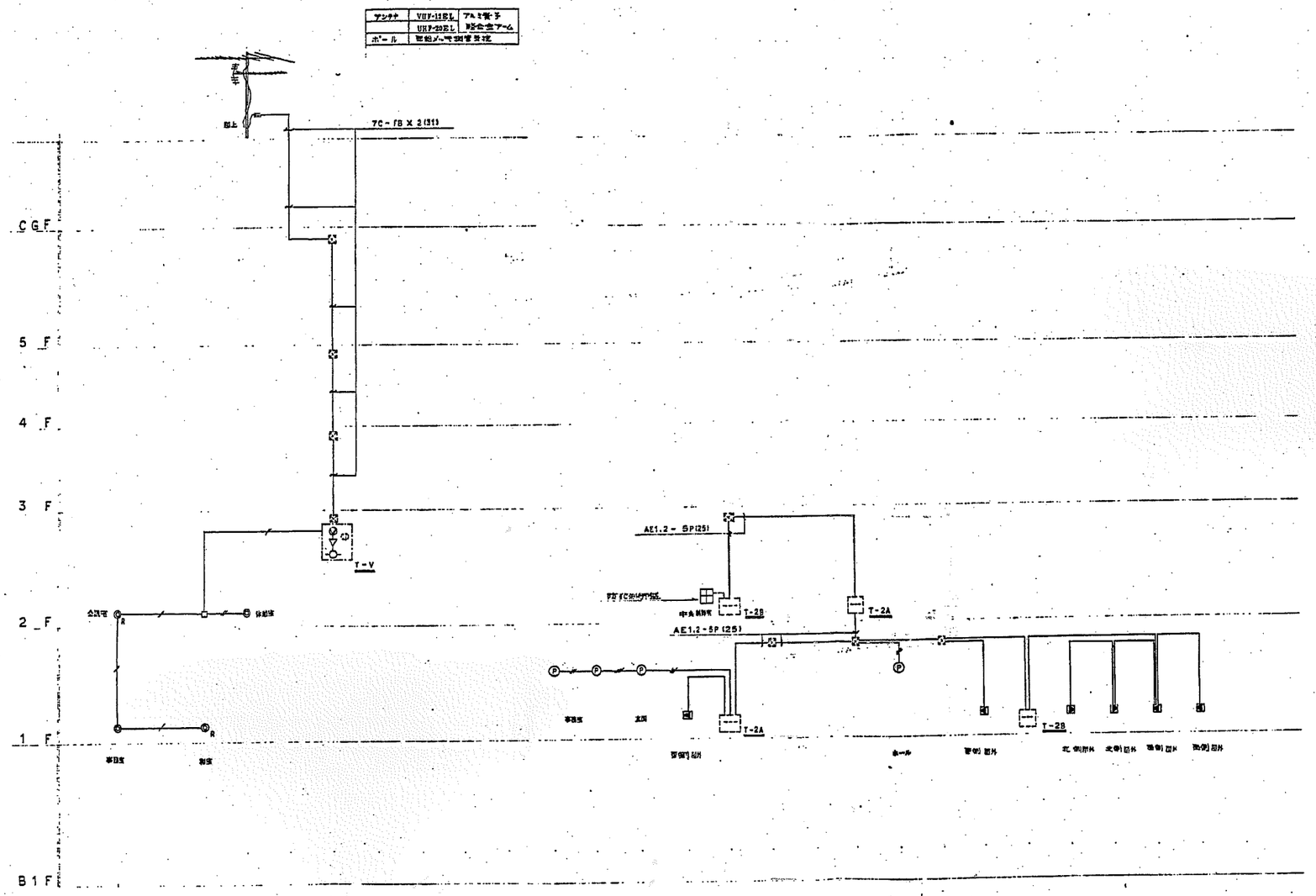
特記なき配管記号は下記による

AE1.2 - 2C (19)	
ø 1.2 - 3C (19)	
ø 1.2 - 4C (19)	
ø 1.2 - 3C X 2 (25)	

管内入線ケーブルはポリエチレン絶縁ビニルシース
市内対向ケーブルとし、コネクタ付
ケーブルは CD で納入する。

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
審査	勝原	図面名称	電話設備系統図 放送設備系統図
照査	御厨		
設計	坂		
製図	津		
設計部署		尺度	縮尺図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	E-08
		出図年月日	整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



	電話	放送	インターホン		対応	調整
T－1A	—	30 P	30 P		10 P	
T－1B	—	5 P	30 P		5 P	
T－1C	MDF 5P	—	—		—	
	IDF 30P	—	—		—	
T－2A	15 P	25 P	30 P		10 P	
T－2B	—	30 P	30 P		10 P	

特記なき配管配線は下記に従る

5C－FB (19)

5C－FB X 2(25)

記入なきも電線管はオジアシ管とし、コンクリ打設部は CD 管を対とする。

テレビ共聴設備系統図

特記なき配管配線は下記に従る

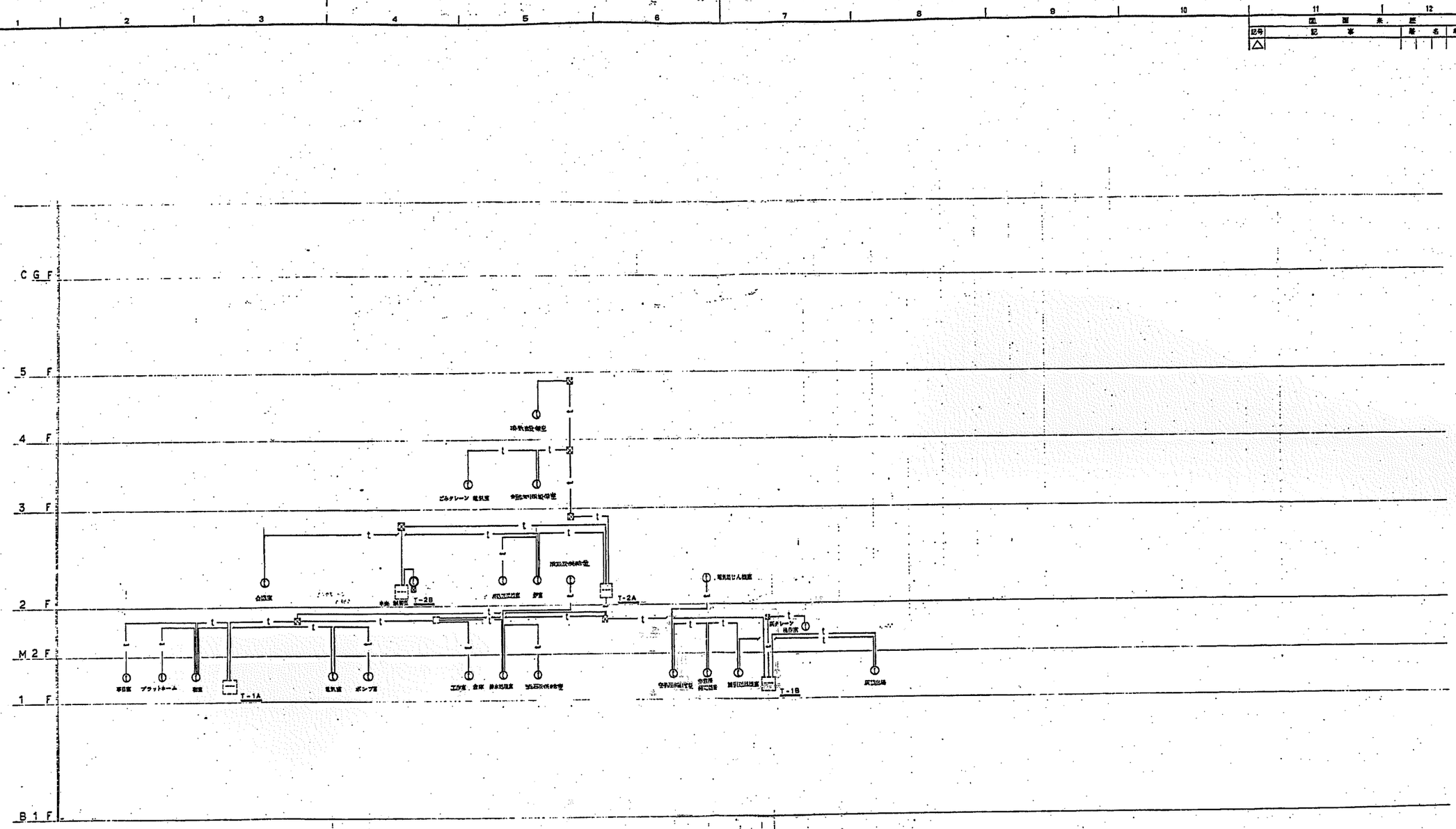
AE1.2－4C (25)

記入なきも電線管はオジアシ管とし、コンクリ打設部は CD 管を対とする。

防犯設備系統図

工事番号		御注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
調査	隠原	
照査	御厨	図面名称 テレビ共聴設備系統図 防犯設備系統図
設計	浜	
製図	浜	
設計部署		尺度 / 第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号 E－09
		出図年月日 / 登録番号

A1

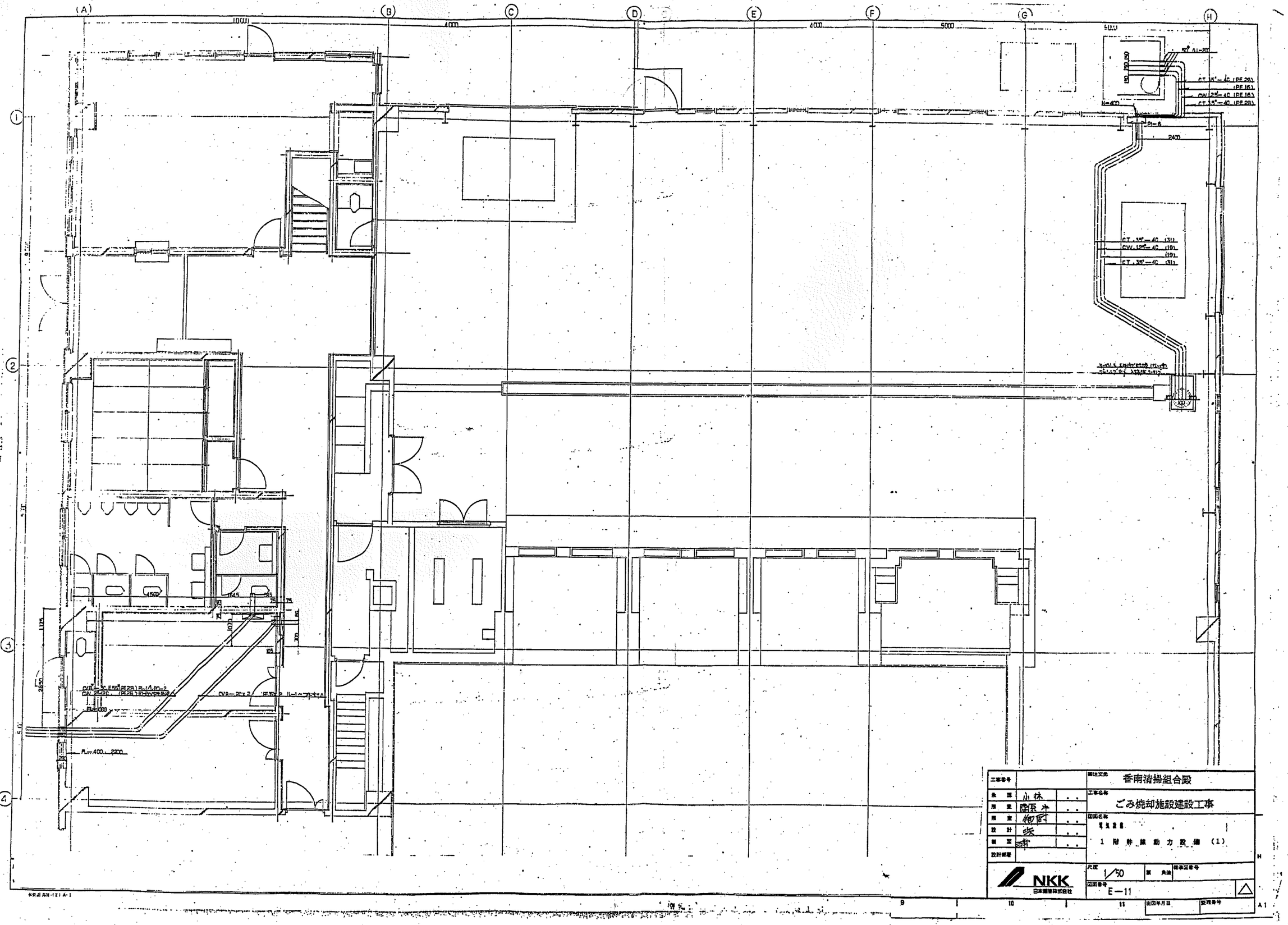


インターホン設備系統図

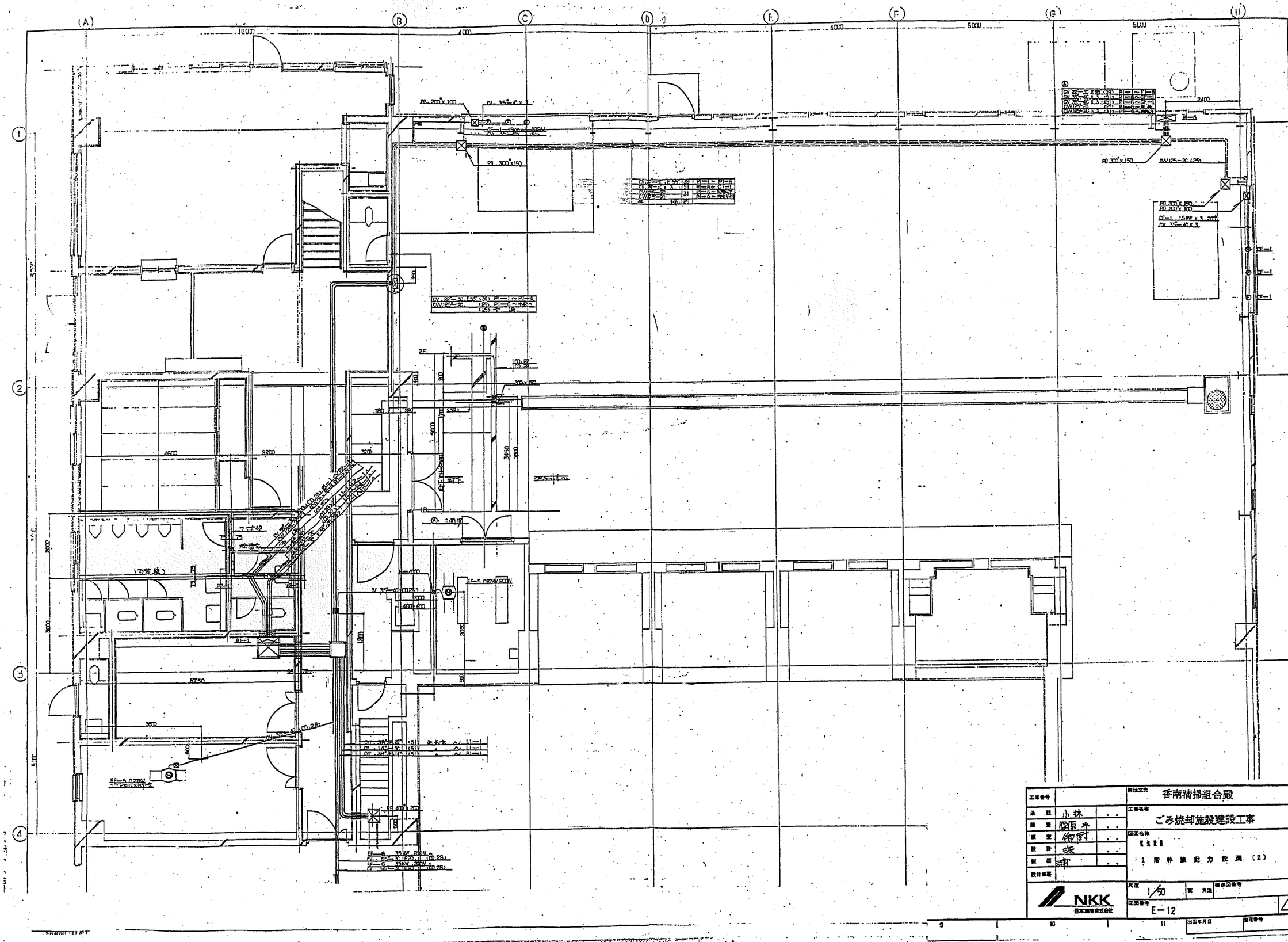
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
施設	脇原才	図面名称	インターホン設備系統図
設計	岩		
製図	浦		
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

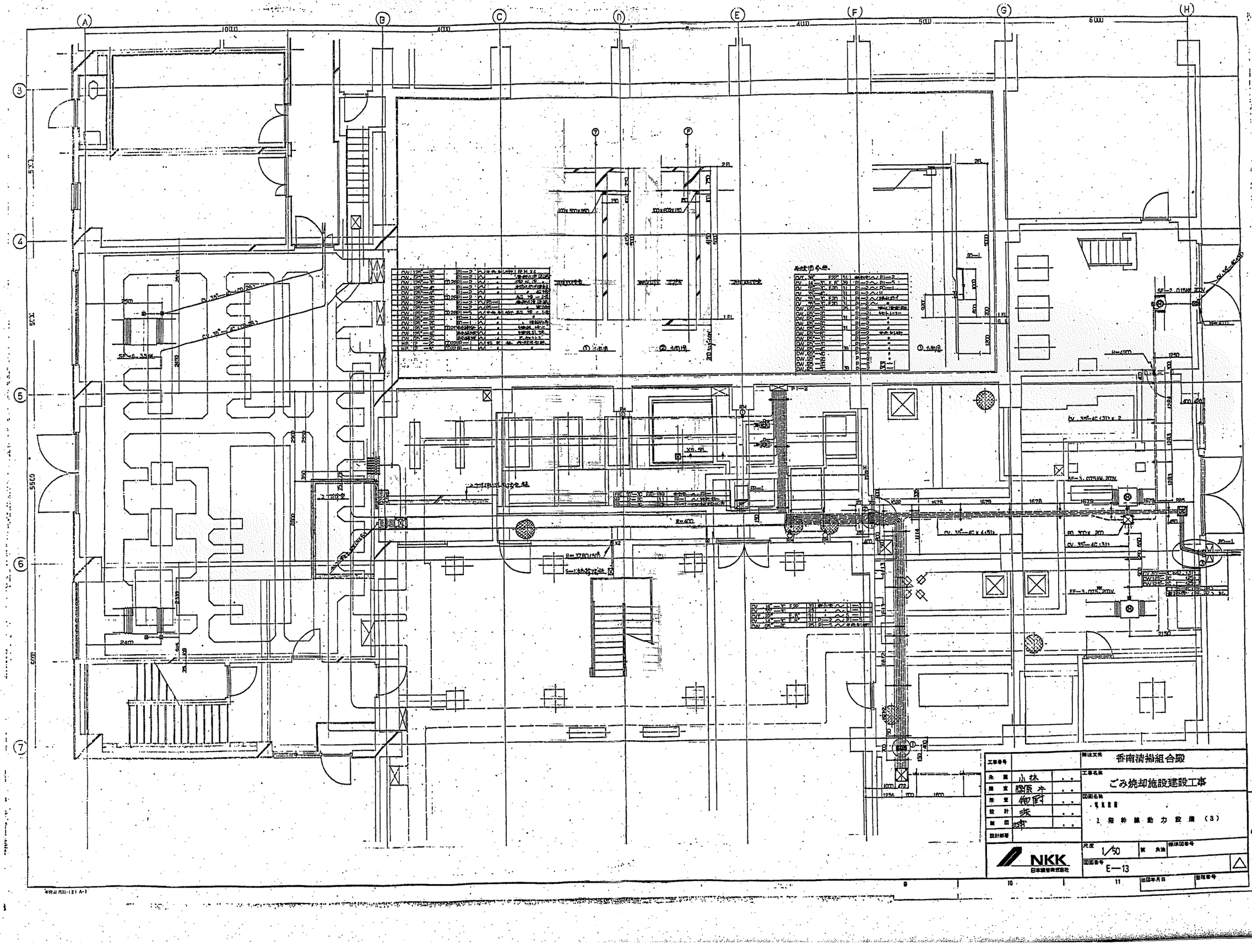
尺度	第 角法	機器図番号
図面番号	E−10	
出図年月日	整理番号	

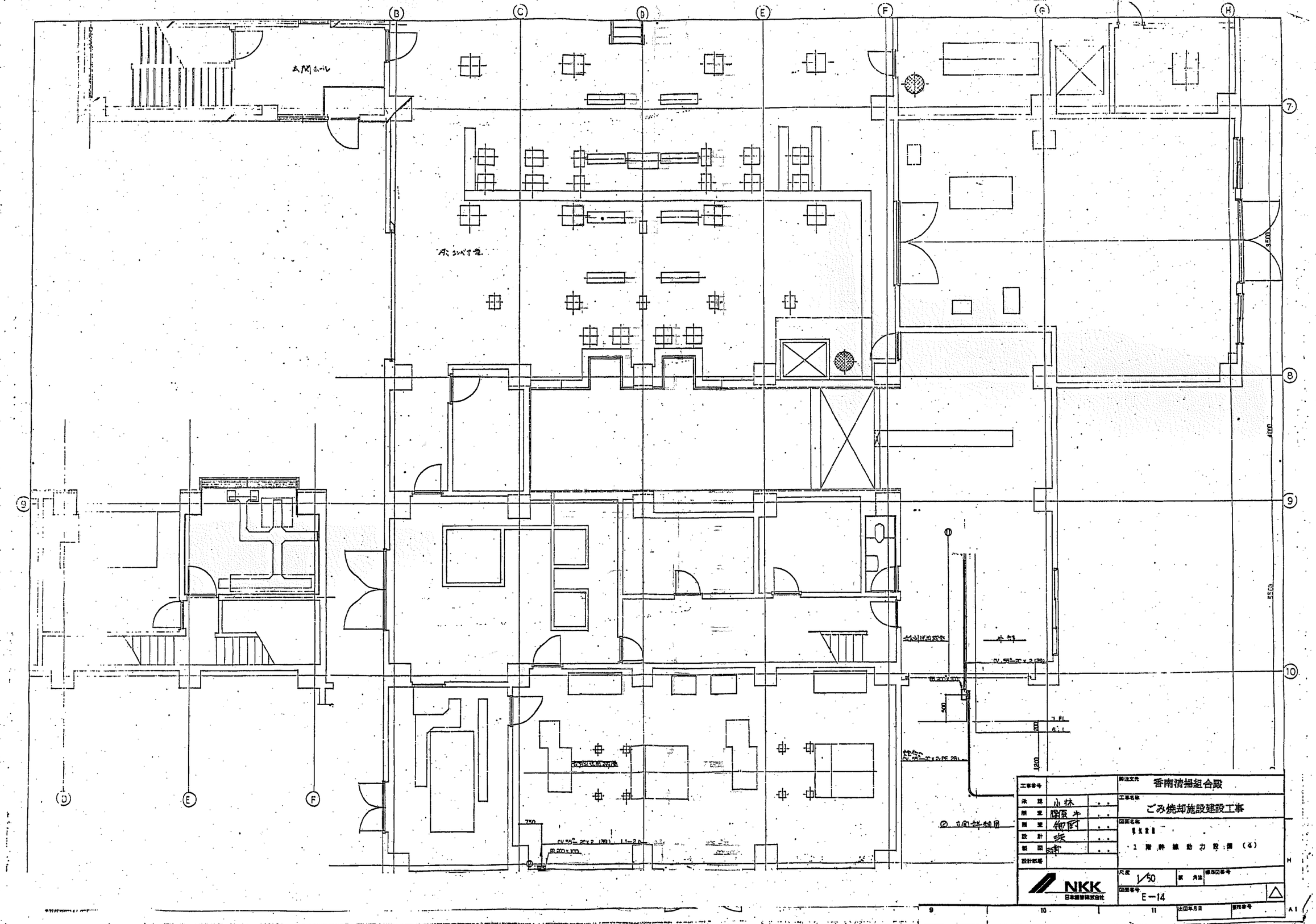


工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
用室	隆原		
用室	御厨	図面名称	電気設備
設計	浜		1 階 幹 線 動 力 設 備 (1)
製図	神		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	第 角法 / 標準図番号
		図面番号 E−11	△
		出図年月日	整理番号

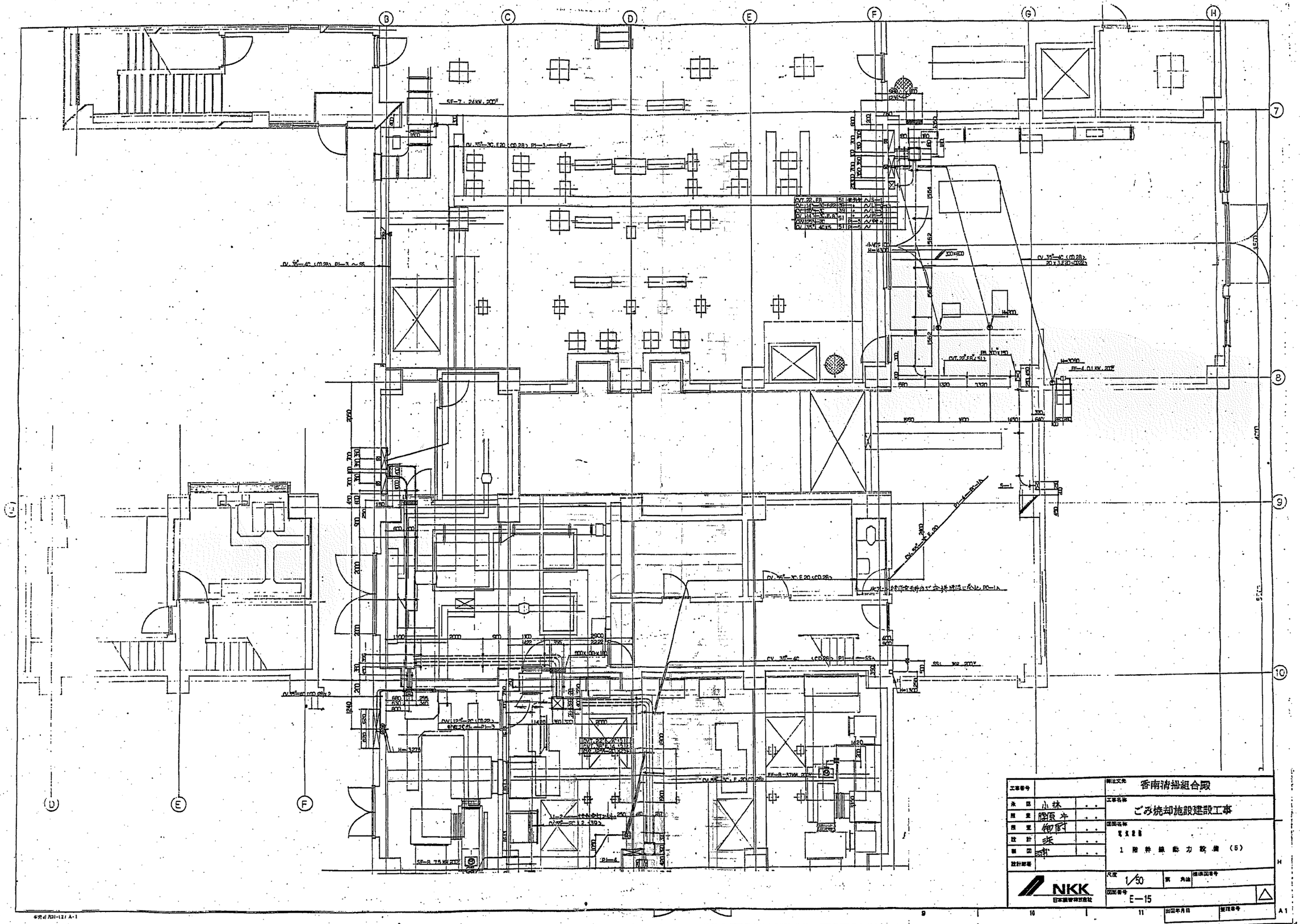


工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原	図面名称	電気設備 1階幹線動力設備（2）
設計	坂		
製図	胡		
設計部署		尺度	1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	E－12
		出図年月日	


香南清掃組合殿
ごみ焼却施設建設工事
1階幹線動力設備（3）
NKK
日本鋼管株式会社
E—13
1/50

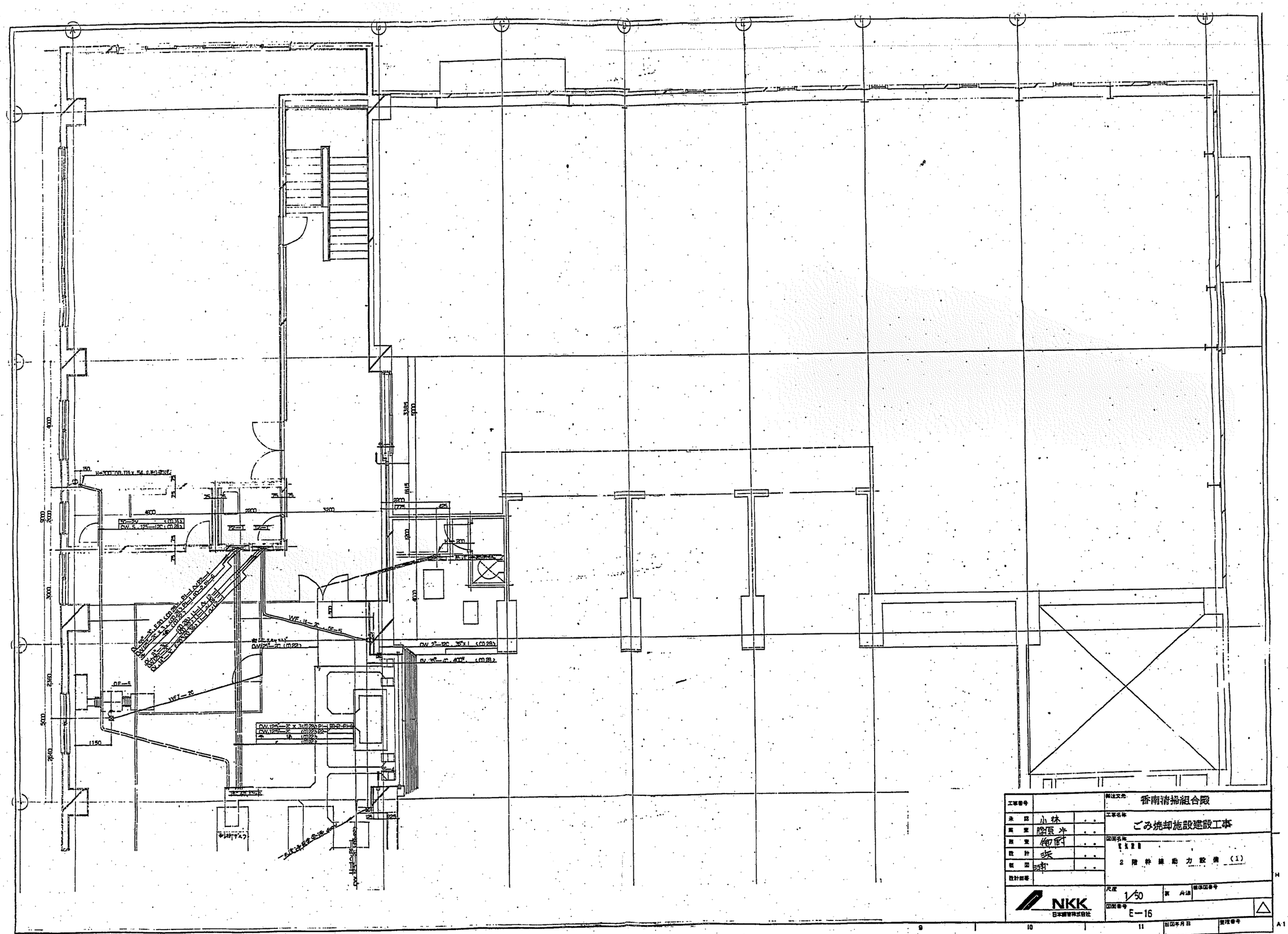


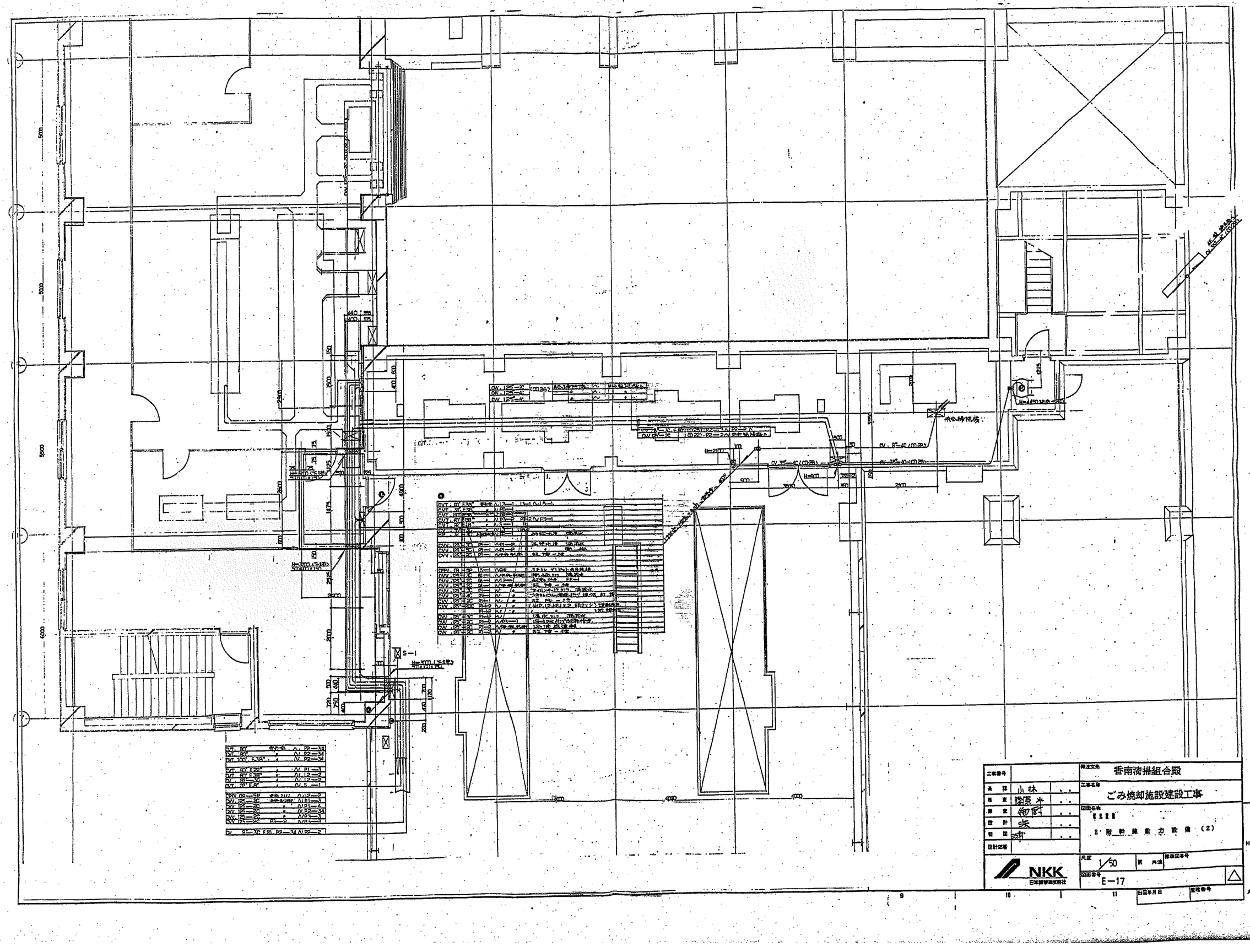
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原 牛	図面名称	1階幹線動力設備（4）
照査	御厨		
設計	浜		
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/50
		図面番号	E－14
		出図年月日	



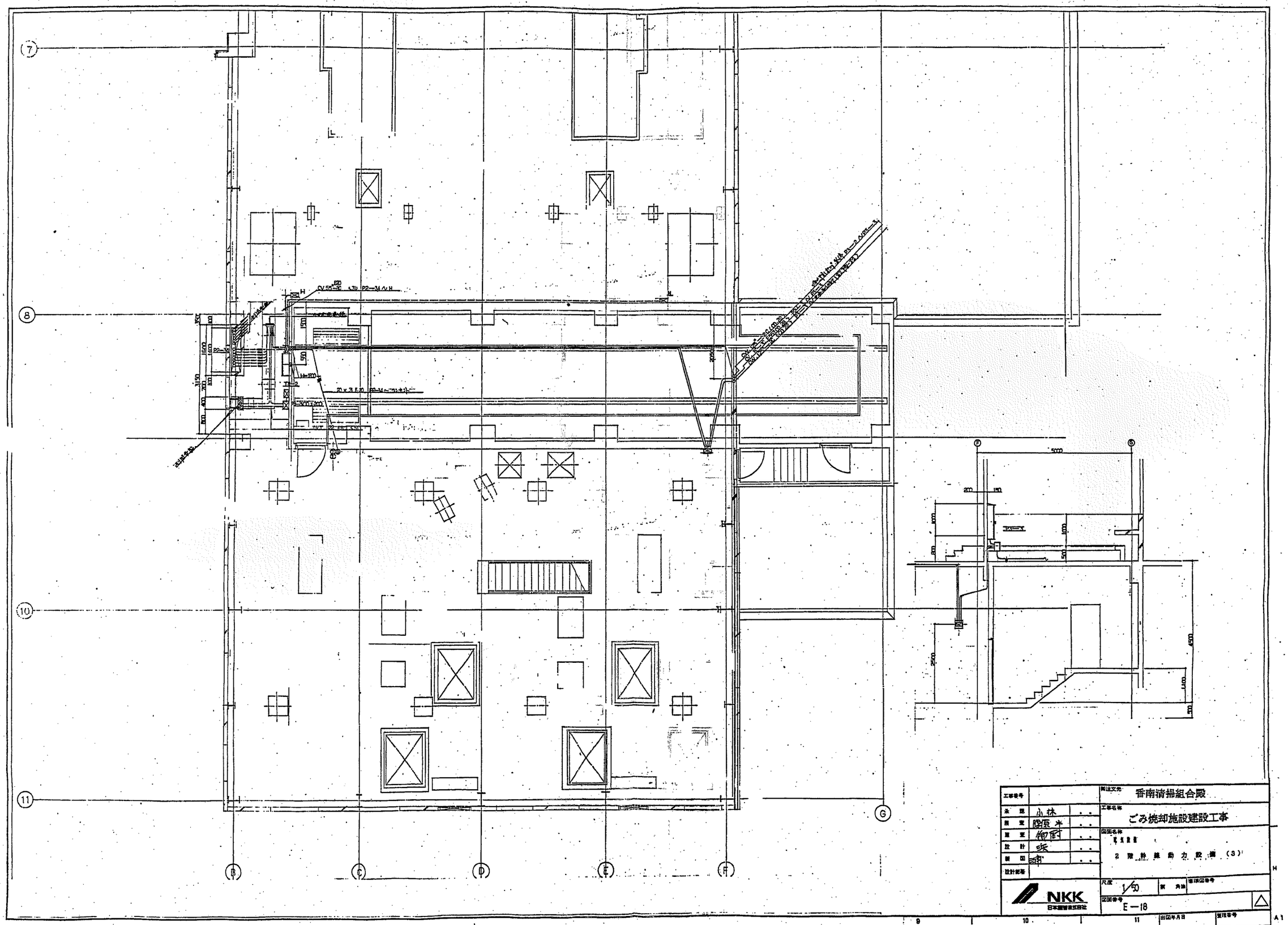
工事番号		関注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隅原	図面名称	電気設備
照査	御厨		1 階幹線動力設備 (5)
設計	浜		
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	第 角法
		図面番号 E—15	
		出図年月日	整理番号

A1

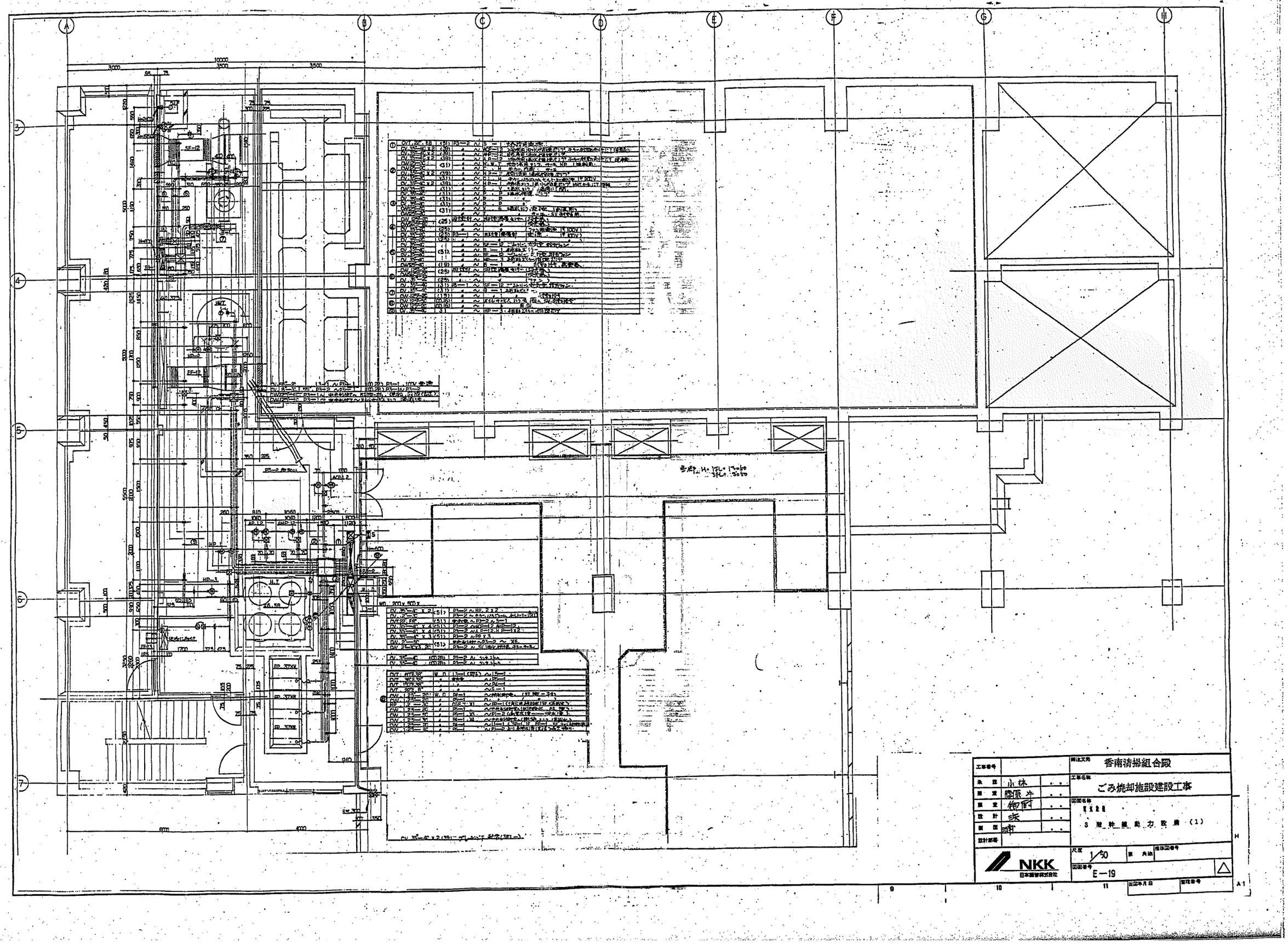

4000
3385
5700
2300
775
425
4600
2200
3200
2360
5000
2640
1150
WF-16
WF-5
WF-25
DF-5
DW 2"-120 35°x 1 (M28)
DV 3"-4" 400 (M28)
DW(2"-3") 2" (M22)
DW125 2" x 3(M28)
DW125 2" (M28)
DW125 2" (M28)
DW125 2" (M28)
50A 2" (M22)
50A 2" (M22)
50A 2" (M22



香南清掃組合殿
ごみ焼却施設建設工事
2階幹線動力設備（2）
NKK
日本鋼管株式会社
1/50
E−17

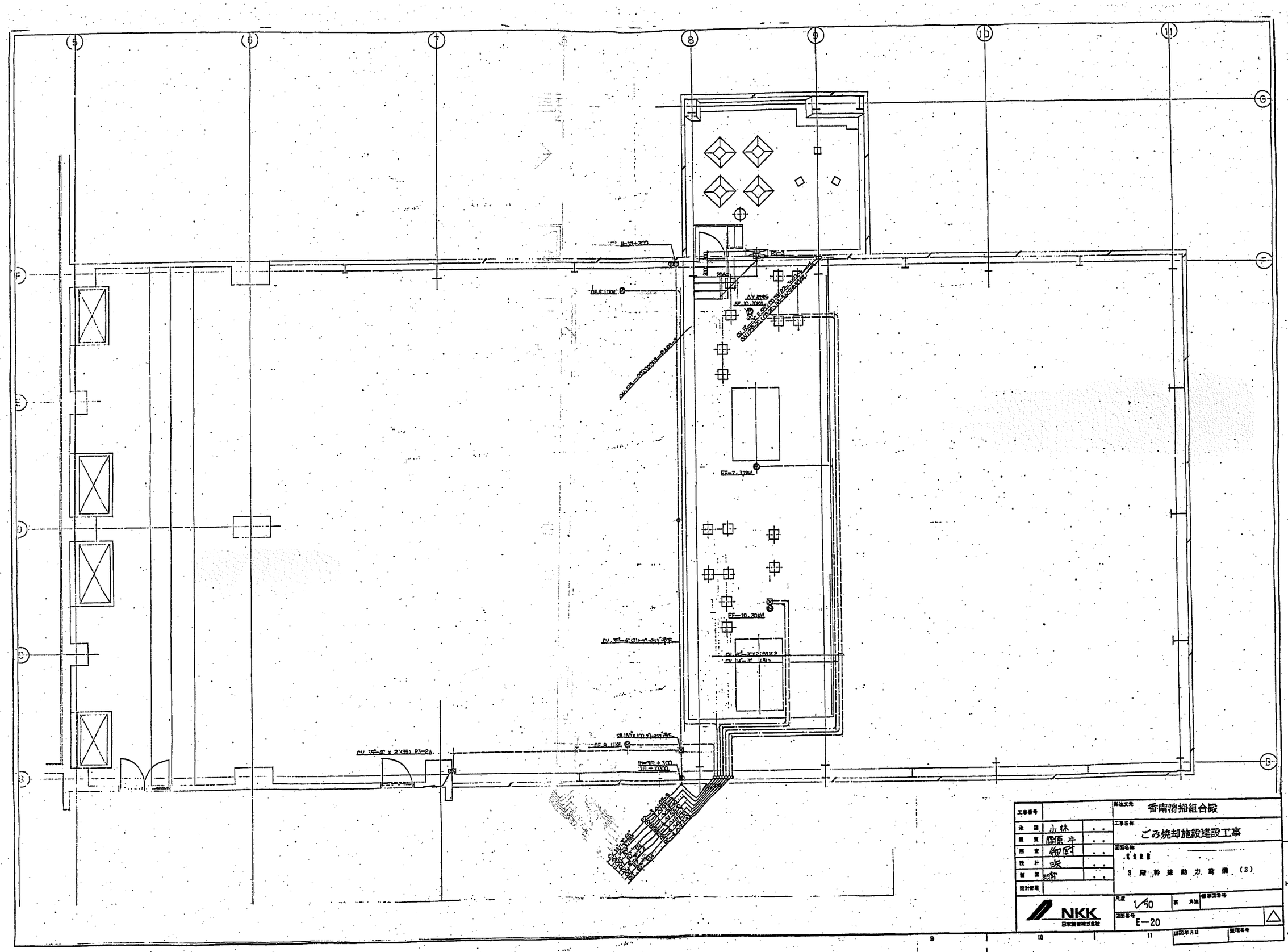


工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原 半	図面名称	電気設備
重査	御厨		2階幹線動力設備（3）
設計	浜		
製図	浦		
設計部署		尺度	1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	E－18
		出図年月日	

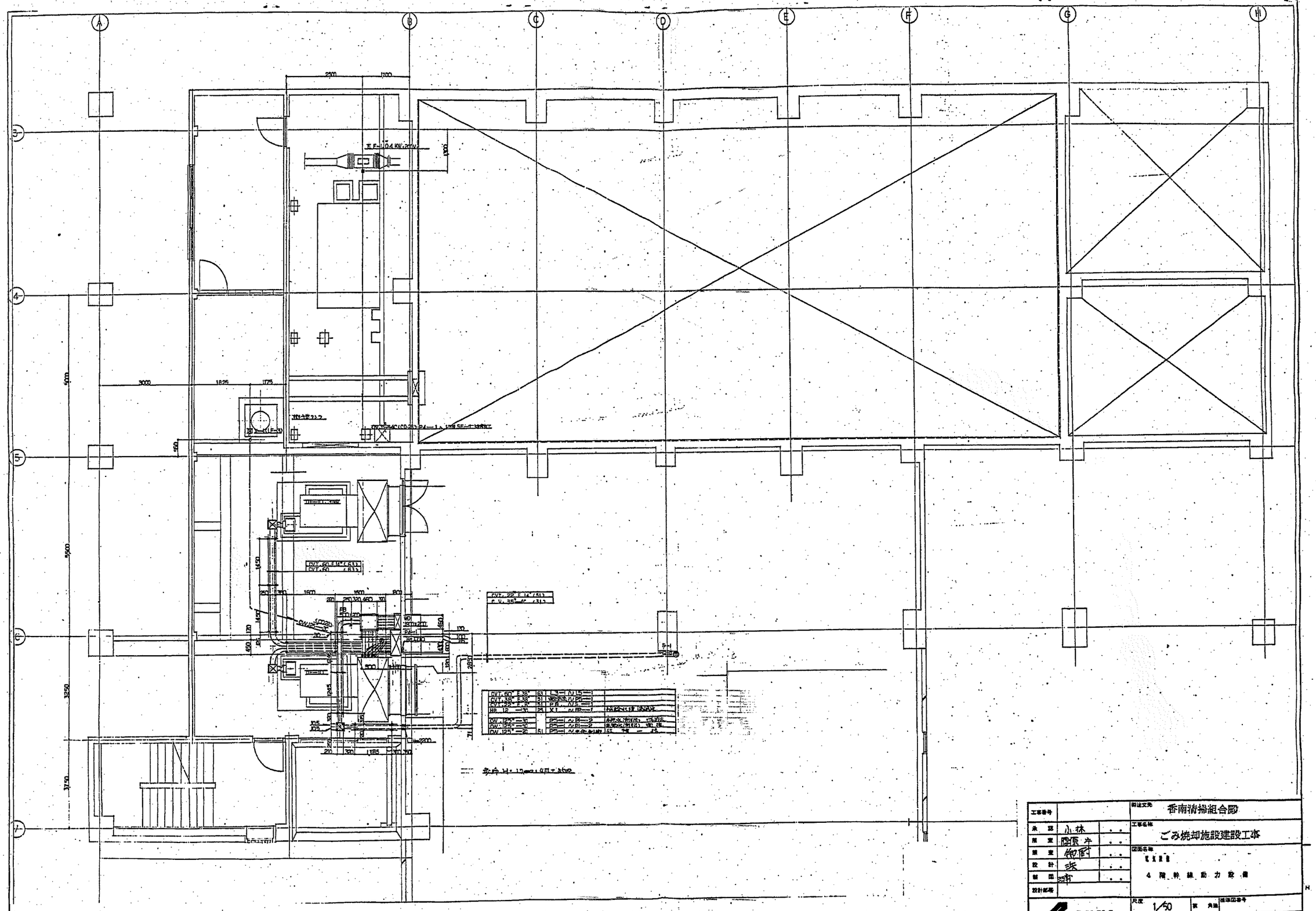


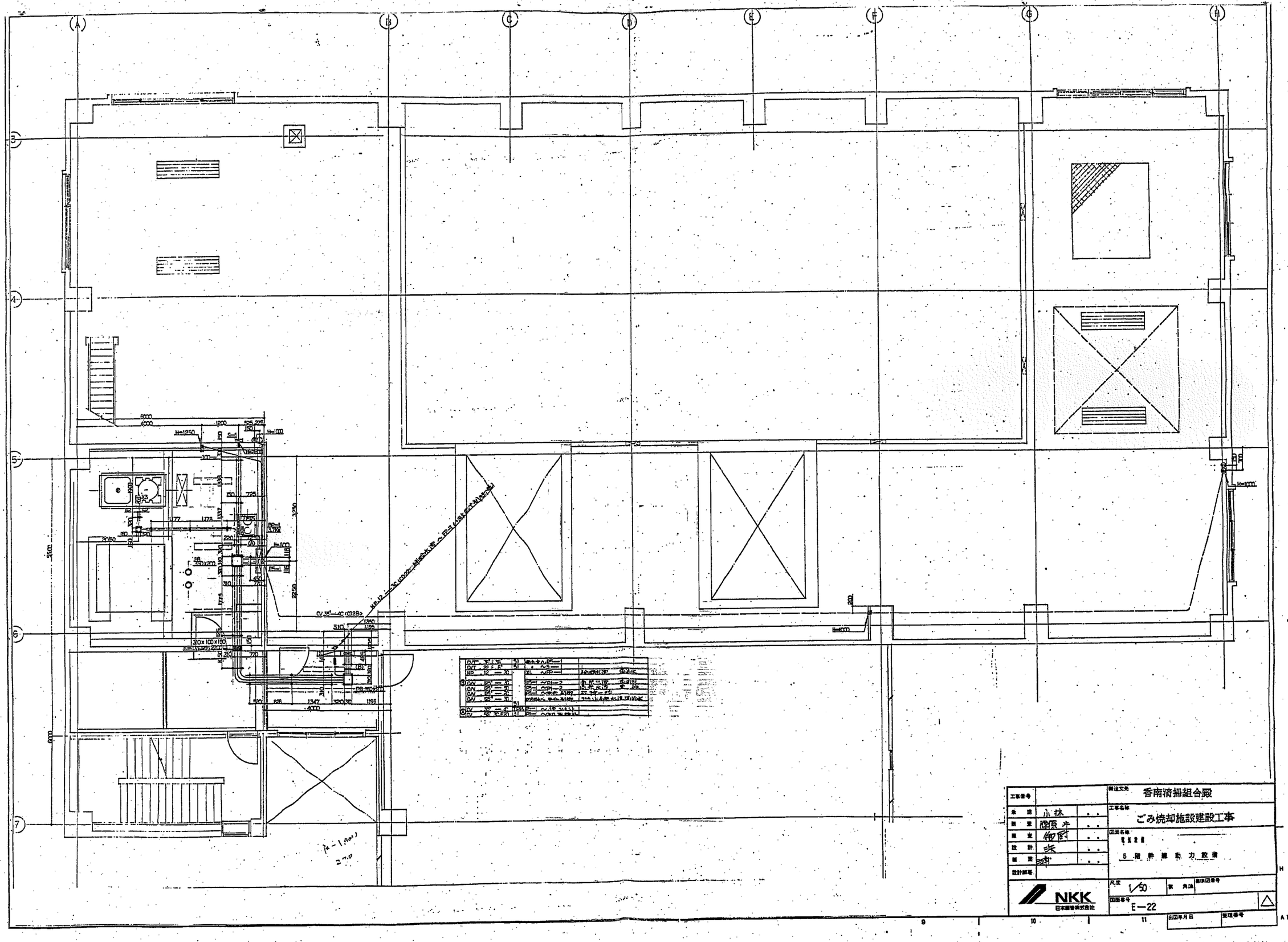
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原	図面名称	3 階 軸 線 動 力 設 備 (1)
照査	御厨		
設計	浜		
製図	浦		
設計部署		尺度	1/50
		図面番号	E-19

NKK 日本鋼管株式会社



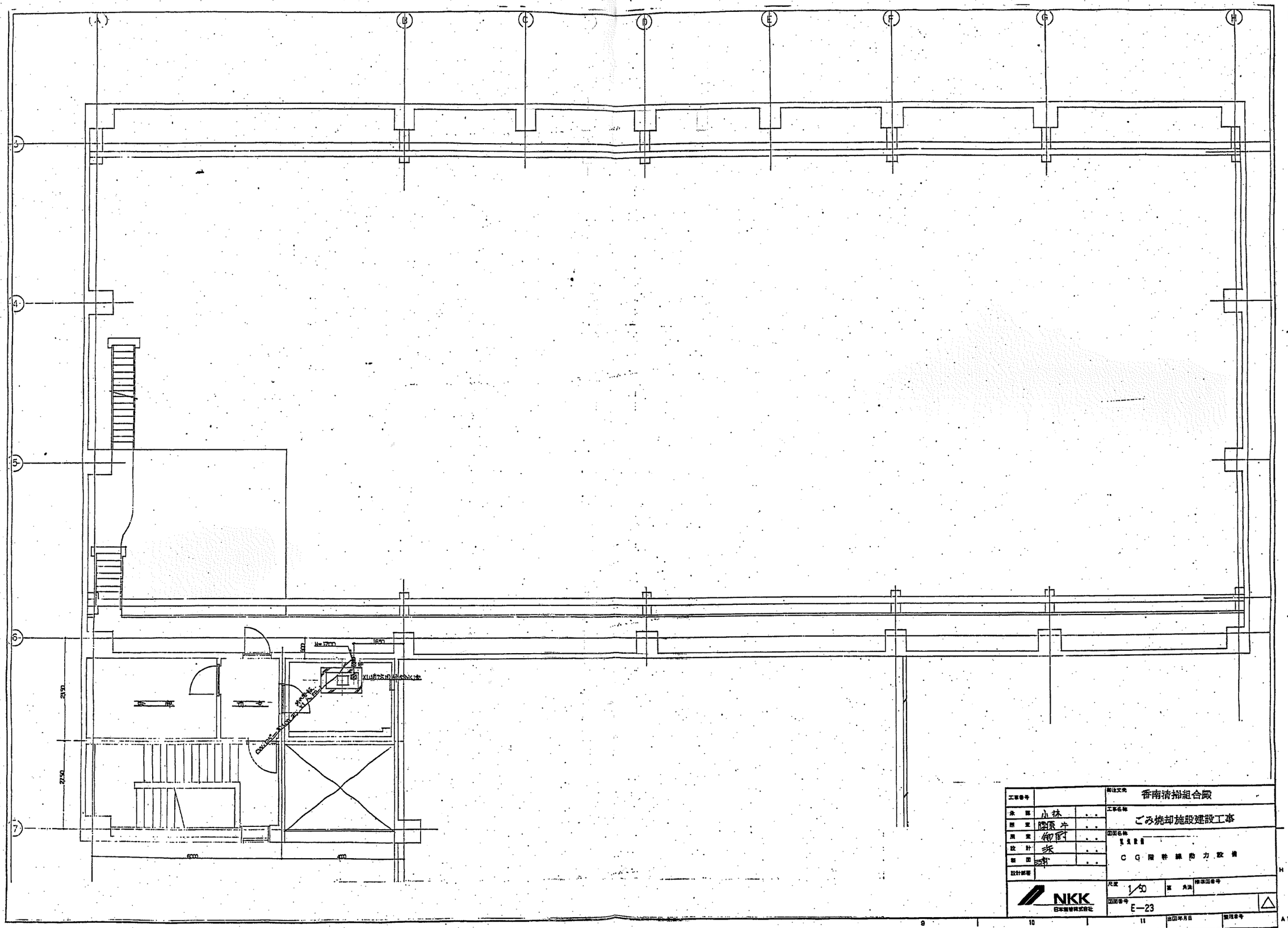
工事番号		郵送文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
調査	藤原 牛	図面名称	3階幹線動力設備（2）
所査	御厨		
設計	浜		
製図	瀬		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	原 角油 / 標準図番号
		図面番号 E-20	
		出図年月日	整理番号


A
B
C
D
E
F
G
H
3
4
5
6
7
9
10
11
2500
1700
3000
1825
1775
5000
9500
3250
3750
1450
1600
1500
800
2800
1185
EF-1.0.4 KW
CVT-60
CVT-38
CVT-22
CVT-125
HB-12
DV-125
DV-150
DV-200
L3
L2
L1
P8
V1
V2
V3
51
91
101
151
201
251
301
351
401
451
501
551
601
651
701
751
801
851
901
951
1001
1051
1101
1151
1201
1251
1301
1351
1401
1451
1501
1551
1601
1651
1701
1751
1801
1851
1901
1951
2001
2051



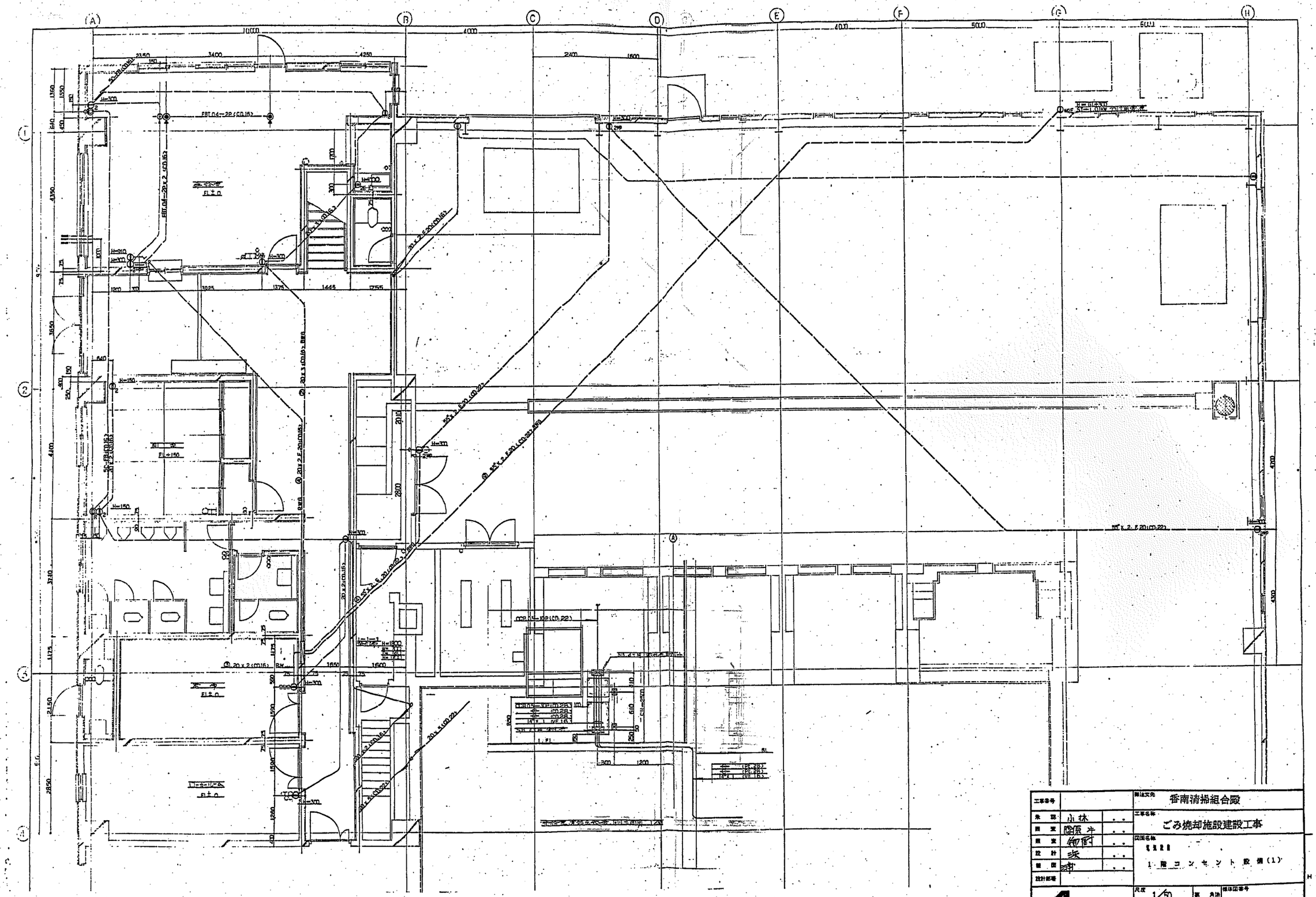
CVT 35°-3C	5	電力ケーブル	PS-1	
CVT 22°-8C	5	〃	〃S-1	
HP 12-30		XL	〃FP-1	自動火災 [illegible]
CV 125°-30		PS-1	〃PI-2	自動火災 [illegible]
CV 125°-50		PS-1	〃PI-2	自動火災 [illegible]
CV 125°-40		PS-1	〃[illegible]	[illegible]
CV 125°-30	5	[illegible]	[illegible]	[illegible]
CV 35°-4C	5	PS-1	〃[illegible]	
CV 55°-3C	5	PS-1	〃[illegible]	

工事番号		関連文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
担当	鶴原		
限定	御厨	図面名称	電気設備 5階幹線動力設備
設計	浜		
製図	[illegible]		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	第 角法
		図面番号 E-22	
		出図年月日	整理番号

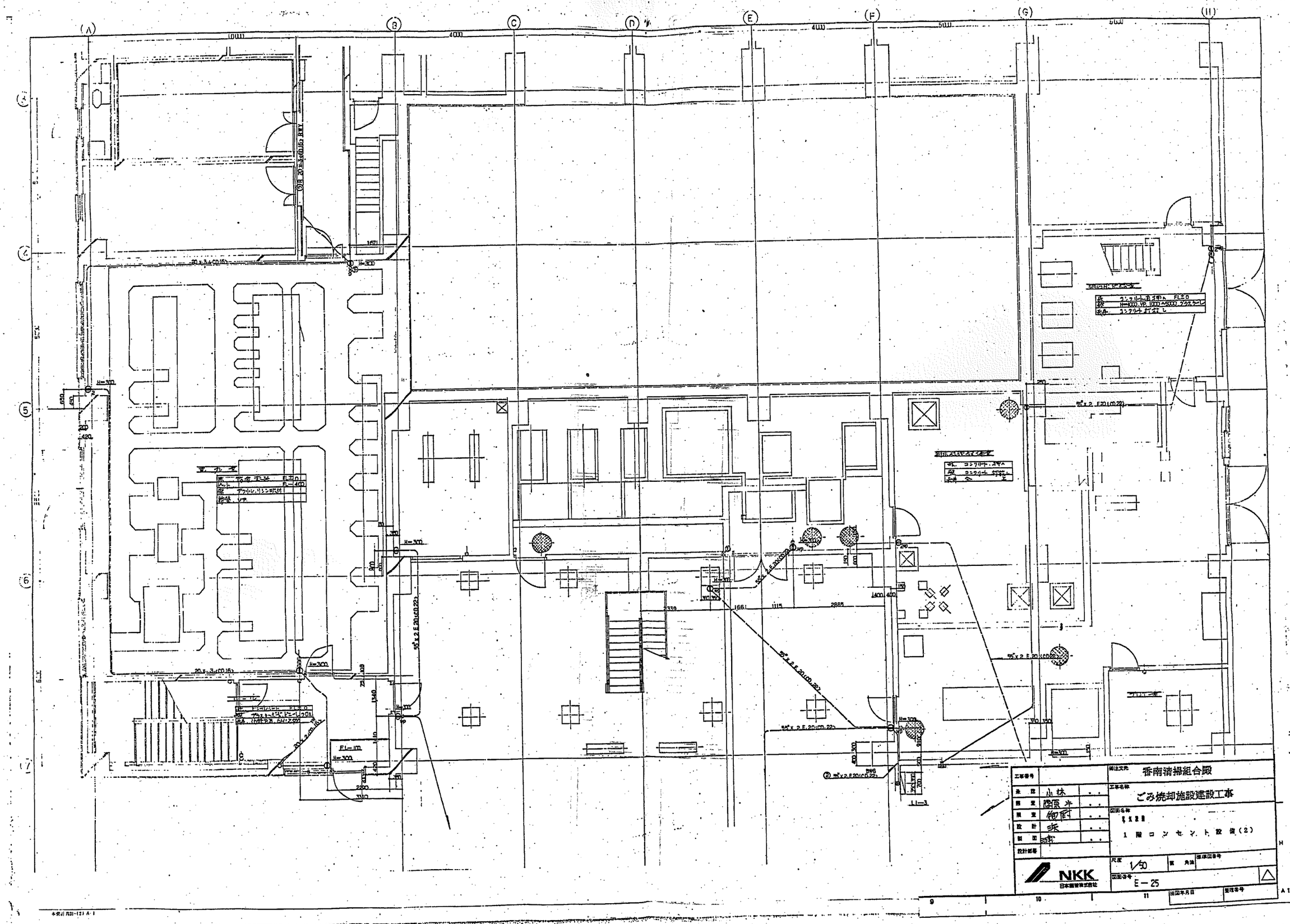


工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原 牛		
展査	御厨	図面名称	電気設備
設計	浜		C G 階幹線動力設備
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	寄角法 / 標準図番号
		図面番号 E-23	
		出図年月日	整理番号

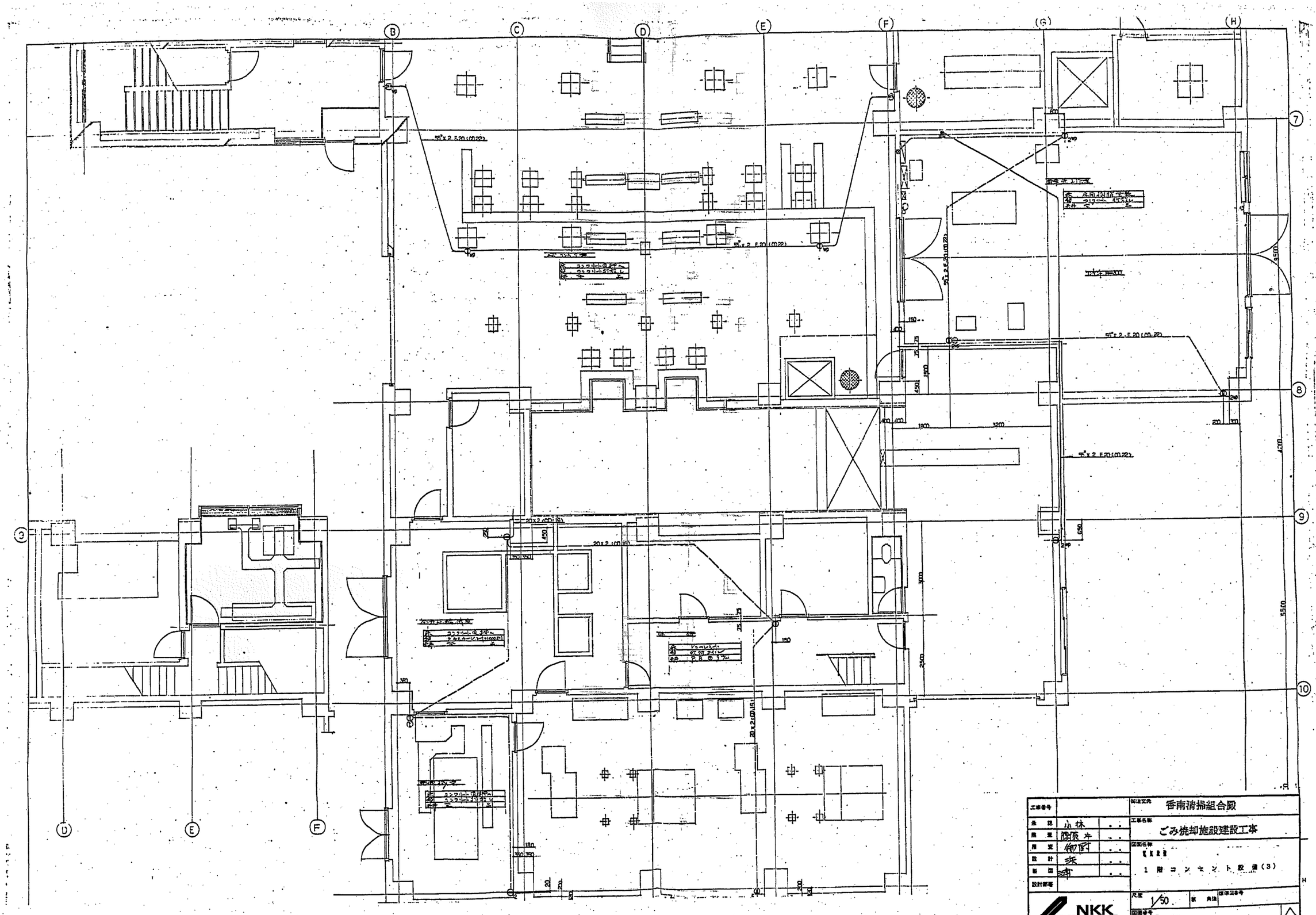
A1



工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面	隠原	図面名称	1階コンセント設備(1)
照査	御厨		
設計	浜		
製図	津		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	図面番号 E-24
		出図年月日	整理番号

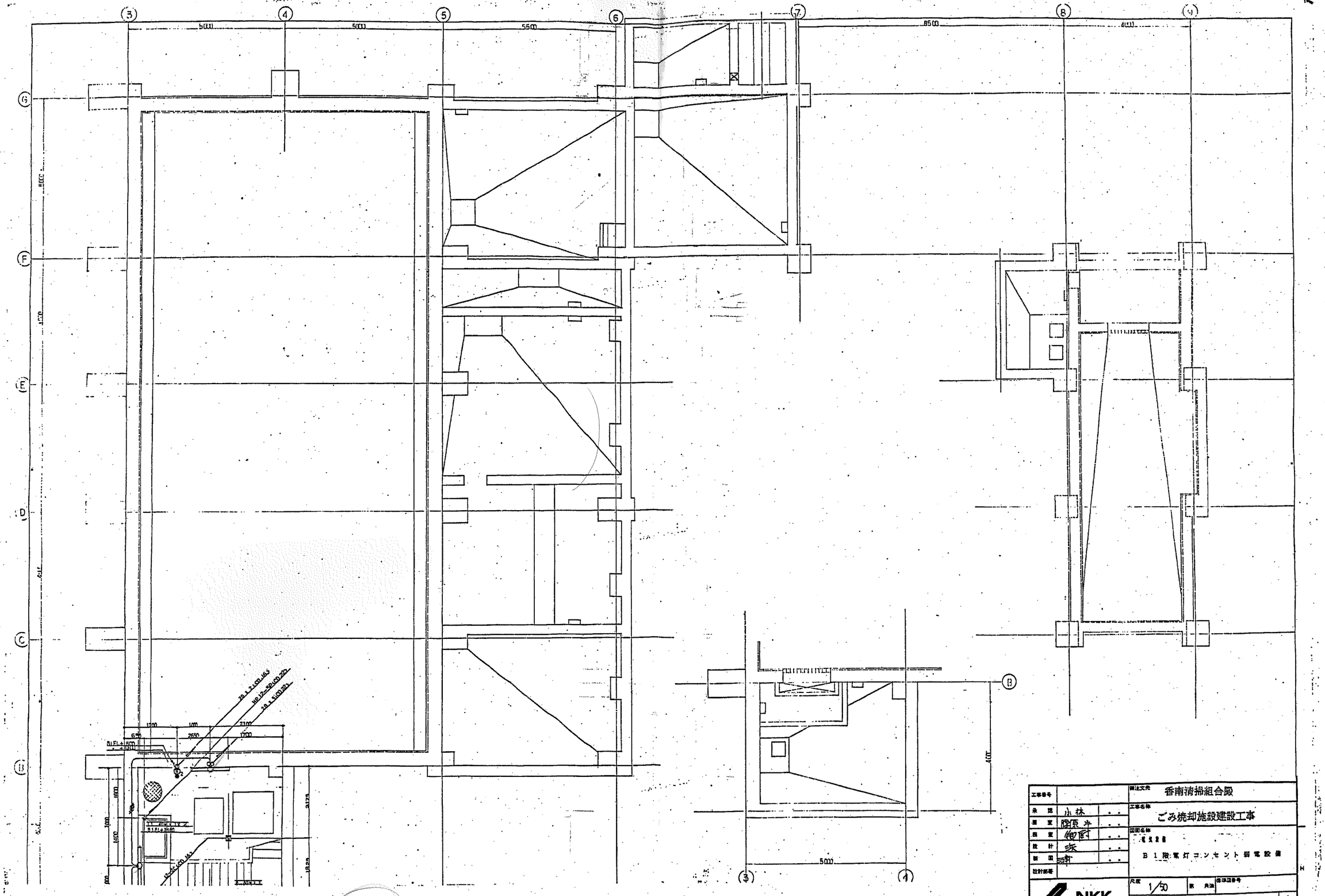


香南清掃組合殿
ごみ焼却施設建設工事
1階コンセント設備(2)
1/50
E－25
NKK
日本鋼管株式会社



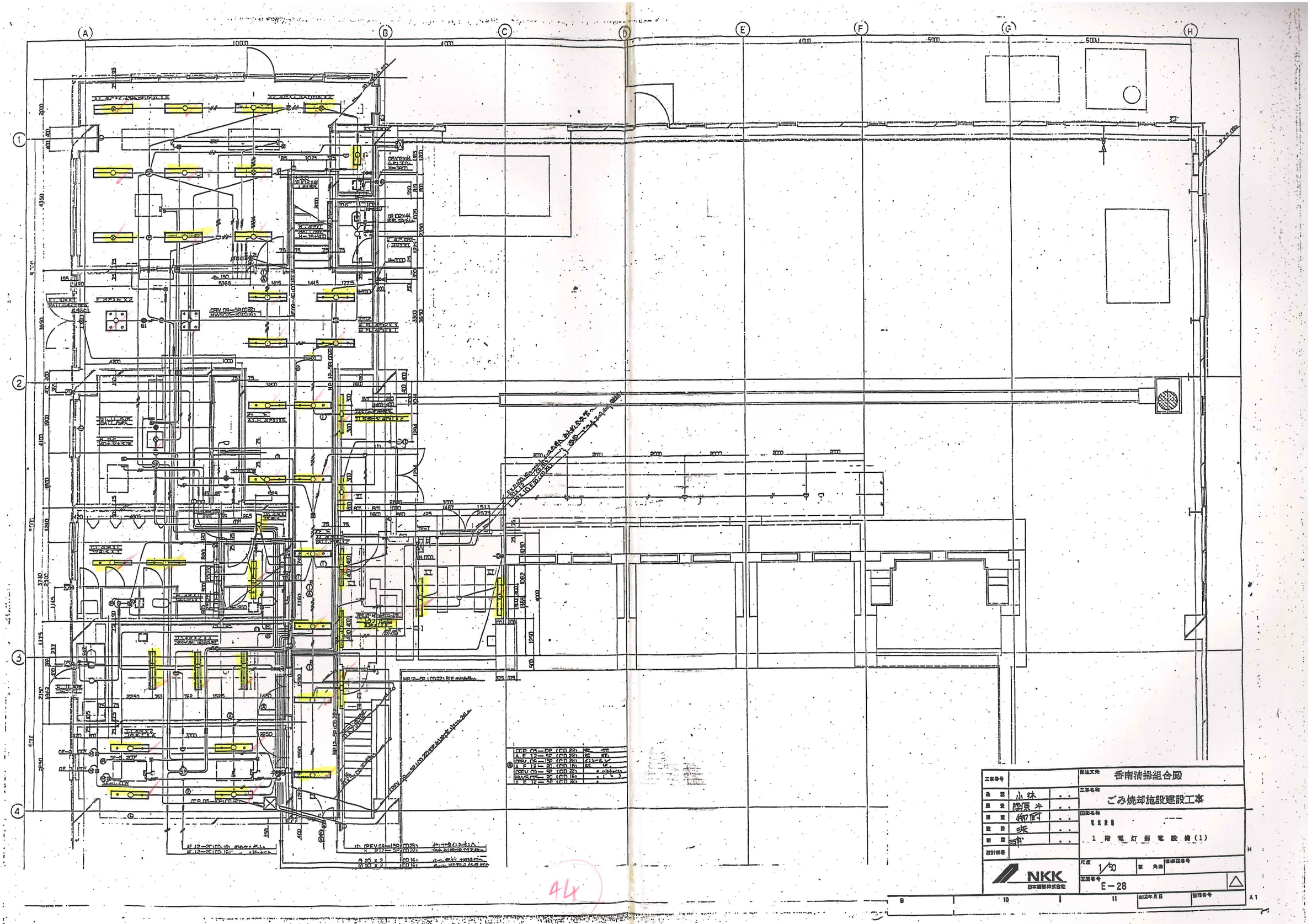
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	関原		
用査	御厨	図面名称	1階コンセント設備(3)
設計	浜		
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	新 角法 / 標準図番号
		図面番号 E−26	
		出図年月日	整理番号

A1



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
監督	隅原	図面名称	電気設備 B1階電灯コンセント弱電設備
担当	御厨		
設計	浜		
製図	浦		
設計部番		尺度	1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	E-27
		出図年月日	
		整理番号	

2

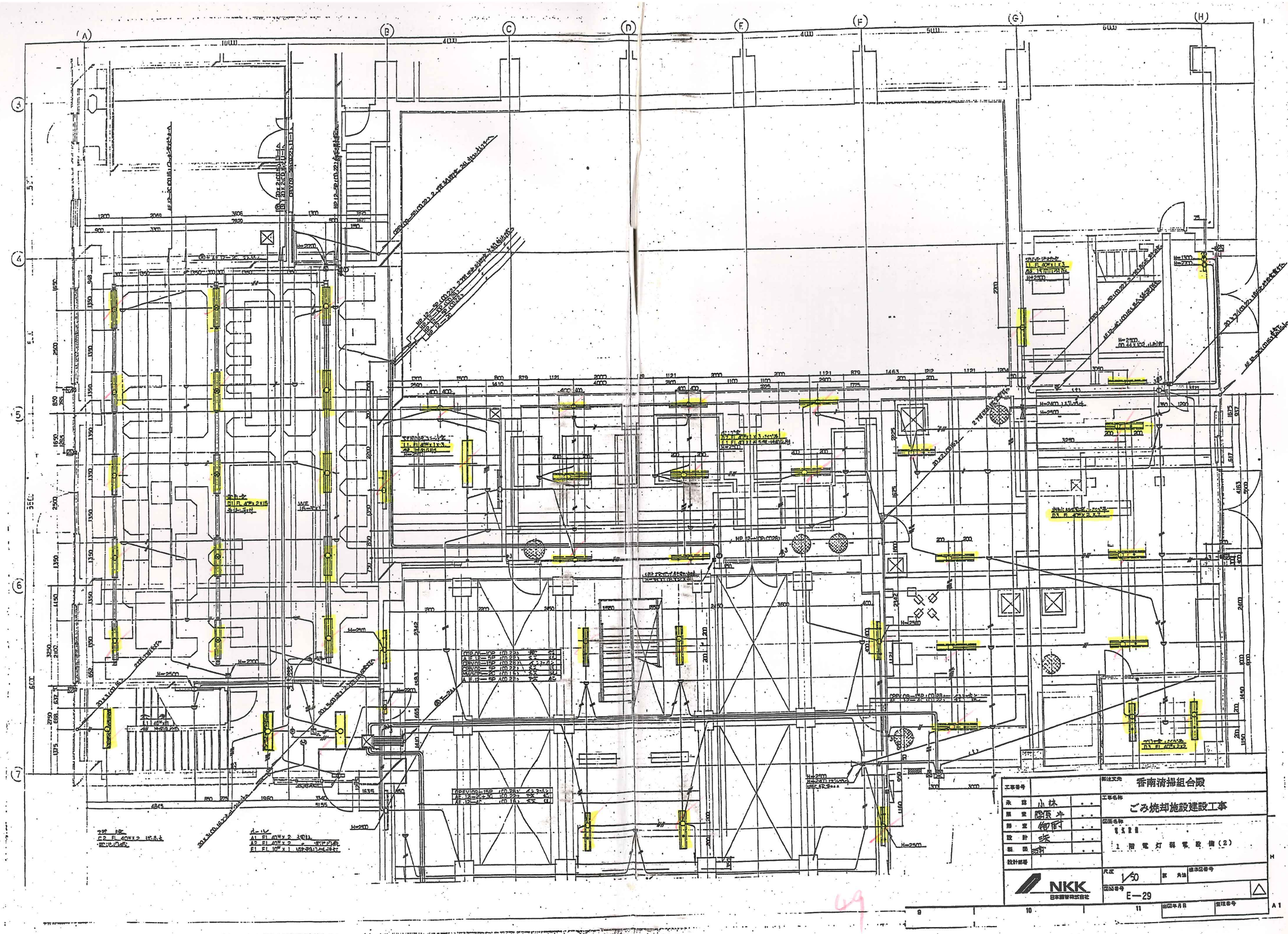


工事番号		
承認	小林	
照査	隠原	
照査	御厨	
設計	浜	
製図	浦	
設計部番		

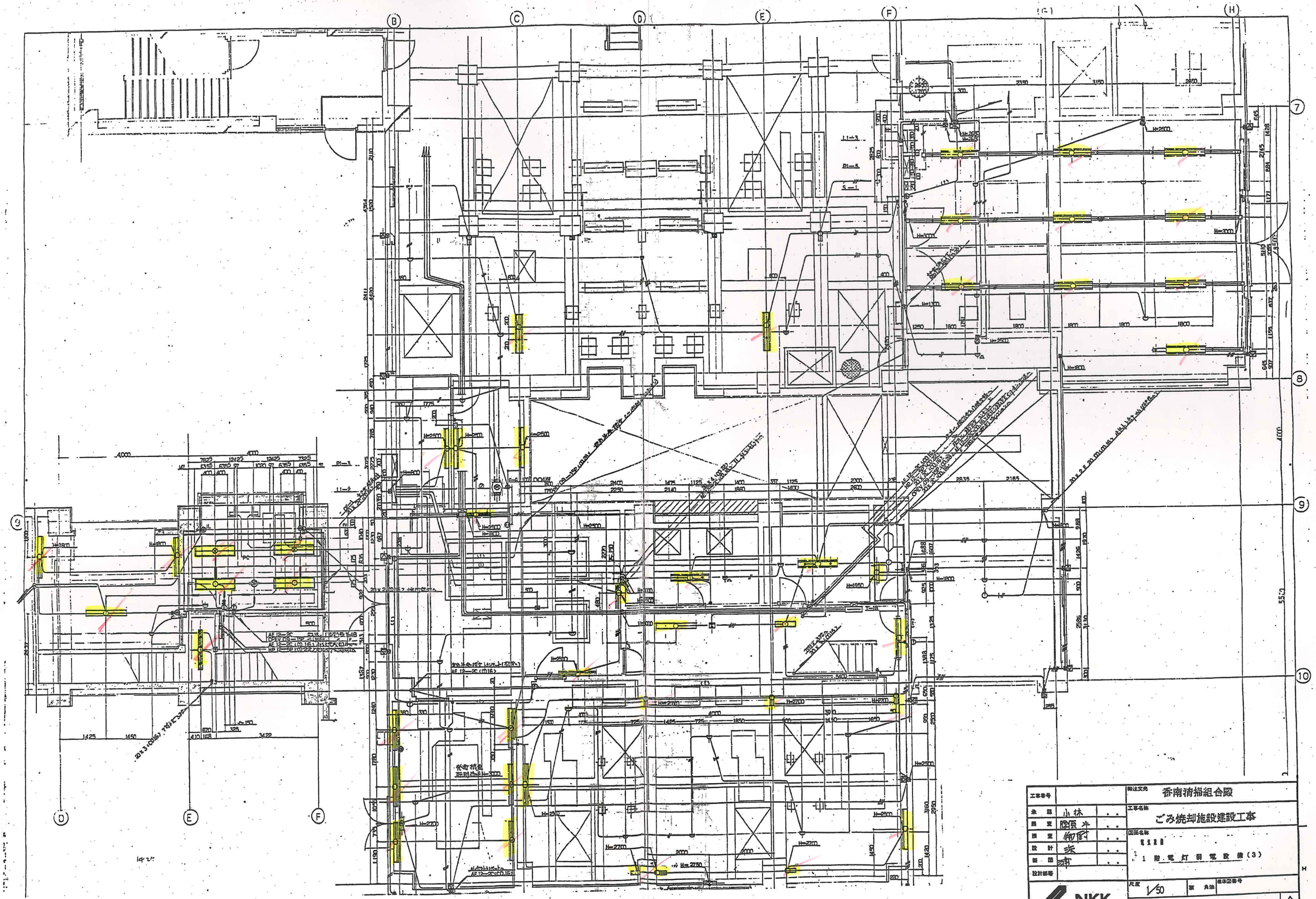
御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	電気設備 1階電灯弱電設備(1)
尺度	1/50
図面番号	E-28

NKK 日本鋼管株式会社

44



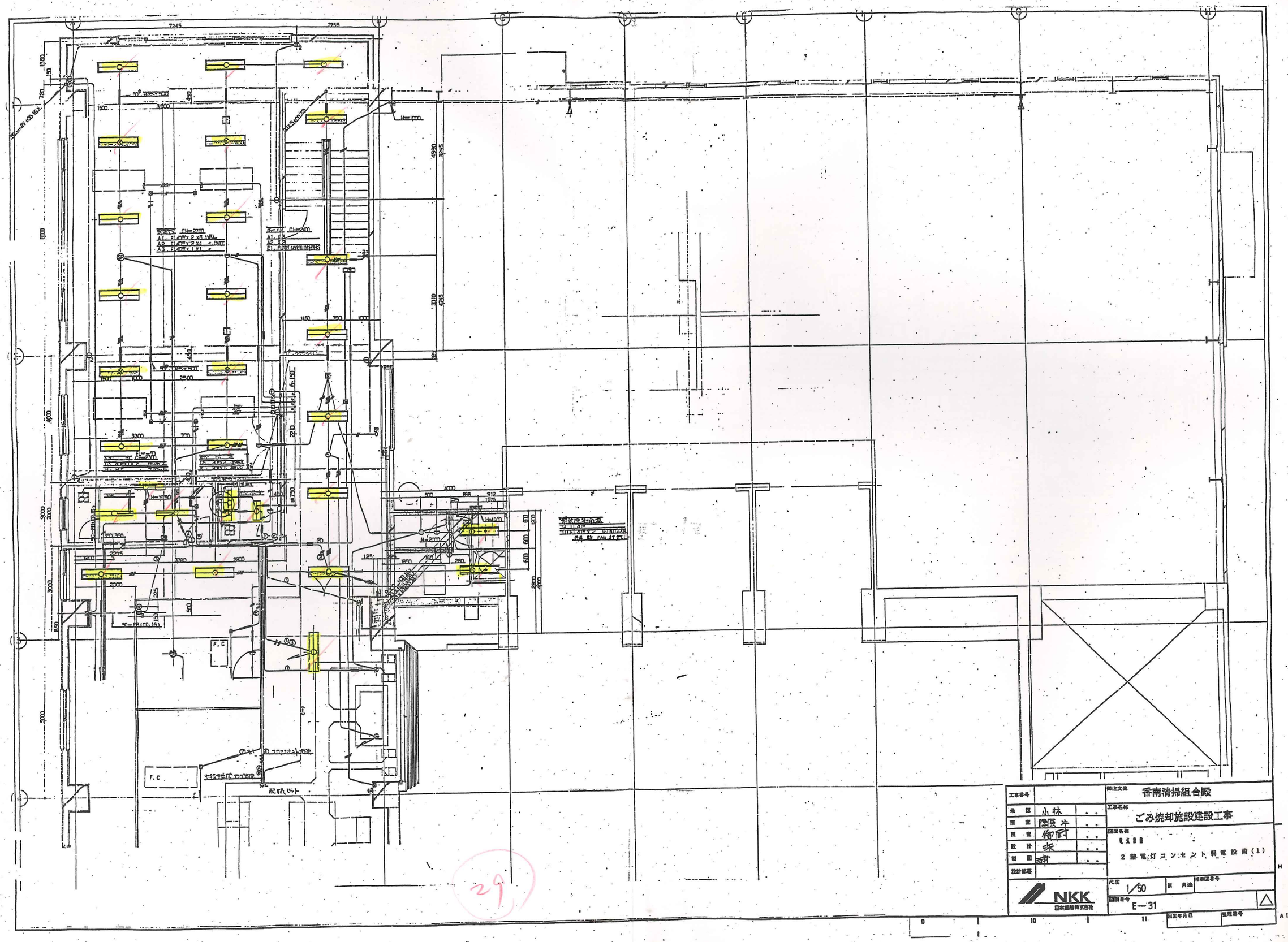
香南清掃組合殿
ごみ焼却施設建設工事
1階電灯弱電設備(2)
1/50
E—29
NKK
日本鋼管株式会社



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隆原		
照査	御厨	図面名称	電気設備 1階電灯弱電設備(3)
設計	浜		
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	新 角法
		図面番号 E−30	
		出図年月日	整理番号

A1

(44)



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠原		
照査	御厨	図面名称	電気設備
設計	浜		2階電灯コンセント弱電設備(1)
製図	浦		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/50
		図面番号	E—31
		出図年月日	
		管理番号	

29

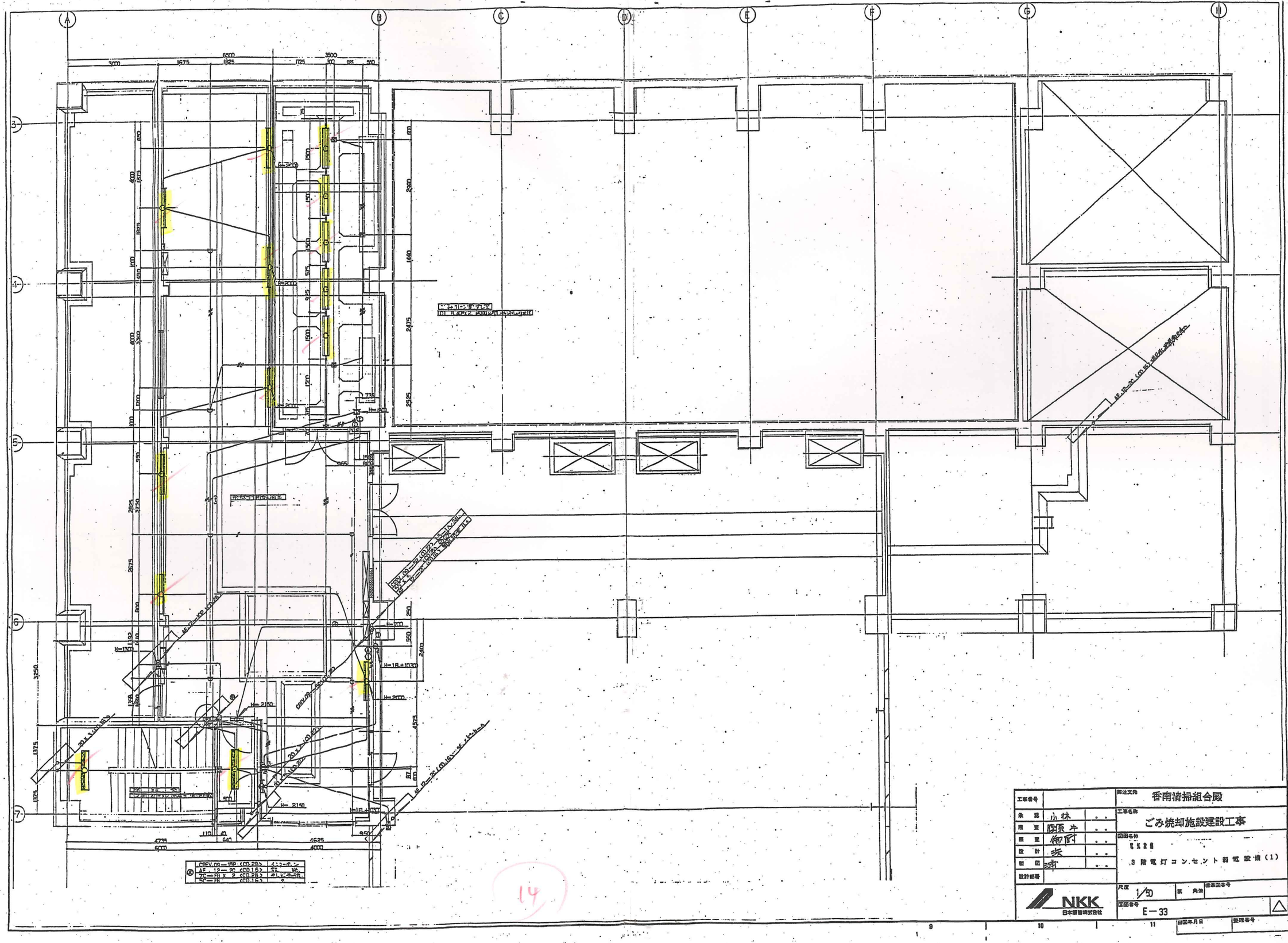
Ⓐ	HP.12—5P	(CD.22)	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(現場)
	HP.12—5P	(CD.23)	ｺﾝｾﾝﾄ(ﾀﾝﾃﾞﾑ)
	HP.12—5P	(CD.28)	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(ﾎﾞﾝﾄﾞ)
	HP.12—5P	(CD.22)	ﾃｰﾌﾞﾙﾀｯﾌﾟ
	VVF.2—2C	(CD.22)	架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁ﾋﾞﾆﾙｼｰｽ
	HP.12—5P	(CD.29)	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ
Ⓑ	HP.12—10P	(CD.29)	ﾄﾞﾗｲﾔｰ
	HP.12—5P	(CD.22)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ

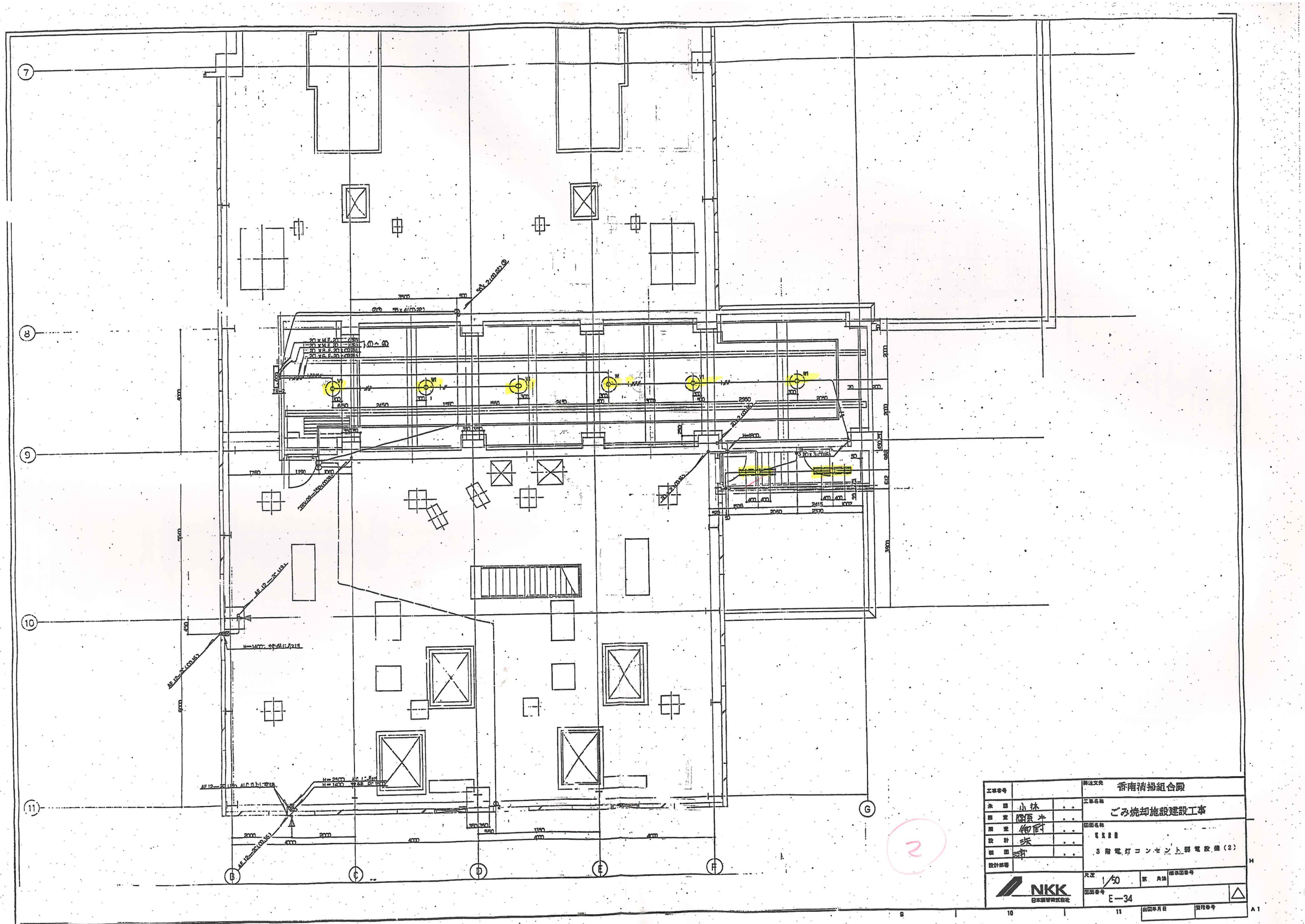
Ⓒ	CPEV.09—15P	(CD.28)	ｲﾝﾃｰﾎﾝ
	A E.12—3C	(CD.16)	ｱｰｽ線
	7C—FB×2	(CD.28)	ｼｰﾘﾝｸﾞﾋﾞﾆﾙ
	5C—FB	(CD.16)	ﾋﾞﾆﾙ
Ⓓ	CPEV.09—15P	(CD.23)	ｲﾝﾃｰﾎﾝ
	A E.12—3C	(CD.16)	ｱｰｽ線
	20×2 E.20	(CD.16)	ﾎﾙﾚｽ鉄帯
	A ——5P	(CD.22)	ｱｰｽ線 ﾋﾞﾆﾙ
Ⓔ	A E.12—3C	(CD.16)	ｱｰｽ線
	CPEV 09—5P	(CD.23)	ﾘﾓｺﾝ ﾓｰﾀｰ
	MWS-075—2C	(CD.16)	ﾓｰﾀｰ
	A E.12—2C	(CD.22)	ｱｰｽ線
Ⓕ	CPEV 09—5P	(CD.22)	ﾘﾓｺﾝ ﾓｰﾀｰ
	A E.12—5C	(CD.22)	ｱｰｽ線 ﾋﾞﾆﾙ
	CPEV.09—15P	(CD.28)	ｲﾝﾃｰﾎﾝ
	CPEV.09—5P	(CD.23)	ﾘﾓｺﾝ ﾓｰﾀｰ
	MWS 075—2C	(CD.16)	ﾓｰﾀｰ

工事番号		関連文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	関原	図面名称	2階電灯コンセント弱電設備(2)
監督	柳田		
設計	米		
製図	神		
設計部署		尺度	1/50
		図面番号	E—32
		出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

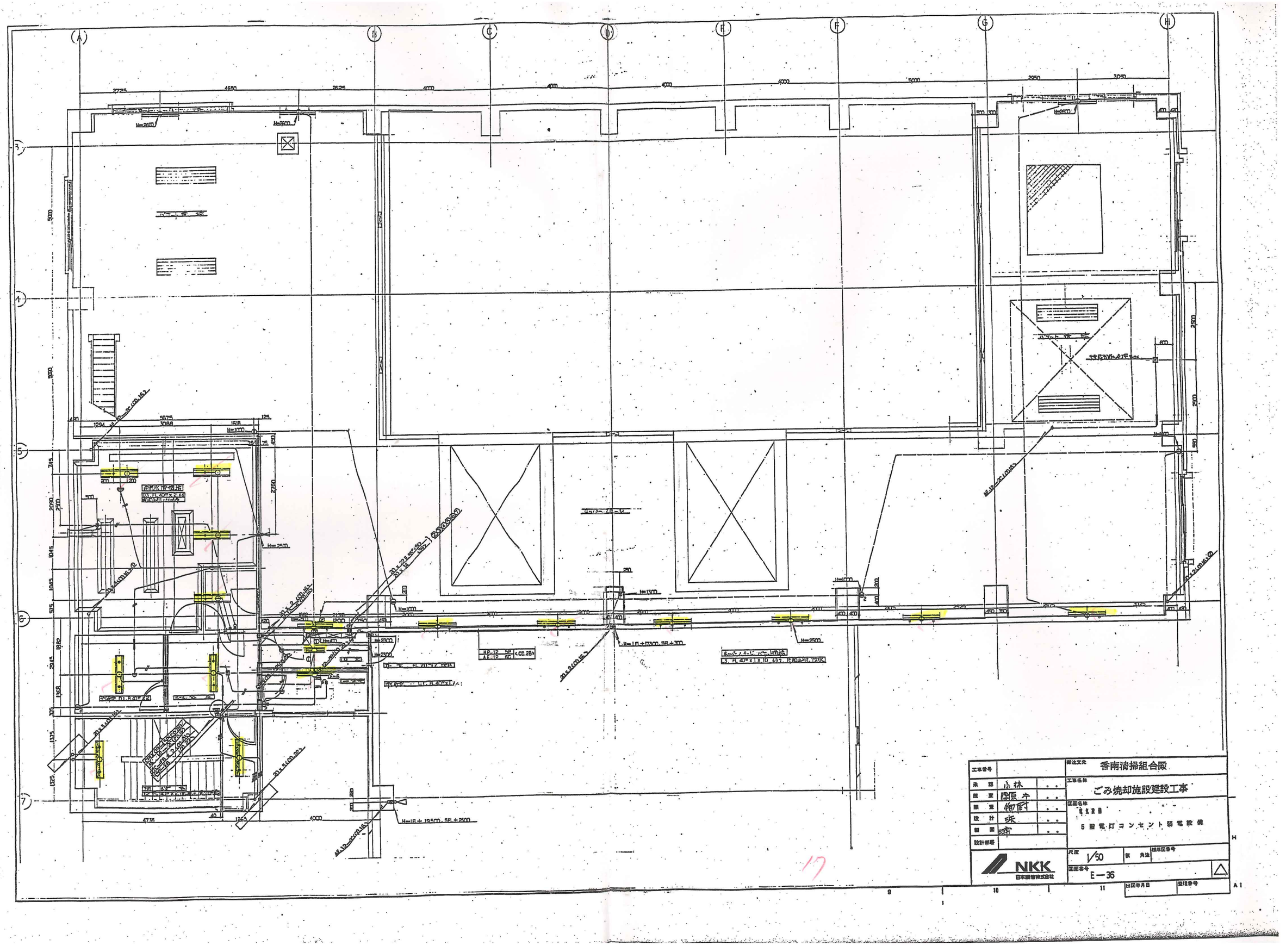
46

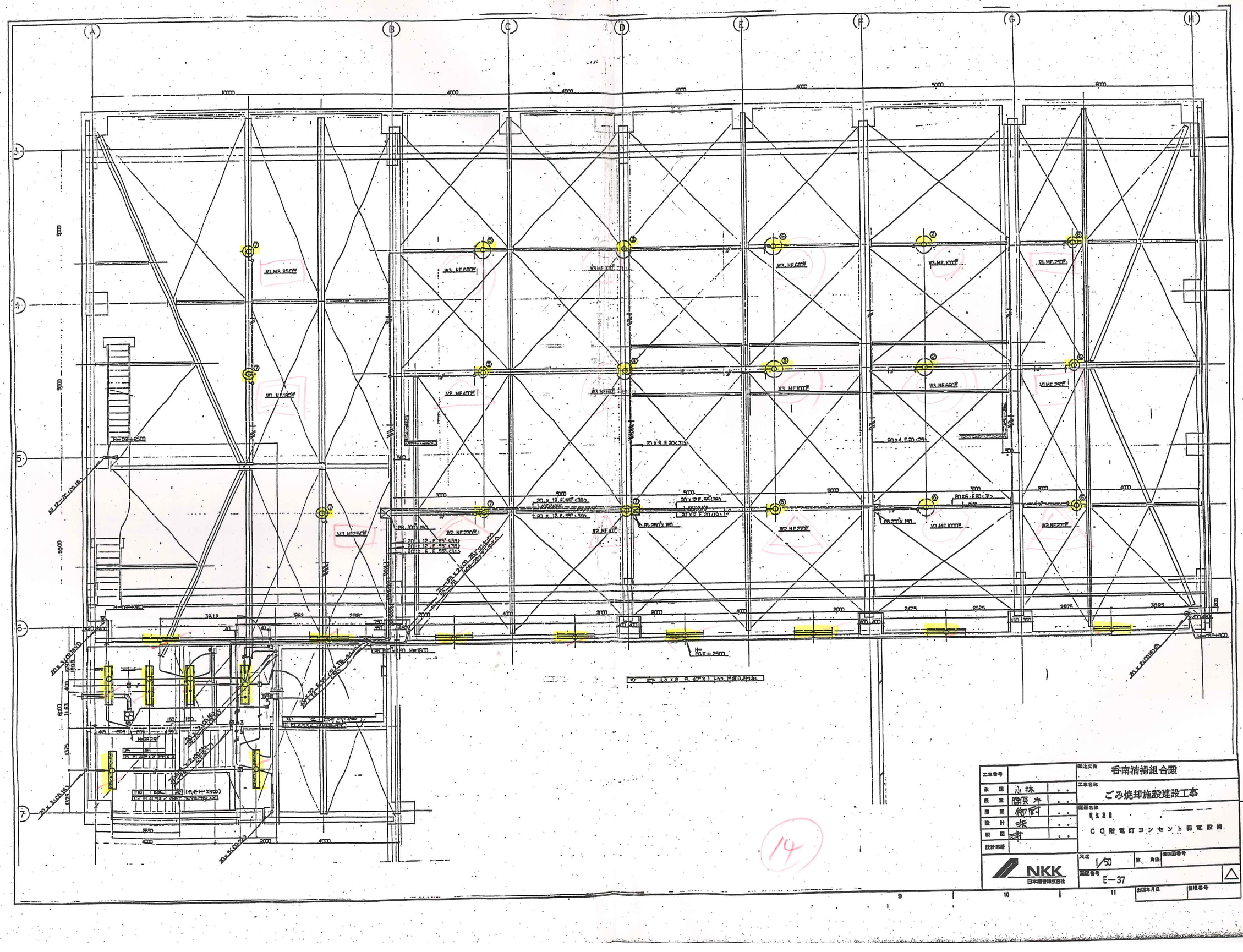

A
B
C
D
E
F
G
H
3
4
5
6
7
9
10
11
6500
3500
1675
1825
1725
300
925
300
2925
2675
2475
2325
1400
2600
2400
4575
3250
1375
1375
4525
4000
640
110
40
950
H=2150
H=2000
H=18+1030
H=18+1130
H=18+1130
H=2150
H=2150
H=2150

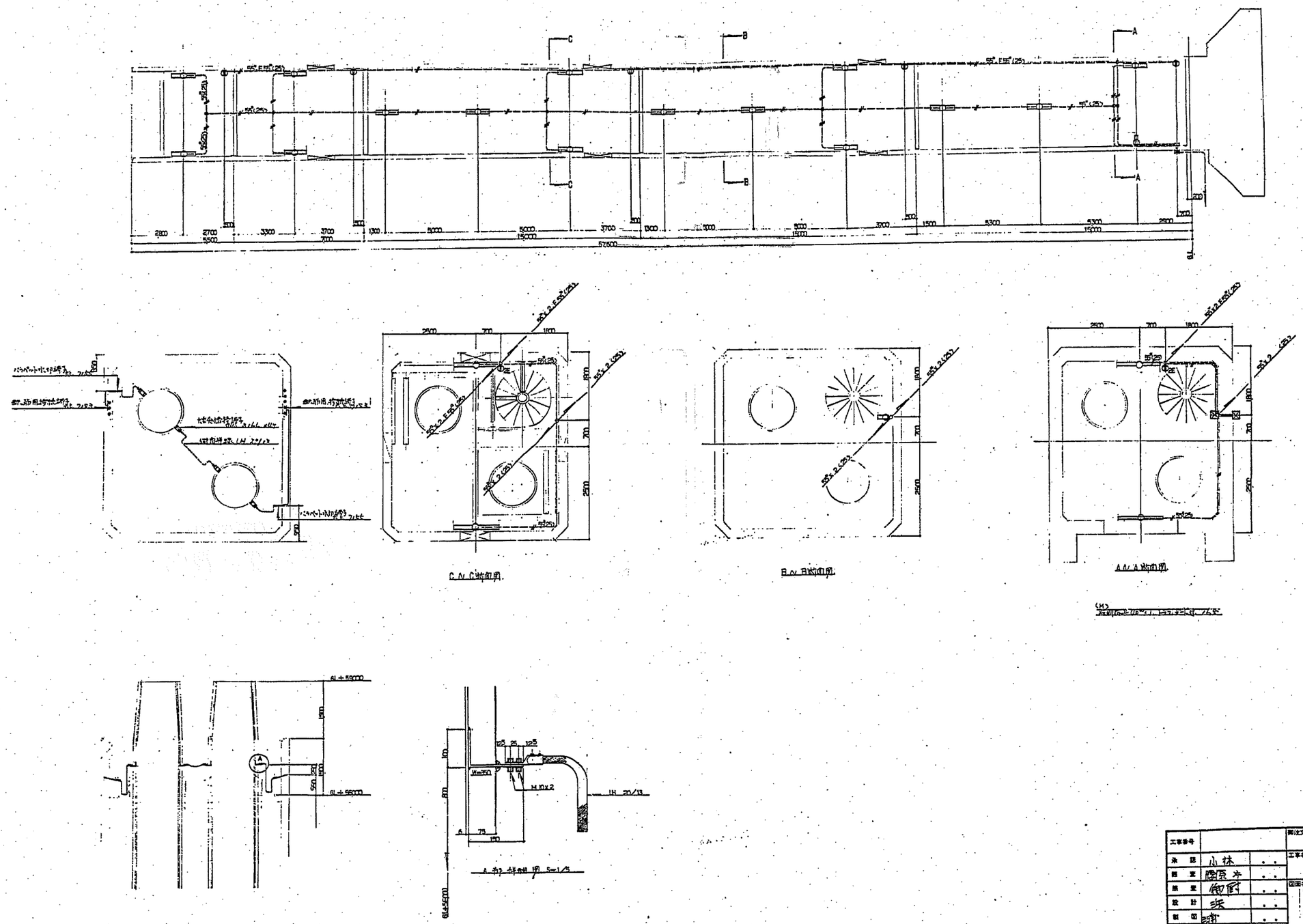


工事番号		発注先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
担当	関原	図面名称	電気設備 3階電灯コンセント関電設備(2)
照査	御厨		
設計	柴		
製図	神		
設計部署		尺度	1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	E-34
		出図年月日	
		整理番号	

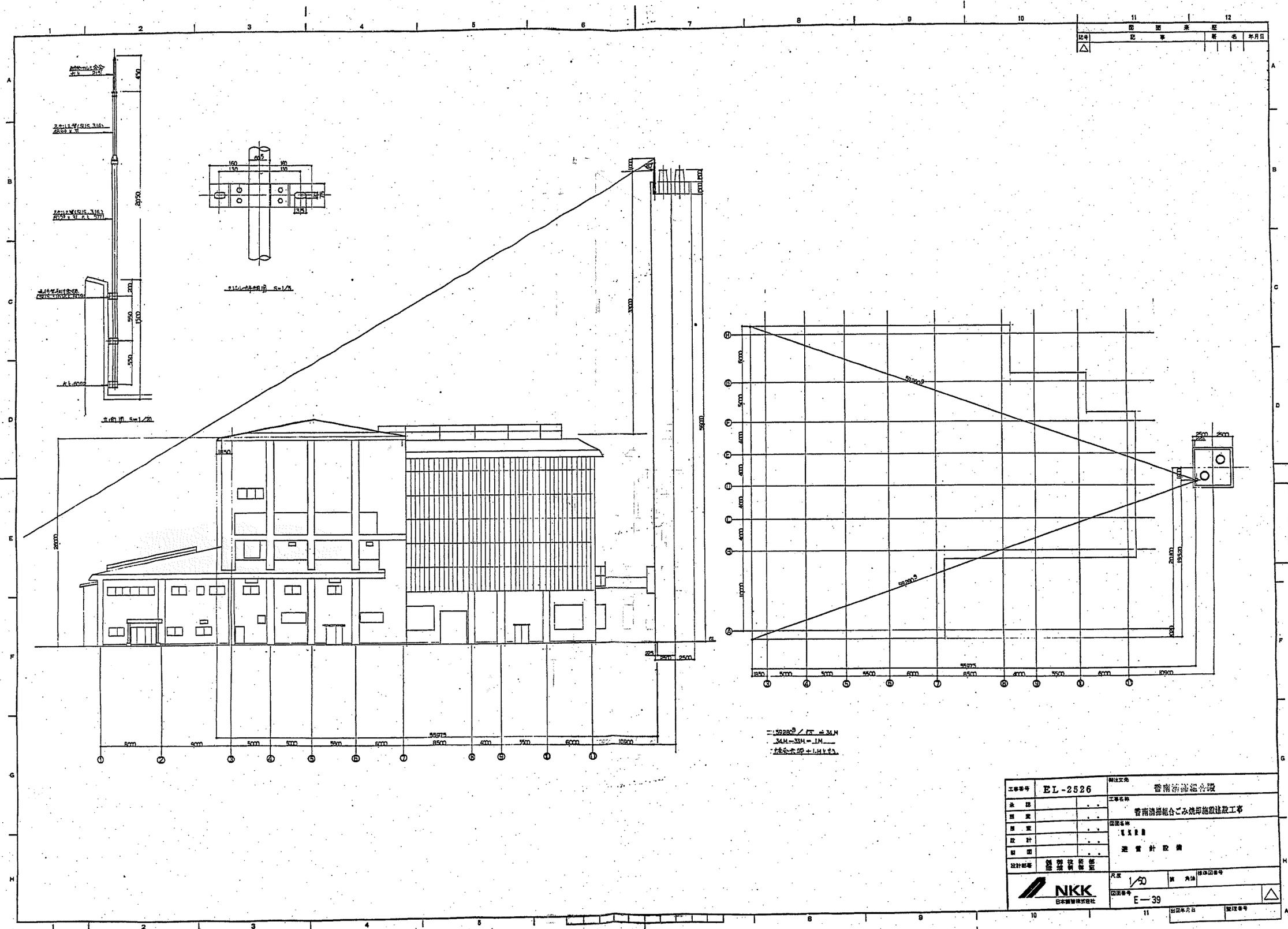
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
監督	岡原	図面名称	4階電灯コンセント弱電設備
監督	御厨		
設計	坂		
製図	津		
設計部署		尺度	1/50
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	E-35
		出図年月日	
		管理番号	


(A)
(B)
(C)
(D)
(E)
(F)
(G)
(H)
(1)
(2)
(5)
(6)
(7)
2725
4550
2625
4000
4000
4000
4000
5000
2850
3050
9000
5000
2500
2500
5675
3088
1618
1294
430
125
450
715
2090
2570
2760
1045
1045
575
1882
2945
1368
375
1375
1375
4735
40
1263
4000
H=2500
H=1000
H=1300
H=1700
H=1500
H=2300
H=2500
H=1500
H=1700
H=2500
H=1500
H=2500
H=1500
H=2500
H=1500


(A)
(B)
(C)
(D)
(E)
(F)
(G)
(H)
5
4
5
6
7
10000
4000
4000
4000
6000
5000
6000
V1 MF 250W
W3 NF 660W
W3 NF 1000W
W1 NF 180W
W2 NF 400W
W2 NF 270W
W3 NF 660W
V1 MF 250W
W3 NF 1000W
W3 NF 660W
V1 MF 250W
V1 MF 250W
W2 NF 270W
W2 NF 270W
W2 NF 270W
V3 MF 1000W
W2 NF 270W
20 x 12 F 55 (39)
20 x 12 F 55 (39)
20 x 12 F 55 (39)
20 x 6 F 20 (31)
20 x 2 F 20 (19)
20 x 4 F 20 (25)
PR 250 x 150
PR 200 x 150
PR 250 x 150
PR 200 x 150
H=GL+2500
H=GL+2500
H=GL+2500



工事番号		関注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図案	隠原	図面名称	電気設備
照案	御厨		照突電灯コンセント設備
設計	浜		
製図	渡		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/50
		図面番号	E—38
		出図年月日	
		整理番号	



工事番号	EL-2526	御注文先	香南清掃組合殿
承認		工事名称	香南清掃組合ごみ焼却施設建設工事
照査		図面名称	電気設備
照査			避雷針設備
設計			
製図			
設計部署	創造技術部 環境技術部	尺度	1/50
		図面番号	E—39

NKK 日本鋼管株式会社

機械設備工事特記仕様書

1. 工事概要

①工事名称 [illegible]

②工事場所 [illegible]

③建物概要 (○印を付けたものを適用する。)

1. 建物用途 [illegible]

2. 構造 ○RC・○SRC・○その他[ ]

3. 階数 ○地下[1]階・○地上[6]階・○塔屋[ ]階

4. 面積 ○延床面積[3929]M^2・○敷地面積[ ]M^2

5. 法的区分 ○消防法[15]項-[ ]

6. 工期 自 平成[ ]年[ ]月～至 平成[ ]年[ ]月

④工事種目 ([ ]内に数字を付したもの及び○印を付したものを適用する。)

[1] 空気調和設備工事

[1] 熱源機器設備工事
[2] 空気調和機器設備工事
[3] 風 導設備工事
[4] 配 管設備工事
[ ] 給 油設備工事
[5] 換 気設備工事
[ ] 自動制御設備工事
[ ] 排 煙設備工事
[ ] 設備工事

[2] 給排水衛生設備工事

[1] 給 水設備工事…○屋外給水設備/○屋内給水設備
[2] 排 水設備工事…○屋外排水設備/○屋内排水設備
[3] 給 湯設備工事
[4] 衛生器具設備工事
[5] ガ ス設備工事
[6] 消 火設備工事…○屋外消火栓設備/○屋内消火栓設備
…○連結送水管設備/○連結散水 設備
…○スプリンクラー消火設備○泡消火 設備
…○炭酸ガス消火設備○粉末消火設備
…○ハロゲン化物消火設備
[7] し尿浄化槽 設備工事
[ ] 厨房機器 設備工事
[ ] 焼却炉 設備工事
[ ] さく井 設備工事
[ ] 特殊排水 設備工事
[ ] プール・環水 設備工事
[ ] 医療用ガス 設備工事
[8] 中央薬庫 設備工事
[ ]

2. 共通仕様

①共通仕様 (○印を付したものを適用する。)

1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、[illegible] 共通仕様書(最新版 以下〔共通仕様書〕とよぶ。)又は監督員の指示による。
[illegible]はメーカー標準品とする

2. 本仕様中、監督員とは監理技師または代理者をいう。

3. 本工事に関係ある法令、条例および規則等は、これを遵守し必要ある届出、手続等は請負者がこれを代行する。これに要する費用はすべて請負者の負担とする。

4. 設計図書の記載内容に相違ある場合、または疑義を生じた場合は監督員と協議のうえこれを決定する。また現場のおさまり、取合い等の関係で機器および材料の取付位置、または取付工法を多少変える等の軽微な変更は監督員の指示による。この場合請負金額は増減しない。

5. 機器および材料は指定メーカーリストに記載のある中より決定する。品質形状について日本工業規格、その他の規格に定めがあるときは、これらの規格による。

6. 現場代理人は着工に先立ち建築関係者および他の工事関係者と充分打合せのうえ、工程表および施工計画書を作成し監督員に提出し承諾を受ける。

7. 工事施工上必要な製作図、現場取付図、その他施工図等はあらかじめ監督員の承諾を受ける。機器および材料のうち、特に必要と認めたものは製作工場等において検査および試験を行い、その試験成績表を提出する。

8. 工事の進捗、作業者の就業、機器および材料の搬入、天候などの状況を示す報告書を監督員に提出する。

9. 工事が完了した時は、仮設物を取払い残材料の断片付けをし、清掃を行う。

[illegible]の[illegible]はないものとする。

11 余熱利用設備の中で温水タンク、温水循環ポンプは別途工事とする。
又、空気清浄装置設備に於いても同様に別途工事とする。

10. 工事完了後、各設備の機能その他の試験を行い、その試験成績表を提出する。またこの工事は、関係官公庁ならびに電力会社の行う検査および試験に合格することとする。

11. 工事竣工引渡しの際は次のものを監督員の指示にもとずき取り揃え提出する。

① 竣工図……原 図 1 部
陸面複写紙 [2] 部 (指定製本)
マイクロフィルム [○不要 ○要]
② 工事に関する許認可関係書類……[2] 部
③ 予備品、付属品および明細書……[3] 部
④ 主要機器製作図、取扱説明書……[3] 部
⑤ 各種試験成績表……[3] 部
⑥ 工程写真および完成写真……[2] 部
⑦ 機器保証書……[3] 部

[1] 給水設備工事

1. 給水方式…○水道直結式 ②高置、③圧力水槽式[○水量可変 ④水量一定]
2. 量水器……○親メーター[○買い取り ○貸与品]
○子メーター[○買い取り ○貸与品]
3. 図上 例……○水道業者指定品[○貸与品○買い取り] ○[ ]
4. 弁 類……③水道直結部分 [①JIS 10K ○JIS 5K]
②その他の部分 [○JIS 10K ③JIS 5K ○JIS 125]
5. 水 槽
①受水槽…○SUS ○鋼板 ③FRP[1槽 ○2槽]
呼称 [8]M^3、寸法 [2]×[2]×[2]H
耐震 [①2/3G ○1G ○]
[②単板 ○サンドイッチ] [③パネル型 ○一体型]
②高置水槽…○SUS ○鋼板 ③FRP[1槽 ○2槽]
呼称 [2^0]M^3、寸法 [2]×[1]×[1]H
耐震 [○2/3G ①1G ○]
[②単板 ○サンドイッチ] [③パネル型 ○一体型]
6. 集中検針……○有 [○3芯 ○5芯] ②無
7. 配管材料
1. 屋 内…○水道用鉛管 ○水道用亜鉛鍍鋼管
○ステンレス鋼鋼管[○SUS 304 ○SUS 316]
○ポリエチレンライニング鋼管[○PA ○PB ○PC]
○ビニル管[○VP ○耐熱 ○耐衝撃]
③ビニールライニング鋼管[③VA ○VB ○VC]
○ポリエチレン管 ○粉体ライニング管 ○[ ]
2. 屋外埋設…○水道用鋳鉄管 ○水道用鉛管 ○水道用亜鉛鍍鋼管
○ステンレス鋼鋼管[○SUS 304 ○SUS 316]
○ポリエチレンライニング鋼管[○PA ○PB ○PC]
○ビニル管[○VP ○耐熱 ○耐衝撃]
③ビニールライニング鋼管 [③VA ○VB ○VC]
○ポリエチレン管 ○粉体ライニング管 ○[ ]
8. 負担金……○別途工事
○本工事

[2] 排水設備工事

1. 排水方式…①建物内汚水と雑排水…[○合流 ②分流]
③建物外汚水と雑排水…[○合流 ③分流]
○ソベント方式
2. 放流先
①汚水…○直放流合流式下水本管 ○直放流分流式下水本管
○合併処理浄化槽 ③単独処理浄化槽+排水処理スクリーン
②雑排水…○直放流合流式下水本管 ○直放流分流式下水本管
○道路U字側溝 ○合併処理浄化槽 ③排水処理スクリーン
③雨 水…○直放流合流式下水本管 ○直放流分流式下水本管
○道路U字側溝 ○貯溜槽 ④[土木工事]
3. 配管材料
1. 屋内汚水管
○排水用鋳鉄管 [○JIS型 ○ラバージョイント型]
○排水用鉛管 ○ケイプラ管 ○トミジ管
③ビニル管 [○VP ○VU ○耐熱 ○耐衝撃]
○コーティング鋼管 [○MD ○可とう ○ソベント] ③[ダイエポキシ塗]
2. 屋内一般雑排水管、通気管
○排水用鉛管 ○ケイプラ管 ○トミジ管
③ビニル管 [③VP ○VU ○耐熱 ○耐衝撃]
○コーティング鋼管 [○MD ○可とう ○ソベント]
○配管用炭素鋼鋼管 [○黒 ○白] ○亜鉛鍍鋼管 ○[ ]
3. 一般用排水通気管
○ビニル管 [③VP ○VU] ○ケイプラ管 ○トミジ管
○配管用炭素鋼鋼管 [○黒 ○白] ○亜鉛鍍鋼管 ○[ ]
4. 屋外排水管
○遠心力鉄筋コンクリート管 [○外圧管 ○2種 ○1種] [○A型 ○B型]
③ビニル管 [③VP ○VU ○耐衝撃]
○配管用炭素鋼鋼管 [○黒 ○白] ○亜鉛鍍鋼管 ○[ ]
4. 負担金……○別途工事 ○本工事

[3] 給湯設備工事

1. 給湯方式…○局所式 ③中央式 ②貯湯式 ③瞬間式
○汽水混合式 ○TES方式
2. 熱 源…②ガス ○電気 ○蒸気 ○太陽熱 ○灯油 ③温水
3. 配管材料…[膨張管及び減圧水槽よりボイラなどへの補給水管を含む]
○ステンレス鋼鋼管 [○SUS 304 ○SUS 316] ○ビニル管[○耐熱]
③鋼管 [○L ①M]
○配管用炭素鋼鋼管 [○白] ○水道用亜鉛鍍鋼管 ○[ ]
○被覆鋼管 ○耐熱性ビニールライニング鋼管[HTLP]
4. 防蝕処理
○製缶類……○犠牲陽極棒 ○流電防食装置
③異種金属接合…③防蝕継手
5. 伸縮継手……○スリーブ型 ③伸縮ベローズ型
6. 貯湯器……③ SUS 444 ○ステンレス鋼板 ○鋼板 ○FRP[ ]
②貯湯量 [4]M^3 ③立型 ○横型
③[1604] φ×[1600]L
7. 給湯ボイラ(予備)…③油 焚 [○灯油 ④A重油 ○B重油]
○ガス焚 [○LPG ○都市ガス]
○真空式 ○無水圧式 ③鋼板製 ○鋳鉄製
○貯湯量 [ ]M^3 ③立型 ○横型
③[750] φ×[1455]L
③定格出力[250000] KCAL/H ③伝熱面積 [3^5]M
○[ ]
8. 煙 突…○別途 ③本工事 [300]φ ③板厚 [4^5]
9. 煙 道…○別途 ③本工事 [300]φ
③鋼板製 ○ステンレス製 ③板厚 [③3.2mm ○ 4.5mm]
10. 地震感知器…③設ける ○設けない…③電気式 ○機械式
11. 弁 類……③JIS 10kg/cm^2 ○JIS 5kg/cm^2 ○(JIS 125)
12. ガス湯沸器…○使用ガス [○LPG ○都市ガス]
○発熱量 [ ] ○KCAL/kg ○KCAL/M^3

[4] 衛生器具設避工事

1. 小便器用節水装置…○個別光電管+フラッシュ ○一括光電管+ハイタンク
○タイムスイッチ+ハイタンク ○照明連動+ハイタンク
2. 小便器洗浄用ハイタンク ○採薬 ○露出
3. 小便器洗浄管…… ○埋込 ③露出
4. 化粧鏡……○陶器製 (○露出形 ○埋込形) ○ガラス製
5. 水セッケン入……○横型 ○立型
6. 水 栓……○水抜栓を使用する場合、水栓は耐寒水栓とする。ただし、衛生器具付属のものは吊りこま式でもよい。
③節水コマは、洗面器、手洗器用の水栓とし、その他は普通コマとする。
○台所流し用の水栓は泡沫式とする。

[5] ガス設備工事

1. ガスの種類……③LPG ○都市ガス[ ]
2. 配管材料
③配管用炭素鋼鋼管 [○黒 ③白]
○ポリエチレンライニング鋼管 [○PA ○PB ○PC] ○ポリエチレン管
3. ボンベ……③別途 ○本工事 [○10kg ○20kg ③50kg]
4. 転倒防止鎖等……○別途 ③本工事
5. メーター……③貸与品 ○買取り
6. ガス漏れ警報器……○集中型 ○個別型
7. その他……建物の自重及び土圧その他の外力により損傷を受けるおそれのある配管には、可とう性をもたせるなど損傷を防止する措置を講ずること。

[6] 消火設備工事

1. 配管材料
③配管用炭素鋼鋼管[○黒 ③白] ○水道用亜鉛鍍鋼管 ○[ ]
○圧力配管用炭素鋼鋼管[○STPG38 ○STPG40]
2. ○屋外消火栓
○地上式 ○地下式 ○単口 ○双口
○ホース格納箱……○露出 ○埋込 ○火報併設
○ホース掛……○くし型 ○かご型
○弁 類……○JIS 10kg/cm^2 ○JIS 5kg/cm^2

○屋内消火栓
②ホース格納箱……○露出 ○埋込 ○火報併設
③ホース掛……○くし型 ○かご型
③弁 類……○JIS 10kg/cm^2 ○JIS 5kg/cm^2

○連結送水管
○放水口……○露出 ○埋込 ○単口 ○双口
○ホース格納箱……○露出 ○埋込 ○火報併設
○ホース掛……○くし型 ○かご型
○弁 類……○JIS 10kg/cm^2 ○JIS 5kg/cm^2
○送水口……○スタンド ○壁付 ○単口 ○双口
○採水口……○スタンド ○壁付 ○単口 ○双口

○スプリンクラー・連結散水
○ヘッド……○閉鎖 ○開放
○流水検知装置……○定格負荷運転装置 ○水温上昇防止装置
○弁 類……○JIS 10kg/cm^2 ○JIS 5kg/cm^2
○送水口……○スタンド ○壁付 ○単口 ○双口

○炭酸ガス消火・○ハロゲン化物消火
○噴射ヘッド……○耐蝕金属 ○耐蝕処理
○選択弁……○ガス圧式 ○電気式
○音響警報装置……○サイレン ○ベル ○音声
○手動式起動装置……
○放出表示灯……○鋼板製 ○ステンレス鋼板製
○消火薬剤……○液化炭酸2種 ○液化炭酸3種 ○フロモトリフルオロメタン
○ガス容器……○50kg ○
○起動用ガス容器……○CO_2
○移動式

[7] し尿浄化槽設備工事

1. 処理対象人員……[15]人
2. 処理水量……[ ]m^3/D
3. 放流水水質……水素イオン濃度 PH [ ]
生物化学的酸素要求量 BOD [90] PPM以下
浮遊物質 SS [ ] PPM以下
4. 処理種別……③単独処理 ③分離接触ばっき方式
○分離ばっき方式
○
○合併処理 ○回転式接触方式
○接触ばっき方式
○長時間ばっき方式
○
5. 消毒剤……1ヶ月相当分以上を納入する。
6. 形 式……③ユニット形 [③FRP・○PC] ○現場施工形
7. 電 源……③単相 ○3相 [100] V

[ ] 設備工事

工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	二次焼却施設建設工事
担当	勝原		
担当	御厨	図面名称	空調衛生設備
設計	浜		
製図	桐垣		特記仕様書1
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	—
		図面番号	P -01
		出図年月日	
		整理番号	

[1] 熱源機器設備工事

1. 熱源機器方式
○ターボ冷凍機 [ ] RT [ ] 系統
○スクリュー冷凍機 [ ] RT [ ] 系統
◎吸収式冷凍機 [ ] RT ○A重油 ○灯油 ○温水 [ ] 系統
○吸収式冷温水機 [ ] RT ○A重油 ○灯油 ○ガス [ ] 系統
○水冷チリンクユニット [ ] RT [ ] 系統
○空冷チリンクユニット [ ] RT [ ] 系統
○冷却塔 [ ] RT ○クロスフロー ○カウンターフロー [ ] 系統
○炉筒煙管式ボイラ [ ] kg/H ○A重油 ○灯油 ○ガス [ ] 系統
○水管式ボイラ [ ] kg/H ○A重油 ○灯油 ○ガス [ ] 系統
○セクショナルボイラ [ ] kcal/H ○A重油 ○灯油 ○ガス [ ] 系統
○鋼板製ボイラ [ ] kcal/H ○A重油 ○灯油 ○ガス [ ] 系統
○オイルストレージタンク [ ] LIT ○ピット式 ○コロッケ式 ○屋内タンク式 [ ] 系統
○オイルサービスタンク [ ] LIT [ ] 系統
○

2. 煤煙濃度計……○設ける ○設けない

3. 煤塵量測定口……○設ける ○設けない
[測定口は径80φとし、取り付け箇所は煙道の直線部とする]

4. 煙　突……○別途 ○本工事 [ ] φ 板厚 [ ] mm

5. 煙　道……○別途 ○本工事 [ ] φ
……○鋼板製 ○ステンレス製
……○板厚 [03.2mm ○4.5mm]

6. 地震感知器……○設けない ○設ける ……○電気式 ○機械式

[2] 空気調和機器設備工事

1. 空気調和機器方式
○エアハンドリングユニット系統……○独立型 ○ユニット型…… [ ] 系統
○パッケージ型空調器系統……○ヒートポンピ式 ○空冷式 ○水冷式…… [ ] 系統
○ルームクーラー系統……○ヒートポンピ式 ○空冷式 ○水冷式…… [ ] 系統
○ファンコイルユニット系統……◎天吊隠蔽 ○カセット・○天吊露出…… [ ] 系統
○ ○床置隠蔽 ○床置露出…… [ ] 系統
○フィンチューブ放熱器系統……○コンベクター ○ファンコンベクター
○ ○ベースボードヒーター…… [ ] 系統
○鋳鉄製放熱器系統……○柱形型 ○壁掛型…… [ ] 系統
○温風暖房機系統…… [ ] 系統
○全熱交換器系統……○静止型 ○回転型 [ ] 系統
○空気ろ過器系統……○ユニット型 ○自動巻取型 ○電気集塵型 [ ] 系統
○空気洗浄器系統…… [ ] 系統

2. 設計温湿度条件

	外気		屋内			
			系統		系統	
	温度 DB°C	温度 RH%	温度 DB°C	温度 RH%	温度 DB°C	温度 RH%
夏季	33.1	63	27	50		
冬季	2.4	47	22	—		

[3] 風道設備工事

1. 風　道……○低速風道 ○高速風道

2. ダクト材料……○亜鉛鉄板 ○スパイラルダクト ○フレキシブルダクト
○塩ビダクト ○グラスウール

3. 板厚・縦目

◎低　速

長方形ダクト長辺	円形ダクト直径	板厚	縦目
～ 450	～ 500	0.5 mm	◎ボタンパンチ ○ピッツバーグ
460 ～ 750	510 ～ 750	0.6 mm	◎ボタンパンチ ○ピッツバーグ
760 ～ 1500	760 ～ 1000	0.8 mm	◎ボタンパンチ ○ピッツバーグ
1510 ～ 2250	1010 ～ 1250	1.0 mm	◎ボタンパンチ ○ピッツバーグ
2260～	1260～	1.2 mm	ピッツバーグ

○高　速

長方形ダクト長辺	円形ダクト直径	板厚	縦目
-	～ 200	0.6	○甲ハゼ ○ピッツバーグ
～ 450	210 ～ 450	0.8	○甲ハゼ ○ピッツバーグ
460～ 1200	460～ 750	1.0	○甲ハゼ ○ピッツバーグ
1210 ～	760～	1.2	○甲ハゼ ○ピッツバーグ

4. 制気口……○亜鉛鉄板 ◎鋼板 ◎アルミニウム

5. 風量測定口……取り付け箇所は
○図示した位置 [ ]
○送風機吐出ダクト・吸込ダクト
○外気取入れダクト ○空調機出口チャンバの分岐ダクト
○[ ]
○[ ]

6. チャンバー
○内貼りを施すチャンバの表示寸法は外法を示す。
○空気調和機、温風暖房機に取付けるサプライチャンバ、レタンチャンバ、風道系で消音内貼りしたチャンバには、点検口を設け、点検口の大きさは
○300×300 ○450×450 ○ [ ]
○外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバ及びホッパーは雨水の滞留する恐れがある場合には排水管(呼び径20)を取り付け、屋外又は間接排水口に導く。

[4] 配管設備工事

1. 配管材料

○蒸気管……○配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白] ○[ ]

○冷温水管……◎配管用炭素鋼鋼管[○黒 ◎白] ○水道用亜鉛鍍鋼管○[ ]
○ステンレス鋼鋼管[○SUS304 ○SUS316]
○ポリエチレンライニング鋼管[○PA ○PB ○PC]

○冷却水管……○配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白] ○水道用亜鉛鍍鋼管○[ ]
○ビニル管[○VP ○耐衝撃] ~~○ポリエチレンライニング鋼管~~
○ビニルライニング鋼管[○VA ○VB ○VC]
○ステンレス鋼鋼管[○SUS304 ○SUS316]
○ポリエチレンライニング鋼管[○PA ○PB ○PC]

○膨張管……◎配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白] ○[ ]

○ドレン管……○配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白] ○[ ]
◎ビニル管[○VP ○耐衝撃]
○ビニルライニング鋼管[○VA ○VB ○VC]

○エア抜管……○配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白] ○[ ]

○補給水管……○配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白] ○水道用亜鉛鍍鋼管○[ ]
○ステンレス鋼鋼管[○SUS304 ○SUS316]
○ポリエチレンライニング鋼管[○PA ○PB ○PC]
○ビニル管[○VP ○耐熱 ○耐衝撃]
○ビニルライニング鋼管[○VA ○VB ○VC]

○排水管……○配管用炭素鋼鋼管[○黒 ○白]
○ビニル管[○VP ○VU ○耐熱 ○耐衝撃]

○ [ ]

[5] 換気設備工事

1. 風　道……◎低速風道 ○高速風道

2. ダクト材料……◎亜鉛鉄板 ◎スパイラルダクト ○フレキシブルダクト
○塩ビダクト ○VP ○VU ○石綿2層管

3. 板厚・縦目……○ダクト設備工事に準じる。

○下記の部分は1番手厚いものを使用する
○厨房用排気ダクト ○湯沸室排気ダクト
○[ ]

○下記の部分の材質は[SUS鋼板]を使用する
◎[図示]
○[ ]

○排気フードの材質は[○SUS鋼板 ○鋼板]とし板厚は下記による。

長辺 *900以下 *1100以下 *1100以上
○SUS鋼板 0.5 * 0.6 * 0.8
○鋼板 0.6 * 0.8 * 1.0

○塩化ビニルダクト
○硬質塩化ビニル板 IIS K 6745の1種1号(3.0mm以上)
○板厚、支持は共通仕様書(6.5)による。

[ ] 自動制御設備工事

1. 制御機器 ○電気式 ○電子式 ○空気式 ○電子一空気式

2. システム
○温度制御 ○湿度制御 ○露点温度制御 ○圧力制御 ○部制御
○温度指示 ○湿度指示 ○温度記録 湿度記録 ○液面指示

[ ] 排煙設備工事

1. 風　道……○亜鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm)

2. 排煙口形式……○天井取付 ○壁取付 ○スリット形 ○スイング形

3. 排煙口開放装置・○手動 ○手動及び遠隔操作可能なもの。

工事区分表

○く体関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. RC造の梁・壁・床貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	◎	◎	
2. S造・SRC造の鉄骨貫通スリーブ入れ	○	○	○	○	
3. 全上孔うめ・補修(防火区画貫通を含む)	○	○	○	◎	
4. 地中部の人孔・連通管・通気管スリーブ入れ	○	○	○	○	
5. 構造種類図による貫通補強	○	○	○	○	
6. 貫通及び開口部の補強(5を除く)	○	○	○	○	
7. 屋上PS立上り部分の築造	○	○	○	○	
8.	○	○	○	○	
9.	○	○	○	○	

◎設備機器基礎関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 高置水槽・受水槽(コンクリート基礎)	○	○	○	○	
2. 全上(鉄骨架台・アンカーボルト)	○	○	○	◎	
3. 冷却塔・全熱交換器(コンクリート基礎)	◎	○	○	○	
4. 全上(鉄骨架台・アンカーボルト)	○	○	○	○	
5. 機械室・床排水溝・構築	○	○	○	○	
6. 重量機器スラブ下基礎	○	○	○	○	
7. 防水工事関連基礎	○	○	○	○	
8. 上記以外の基礎	○	○	○	○	
9.	○	○	○	○	
10.	○	○	○	○	

◎建具関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 外壁取付ガラリ	○	○	○	○	
2. 室内レターンガラリ(建具表以外のもの)	○	○	○	○	
3. ドアガラリ	○	○	○	○	
4. 煙感知器連動の機械排煙口及びレリーズ	○	○	○	○	
5. 4の感知器・制御盤・2次側配線・配管	○	○	○	○	
6.	○	○	○	○	
7.	○	○	○	○	

◎仕上関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 石・タイル・金属・ガラス・プラスチックの孔明・補修	○	○	○	○	
2. 天井切込・下地補強	○	○	○	○	
3. 天井付器具の取付用材料	○	○	○	◎	
4. 点検口 (床・壁・天井)	◎	○	○	○	
5. 機械室の吸音・遮音・断熱	○	○	○	○	
6. 化粧マンホール	○	○	○	◎	
7.	○	○	○	○	
8.	○	○	○	○	

◎空調設備関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 機器、防振工事	○	○	◎	○	
2. フロートスイッチ電極棒の取付	○	○	○	○	
3. 高圧冷凍機・高圧盤の取付2次側配線・配管	○	○	○	○	
4. バーナー用制御盤及び2次側配線・配管	○	○	○	○	
5. 空調用室内サーモ・ヒューミディスタット測温体及び温度検出器の取付	○	○	○	○	
6. 監視盤組込の空調用自動制御機器及び計器類の取付及び配線工事	○	○	○	○	
7. 機器の給排水・ガス配管接続工事	○	○	◎	◎	
8. 機器類の遠方操作	○	◎	○	○	
9. 機器類の故障警報又はランプ用電気工事	○	◎	○	○	
10. 換気扇 取付工事	○	○	◎	○	
11. 換気扇枠 工事	○	○	◎	○	
12. 10.の電源	○	◎	○	○	
13. オイルタンク室 防油堤	○	○	○	○	
14. ウエザーカバー(意匠図以外のもの)	○	○	◎	○	
15. フード	○	○	○	○	
16. フードの化粧カバー	○	○	○	○	
17. ファンコイルの化粧カバー・吹出口の孔明(特注品)	○	○	○	○	
18. 全上 吹出口 (特注品)	○	○	○	○	
19. ボイラー煙道工事	○	○	○	◎	
20. 計装工事	○	○	○	○	
21. 機器類の1次側動力電源工事	○	◎	○	○	
22. 建築構造を利用するエアーチャンバー	◎	○	○	○	(防水工事)
23. 全上 (排水工事)	○	○	○	◎	
24. 空調機の屋内外渡り配線工事	○	○	◎	○	
25. 空調機の操作スイッチ工事	○	○	◎	○	

◎衛生設備関係	建築	電気	空調	衛生	備考
1. 機器・防振工事	○	○	○	◎	
2. 汚水処理装置(く体・防水・仕上げ)	○	○	○	◎	
3. 全上(機械設備・2次側電気工事)	○	○	○	◎	
4. 全上 (1次側電気工事)	○	◎	○	○	
5. フロートスイッチ電極棒・レベルスイッチの取付	○	◎	○	○	
6. ルーフドレイン	◎	○	○	○	
7. 空極(第1例)	○	○	○	○	
8. 雨水排水管(第1例以降放流並)	○	○	○	○	◎土木
9. 地下2重壁水抜パイプ	○	○	○	○	
10. 鏡・化粧棚(既成品とし、水石けん入を含む)	○	○	○	◎	
11. 全上 (意匠図による特注品)	○	○	○	○	
12. 洗面カウンター	○	○	○	○	
13. 給排水用動力(1次側配管配線)	○	◎	○	○	
14. 全上 (2次側配管配線)	○	◎	○	○	
15. 機器の故障警報・ランプ用電気工事	○	◎	○	○	
16. 消火栓起動用押ボタン取付	○	◎	○	○	
17. ガス風呂釜及び排気筒	○	○	○	○	
18. グリーストラップ(く体工事のもの)	○	○	○	○	
19. 全上 (既成品)	○	○	○	○	
20. ユニットバス	○	○	○	○	
21. 流し台・ガス台(キッチンユニット)	○	○	○	○	
22. 20・21の配管接続	○	○	○	○	
23. 消火器	○	○	○	○	◎別途
24. 湯沸器の操作スイッチ配線工事	○	○	○	○	
25. 湯沸器の操作スイッチ配管工事	○	○	○	○	
26. 集中検針用配線工事	○	○	○	○	
27. 集中検針用配管工事	○	○	○	○	
28.	○	○	○	○	
29.	○	○	○	○	
30.	○	○	○	○	
31.	○	○	○	○	

保温仕様

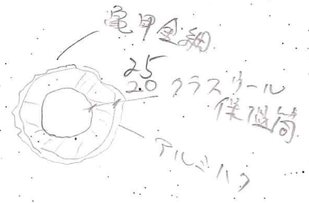
保温厚	パイプ口径・保温厚									
	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150
給排水				20					25	
ガス				—					—	
給湯				20					25	
住戸内通気レンジダクト				20.						
						50(ロックウール)				

施工種別
屋内隠蔽 …… A
屋内露出 …… B
屋外露出 …… C
地中埋設 …… D

A……グラスウール保温筒+アルミハク+亀甲金網
B------グラスウール保温筒+アルミハク+横水散布金網(2階横金網及び横水散布部)
(B)……グラスウール保温筒+鉄線+抜けシート(横水散布部以外部)
C……グラスウール保温筒+鉄線+鉄線
D……給水、ガスは防食テープ

※ 1.……住戸内床コロガシ、給排水は保温不要
但し、ネジ部サビ止メ塗装

2.……給水管は全て管末コア処理とする。



工事番号		御注文先	青南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	腰原		
照査	御討	図面名称	空調衛生設備
設計	柴		
製図	稲垣		特記仕様書 2
設計部署			

NKK 日本鋼管株式会社

尺度 — 振角油 標準図番号

図面番号 P -02

出図年月日 整理番号

メーカーリスト　　◎印のものを適用する

NO	製品名	商号
1	◎鋼管	○川崎製鉄KK ◎新日本製鉄KK ◎住友金属工業KK ◎日本鋼管KK ○
2	○ライニング鋼管	○川崎製鉄KK ◎新日本製鉄KK ◎住友金属工業KK ○積水化学工業KK ◎日本鋼管KK ◎三英樹脂KK ○
3	○鋼管	○KK神戸製鋼所 ○住友金属工業 ○古河金属工業 ◎日立電線KK ○三英金属工業KK ○
4	◎塩化ビニール管	○久保田鉄工KK ○積水化学工業KK ◎日立化成工業KK ◎三英樹脂KK ○
5	○鋳鉄管	○伊藤鉄工KK ○久保田鉄工KK ○KK栗本鉄工所 ○KK長谷川鋳工所 ○
6	○ヒューム管	○栗本ヒューム管KK ○帝国ヒューム管KK ○日本ヒューム管KK ○羽田ヒューム管KK ○
7	○排水金具鋳鉄製品	○伊藤鉄工KK ○大阪ドレーネージ工業KK ○KK小島製作所 ○下田機工KK ○第一鉄社KK ○KK長谷川鋳工所 ○
8	○弁類 (仕切弁) (玉形弁) (逆止弁) (ストレーナ)	○KK北沢バルブ ○東洋バルブKK ○三吉バルブKK ○大和バルブ工業KK ○
9	○うず巻ポンプ 多段ポンプ 油ギヤポン	○KK荏原製作所 ○KK川水製作所 ◎KK極東機械製作所 ○タカサゴポンプKK ○KK日立製作所 ○
10	◎FRP製水槽 合成樹脂水槽	○伊藤鉄工KK ○積水工事KK ○東興機器KK ○日立化成工業KK ○ブリジストンタイヤKK ○三英瓦斯化学KK ◎三英樹脂KK ○
11	◎鋳鉄製温水ボイラ 鋳鉄用燃焼ボイラ 鋳鉄製ボイラ	○川崎重工業KK ○KK前田鉄工所 ○温水工業KK ◎朝倉鉄工KK ○KK巴商会 ○日本煉工業KK ○ネポンKK ○KKタクマ ○
12	○電気温水器 電気蒸消器	○温水工業KK ○ダイキン工業KK ○KK東京電気工業KK ○KKイトミック ○KK日立製作所 ○細山熱器KK ○松下電器産業KK ○三英電機KK ○
13	◎衛生陶器	○INAXKK ◎TOTOKK ○ジャニスKK ○
14	◎ガス湯沸器	○KKガスター ○KKターダ ○KKノーリツ ○KKパーロマ ○細山熱器KK ○勝米製作所KK ○
15	◎消火栓箱及び 関連機器・関連機具	◎KK立売堀製作所 ○日本産業KK ○KK建設工業社 ○消火栓機工KK ○KK村上製作所 ○KK横井製作所 ○
16	○厨房器具	○秋元調理機器KK ○日本調理機製造KK ○富士厨房設備KK ○村本ステンレス工業KK ○
17	◎仮設式冷凍機	○KK荏原製作所 ○川崎重工業KK ○三洋電機KK ○ダイキン工業KK ○KK日立製作所 ○三英重工業KK ◎矢崎証業KK ○
18	○パッケージ形 空気調和機	◎三洋電機KK ○ダイキン工業KK ○KK東芝 ○KK日立製作所 ○松下空調工業KK ○三英重工業KK ○三英電機KK ○
19	○ファンコイルユニット ○ファンコンベクター ○コンベクター	○水村工機 ○昭和鉄工KK ○新晃工業KK ○ダイキン工業KK ○建冷工業KK ○KK東芝 ○KK日立製作所 ○KK前田鉄工 ○三英重工業KK ◎三英電機KK ◎ヤマセ KK ○
20	◎送風機・排煙機	○建電業KK ○KK荏原製作所 ◎KK荏原機械製作所 ○KK日立製作所 ○松下空調工業KK ○三英電機KK ○
21	◎換気扇・天井扇	○昭和電業KK ○建冷工業KK ○KK東芝 ○KK日立製作所 ◎松下精工KK ○三英電機KK ○
22	◎冷却塔	○空研工業KK ○空信和産業KK ○ダイキン工業KK ○KK東芝 ○KK日立製作所 ○松下空調工業KK ○三英重工業KK ◎三英樹脂KK ◎大崎総業KK ○
23	◎制気口	○KK岡村製作所 ○空研工業KK ○新晃工業KK ○KK不二工 ○丸光産業KK ○
24	○空調用自動制御機器	○横河ジョンソンコントロールズKK ○東京計器ランディスギアKK ◎山武ハネウェルKK ○
25	◎亜鉛鍍鉄板	◎KK神戸製鋼所 ◎新日本製鉄KK ○日新製鋼KK ○
26	○スパイラルダクト フレキシブルダクト	◎大阪ラセン管工業KK ◎KK栗本鉄工所 ○福森産業KK ○

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
監査	関原
担当	衛所
設計	坂
製図	福地
設計部署	

NKK 日本鋼管株式会社

前述文先　　名古屋市消防局

工事名称　　二次処理施設建設工事

図面名称　　空調衛生設備

特記仕様書 3

尺度 －　　縮率　　縮率図番号

図面番号 P-03　△

出図年月日　　整理番号

衛生設備 NKK

・記号・	・名称・	・型式・	・仕様・	・付属品・	・相φ・	・電圧V・	・容量KW・	・数量・	・設置 箇所・
WT-1	受水槽	FRP単板	呼称 6TON 有効6.4TON					1	1Fポンプ室
			寸法 2× 2× 2H	平架台					
			耐震2/3G						
WT-2	高置水槽	FRP単板	呼称 2.0TON 有効1.6TON	平架台				1	5F高架水槽置場
			寸法 .2× 1× 1.H						
			耐震1G						
PW-1	揚水ポンプ	タービン	40φX 70L/MX 35 M	自動交互運転	3	200	2、2	2	1Fポンプ室
B-1	雑用ボイラー	1回路式	定格出力 250,000KCAL/H	バーナ	3	200	2、2	1	3F
	A重油焚	立型	加熱能力 250,000KCAL/H						余熱利用設備室
			缶量 240 L/H (90-85 ℃)						
			損失水頭 3 MAq						
			A重油消費量 35.2 L /H						
			伝熱面積 3.5 M2						
			最高使用水頭 10 M						
HWT-1	貯湯槽	立型	実容量 4000L					1	同上
			寸法 1604 DX 1600 H						
			材質 SUS444						
			交換熱量 70,000KCAL/H						
			給湯量 1273L/H (5-60℃)						
			最高使用水頭 50M						
			熱媒量 117 L/M (88-78℃)						
			加熱コイル SUS						
HP-1	給湯タンク循水器	ライン	32φX 120L/MX10 M	自動交互運転	3	200	0.4	2	同上
	循環ポンプ								
HP-2	給湯用循水	ライン	32φX 45L/MX17 M	自動交互運転	3	200	0.75	2	同上
	循環ポンプ								
HP-3	予備ボイラー	ライン	65φX 417L/MX 6M	自動交互運転	3	200	1.5	1	同上
	循環ポンプ								
FP-1	消火栓 ポンプ	ユニット型	50φX 300L/MX 57M	流量試験装置	3	440	5.5	1	1Fポンプ室
			水槽上昇防止用逃し装置 呼水槽						
FT-1	消火用補助水槽	鋼板	呼称 0.35 TON 有効0.2TON					1	CGF屋根
			寸法 0.5× 1 X 0.7 H	架台式					
			内部 エポキシ樹脂塗装						
			外部 保護ラッキング						
FH-1	屋内消火栓	埋込型	寸法 1300HX750WX180D					2	1、2F
		火相併設型	40X90° バルブ40X20 Rホース架						

衛生設備 NKK

・記号・	・名称・	・型式・	・仕様・	・付属品・	・相φ・	・電圧V・	・容量KW・	・数量・	・設置 箇所・
			40X15Mホース×2 40X13ノズル						
FH-2	屋内消火栓	露出型	寸法 1300HX750 WX180D					7	1-5F
		火相併設型	40X90° バルブ40X20 Rホース架						
			40X15Mホース×2 40X13ノズル						
ST-1	浄化槽	単独処理式	処理対称人員 15人	ブロアー	1	100	0.1	1	屋外
		分離接触バッキ	放流水BOD濃度 90 PPM						
		FRP							
DP-1	雑排水 ポンプ	水中型	50φX 200L/MX 15M	自動交互運転	3	200	1.5	2	屋外生活排水槽
		雑排水型							
DP-2	雑排水 ポンプ	水中型	50φX 100L/MX 10M	自動交互運転	3	200	0、75	2	1Fプラッド
		雑排水型	ボルテックスタイプ						ホーム
DP-3	雑排水 ポンプ	水中型	50φX 200L/MX 20M	自動交互運転	3	200	2、2	2	屋外トラック
		雑排水型							スケール排水槽
BP-1	加圧 ポンプ		50φX 240L/MX 30M	単独運転	3	200	3、7	1	5F高架水槽置場
			給動圧力 2、5K	圧力制御 ON.OFF					
			停止圧力 4.6K	警報端子付					
PW-2	井戸 ポンプ	タービン	50φX 284L/MX 30M	自動交互運転	3	200	3、7	2	屋外
		水中型		自動制御盤					
HWT2	副弁 タンク	SUS304	呼称 1TON 有効0、8TON	架台式				1	4F換気設備室
			寸法 1 X 1 X .1 H						
			耐震1G						
GH-1	揚陽 器	瞬間式	ガス消費量 0、64Kg/H					1	2F給湯室
		貯湯型	能力 5号 (LPG用)						
		元止型	寸法 288W*151 D*426 H						
			最低作動水圧0、1Kg						
			排風機運動装置付						
VP-1	空気洗浄装置	真空清掃式	6M³/M×2700MMAq	付属ホース	3	440	11	1	2F 真空掃除設備室

記号	図面履歴 記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	鶴原
監査	御厨
設計	坂
製図	福元
設計部号	

発注文先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 衛生設備 機器表

尺度 — 第 角法 標準図番号

図面番号 P-04

出図年月日 整理番号

NKS NKK

日本鋼管株式会社

日本鋼管N.K.会社は建築設計事務所 東京都知事登録第2006号
1級建築士第6611号 小林 進 名
品川区南品川2丁目7番1号 電話 (043)505-7728

NES NY2016A A

名称	記号
和風大便器	C375AV,TV750CW,H50
和風大便器	C750VF,TV750C,TS116HD
ストール小便器	U307,
洗面器	L221CF,TL306HAFG,TS119AS5
洗面器	L220D,T705,TS119AS5
手洗器	L8 、T205
〃	L5D T205
掃除流し	SK 22A
給水栓	T28A20
給水栓	T200S13
混合水栓	TK683
散水栓	T27-13 SUS BOX
床排ポトラップ	T5A50
床排ポトラップ	T5B50
〃	T5B100
流し排水金具	D-40
流し排水金具	D-50
ガスカラン	13
ガスカラン	自然増圧ガスコック 13

記号	記事	署名	年月日
△			

階	器具名	数量
5F	ごみ投入室	2
	給湯室	5
	廃棄物処理室	5
	男子便所	5
	女子便所	3
	屋外	1
	給湯室	1
	洗面所	2
	男子便所	6
	女子便所	17
1F	便	2
	プラットホーム	5
	所	5
	搬出場	2
	洗面	2
	洗面所	8
	給湯室	2
	便	1
	所	1
	洗面所	
	ロッカールーム	
	洗面所	
	給湯室	
	倉庫第二作業室	
	洗濯室	
	倉庫第一作業室	
	洗面所	
	便	
2F	所	
	給湯室	
	洗面所	
	倉庫第二作業室	
3F	会議室	
4F	休憩室	
	更衣室	
5F	休憩室	
	ベランダ	
	屋上	

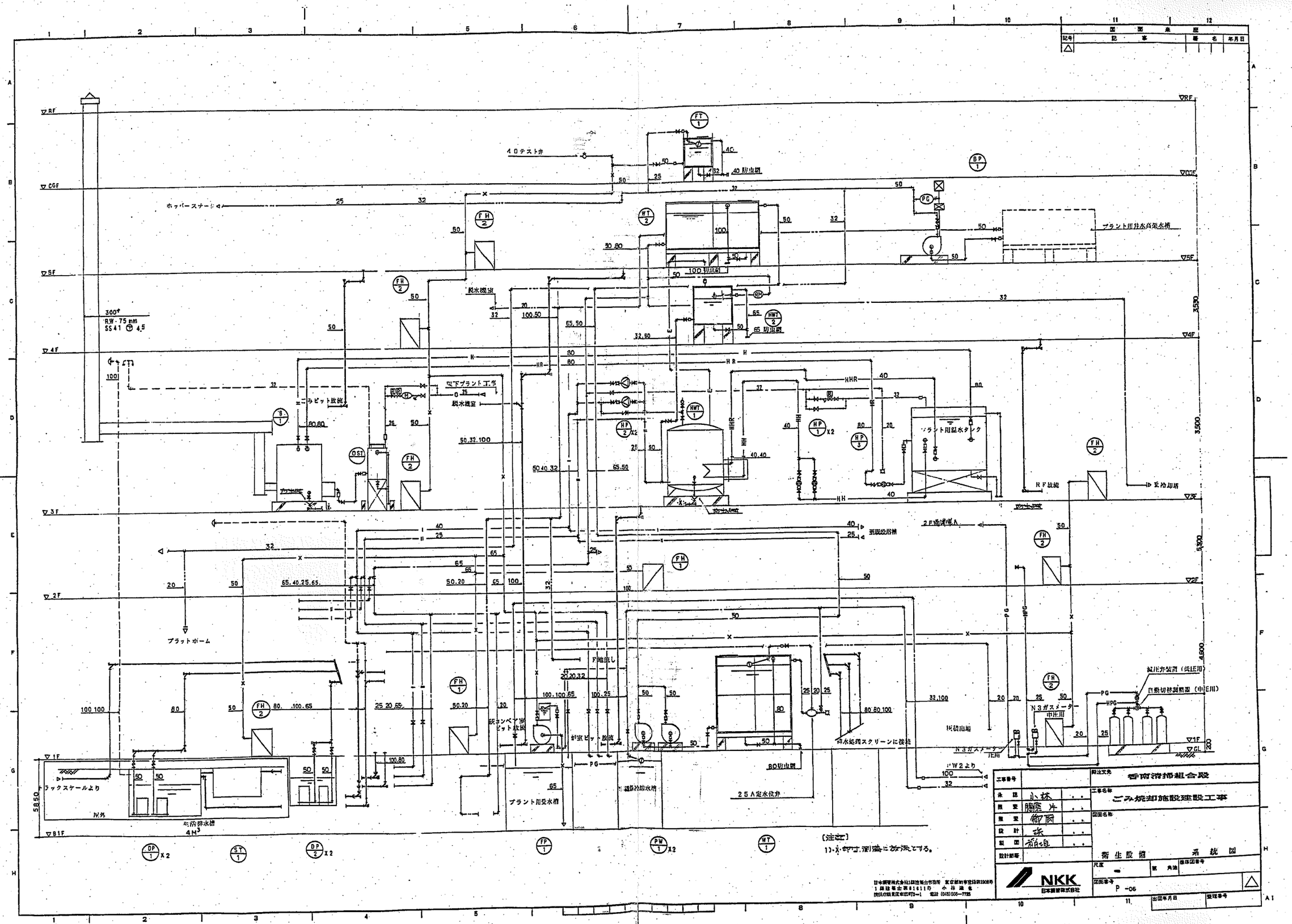
(注記)

1) 仕様欄、仕様補足 参照とする。

工事番号		発注文先	寺南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
審査	勝原片		
審査	御厨	図面名称	
設計	坂		衛生設備 器具表
製図	福地	尺度	—
設計部署		図面番号	P-05
		出図年月日	
		整理番号	

日本総管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第3308号
1級建築士第61611号 小林 進 名
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)503-7725

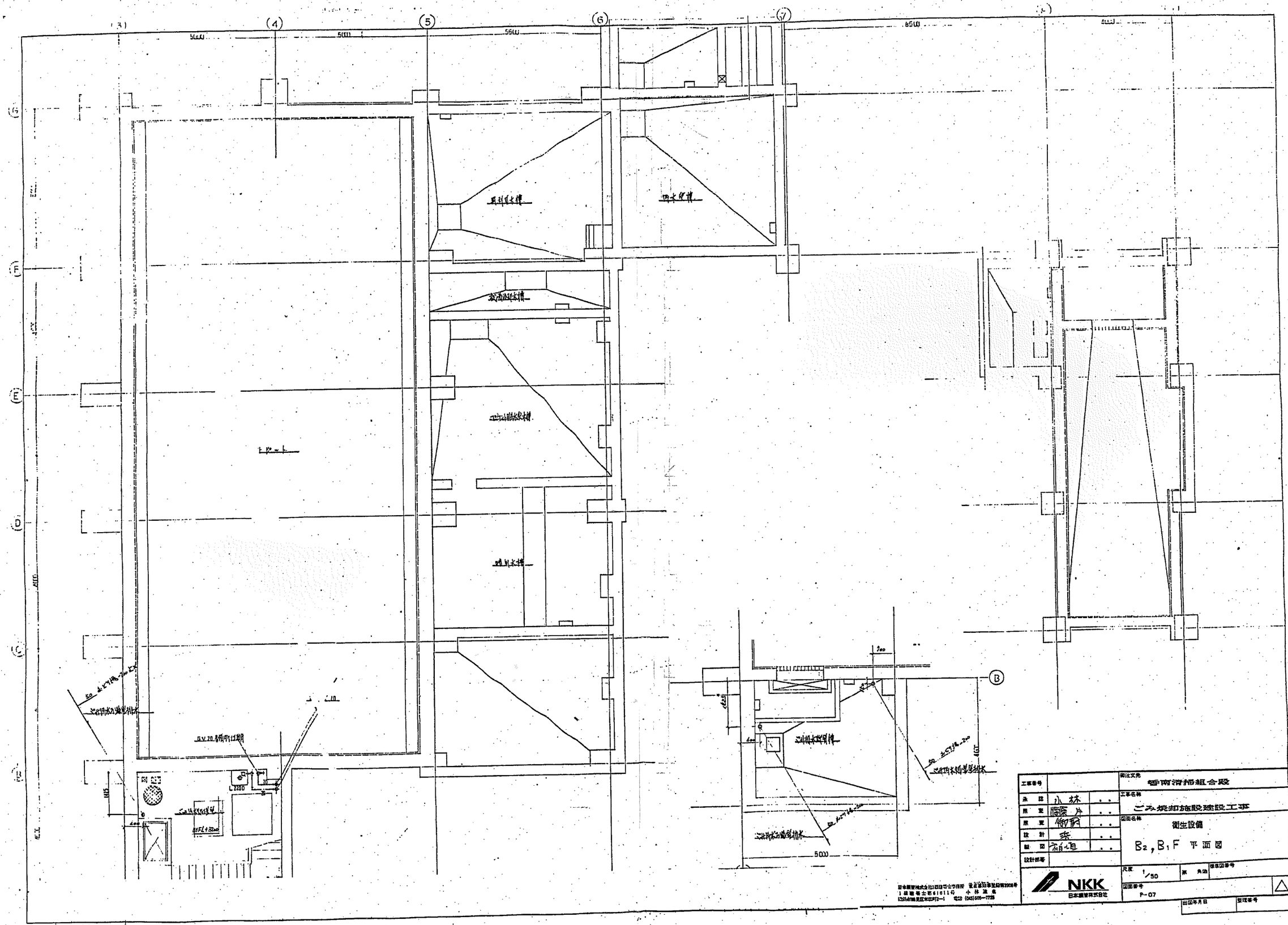
NKK
日本総管株式会社



工事番号		関連文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	腸原 片	図面名称	
照査	御厨		
設計	浜		
製図	稲垣		衛生設備　系統図
設計部署			
尺度	—	第　角法	機種図番号
図面番号	P -06		
出図年月日		整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所　東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号　小林達也
横浜市鶴見区東広町2-1　電話 (045) 505-7725



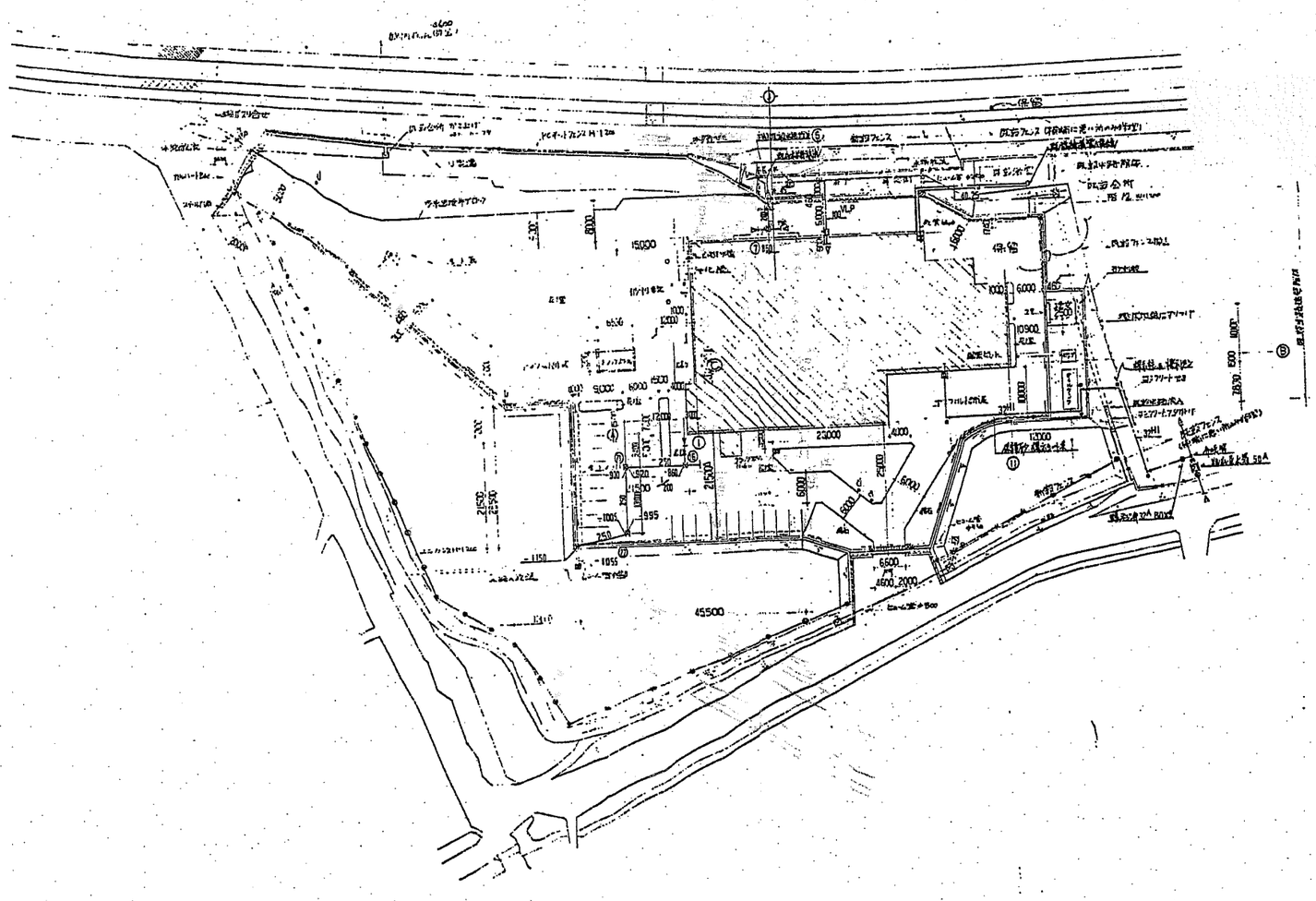
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原	図面名称	衛生設備
照査	御前		B2, B1F 平面図
設計	浜		
製図	福垣		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	原図番号
		図面番号 P-07	
		出図年月日	整理番号

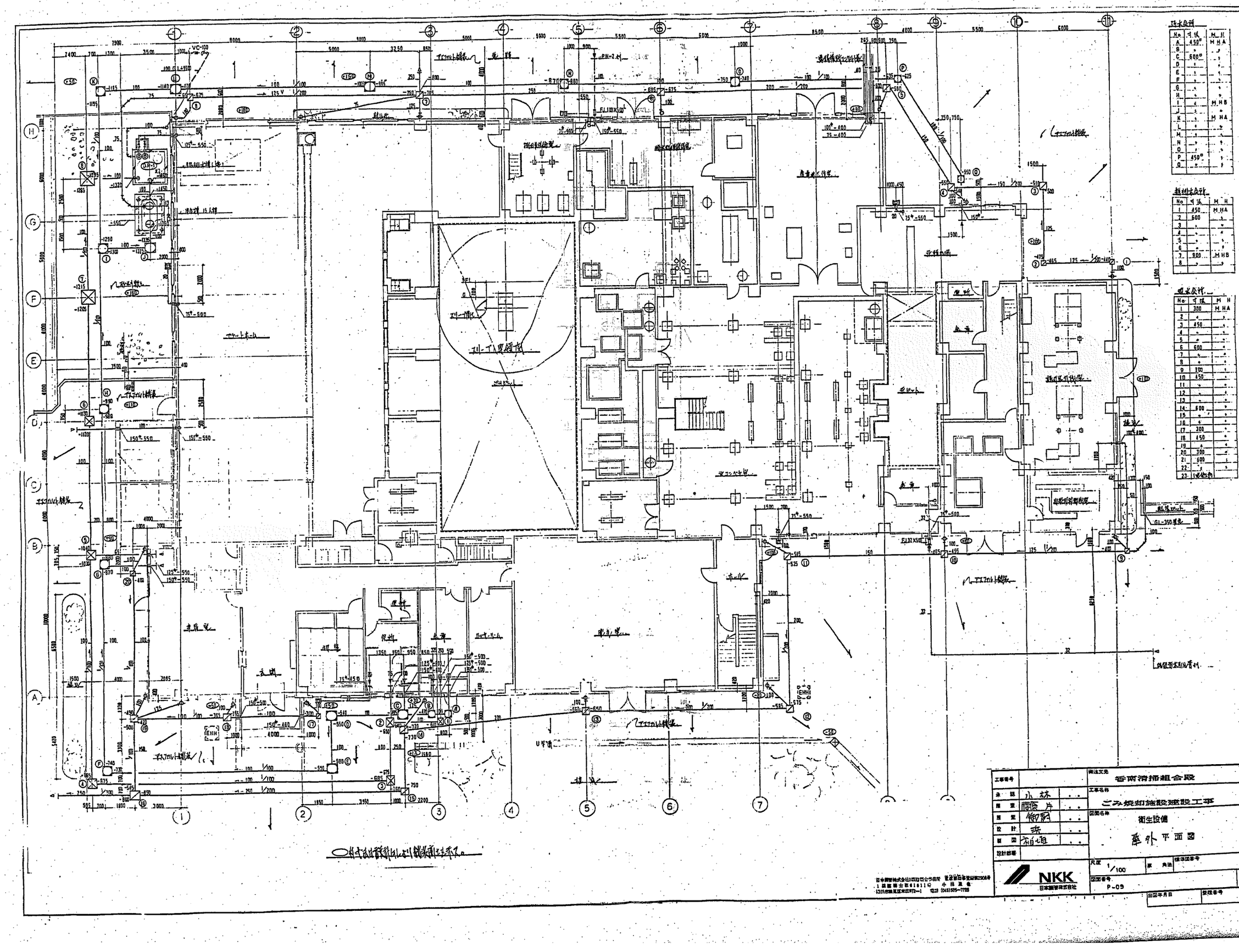
日本鋼管株式会社 環境事業部 東京都新宿区西新宿2-1-1 電話 (045)505-7725

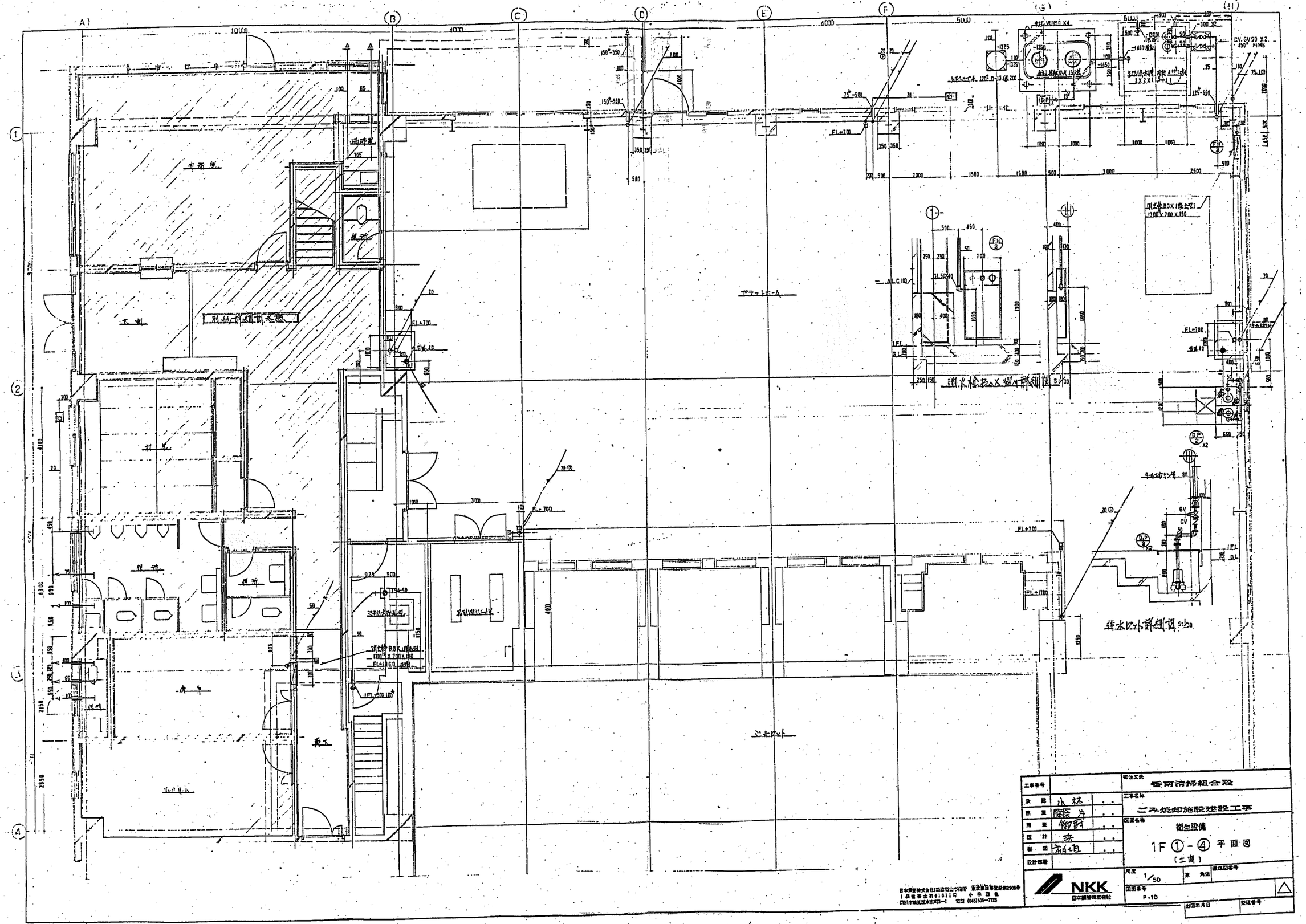
記号	名称	備考
——	給水管	塩化ビニールライニング鋼管 VA
——	井水管	塩化ビニールライニング鋼管 VA
——	加圧井水管	塩化ビニールライニング鋼管 VA
—— I ——	給湯管往	銅管Mタイプ
—— I ——	〃 還	銅管Mタイプ
—— H ——	温水管往	配管用炭素鋼鋼管 白
—— HR ——	〃 還	〃
—— HH ——	熱源水管往	配管用炭素鋼鋼管 白
—— HHR ——	〃 還	〃
—— PG ——	低圧プロパンガス管	配管用炭素鋼鋼管 白
—— HPG ——	中圧プロパンガス管	配管用炭素鋼鋼管 白
—— C ——	雨水管	塩化ビニール管 VP
——	排水管	〃
——	通気管	〃
——	屋外排水管	塩化ビニール管 VP
—— X ——	消火栓管	配管用炭素鋼鋼管 白

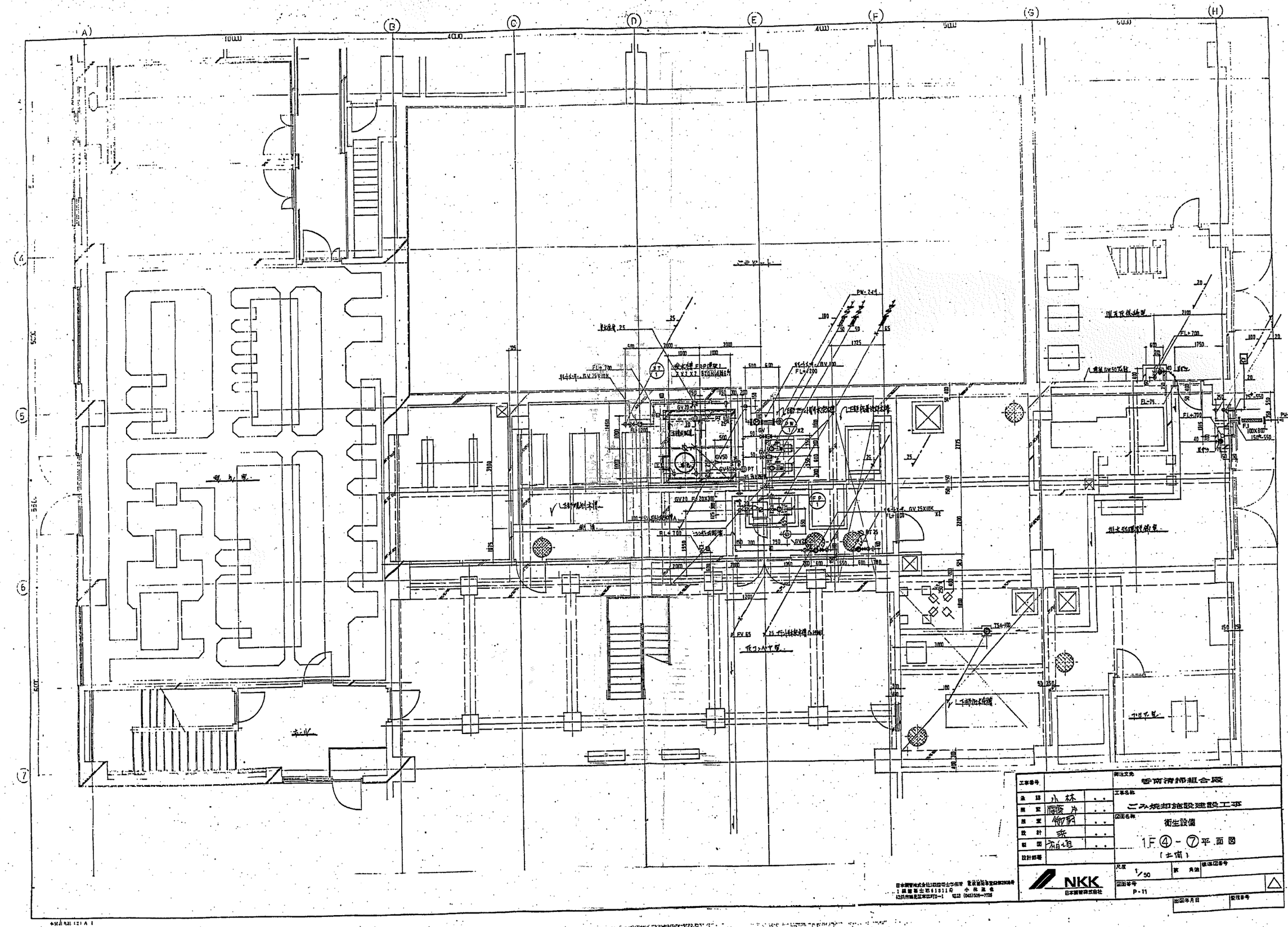
記号	名称	備考
—— C ——	冷水管往	配管用炭素鋼鋼管 白
—— CR ——	冷水管還	〃
—— CD ——	冷却水管往	ポリエチレンライニング鋼管
—— CDR ——	冷却水管還	〃
—— CH ——	冷温水管往	配管用炭素鋼鋼管 白
—— CHR ——	冷温水管還	〃
—— D ——	ドレーン管	塩化ビニール管VP
—— R ——	冷媒管	銅管 Mタイプ
—— V ——	バキューム管	塩化ビニール管VP
—— SA ——	給気送風	亜鉛鋼鉄板・スパイラルダクト
—— RA ——	還気送風	〃
—— OA ——	外気送風	〃
—— EA ——	排気	〃

記号	名称	備考
M GV	ゲート弁	
M GV	チャッキ弁	
□ □ FJ	フレキシブルジョイント	
□	給水栓	
■	給湯栓	
■□	湯水混合栓	
Ⓣ	床下掃除口	
◉	床排水トラップ	
◎	フラッシュバルブ	
□	雨水桝	
☒	排水桝	
▲	バキューム用ホースジョイント	
M VD	風量ダンパー	
M FD	防火ダンパー	
M SFD	防煙ダンパー	


15000
23000
45500
6500
4600
2000
10000
10900
6000
5000
4000
2900
1000
1150
1055
995
2150
2250
2150
2250
6000
5000
6000
4000
5500
2850
1000
1000
6000
6500
5000
6000
4000
5000
6000
4000
5000
6000
4000


VC-100
FL-100X10
FL-100X9
GL-350
U字溝
1500
1350
1950
3950
4000
2200
3000
2000
2095
1800
1000
2400
3500
5000
6000
8500
5500
4800
3250
7900
5600
5800
5900
5550
1000
900
850
700
800
1300
1200
1100
1050
1450
1320
1285
1195
1140
1215
1205
1120
1075
1056
970
940
880
870
740
685
675
625
580
565
550
515
500
465
455
440
410
400
390
350
330
300
250
200
150
125
100
75
50
20
15
H
G
F
E
D
C
B
A
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
125 V
EHH
K1
K2
K3
PEW-2.4
EF1
G
75*-500
75*-550
75*-450
150*-550
150*-500
150*-460
125*-500
125*-550
100*-400
75-400
100*-450
75*-600
150*-650
150*-600
150*-500
150*-550
150*-500
125*-500
125*-550
150*-550
150*-500
150*-550
150*-500
150*-550
150*-500

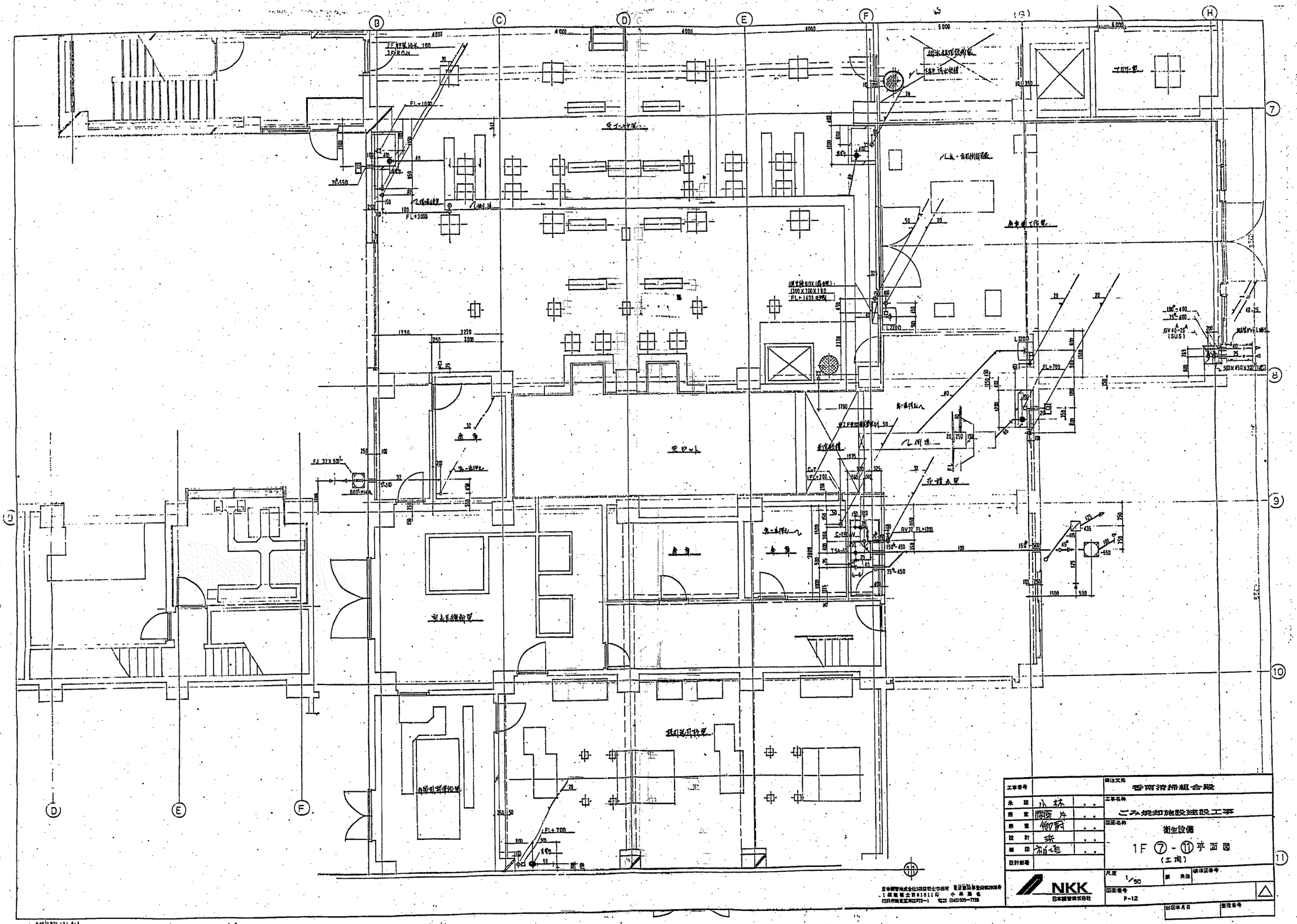

A)
B
C
D
E
F
G
H
1
2
3
4
10000
4000
5000
FL+700
FL+1700
1FL-550
1FL-100
ALC100
ﾃﾗｯｼｭ-A
ﾃﾗｯｼｭ-B
ﾃﾗｯｼｭ-C
ﾃﾗｯｼｭ-D
ﾃﾗｯｼｭ-E
ﾃﾗｯｼｭ-F
ﾃﾗｯｼｭ-G
ﾃﾗｯｼｭ-H
ﾃﾗｯｼｭ-J
ﾃﾗｯｼｭ-K
ﾃﾗｯｼｭ-L
ﾃﾗｯｼｭ-M
ﾃﾗｯｼｭ-N
ﾃﾗｯｼｭ-P
ﾃﾗｯｼｭ-Q
ﾃﾗｯｼｭ-R
ﾃﾗｯｼｭ-S
ﾃﾗｯｼｭ-T
ﾃﾗｯｼｭ-U
ﾃﾗｯｼｭ-V
ﾃﾗｯｼｭ-W
ﾃﾗｯｼｭ-X
ﾃﾗｯｼｭ-Y
ﾃﾗｯｼｭ-Z
ﾃﾗｯｼｭ-AA
ﾃﾗｯｼｭ-AB
ﾃﾗｯｼｭ-AC
ﾃﾗｯｼｭ-AD
ﾃﾗｯｼｭ-AE
ﾃﾗｯｼｭ-AF
ﾃﾗｯｼｭ-AG
ﾃﾗｯｼｭ-AH
ﾃﾗｯｼｭ-AJ
ﾃﾗｯｼｭ-AK
ﾃﾗｯｼｭ-AL
ﾃﾗｯｼｭ-AM
ﾃﾗｯｼｭ-AN
ﾃﾗｯｼｭ-AP
ﾃﾗｯｼｭ-AQ
ﾃﾗｯｼｭ-AR
ﾃﾗｯｼｭ-AS
ﾃﾗｯｼｭ-AT
ﾃﾗｯｼｭ-AU
ﾃﾗｯｼｭ-AV
ﾃﾗｯｼｭ-AW
ﾃﾗｯｼｭ-AX
ﾃﾗｯｼｭ-AY
ﾃﾗｯｼｭ-AZ
ﾃﾗｯｼｭ-BA
ﾃﾗｯｼｭ-BB
ﾃﾗｯｼｭ-BC
ﾃﾗｯｼｭ-BD
ﾃﾗｯｼｭ-BE
ﾃﾗｯｼｭ-BF
ﾃﾗｯｼｭ-BG
ﾃﾗｯｼｭ-BH
ﾃﾗｯｼｭ-BJ
ﾃﾗｯｼｭ-BK
ﾃﾗｯｼｭ-BL
ﾃﾗｯｼｭ-BM
ﾃﾗｯｼｭ-BN
ﾃﾗｯｼｭ-BP
ﾃﾗｯｼｭ-BQ
ﾃﾗｯｼｭ-BR
ﾃﾗｯｼｭ-BS
ﾃﾗｯｼｭ-BT
ﾃﾗｯｼｭ-BU
ﾃﾗｯｼｭ-BV
ﾃﾗｯｼｭ-BW
ﾃﾗｯｼｭ-BX
ﾃﾗｯｼｭ-BY
ﾃﾗｯｼｭ-BZ
ﾃﾗｯｼｭ-CA
ﾃﾗｯｼｭ-CB
ﾃﾗｯｼｭ-CC
ﾃﾗｯｼｭ-CD
ﾃﾗｯｼｭ-CE
ﾃﾗｯｼｭ-CF
ﾃﾗｯｼｭ-CG
ﾃﾗｯｼｭ-CH
ﾃﾗｯｼｭ-CJ
ﾃﾗｯｼｭ-CK
ﾃﾗｯｼｭ-CL
ﾃﾗｯｼｭ-CM
ﾃﾗｯｼｭ-CN
ﾃﾗｯｼｭ-CP
ﾃﾗｯｼｭ-CQ
ﾃﾗｯｼｭ-CR
ﾃﾗｯｼｭ-CS
ﾃﾗｯｼｭ-CT
ﾃﾗｯｼｭ-CU
ﾃﾗｯｼｭ-CV
ﾃﾗｯｼｭ-CW
ﾃﾗｯｼｭ-CX
ﾃﾗｯｼｭ-CY
ﾃﾗｯｼｭ-CZ
ﾃﾗｯｼｭ-DA
ﾃﾗｯｼｭ-DB
ﾃﾗｯｼｭ-DC
ﾃﾗｯｼｭ-DD
ﾃﾗｯｼｭ-DE
ﾃﾗｯｼｭ-DF
ﾃﾗｯｼｭ-DG
ﾃﾗｯｼｭ-DH
ﾃﾗｯｼｭ-DJ
ﾃﾗｯｼｭ-DK
ﾃﾗｯｼｭ-DL
ﾃﾗｯｼｭ-DM
ﾃﾗｯｼｭ-DN
ﾃﾗｯｼｭ-DP
ﾃﾗｯｼｭ-DQ
ﾃﾗｯｼｭ-DR
ﾃﾗｯｼｭ-DS
ﾃﾗｯｼｭ-DT
ﾃﾗｯｼｭ-DU
ﾃﾗｯｼｭ-DV
ﾃﾗｯｼｭ-DW
ﾃﾗｯｼｭ-DX
ﾃﾗｯｼｭ-DY
ﾃﾗｯｼｭ-DZ
ﾃﾗｯｼｭ-EA
ﾃﾗｯｼｭ-EB
ﾃﾗｯｼｭ-EC
ﾃﾗｯｼｭ-ED
ﾃﾗｯｼｭ-EE
ﾃﾗｯｼｭ-EF
ﾃﾗｯｼｭ-EG
ﾃﾗｯｼｭ-EH
ﾃﾗｯｼｭ-EJ
ﾃﾗｯｼｭ-EK
ﾃﾗｯｼｭ-EL
ﾃﾗｯｼｭ-EM
ﾃﾗｯｼｭ-EN
ﾃﾗｯｼｭ-EP
ﾃﾗｯｼｭ-EQ
ﾃﾗｯｼｭ-ER
ﾃﾗｯｼｭ-ES
ﾃﾗｯｼｭ-ET
ﾃﾗｯｼｭ-EU
ﾃﾗｯｼｭ-EV
ﾃﾗｯｼｭ-EW
ﾃﾗｯｼｭ-EX
ﾃﾗｯｼｭ-EY
ﾃﾗｯｼｭ-EZ
ﾃﾗｯｼｭ-FA
ﾃﾗｯｼｭ-FB
ﾃﾗｯｼｭ-FC
ﾃﾗｯｼｭ-FD
ﾃﾗｯｼｭ-FE
ﾃﾗｯｼｭ-FF
ﾃﾗｯｼｭ-FG
ﾃﾗｯｼｭ-FH
ﾃﾗｯｼｭ-FJ
ﾃﾗｯｼｭ-FK
ﾃﾗｯｼｭ-FL
ﾃﾗｯｼｭ-FM
ﾃﾗｯｼｭ-FN
ﾃﾗｯｼｭ-FP
ﾃﾗｯｼｭ-FQ
ﾃﾗｯｼｭ-FR
ﾃﾗｯｼｭ-FS
ﾃﾗｯｼｭ-FT
ﾃﾗｯｼｭ-FU
ﾃﾗｯｼｭ-FV
ﾃﾗｯｼｭ-FW
ﾃﾗｯｼｭ-FX
ﾃﾗｯｼｭ-FY
ﾃﾗｯｼｭ-FZ
ﾃﾗｯｼｭ-GA
ﾃﾗｯｼｭ-GB
ﾃﾗｯｼｭ-GC
ﾃﾗｯｼｭ-GD
ﾃﾗｯｼｭ-GE
ﾃﾗｯｼｭ-GF
ﾃﾗｯｼｭ-GG
ﾃﾗｯｼｭ-GH
ﾃﾗｯｼｭ-GJ
ﾃﾗｯｼｭ-GK
ﾃﾗｯｼｭ-GL
ﾃﾗｯｼｭ-GM
ﾃﾗｯｼｭ-GN
ﾃﾗｯｼｭ-GP
ﾃﾗｯｼｭ-GQ
ﾃﾗｯｼｭ-GR
ﾃﾗｯｼｭ-GS
ﾃﾗｯｼｭ-GT
ﾃﾗｯｼｭ-GU
ﾃﾗｯｼｭ-GV
ﾃﾗｯｼｭ-GW
ﾃﾗｯｼｭ-GX
ﾃﾗｯｼｭ-GY
ﾃﾗｯｼｭ-GZ
ﾃﾗｯｼｭ-HA
ﾃﾗｯｼｭ-HB
ﾃﾗｯｼｭ-HC
ﾃﾗｯｼｭ-HD
ﾃﾗｯｼｭ-HE
ﾃﾗｯｼｭ-HF
ﾃﾗｯｼｭ-HG
ﾃﾗｯｼｭ-HH
ﾃﾗｯｼｭ-HJ
ﾃﾗｯｼｭ-HK
ﾃﾗｯｼｭ-HL
ﾃﾗｯｼｭ-HM
ﾃﾗｯｼｭ-HN
ﾃﾗｯｼｭ-HP
ﾃﾗｯｼｭ-HQ
ﾃﾗｯｼｭ-HR
ﾃﾗｯｼｭ-HS
ﾃﾗｯｼｭ-HT
ﾃﾗｯｼｭ-HU
ﾃﾗｯｼｭ-HV
ﾃﾗｯｼｭ-HW
ﾃﾗｯｼｭ-HX
ﾃﾗｯｼｭ-HY
ﾃﾗｯｼｭ-HZ
ﾃﾗｯｼｭ-JA
ﾃﾗｯｼｭ-JB
ﾃﾗｯｼｭ-JC
ﾃﾗｯｼｭ-JD
ﾃﾗｯｼｭ-JE
ﾃﾗｯｼｭ-JF
ﾃﾗｯｼｭ-JG
ﾃﾗｯｼｭ-JH
ﾃﾗｯｼｭ-JJ
ﾃﾗｯｼｭ-JK
ﾃﾗｯｼｭ-JL
ﾃﾗｯｼｭ-JM
ﾃﾗｯｼｭ-JN
ﾃﾗｯｼｭ-JP
ﾃﾗｯｼｭ-JQ
ﾃﾗｯｼｭ-JR
ﾃﾗｯｼｭ-JS
ﾃﾗｯｼｭ-JT
ﾃﾗｯｼｭ-JU
ﾃﾗｯｼｭ-JV
ﾃﾗｯｼｭ-JW
ﾃﾗｯｼｭ-JX
ﾃﾗｯｼｭ-JY
ﾃﾗｯｼｭ-JZ
ﾃﾗｯｼｭ-KA
ﾃﾗｯｼｭ-KB
ﾃﾗｯｼｭ-KC
ﾃﾗｯｼｭ-KD
ﾃﾗｯｼｭ-KE
ﾃﾗｯｼｭ-KF
ﾃﾗｯｼｭ-KG
ﾃﾗｯｼｭ-KH
ﾃﾗｯｼｭ-KJ
ﾃﾗｯｼｭ-KK
ﾃﾗｯｼｭ-KL
ﾃﾗｯｼｭ-KM
ﾃﾗｯｼｭ-KN
ﾃﾗｯｼｭ-KP
ﾃﾗｯｼｭ-KQ
ﾃﾗｯｼｭ-KR
ﾃﾗｯｼｭ-KS
ﾃﾗｯｼｭ-KT
ﾃﾗｯｼｭ-KU
ﾃﾗｯｼｭ-KV
ﾃﾗｯｼｭ-KW
ﾃﾗｯｼｭ-KX
ﾃﾗｯｼｭ-KY
ﾃﾗｯｼｭ-KZ
ﾃﾗｯｼｭ-LA
ﾃﾗｯｼｭ-LB
ﾃﾗｯｼｭ-LC
ﾃﾗｯｼｭ-LD
ﾃﾗｯｼｭ-LE
ﾃﾗｯｼｭ-LF
ﾃﾗｯｼｭ-LG
ﾃﾗｯｼｭ-LH
ﾃﾗｯｼｭ-LJ
ﾃﾗｯｼｭ-LK
ﾃﾗｯｼｭ-LL
ﾃﾗｯｼｭ-LM
ﾃﾗｯｼｭ-LN
ﾃﾗｯｼｭ-LP
ﾃﾗｯｼｭ-LQ
ﾃﾗｯｼｭ-LR
ﾃﾗｯｼｭ-LS
ﾃﾗｯｼｭ-LT
ﾃﾗｯｼｭ-LU
ﾃﾗｯｼｭ-LV
ﾃﾗｯｼｭ-LW
ﾃﾗｯｼｭ-LX
ﾃﾗｯｼｭ-LY
ﾃﾗｯｼｭ-LZ
ﾃﾗｯｼｭ-MA
ﾃﾗｯｼｭ-MB
ﾃﾗｯｼｭ-MC
ﾃﾗｯｼｭ-MD
ﾃﾗｯｼｭ-ME
ﾃﾗｯｼｭ-MF
ﾃﾗｯｼｭ-MG
ﾃﾗｯｼｭ-MH
ﾃﾗｯｼｭ-MJ
ﾃﾗｯｼｭ-MK
ﾃﾗｯｼｭ-ML
ﾃﾗｯｼｭ-MM
ﾃﾗｯｼｭ-MN
ﾃﾗｯｼｭ-MP
ﾃﾗｯｼｭ-MQ
ﾃﾗｯｼｭ-MR
ﾃﾗｯｼｭ-MS
ﾃﾗｯｼｭ-MT
ﾃﾗｯｼｭ-MU
ﾃﾗｯｼｭ-MV
ﾃﾗｯｼｭ-MW
ﾃﾗｯｼｭ-MX
ﾃﾗｯｼｭ-MY
ﾃﾗｯｼｭ-MZ
ﾃﾗｯｼｭ-NA
ﾃﾗｯｼｭ-NB
ﾃﾗｯｼｭ-NC
ﾃﾗｯｼｭ-ND
ﾃﾗｯｼｭ-NE
ﾃﾗｯｼｭ-NF
ﾃﾗｯｼｭ-NG
ﾃﾗｯｼｭ-NH
ﾃﾗｯｼｭ-NJ
ﾃﾗｯｼｭ-NK
ﾃﾗｯｼｭ-NL
ﾃﾗｯｼｭ-NM
ﾃﾗｯｼｭ-NN
ﾃﾗｯｼｭ-NP
ﾃﾗｯｼｭ-NQ
ﾃﾗｯｼｭ-NR
ﾃﾗｯｼｭ-NS
ﾃﾗｯｼｭ-NT
ﾃﾗｯｼｭ-NU
ﾃﾗｯｼｭ-NV
ﾃﾗｯｼｭ-NW
ﾃﾗｯｼｭ-NX
ﾃﾗｯｼｭ-NY
ﾃﾗｯｼｭ-NZ
ﾃﾗｯｼｭ-PA
ﾃﾗｯｼｭ-PB
ﾃﾗｯｼｭ-PC
ﾃﾗｯｼｭ-PD
ﾃﾗｯｼｭ-PE
ﾃﾗｯｼｭ-PF
ﾃﾗｯｼｭ-PG
ﾃﾗｯｼｭ-PH
ﾃﾗｯｼｭ-PJ
ﾃﾗｯｼｭ-PK
ﾃﾗｯｼｭ-PL
ﾃﾗｯｼｭ-PM
ﾃﾗｯｼｭ-PN
ﾃﾗｯｼｭ-PP
ﾃﾗｯｼｭ-PQ
ﾃﾗｯｼｭ-PR
ﾃﾗｯｼｭ-PS
ﾃﾗｯｼｭ-PT
ﾃﾗｯｼｭ-PU
ﾃﾗｯｼｭ-PV
ﾃﾗｯｼｭ-PW
ﾃﾗｯｼｭ-PX
ﾃﾗｯｼｭ-PY
ﾃﾗｯｼｭ-PZ
ﾃﾗｯｼｭ-QA
ﾃﾗｯｼｭ-QB
ﾃﾗｯｼｭ-QC
ﾃﾗｯｼｭ-QD
ﾃﾗｯｼｭ-QE
ﾃﾗｯｼｭ-QF
ﾃﾗｯｼｭ-QG
ﾃﾗｯｼｭ-QH
ﾃﾗｯｼｭ-QJ
ﾃﾗｯｼｭ-QK
ﾃﾗｯｼｭ-QL
ﾃﾗｯｼｭ-QM
ﾃﾗｯｼｭ-QN
ﾃﾗｯｼｭ-QP
ﾃﾗｯｼｭ-QQ
ﾃﾗｯｼｭ-QR
ﾃﾗｯｼｭ-QS
ﾃﾗｯｼｭ-QT
ﾃﾗｯｼｭ-QU
ﾃﾗｯｼｭ-QV
ﾃﾗｯｼｭ-QW
ﾃﾗｯｼｭ-QX
ﾃﾗｯｼｭ-QY
ﾃﾗｯｼｭ-QZ
ﾃﾗｯｼｭ-RA
ﾃﾗｯｼｭ-RB
ﾃﾗｯｼｭ-RC
ﾃﾗｯｼｭ-RD
ﾃﾗｯｼｭ-RE
ﾃﾗｯｼｭ-RF
ﾃﾗｯｼｭ-RG
ﾃﾗｯｼｭ-RH
ﾃﾗｯｼｭ-RJ
ﾃﾗｯｼｭ-RK
ﾃﾗｯｼｭ-RL
ﾃﾗｯｼｭ-RM
ﾃﾗｯｼｭ-RN
ﾃﾗｯｼｭ-RP
ﾃﾗｯｼｭ-RQ
ﾃﾗｯｼｭ-RR
ﾃﾗｯｼｭ-RS
ﾃﾗｯｼｭ-RT
ﾃﾗｯｼｭ-RU
ﾃﾗｯｼｭ-RV
ﾃﾗｯｼｭ-RW
ﾃﾗｯｼｭ-RX
ﾃﾗｯｼｭ-RY
ﾃﾗｯｼｭ-RZ
ﾃﾗｯｼｭ-SA
ﾃﾗｯｼｭ-SB
ﾃﾗｯｼｭ-SC
ﾃﾗｯｼｭ-SD
ﾃﾗｯｼｭ-SE
ﾃﾗｯｼｭ-SF
ﾃﾗｯｼｭ-SG
ﾃﾗｯｼｭ-SH
ﾃﾗｯｼｭ-SJ
ﾃﾗｯｼｭ-SK
ﾃﾗｯｼｭ-SL
ﾃﾗｯｼｭ-SM
ﾃﾗｯｼｭ-SN
ﾃﾗｯｼｭ-SP
ﾃﾗｯｼｭ-SQ
ﾃﾗｯｼｭ-SR
ﾃﾗｯｼｭ-SS
ﾃﾗｯｼｭ-ST
ﾃﾗｯｼｭ-SU
ﾃﾗｯｼｭ-SV
ﾃﾗｯｼｭ-SW
ﾃﾗｯｼｭ-SX
ﾃﾗｯｼｭ-SY
ﾃﾗｯｼｭ-SZ
ﾃﾗｯｼｭ-TA
ﾃﾗｯｼｭ-TB
ﾃﾗｯｼｭ-TC
ﾃﾗｯｼｭ-TD
ﾃﾗｯｼｭ-TE
ﾃﾗｯｼｭ-TF
ﾃﾗｯｼｭ-TG
ﾃﾗｯｼｭ-TH
ﾃﾗｯｼｭ-TJ
ﾃﾗｯｼｭ-TK
ﾃﾗｯｼｭ-TL
ﾃﾗｯｼｭ-TM
ﾃﾗｯｼｭ-TN
ﾃﾗｯｼｭ-TP
ﾃﾗｯｼｭ-TQ
ﾃﾗｯｼｭ-TR
ﾃﾗｯｼｭ-TS
ﾃﾗｯｼｭ-TT
ﾃﾗｯｼｭ-TU
ﾃﾗｯｼｭ-TV
ﾃﾗｯｼｭ-TW
ﾃﾗｯｼｭ-TX
ﾃﾗｯｼｭ-TY
ﾃﾗｯｼｭ-TZ
ﾃﾗｯｼｭ-UA
ﾃﾗｯｼｭ-UB
ﾃﾗｯｼｭ-UC
ﾃﾗｯｼｭ-UD
ﾃﾗｯｼｭ-UE
ﾃﾗｯｼｭ-UF
ﾃﾗｯｼｭ-UG
ﾃﾗｯｼｭ-UH
ﾃﾗｯｼｭ-UJ
ﾃﾗｯｼｭ-UK
ﾃﾗｯｼｭ-UL
ﾃﾗｯｼｭ-UM
ﾃﾗｯｼｭ-UN
ﾃﾗｯｼｭ-UP
ﾃﾗｯｼｭ-UQ
ﾃﾗｯｼｭ-UR
ﾃﾗｯｼｭ-US
ﾃﾗｯｼｭ-UT
ﾃﾗｯｼｭ-UU
ﾃﾗｯｼｭ-UV
ﾃﾗｯｼｭ-UW
ﾃﾗｯｼｭ-UX
ﾃﾗｯｼｭ-UY
ﾃﾗｯｼｭ-UZ
ﾃﾗｯｼｭ-VA
ﾃﾗｯｼｭ-VB
ﾃﾗｯｼｭ-VC
ﾃﾗｯｼｭ-VD
ﾃﾗｯｼｭ-VE
ﾃﾗｯｼｭ-VF
ﾃﾗｯｼｭ-VG
ﾃﾗｯｼｭ-VH
ﾃﾗｯｼｭ-VJ
ﾃﾗｯｼｭ-VK
ﾃﾗｯｼｭ-VL
ﾃﾗｯｼｭ-VM
ﾃﾗｯｼｭ-VN
ﾃﾗｯｼｭ-VP
ﾃﾗｯｼｭ-VQ
ﾃﾗｯｼｭ-VR
ﾃﾗｯｼｭ-VS
ﾃﾗｯｼｭ-VT
ﾃﾗｯｼｭ-VU
ﾃﾗｯｼｭ-VV
ﾃﾗｯｼｭ-VW
ﾃﾗｯｼｭ-VX
ﾃﾗｯｼｭ-VY
ﾃﾗｯｼｭ-VZ
ﾃﾗｯｼｭ-WA
ﾃﾗｯｼｭ-WB
ﾃﾗｯｼｭ-WC
ﾃﾗｯｼｭ-WD
ﾃﾗｯｼｭ-WE
ﾃﾗｯｼｭ-WF
ﾃﾗｯｼｭ-WG
ﾃﾗｯｼｭ-WH
ﾃﾗｯｼｭ-WJ
ﾃﾗｯｼｭ-WK
ﾃﾗｯｼｭ-WL
ﾃﾗｯｼｭ-WM
ﾃﾗｯｼｭ-WN
ﾃﾗｯｼｭ-WP
ﾃﾗｯｼｭ-WQ
ﾃﾗｯｼｭ-WR
ﾃﾗｯｼｭ-WS
ﾃﾗｯｼｭ-WT
ﾃﾗｯｼｭ-WU
ﾃﾗｯｼｭ-WV
ﾃﾗｯｼｭ-WW
ﾃﾗｯｼｭ-WX
ﾃﾗｯｼｭ-WY
ﾃﾗｯｼｭ-WZ
ﾃﾗｯｼｭ-XA
ﾃﾗｯｼｭ-XB
ﾃﾗｯｼｭ-XC
ﾃﾗｯｼｭ-XD
ﾃﾗｯｼｭ-XE
ﾃﾗｯｼｭ-XF
ﾃﾗｯｼｭ-XG
ﾃﾗｯｼｭ-XH
ﾃﾗｯｼｭ-XJ
ﾃﾗｯｼｭ-XK
ﾃﾗｯｼｭ-XL
ﾃﾗｯｼｭ-XM
ﾃﾗｯｼｭ-XN
ﾃﾗｯｼｭ-XP
ﾃﾗｯｼｭ-XQ
ﾃﾗｯｼｭ-XR
ﾃﾗｯｼｭ-XS
ﾃﾗｯｼｭ-XT
ﾃﾗｯｼｭ-XU
ﾃﾗｯｼｭ-XV
ﾃﾗｯｼｭ-XW
ﾃﾗｯｼｭ-XX
ﾃﾗｯｼｭ-XY
ﾃﾗｯｼｭ-XZ
ﾃﾗｯｼｭ-YA
ﾃﾗｯｼｭ-YB
ﾃﾗｯｼｭ-YC
ﾃﾗｯｼｭ-YD
ﾃﾗｯｼｭ-YE
ﾃﾗｯｼｭ-YF
ﾃﾗｯｼｭ-YG
ﾃﾗｯｼｭ-YH
ﾃﾗｯｼｭ-YJ
ﾃﾗｯｼｭ-YK
ﾃﾗｯｼｭ-YL
ﾃﾗｯｼｭ-YM
ﾃﾗｯｼｭ-YN
ﾃﾗｯｼｭ-YP
ﾃﾗｯｼｭ-YQ
ﾃﾗｯｼｭ-YR
ﾃﾗｯｼｭ-YS
ﾃﾗｯｼｭ-YT
ﾃﾗｯｼｭ-YU
ﾃﾗｯｼｭ-YV
ﾃﾗｯｼｭ-YW
ﾃﾗｯｼｭ-YX
ﾃﾗｯｼｭ-YY
ﾃﾗｯｼｭ-YZ
ﾃﾗｯｼｭ-ZA
ﾃﾗｯｼｭ-ZB
ﾃﾗｯｼｭ-ZC
ﾃﾗｯｼｭ-ZD
ﾃﾗｯｼｭ-ZE
ﾃﾗｯｼｭ-ZF
ﾃﾗｯｼｭ-ZG
ﾃﾗｯｼｭ-ZH
ﾃﾗｯｼｭ-ZJ
ﾃﾗｯｼｭ-ZK
ﾃﾗｯｼｭ-ZL
ﾃﾗｯｼｭ-ZM
ﾃﾗｯｼｭ-ZN
ﾃﾗｯｼｭ-ZP
ﾃﾗｯｼｭ-ZQ
ﾃﾗｯｼｭ-ZR
ﾃﾗｯｼｭ-ZS
ﾃﾗｯｼｭ-ZT
ﾃﾗｯｼｭ-ZU
ﾃﾗｯｼｭ-ZV
ﾃﾗｯｼｭ-ZW
ﾃﾗｯｼｭ-ZX
ﾃﾗｯｼｭ-ZY
ﾃﾗｯｼｭ-ZZ
ﾃﾗｯｼｭ-AAA
ﾃﾗｯｼｭ-AAB
ﾃﾗｯｼｭ-AAC
ﾃﾗｯｼｭ-AAD
ﾃﾗｯｼｭ-AAE
ﾃﾗｯｼｭ-AAF
ﾃﾗｯｼｭ-AAG
ﾃﾗｯｼｭ-AAH
ﾃﾗｯｼｭ-AAJ
ﾃﾗｯｼｭ-AAK
ﾃﾗｯｼｭ-AAL
ﾃﾗｯｼｭ-AAM
ﾃﾗｯｼｭ-AAN
ﾃﾗｯｼｭ-AAP
ﾃﾗｯｼｭ-AAQ
ﾃﾗｯｼｭ-AAR
ﾃﾗｯｼｭ-AAS
ﾃﾗｯｼｭ-AAT
ﾃﾗｯｼｭ-AAU
ﾃﾗｯｼｭ-AAV
ﾃﾗｯｼｭ-AAW
ﾃﾗｯｼｭ-AAX
ﾃﾗｯｼｭ-AAY
ﾃﾗｯｼｭ-AAZ
ﾃﾗｯｼｭ-ABA
ﾃﾗｯｼｭ-ABB
ﾃﾗｯｼｭ-ABC
ﾃﾗｯｼｭ-ABD
ﾃﾗｯｼｭ-ABE
ﾃﾗｯｼｭ-ABF
ﾃﾗｯｼｭ-ABG
ﾃﾗｯｼｭ-ABH
ﾃﾗｯｼｭ-ABJ
ﾃﾗｯｼｭ-ABK
ﾃﾗｯｼｭ-ABL
ﾃﾗｯｼｭ-ABM
ﾃﾗｯｼｭ-ABN
ﾃﾗｯｼｭ-ABP
ﾃﾗｯｼｭ-ABQ
ﾃﾗｯｼｭ-ABR
ﾃﾗｯｼｭ-ABS
ﾃﾗｯｼｭ-ABT
ﾃﾗｯｼｭ-ABU
ﾃﾗｯｼｭ-ABV
ﾃﾗｯｼｭ-ABW
ﾃﾗｯｼｭ-ABX
ﾃﾗｯｼｭ-ABY
ﾃﾗｯｼｭ-ABZ
ﾃﾗｯｼｭ-ACA
ﾃﾗｯｼｭ-ACB
ﾃﾗｯｼｭ-ACC
ﾃﾗｯｼｭ-ACD
ﾃﾗｯｼｭ-ACE
ﾃﾗｯｼｭ-ACF
ﾃﾗｯｼｭ-ACG
ﾃﾗｯｼｭ-ACH
ﾃﾗｯｼｭ-ACJ
ﾃﾗｯｼｭ-ACK
ﾃﾗｯｼｭ-ACL
ﾃﾗｯｼｭ-ACM
ﾃﾗｯｼｭ-ACN
ﾃﾗｯｼｭ-ACP
ﾃﾗｯｼｭ-ACQ
ﾃﾗｯｼｭ-ACR
ﾃﾗｯｼｭ-ACS
ﾃﾗｯｼｭ-ACT
ﾃﾗｯｼｭ-ACU
ﾃﾗｯｼｭ-ACV
ﾃﾗｯｼｭ-ACW
ﾃﾗｯｼｭ-ACX
ﾃﾗｯｼｭ-ACY
ﾃﾗｯｼｭ-ACZ
ﾃﾗｯｼｭ-ADA
ﾃﾗｯｼｭ-ADB
ﾃﾗｯｼｭ-ADC
ﾃﾗｯｼｭ-ADD
ﾃﾗｯｼｭ-ADE
ﾃﾗｯｼｭ-ADF
ﾃﾗｯｼｭ-ADG
ﾃﾗｯｼｭ-ADH
ﾃﾗｯｼｭ-ADJ
ﾃﾗｯｼｭ-ADK
ﾃﾗｯｼｭ-ADL
ﾃﾗｯｼｭ-ADM
ﾃﾗｯｼｭ-ADN
ﾃﾗｯｼｭ-ADP
ﾃﾗｯｼｭ-ADQ
ﾃﾗｯｼｭ-ADR
ﾃﾗｯｼｭ-ADS
ﾃﾗｯｼｭ-ADT
ﾃﾗｯｼｭ-ADU
ﾃﾗｯｼｭ-ADV
ﾃﾗｯｼｭ-ADW
ﾃﾗｯｼｭ-ADX
ﾃﾗｯｼｭ-ADY
ﾃﾗｯｼｭ-ADZ
ﾃﾗｯｼｭ-AEA
ﾃﾗｯｼｭ-AEB
ﾃﾗｯｼｭ-AEC
ﾃﾗｯｼｭ-AED
ﾃﾗｯｼｭ-AEE
ﾃﾗｯｼｭ-AEF
ﾃﾗｯｼｭ-AEG
ﾃﾗｯｼｭ-AEH
ﾃﾗｯｼｭ-AEJ
ﾃﾗｯｼｭ-AEK
ﾃﾗｯｼｭ-AEL
ﾃﾗｯｼｭ-AEM
ﾃﾗｯｼｭ-AEN
ﾃﾗｯｼｭ-AEP
ﾃﾗｯｼｭ-AEQ
ﾃﾗｯｼｭ-AER
ﾃﾗｯｼｭ-AES
ﾃﾗｯｼｭ-AET
ﾃﾗｯｼｭ-AEU
ﾃﾗｯｼｭ-AEV
ﾃﾗｯｼｭ-AEW
ﾃﾗｯｼｭ-AEX
ﾃﾗｯｼｭ-AEY
ﾃﾗｯｼｭ-AEZ
ﾃﾗｯｼｭ-AFA
ﾃﾗｯｼｭ-AFB
ﾃﾗｯｼｭ-AFC
ﾃﾗｯｼｭ-AFD
ﾃﾗｯｼｭ-AFE
ﾃﾗｯｼｭ-AFF
ﾃﾗｯｼｭ-AFG
ﾃﾗｯｼｭ-AFH
ﾃﾗｯｼｭ-AFJ
ﾃﾗｯｼｭ-AFK
ﾃﾗｯｼｭ-AFL
ﾃﾗｯｼｭ-AFM
ﾃﾗｯｼｭ-AFN
ﾃﾗｯｼｭ-AFP
ﾃﾗｯｼｭ-AFQ
ﾃﾗｯｼｭ-AFR
ﾃﾗｯｼｭ-AFS
ﾃﾗｯｼｭ-AFT
ﾃﾗｯｼｭ-AFU
ﾃﾗｯｼｭ-AFV
ﾃﾗｯｼｭ-AFW
ﾃﾗｯｼｭ-AFX
ﾃﾗｯｼｭ-AFY
ﾃﾗｯｼｭ-AFZ
ﾃﾗｯｼｭ-AGA
ﾃﾗｯｼｭ-AGB
ﾃﾗｯｼｭ-AGC
ﾃﾗｯｼｭ-AGD
ﾃﾗｯｼｭ-AGE
ﾃﾗｯｼｭ-AGF
ﾃﾗｯｼｭ-AGG
ﾃﾗｯｼｭ-AGH
ﾃﾗｯｼｭ-AGJ
ﾃﾗｯｼｭ-AGK
ﾃﾗｯｼｭ-AGL
ﾃﾗｯｼｭ-AGM
ﾃﾗｯｼｭ-AGN
ﾃﾗｯｼｭ-AGP
ﾃﾗｯｼｭ-AGQ
ﾃﾗｯｼｭ-AGR
ﾃﾗｯｼｭ-AGS
ﾃﾗｯｼｭ-AGT
ﾃﾗｯｼｭ-AGU
ﾃﾗｯｼｭ-AGV
ﾃﾗｯｼｭ-AGW
ﾃﾗｯｼｭ-AGX
ﾃﾗｯｼｭ-AGY
ﾃﾗｯｼｭ-AGZ
ﾃﾗｯｼｭ-AHA
ﾃﾗｯｼｭ-AHB
ﾃﾗｯｼｭ-AHC
ﾃﾗｯｼｭ-AHD
ﾃﾗｯｼｭ-AHE
ﾃﾗｯｼｭ-AHF
ﾃﾗｯｼｭ-AHG
ﾃﾗｯｼｭ-AHH
ﾃﾗｯｼｭ-AHJ
ﾃﾗｯｼｭ-AHK
ﾃﾗｯｼｭ-AHL
ﾃﾗｯｼｭ-AHM
ﾃﾗｯｼｭ-AHN
ﾃﾗｯｼｭ-AHP
ﾃﾗｯｼｭ-AHQ
ﾃﾗｯｼｭ-AHR
ﾃﾗｯｼｭ-AHS
ﾃﾗｯｼｭ-AHT
ﾃﾗｯｼｭ-AHU
ﾃﾗｯｼｭ-AHV
ﾃﾗｯｼｭ-AHW
ﾃﾗｯｼｭ-AHX
ﾃﾗｯｼｭ-AHY
ﾃﾗｯｼｭ-AHZ
ﾃﾗｯｼｭ-AJA
ﾃﾗｯｼｭ-AJB
ﾃﾗｯｼｭ-AJC
ﾃﾗｯｼｭ-AJD
ﾃﾗｯｼｭ-AJE
ﾃﾗｯｼｭ-AJF
ﾃﾗｯｼｭ-AJG
ﾃﾗｯｼｭ-AJH
ﾃﾗｯｼｭ-AJJ
ﾃﾗｯｼｭ-AJK
ﾃﾗｯｼｭ-AJL
ﾃﾗｯｼｭ-AJM
ﾃﾗｯｼｭ-AJN
ﾃﾗｯｼｭ-AJP
ﾃﾗｯｼｭ-AJQ
ﾃﾗｯｼｭ-AJR
ﾃﾗｯｼｭ-AJS
ﾃﾗｯｼｭ-AJT
ﾃﾗｯｼｭ-AJU
ﾃﾗｯｼｭ-AJV
ﾃﾗｯｼｭ-AJW
ﾃﾗｯｼｭ-AJX
ﾃﾗｯｼｭ-AJY
ﾃﾗｯｼｭ-AJZ
ﾃﾗｯｼｭ-AKA
ﾃﾗｯｼｭ-AKB
ﾃﾗｯｼｭ-AKC
ﾃﾗｯｼｭ-AKD
ﾃﾗｯｼｭ-AKE
ﾃﾗｯｼｭ-AKF
ﾃﾗｯｼｭ-AKG
ﾃﾗｯｼｭ-AKH
ﾃﾗｯｼｭ-AKJ
ﾃﾗｯｼｭ-AKK
ﾃﾗｯｼｭ-AKL
ﾃﾗｯｼｭ-AKM
ﾃﾗｯｼｭ-AKN
ﾃﾗｯｼｭ-AKP
ﾃﾗｯｼｭ-AKQ
ﾃﾗｯｼｭ-AKR
ﾃﾗｯｼｭ-AKS
ﾃﾗｯｼｭ-AKT
ﾃﾗｯｼｭ-AKU
ﾃﾗｯｼｭ-AKV
ﾃﾗｯｼｭ-AKW
ﾃﾗｯｼｭ-AKX
ﾃﾗｯｼｭ-AKY
ﾃﾗｯｼｭ-AKZ
ﾃﾗｯｼｭ-ALA
ﾃﾗｯｼｭ-ALB
ﾃﾗｯｼｭ-ALC
ﾃﾗｯｼｭ-ALD
ﾃﾗｯｼｭ-ALE
ﾃﾗｯｼｭ-ALF
ﾃﾗｯｼｭ-ALG
ﾃﾗｯｼｭ-ALH
ﾃﾗｯｼｭ-ALJ
ﾃﾗｯｼｭ-ALK
ﾃﾗｯｼｭ-ALL
ﾃﾗｯｼｭ-ALM
ﾃﾗｯｼｭ-ALN
ﾃﾗｯｼｭ-ALP
ﾃﾗｯｼｭ-ALQ
ﾃﾗｯｼｭ-ALR
ﾃﾗｯｼｭ-ALS
ﾃﾗｯｼｭ-ALT
ﾃﾗｯｼｭ-ALU
ﾃﾗｯｼｭ-ALV
ﾃﾗｯｼｭ-ALW
ﾃﾗｯｼｭ



工事番号		開設文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所要	藤原 片		
所要	御前	図面名称	衛生設備
設計	浜		1F ④-⑦ 平面図
製図	柏垣		(土間)
設計部署		尺度 1/50	第 角法
		図面番号 P-11	
		出図年月日	整理番号

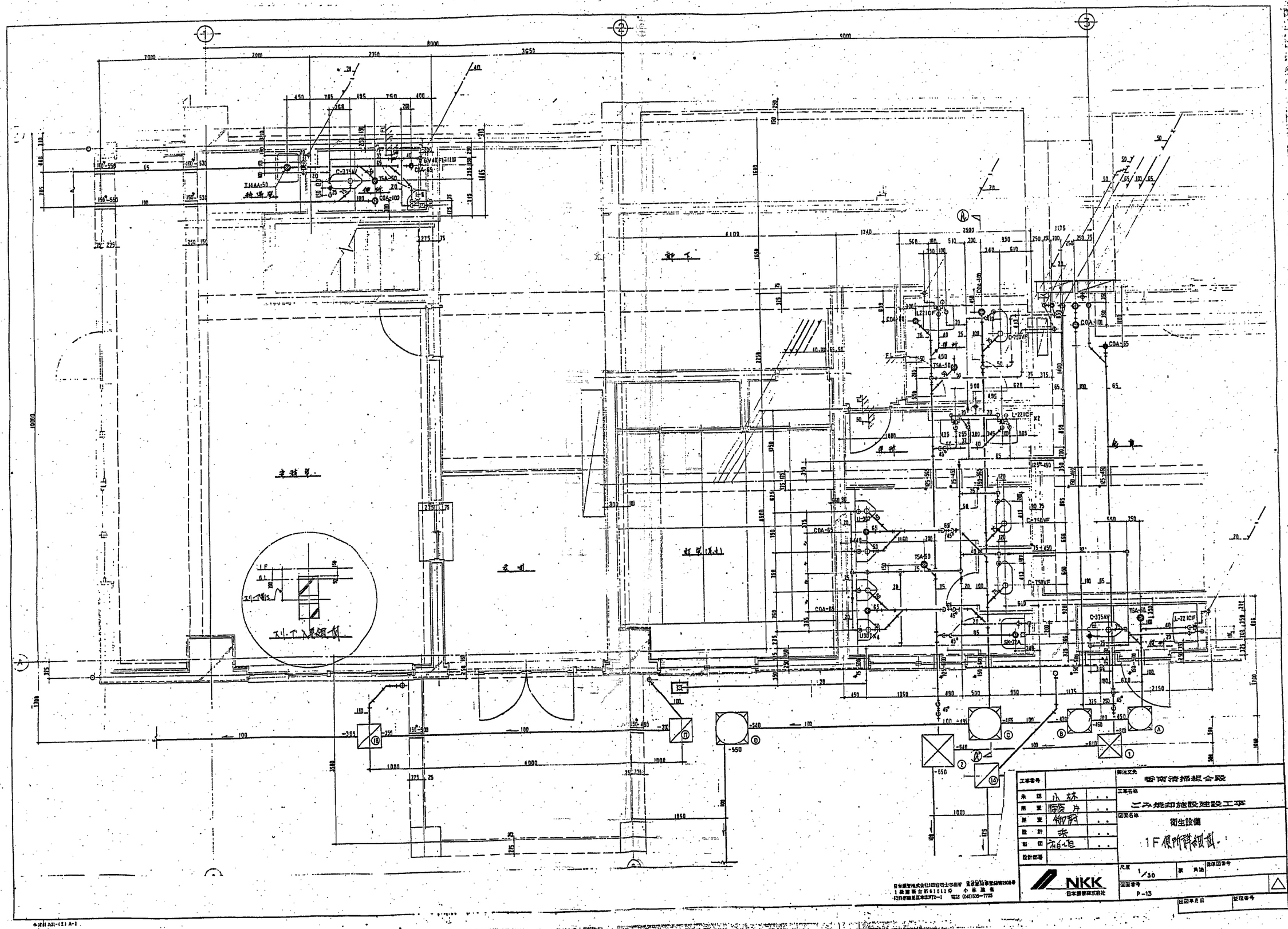
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61311号 小林通信
松浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)506-7725

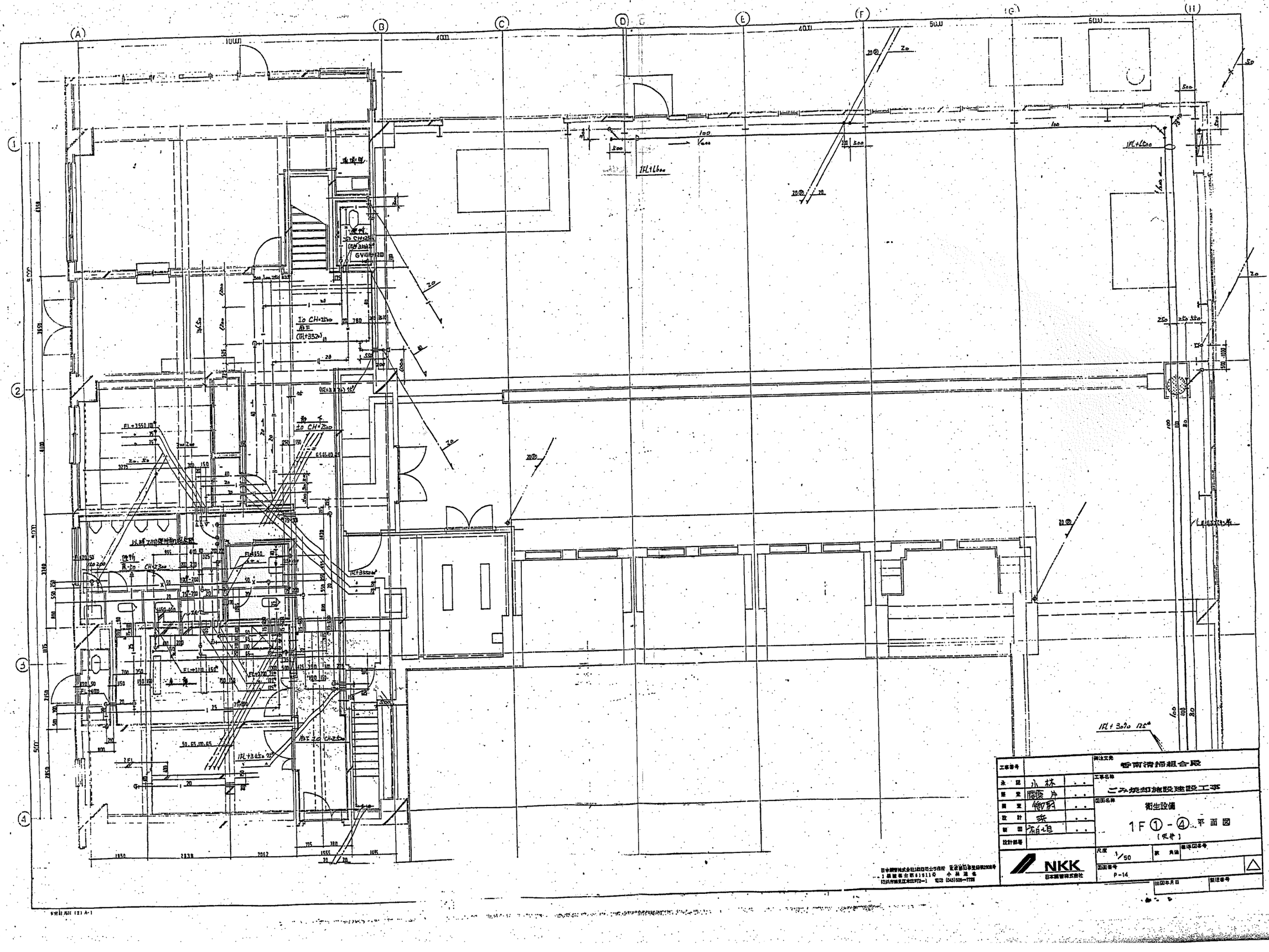


工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所室	隈片		
所室	御厨	図面名称	衛生設備
設計	浜		1F ⑦-⑪ 平面図
製図	相山		(土間)
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	原角法
		図面番号	P-12
		出図年月日	整理番号

日本鋼管株式会社(国際商社)市場所 東京都品川区東品川2908号
1 建築第一土木61611号 小林 進 名
(0453)505-7725



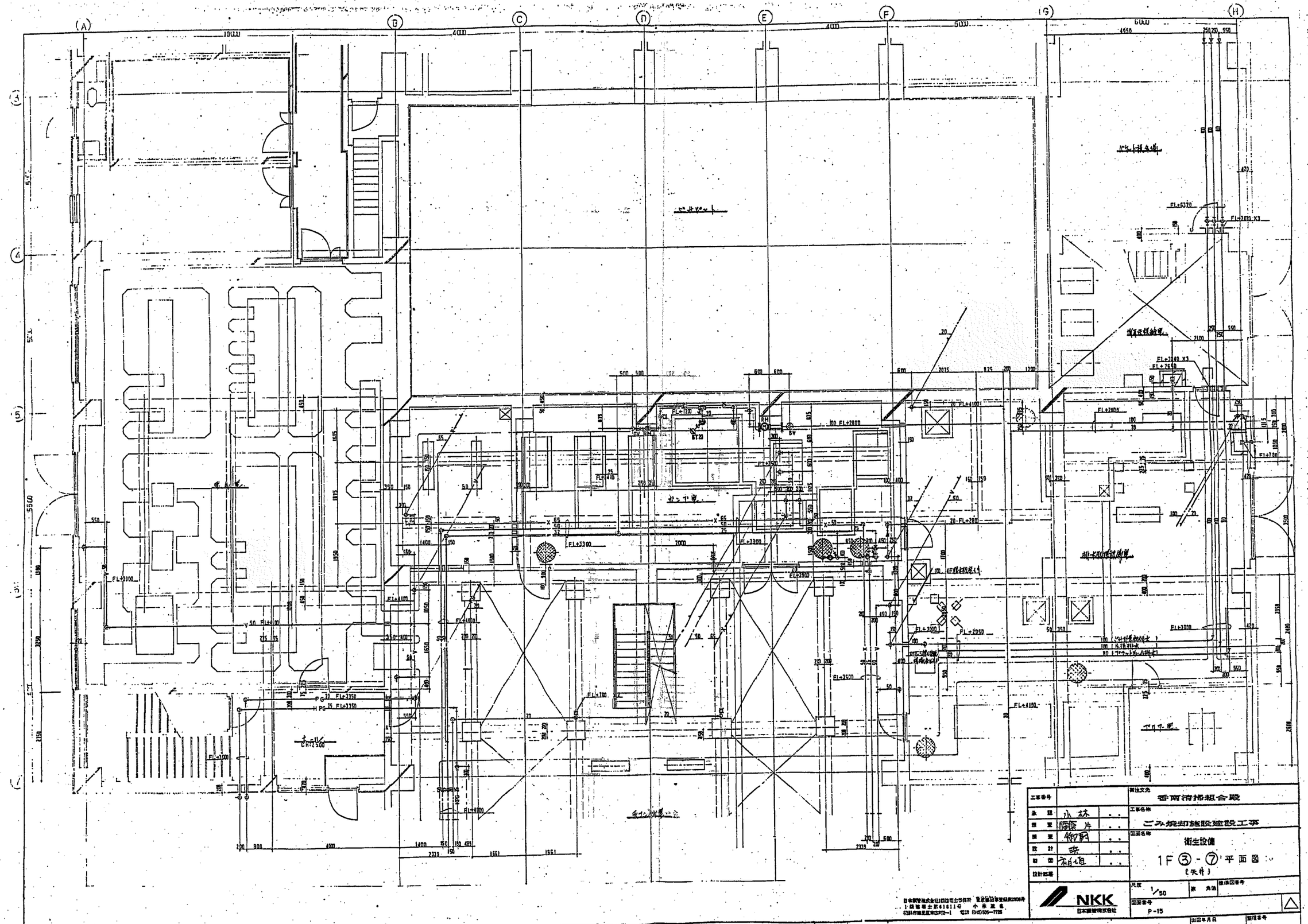
工事番号
承認 小林
用室 [illegible]
用室 [illegible]
設計 [illegible]
製図 [illegible]
設計部番
NKK
日本鋼管株式会社
衛生文先
香南清掃組合殿
工事名称
ごみ焼却施設建設工事
図面名称
衛生設備
1F便所詳細図
尺度 1/30
図面番号 P-13



工事番号		御注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
監査	陽原片	
監査	御前	図面名称 衛生設備
設計	浜	1F ①-④ 平面図
製図	祖垣	[平井]
設計部署		尺度 1/50
		図面番号 P-14

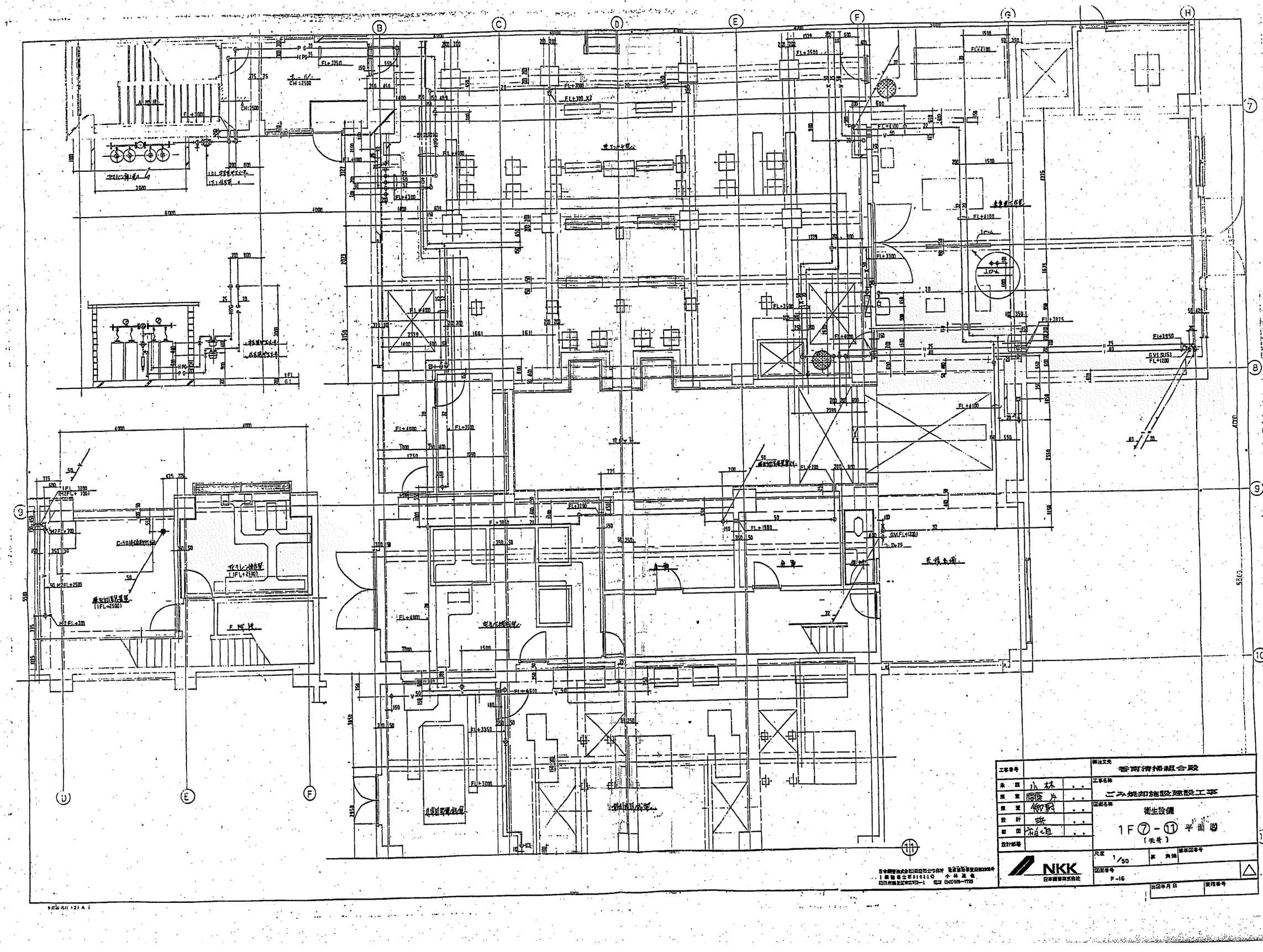
NKK 日本鋼管株式会社

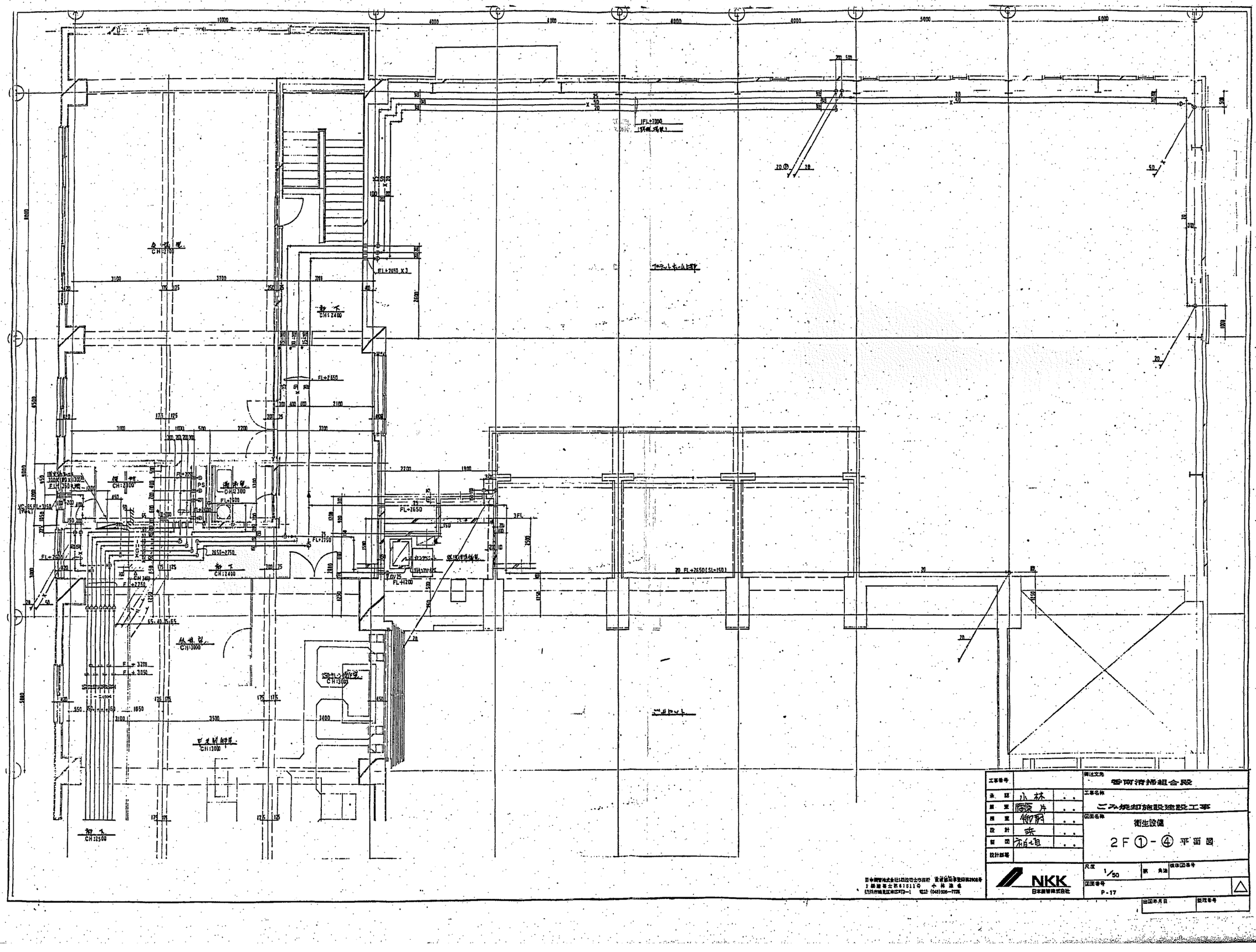
日本鋼管株式会社設計部 監査部 1級建築士第61811号 小林 通 電話 (045)505-7725



工事番号		御注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
所要	隠塚片	
所要	御前	図面名称 衛生設備
設計	浜	1F ③-⑦ 平面図 (天井)
製図	相垣	
設計部署		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50
		図面番号 P-15
		出図年月日
		整理番号

日本鋼管株式会社 [illegible]
1 鋼管事業部 [illegible] 小林道也
[illegible] 電話 (045)505-7725


B
C
D
E
F
G
H
7
8
9
10
11
FL+3500
FL+3000
FL+3300
FL+4100
FL+4000
FL+3100
FL+3350
FL+3975
FL+3950
FL+4600
FL+1880
FL+200
FL+1000
FL+4300
FL+3200
FL+2700
FL+2500
FL+3100
GVI SUS1
FL+1200
1FL
6.1
1FL+3200
(RFL+7001
1FL+2700
1FL+2500)
1FL+2500)
1FL+3100
C-50排水勾配
ポンプ槽
(1FL+2500)
受水槽
(1FL+2500)
Dr.25
1500
1400
7000
17500
7350
5200
4000
6000
3000
2023
1661
2339
1339
1539
1500
1100
1000
1050
1150
1875
4075
2350
3350
3850
3150
2200
2300
2400
2500
2600
2700
2800
3000
3100
3200
3300
3400
3500
3600
3700
3800
3900
4000
4100
4200
4300
4400
4500
4600
4700
4800
4900
5000
5100
5200
5300
5400
5500
5600
5700
5800
5900
6000
6100
6200
6300
6400
6500
6600
6700
6800
6900



工事番号		
承認	小林	. .
展望	鷹片	. .
展望	御厨	. .
設計	浜	. .
製図	和垣	. .
設計部署		

備注文先
香南清掃組合殿

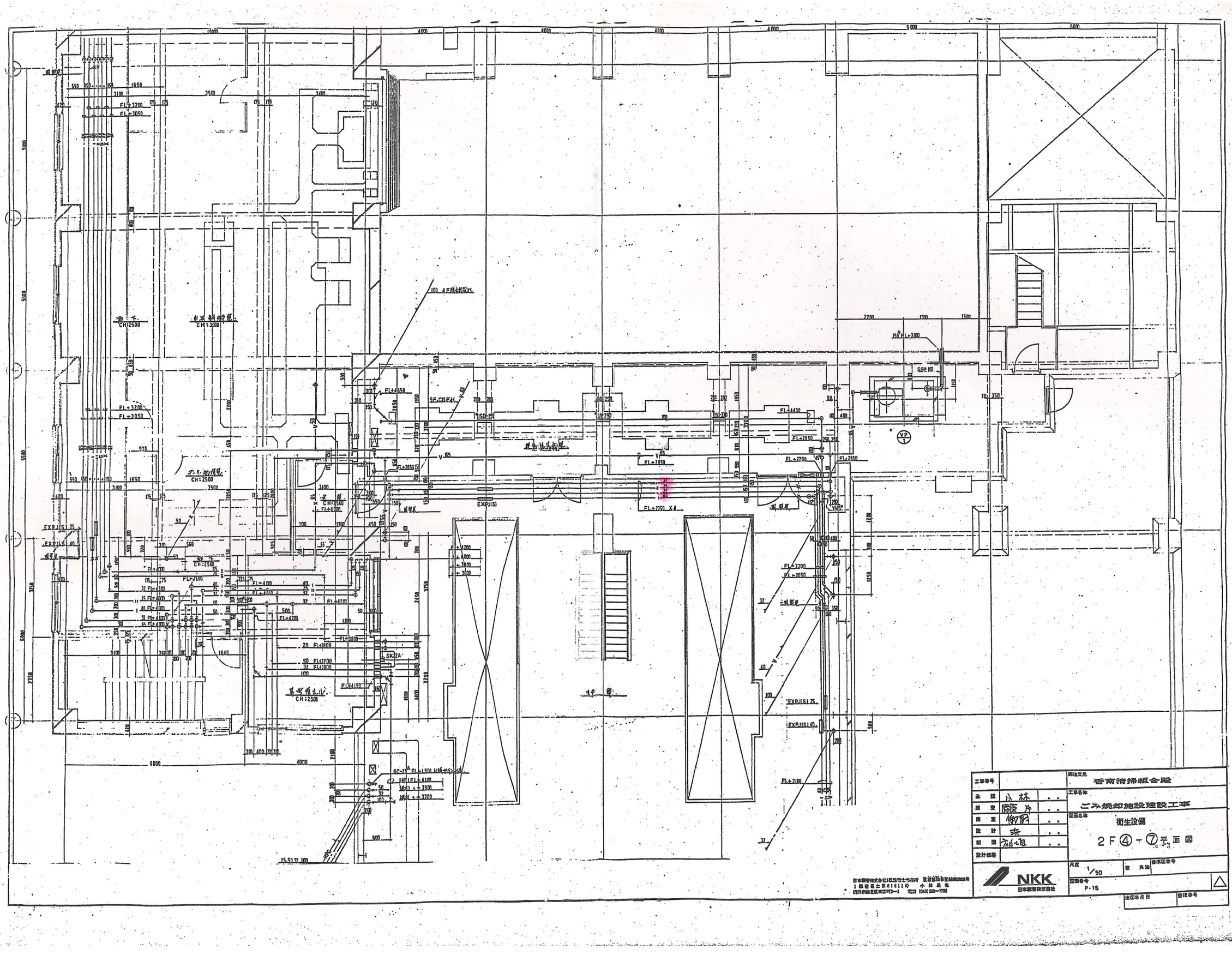
工事名称
ごみ焼却施設建設工事

図面名称
衛生設備
2F ①-④ 平面図

NKK
日本鋼管株式会社

尺度 1/50
新 角油
標準図番号
図面番号 P-17
出図年月日
説明番号

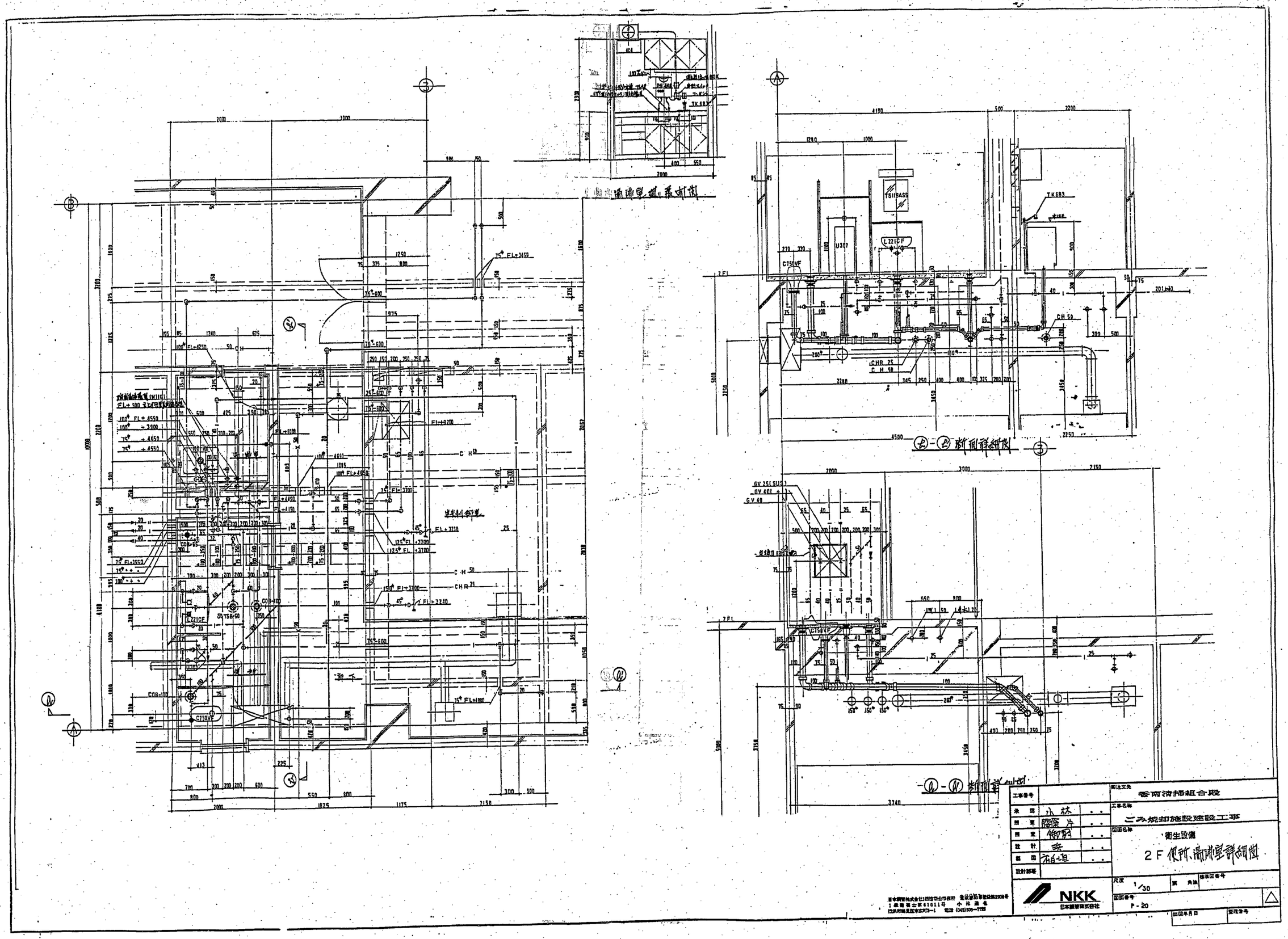
日本鋼管株式会社(株)技術士事務所 東京都知事登録第3908号
1 鋼建築士第61011号 小林 達也
(株)所沢鋼見区東2-1 電話 (048)506-7725



工事番号
永 認 小林
原 査 脇原 片
原 査 御前
設 計 奈
製 図 福垣
設計部署
御注文先
香南清掃組合殿
工事名称
ごみ焼却施設建設工事
図面名称
衛生設備
2F④-⑦平面図
尺度 1/50
図面番号 P-18
出図年月日
整理番号
NKK
日本鋼管株式会社

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

吹抜
貯石受入室
屋根
真空掃除設備室
FH 2
UP
屋根
受入ピット
ごみピット
プラットホーム上部
炉室
DN
DN
電気集じん器置場
▽+5500
DN
▽+500
灰汚染物搬出室
ホール
非絵図参照
給湯室
倉庫
ごみクレーン操作室
中央制御室
▽+1600
休憩室
データ処理室
倉庫
見学者ホール
DN
UP
UP
会議室
50
50
50

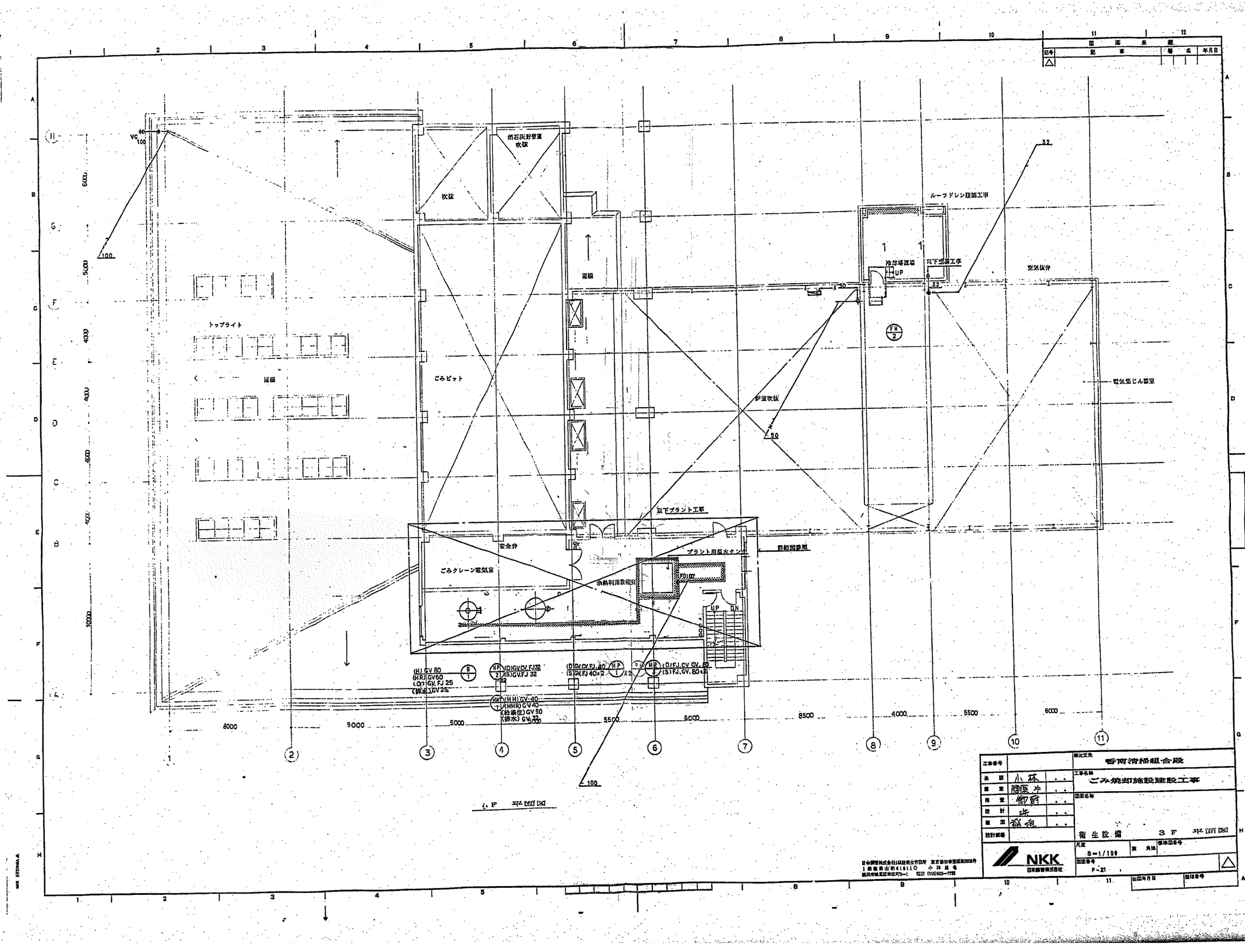


工事番号		
承認	小林	
照査	藤原片	
照査	御厨	
設計	森	
製図	柏垣	
設計部署		

関連文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	衛生設備 2F 便所、湯沸室詳細図
尺度	1/30
図面番号	P-20
出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 建設部 東京都新宿区西新宿2308号
1級建築士第41611号 小林通信
(株)内南鋼管東京町3-1 電話 (045)505-7725

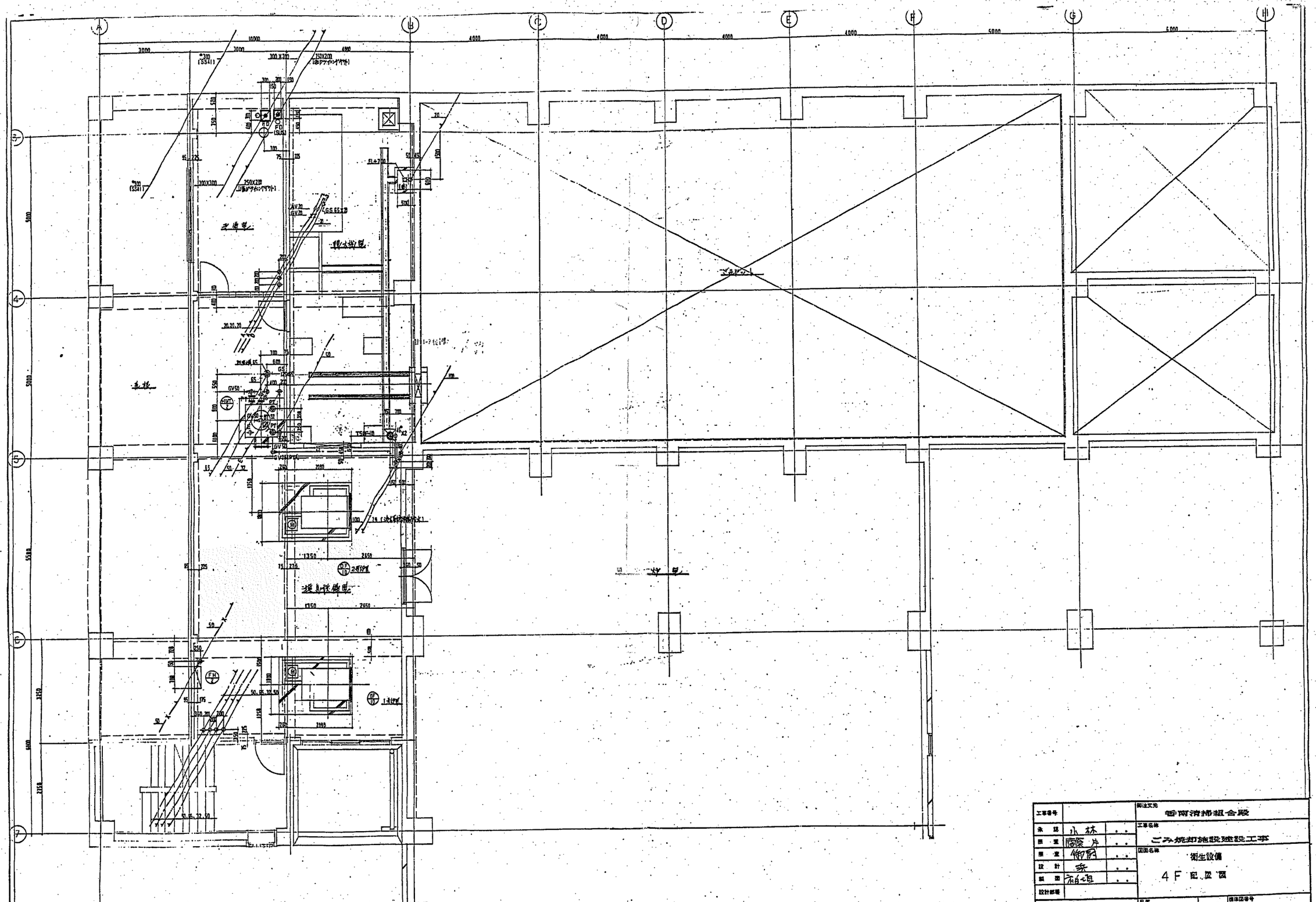


4F 平面図

工事番号		発注文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
所室	勝原	図面名称
所室	御前	
設計	浜	
製図	稲垣	衛生設備 3F 平面図
設計部署		尺度 S=1/100
		図面番号 P-21

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第41611号 小林通也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725



工事番号	
承認	小林
照査	勝原片
審査	御厨
設計	妹
製図	布的祖
設計部署	

発注文先
香南清掃組合殿

工事名称
ごみ焼却施設建設工事

図面名称
衛生設備
4F 配 置 図

尺度 1/50　　方位

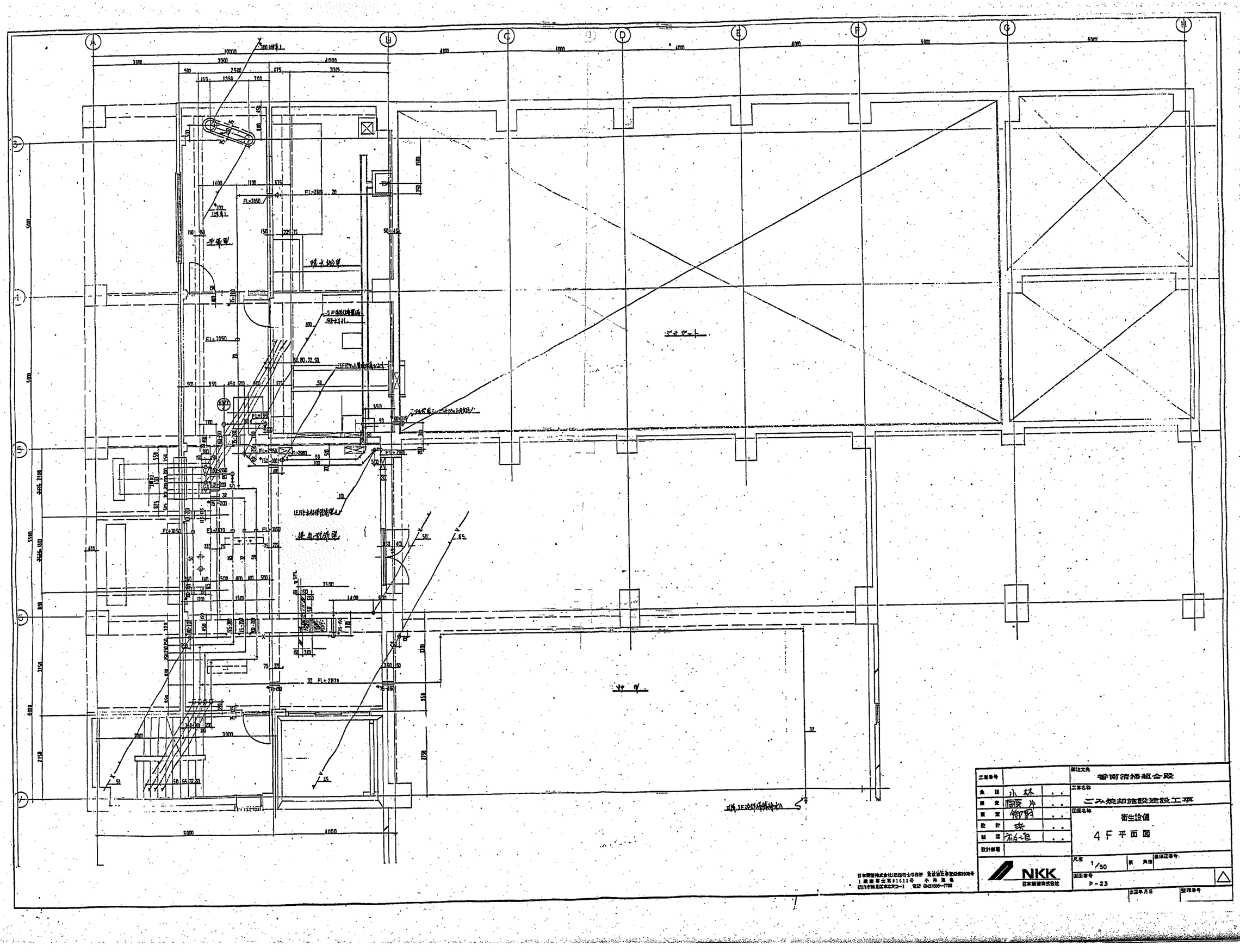
図面番号 P-22

出図年月日

管理番号

日本鋼管株式会社 技術研究所 東京都渋谷区神宮前2丁目8番3号
1級建築士第61011号 小林 基 名
設計所届受理第(2)572-1 電話 (043)305-7720

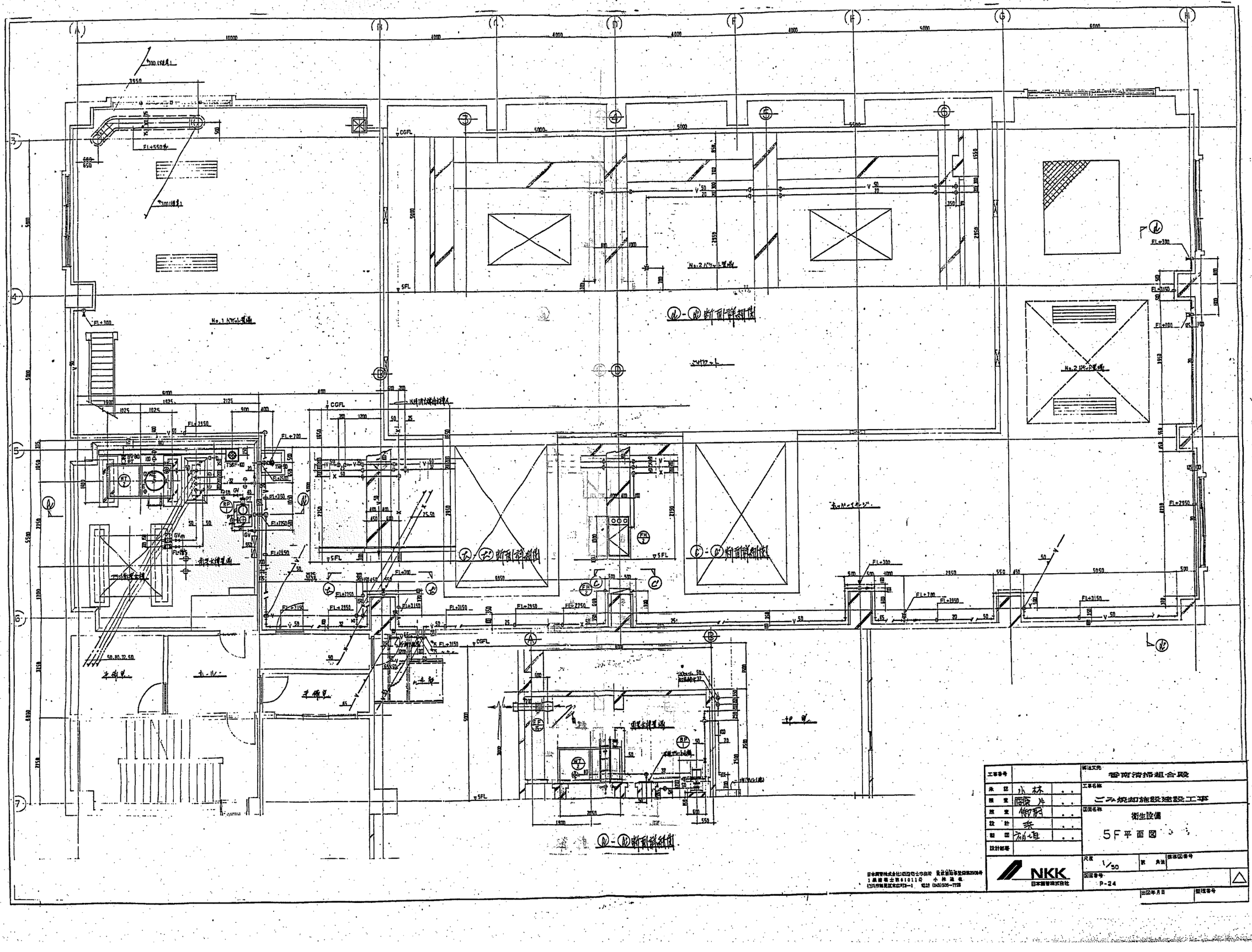
NKK
日本鋼管株式会社



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
課室	隠岸		
課室	御厨	図面名称	衛生設備
設計	浜		4F平面図
製図	前畑		
設計部署		尺度	1/50
		新 角度	標準図番号
		図面番号	P-23
		出図年月日	整理番号

NKK
日本国管株式会社

日本国管株式会社(株)建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林 進 巻
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7785

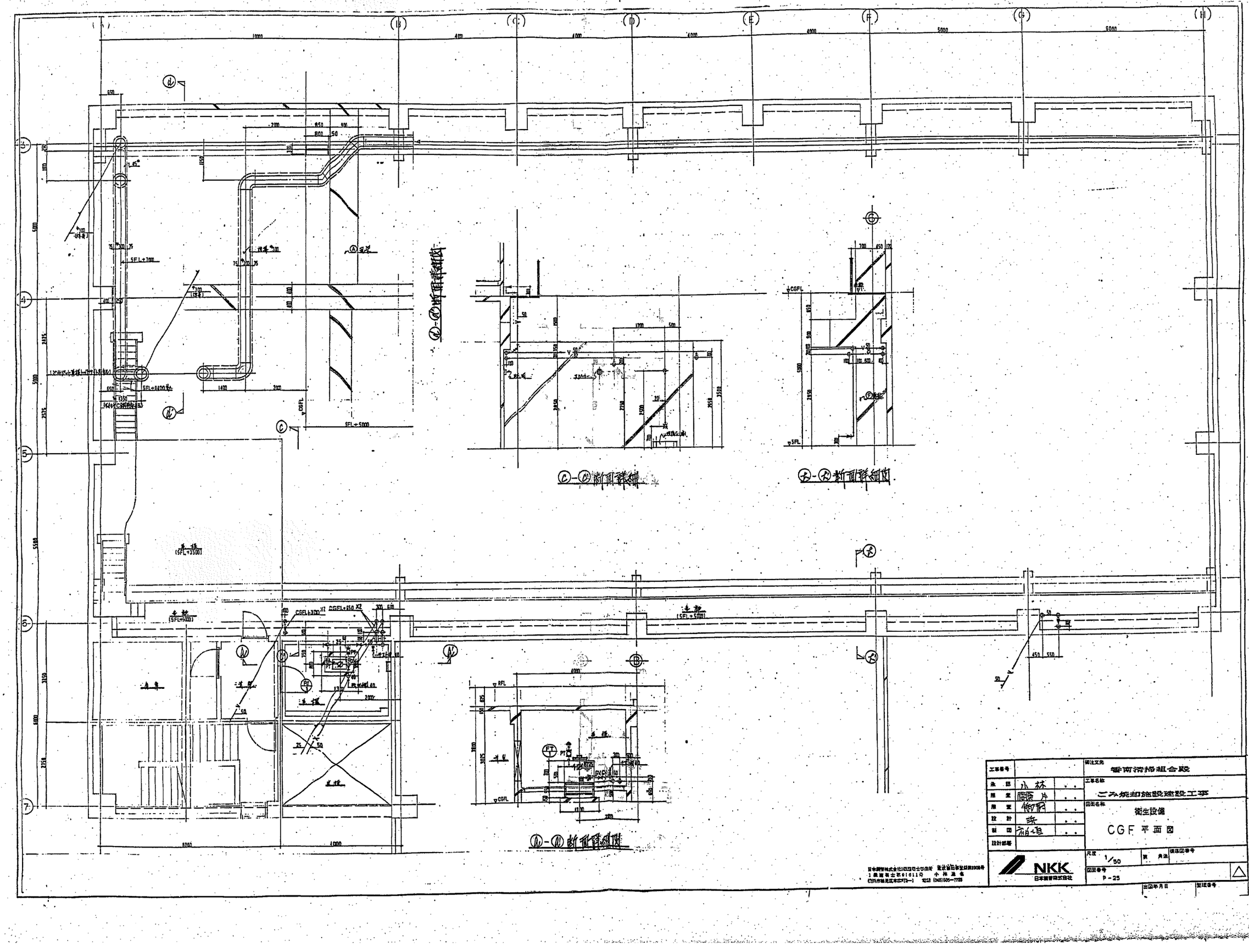


工事番号		
承認	小林	
照査	藤片	
照査	御厨	
設計	森	
製図	前垣	
設計部署		

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	衛生設備 5F平面図
尺度	1/50
図面番号	P-24
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

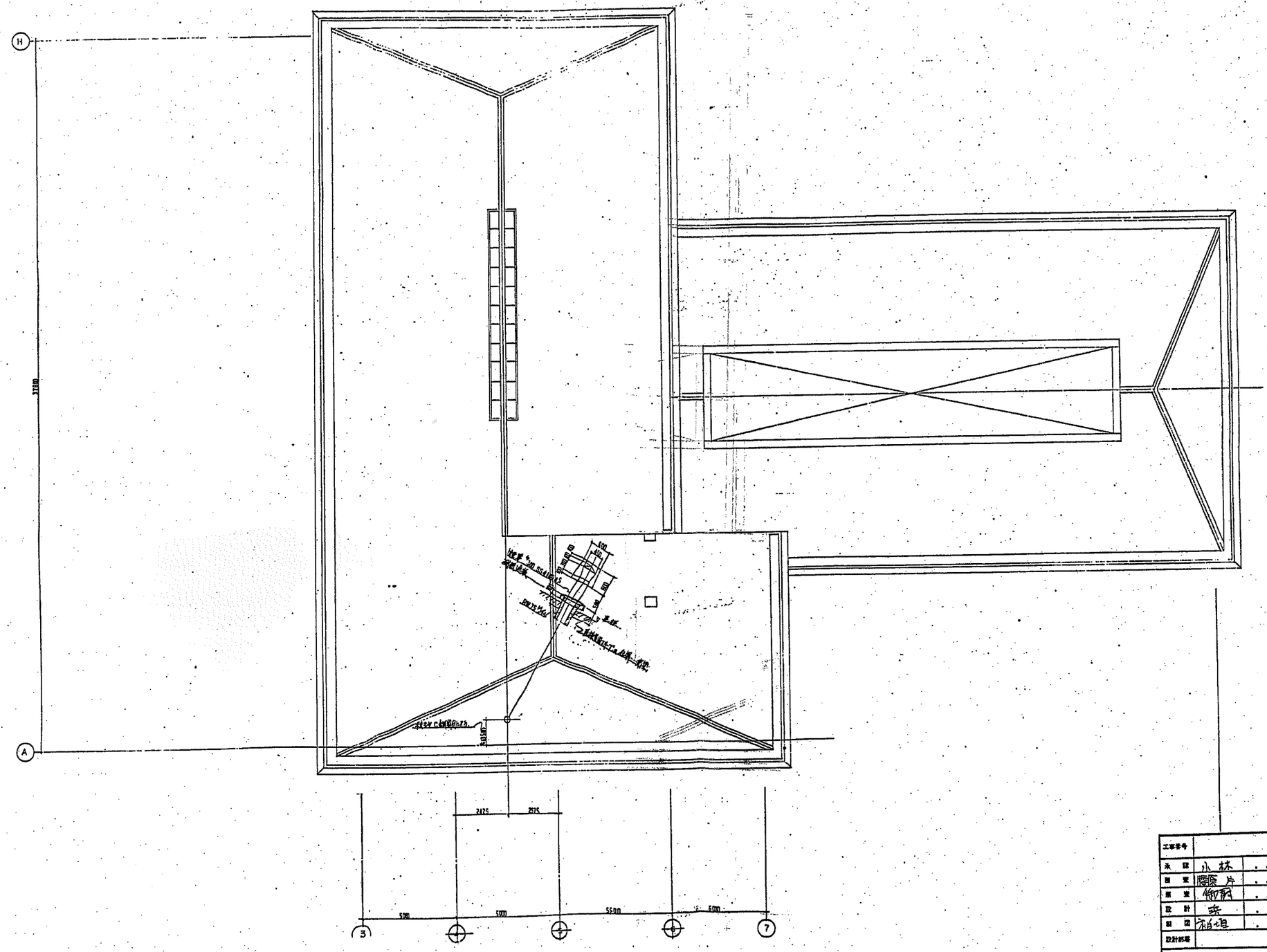
日本鋼管株式会社1回路電子市場所 東京都品川区東品川2-2-1 1 鋼管電子第61011号 小林通信 横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

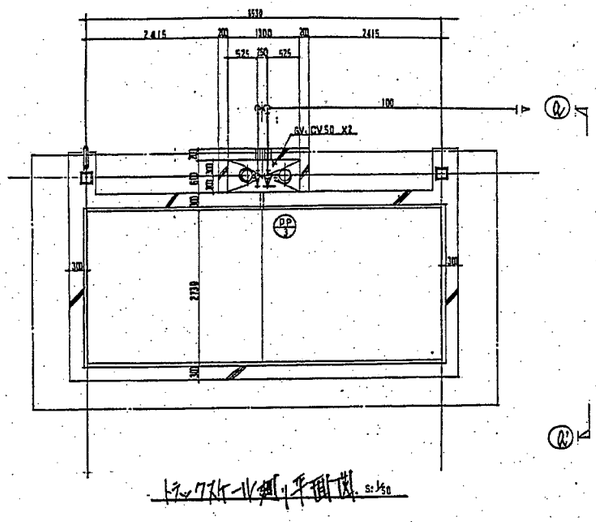


工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原 片		
照査	御厨	図面名称	衛生設備
設計	浜		CGF 平面図
製図	前垣		
設計部署		尺度 1/50	図面番号 P-25

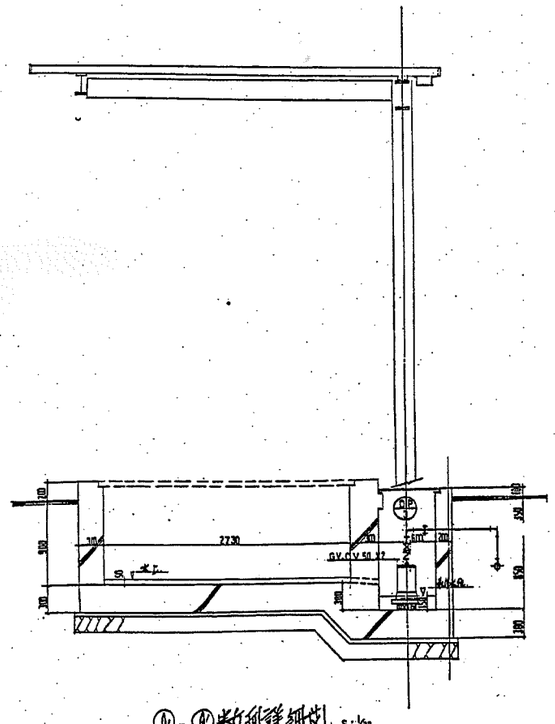
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 1022 (045)505-7725


H
A
3
7
2475
2575
5000
5000
5500
5000
100
450
100
100
100



トラックスケール細り平面図 S:1/50



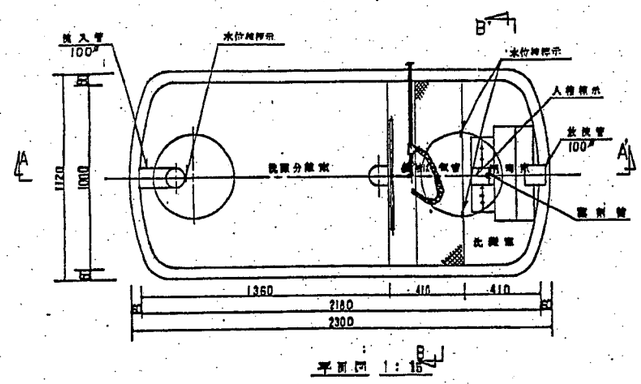
Ⓐ-Ⓐ断面詳細図 S:1/30

工事番号		
承認	小林	
照査	脇原 片	
照査	御厨	
設計	浜	
製図	祐垣	
設計部署		

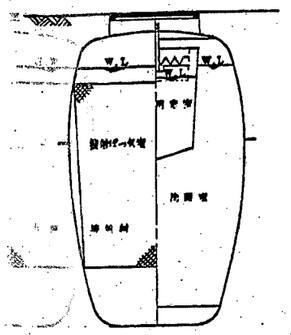
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 鋼造研究所 東京都渋谷区鉄道2908番
1 鋼造研究所 61611番 小林通信
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725

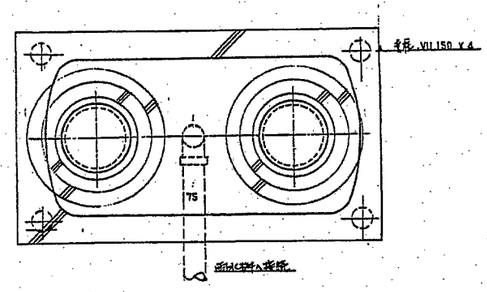
御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	衛生設備 トラックスケール詳細図
尺度	1/30 1/50
縮角法	
標準図番号	
図面番号	P-27
出図年月日	
整理番号	



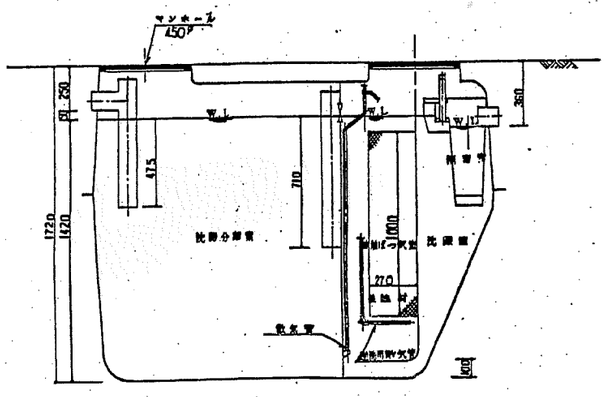
平面図 1:15



B-B' 断面図 1:15

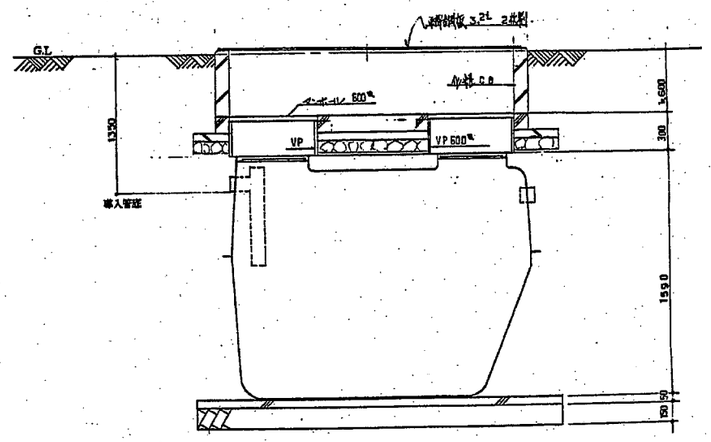


平面図 1:20



A-A' 断面図 1:15

仕様		5人
項目		必要容量	設計容量
槽容量		2.450㎥	2.490㎥
処理水槽中		1.650㎥	1.656㎥
槽容量の割合		0.500㎥	0.513㎥
槽容量	嫌気槽	0.231㎥	0.238㎥
	沈殿槽	0.280㎥	0.291㎥
	消毒槽	0.020㎥	0.030㎥
ブロワ	モーター出力(W)	30W以上	
	台数	1台以上	
	吐出風量(ℓ/分)	29ℓ/分以上	



断面図 1:20

型式 FC-D15
15人槽
大臣認定番号 85-1A-033-3

工事番号			
承認	小林		
照査	岡田		
照査	御厨		
設計	坂		
製図	福		
設計部署			

日本調管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2906号
1級建築士第61811号 小林 晃 他
横浜市緑区北八朔町1-1 電話 (045)935-7725

NKK 日本調管株式会社

発注文角	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	浄化槽図
尺度	1:15 1:20
図面番号	P-28
出図年月日	
整理番号	

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

空調設備 機器表 NKK

記号	名称	型式	仕様	付属品	相φ	電圧V	容量KW	数量	設置 室名
CH	温水熱吸収式 冷凍機		冷房能力 60,000KCAL/H 冷水温度 5ー 9 ℃ 冷水量 200L/M 圧損3.9M 冷却水温度 29.5ー34.5 ℃ 冷却水量 486L/M 圧損6.8M 熱媒水温度 68℃ー 83 ℃ 熱媒水量 286L/M圧損2.7M 寸法1035WX1990LX1991H	制御盤 リモコン	1	200	0.03	1	3F余熱利用 機械室
CT-1	冷却塔	開放式 低騒音型 20RT	冷却能力 145800KCAL/H 冷却水入口水温 34.5 ℃ 冷却水出口水温 29.5 ℃ 冷却水量 486 L/M 外気湿球温度 27 ℃ 塔内損失水頭 2.0 M 騒音値 58.5 Aホン	送風機 CTスイッチ	3	200	4.1	1	3F冷却塔置場
CDP1, 2	冷却水循環ポンプ	ライン型 屋外仕様	65φX 486L/MX 18 M	自動交互運転	3	200	3.7	2	2F屋根
ACP1, 2	冷房用冷水ポンプ	ライン型	40φX 200L/MX 18 M	自動交互運転	3	200	1.5	2	3F余熱利用 設備室
AHP1, 2	暖房用温水ポンプ	ライン型	32φX 100L/MX 17 M	自動交互運転	3	200	0.75	2	同上
AP 1, 2	冷房用熱源水ポンプ	ライン型	50φX 286L/MX 9 M	自動交互運転	3	200	1.5	2	同上
FC2	ファンコイル ユニット	カセット型 2方向吹出型	冷房能力 1600 KCAL/H 暖房能力 3460 KCAL/H 冷水量 6 L/M 冷水温度 9-14 ℃ 19.5 WB℃ 温水量 3 L/M 温水温度 70℃ 22DB℃	送風機 フラットパネル 往還バルブ コントロール スイッチ	1	100	0.067	1	2F休憩室
FC3	ファンコイル ユニット	カセット型 2方向吹出型	冷房能力 2150 KCAL/H 暖房能力 4820 KCAL/H 冷水量 8 L/M 冷水温度 9-14℃ 19.5WB℃ 温水量 4 L/M 温水温度 70℃ 22DB℃	送風機 フラットパネル 往還バルブ コントロール スイッチ	1	100	0.081	2	1Fロッカー
FC8	ファンコイル	天井埋込型	冷房能力 4270 KCAL/H	送風機	1	100	0.133	1	1F和室

空調設備 機器表 NKK

記号	名称	型式	仕様	付属品	相φ	電圧V	容量KW	数量	設置 室名
	ユニット		暖房能力 8440 KCAL/H 冷水量 16 L/M 冷水温度 9-14℃19.5WB℃ 温水量 8 L/M 温水温度 70℃ 22DB℃ 処理風量 1020 CMH 機外静圧 2 MMAq	往還バルブ					
FC8	ファンコイル ユニット	カセット型 2方向吹出型	冷房能力 5980 KCAL/H 暖房能力 15210 KCAL/H 冷水量 24 L/M 冷水温度 9-14℃ 19.5WB℃ 温水量 16 L/M 温水温度 70℃ 22DB℃	送風機 フラットパネル 往還バルブ コントロール スイッチ	1	100	0.132	12	1F事務室 2F会議室 2F中央制御室 2Fデータ処理
AC-1	空調機	パッケージ 空冷 HP カセット型 防振吊 4方向吹出型	冷房能力 12500 KCAL/H 暖房能力 14500 KCAL/H 処理風量 ー CMH 機外静圧 ー MMAq 夏季 室外35 DB℃室内 19.5 WB℃ 冬季 室内21 DB℃室外 6 WB℃ 液 側配管 φ 9.5 ガス側配管 φ19.1	室内送風機 補助ヒータ 圧縮機 室外送風機	3 3 3 3	200 200 200 200	0.08 ー 3.0 0.115	1	M2F 尻クレーン操作室
HT	プラント用温水タンク	SUS	容量 6M³ 貯湯温度 90~80℃ SUS444 寸法 2x(1+1)X1.5H	温度計 保温				1	3F
P.P	プラント用 温水循環ポンプ	渦巻型	65φX 400L/MX15M	1台予備 3台台数制御	3	440	2.2	3	

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
課室	勝原片
係室	御厨
設計	浜
製図	福原
設計部署	

発注先 荏原神鋼合設

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 空調設備 機器表 1

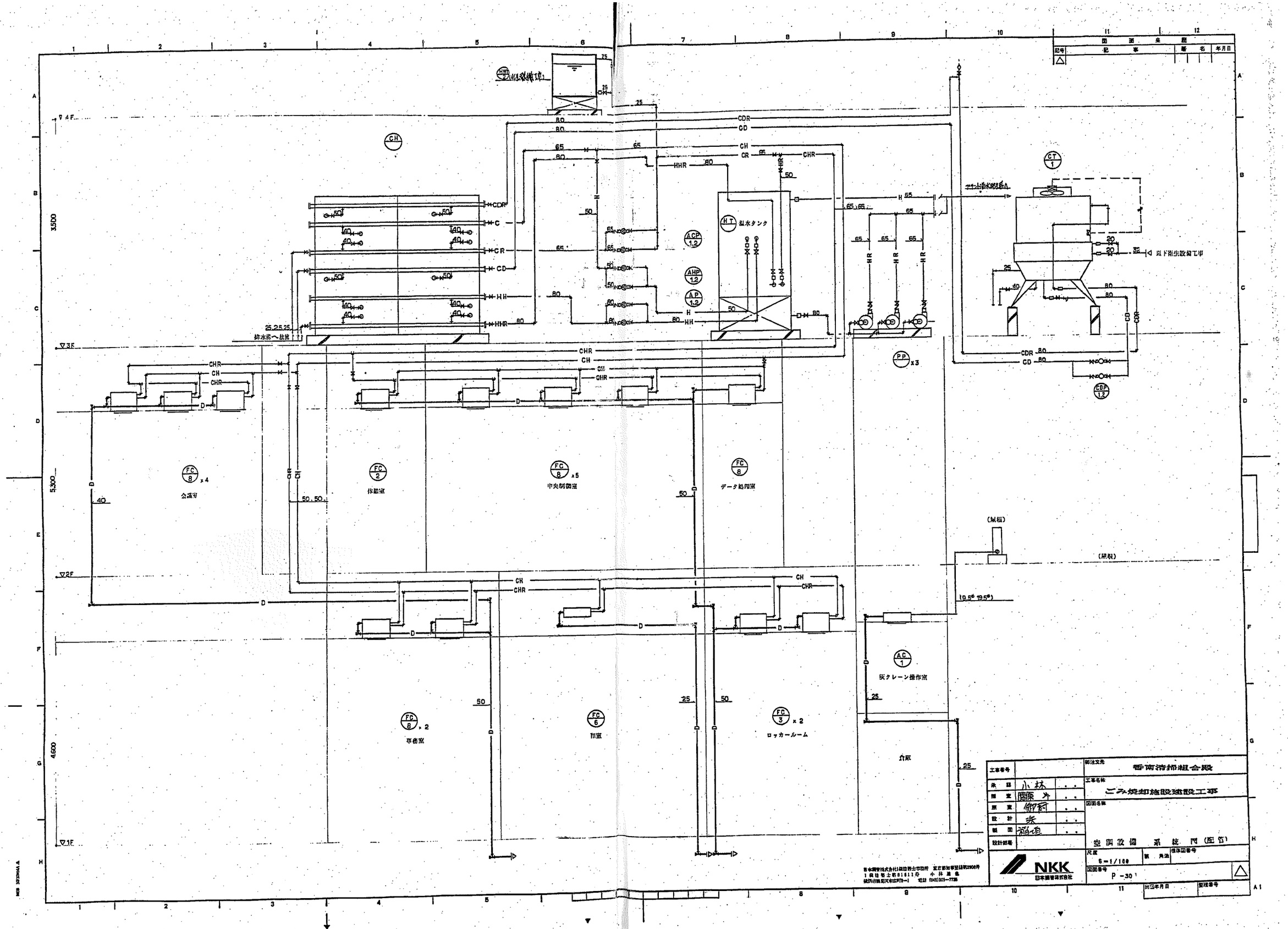
尺度 ー 製角法 標準図番号

図面番号 P-29 △

出図年月日 整理番号

日本鋼管株式会社技術総合研究所 東京都渋谷区桜丘町1番地 〒150 03(477)2111
1号館 東北支店 仙台市一番町三丁目7番1号 〒980 小林 建 様
横浜市鶴見区末広町2-1 〒230 045(505)7725

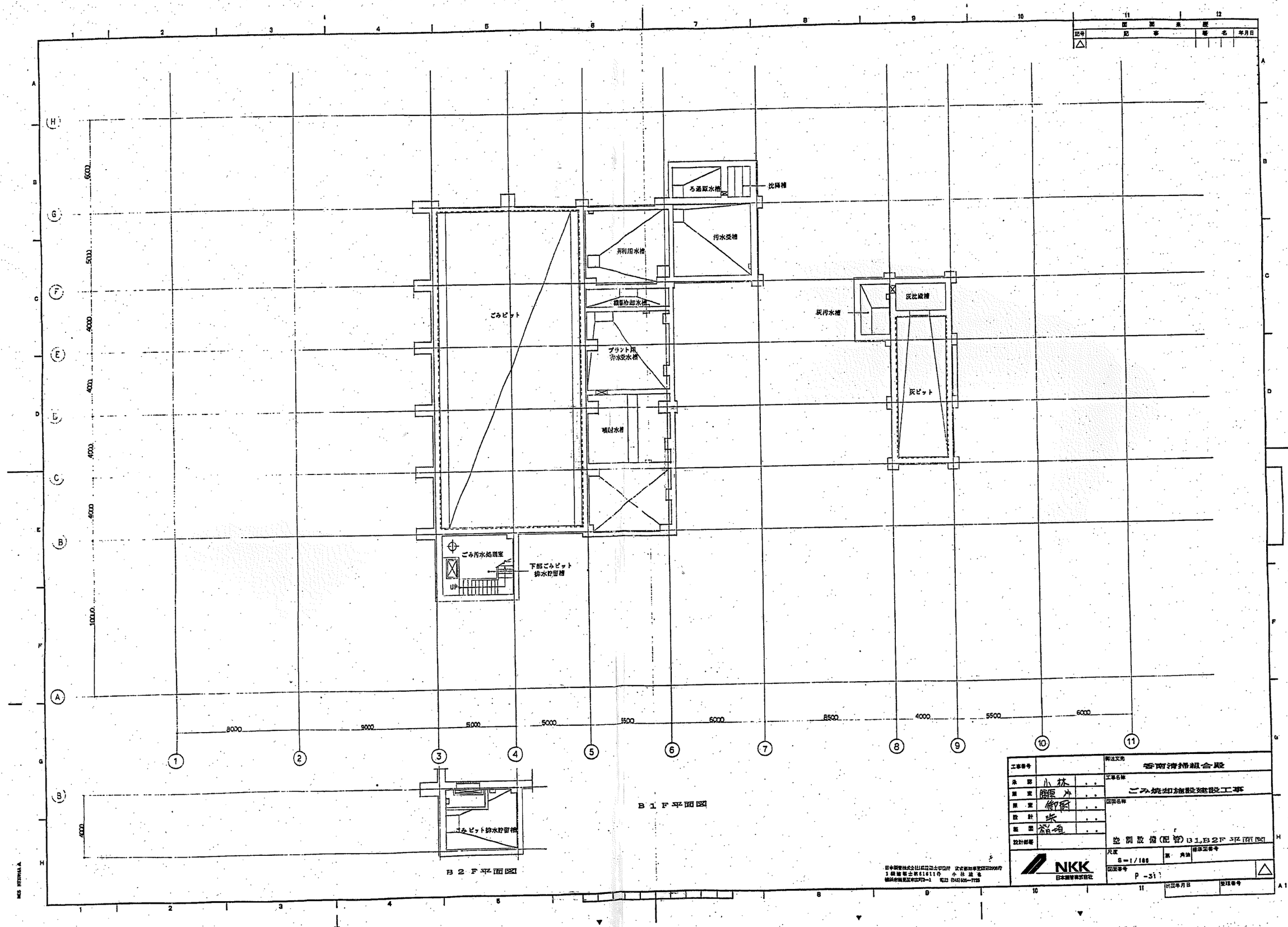
NKK 日本鋼管株式会社



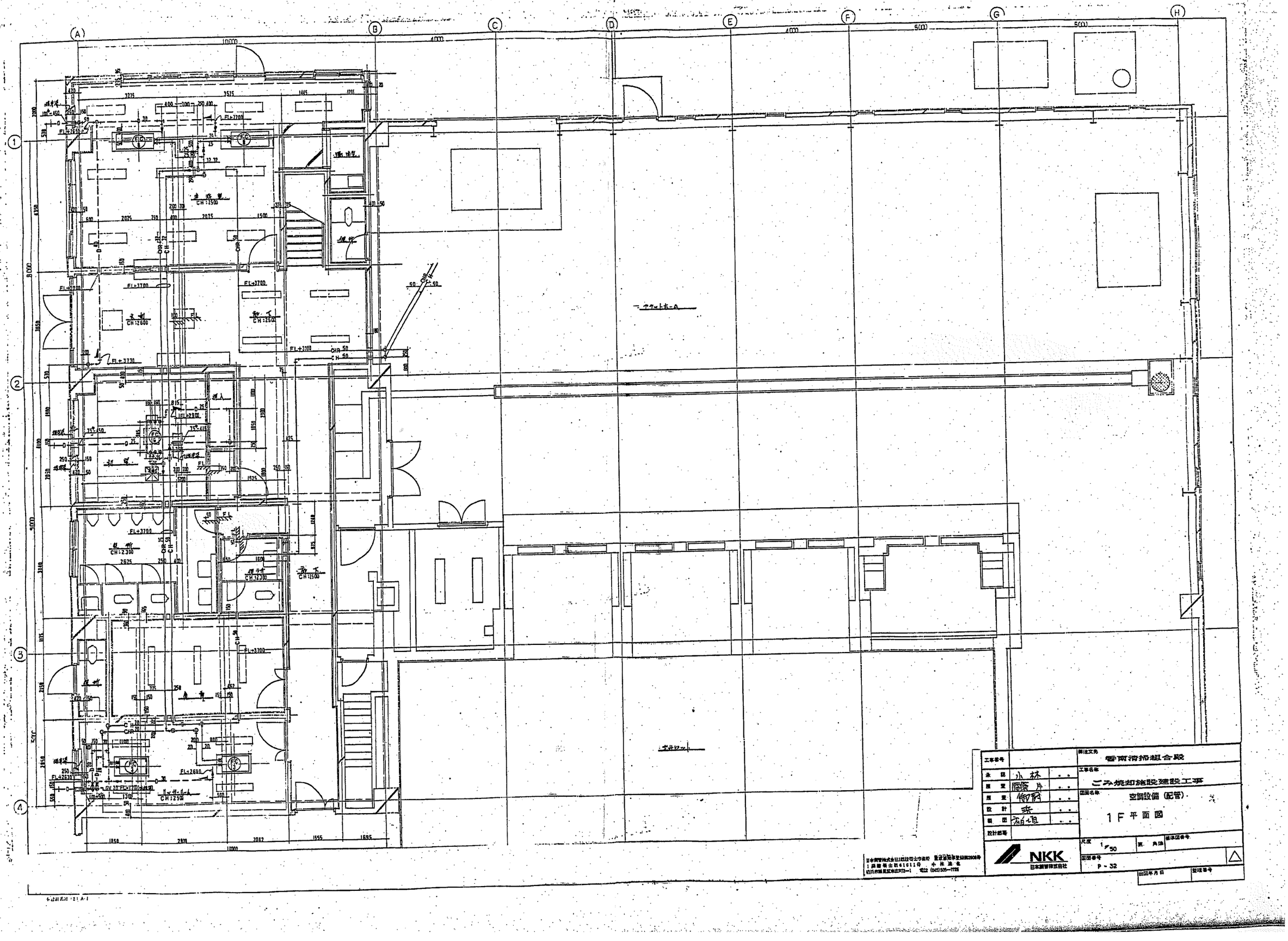
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
担当	藤原	図面名称	空調設備 系統図(配管)
原案	御厨		
設計	浜		
製図	福垣		
設計部署		尺度	6-1/100
		図面番号	P-30

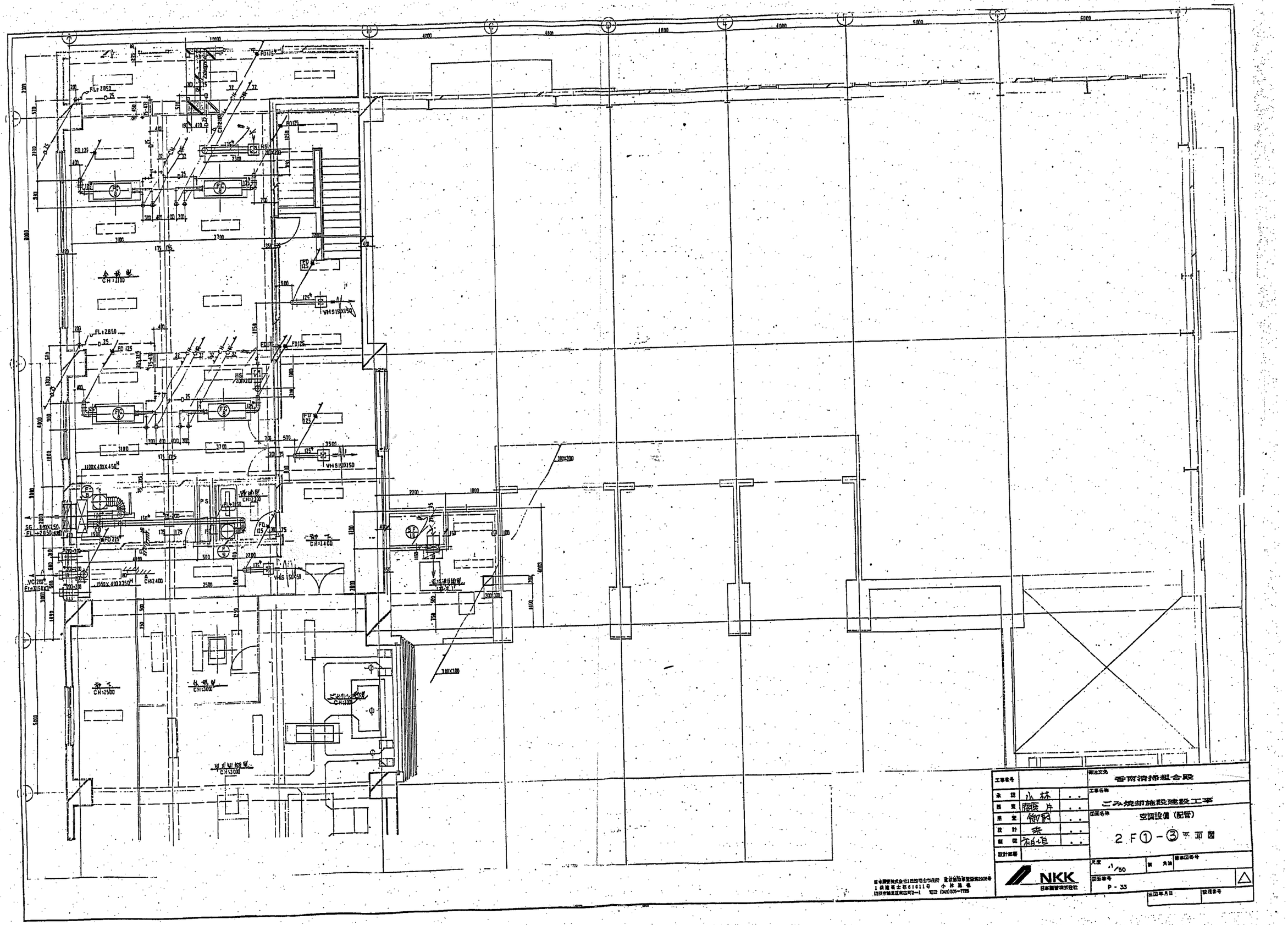
NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 福田哲士事務所 東京都知事登録第2908号
1 鋼管 哲士第81611号 小林 進 也
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7735



ろ過原水槽
沈降槽
汚水受槽
再利用水槽
機器冷却水槽
プラント用
井水受水槽
噴射水槽
ごみピット
灰沈殿槽
灰汚水槽
灰ピット
ごみ汚水処理室
下部ごみピット
排水貯留槽
UP
ごみピット排水貯留槽
8000
9000
5000
5000
5500
6000
8500
4000
5500
6000
6000
5000
4000
4000
4000
4000
10000
B 1 F 平面図
B 2 F 平面図
工事番号
承認 小林
照査 [illegible]
照査 御厨
設計 [illegible]
製図 [illegible]
設計部署
NKK
日本鋼管株式会社
御注文先
香南清掃組合殿
工事名称
ごみ焼却施設建設工事
図面名称
空調設備(配管) B1,B2F 平面図
尺度
S=1/100
第 角法
標準図番号
図面番号
P-31
出図年月日
整理番号


A
B
C
D
E
F
G
H
1
2
3
4
10000
4000
4000
5000
5000
8000
5000
FL+3700
FL+2700
FL+2600
FL+3730
FL+2900
FL+2680
FL+2630
CH:2500
CH:2600
CH:2300
CH:2900
CH:2500
CH:2500
CH:2500
CH:2300
CH:2500
CH:2500
CH:2500



工事番号		
承認	小林	
図案	藤原 片	
照案	御厨	
設計	来	
製図	柏垣	
設計部署		

御注文先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 空調設備（配管）

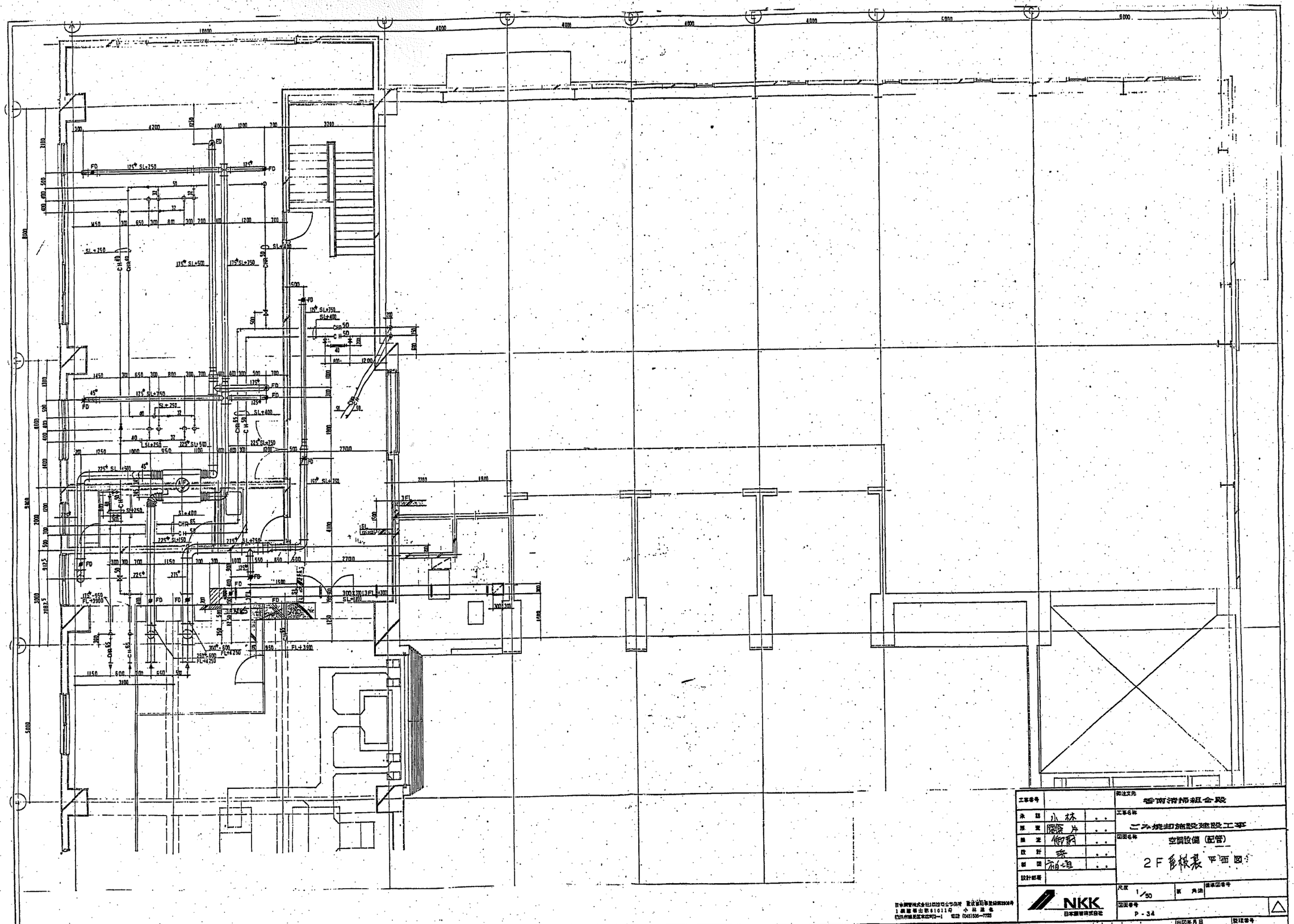
2F①-③平面図

尺度 1/50

図面番号 P-33

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1回路西士当府 東京都臨海事業部第2908号
1 鉄道電士第61611号 小林通信
関東市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725



工事番号		
承認	小林	
照査	隆俊片	
照査	御厨	
設計	浜	
製図	柏垣	
設計部署		

御注文先 香南清掃組合殿

工事名称 ごみ焼却施設建設工事

図面名称 空調設備（配管）

2F 乾根裏 平面図

尺度 1/50

新 角法

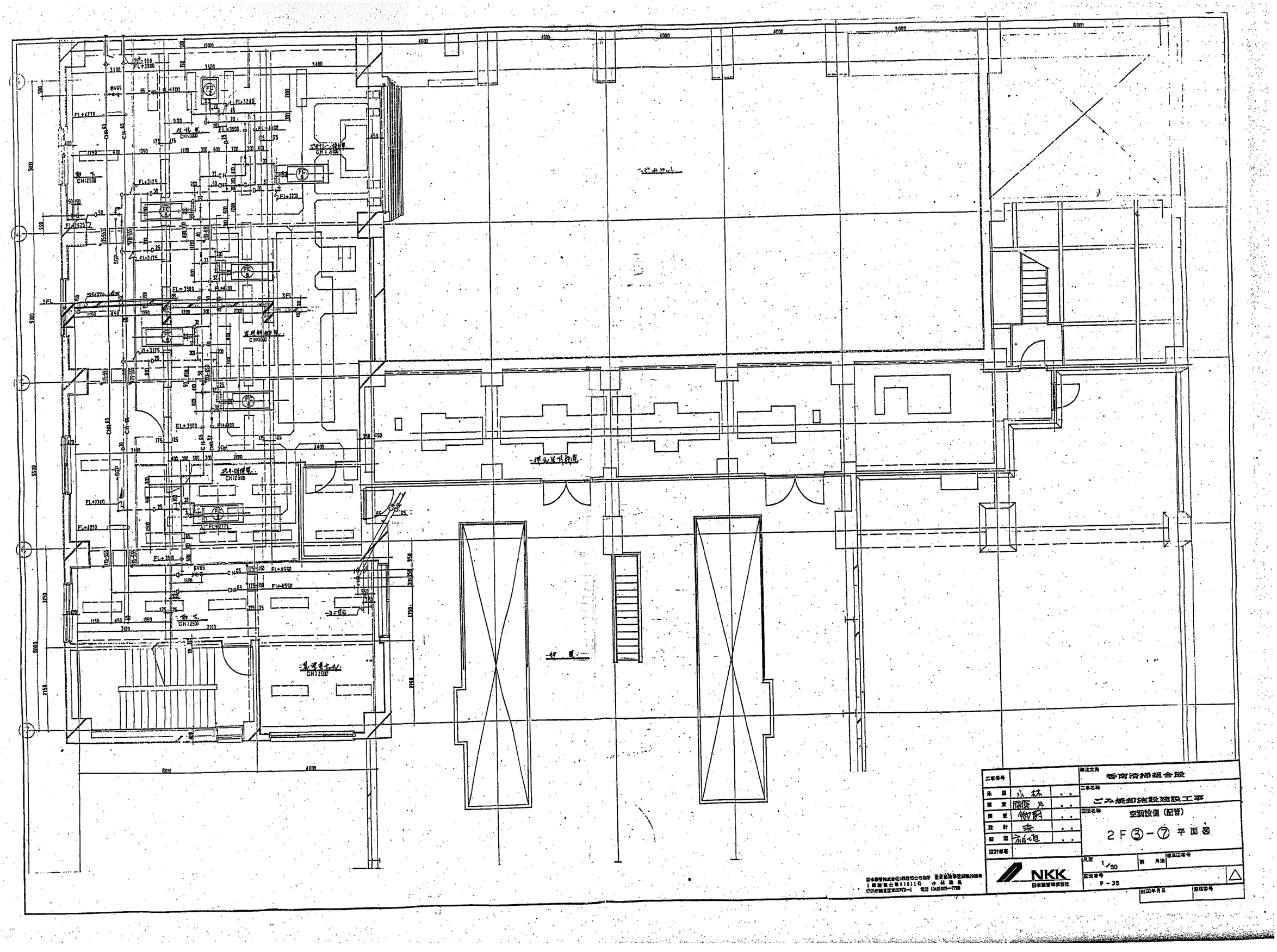
図面番号 P-34

出図年月日

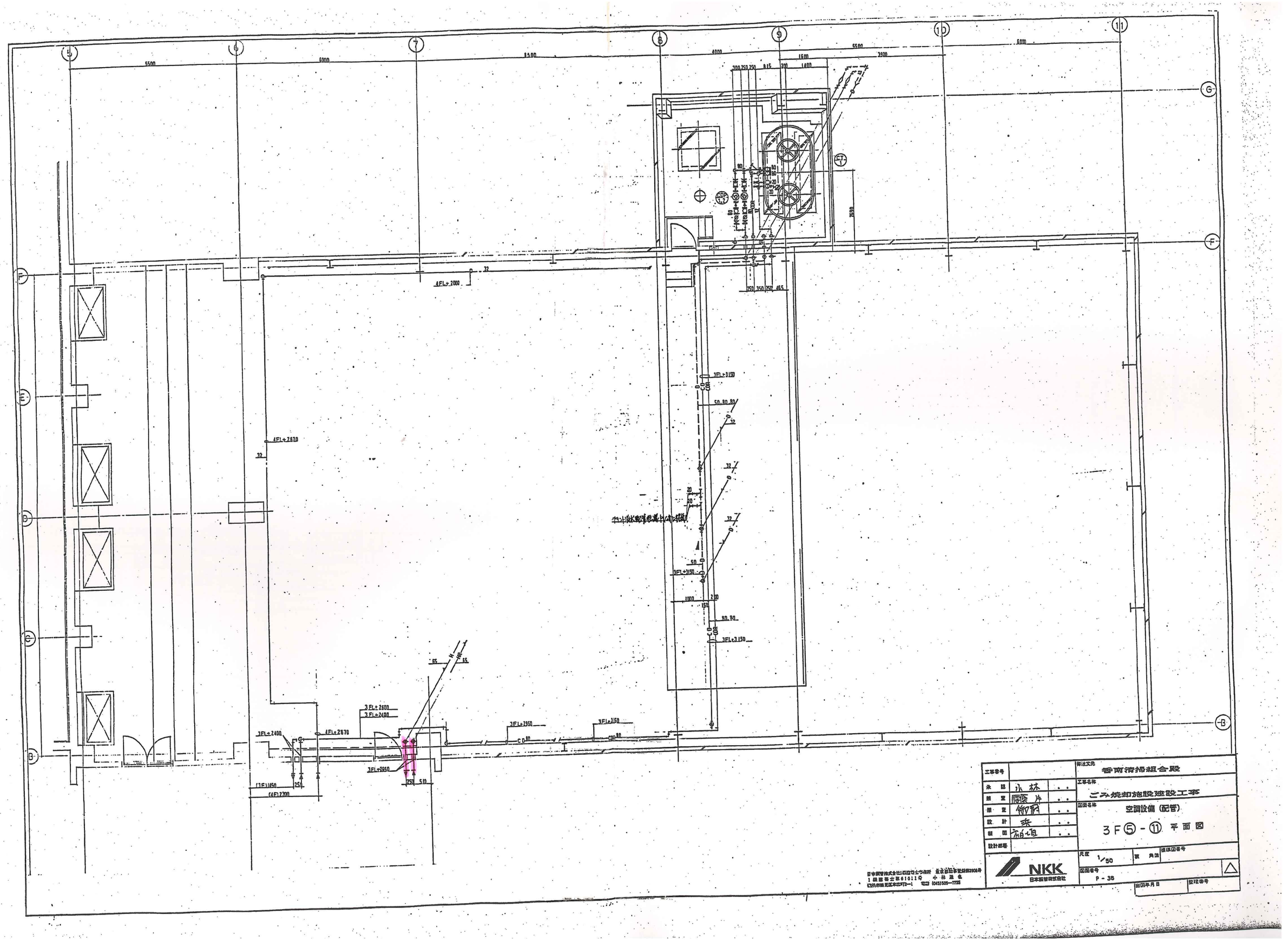
整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林建築
(代)川崎東区東田町2-1 電話 (045)506-7725

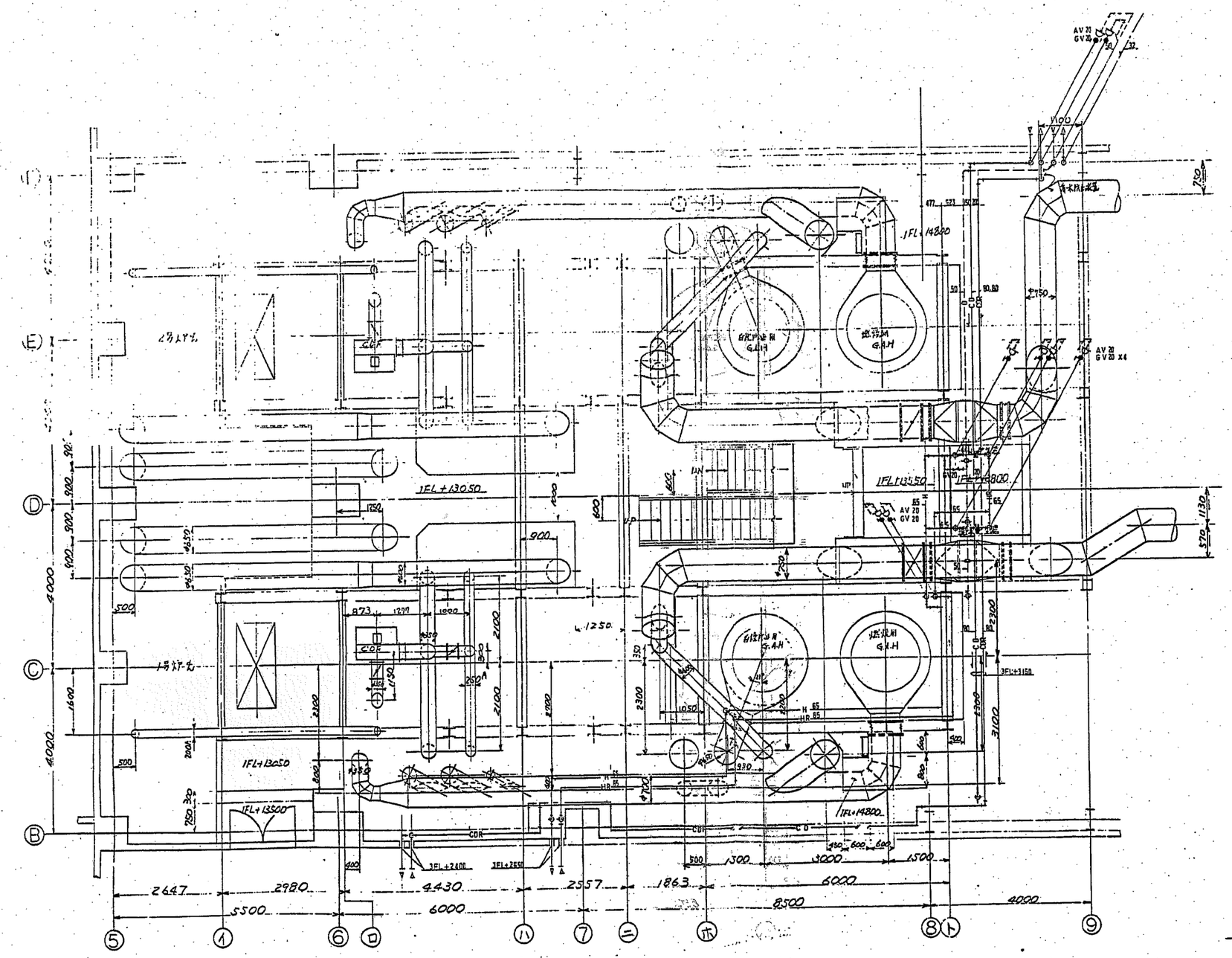


香南清掃組合殿
ごみ焼却施設建設工事
空調設備（配管）
2F③-⑦ 平面図
1/50
P-35
NKK
日本鋼管株式会社



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	藤原片	図面名称	空調設備（配管）
照査	御前		3F⑤-⑪ 平面図
設計	浜		
製図	前垣		
設計部署		尺度 1/50	原角油
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号 P-36	
		出図年月日	整理番号

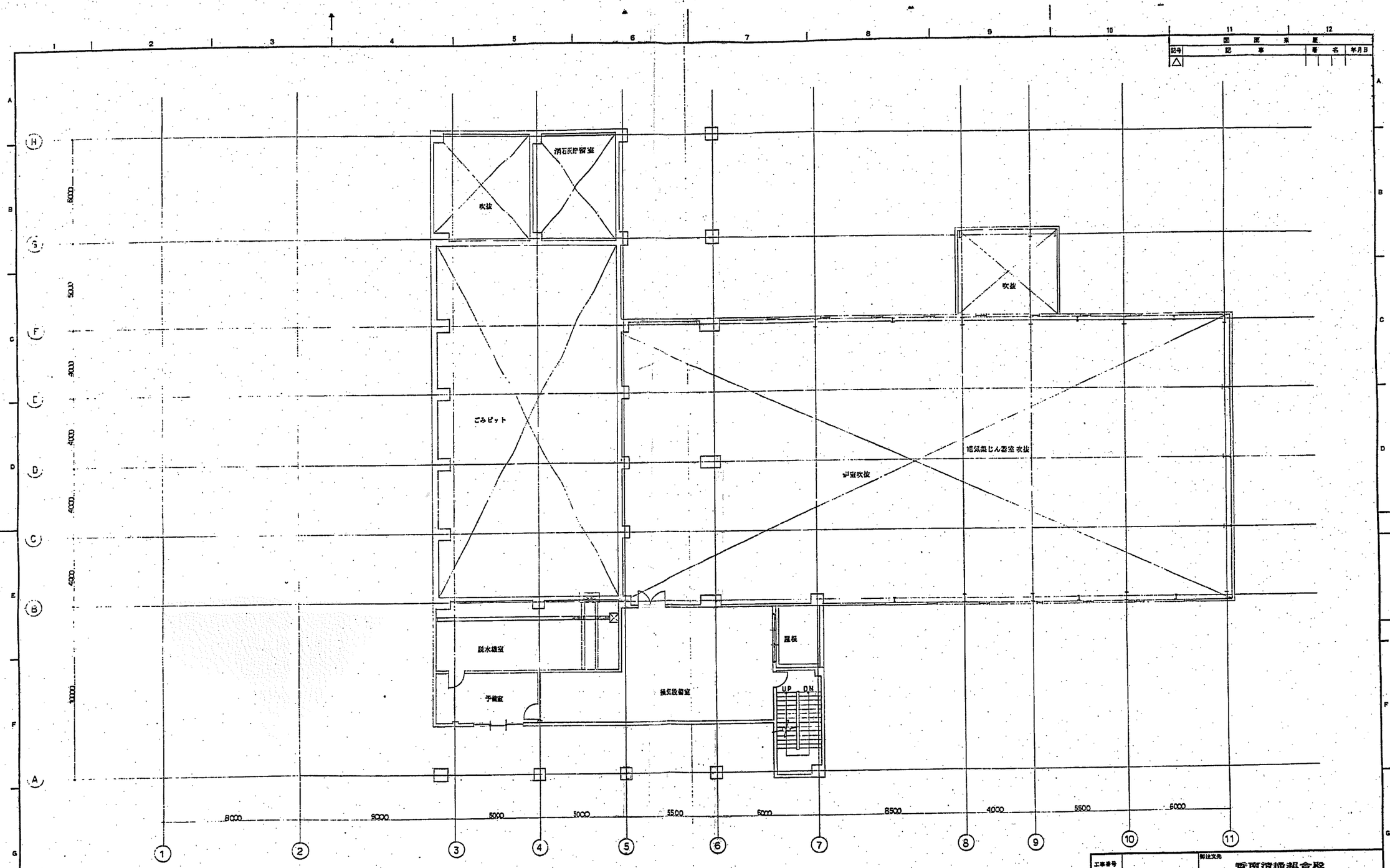
日本鋼管株式会社 鋼造物土木事業所 東京都品川区豊洲3908号
1級建築士第61611号 小林進也
鋼造物事業部東京本店第72-1 電話 (045)505-7725



工事番号		関法文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	阿部	図面名称	空調設備（配管）
設計	渋		3F炉室温水発生器廻り詳細図
製図	相垣		
設計部署		尺度	1/50
		図面番号	P-37

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社国際協力事業部 東京都新宿区西新宿2-1 1 建築第一部 61011号 小林建築 電話 (045)505-7725

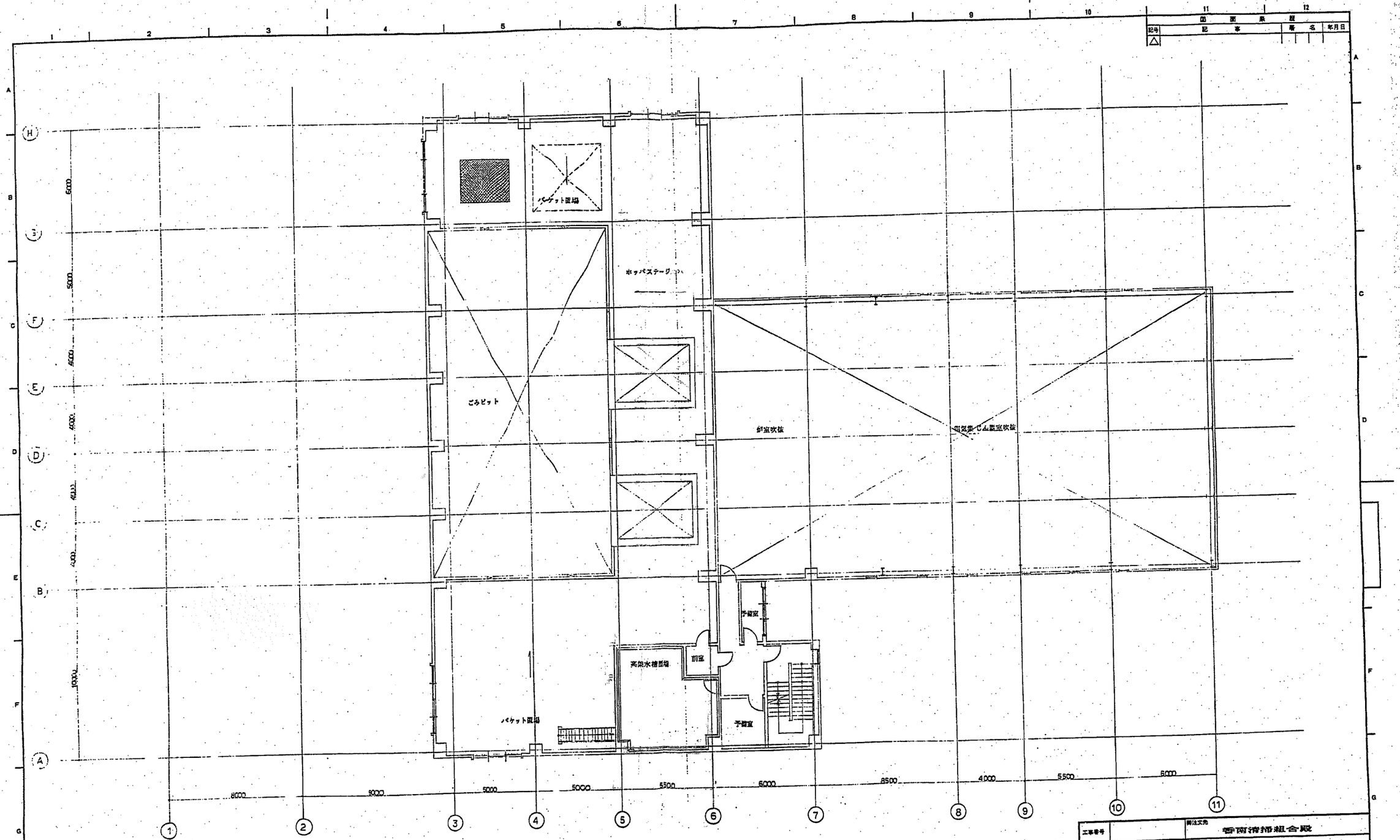


4 F 平面図

工事番号		郵送文先 香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称 ごみ焼却施設建設工事
原案	鶴原	
原案	御厨	図面名称
設計	浜	
製図	福垣	空調設備(配管) 4 F 平面図
設計部署		尺度 S=1/100
		第 角法
		標準図番号
		図面番号 P-38
		出図年月日
		整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第41811号 小林通信
横浜市鶴見区東寺町2-1 電話 (045)505-7725

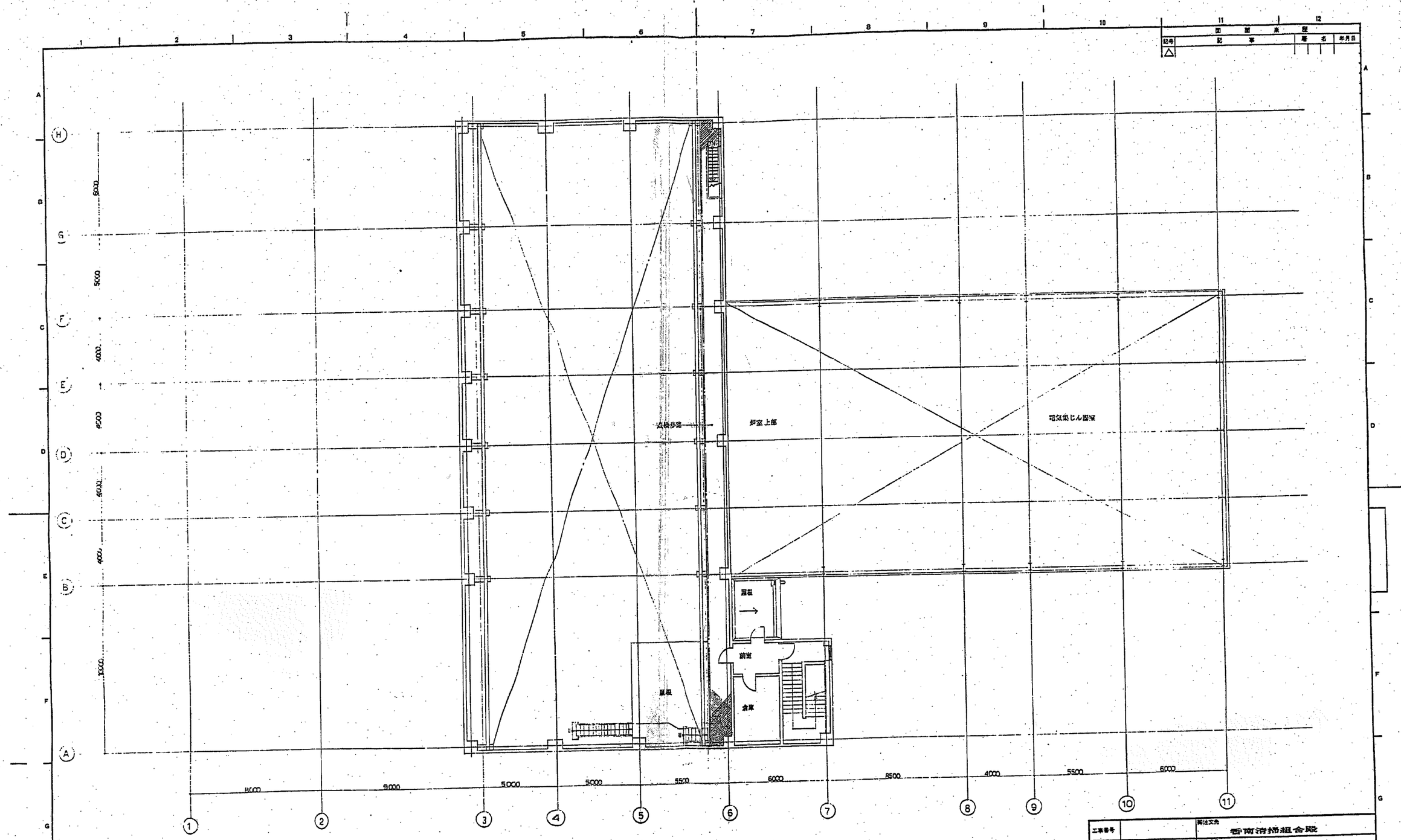


5F 平面図

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
編集	藤原 外	図面名称	空調設備(配管) 5F 平面図
附表	御厨		
設計	浜		
製図	福垣		
設計部署		尺度	S=1/100
		図面番号	P-39

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社技術研究所 東京都知事登録第[illegible]号
1級建築士第41013号 小林 建 亀
技術市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7728

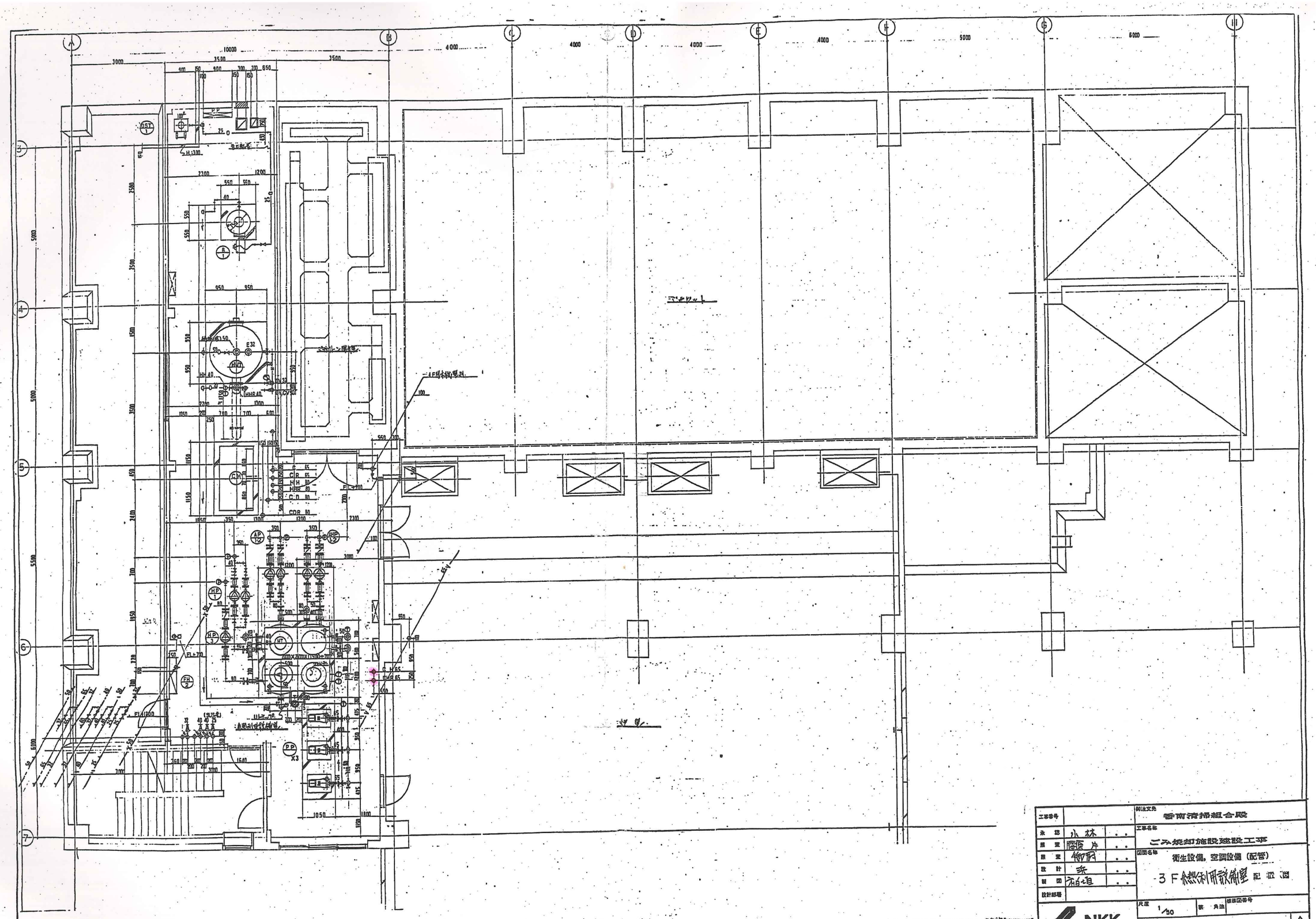


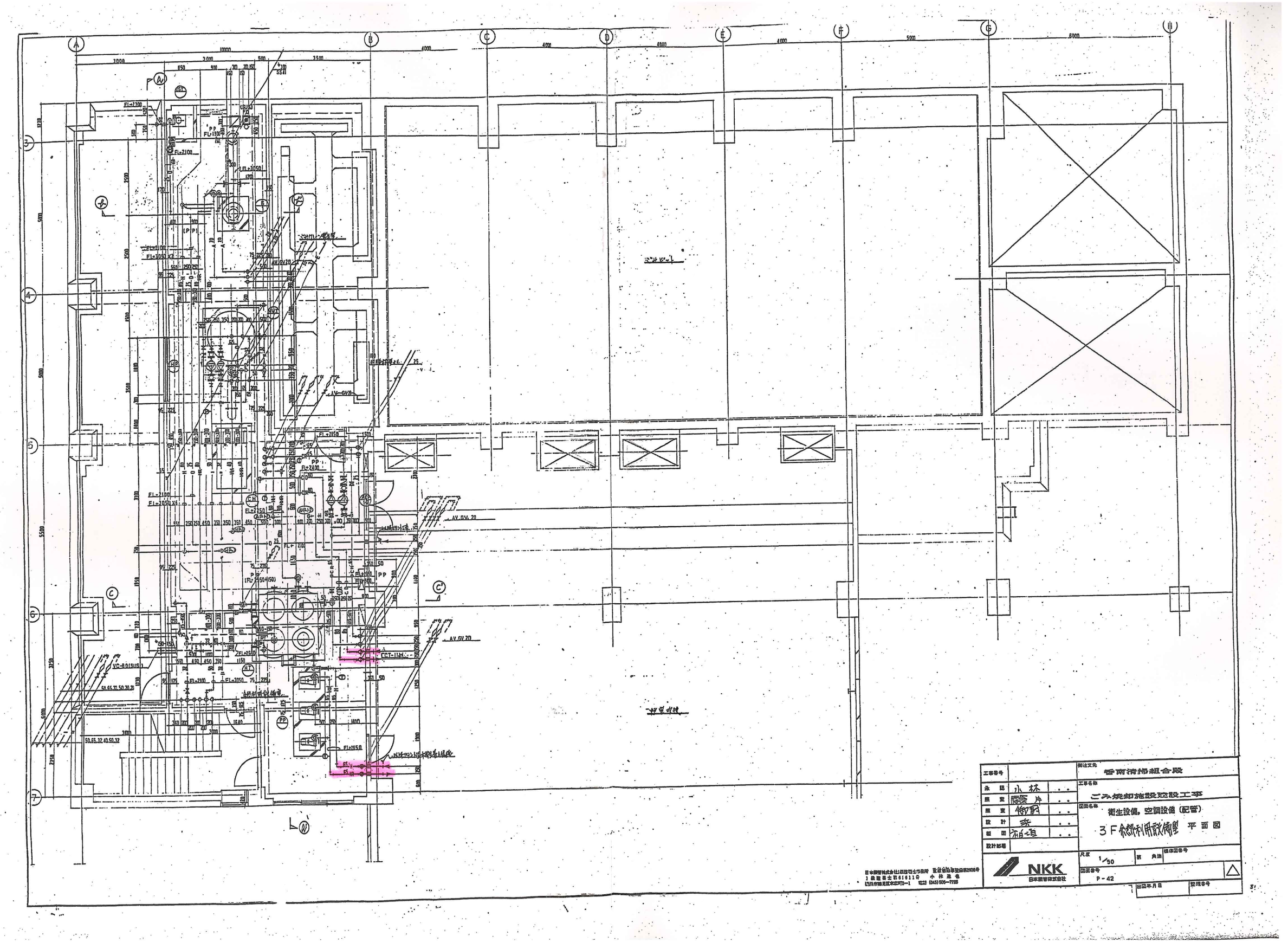
CGF平面図

工事番号		関連文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
原案	関原 片		
照案	御野	図面名称	空調設備(配管) CGF平面図
設計	浜		
製図	浦田		
設計部署		尺度	S=1/100
		図面番号	P-40

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 設建築士事務所 東京都知事登録第3909号
1級建築士第61611号 小林 施 也
横浜市鶴見区東広町2-1 電話 (045)505-7725


A
B
C
D
E
F
G
H
4
5
6
7
10000
4000
4000
4000
4000
5000
6000
3000
3500
3500
5000
3500
1500
5000
3500
2400
5500
3700
1950
3700
6000
3700
1650
1150
1150
1150
1150
1050
1300
1200
2300
1050
1800
1640
3700
2700
1300
1050
700
600
550
550
550
550
950
950
2300
1200
550
550
550
550



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隆房片		
照査	御前	図面名称	衛生設備，空調設備（配管）
設計	浜		3F 余熱利用設備室 平面図
製図	柏垣		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	縮尺図番号
		図面番号 P-42	
		出図年月日	整理番号

日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林建築
横浜市鶴見区東芝町2-1 電話 (045) 505-7725

換気設備 NKK

記号	名称	型式	NO.	CMH	MM Aq	付属品	相φ	電圧V	容量KW	数量	設置室名
SF-1	送風機	ライン	200φ	100	12		1	100	0.11	1	1F空調機械室
	BFごみ汚水系										
	環境系統										
SF-2	送風機	ライン	300φ	1240	13		3	200	0.45	1	4F排石灰貯留
	1F排石灰										室
	供給室系統										
SF-3	送風機	ライン	500φ	5350	21		3	200	1.5	1	1F排水処理設
	1F排水処理										室
	設備室系統										
SF-4	送風機	ライン	300φ	2090	16		3	200	0.45	1	1F倉庫兼工作
	1F倉庫兼										室
	工作室系統										
SF-5	送風機	ライン	300φ	1770	20		3	200	0.45	1	1F空調機械室
	1F原用油圧										
	ユニット室系統										
SF-6	送風機	シロッコ	#4	15510	11		3	200	3.7	1	1F電気室
	1F電気室系統										
SF-7	送風機	ライン	600φ	10640	13		3	200	2.2	1	1F灰コンベア
	1F灰コンベア										室
	室系統										
SF-8	送風機	シロッコ	#5	28090	22		3	200	7.5	1	1F誘引送風機
	1F誘引送風機										室
	室系統										
SF-9	欠番										
SF-10	送風機	シロッコ	#8	79010	38		3	200	30	1	2F電気集塵器
	2F電気集塵器	床置型									置場
	置場系統										
SF-11	送風機	ライン	400φ	3140	11		3	200	0.45	1	2F押込送風機室
	2F押込送風機室										
	系統										
SF-12	送風機	ライン	700φ	10345	9		3	200	2.2	1	3Fゴミクレー
	3Fごみクレーン										ン電気室
	電気室系統										
SF-13	欠番										
SF-14	送風機	ライン	200φ	1190	9		1	100	0.08	1	4F脱水機室
	4F脱水機室										
	系統										
EF-1	排風機	ライン	400φ	1010	18		3	200	0.4	1	5Fバケット
	BFごみ汚水	SUS製									置場
	処理室系統										
EF-2	排風機	圧力扇	500φ	1240	5	ウエザーカバー	3	200	0.105	1	1F消石灰供給
	1F消石灰供給					シャッター					室
	室系統					防護ネット					
EF-3	排風機	ライン	500φ	5350	21		3	200	1.5	1	1F排水処理
	1F排水処理										設備室

換気設備 NKK

記号	名称	型式	NO.	CMH	MM Aq	付属品	相φ	電圧V	容量KW	数量	設置室名
	設備室系統										
EF-4	排風機	圧力扇	400φ	2090	5	ウエザーカバー	3	200	0.145	1	1F倉庫兼工作
	1F倉庫兼工作					シャッター					室
	室系統					防護ネット					
EF-5	排風機	ライン	300φ	1570	16		3	200	0.45	1	1F原用油圧
	1F原用油圧										ユニット室
	ユニット室系統										
EF-6	排風機	シロッコ	#4	15510	11		3	200	3.7	1	1F電気室
	1F電気室系統										
EF-7	排風機	シロッコ	#4	14710	44		3	200	5.5	1	3F炉室
	1F灰ピット	床置型									
	系統										
EF-8	排風機	シロッコ	#5	20040	20		3	200	3.7	1	1F誘引送風機
	1F誘引送風機	床置型									室
	室系統										
EF-9	欠番										
EF-10	排風機	シロッコ	#8	79010	33		3	200	30	1	2F電気集塵器
	2F電気集塵器	床置型									置場
	置場系統										
EF-11	排風機	ライン	400φ	3140	13	ベントキャップ	3	200	0.45	1	2F押込送風機室
	2F押込送風機室										
	系統										
EF-12	排風機	ライン	700φ	10345	15		3	200	2.2	1	3Fごみクレー
	3Fごみクレーン										ン電気室
	電気室系統										
EF-13	排風機	有圧扇	200φ	1750	5	ウェザーカバー	1	100	0.062	1	3F余熱利用設
	3F余熱利用					シャッター					備室
	設備室系統					防護ネット					
EF-14	排風機	ライン	200φ	1190	10		1	100	0.15	1	4F脱水機室
	4F脱水機室										
	系統										
OF-1	送風機	ライン	150φ	100	6		1	100	0.011	1	M2F灰クレー
	M2F灰クレーン	消音BOX付									ン操作室
	操作室系統										
OF-2	送風機	ライン	150φ	100	11		1	100	0.011	1	1F機械室
	1Fロッカー	消音BOX付									
	ルーム系統										
OF-3	送風機	ライン	200φ	730	13		1	100	0.08	1	1F機械室
	1F前室系統	消音BOX付									
OF-4	送風機	ライン	150φ	170	4		1	100	0.04	1	1Fホール
	1Fホール系統	消音BOX付									
OF-5	送風機	ライン	300φ	800	19		3	200	0.08	1	2F会議室
	2Fホール系統	消音BOX付									
OF-6	送風機	ライン	200φ	470	8		1	100	0.04	2	5F前室；4F予備室

○ 送風機は床置型のみ防振装置付とする

記号	記事	番号	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
審査	勝原
監督	柳府
設計	坂
製図	福垣
設計部等	

発注官庁: 香南清掃組合殿
工事名称: ごみ焼却施設建設工事
図面名称: 空調設備 機器表 2
尺度: — 製角法
検査図番号:
図番号: P-43
出図年月日:
受理番号:

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社技術設計本部所 東京都港区芝浦2丁目11番5号
1級建築士第61611号 小林基生
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7755

換気設備　NKK

記号	名称	型式	NO	CMH	MMAq	付属品	相φ	電圧V	容量KW	数量	設置室名
	5F前室系統	消音BOX付									
OF-7	送風機	ライン	150φ	200	6		1	100	0.025	1	CGF前室
	CGF前室系統	消音BOX付									
OF-8	又巻										
OF-9	送風機	シロッコ	#6	34,500	31		3	200	11	2	3F押室
	押室系統	床置型									
		片吸込									
OF-10	送風機	シロッコ	#6	78,500	No.1-33		3	200	30	2	4F換気設備
	押室系統	床置型			No.2-36						室
		両吸込									
AF-1	空調換気扇	天井埋込型	250φ	540	18		1	100	0.53	1	1F事務室
						コントロールSW					
AF-2	空調換気扇	天井埋込型	150φ	120	10		1	100	0.140	1	1F和室
						コントロールSW					
AF-3	空調換気扇	天井埋込型	250φ	510	18		1	100	0.53	1	2F会議室
						コントロールSW					
AF-4	空調換気扇	天井埋込型	250φ	800	10		1	100	0.62	1	2F中央
						コントロールSW					制御室
F-1	送風機	ライン	150φ	100	6		1	100	0.011	1	1FWC
F-2	排風機	天井扇	100φ	100	8		1	100	0.027	1	1F給湯室
F-3	排風機	天井扇	150φ	420	7		1	100	0.1005	1	1FWC
F-4	排風機	天井扇	150φ	210	8		1	100	0.0405	1	1FWC
F-5	排風機	ライン	200φ	580	10		1	100	0.04	1	1FWC, 倉庫
F-6	排風機	ライン	200φ	220	11		1	100	0.04	1	1F手術バケツ
											ト置場
F-7	排風機	ライン	400φ	8050	24		3	200	1.6	1	1F機械室
F-8	排風機	天井扇	150φ	460	8		1	100	0.1005	1	2FWC
F-9	排風機	天井扇	150φ	420	8		1	100	0.1005	1	2F給湯室
F-10	排風機	天井扇	100φ	100	7		1	100	0.026	1	CGF倉庫
F-11	〃	ライン	200φ	600	17		1	100	0.08	1	1F倉庫
CF-1	エアカーテン		1350W	10400			3	200	1.5	6	1Fプラットホーム
											自動扉上部5H（出入口共）
SF-15	給気機	有化箱	600φ	7500	5		3	200	0.75	2	TF自動制御機室
	1F自動制御機室給気系統										
SF-16	給気機		200φ	350	5	ガラリーサイド	1	100	0.033	1	2F給湯室倉庫
	2F給気自動制御系統	〃				シャッター					
						所様オット					
EF-15	排風機	ライン	200φ	470	3		1	100	0.025	1	5F前室排煙系統
	5F前室排煙系統										

記号	図面変歴 記事	署名	年月日
△			

工事番号	
本部	小林
課室	御厨
原室	御厨
設計	坂
製図	福地
設計部署	

発注官庁　香南清掃組合殿

工事名称　ごみ焼却施設建設工事

図面名称　空調設備　機器表3

尺度　—　　製角法

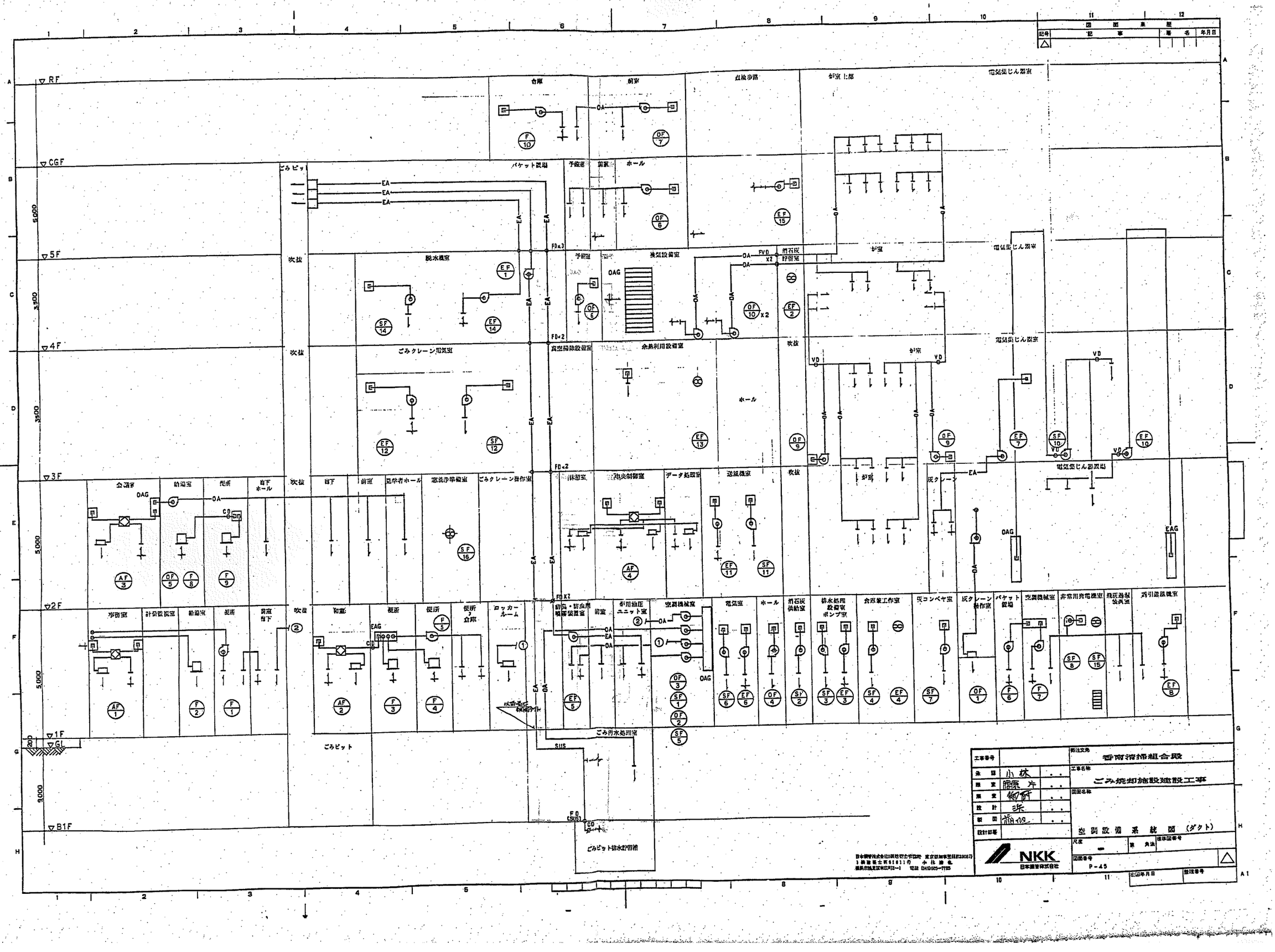
図面番号　P-44

出図年月日

整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 設計第七事業所　東京都港区芝浦1丁目2番3号
〒108-8320 TEL 03(5476)4111
横浜市鶴見区末広町2-1　〒230-8611 TEL 045(505)7725



記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	
承認	小林
照査	藤原
照査	柳田
設計	浜
製図	荒川
設計部署	

発注文男: 香南清掃組合殿

工事名称: ごみ焼却施設建設工事

図面名称: 空調設備系統図（ダクト）

尺度: —　第　角法

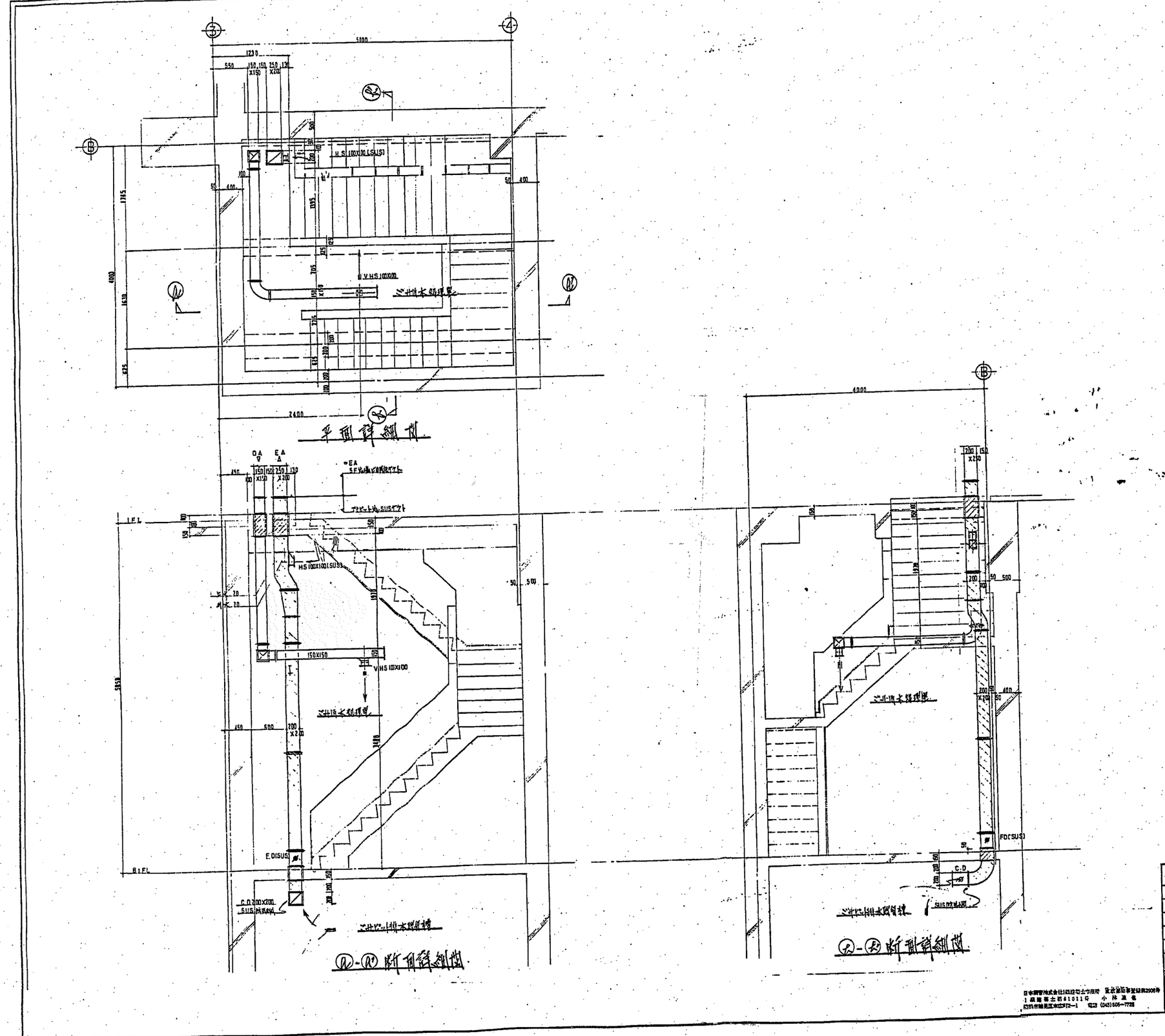
図面番号: P-45

出図年月日

登録番号

日本鋼管株式会社 環境整備事業部 東京都千代田区丸の内1-1-2
3 鉄道第二本部 第1部 小林 治 様
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 045(505)7735

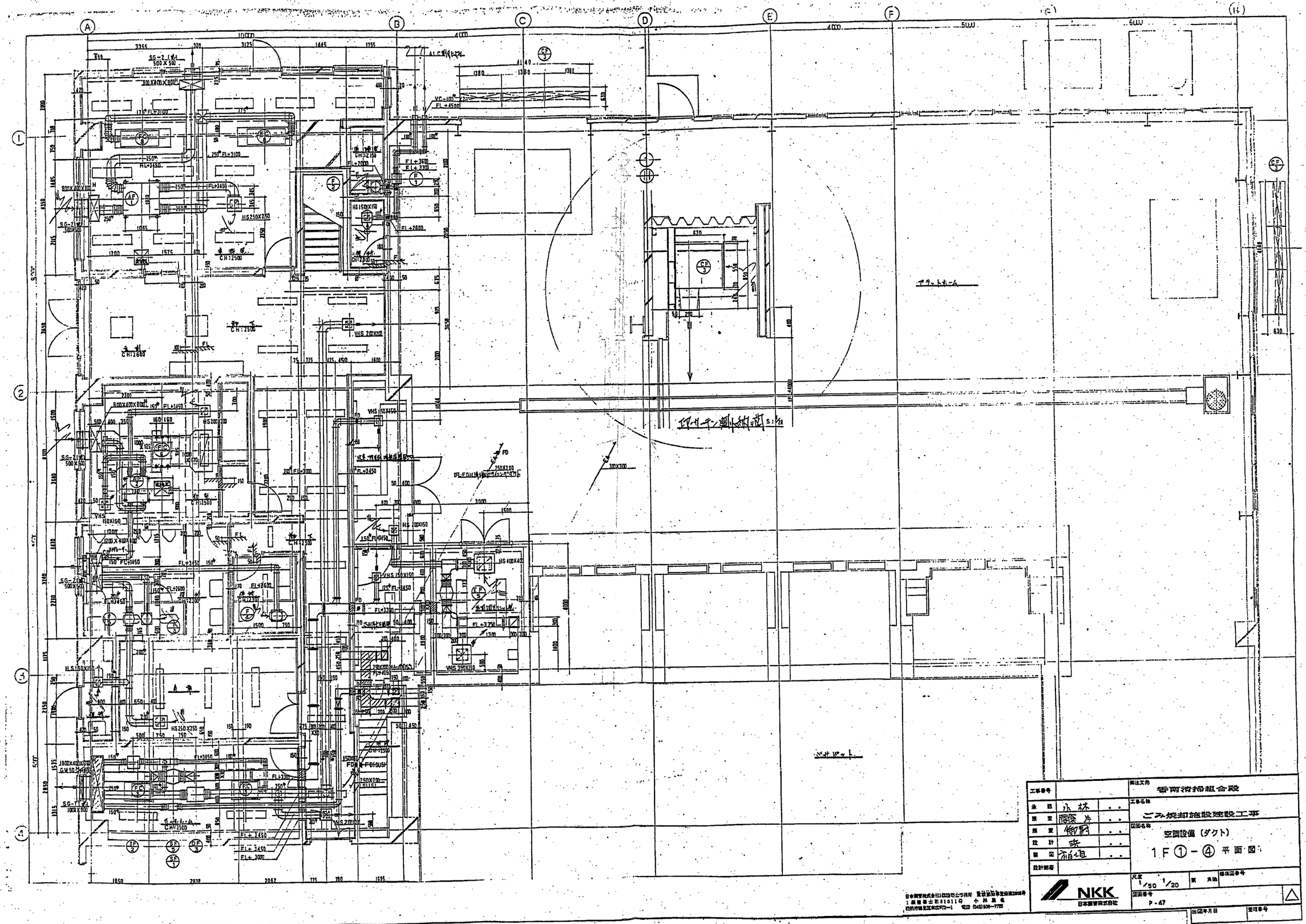
NKK 日本鋼管株式会社



工事番号		関連文書	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	福原	図面名称	空調設備（ダクト）
照査	御前		B1, BF 平面図
設計	浜		
製図	湖垣		
設計部署		尺度	1/30
		第 角法	横浜図番号
		図面番号	P-46
		出図年月日	整理番号

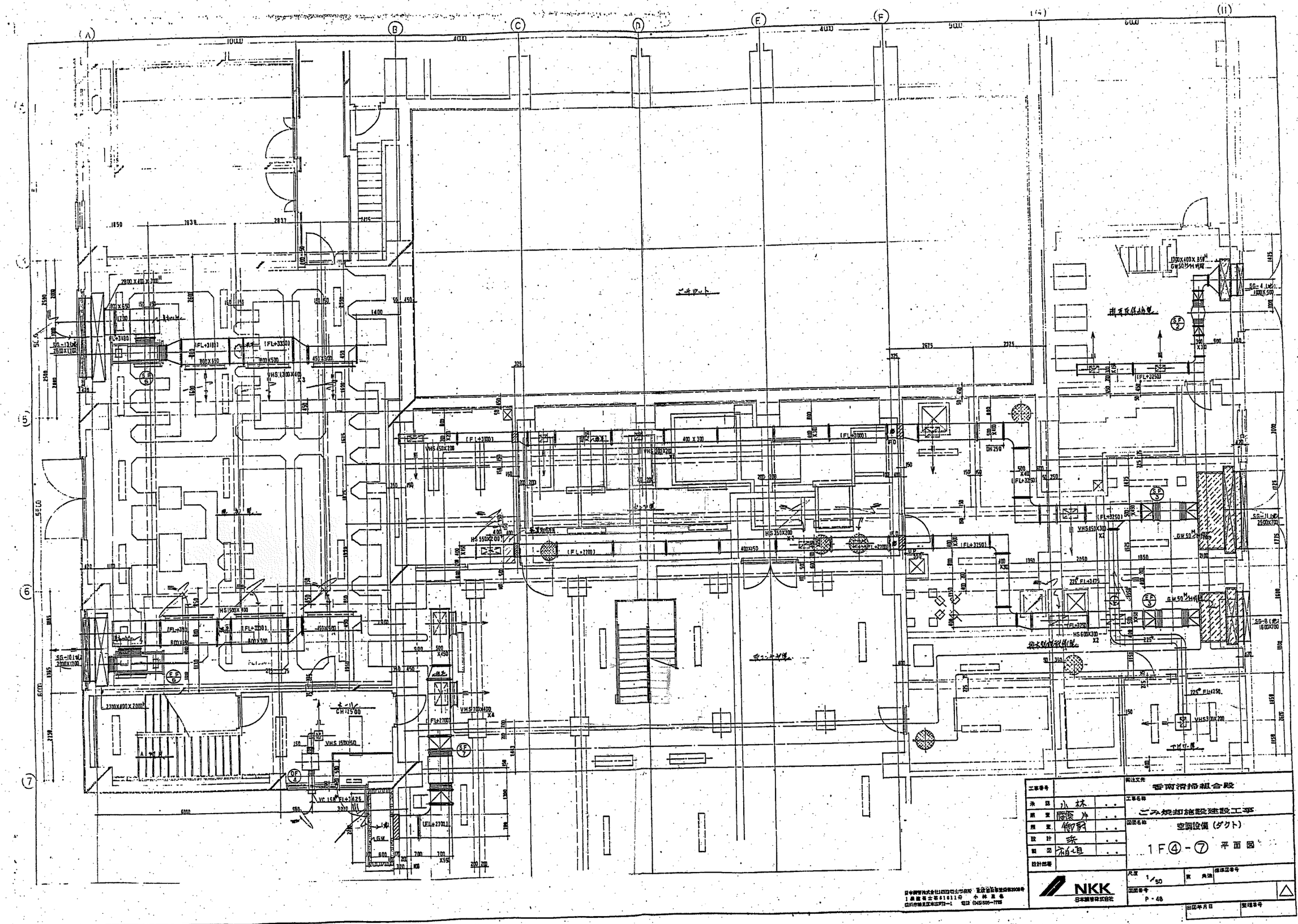
NKK 日本鋼管株式会社

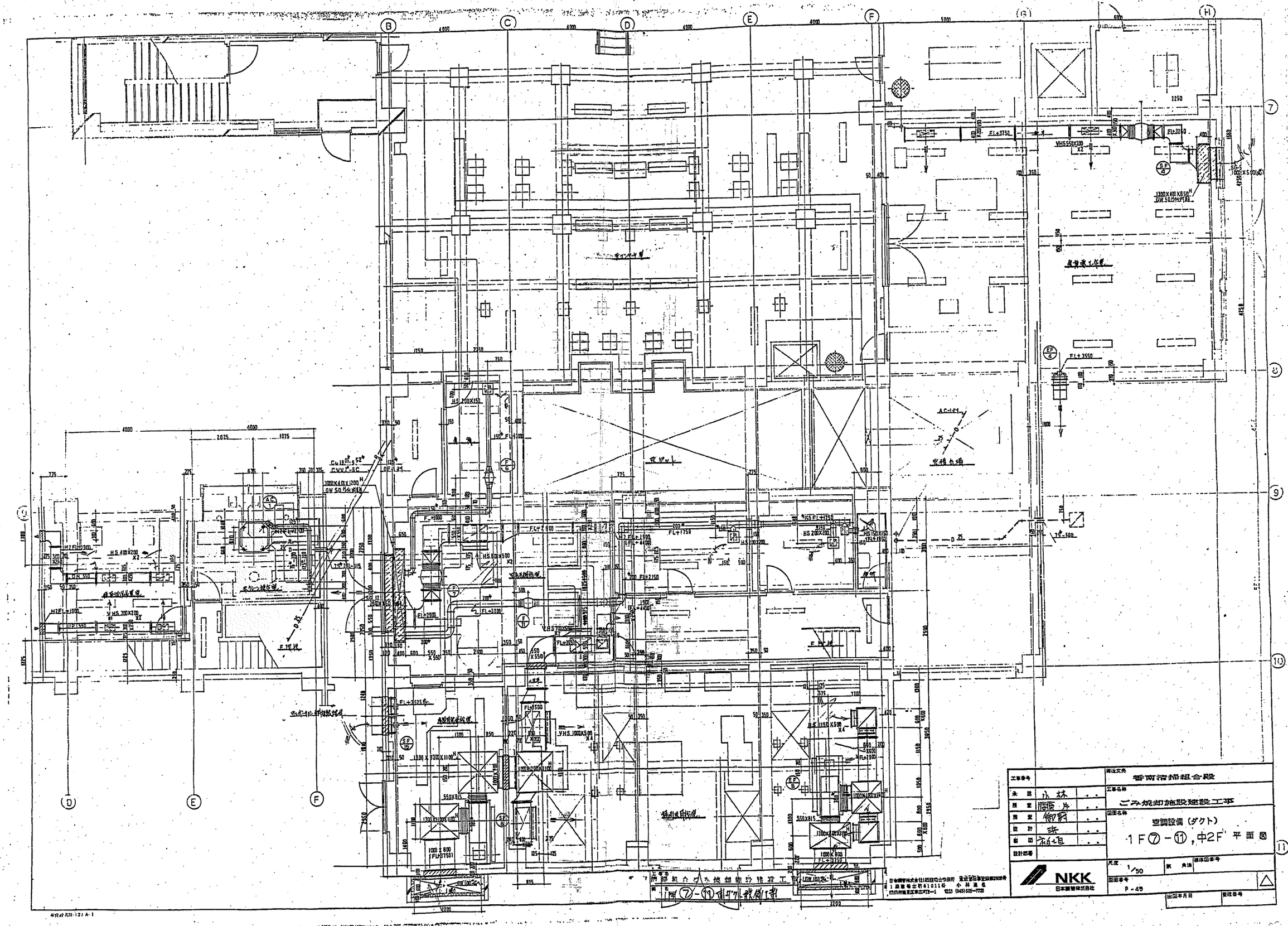
日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2906号
1級建築士第41511号 小林 進 也
関東市鶴見区末広町2-1 電話 (043)505-7728

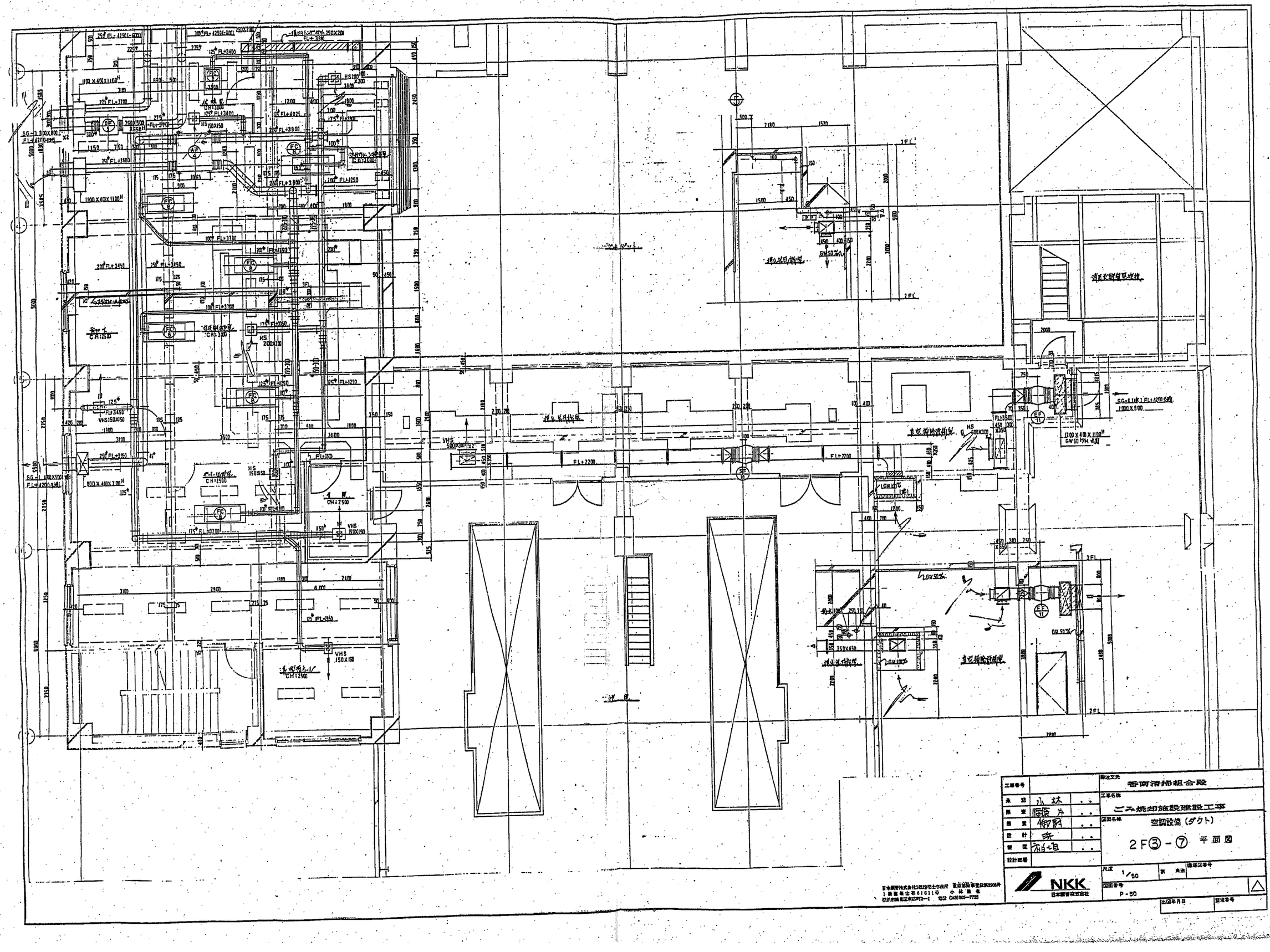


工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所要	藤原		
所要	御前	図面名称	空調設備（ダクト）
設計	赤		1F①－④ 平面図
製図	柏垣		
設計部番			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50 1/20	第 角法
		図面番号 P-47	
		出図年月日	整理番号

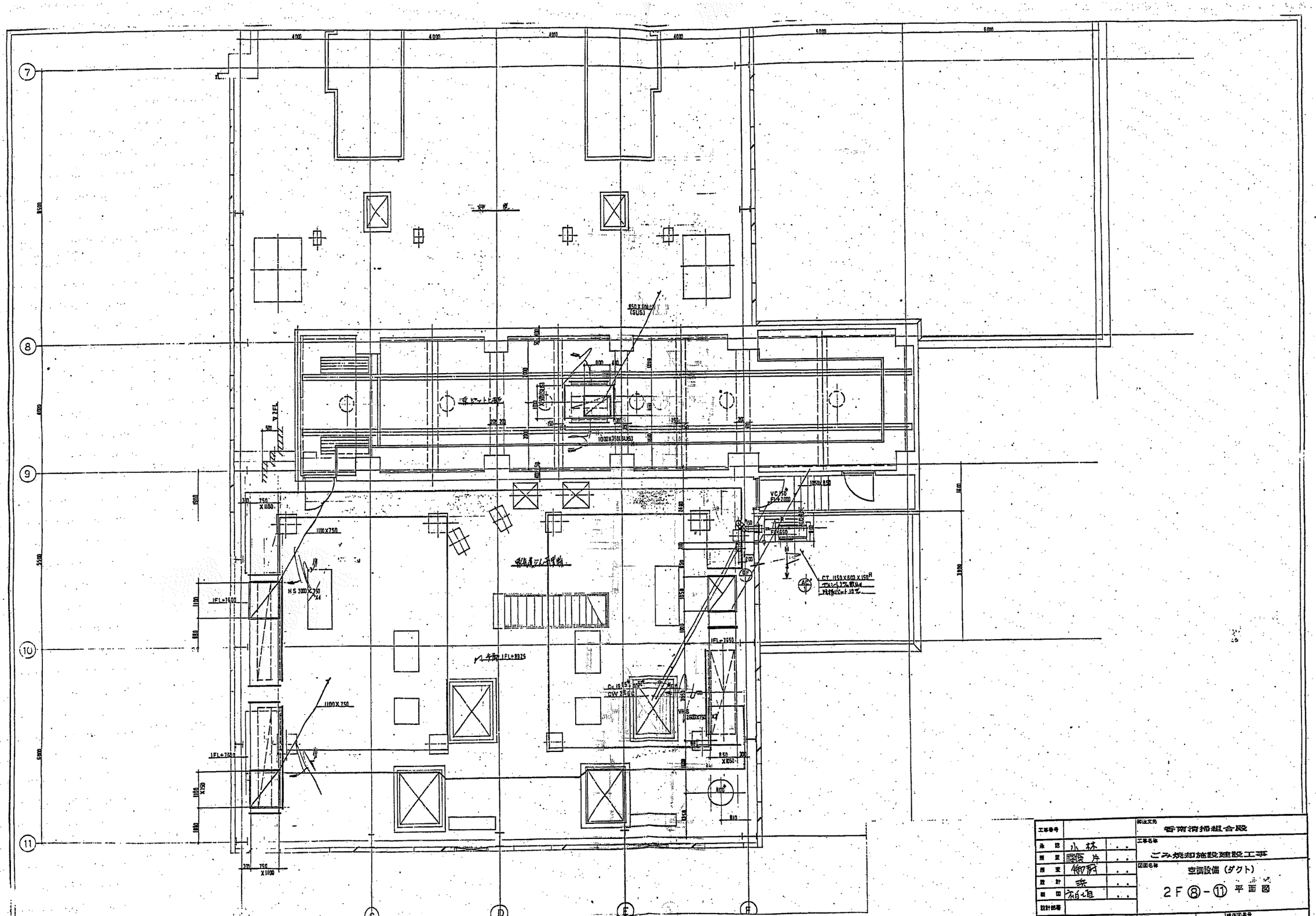
日本鋼管株式会社 建設事業所 東京都新宿区新宿2908番
1級建築士第51611号 小林 進 名
横浜市鶴見区末広町2-1 電話 (045) 506-7725


(A)
(B)
(C)
(D)
(E)
(F)
(G)
(H)
(3)
(5)
(6)
(7)
10000
4000
4000
5000
6000
2800X400X200H
FL+3180
FL+3300
800X550
800X500
450X500
VHS(300X400)X3
FL+3000
VHS 450X200
400 X 100
FL+3000
VHS 600X200
HS 550X200
FL+2700
HS 350X200 X2
400X450
FL+3250
DN250
VHS450X300 X2
FL+3250
FL+3250
GW50
VHS 300X200
FL+3250
FL+3375
HS 600X300 X2
FL+3250
2300X800X2000H
CH+25'00
VHS 150X150
FL+2700
VHS700X400 X4
VP 150 FL+1425
LGW
600
700
700
X55
200 200
HS1500X400
FL+3300
800X550
800X500
SG-10 L=6M
2000X1700
SG-13 L=6M
2600X1200
SG-4 L=6M
1600X500
SG-8 L=6M
1600X1700
SF
EF
DF
工事番号
承認 小林
原室 [illegible]
担室 御厨
設計 [illegible]
製図 [illegible]
設計部署
発注文件
電算室棟組合殿
工事名称
ごみ焼却施設建設工事
図面名称
空調設備（ダクト）
1F ④-⑦ 平面図
NKK
日本鋼管株式会社
尺度 1/50
製図番号 P-48
出図年月日
整理番号


B
C
D
E
F
G
H
7
9
10
11
D
E
F
4000
5000
6000
2250
FL+3750
FL+3250
FL+3550
VHS550X200
X2
1300X400 X850H
SW 50 0.5M1Φ1.2
1000X500X1000H
SF 4
EF 4
AC-1F1
AC-1F2
AC-1F3
AC-1F4
H2FL+1900
FL+1900
FL+2150
FL+2900
FL+3200
FL+3525
FL+3500
FL+1750
FL+1350
FL+1000
FL+900
FL+3150
HS 400X200
X2
HS 300X200
X2
HS 200X200
HS 150X150
HS 200X150
HS 500X500
X2
VHS 300X200
X1
VHS 1000X500
X4
VHS 700X350
X1
550X815
1000X800
FL+3750
1300X1100H
1000X800
FL+3500
1300X1000H
1000X1000H
1300X1000H
1000X1000H
1300X1100H
1000X1000H
1300X1100H
1000X1000H
1300X1100



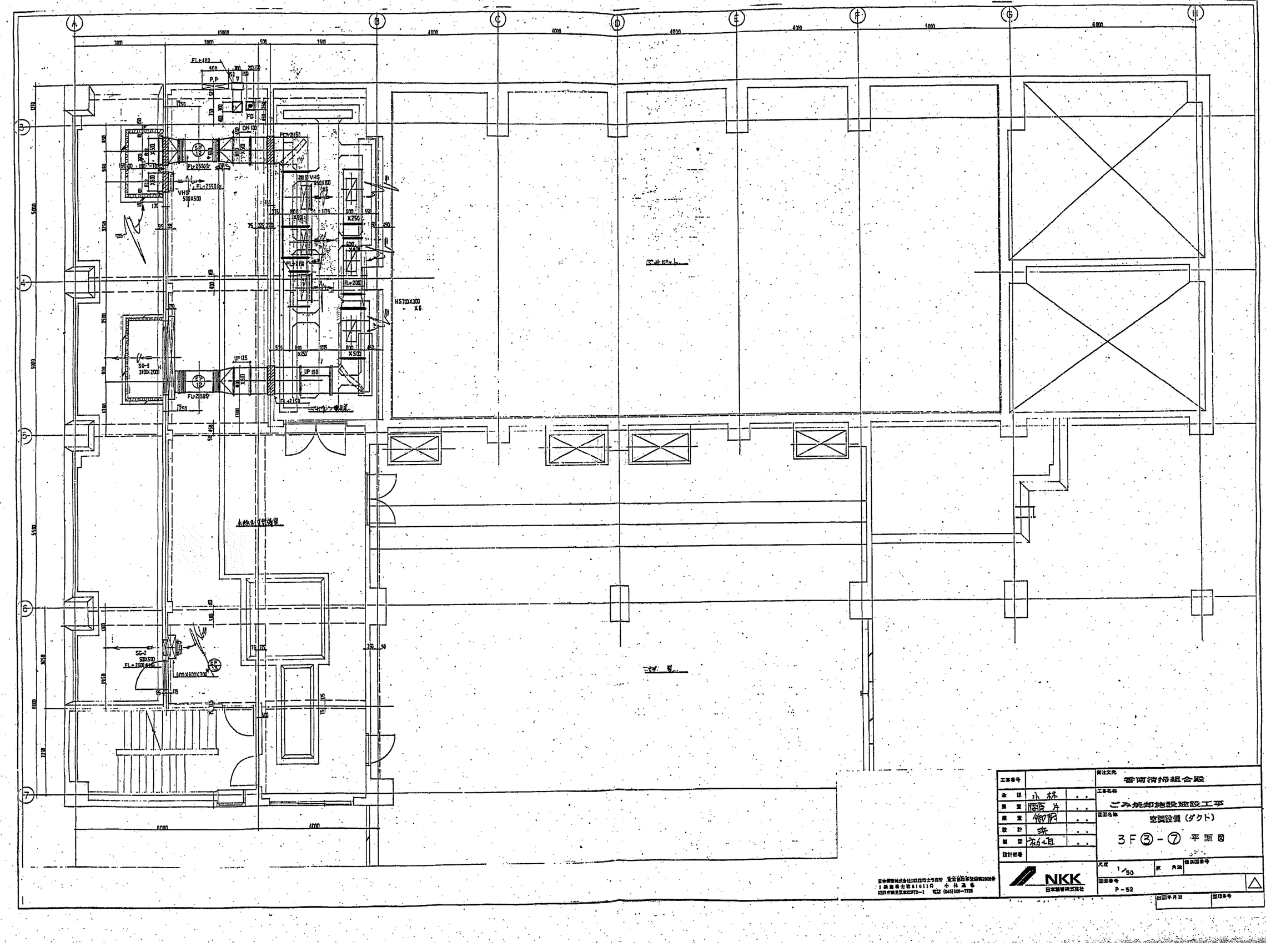
工事番号
承認 小林
照査 陽俊片
照査 御厨
設計 浜
製図 相垣
設計部署
NKK
日本鋼管株式会社
日本鋼管株式会社1級建築士事務所 東京都知事登録第2908号
1級建築士第61611号 小林鐵也
代表取締役 東京都渋谷区宇田川2-1 電話 (043)805-7725
解決文先
香南清掃組合殿
工事名称
ごみ焼却施設建設工事
図面名称
空調設備（ダクト）
2F③-⑦ 平面図
尺度 1/50
図面番号 P-50
出図年月日



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	脇谷 片		
照査	御厨	図面名称	空調設備（ダクト）
設計	浜		2F⑧-⑪ 平面図
製図	相垣		
設計部署		尺度	1/50
		家角法	標準図番号
		図面番号	P-51
		出図年月日	整理番号

NKK
日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1回建築士事務所 東京都知事登録第2008号
1級建築士第61611号 小林 直也
高知市鹿児島東区東広町2-1 電話 (043)505-7725

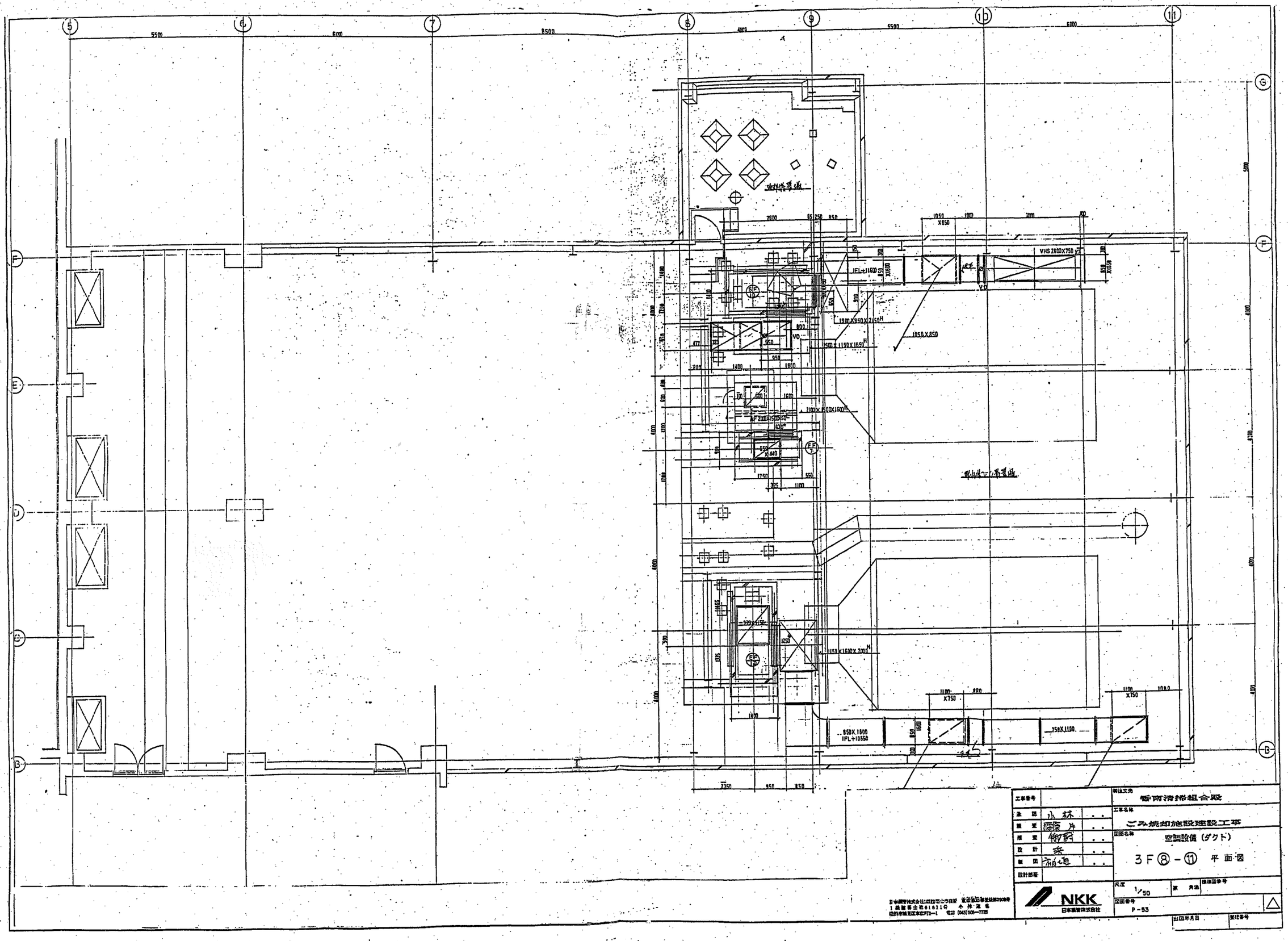


工事番号		
承認	小林	
照査	藤片	
照査	御厨	
設計	浜	
製図	相垣	
設計部番		

NKK
日本鋼管株式会社

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	空調設備（ダクト） 3F③-⑦ 平面図
尺度	1/50
新 角地	
標準図番号	
図面番号	P-52
出図年月日	
整理番号	

日本鋼管株式会社 [illegible] 東京都[illegible]第2908号
1級建築士第61611号 小林 [illegible]
[illegible] 電話 (045) 505-7725

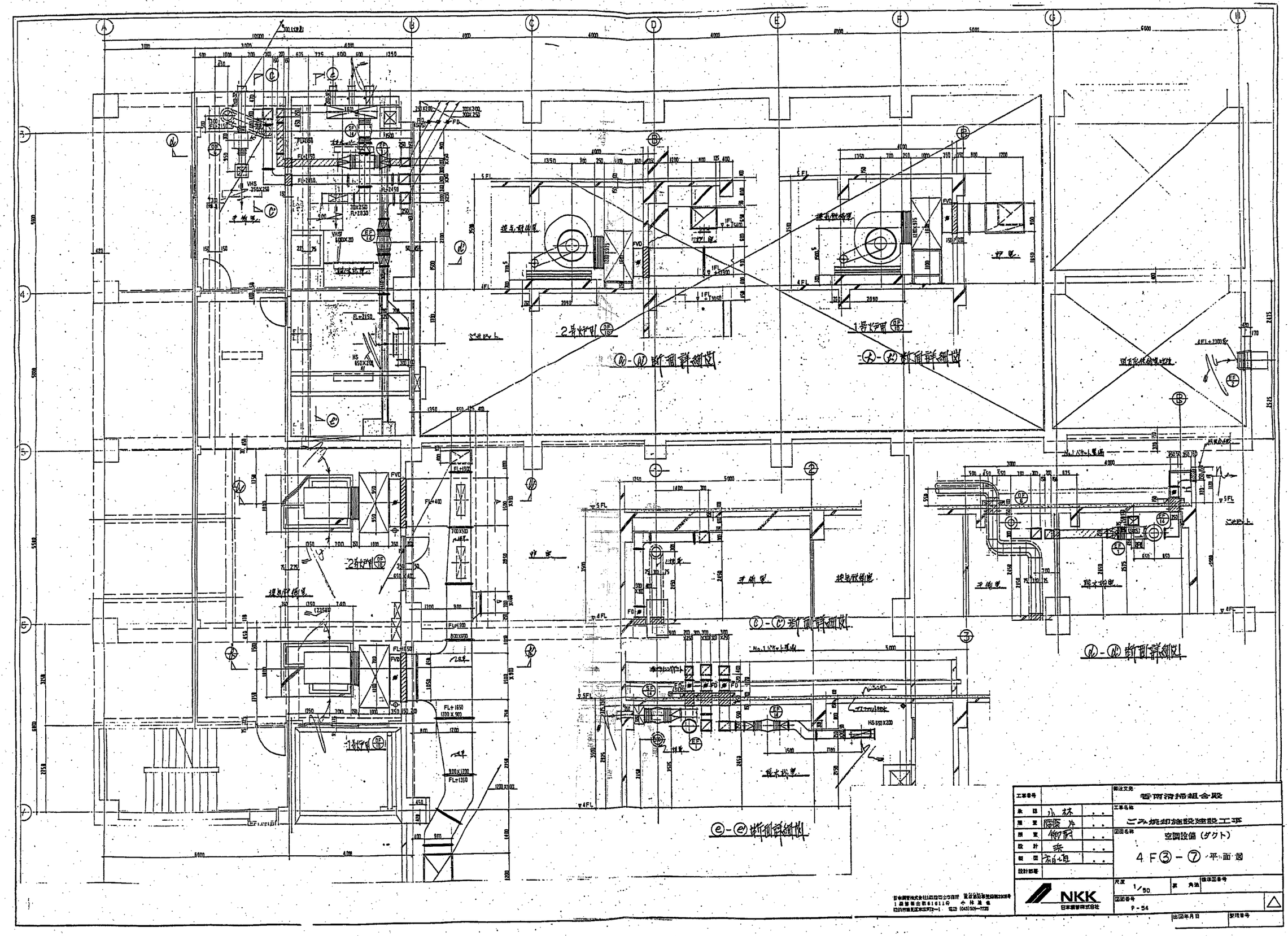


工事番号		
承認	小林	
監督	藤片	
監督	御前	
設計	兵	
製図	相垣	
設計部署		

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	空調設備（ダクト） 3F⑧-⑪ 平面図
尺度	1/50
図面番号	P-53
出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

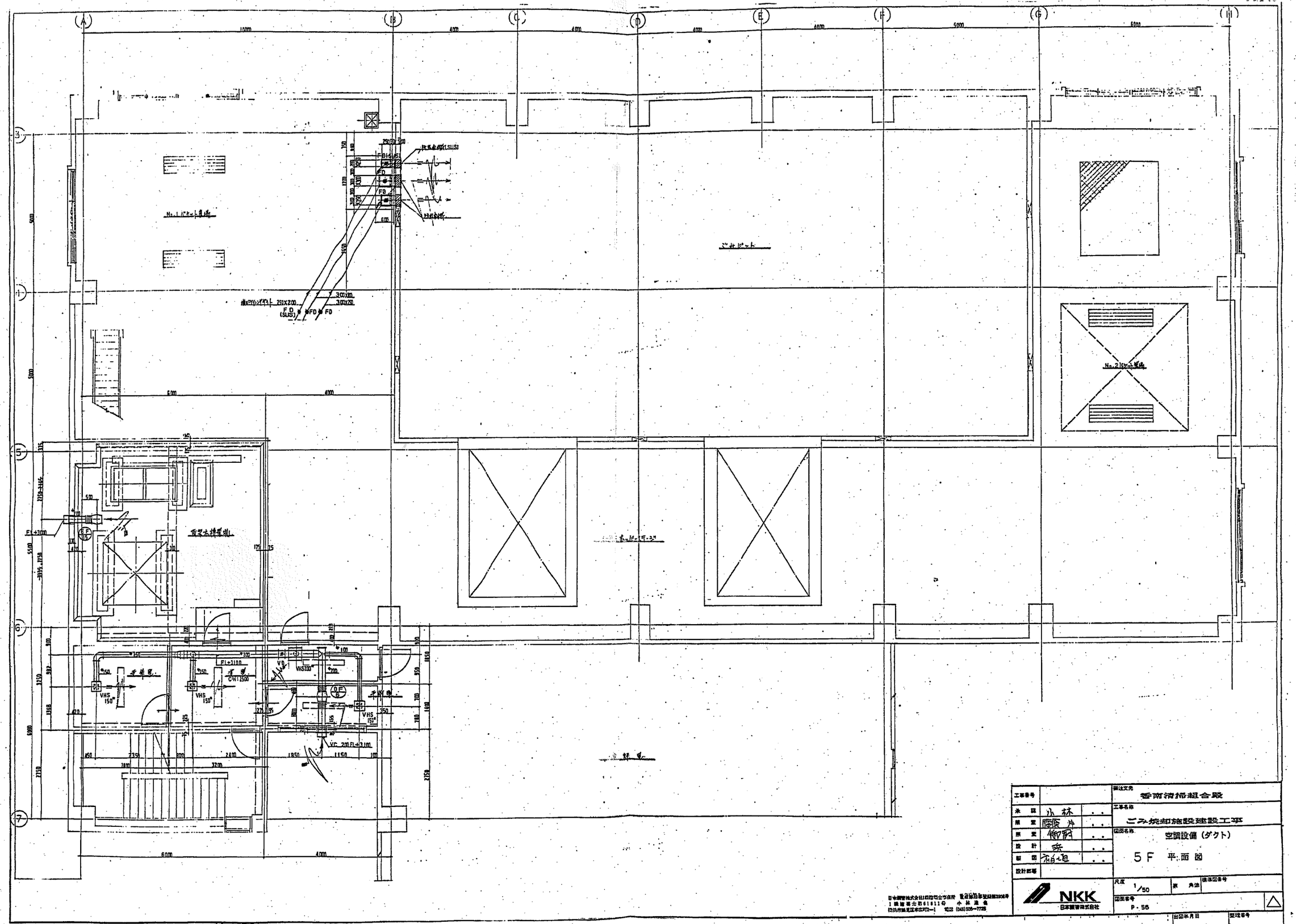
日本鋼管株式会社鶴見造船所 東京都品川区東京都第2909号
1 鶴見造船 第61611号 小林 建造
総合所鶴見区東区町2-1 電話 (045)505-7725



工事番号		都道文免	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隅倉 片	図面名称	空調設備（ダクト）
照査	御厨		4F③－⑦ 平面図
設計	兵		
製図	相垣		
設計部署		尺度	1/50
		原図番号	P-54
		出図年月日	

NKK 日本鋼管株式会社

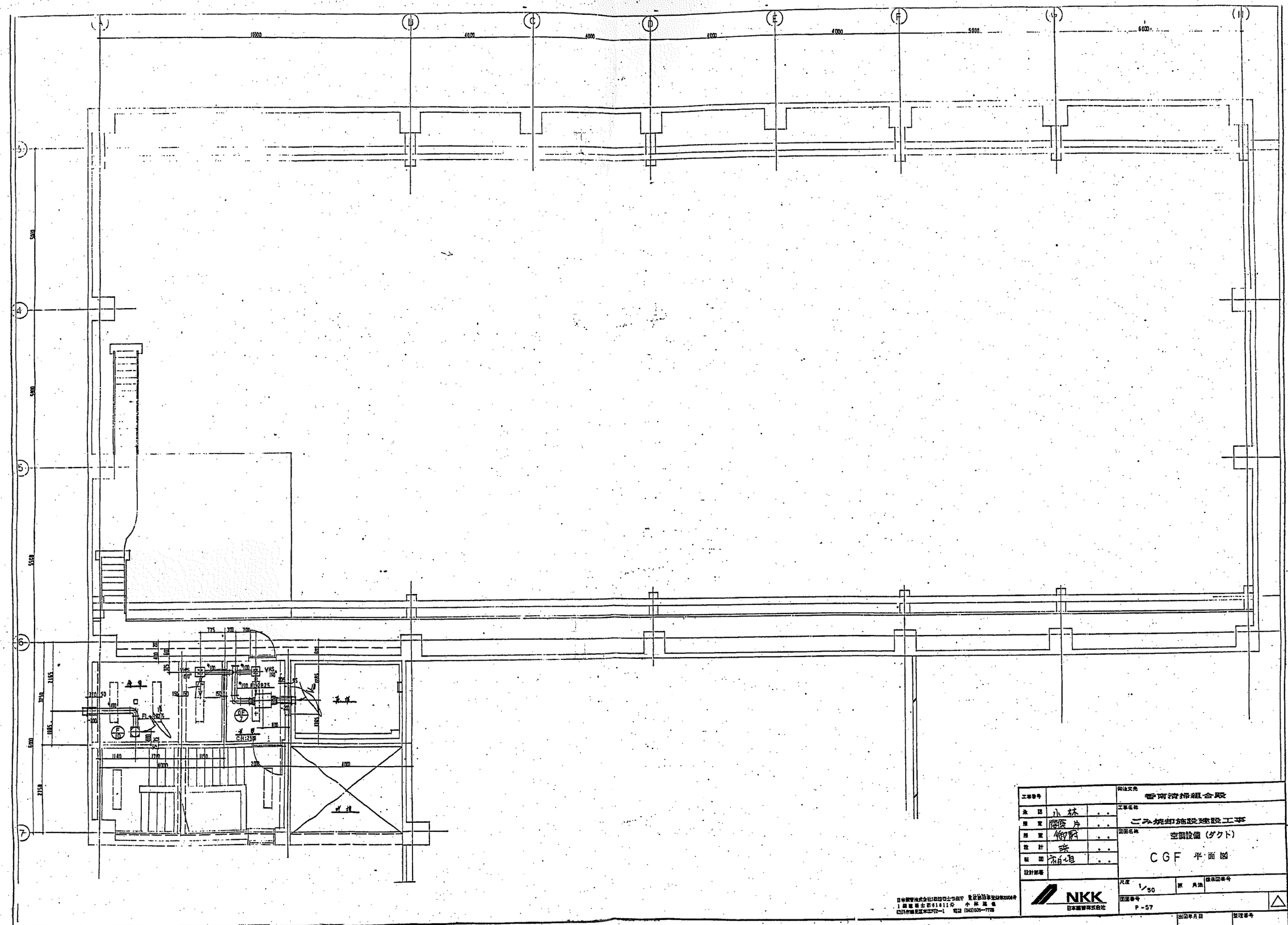
日本鋼管株式会社1級総合士事務所 重設協同事業組織第2908号
1級総合士第61611号 小林通信

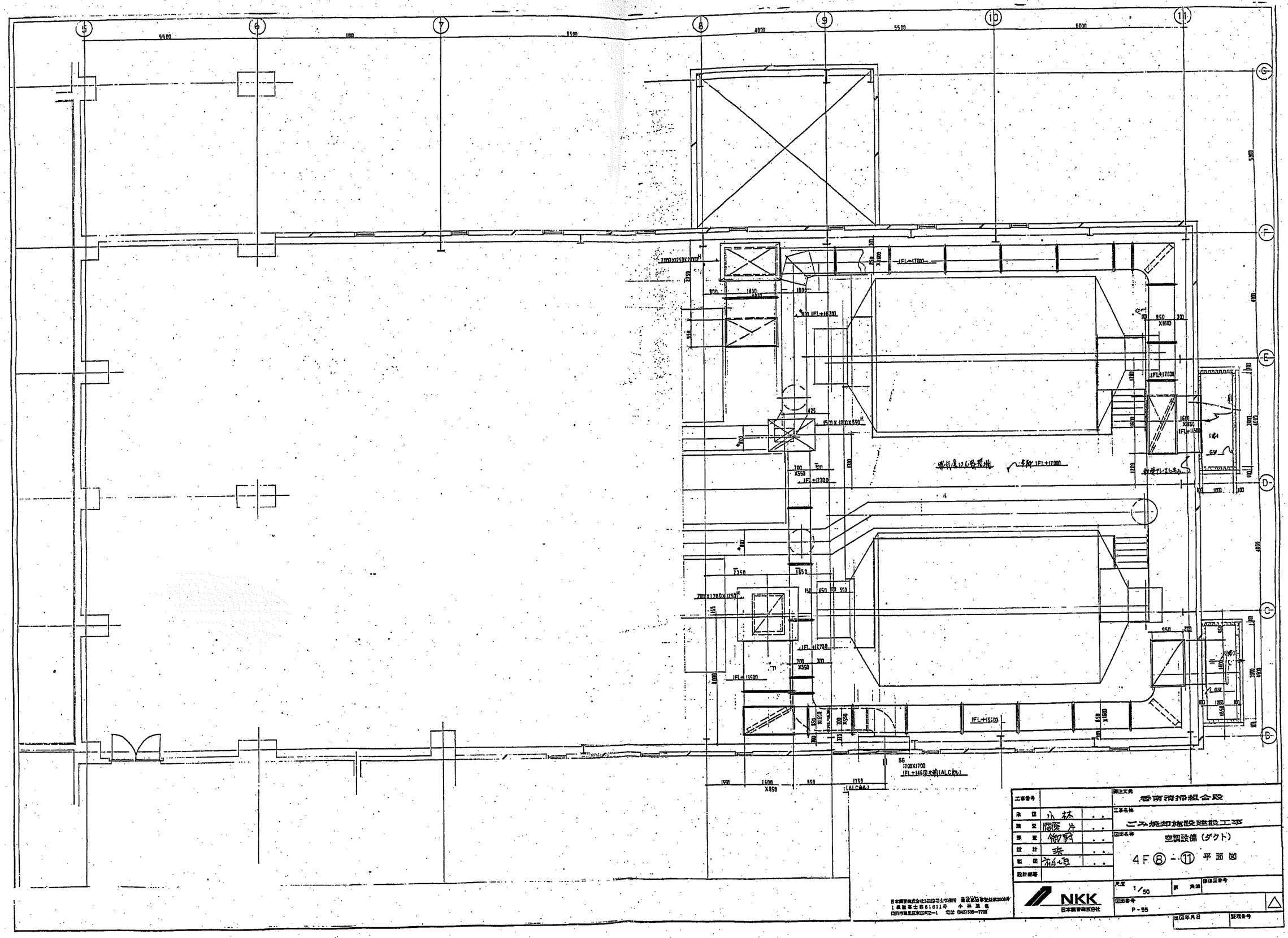


工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	腰塚 片	図面名称	空調設備（ダクト）
照査	御厨		5F 平面図
設計	兵		
製図	柏垣		
設計部署			
尺度	1/50	第 角法	標準図番号
図面番号	P・56		
出図年月日		整理番号	

NKK
日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社建設事業所 東京都品川区東大井2-2-1
1 鋼道橋 第61811号 小林通信
株式会社東京本店 〒212-1 電話 (045)505-7725


A
B
C
D
E
F
G
H
1
4
5
6
7
10000
4000
4000
4000
4000
5000
6000
5000
5500
3250
2165
1085
2150
5000
775
370
700
150
150
150

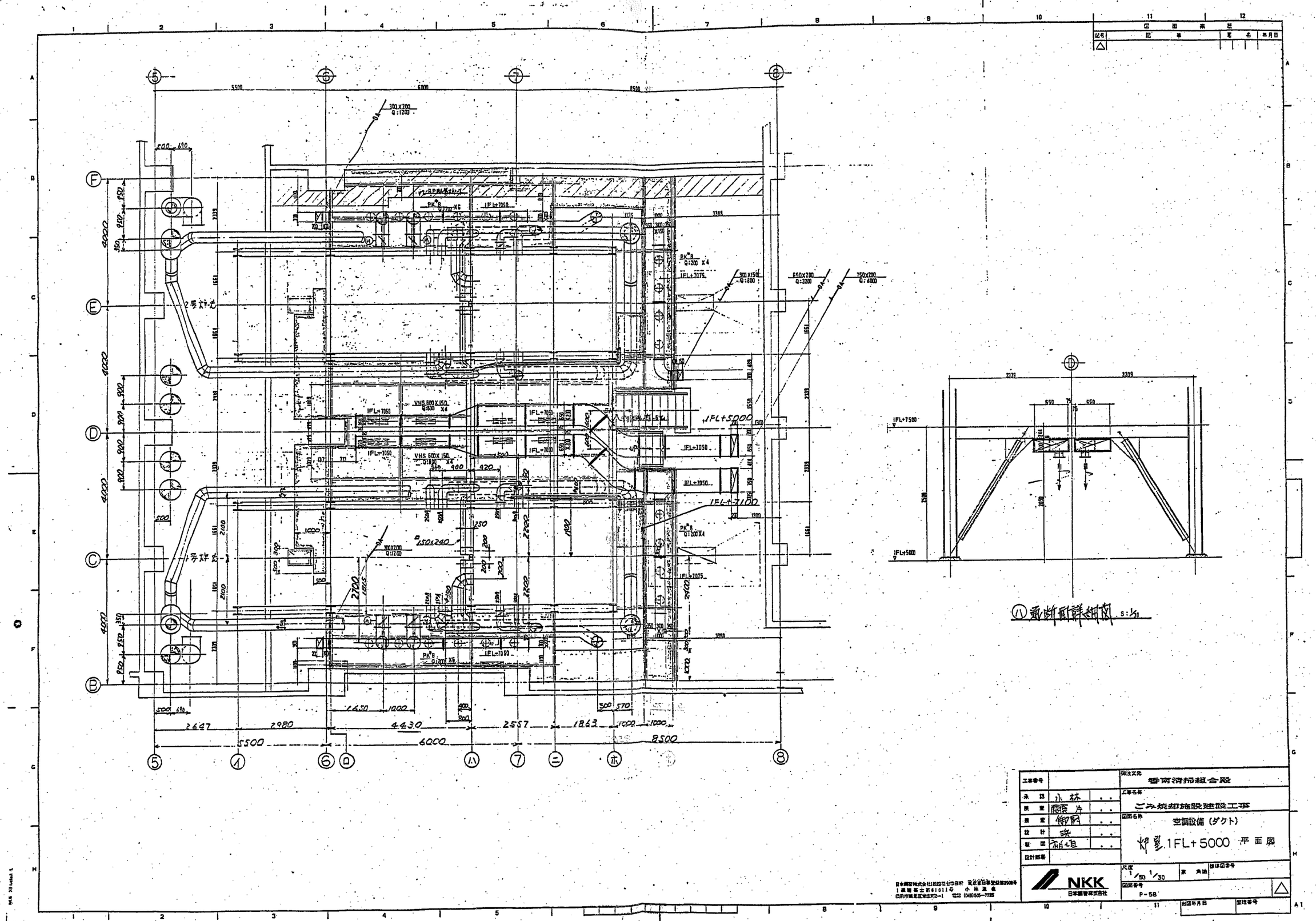


工事番号		
承認	小林	
照査	幅條片	
照査	御厨	
設計	浜	
製図	相頃	
設計部署		

御注文先	香南清掃組合殿
工事名称	ごみ焼却施設建設工事
図面名称	空調設備（ダクト） 4F ⑧-⑪ 平面図
尺度	1/50
原 角法	
標準図番号	
図面番号	P-55
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社1級設計士事務所 重設第[illegible]号
1級建築士第61611号 小林通信
[illegible]

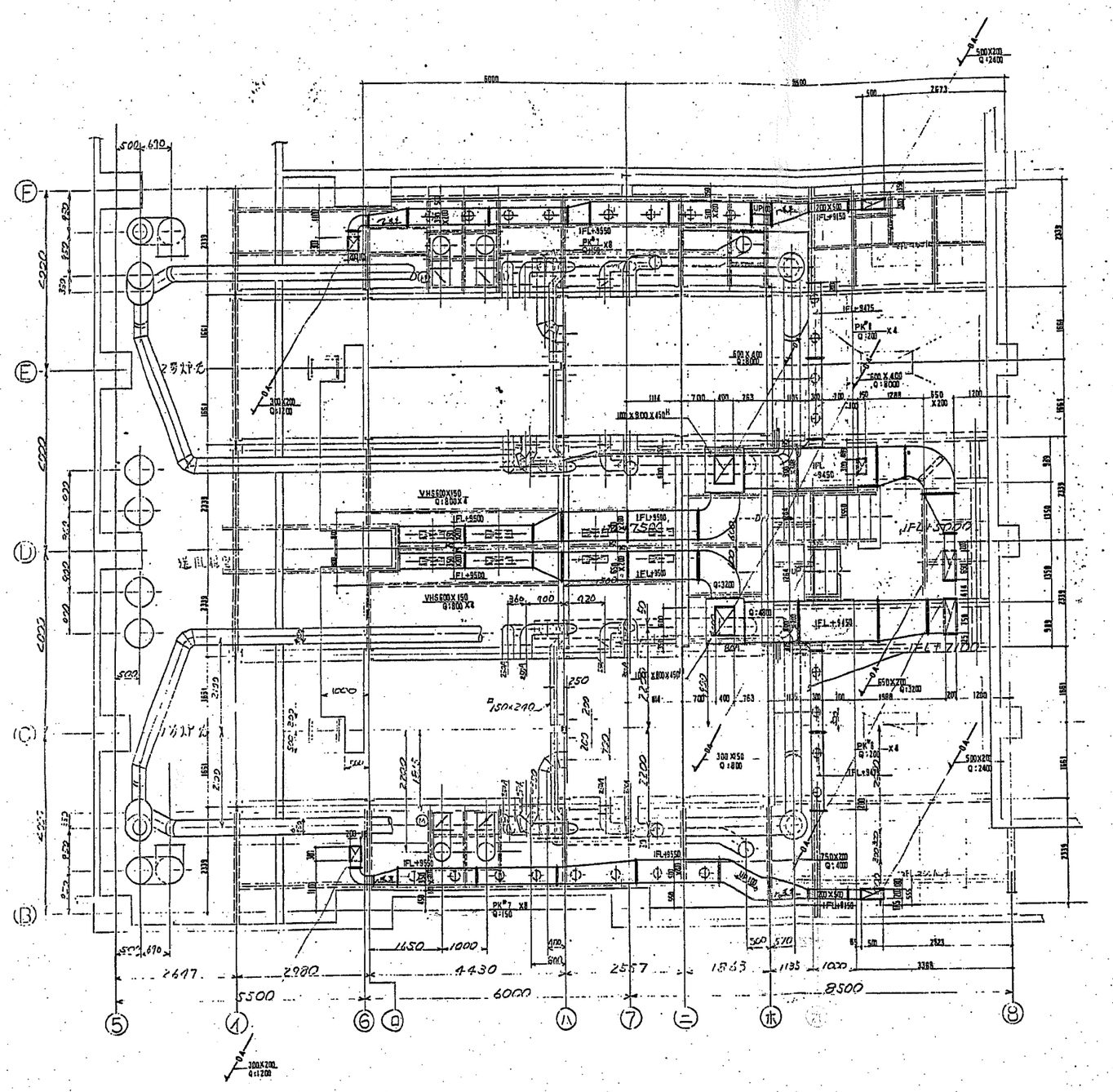


⑪ 垂断面詳細図 S:1/30

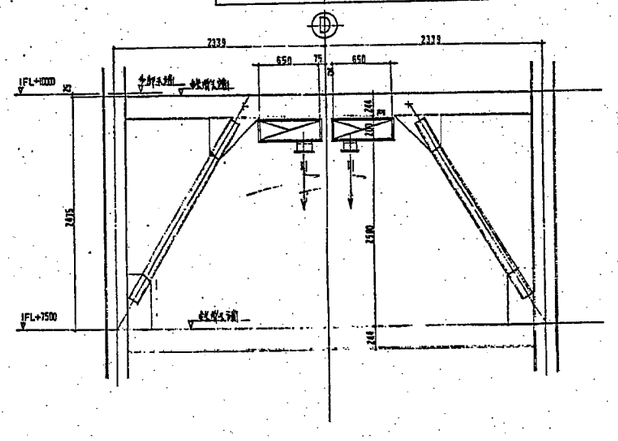
工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
調査	鴨片	図面名称	空調設備（ダクト）
撮査	御前		炉室 1FL+5000 平面図
設計	浜		
製図	祐垣		
設計部署		尺度	1/50 1/30
		図面番号	P-58

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社技術研究所 東京都新宿区西新宿2908番
1級建築士第61011号 小林進也
(045)505-7725



風道要目表	
形　式	溶接鋼板製
数　量	2炉分（名炉独立型）
主要項目	
(1) 風　速	12 m/sec.以下
(2) 材　質	SS41 及び STK41 板厚 3.2 mm 以上



㊁ 通断面詳細図 S:1/30

工事番号		
承　認	小林	
調　査	藤原 片	
調　査	御厨	
設　計	浜	
製　図	柏垣	
設計部署		

御注文先：香南清掃組合殿

工事名称：ごみ焼却施設建設工事

図面名称：空調設備（ダクト）

炉室 1FL+7500 平面図

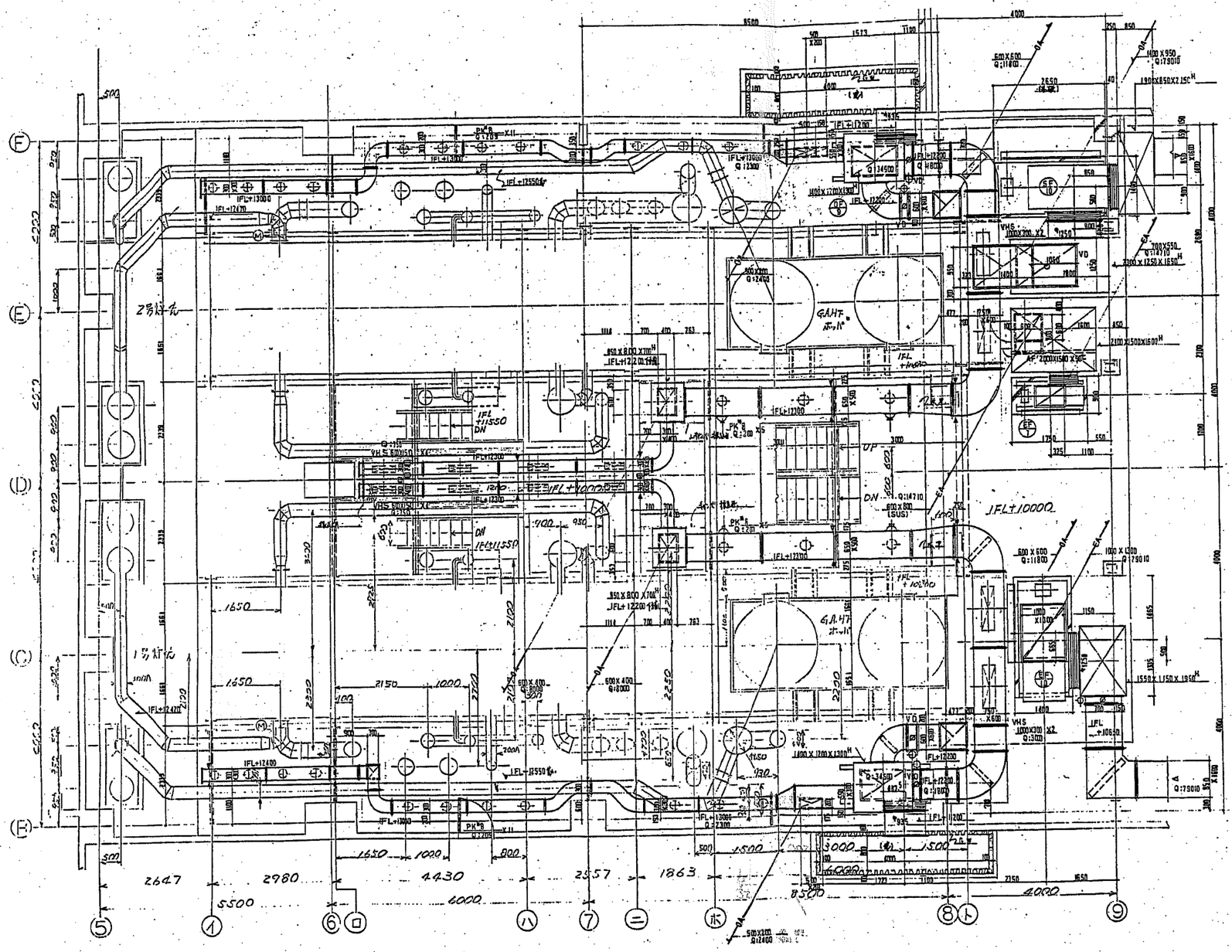
NKK 日本鋼管株式会社

尺度 1/50 1/30　原　角度　標準図番号

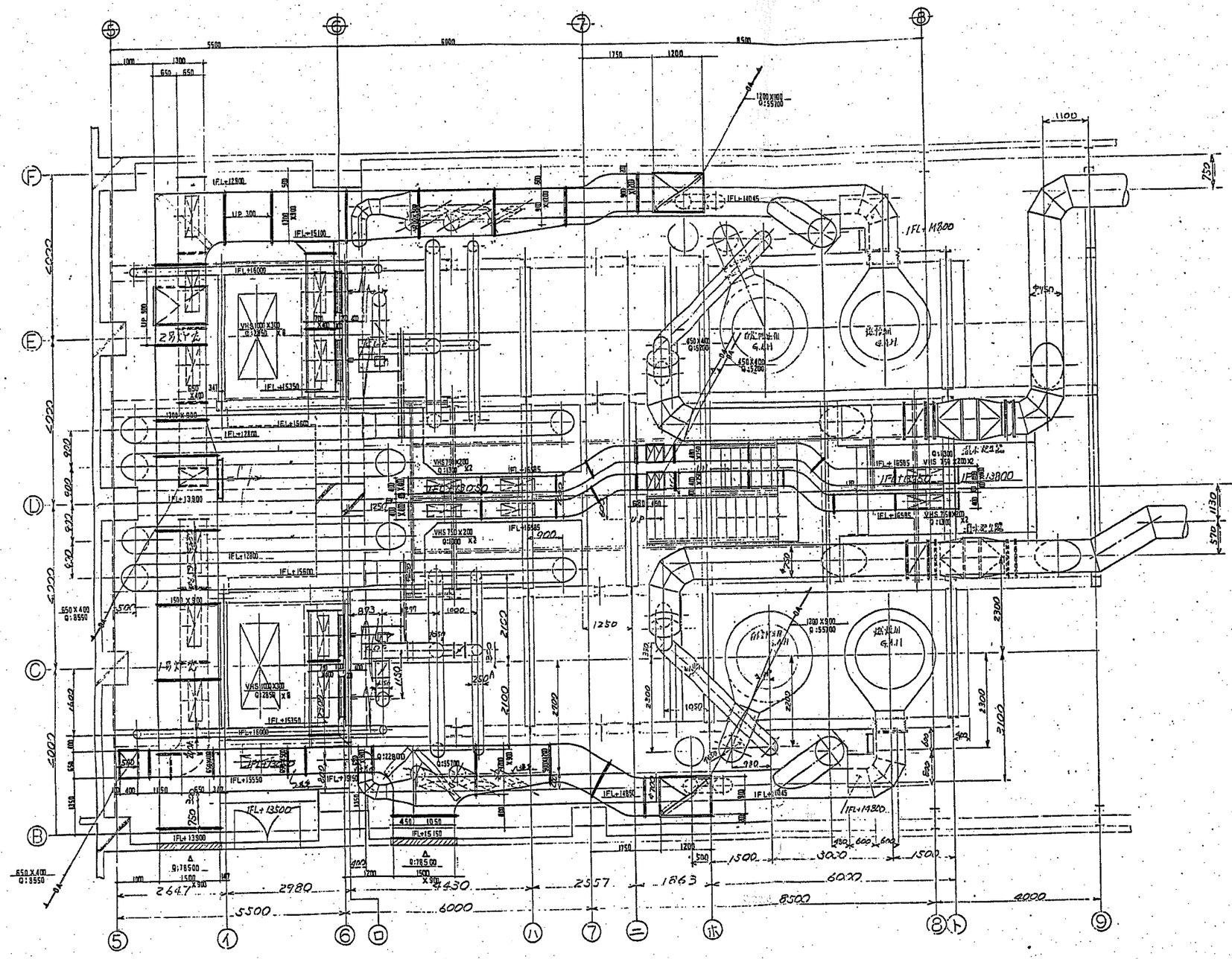
図面番号 P-59

出図年月日　整理番号

日本鋼管株式会社1532 埼玉市西区 登録第2008号
1 建築第士第61611号 小林 進 他
関東市鶴見区末広町2-1 電話 (045)505-7725



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	福原片		
照査	御前	図面名称	空調設備（ダクト）
設計	浜		炉里 1FL+10000 平面図
製図	相垣		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/50
		図面番号	P - 60

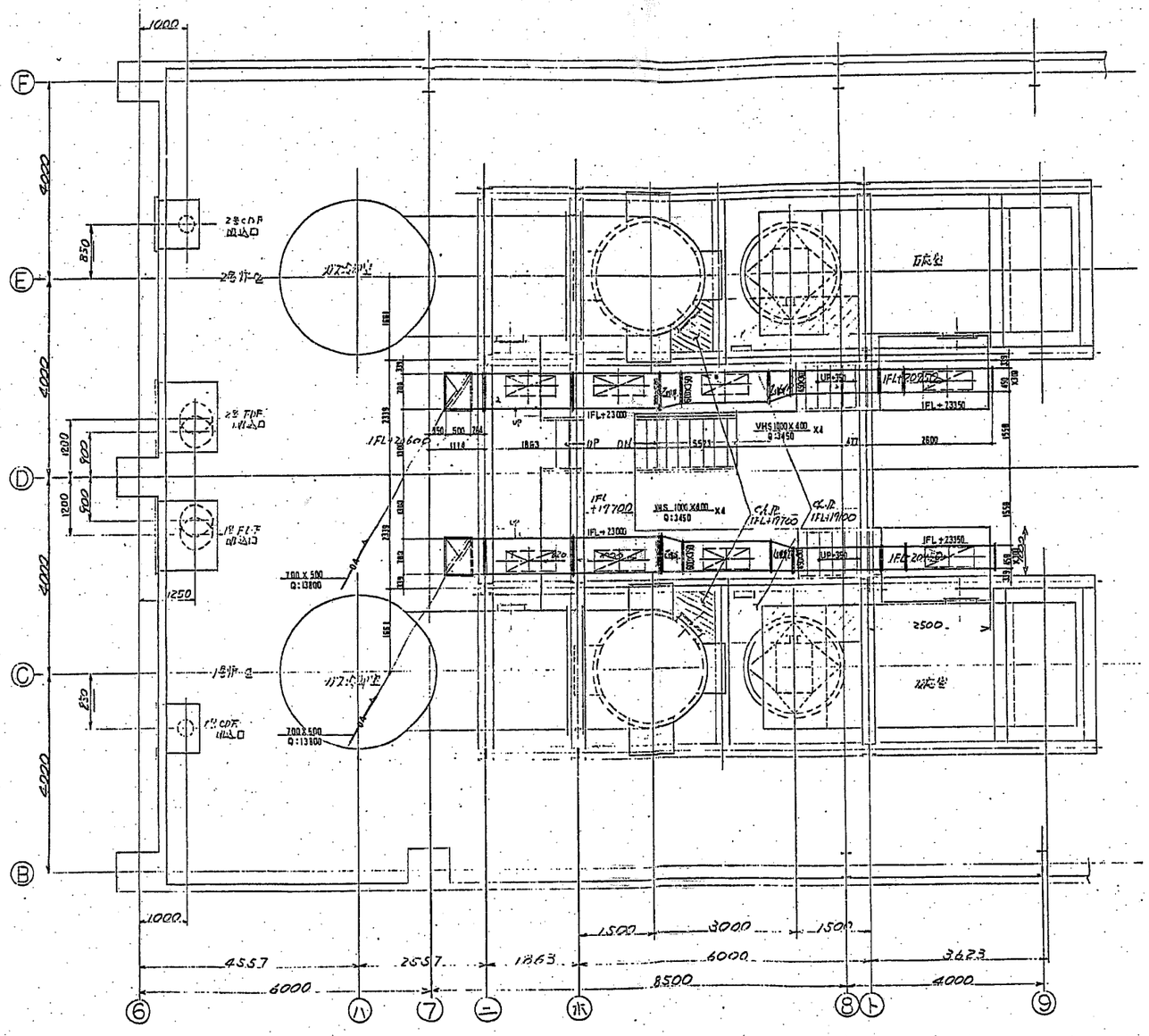


P-16 図

工事番号		発注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
所室	福原	図面名称	空調設備（ダクト）
所室	御厨		炉室 1FL+13050 平面図
設計	浜		
製図	相澤		
設計部署		尺度	1/50
		図面番号	P-61

NKK 日本鋼管株式会社

日本鋼管株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目1番2号 1番館 郵便番号100-8211 小林事務所 川崎市幸区堀川町72-1 電話 (043)505-7728



工事番号		御注文先	香南清掃組合殿
承認	小林	工事名称	ごみ焼却施設建設工事
照査	隠岸	図面名称	空調設備（ダクト）
預査	御前		炉室 1FL+19700 平面図
設計	浜		
製図	相垣		
設計部署			
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/50
		図面番号	P-63